

# テキストの使い方と学習方法

## はじめに

ワードⅠで簡単な文書は作れるようになったと思います。

このテキストは、ワードⅠで登場した3人と一緒に、さらに1歩進んだワードの使い方を楽しく、わかりやすく、取り組んでいただけるように考えて作られたテキストです。

ワードⅠと同様に、1つ1つの操作に画像が付いているので、パソコン用語が分からなくても操作できるようになっています。パソコン用語は、理解できてからボチボチと覚えていきましょう。

## テキストの学習にあたって

まず、このテキストを使っていただくために、必ず下記のことは約束してください。そうでないと、せっかく今からテキストを進めていただいても、身に付かず、時間の無駄になってしまいます。

### ●「実際の操作内容」の部分だけ操作する。マークや説明をしっかり見る

「完成例」は、今から取り組む操作の確認です。

これだけを見ながら操作ができるわけではありません。

このテキストは、覚えていただきたいことに、的を絞って説明していますので、テキスト内のマークや説明を、最低1回は読むように心がけましょう。

(テキスト内のマークの説明は、次ページを参照してください。)

### ●操作は必ず順番に！ 1回は操作しましょう

生徒様の中には、ここはわかるから読み飛ばそうとされる方や、順番に書いてある操作を何個か飛ばして進めようとする方がいらっしゃいますが、途中で操作がうまくいかず、大幅にやり直すことになります。パソコンは1つボタンが違ったり、必要な操作を飛ばしたり、1つ違う操作をするだけで全く違う結果になることがあります。1つ1つ丁寧に操作しましょう。

### ●わからないところをそのままにしない

パソコンを覚えるということは「家づくり」に似ています。1か所でもいい加減なところがあると欠陥住宅になり、家が倒壊するかもしれません。パソコンでもいい加減なところを作らず、わからないところをそのままにしないで繰り返しやってみたり、説明を読んだり、先生に聞いたりして学習し、各章ごとにある練習問題もしっかり取り組みましょう。

## 登場人物紹介

このテキストには先生が1人と、若い方代表と中高年の方代表として生徒様が2人登場します。この3人と一緒にテキストを楽しくすすめていきましょう。

「私にもできるか不安だわ～。」



「パソコンって、用語が難しくてなかなか覚えられないんですよね。」



「大丈夫！このテキストどおり、丁寧に進めば、楽しく覚えられるし、マスターすれば、さらに凝ったレイアウトの文書が作れるようになります。」



ウメさん

子供にパソコンを買って  
もらったのがきっかけ。  
パソコンは全くの初心者

ケンちゃん

簡単なインターネット  
やメールはできるけど、  
パソコンは苦手

くじら先生

「生徒さんに喜んでもらう、  
満足してもらう」がモットー  
のパソコンの先生

## テキスト内で使われているマークについて

### 1. (1) ①などの見出し部分

……ここでは、これから行う操作がどういう意味を持った操作なのかを説明しています。

### 実際の操作内容

……実際に使う操作の方法を説明しています。

### 目標

……各操作で何を覚えてほしいかを説明しています。

新機能

……Word 2010と旧バージョンとの違いや新機能を説明しています。

注意!

……間違いややすい操作や、操作を行うにあたり特に注意してほしいことを説明しています。

### 余裕があれば読んでね

……パソコンの操作方法だけ覚えたい方は特に読む必要はありませんが、知っていると後々便利な情報や、役立つ情報を説明しています。

### ご参考までに

……パソコンを使っていると、こんな画面も表示される場合がありますよ。とか、こんな操作方法もありますよ。とか、学習に余裕があれば読んでいただければという情報を説明しています。



……くじら先生の吹き出し内は、各操作中のポイントや注意の中でも、特に読んで理解してほしい重要な箇所です。

☆☆これまでくじら先生問題で理解度を試してください。☆☆

### 補足説明タイトル

### 参照ページ

……単元ごとの練習問題を用意しています。各単元ごとの復習操作になりますので、単元ごとに理解度を試してください。このテキストでは全部で5ヶ所あります。

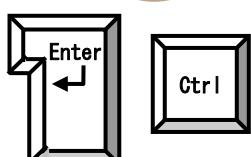
カチッ

……テキストの流れには必要ありませんが、より詳しい内容の補足説明や別の操作方法をP194以降に記載しています。余裕のない方は飛ばしていただいても大丈夫です。  
(ただし各章ごとの練習問題で使う内容も若干含まれます。また、テキストをすべて終了されてから最後に読まれると、スキルアップにつながります。)

……クリックの操作を行う箇所です。



……文字入力の操作を行う箇所です。



など

……該当するキーを入力する箇所です。  
[Enter] キーや [Ctrl] キー以外のキー入力もありますので、マークと操作の指示に従ってください。

「クイックアクセスツールバー」に「新規作成」、「開く」、「クイック印刷」、「印刷プレビューと印刷」ボタンが追加されていることを前提としています。(クイックアクセスツールバーのボタンの追加と削除はP225に表記しています)

## このテキスト内で作成する文書の完成例

### ●秋の天体観測

平成 24 年 8 月 22 日(水)から配布

# 秋の天体観測大会

会報: 9月号  
立山・黒部を歩こう会  
海野□とどすけ

秋も一段と深まってまいりました。  
このたび、「立山・黒部を歩こう会」では、イベント第2弾として、家族で楽しめる『秋の天体観測大会』を下記の日程で開催いたします。ご家族と一緒に秋の夜長をゆっくりとお楽しみください。また、望遠鏡をお持ちの方は、ぜひご持参ください。  
なお、夜間の開催となりますので、お子様は保護者同伴でお願いいたします。

★日 時 …… 10月28日(日) 19時～22時  
★場 所 …… くじら山町民グランド  
★備 考 …… 悪天候で中止の場合、こちらからお電話にてご連絡いたします  
ので、必ず申し込み用紙に電話番号のご記入をお願いします。

申し込み用紙

氏名	□
参加人数	□ 子供 □ 大人
電話番号	□
備考	□

●会報特別号

立山・黒部の魅力発見！

白銀の冬から大地が芽吹く春へ、新緑と真っ青な空がまぶしい夏から山全体が燃えるような真紅の秋まで、神々が宿るという神秘の立山は、どの季節に行っても想像をはるかに超える景色で、訪れる人を魅了します。  
今回の会報は、立山と黒部を十分味わって頂きたいので、立山・黒部の魅力をじっくり紹介する特別版です。

セクション区切り (現在の位置から新しいセクション)

立 山の歴史  
立山は古来、富士山、白山とともに日本三霊山の一つとして栄えました。立山の開山は8世紀初め、佐伯有頼が白鷹と阿弥陀如来の化身であった熊に導かれて洞窟に入り、そこで如来のお告げに従ったのが始まりとされています。その洞窟として有名なのが室堂平にある「玉殿の岩屋」です。また、「美女杉」や鏡石平にある「鏡石」、「姥石」は、かつて立山が女人禁制の巣山であったことを示し、さらに弥陀ヶ原から天狗平へ抜ける道の途中には、「役の行者」の石像や不動明王、弘法大師や地蔵石仏などが安置され、その辺りが立山修験の一大行事だったことをたどり出ています。立山を歩くことにより、立山の歴史と出会えます。

立 山黒部アルペンルート  
3,000m級の峰々が連なる日本の屋根北アルプスをつらぬき、北陸富山と信濃大町を結ぶ、延々90kmに及ぶ山岳観光ルートです。

●春の立山は雪の大谷が見どころ。高さ20m近くにもなる雪の壁の間を散策することができます。

●夏は涼しく、心地よい風に吹かれながらの登山は最高です。運が良いと雷鳥の親子と出会えるかも？

●秋は紅葉の季節。立山の紅葉は、標高差があるために9月中旬から11月上旬と長い間、色鮮やかな紅葉を見ることができます。

●冬の新雪が岩肌や樹林の枝の先々まで全てを柔らかく包み、立山を再び静寂の世界へと導きます。

黒 部ダムを知る  
黒部の谷と言えば、昔は登山者以外入山しない秘境でした。しかし今では誰もが容易に観光する事が可能になり、現在では幅広い年齢層の観光客が毎年100万人以上黒部ダムを訪れてています。その建設は世紀の大事業として語り継がれ、中でも破砕帯との相間は石原裕次郎主演の映画「黒部の太陽」に描かれたことでも有名です。大迫力の放水や、巨大建造物としての存在感以外にも、黒部ダムには興味深い歴史がいっぱいです。

立山・黒部ツアーアイ

(来年の6月出発予定)

●会報特別号

立山・黒部の魅力発見！

白銀の冬から大地が芽吹く春へ、新緑と真っ青な空がまぶしい夏から山全体が燃えるような真紅の秋まで、神々が宿るという神秘の立山は、どの季節に行っても想像をはるかに超える景色で、訪れる人を魅了します。  
今回の会報は、立山と黒部を十分味わって頂きたいので、立山・黒部の魅力をじっくり紹介する特別版です。

セクション区切り (現在の位置から新しいセクション)

立 山の歴史  
立山は古来、富士山、白山とともに日本三霊山の一つとして栄えました。立山の開山は8世紀初め、佐伯有頼が白鷹と阿弥陀如来の化身であった熊に導かれて洞窟に入り、そこで如来のお告げに従ったのが始まりとされています。その洞窟として有名なのが室堂平にある「玉殿の岩屋」です。また、「美女杉」や鏡石平にある「鏡石」、「姥石」は、かつて立山が女人禁制の巣山であったことを示し、さらに弥陀ヶ原から天狗平へ抜ける道の途中には、「役の行者」の石像や不動明王、弘法大師や地蔵石仏などが安置され、その辺りが立山修験の一大行事だったことをたどり出ています。立山を歩くことにより、立山の歴史と出会えます。

立 山黒部アルペンルート  
3,000m級の峰々が連なる日本の屋根北アルプスをつらぬき、北陸富山と信濃大町を結ぶ、延々90kmに及ぶ山岳観光ルートです。

●春の立山は雪の大谷が見どころ。高さ20m近くにもなる雪の壁の間を散策することができます。

●夏は涼しく、心地よい風に吹かれながらの登山は最高です。運が良いと雷鳥の親子と出会えるかも？

●秋は紅葉の季節。立山の紅葉は、標高差があるために9月中旬から11月上旬と長い間、色鮮やかな紅葉を見ることができます。

●冬の新雪が岩肌や樹林の枝の先々まで全てを柔らかく包み、立山を再び静寂の世界へと導きます。

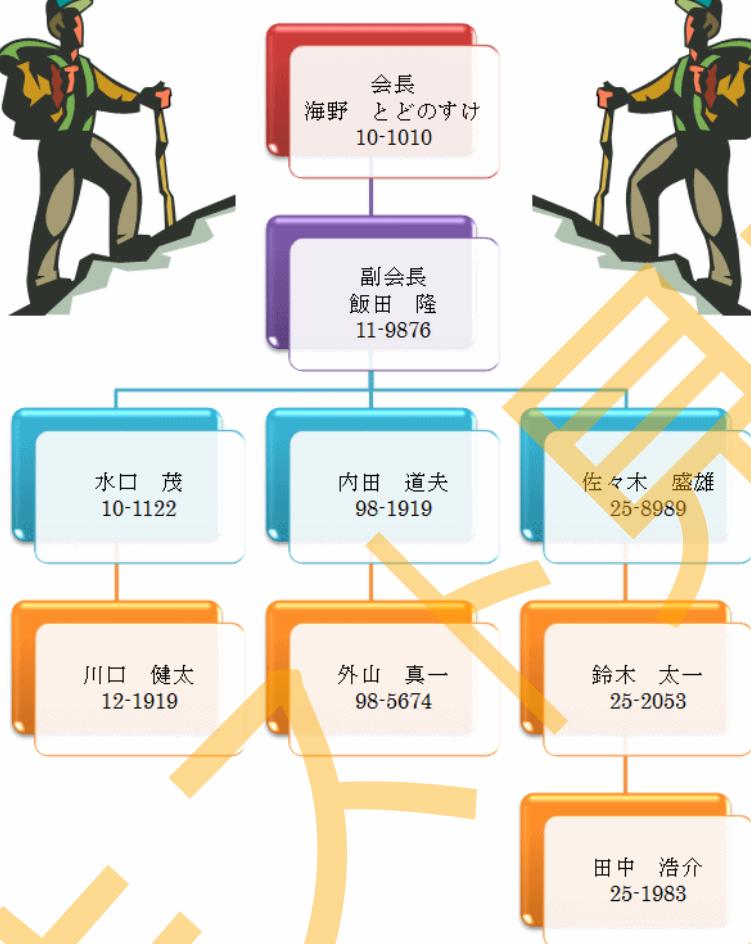
黒 部ダムを知る  
黒部の谷と言えば、昔は登山者以外入山しない秘境でした。しかし今では誰もが容易に観光する事が可能になり、現在では幅広い年齢層の観光客が毎年100万人以上黒部ダムを訪れてています。その建設は世紀の大事業として語り継がれ、中でも破砕帯との相間は石原裕次郎主演の映画「黒部の太陽」に描かれたことでも有名です。大迫力の放水や、巨大建造物としての存在感以外にも、黒部ダムには興味深い歴史がいっぱいです。

立山・黒部ツアーアイ

(来年の6月出発予定)

●連絡網

立山・黒部を歩こう会  
連絡網



## 目 次

<b>1. ワード I の確認</b>	<b>1</b>
(1) このテキストのあらすじ	2
(2) ページ設定	4
(3) 文字入力	5
(4) 画像の挿入	6
(5) 表の挿入	7
 <b>2. 図形を描く</b>	 <b>8</b>
(1) 図形の描き方	8
① 基本図形を描く	8
② 図形の選択と解除	16
③ 図形の削除	21
(2) 文書に図形を挿入	22
① 図形の挿入	22
② 図形の塗りつぶしの色の設定	25
③ 図形の枠線の設定	34
④ 図形の効果の設定	40
⑤ 図形のコピーと移動	42
⑥ 図形の拡大／縮小	45
⑦ 図形の左右反転	47
⑧ 図形の回転	51
⑨ 複数の図形のグループ化	53
⑩ クリップアート（イラスト）の挿入	56
⑪ テキストボックスの作成	59
⑫ テキストボックスのスタイルの設定	63
 <b>3. 段落の書式設定2</b>	 <b>66</b>
(1) 段落の選択方法	66
① 1段落だけを選択する	66
② 複数段落を選択する	67
(2) 行間隔の変更	68
(3) インデントの設定	70
① ルーラーとインデントマーカー	70
② インデントの設定例	71
③ インデントの設定	78
(4) 箇条書き	83
① 箇条書きの設定	83
② 行頭文字の変更	85
(5) タブ設定	89
① タブマーカーの種類	89
② タブの設定	97
③ タブリーダーの設定	100
(6) 箇条書きの位置を変更する	103

## 4. その他の編集 ..... 108

(1) ヘッダーとフッター .....	109
① ヘッダーとフッターの挿入 .....	109
② ヘッダー／フッターツールについて .....	111
③ ヘッダーとフッターの切り替え .....	112
④ ヘッダーとフッターの領域の調整 .....	114
⑤ ヘッダーに日付を挿入する .....	115
⑥ フッターにページ番号を挿入する .....	119
⑦ ヘッダーとフッターを閉じる .....	122
(2) 透かしの設定 .....	123
(3) 書式のコピー・貼り付け .....	129
(4) 図の書式設定 .....	133

## 5. その他の書式設定 ..... 136

(1) 復習問題 .....	137
① ページ設定 .....	137
② 文字入力 .....	137
③ 段落罫線を引く .....	137
(2) 画像の挿入 .....	138
① 写真の画像を挿入する .....	138
② ワードアートの挿入 .....	142
(3) 段組みの設定 .....	143
① 段組みの設定 .....	143
② 文字の入力 .....	148
③ 段区切りの設定 .....	148
(4) ドロップキャップ .....	152
① ドロップキャップを設定する .....	152
② ドロップキャップのサイズ変更 .....	157
(5) 画像の挿入 .....	160
(6) 割注を設定する .....	161
① 割注の設定 .....	161
② 文字の大きさを調整と配置 .....	164

## 6. 連絡網の作成 ..... 166

スマートアート	
(1) SmartArtグラフィックの挿入 .....	167
(2) 階層の形状の変更 .....	171
① 図形の追加 .....	172
② 図形の削除 .....	177
(3) 挿入した図形に文字を入力 .....	178
スマートアート	
(4) SmartArtのサイズ変更 .....	184
スマートアート	
(5) SmartArtの色の変更 .....	186
スマートアート	
(6) SmartArtのスタイルの変更 .....	188
(7) クリップアートの挿入 .....	190

## 補足説明

●次の「ワードⅢ」でできること.....	193
●その他のワードテキストでできること.....	193
●ショートカットキーやテキスト以外の操作方法、補足説明.....	194
●P11 描画キャンバスについての補足説明 .....	195
●P15 図形の種類.....	196
●P15 フリーフォームの描き方 .....	197
●P28 グラデーションの種類と方向について .....	198
●P32 グラデーションの分岐点の補足説明 .....	198
●P33 図形の塗りつぶしの補足説明.....	199
●P41 図形の効果の補足説明 .....	202
●P52 図形の最前面・最背面 .....	203
●P52 図形についての補足説明 .....	204
●P62 テキストボックスについての補足説明 .....	205
●P69 行間についての補足説明 .....	206
●P81 縦書き文書のインデント設定 .....	206
●P86 [新しい行頭文字の定義] ダイアログボックスの補足説明 .....	207
●P96 その他のタブについて .....	208
●P102 縦書き文書のタブ設定 .....	214
●P107 箇条書きについての補足説明 .....	215
●P107 その他の文章の編集方法.....	216
●P128 透かしについての補足説明.....	217
●P135 [明るさ] と [コントラスト] .....	218
●P140 画像の挿入についての補足説明 .....	219
●P147 段組みの解除方法 .....	220
●P147 セクション区切りの種類 .....	221
●P165 拡張書式についての補足説明 .....	221
●P182 <u>スマートアート</u> に文字を直接入力する.....	222
●クイックアクセスツールバーにボタンを追加・削除する .....	225
●リボンの最小化を元に戻す .....	227
●テキストの手引き .....	228
●索引 .....	232



## 1. ワードⅠの確認

ワードⅠは、ご理解いただきましたか？

ワードⅡは、ワードⅠより少々難しい内容ですが、同じ学習方法で進んでいただければ、ご心配はいりません。

ワードⅡの学習に進む前に、ワードⅠの復習を兼ねてP4からの操作をお試しください。

途中でつまずいた方は、もう一度、ワードⅠの復習と練習問題をしてから、再度ワードⅡの学習を始めてください。

1. ワードⅠの確認では、ワードⅠの中から、いくつか要点だけを抜粋して、操作方法が理解できているかどうかを確認します。



ケンちゃん

今から新しいことを習うのに、どうしてワードⅠの内容から入るの？



くじら先生

ワードⅡといつても、今まで習ってきたことの継続だと思ってください。ワードⅠで覚えたワードの使い方も必要になります。



ウメさん

まずは、今まで習ったことの復習をするね。  
ちゃんと覚えているか不安だわ…  
大丈夫かしら？

くじら先生「ウメさん！大丈夫ですよ。  
ここだけの話ですが、あなただけにパソコン習得の秘訣をお教えします。  
それは、『諦めないこと』ただそれだけで十分です。簡単でしょう。  
焦らずにコツコツとじっくり取り組んで、できなかった場合は、元に戻って復習しましょう。そうすれば、ウメさんもパソコンの達人になります。」

ウメさん「そうね！悩んでないでがんばってみるわ！」

くじら先生「テストというわけではないので、分からなければ、ワードⅠのテキストを見て、復習してもいいですよ。」

ケンちゃん「それを聞いて安心したよ。テストは苦手で…」

くじら先生「今から作成する文書も、最終的には新しく覚える機能を使って、大変身しますから、楽しみにしてください！」

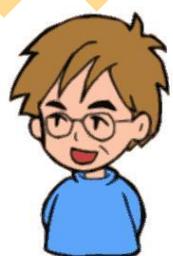
## (1) このテキストのあらすじ

ワードⅡのテキストでは、まずワードⅠの復習として案内状「秋の天体観測」を作成していただき、「会報特別号」、「連絡網」を1つずつ順番に作成します。

だんだん難しくなっていきますが、1つ1つの積み重ねでどんどん成果物を作っていくことができます。このテキストを順に読み進めていただければ、成果物を作り上げる過程で、日常生活においてワードをお使いいただくために必要な機能を自然に覚えていただけると思います。難しそうと思われるかもしれません、このテキストは中高年の方のためにわかりやすく、やさしく書いていますから安心して読み進めていきましょう。テキストを読み進めていただくうちに、どうしてこんな機能を覚えなければいけないの?と疑問に思われた場合は、目次とともにこのあらすじも読み直してください。

### ●テキストの流れ

この操作は、何のために行うのかをよくあらすじを読んで確認しておきましょう。



#### 1. ワードⅠの確認「秋の天体観測」を作成

落ち着いてワードⅠで習ったことを思い出して、がんばって作ろう!



#### 2. 「秋の天体観測」に図形を挿入

今回は、○や△などの基本的な図形を利用するね。



#### 3. 「秋の天体観測」の段落書式を変更する

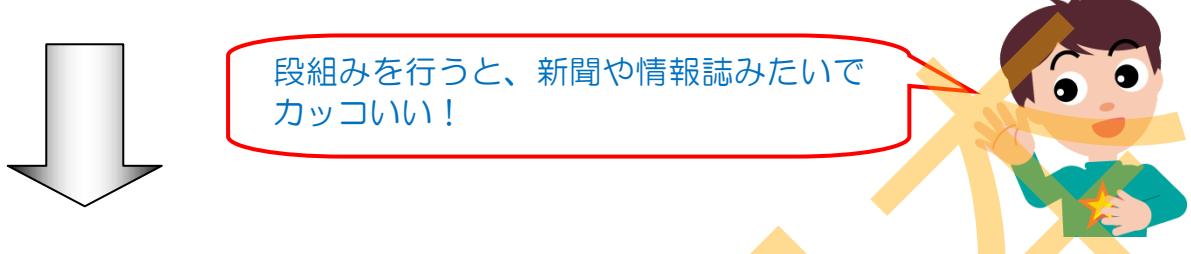
段落を1文字分ずらすと、すごく整理されて見やすくなるね。



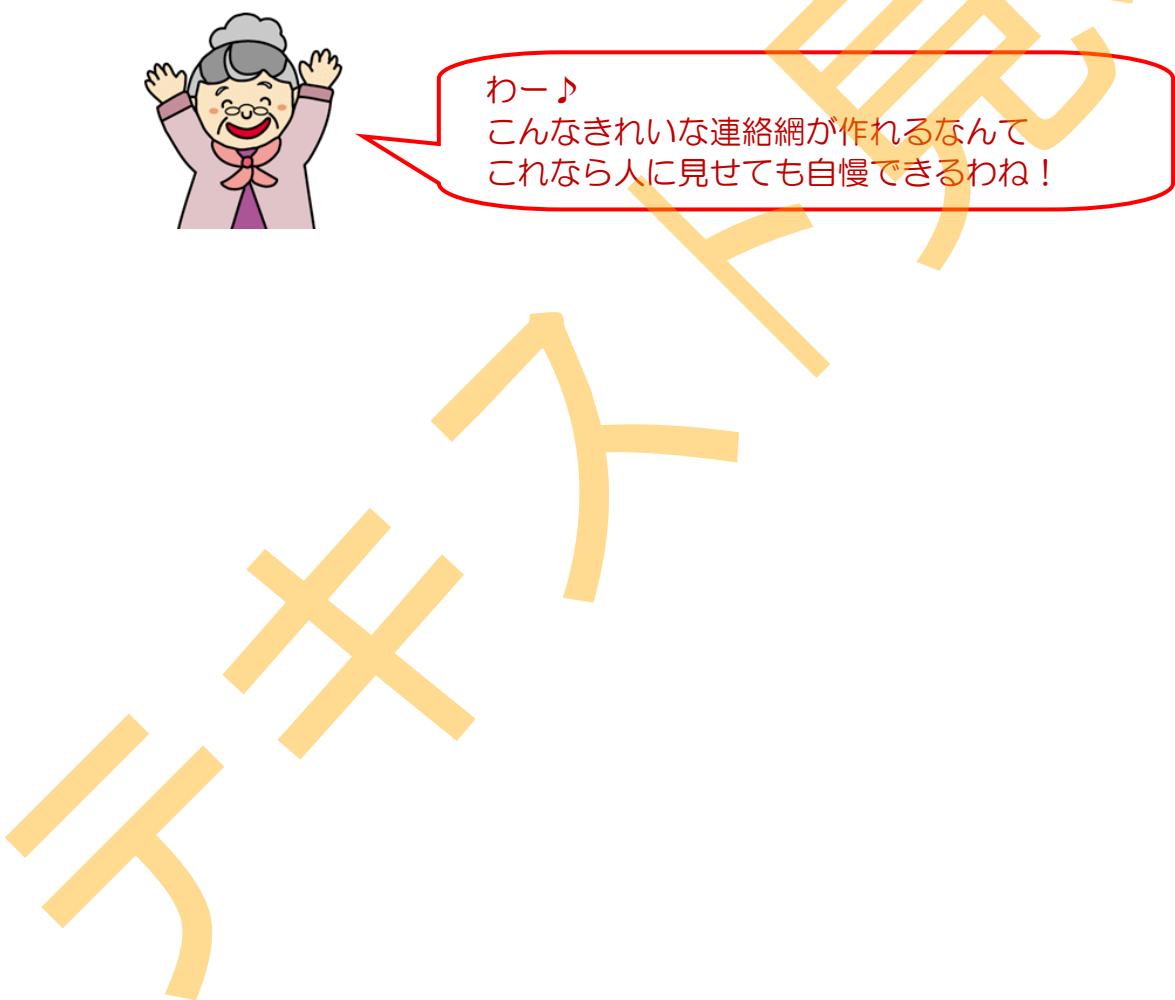
#### 4. ページ番号や透かしを挿入する



#### 5. 「会報特別号」を作成する



#### 6. 立山・黒部を歩こう会「連絡網」の作成



## (2) ページ設定

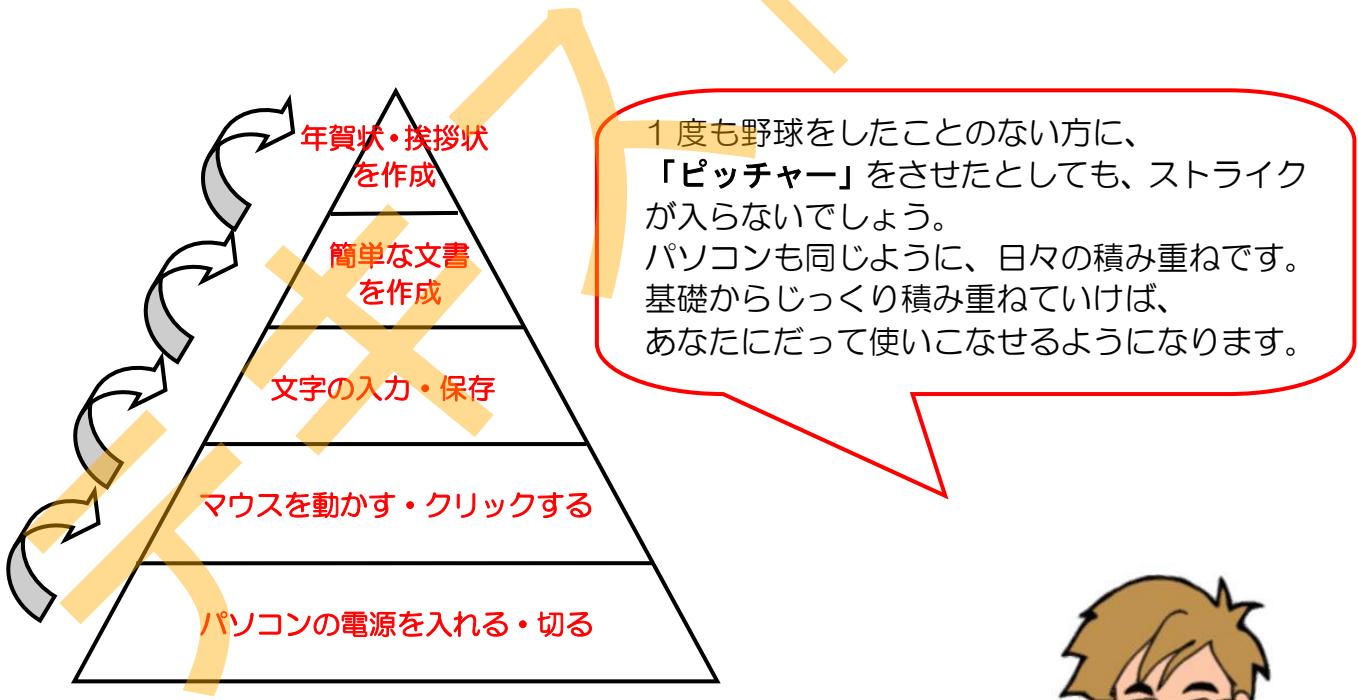
ワードは、文書を作成するためのアプリケーションソフトであることは、ご理解いただいていると思いますが、「今から年賀状を作成するぞ」と思っても、画面上にA4サイズの用紙が表示されていたのでは、年賀状の作成はできません。「暑中見舞い」、「案内状」も同様です。作成したい文書がすべてA4用紙で、横書きであればいいのですが…。そこで、まずは文字を入力する前に、「ページ設定」の復習をしてみましょう。

新しい文書を開き、下のようなページ設定をしましょう。

- 用紙サイズ：A4
- 印刷の向き：縦
- 文字方向：横書き
- 余白：上下15mm 左右20mm

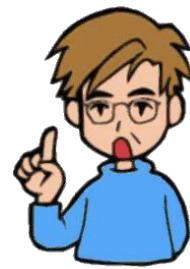
どうでしょうか？ できた方は次の（3）文字入力に進んでください。  
できなかった方は、ワードIに戻って復習が必要です。

次に進むのは簡単です。でも後戻りするには勇気が必要です。  
勇気を出してワードIに戻り、マスターしてから進みましょう。  
焦らずにじっくり取り組んで自分のものにしていきましょう。



### (3) 文字入力

ここで注意することは、「段落」という単位が理解できているかどうかです。では、段落に気をつけて文字を入力してみましょう。



以下の注意点に気をつけながら、ページ設定した文書に次のように文字を入力しましょう。

#### ●注意点

- ・日時の段落にある「□」に見えるところはスペース（空白）を入力してください。
- ・○で囲んでいる部分のみ改行してください。（1行に入る文字数の関係でテキストと同じ位置で行が替わるとは限りません。）
- ・文字の大きさはすべて 12pt とします。
- ・8 行目～10 行目の「日時」、「場所」、「備考」に 3 文字分の均等割り付けをしてください。
- ・13 行目の「申し込み用紙」を中央揃えに設定しましょう。

秋も一段と深まってまいりました。このたび、「立山・黒部を歩こう会」では、イベント第2弾として、家族で楽しめる『秋の天体観測大会』を下記の日程で開催いたします。ご家族と一緒に秋の夜長をゆっくりとお楽しみください。また、望遠鏡をお持ちの方は、ぜひご持参ください。なお、夜間の開催となりますので、お子様は保護者同伴でお願いいたします。

日 時 10月28日（日）□19時～22時

場 所 くじら山町民グランド

備 考 悪天候で中止の場合、こちらからお電話にてご連絡いたしますので、必ず申し込み用紙に電話番号のご記入をお願いいたします。

申し込み用紙

すべての文字が入力できたら、リムーバブルディスクに「秋の天体観測」という名前で保存しましょう。

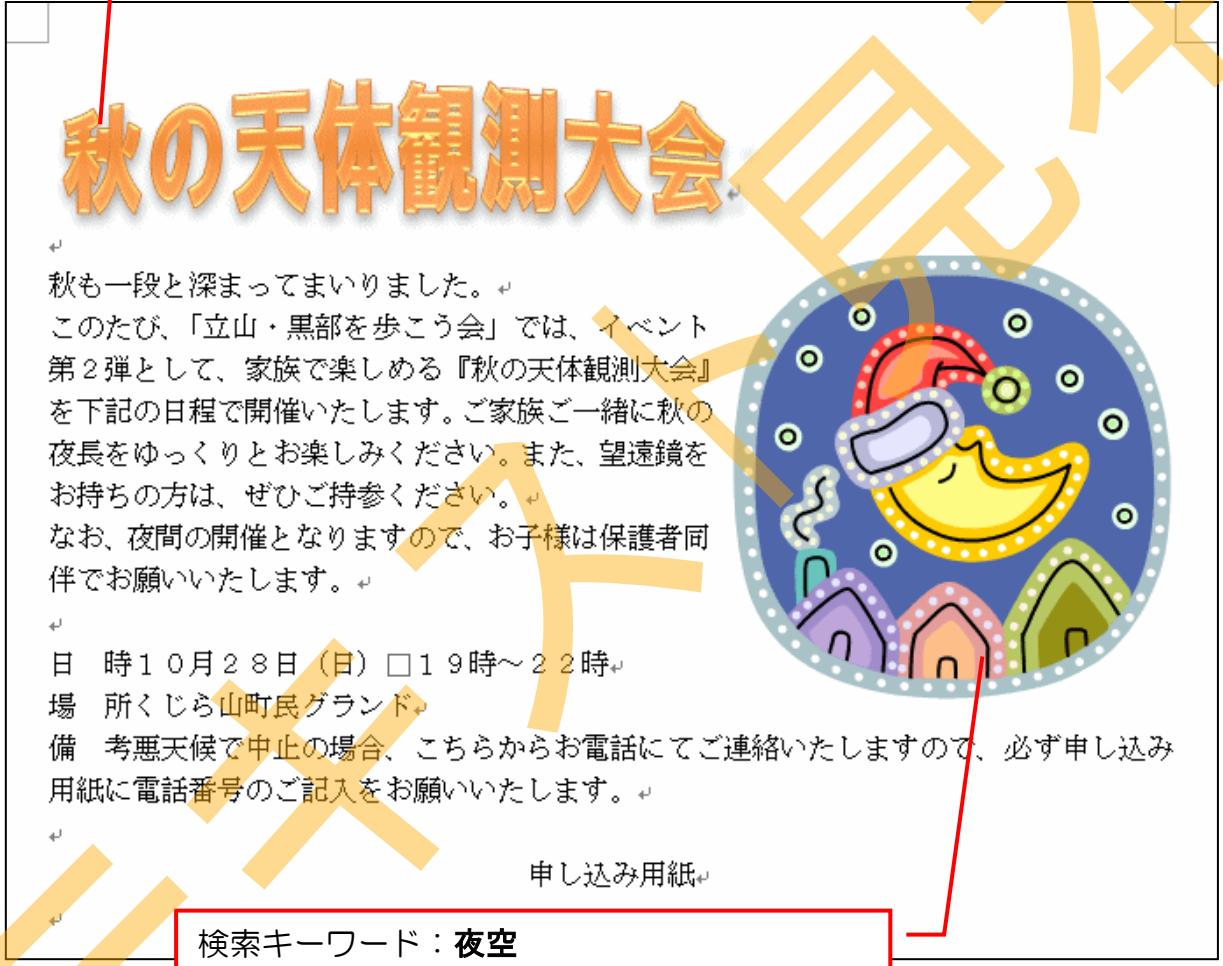
上と同じように入力し、保存できた方は、(4) 画像の挿入に進んでください。入力できなかった方は、ワード I のテキストを確認し、練習問題で復習しましょう。

## (4) 画像の挿入

ワードアートとクリップアートを挿入し、挿入した画像の書式設定、文字列の折り返しが設定できるかどうかを確認しましょう。

(3) で作成した文書に下のようなワードアートとクリップアートを挿入しましょう。

ワードアートのスタイル：  
塗りつぶし-オレンジ、アクセント6、面取り（つや消し、明るめ）  
フォント：HG創英角ゴシック UB  
フォントサイズ：36pt  
文字列の折り返し：上下  
ワードアートの変形：上凸レンズ



秋の天体観測大会

秋も一段と深まってまいりました。このたび、「立山・黒部を歩こう会」では、イベント第2弾として、家族で楽しめる『秋の天体観測大会』を下記の日程で開催いたします。ご家族と一緒に秋の夜長をゆっくりとお楽しみください。また、望遠鏡をお持ちの方は、ぜひご持参ください。なお、夜間の開催となりますので、お子様は保護者同伴でお願いいたします。

日 時 10月28日（日）□19時～22時

場 所 くじら山民グランド

備 考 悪天候で中止の場合、こちらからお電話にてご連絡いたしますので、必ず申し込み用紙に電話番号のご記入をお願いいたします。

申し込み用紙

検索キーワード：夜空  
文字列の折り返し：四角  
※サイズと配置は図を参考にしてください。

できましたか？ 上のように完成した方は、上書き保存し、(5) 表の挿入にお進みください。できなかった方は、ワードIのテキストを確認し、練習問題で復習しましょう。

## (5) 表の插入

この段階では、表に対しての書式設定ができるか、段落罫線が引けるかを確認します。  
注意してほしい点は、表のスタイルの設定とセル内の文字の配置です。

(4) で作成した文書の最終行の下に下図のような表を挿入しましょう。



秋も一段と深まってまいりました。

このたび、「立山・黒部を歩こう会」では、イベント第2弾として、家族で楽しめる『秋の天体観測大会』を下記の日程で開催いたします。ご家族ご一緒に秋の夜長をゆっくりとお楽しみください。また、望遠鏡をお持ちの方は、ぜひご持参ください。

なお、夜間の開催となりますので、お子様は保護者同伴をお願いいたします。

日 時 10月28日（日）□19時～22時

場 所くじら山町民グランド

備 考悪天候で中止の場合、こちらからお電話にてご連絡いたしますので、必ず申し込み用紙に電話番号のご記入をお

氏名	□
参加人数	子供□ 大人□
電話番号	□
備考	□

「申し込み用紙」の2行下に表を作成します。

表の挿入：2列4行

表のスタイル：[表スタイルのオプション] で  
「縞模様(列)」のみにチェックを入れ、  
「表(オレンジ)3」を適用

「大人」のセルの塗りつぶし：色なし

「氏名」、「備考」：4文字分の均等割り付け

1列目の文字の配置：上揃え(中央)

表の外枠：オレンジ、アクセント6の1.5ptの実線

「備考」の上の罫線：オレンジ、アクセント6の二重線

表全体の配置：中央揃え

ここまで出来れば  
次の段階にお進みください。

できましたか？ 上のように完成した方は、上書き保存し、ワードを終了しておきましょう。  
できなかった方は、ワードIのテキストを確認し、練習問題で復習しましょう。

## 2. 図形を描く

### 活用法は無限大！超便利な図形！！

ケンちゃん「先生。ワードで図形を利用する機会なんてあるの？」



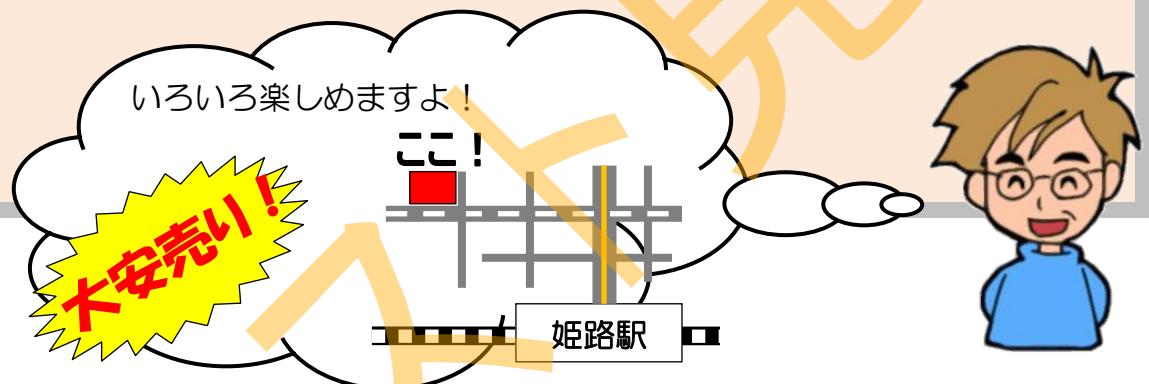
ウメさん「私って絵心ないからねえ…クリップアートで十分じゃない？」

くじら先生「ここでいう図形というのは、例えばチラシなどでよく見る爆発したようなギザギザや吹き出しなどのことをいいます。」

ウメさん「それは文字を目立たせたい時にすごく便利かも！絵心がなくても大丈夫なのね！！」

くじら先生「それと、図形を上手に組み合わせると地図も作れますよ！」

ケンちゃん「うわー！地図まで作れるとはすごいねー！！」



ワードⅠでは、ワードアートやクリップアート、表を挿入しました。

ここでは、丸や三角、四角などの図形を描いて、基本的な図形の扱いに慣れていきましょう。

#### (1) 図形の描き方

##### ① 基本図形を描く

図形を挿入するには、【挿入】タブを使います。【挿入】タブとは、図形や表などを文書内に挿入する際に利用するタブで、画面左上にある【挿入】タブをクリックすると画面上に表示されるグループやボタンの内容が変わります。

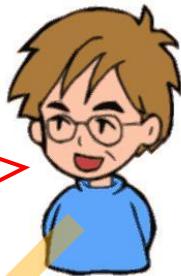
##### ■ 【挿入】タブ





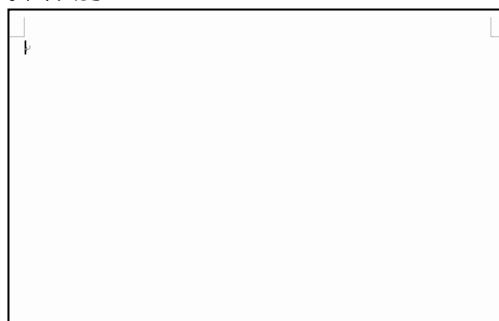
さっそく図形を入れてみよう！

ちょっと待ってください！  
図形には色々な種類や設定があるので、  
まず新しい文書に図形を描いてみて、扱いに慣れてから本番に行きましょう♪

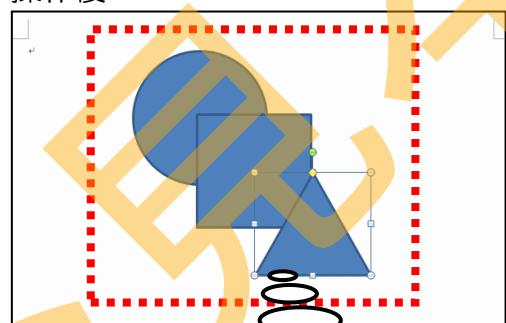


## ◆図形を描く方法をマスターしましょう。

操作前



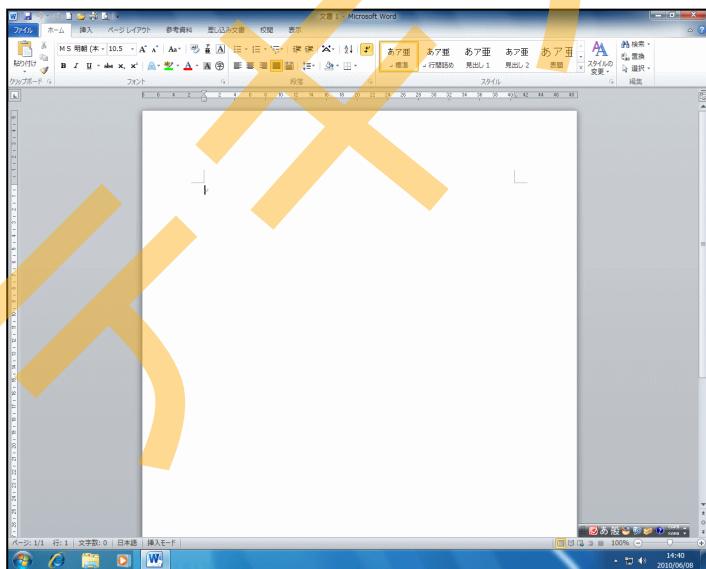
操作後



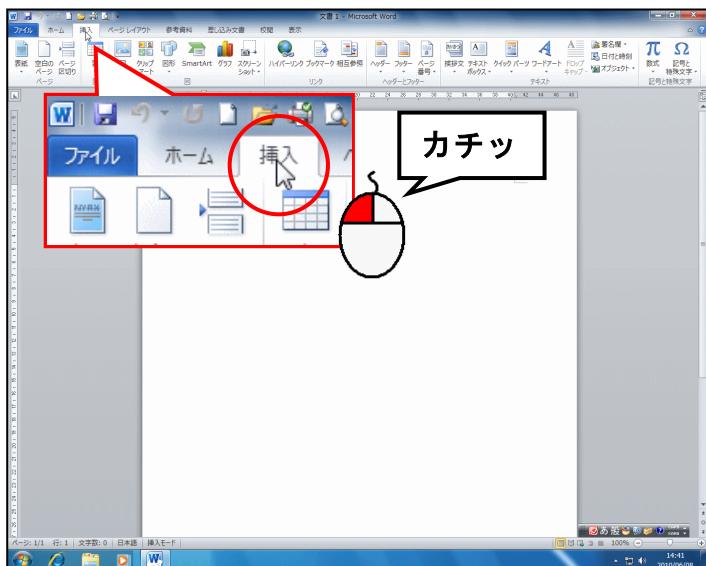
新しい文書に図形が  
描かれました

●まずは、図形の「円」を描いてみましょう。

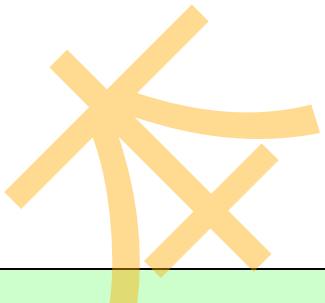
ワードを起動します。



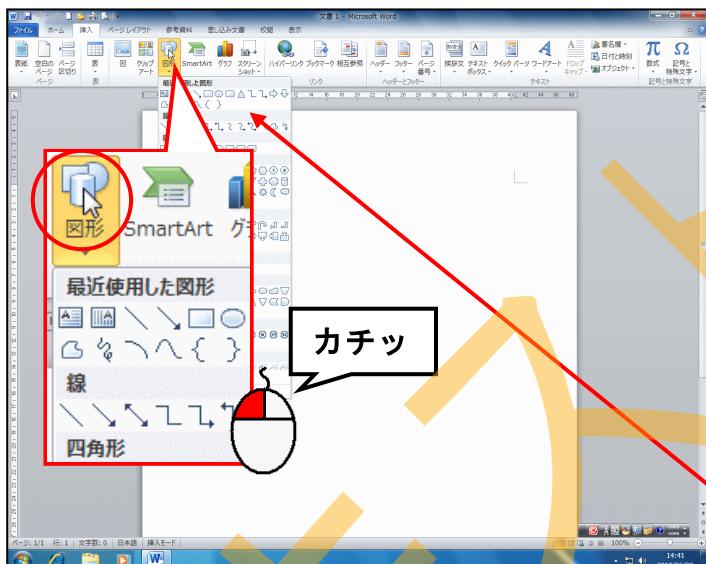
[挿入] タブにポイントし、そのままクリックします。



● [挿入] タブをクリックすると、グループ、ボタンの内容が変わります。



[図形] ボタンにポイントし、そのままクリックします。

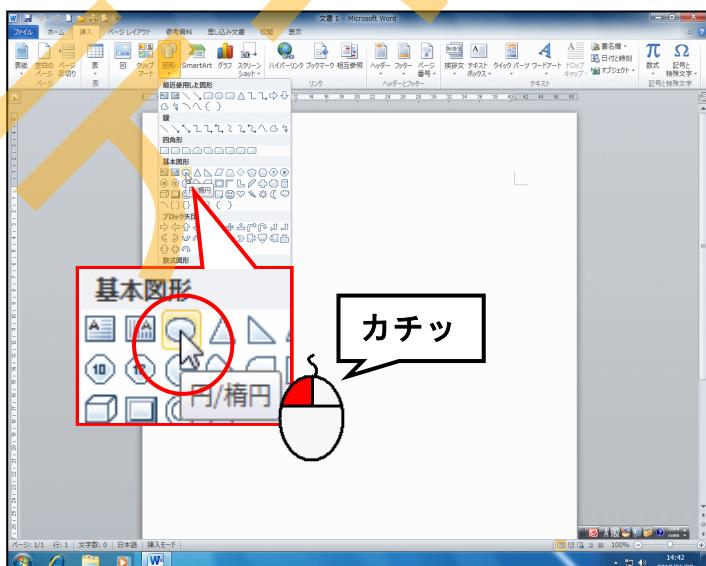


● リボンが表示されていない方は、P227 リボンの最小化を元に戻すを参考してください。  
(下記のような状態の方)



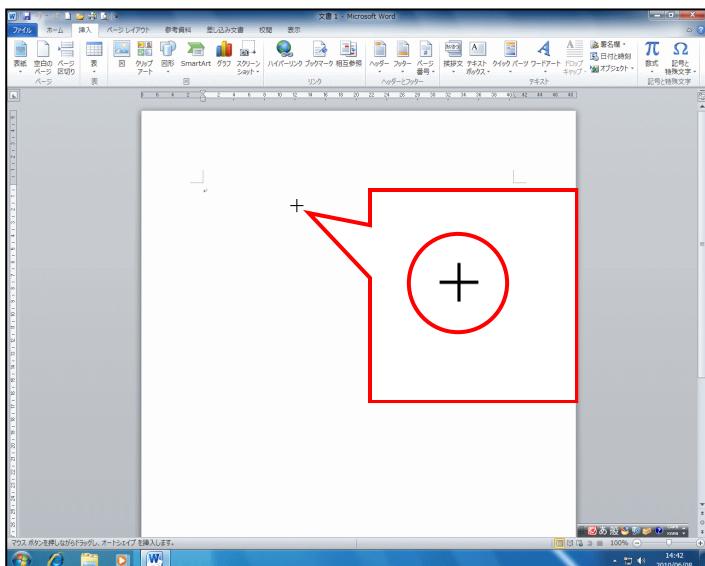
● [図形] ボタンをクリックすると、左のように描くことができる图形の一覧が表示されます。

表示された图形一覧の [基本图形] にある ○ 「円／橙円」にポイントし、そのままクリックします。

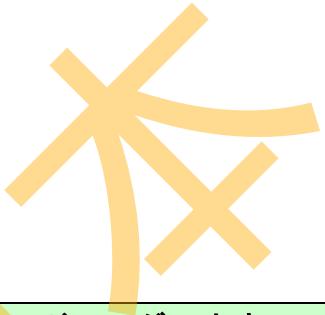


● 図形一覧の [最近使用した图形] に ○ 「円／橙円」があれば、そちらをクリックしていただいても大丈夫です。

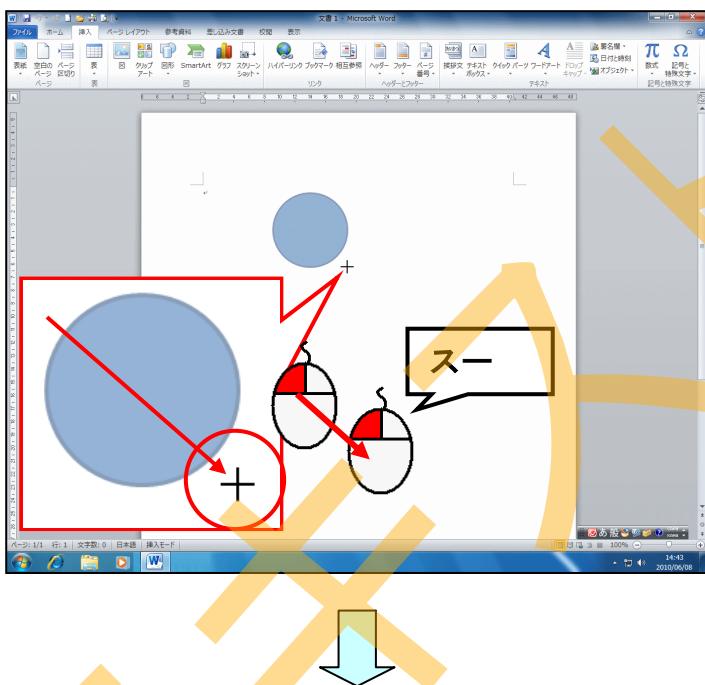




- ○ 「円／橢円」をクリックし、マウスポインターを文書内に移動すると+の状態になります。



マウスポインターが+になっていることを確認して、右下に向かってドラッグします。



- 左ボタンを押した位置が図形を描く時の始点（描く図形の左上）、左ボタンを離した位置が図形の終点（描く図形の右下）になります。

余裕があれば読んでね

- まんまるな円や正方形を描きたい場合は、[Shift] キーを押した状態でドラッグします。

注意!

- ドラッグせずにクリックしてしまうと、既定の大きさで描かれてしまいます。

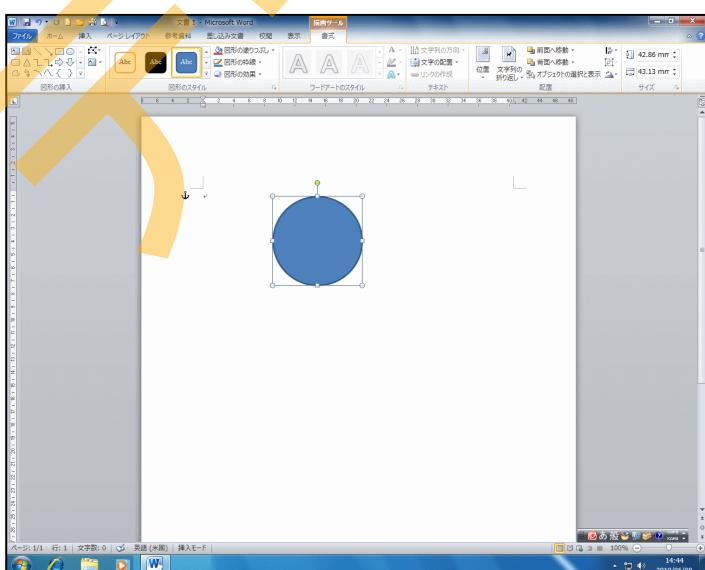


余裕があれば読んでね

- 複数の図形を一度に編集する時は、描画キャンバスというスペースを利用すると便利です。

描画キャンバスについての補足説明

P195





## 図形を描いた後の注意点

図形を描いた場合、その直後はクリップアートやワードアートを挿入した時と同じく、描かれた図形は選択された状態になっています。選択された状態とは、図形の周りに「**サイズ変更ハンドル**」といわれる○や□が表示された状態のことをいいます。

また、ワードアートを挿入した時と同様に「コンテキストツール」である描画ツールの【書式】タブが選択されていることに注意してください。

(描画ツールの [書式] タブについては、P25 から説明しています)

## ■ 描画ツール [書式] タブ (図形やワードアート挿入時に表示される)



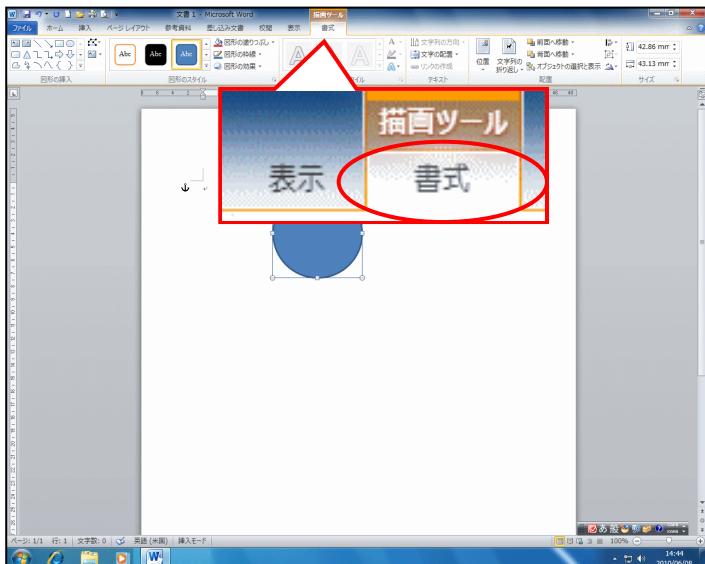
クリップアートを挿入した時は、図形やワードアートを挿入した時とは違い、図ツールの「書式」タブが表示されます。

■ 図ツール [書式] タブ（クリップアートや図（写真）挿入時に表示される）



● 次に「円」に重なるように「四角形」を描いてみましょう。

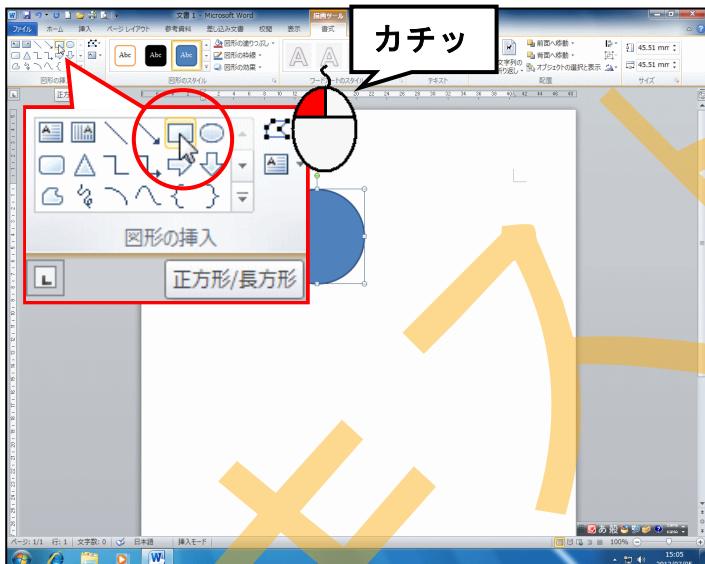
描画ツールの【書式】タブが選択されていることを確認します。



● 【書式】タブが表示されていない場合は、描いた円の中をクリックしてから【書式】タブをクリックして選択しましょう。

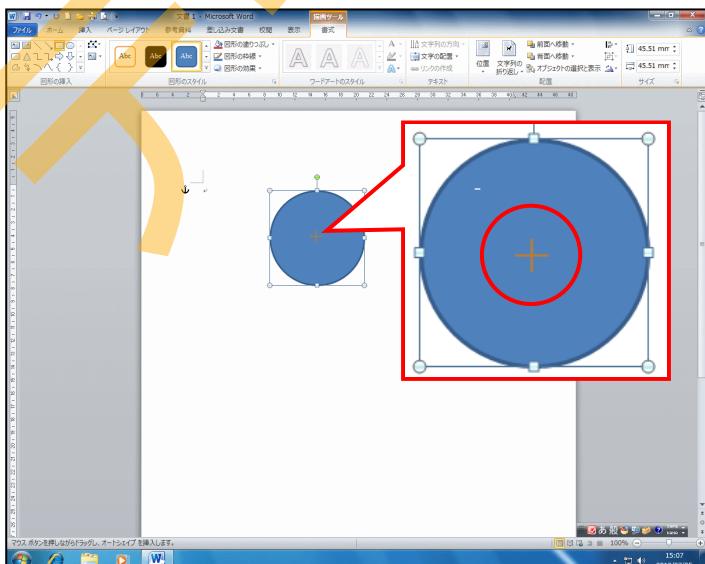


【図形の挿入】グループ内の□「正方形／長方形」にポイントし、そのままクリックします。

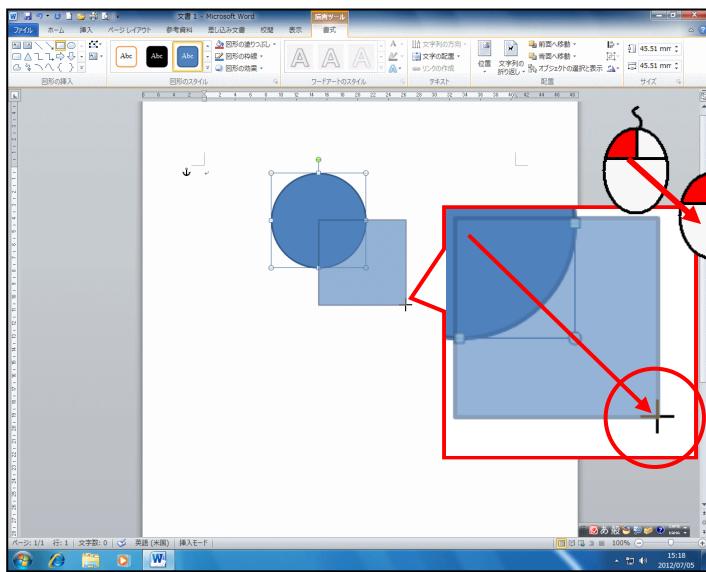


● 円を描いた時のように、【挿入】タブから描くこともできます。

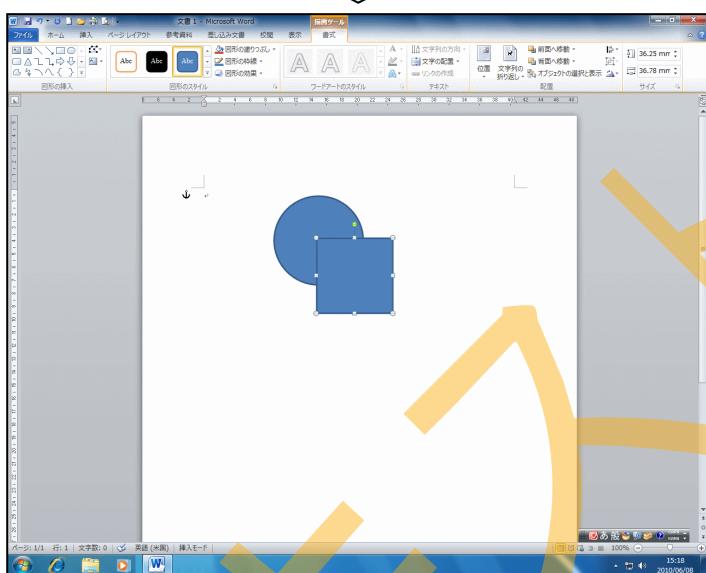
円の中央付近にマウスポインターを移動します。



マウスの左ボタンを押したまま、右下に向かってドラッグします。



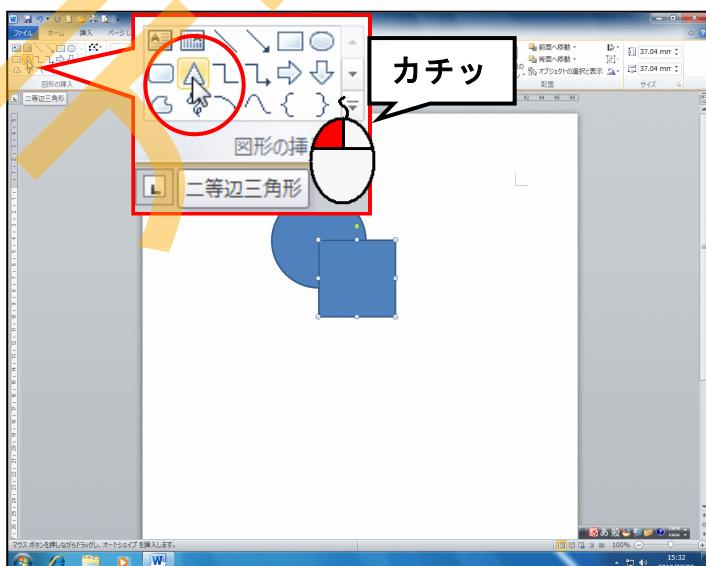
スー



本  
日

●同様にして「四角形」に重なるように「三角形」を描いてみましょう。

【図形の挿入】グループ内の △「二等辺三角形」にポイントし、そのままクリックします。

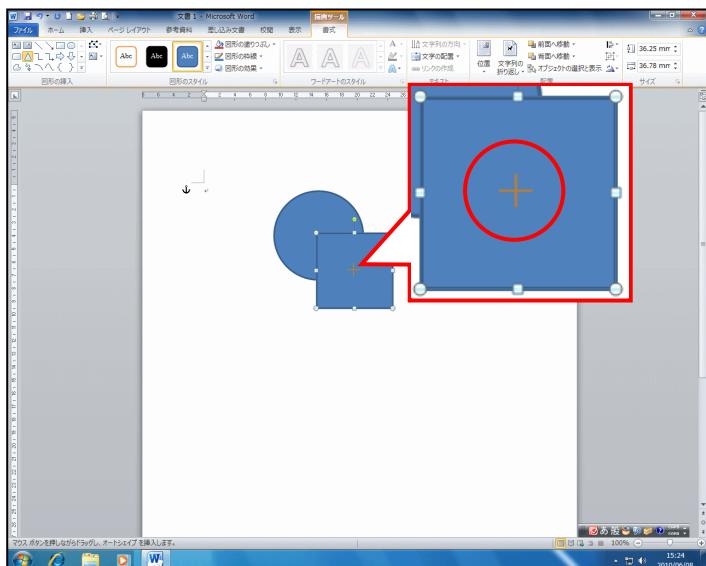


注意!

●描画ツールの【書式】タブが選択されていることを確認します。

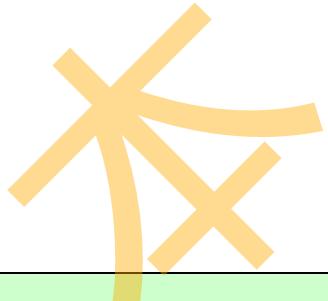
【書式】タブが表示されていない場合は、描いた四角形の中をクリックしてから【書式】タブをクリックして選択しましょう。

四角形の中心付近にマウスポインターを移動します。

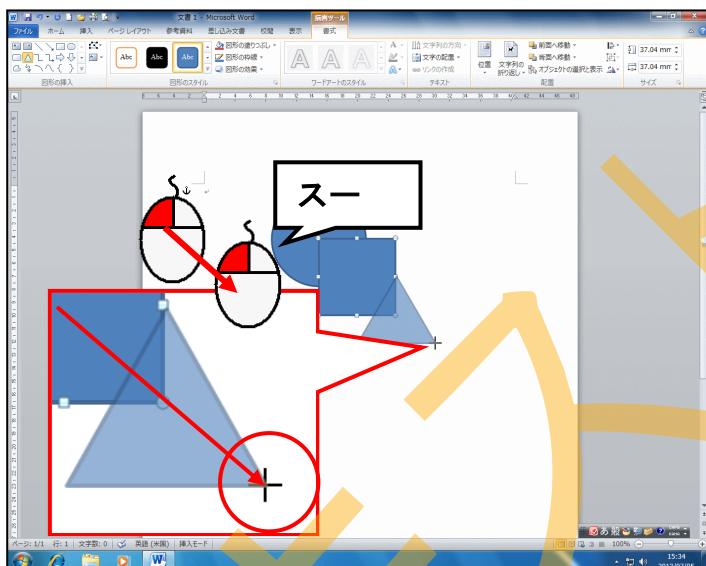


余裕があれば読んでね

- 円を描いた時のように、[挿入] タブから描くこともできます。

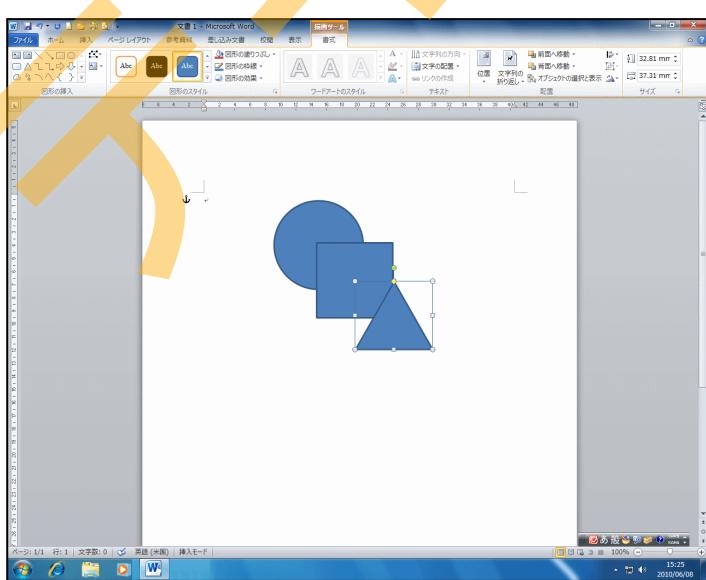


マウスの左ボタンを押したまま、右下に向かってドラッグします。



余裕があれば読んでね

- マウスの左ボタンを押した位置を中心にして図形を描きたい場合は、[Ctrl] キーを押した状態でドラッグします。



図形の種類

P196

フリーформの描き方

P197

## ② 図形の選択と解除

図形にも書式を設定したり、コピーや移動をしたりすることができます。これらの操作を行うには、図形を選択する必要があります。

図形の選択方法と選択解除方法について説明します。

### ■図形の選択

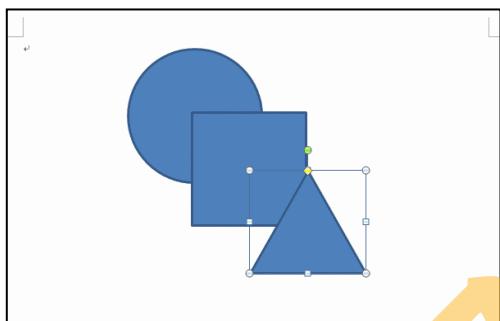
描いた図形の色や線の太さなどを変更する場合は、これから「どの図形」に対する操作を行なうのかということをパソコンに教えてあげる必要があります。このことを図形の選択といいます。

描いた直後の図形は、すでに選択された状態になっています。

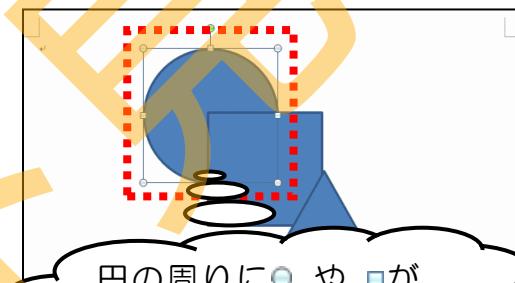
● 「円」を選択してみましょう。

#### ◆図形の選択方法をマスターしましょう。

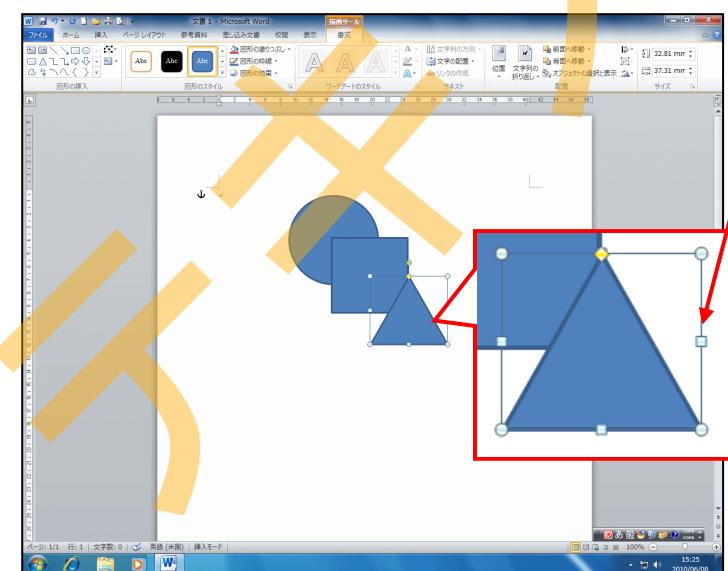
操作前



操作後

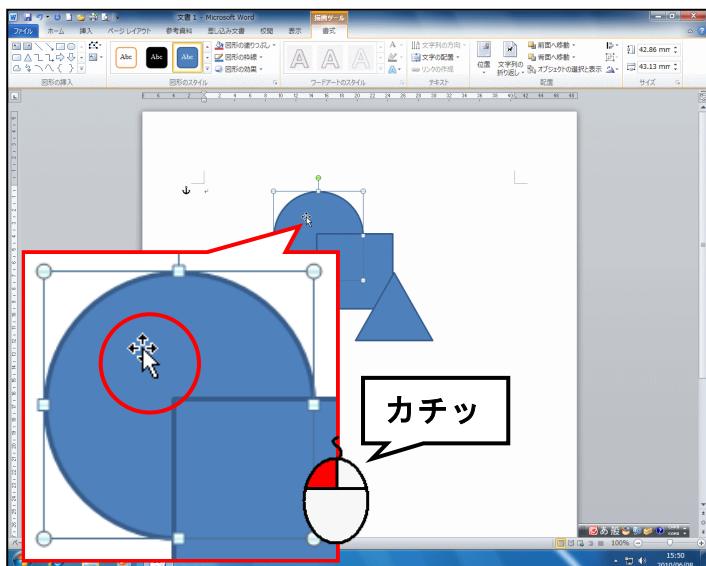


画面上では、下のようにすでに「三角形」が選択された状態になっているので確認しましょう。



●図形の周りに ● や □ (サイズ変更ハンドル) が表示された状態が選択された状態です。

「円」にポイントし、マウスポインターが  の状態でクリックします。



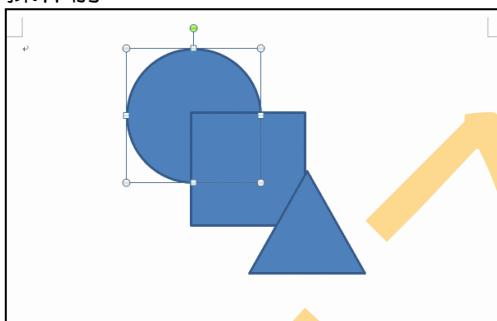
● 図形にポイントすると、マウスポンターが  の状態になります。

● クリックすると、クリックした図形だけが選択されます。  
これまで選択されていた三角形の選択は解除されます。

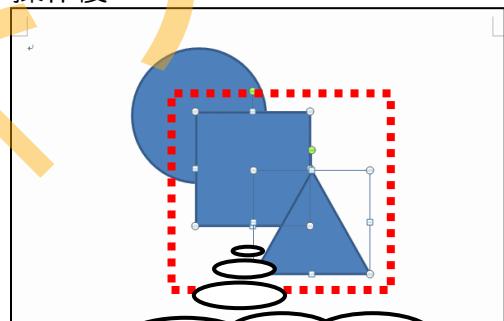
● 「四角形」と「三角形」を同時に選択してみましょう。

◆ 複数の図形を同時に選択する方法をマスターしましょう。

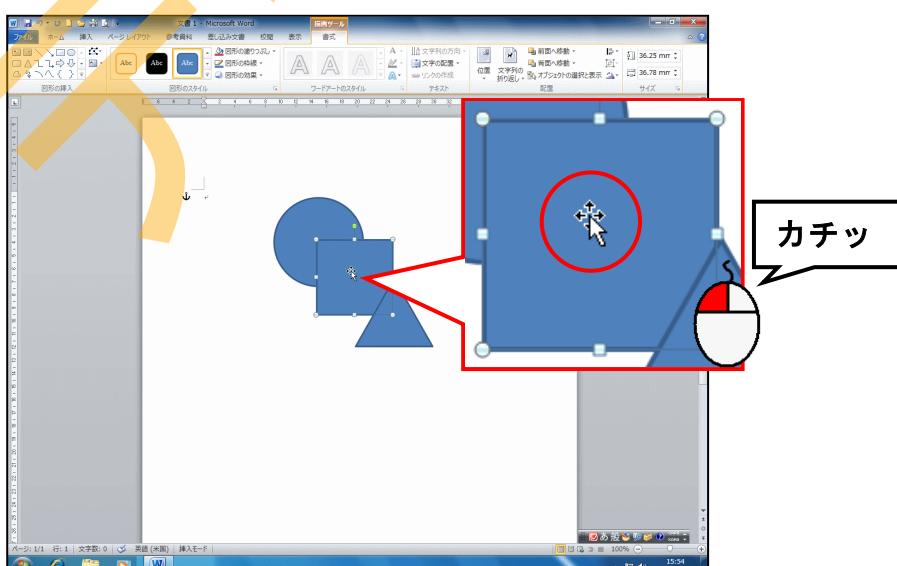
操作前



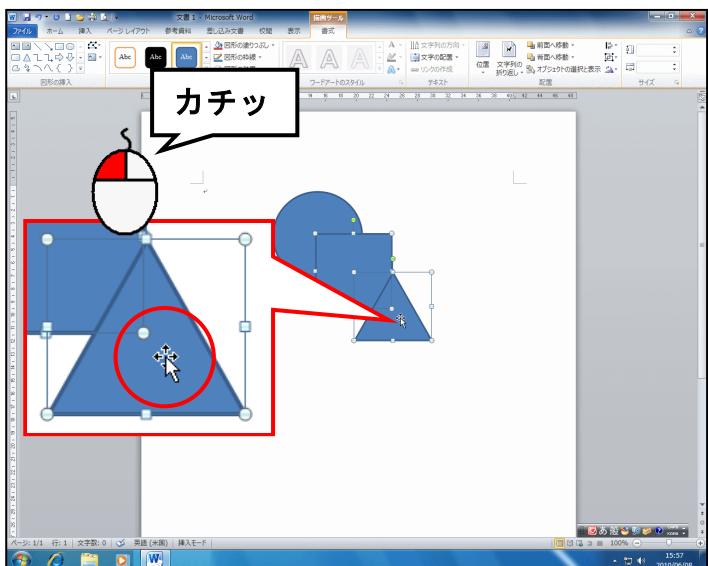
操作後



四角形をクリックして、図形を選択します。



「四角形」を選択した状態で [Shift] キーを押しながら、「三角形」にポイントしクリックします。



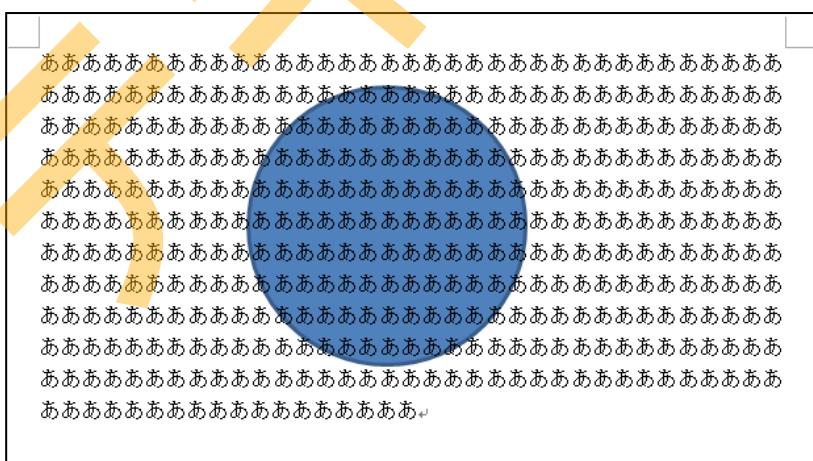
## 注意！

- [Shift] キーを押した状態でクリックしないと、四角形の選択が解除されてしまいます。
- [Ctrl] キーを押した状態でクリックしても、複数選択できますが、図形がコピーされてしまう場合があります。

### ご参考までに

下図のように図形の文字列の折り返しを背面に設定した場合（図形は描いた直後、通常文字列の折り返しが前面になっています）、図形を選択しようとしてもマウスポインターが<sup>＊</sup>にならず、選択するのが困難になります。このような時は、【ホーム】タブの右端にある【編集】グループの<sup>＊</sup>【選択】ボタンをクリックして表示されるメニューから【オブジェクトの選択(0)】をクリックし、選択したい図形にポイントすると、マウスポインターが<sup>＊</sup>になって選択することができます。

ただし、注意点として **【オブジェクトの選択(0)】** はもう一度クリックしないとオフになりません。オンにしたときは、後の操作を行う前にオフに戻しましょう。



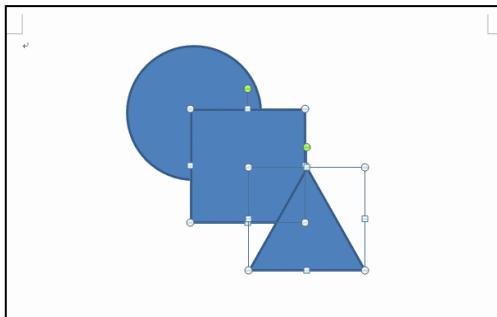
## ■選択された図形の解除

図形の色や線の色、また線の太さなどを変更する操作が終了した時は、図形の選択を解除しておかないと、パソコンは次に行う操作を選択された図形に対するものだと認識してしまいます。

図形の選択を解除するには、選択した図形以外の場所をクリックします。図形の選択が解除されると、周りにあった  や  (サイズ変更ハンドル) が消えます。

### ◆図形の選択の解除方法をマスターしましょう。

操作前

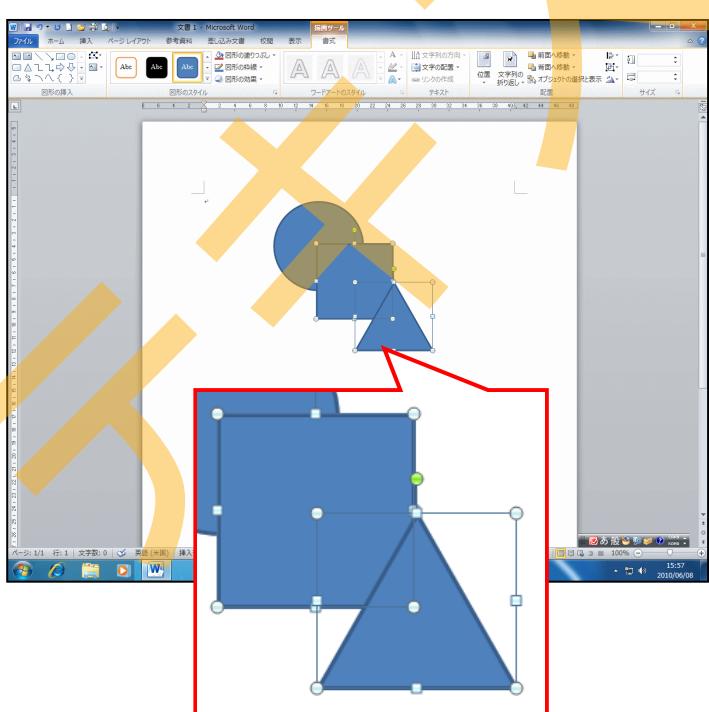


操作後



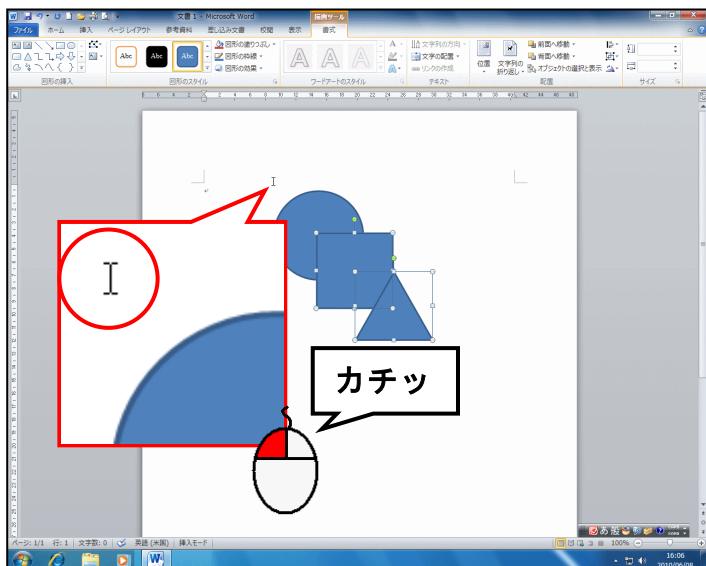
### ●「四角形」と「三角形」の選択を解除してみましょう。

画面上では、下のように「四角形」と「三角形」が選択された状態になっているので、確認しましょう。



●「四角形」と「三角形」が同時に選択されていない方は、P17 からの操作を再度行い、「四角形」と「三角形」を同時に選択しておきましょう。

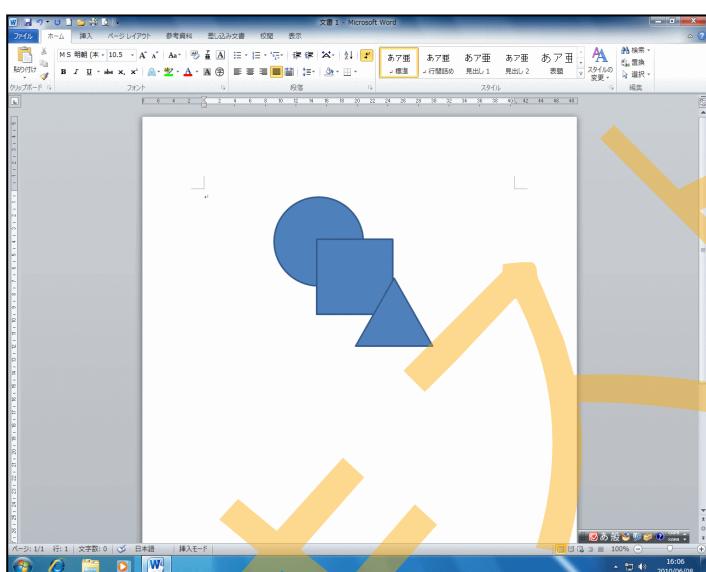
図形のない場所（下の図では円の左上）にポイントし、そのままクリックします。



- ポイント位置によって、マウスポインターは の状態になりますが、これらであれば、どれでも構いません。



- 選択を解除しようとして、別の図形の上でポイントしてしまうとマウスポインターは の状態になり、クリックすると選択していた図形は選択解除となりますが、別の図形が選択されてしまいます。



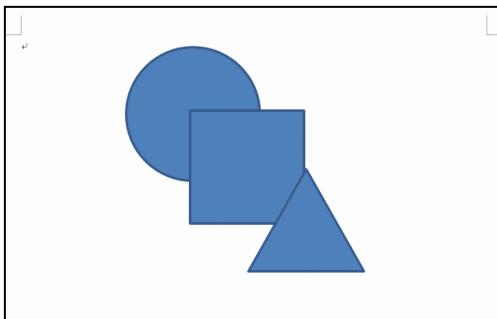
- すべての図形の選択が解除されて、図形の周りにあった や (サイズ変更ハンドル) が消えます。

### ③ 図形の削除

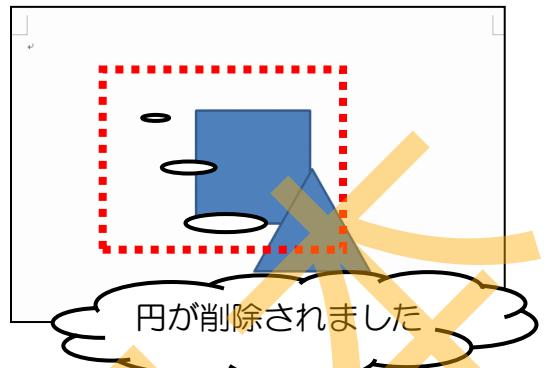
図形を削除するためには、図形を選択して [Delete] キーを押します。

◆図形の削除方法をマスターしましょう。

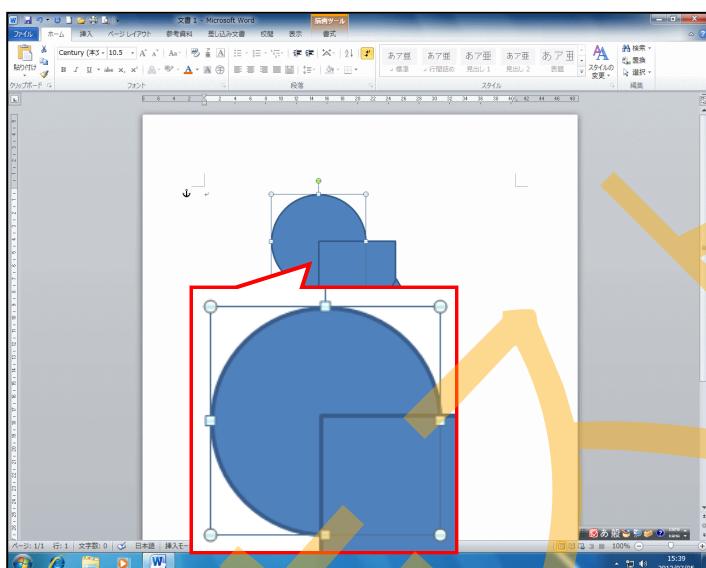
操作前



操作後

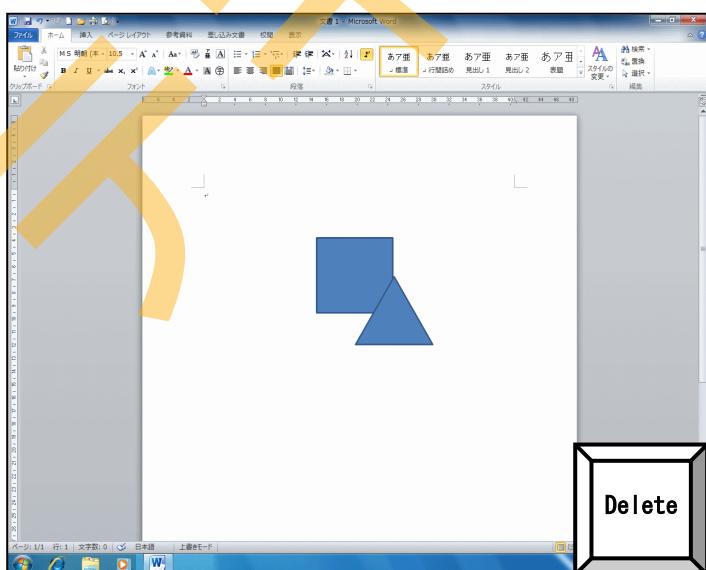


「円」を選択します。



- 図形の選択方法を忘れた方は、P16  
②図形の選択と解除を参照してください。

そのまま [Delete] キーを押します。



注意!

- 選択されていない図形は [Delete] キーを押しても消えません。選択されているかどうかは、図形の周りに ● や □ (サイズ変更ハンドル) が表示されているかどうかで判断します。

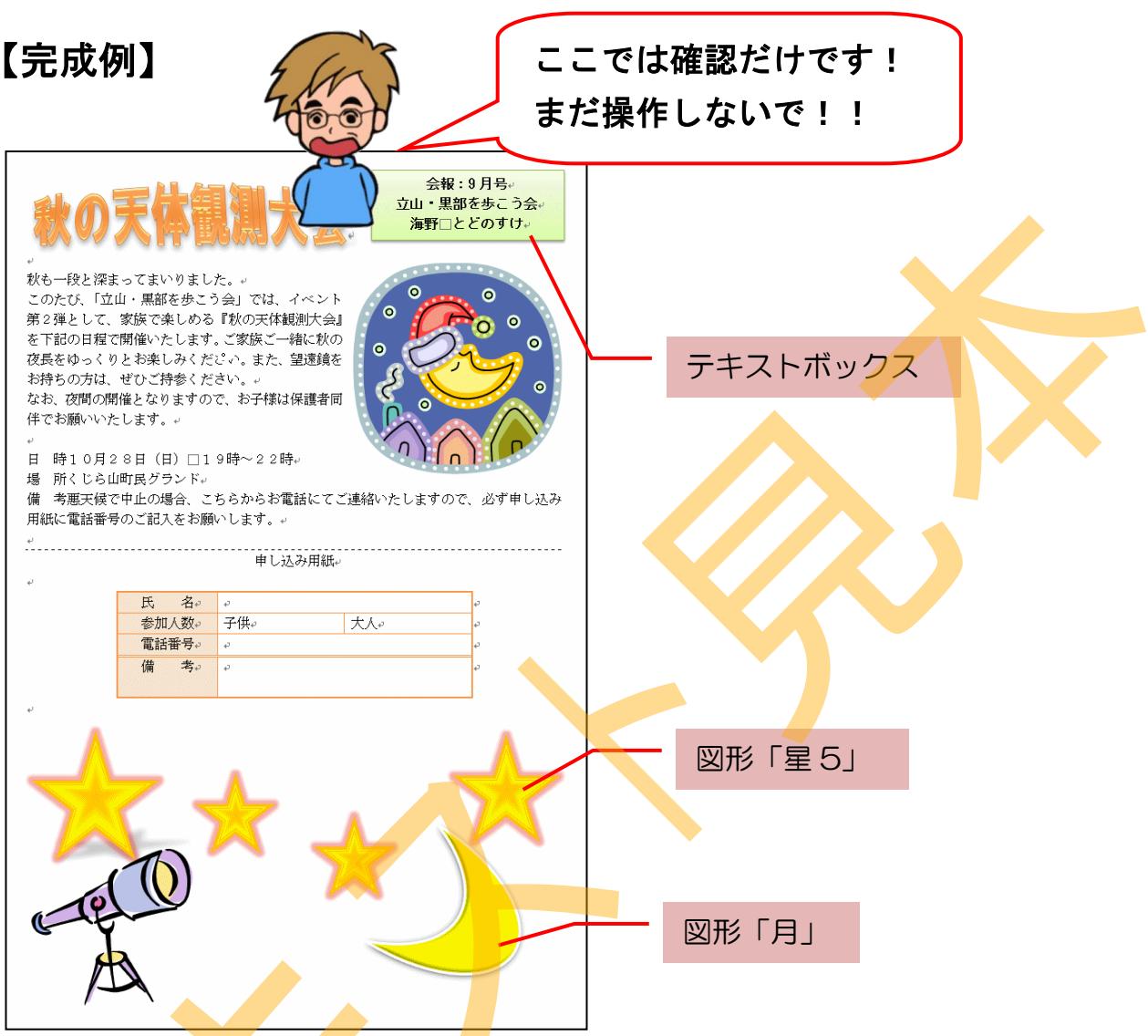
- 複数の図形を一度に削除するには、複数の図形を選択後に [Delete] キーを押します。

円を削除した後の文書ウィンドウは保存せずに閉じておきましょう。

## (2) 文書に図形を挿入

リムーバブルディスクに保存した「秋の天体観測」に図形を挿入して、よりインパクトのある文書に仕上げてみましょう。

### 【完成例】



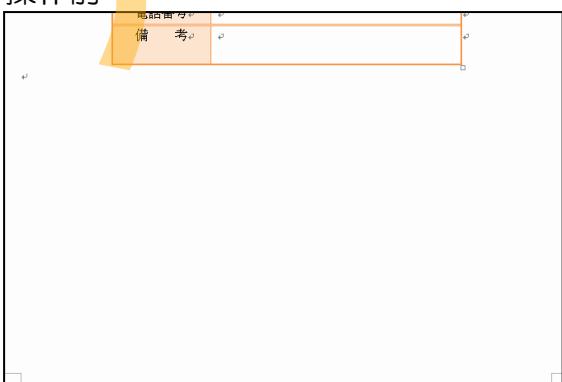
※操作内容についての詳しいページ番号は、P228のテキストの手引きで確認できます。

### ① 図形の挿入

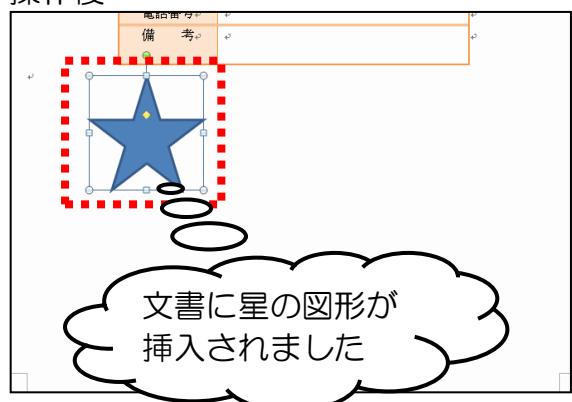
上記の完成例のように「星5」を描いてみましょう。

◆図形の挿入方法をマスターしましょう。

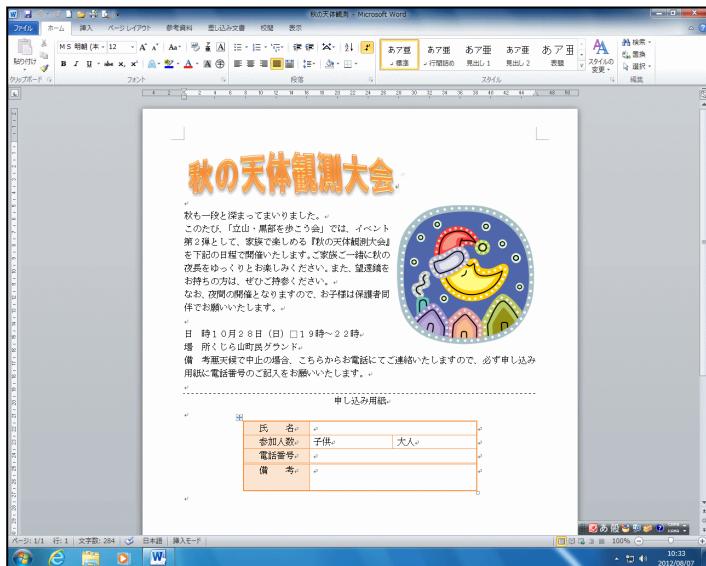
操作前



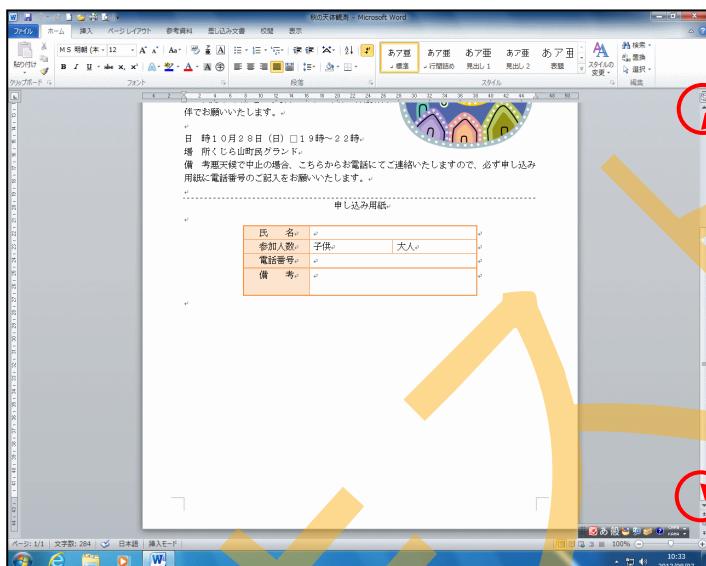
操作後



## リムーバブルディスクに保存した「秋の天体観測」を開きましょう。



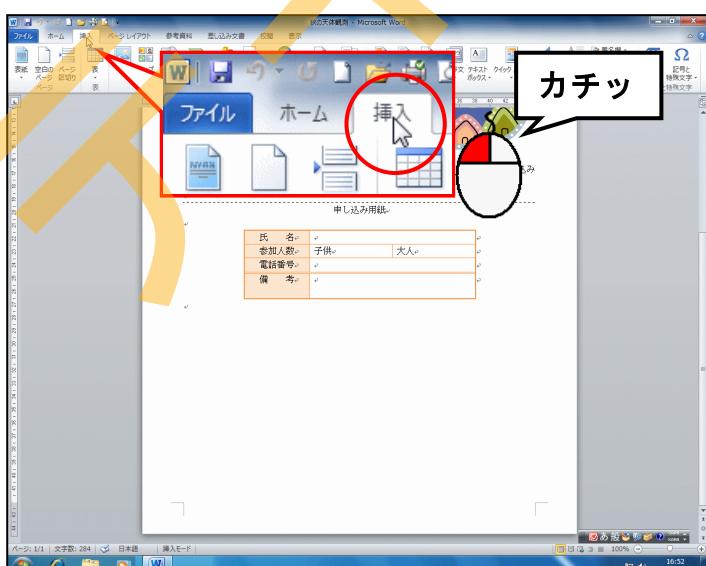
## 文書の一番下が見える位置まで画面をスクロールします。



●表の下に図形を挿入するために、画面をスクロールして挿入する位置を表示します。

●画面を下にスクロールしたい時は、画面の右下にある ▼ [スクロール] ボタンをクリックし、上にスクロールしたい時は、画面の右上にある ▲ [スクロール] ボタンをクリックします。

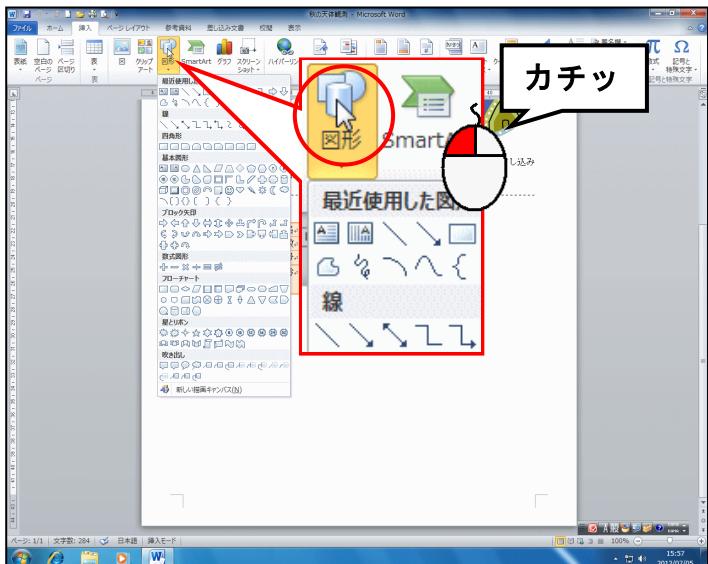
## [挿入] タブにポイントし、そのままクリックします。



● [挿入] タブをクリックすると、グループ、ボタンの内容が変わります。

● カーソルは、どこにあっても構いません。

【図】グループ内の [図形] ボタンにポイントし、そのままクリックします。

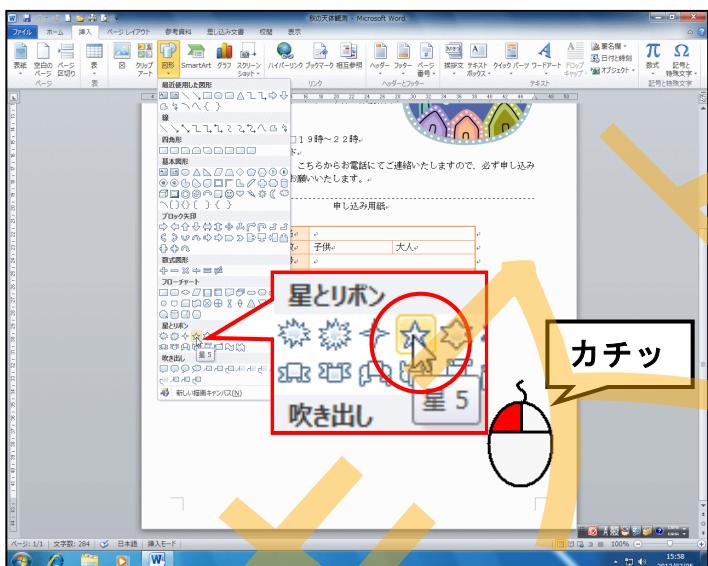


●リボンが表示されていない方は、P227 リボンの最小化を元に戻すを参照してください。  
(下記のような状態の方)

ファイル ホーム挿入 ページレイアウト 参考資料 差し込み文書 桜開 表示



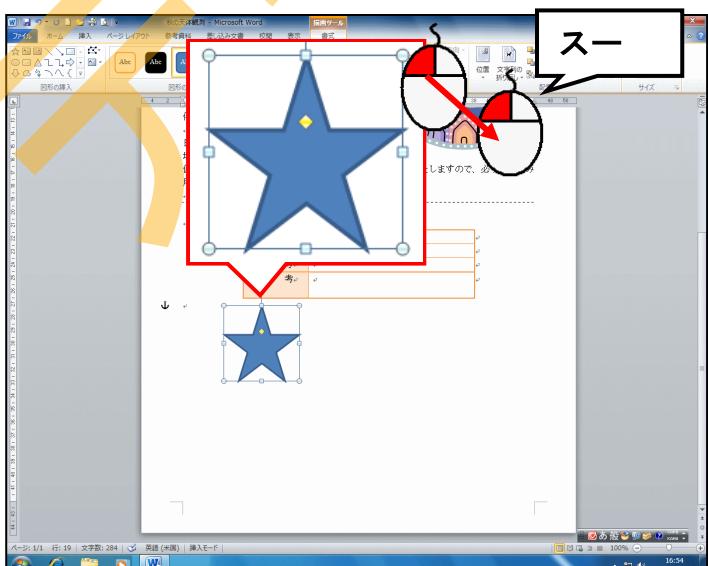
表示された図形一覧の [星とリボン] にある ★「星5」にポイントし、そのままクリックします。



●図形一覧の [最近使用した図形] に ★「星5」があれば、そちらをクリックしていただいても大丈夫です。



マウスポインターが+になっていることを確認して、下図を参考にドラッグして「星」を描きます。



●図形の描き方を忘れた方は、P8 ① 基本図形を描くを参照してください。



●通常挿入した図形に対する文字列の折り返しは、挿入直後は「前面」になっています。文字列の折り返しを確認するには、描いた図形を選択した後、描画ツールの [書式] タブを選択し、[配置] グループ内の [文字列の折り返し] をクリックします。

## ② 図形の塗りつぶしの色の設定

描いた星を選択した状態なら、色を付けたり、線の太さを変更したりすることができます。

図形も、ワードで学んだクリップアートやワードアート、そして表などと同様に、図形を選択したときにしか画面上に表示されない「コンテキストツール」が【表示】タブの右側に表示されます。

P12 で少し説明してありますが、図形を描くときは【挿入】タブ、図形の書式設定をするときは描画ツールの【書式】タブを使って設定します。

この違いをよく覚えておきましょう。

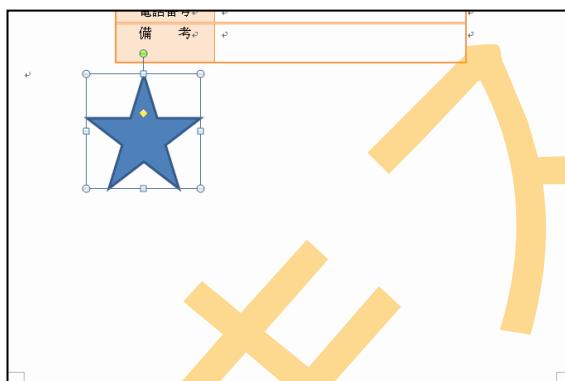
## ■ 描画ツール [書式] タブ



挿入した星にグラデーションで色を付けてみましょう。

◆図形の塗りつぶしの色の設定方法をマスターしましょう。

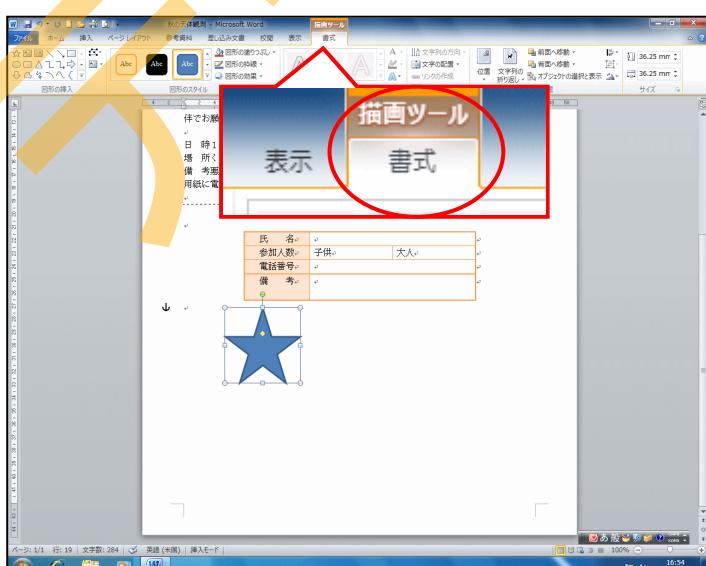
### 操作前



## 操作後

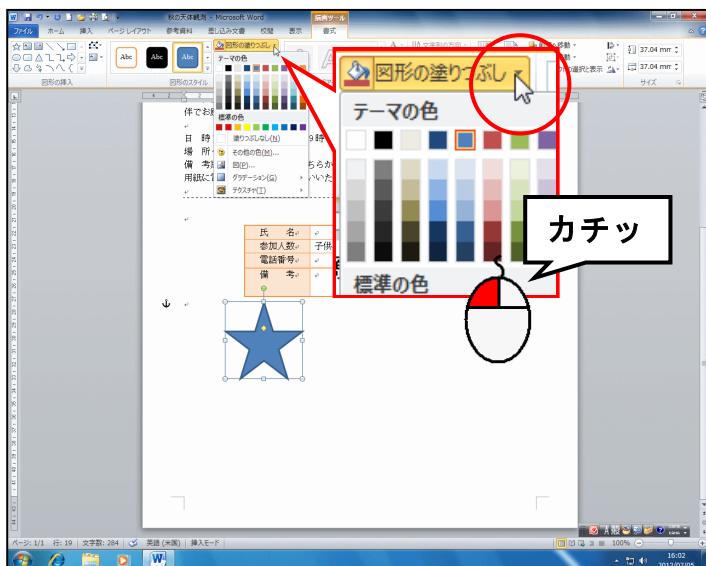


星が選択された状態であること、「書式」タブが選択されていることを確認します。



- [書式] タブが選択されていない方は、描いた「星」を選択して、描画ツールの [書式] タブをクリックして表示させてください。

[図形のスタイル] グループ内にある  [図形の塗りつぶし] ボタンに  
ポイントし、そのままクリックします。

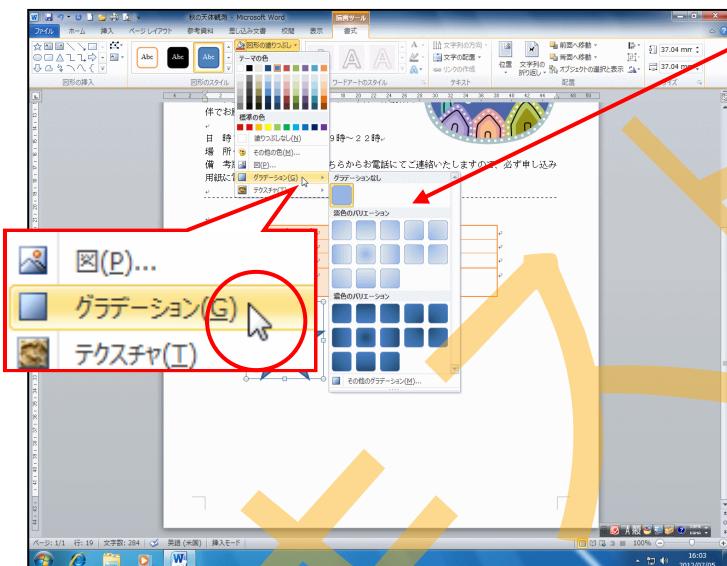


-  をクリックすると、塗りつぶしに関するメニューが表示されないので、**図形の塗りつぶし** をクリックしましょう。

- リボンが表示されていない方は、  
P227 リボンの最小化を元に戻すを  
参照してください。  
(下記のような状態の方)

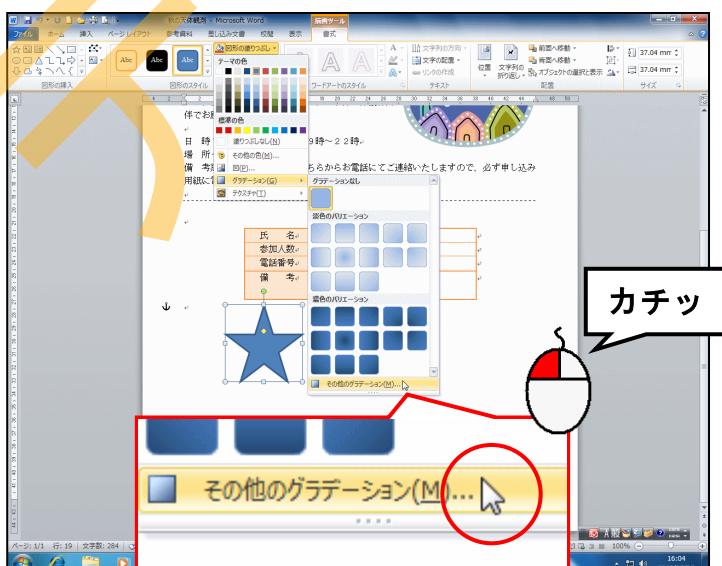


表示されたメニューから [グラデーション(G)] にポイントします。

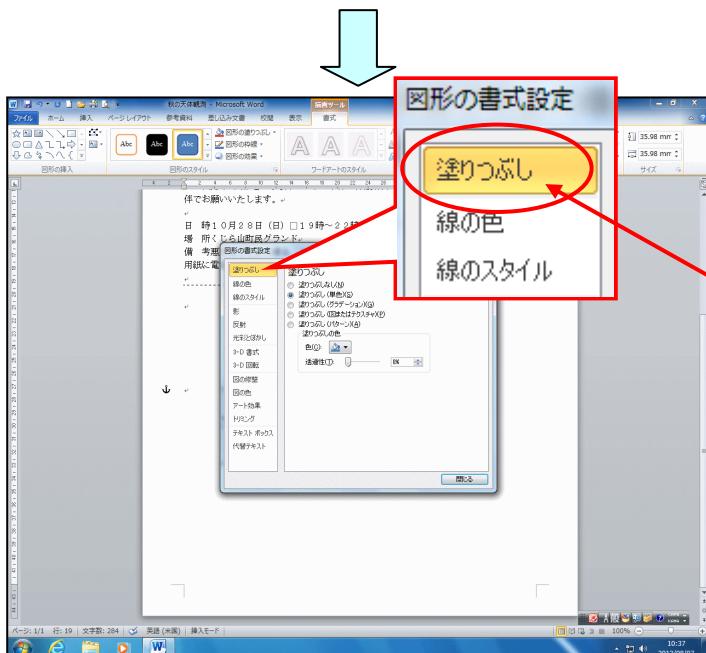


- [グラデーション(G)] にポイントすると、左のようにサブメニューが表示されます。

右側に表示されたサブメニューの一番下にある「[その他のグラデーション(M)…]」にポイントし、そのままクリックします。



– 26 –

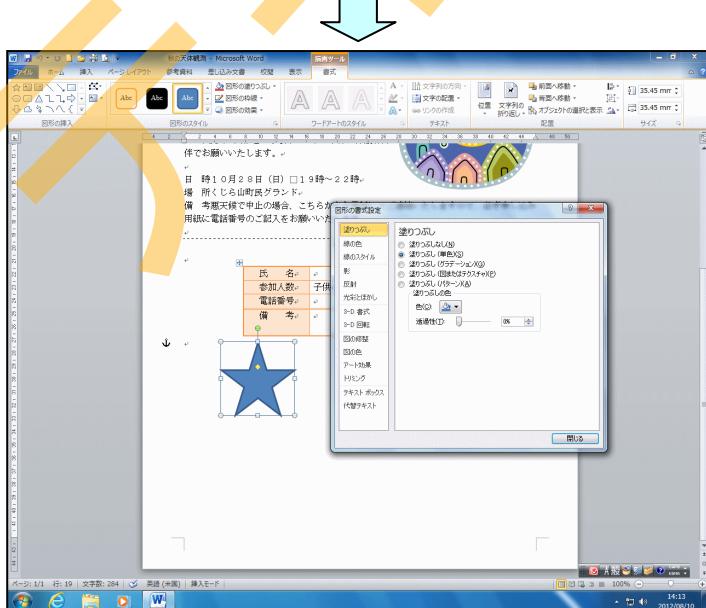
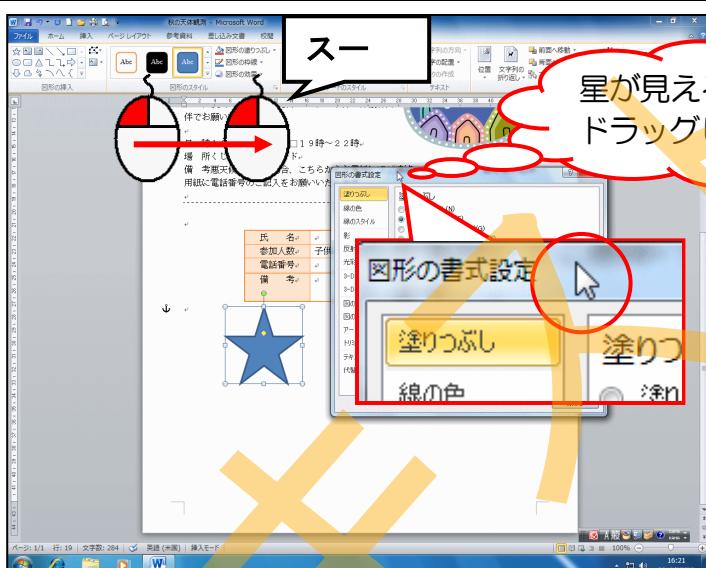


- [その他のグラデーション(M)...] をクリックすると、左のように【图形の書式設定】ダイアログボックスが表示されます。左の項目で「塗りつぶし」が選択されていない場合は、「塗りつぶし」をクリックします。

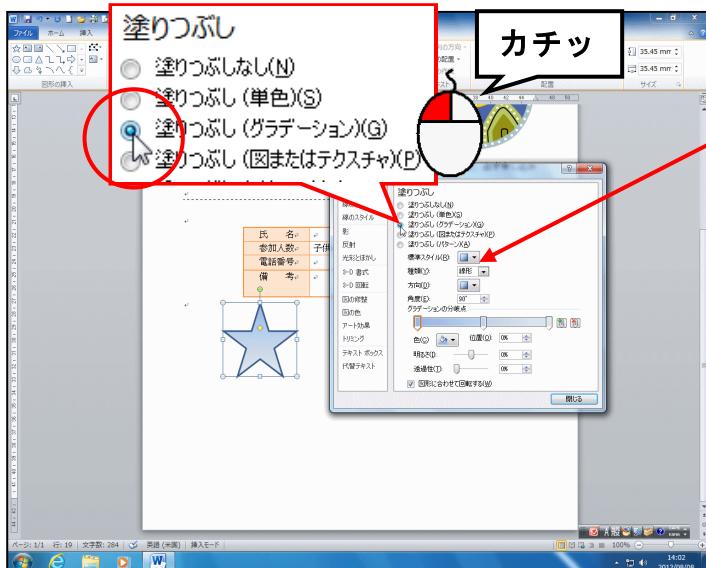
余裕があれば読んでね

- 【图形の書式設定】ダイアログボックスは、【图形のスタイル】グループの右下にある「▼」ボタンをクリックしても表示することができます。

表示された【图形の書式設定】ダイアログボックスの一番上のバーにポイントし、マウスポインターが变成了ところでマウスの左ボタンを押したまま、描いた星が見える位置までドラッグします。



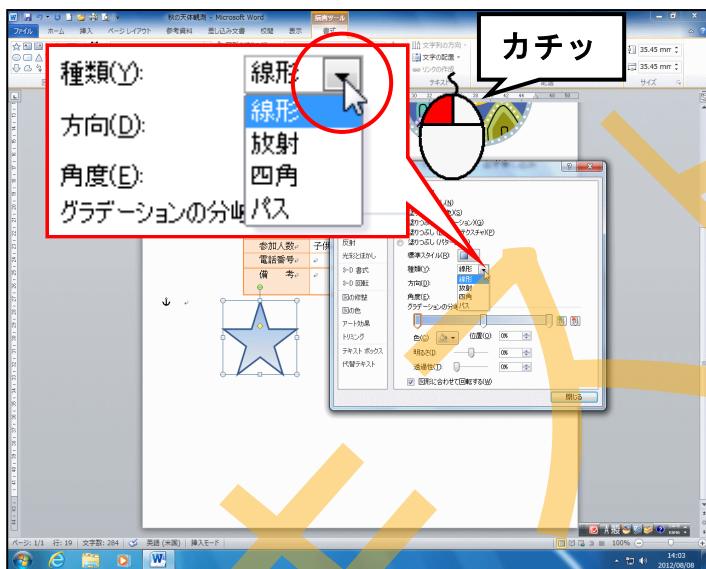
[図形の書式設定] ダイアログボックスで、[塗りつぶし(グラデーション) (G)] のチェックボックスにポイントし、そのままクリックします。



● [塗りつぶし(グラデーション) (G)] をクリックすると、左の図のように、グラデーションのスタイルや種類、方向などを設定する項目が表示されます。



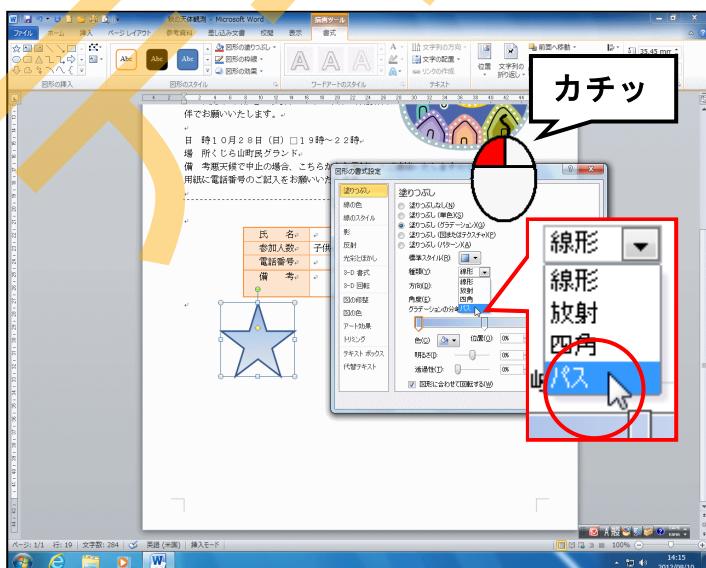
[種類(Y):] ボックスの右にある ▾ にポイントし、そのままクリックします。

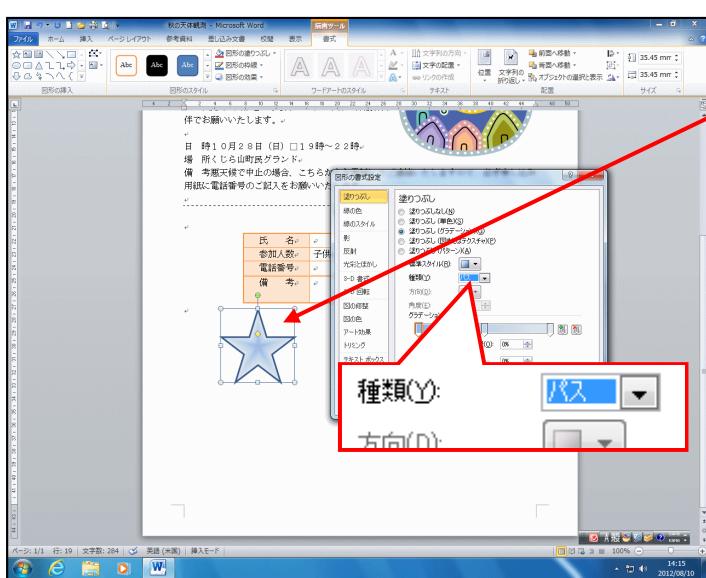


● ▾ をクリックすると、グラデーションの種類の一覧が表示されます。

グラデーションの種類と方向について P198

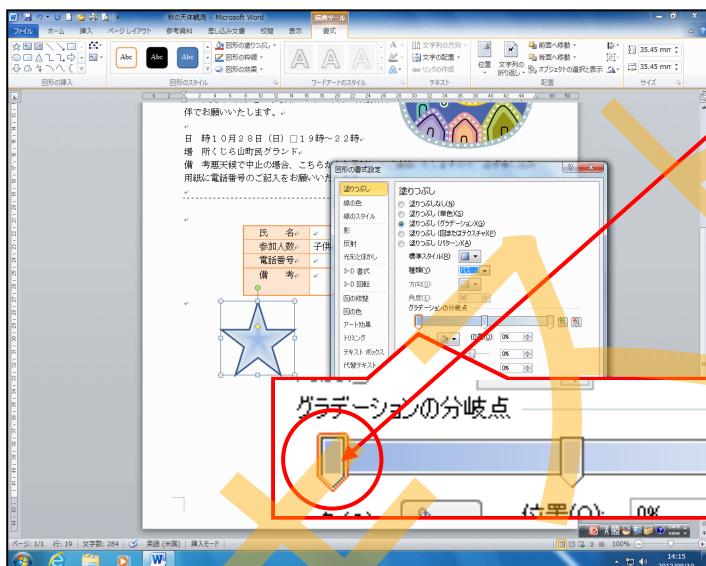
表示された種類の一覧から「パス」にポイントし、そのままクリックします。





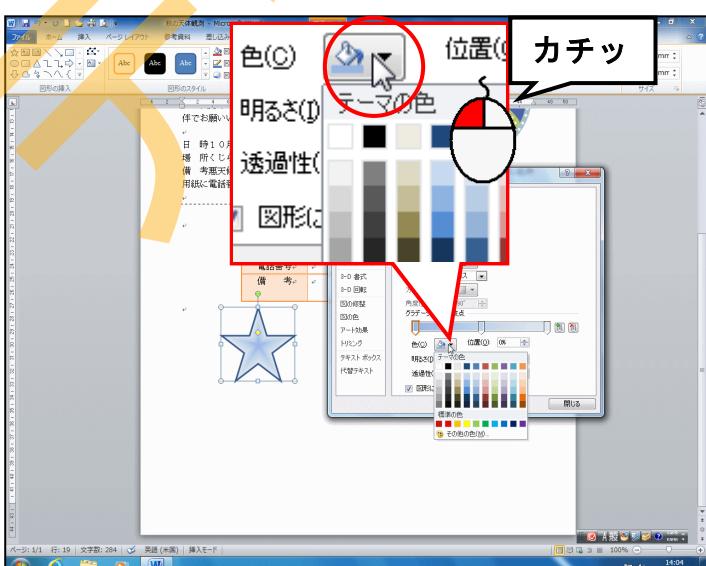
- 「パス」をクリックすると、文書内に描いた星の図形のグラデーションの種類が変わります。

[グラデーションの分岐点] で、一番左の  が選択されていることを確認します。



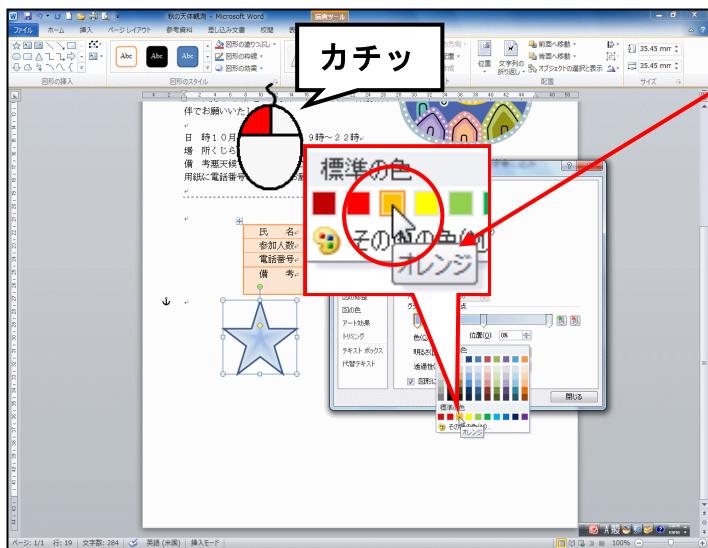
- 一番左の  がオレンジ色に囲まれていれば、選択されています。  
選択されていない方は、一番左の  をクリックして選択しておきましょう。

〔色(C)〕の右にある  ボタンにポイントし、そのままクリックします。

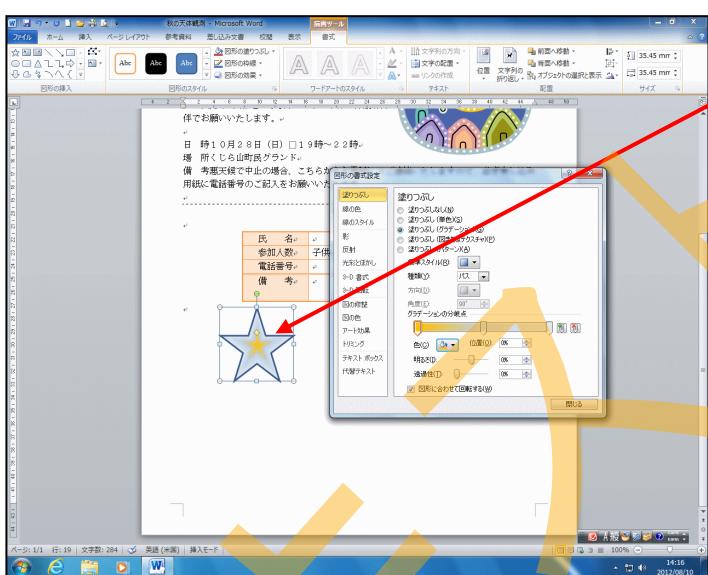


-  ボタンをクリックすると、色の一覧が表示されます。

表示された色の一覧から「オレンジ」にポイントし、そのままクリックします。

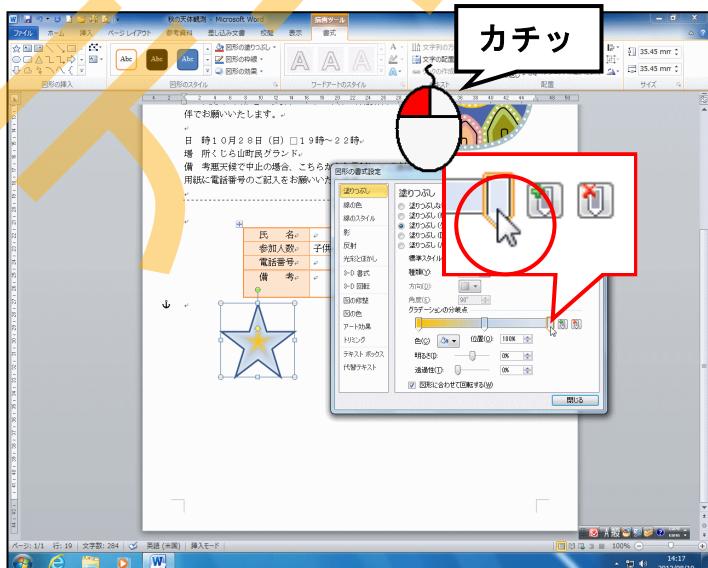


●目的の色にポイントすると、何色かが  
ポップヒントとして表示されます。



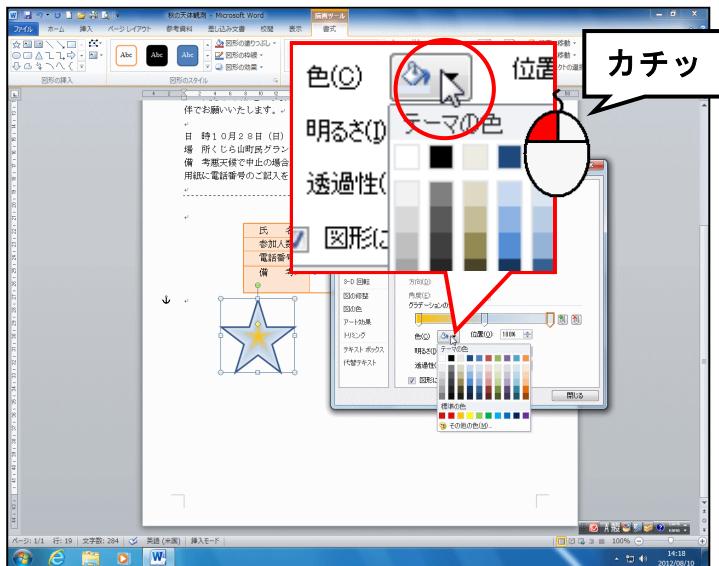
●「オレンジ」をクリックすると、  
文書内に描いた星の図形のグラデー  
ーションの色が変わります。

[グラデーションの分岐点] で、一番右の にポイントし、そのままクリックします。

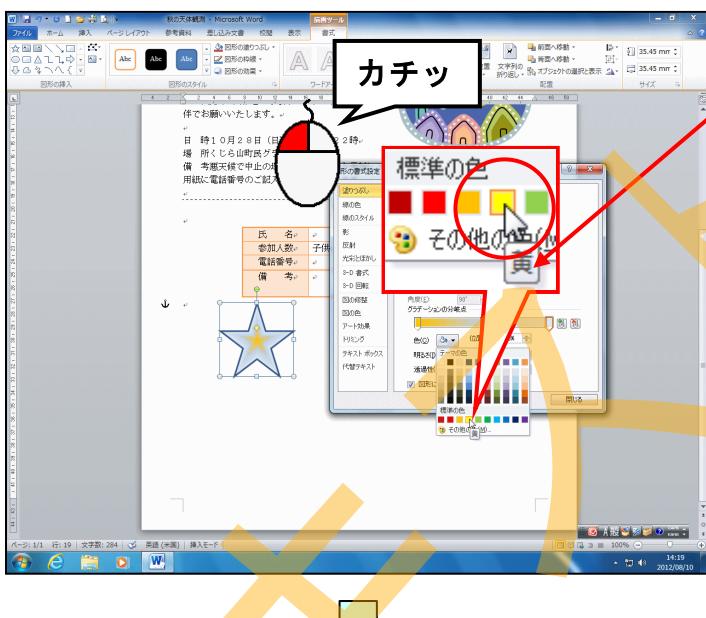


●一番右の をクリックすると、  
一番右の が選択されます。

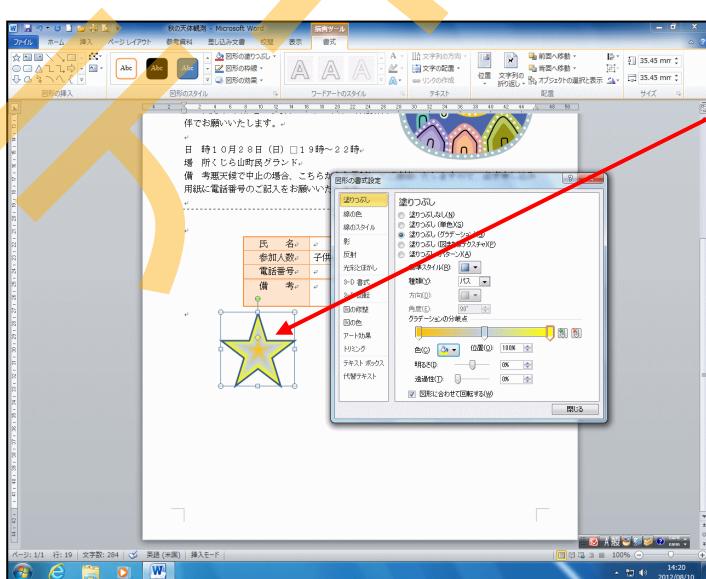
[色(C)] の右にある  ボタンにポイントし、そのままクリックします。



表示された色の一覧から「黄」にポイントし、そのままクリックします。

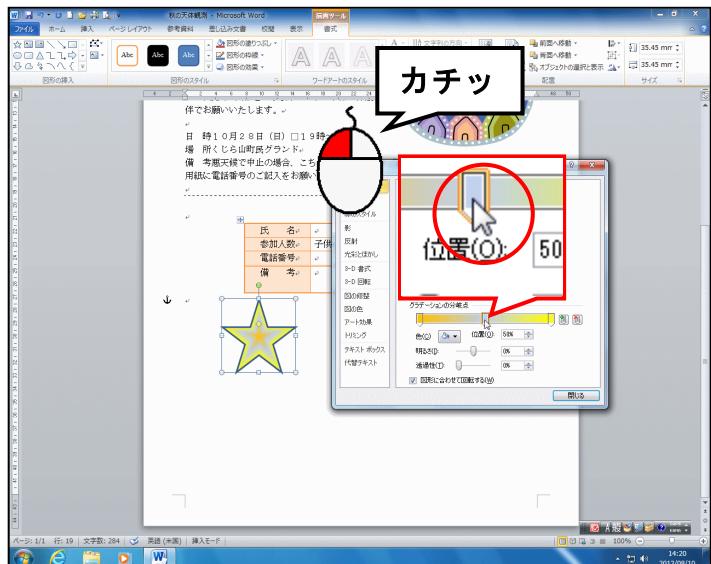


●目的の色にポイントすると、何色かが  
ポップヒントとして表示されます。



●「黄」を選択すると、文書内に描いた星の図形のグラデーションの色が変わります。

[グラデーションの分岐点] で、真ん中の  にポイントし、そのままクリックします。

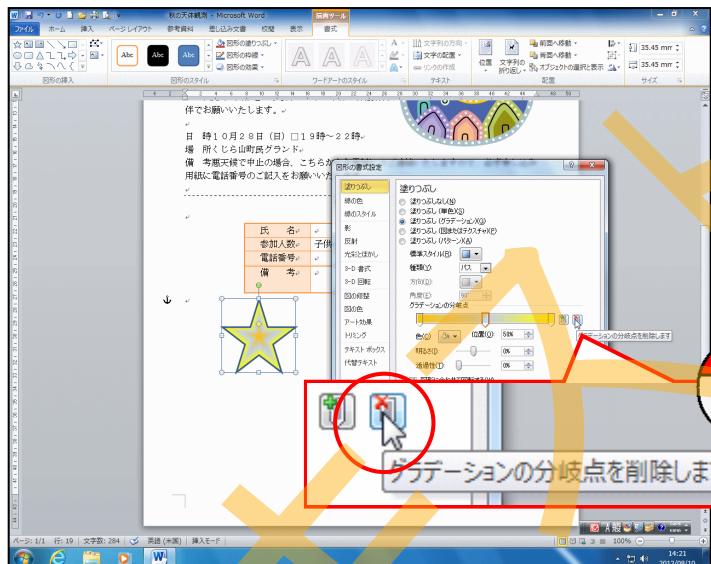


● 真ん中の  をクリックすると、真ん中の  が選択されます。

● 現在、「オレンジ」と「黄」の間に薄い青色が入って 3 色のグラデーションになっているため、この後、真ん中の  を削除します。

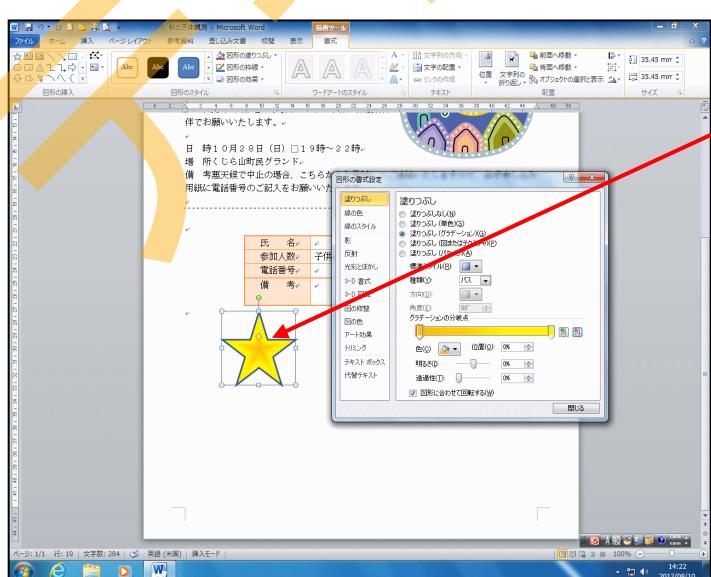


[グラデーションの分岐点] の右にある  [グラデーションの分岐点を削除します] ボタンにポイントし、そのままクリックします。



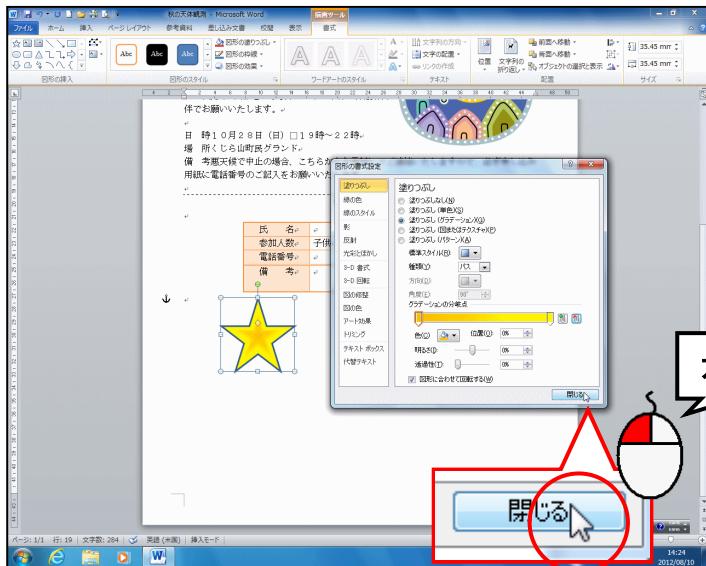
グラデーションの分岐点の補足説明 P198

カチッ

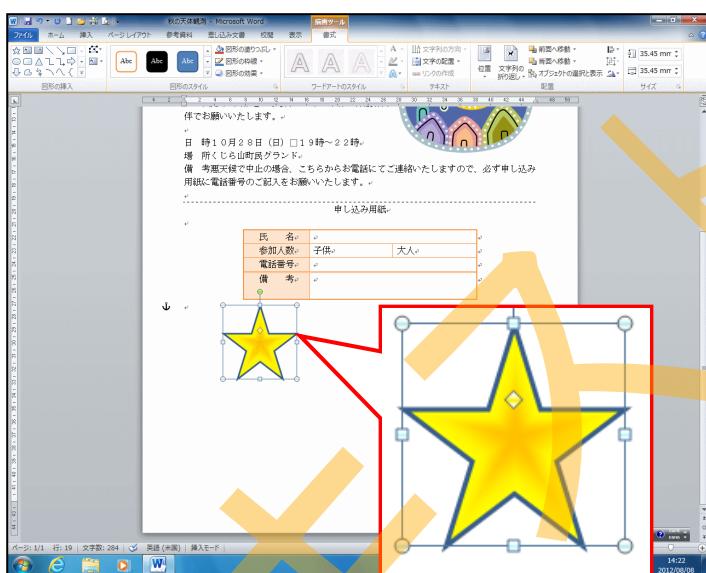


●  [グラデーションの分岐点を削除します] ボタンをクリックすると、文書内に描いた星の図形のグラデーションの色が「オレンジ」と「黄」の 2 色に変わります。

【図形の書式設定】ダイアログボックスの右下にある【閉じる】ボタンにポイントし、そのままクリックします。



カチッ



図形の塗りつぶしの補足説明

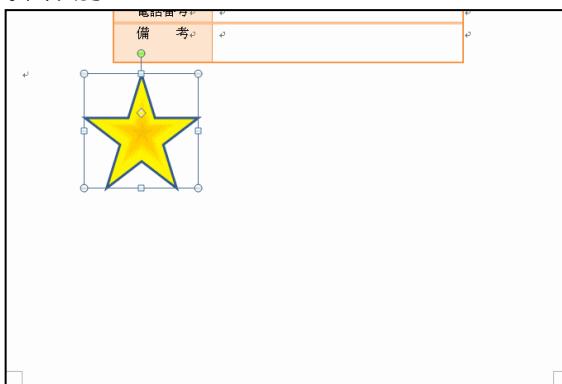
P199

### ③ 図形の枠線の設定

ここでは、描いた星の図形の枠線の色、太さ、スタイルを設定してみましょう。

#### ◆図形の枠線の設定方法をマスターしましょう。

操作前

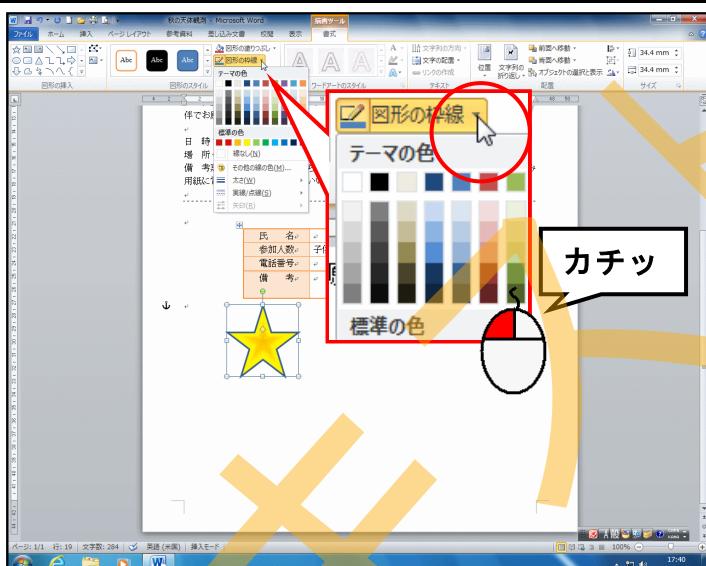


操作後



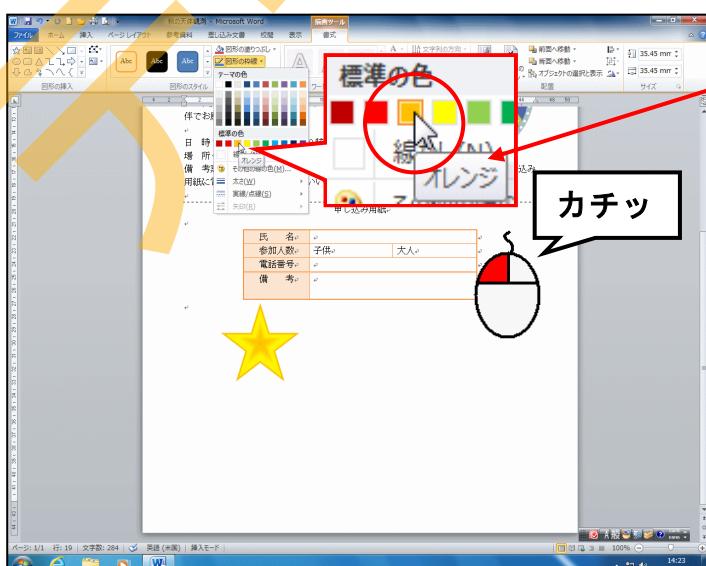
●まず、枠線の色を設定しましょう。

【図形のスタイル】グループ内にある  **図形の枠線** ▾ **【図形の枠線】ボタン**にポイントし、そのままクリックします。



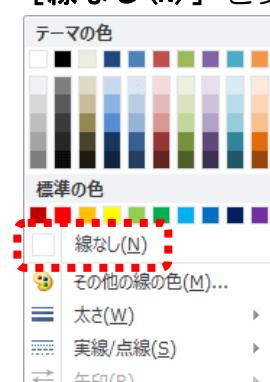
●  をクリックすると、枠線に関するメニューが表示されないので **図形の枠線** ▾ をクリックしましょう。

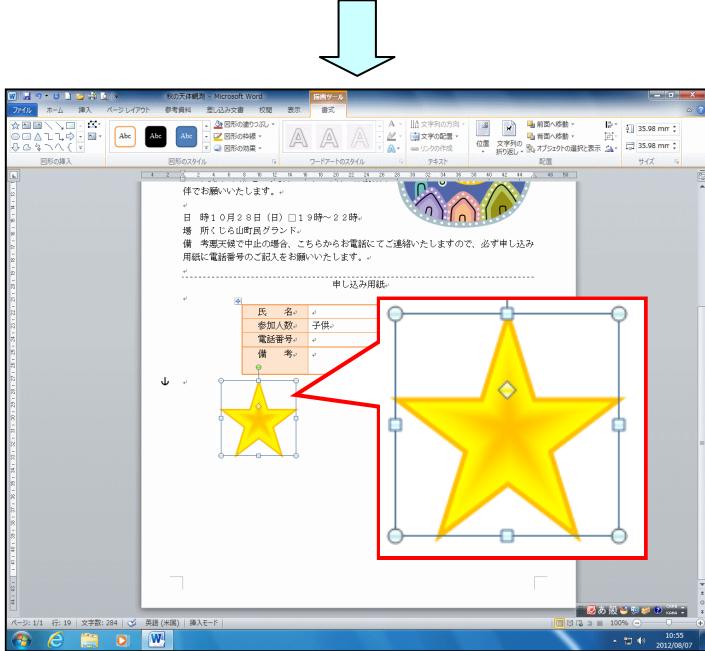
表示された色の一覧から「オレンジ」にポイントし、そのままクリックします。



● 目的の色にポイントすると、何色かがポップヒントとして表示されます。

● 図形の枠線を消したい場合は、**【線なし(N)】**をクリックします。



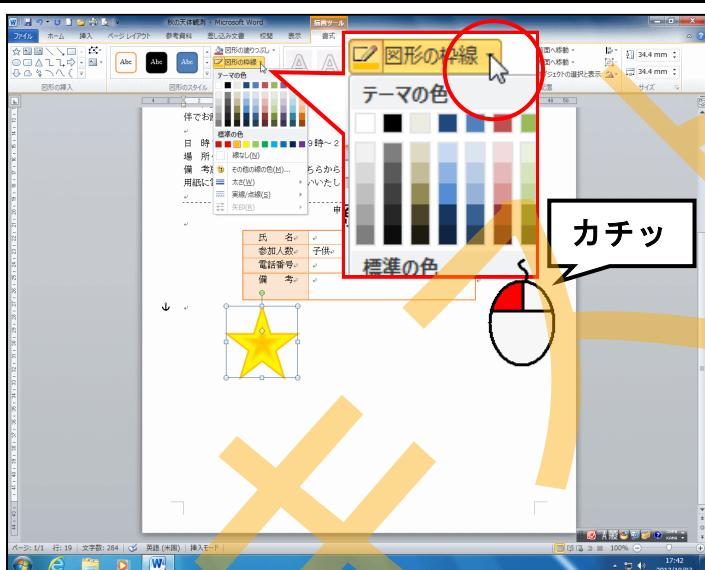


● 枠線の色が「オレンジ」に変わりました。



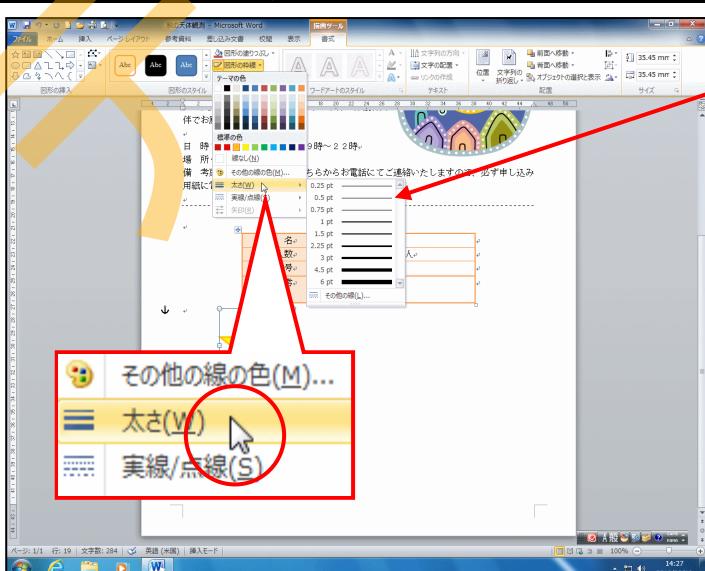
● 次に枠線の太さを設定しましょう。

【図形のスタイル】グループ内にある [図形の枠線] ボタンにポイントし、そのままクリックします。



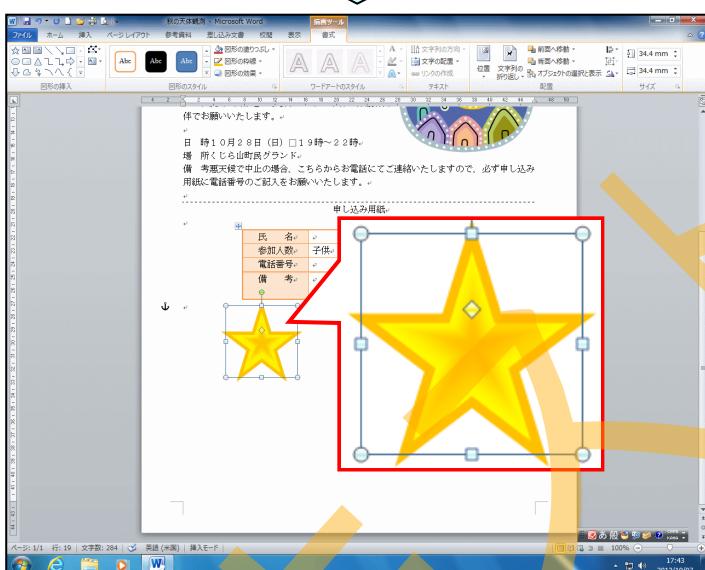
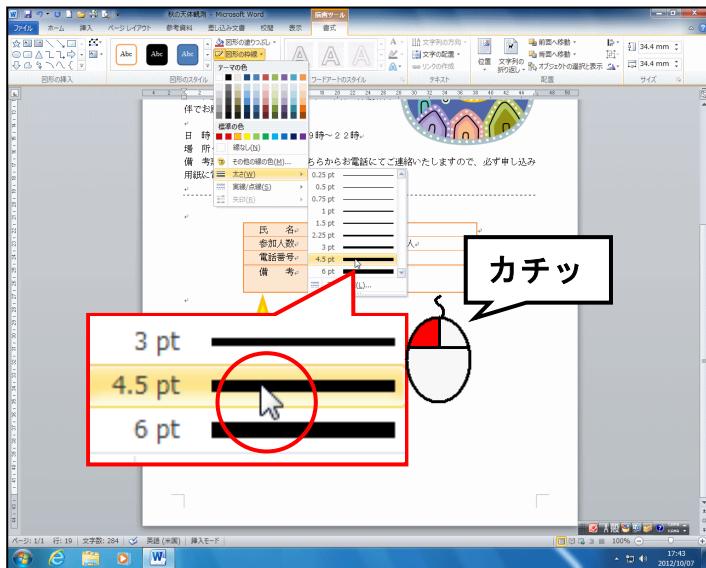
● をクリックすると、枠線に関するメニューが表示されないので [図形の枠線] をクリックしましょう。

表示されたメニューから [太さ(W)] にポイントします。



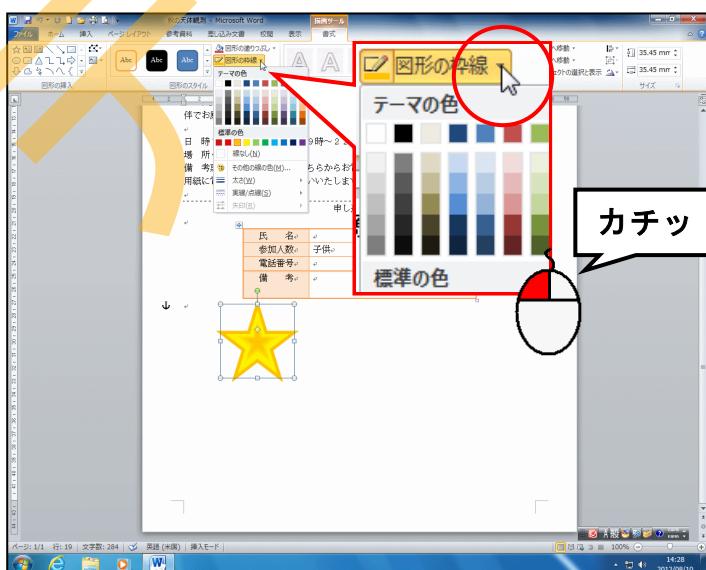
● [太さ(W)] にポイントすると、枠線の太さの一覧が表示されます。

枠線の太さの一覧から「4.5pt」にポイントし、そのままクリックします。



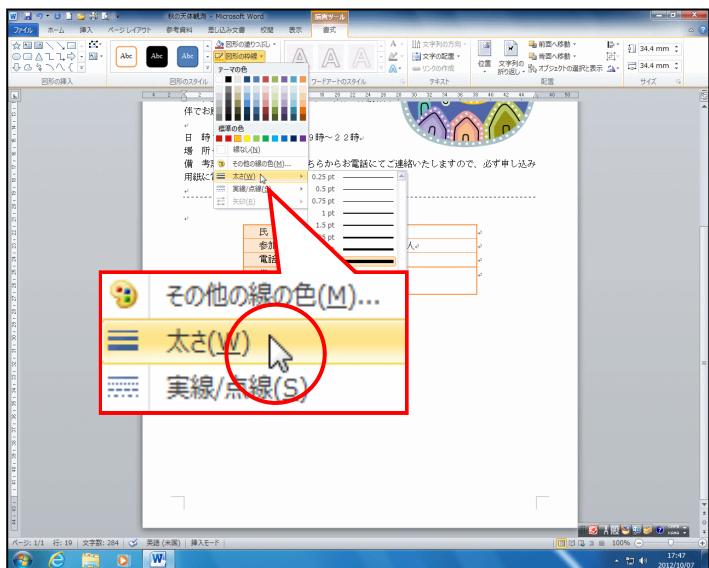
●最後に枠線のスタイルを設定しましょう。

【図形のスタイル】グループ内にある [図形の枠線] ボタンにポイントし、そのままクリックします。

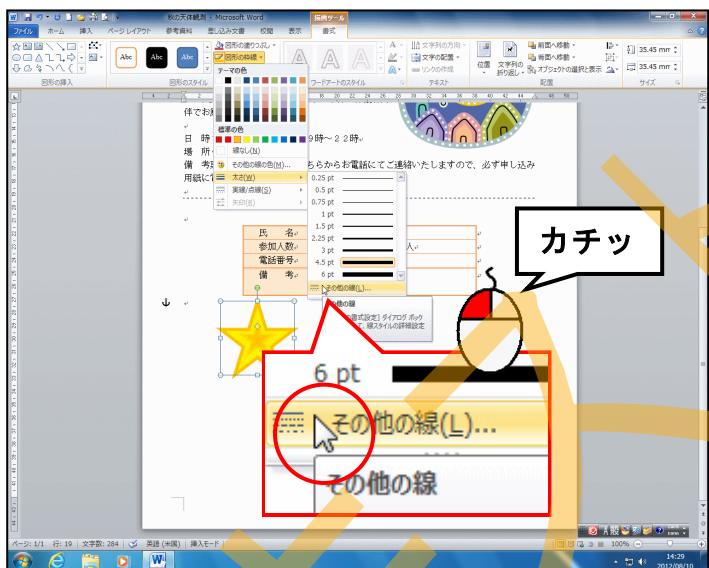


● をクリックすると、枠線に関するメニューが表示されないので [図形の枠線] をクリックしましょう。

表示されたメニューから [太さ(W)] にポイントします。

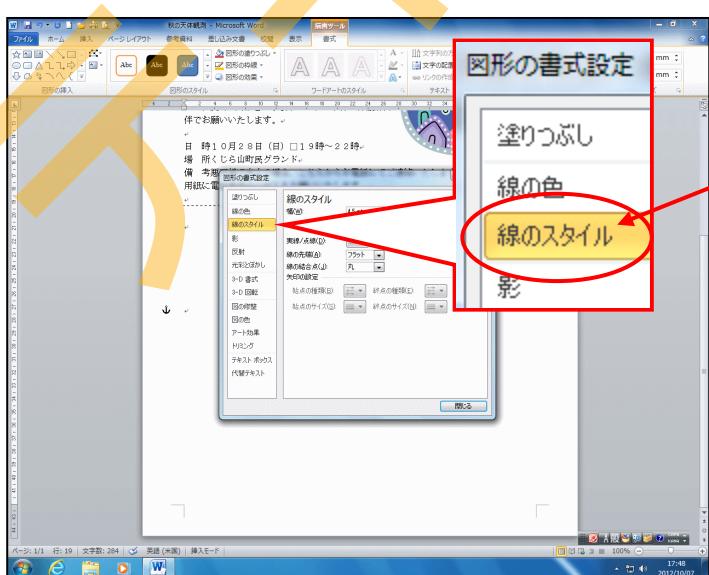


枠線の太さの一覧から [その他の線(L)...] にポイントし、そのままクリックします。



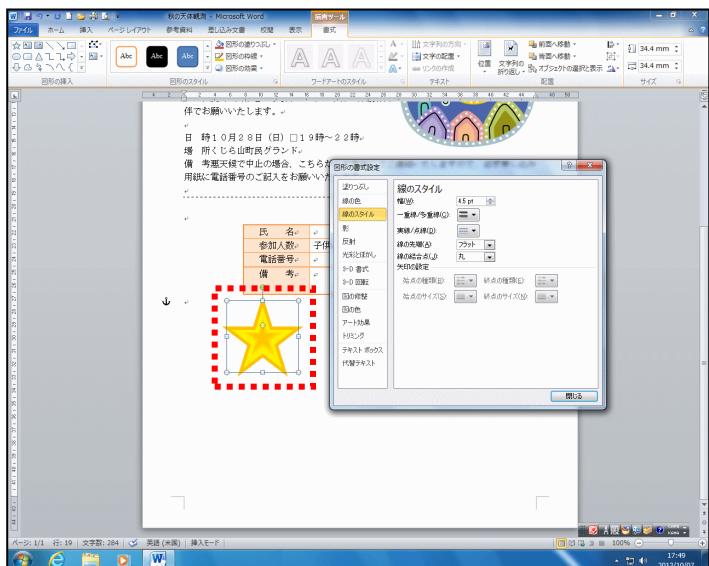
余裕があれば読んでね

- [その他の線(L)...] は、[実線/点線(S)] にポイントしても表示されます。



- [その他の線(L)...] をクリックすると、左のように [图形の書式設定] ダイアログボックスが表示され、左の項目で「線のスタイル」が選択された状態になっています。左の項目で「線のスタイル」が選択されていない場合は、「線のスタイル」をクリックします。

## 表示された【図形の書式設定】ダイアログボックスを描いた星が見える位置まで移動します。

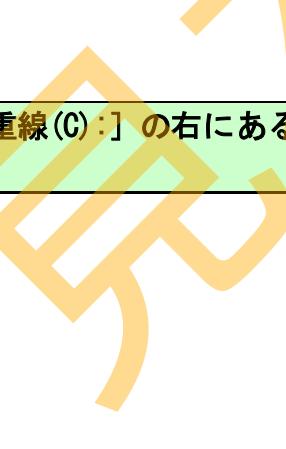
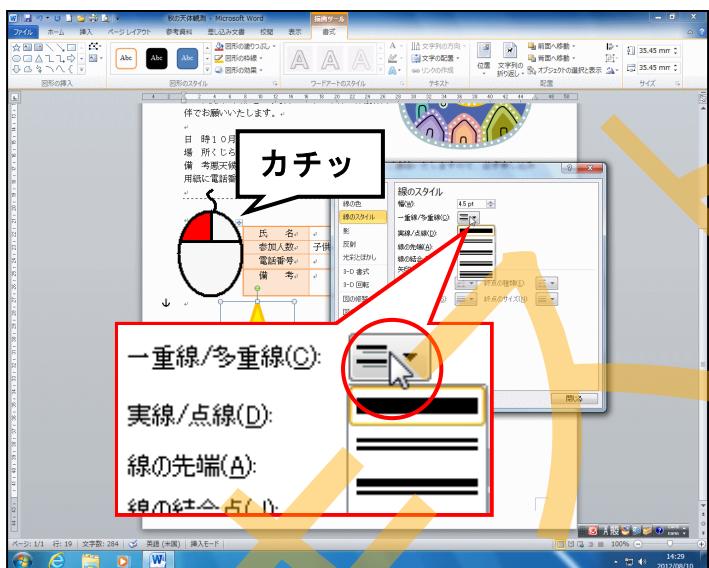


- すでに描いた星が見えている方は、この操作は必要ありません。

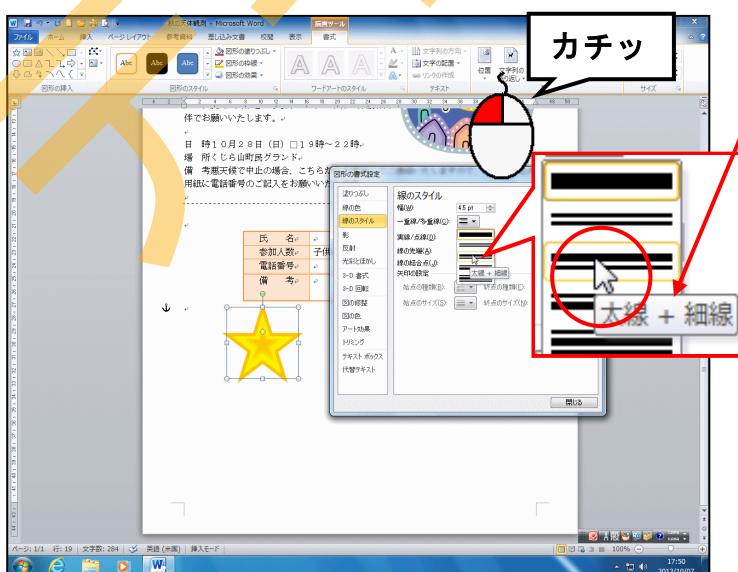
- 【図形の書式設定】ダイアログボックスの移動方法を忘れた方は、P27を参照してください。



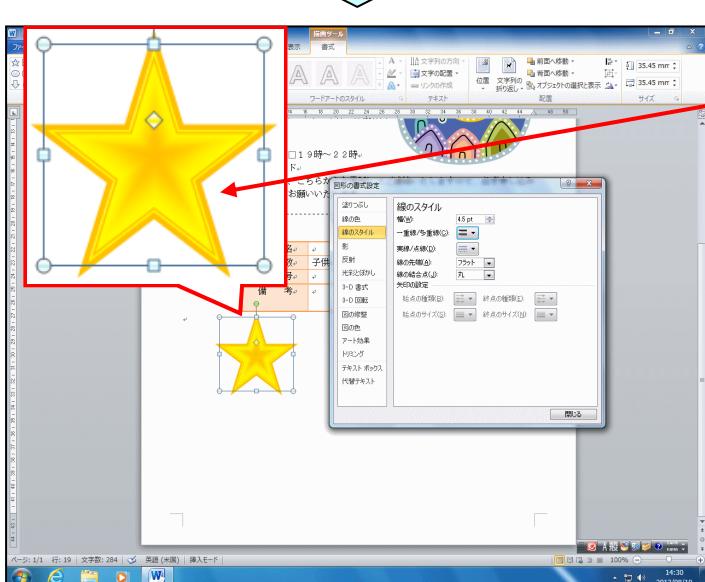
## 【図形の書式設定】ダイアログボックスで、【一重線/多重線(C):】の右にある▼ボタンにポイントし、そのままクリックします。



## 表示された線のスタイルの一覧から「太線+細線」にポイントし、そのままクリックします。



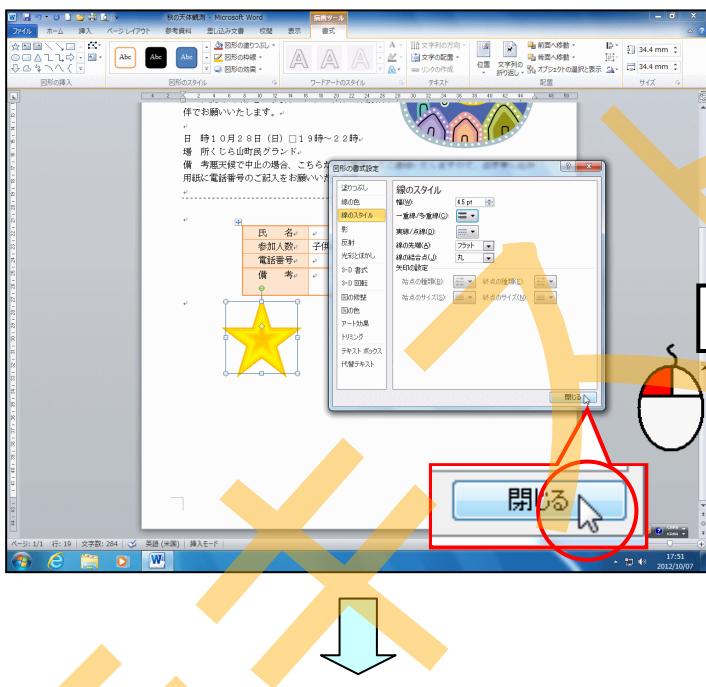
- 目的の線のスタイルにポイントすると、どのスタイルかがポップヒントとして表示されます。



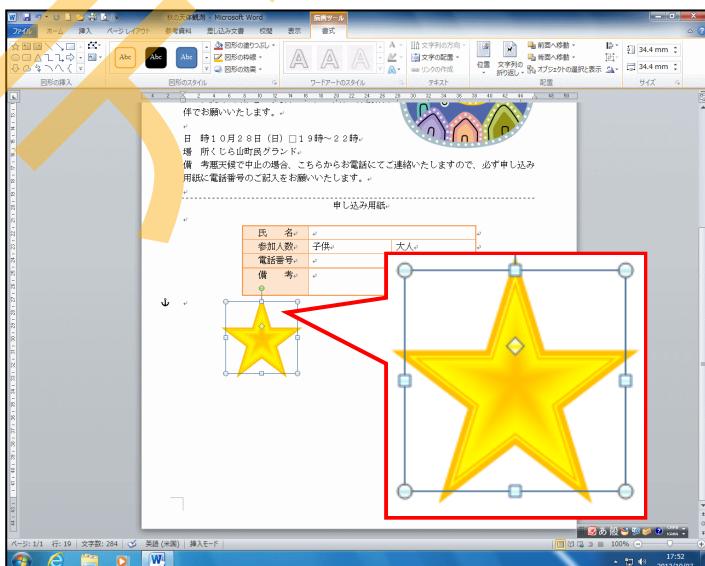
● 「太線+細線」をクリックすると、文書内に描いた星の図形の枠線のスタイルが変わります。



[図形の書式設定] ダイアログボックスの右下にある [閉じる] ボタンにポイントし、そのままクリックします。



カチッ



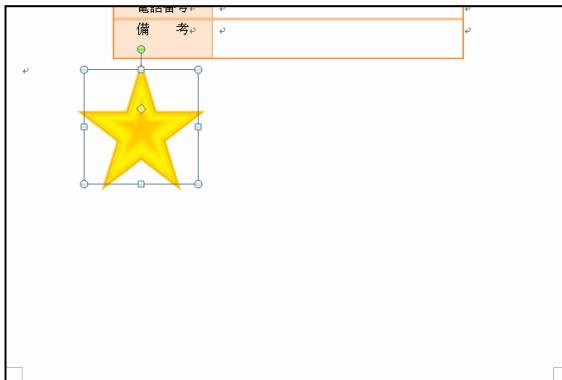
## ④ 図形の効果の設定 新機能

ワード 2010 から図形に効果が設定できるようになりました。  
効果の種類としては、「標準スタイル」、「影」、「反射」、「光彩」、「ぼかし」、「面取り」、「3-D 回転」などがあります。

ここでは、描いた星の図形に「光彩」の効果を設定してみましょう。

### ◆図形の効果の設定方法をマスターしましょう。

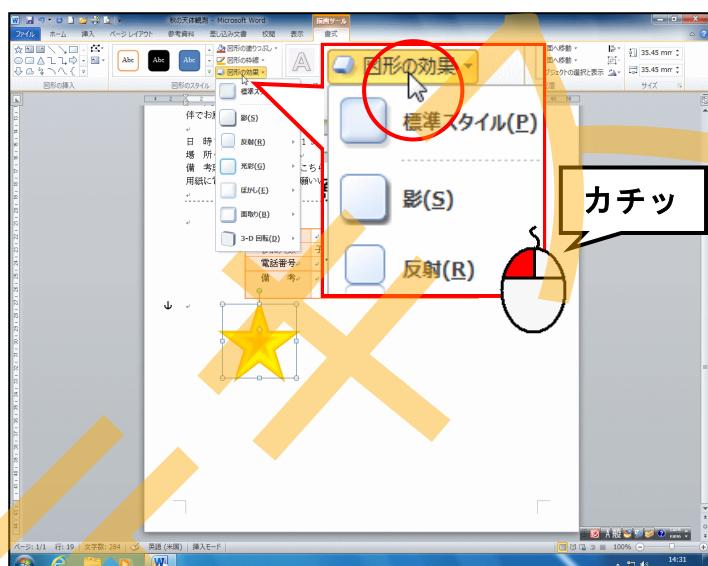
操作前



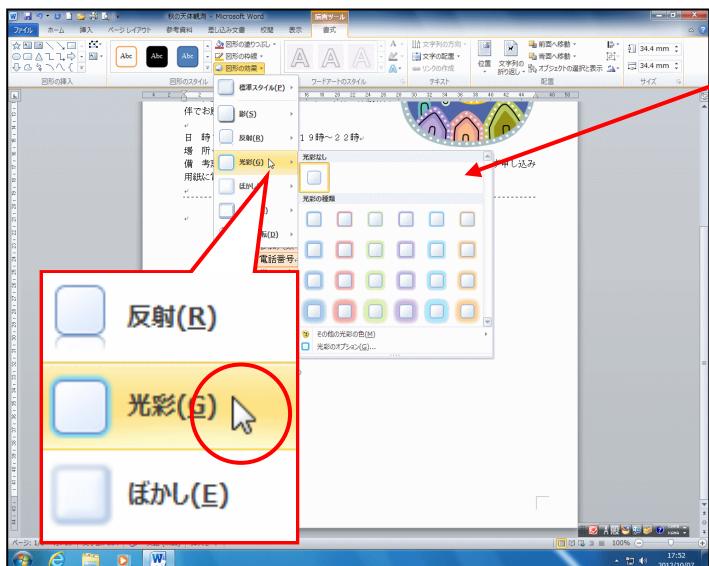
操作後



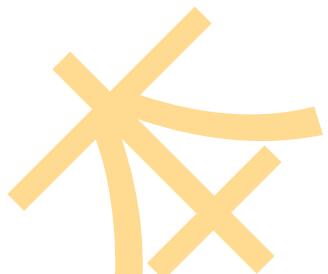
【図形のスタイル】グループ内にある [図形の効果] ボタンにポイントし、そのままクリックします。



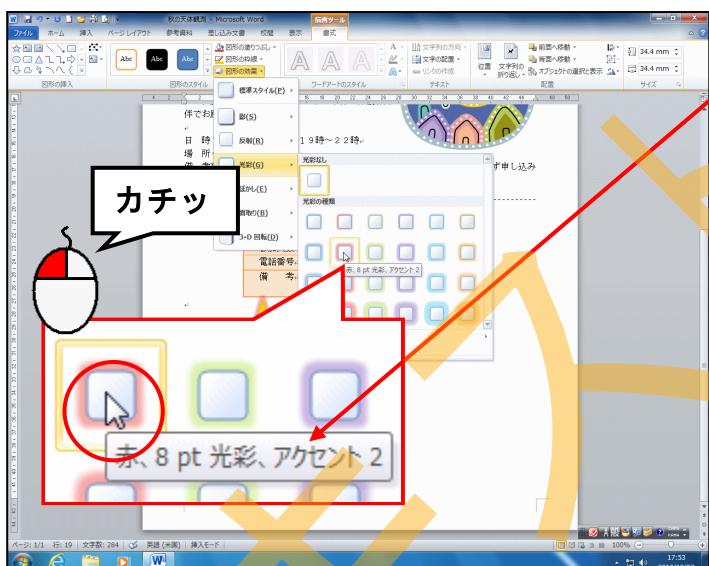
表示されたメニューから「光彩(G)」にポイントします。



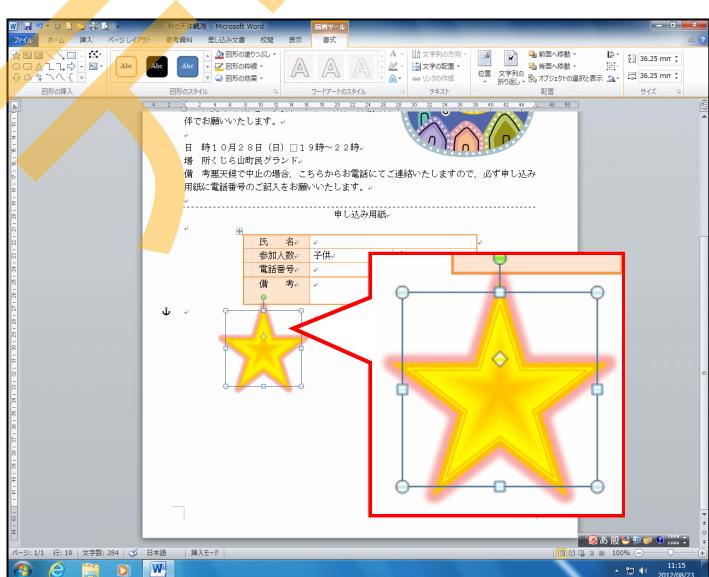
● [光彩(G)] にポイントすると、光彩の効果の一覧が表示されます。



光彩の効果の一覧から「赤、8pt 光彩、アクセント 2」にポイントし、そのままクリックします。



● 目的の光彩にポイントすると、光彩の種類がポップヒントとして表示されます。



图形の効果の補足説明

P202

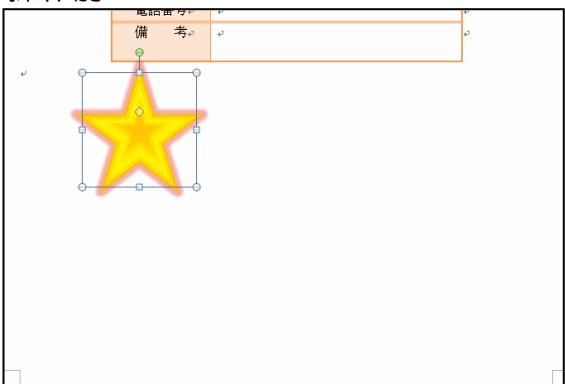
## ⑤ 図形のコピーと移動

完成した星をコピーして、たくさんの星を描きましょう。星の位置は適当で構いません。

図形のコピーと移動には、[ホーム] タブの [クリップボード] グループにある [切り取り]、 [コピー]、 [貼り付け] ボタンを使うより、マウスを使ってドラッグする方法が便利です。

### ◆マウスを使って図形をコピー・移動する方法をマスターしましょう。

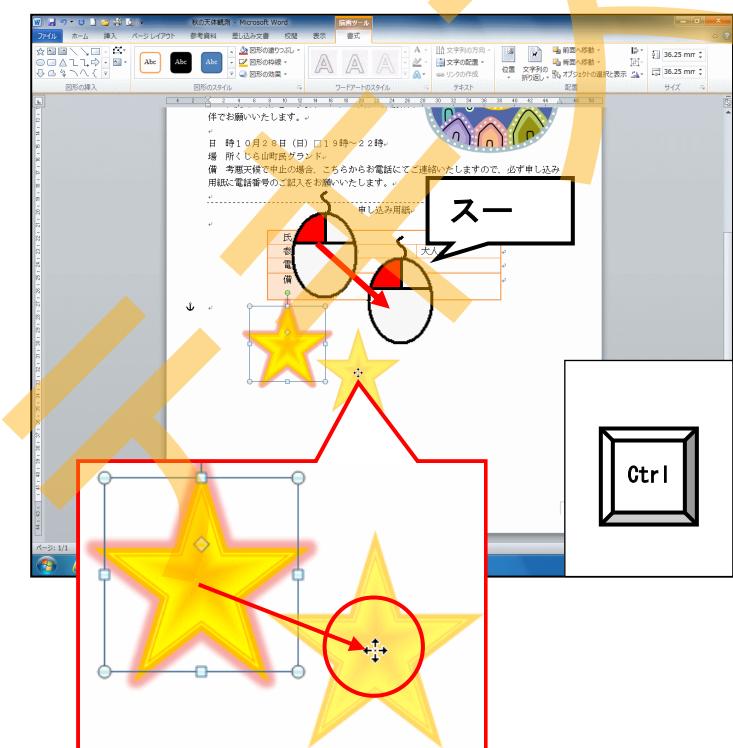
操作前



操作後



星の図形にポイントし、マウスポインターが になったところで [Ctrl] キーを押したまま、コピーしたい位置にドラッグします。



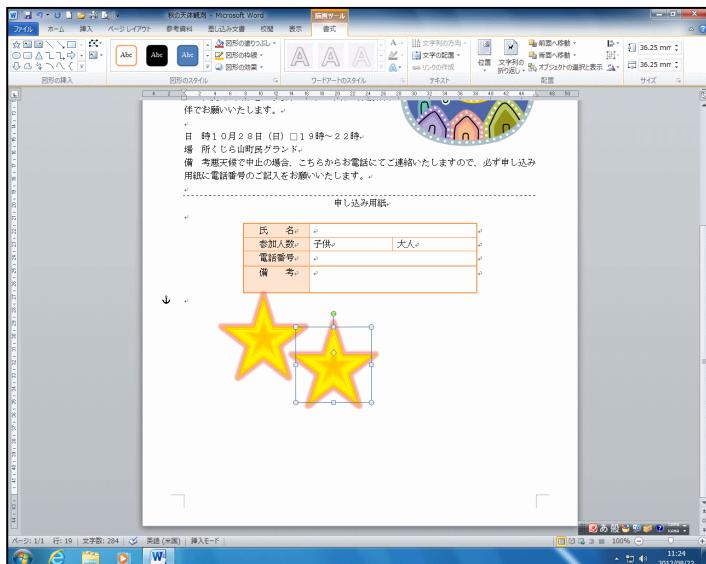
- [Ctrl] キーを押すと、マウスポインターが から に変わります。[Ctrl] キーを押すのは、コピー操作を行うためです。



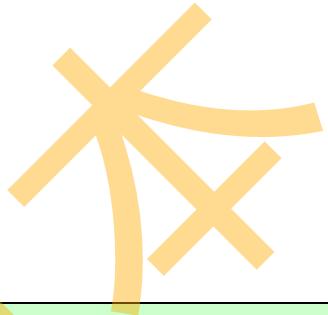
- ドラッグ中も [Ctrl] キーから指を離さないようにしてください。

余裕があれば読んでね

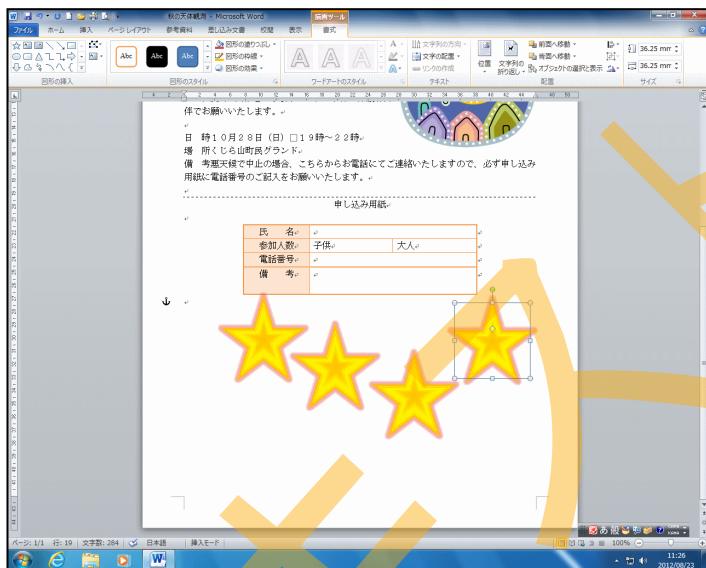
- [Shift] キーも一緒に押すと、水平または垂直にコピーすることができます。また、[Ctrl] キーを押した状態で [D] キーを押すと、選択した図形を複写できます。



- [Ctrl] キーよりもマウスのボタンを先に離さないと、コピーではなく移動になってしまいます。



同じ要領あと2つ星をコピーします。

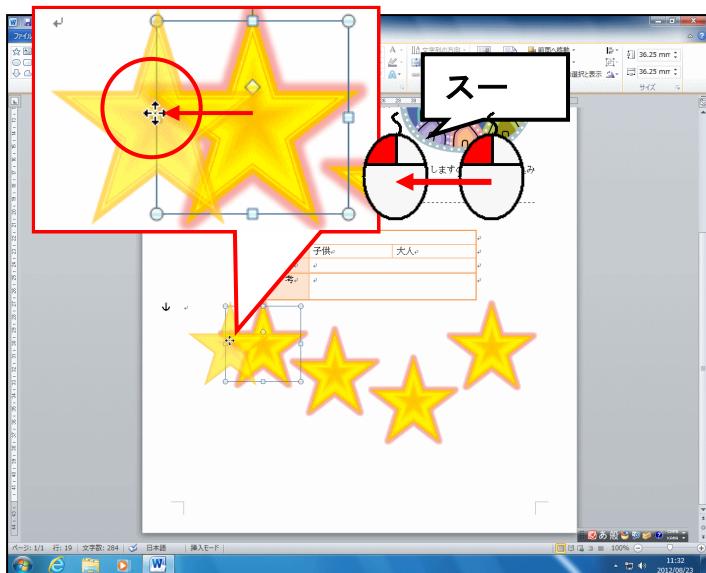


- 左の画面を参考にして、あと2つ星をコピーしてください。位置は後でも変更することができます。



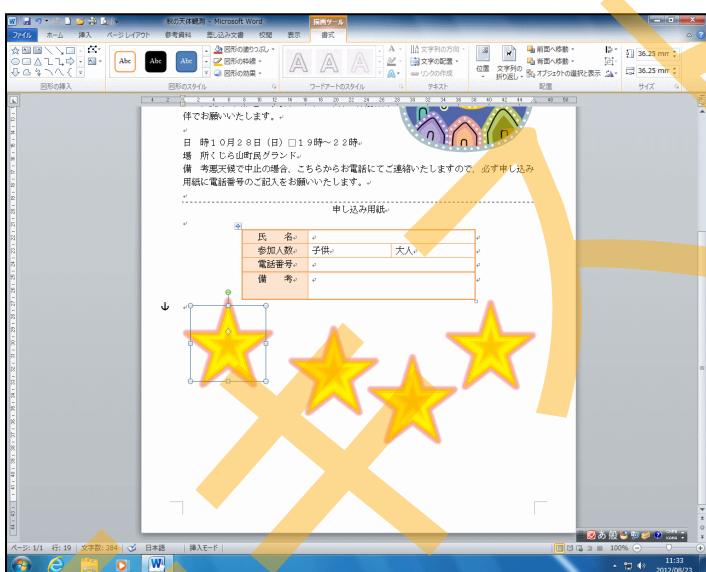
●描いた星の位置を調整するため、それぞれの星を移動してみましょう。

移動したい星にポイントし、マウスポインターが  になったところでマウスの左ボタンを押したまま、下のように少し左の位置までドラッグします。



●星にポイントするとマウスポインターが  に変わります。

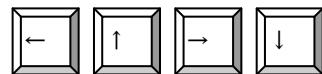
●マウスの左ボタンを押した段階でマウスポインターは  に変わります。



●マウスのボタンを離した時点で図形がドラッグした位置まで移動します。

余裕があれば読んでね

●図形の配置を微調整したい場合は、図形を選択した状態で、キーボードの [矢印] キーを押します。



## ⑥ 図形の拡大／縮小

星をコピーや移動しただけでは、星の大きさはすべて同じ大きさとなっています。今度は、星の大きさを調整して1つ1つの星の大きさを変えてみましょう。

### ◆図形のサイズの変更方法をマスターしましょう。

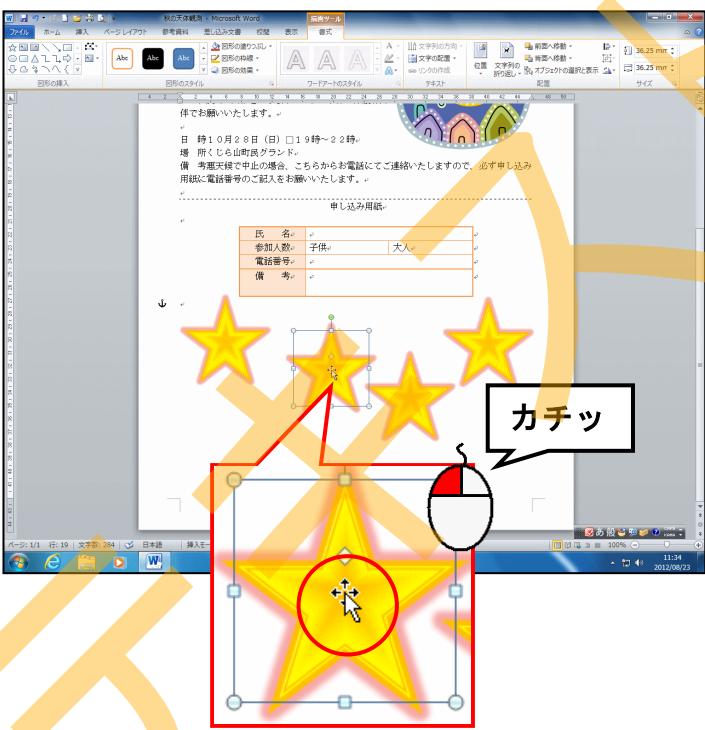
操作前



操作後



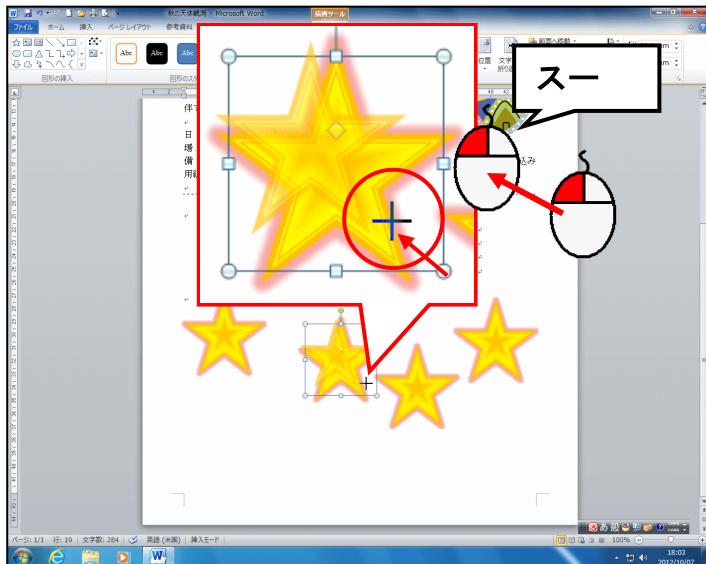
左から2つ目の星にポイントし、そのままクリックします。



●図形にポイントすると、マウスポイントは の状態になります。

●クリックすると、星が選択されて周りに や (サイズ変更ハンドル) が表示されます。

星の右下に表示された  (サイズ変更ハンドル) にポイントし、マウスポインターが  の状態になっていることを確認して、左上に向かってドラッグします。



●右下の  (サイズ変更ハンドル) にポイントすると、マウスポインターは  に変わります。

●ドラッグ中のマウスポインターの形は+になっています。

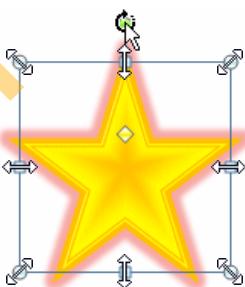
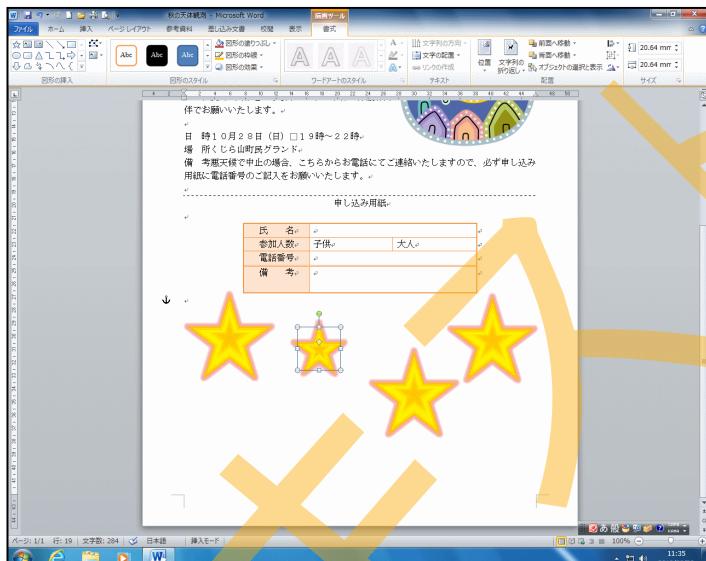
余裕があれば読んでね

●  の状態ではマウスをどの方向にもドラッグすることができます。  
 や  の状態では、縦または横にしかドラッグすることができません。

●マウスから指を離した時点で図形のサイズが小さくなります。

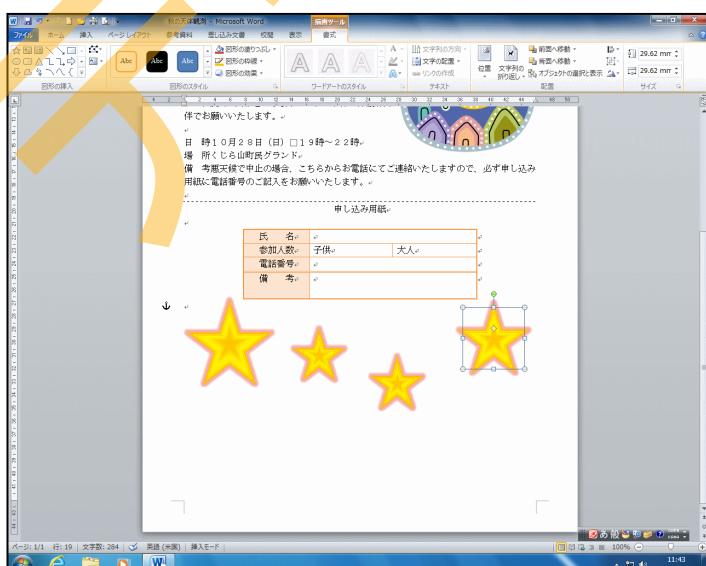
余裕があれば読んでね

●サイズ変更ハンドルにポイントする位置によって、マウスポインターは下のように異なります。



中央上にある黄緑の  を回転ハンドルといいます。  
(P51 で説明しています)

同様にして右端2つの星の大きさを小さく変更してみましょう。



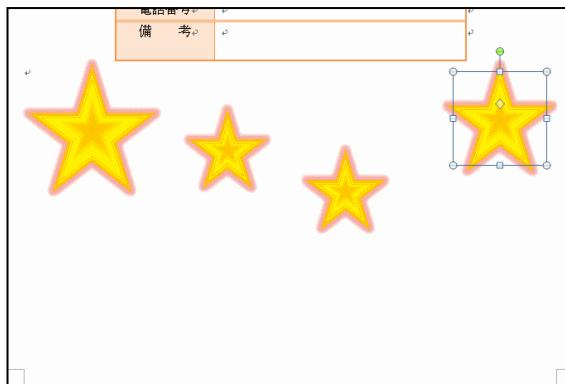
## ⑦ 図形の左右反転

描いた図形は、左右や上下に反転することができます。

図形で「月」を描くと、通常は  (右向き) に描かれてしまいます。  
ここでは、「月」を描いて左右に反転してみましょう。

### ◆図形の左右反転方法をマスターしましょう。

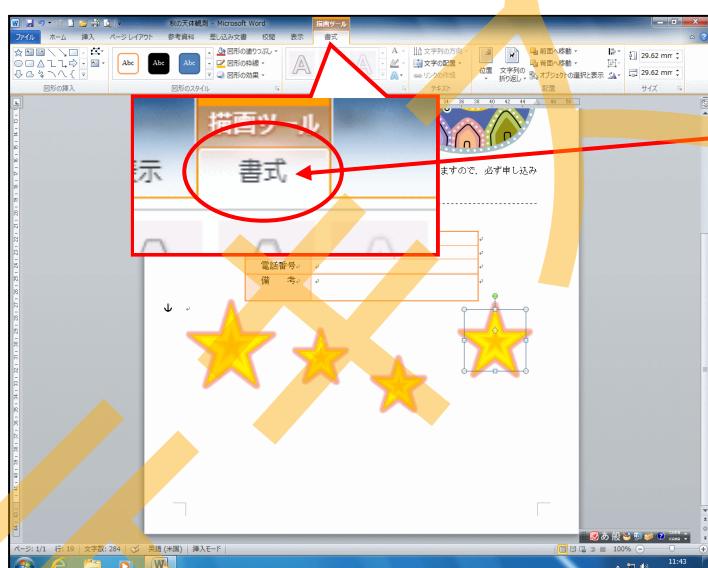
操作前



操作後

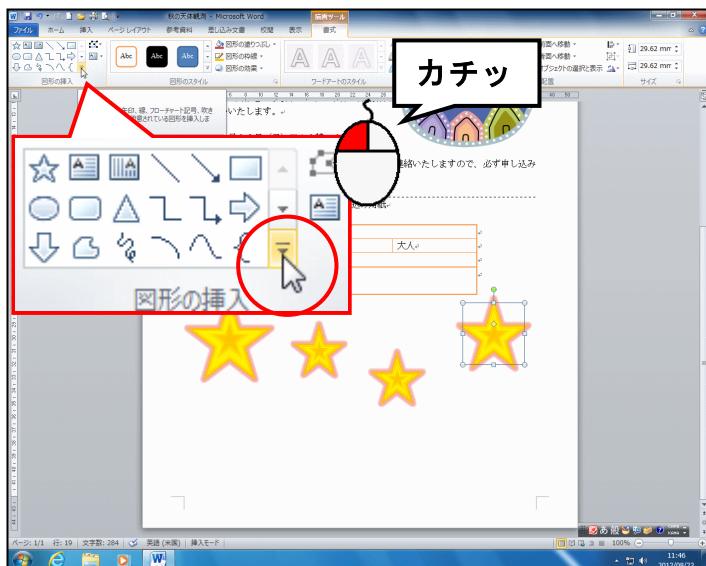


### 描画ツールの [書式] タブが選択されていることを確認します。

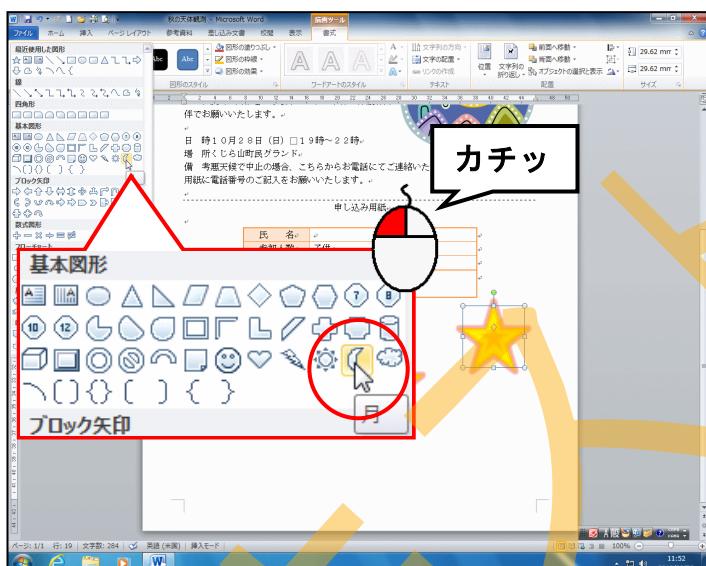


● **描画ツールの [書式] タブが選択されていない方は、「星」を選択して、描画ツールの [書式] タブをクリックして表示させてください。**

【図形の挿入】グループ内の [その他] ボタンにポイントし、そのままクリックします。



表示された図形一覧の [基本图形] にある 〔月〕にポイントし、そのままクリックします。

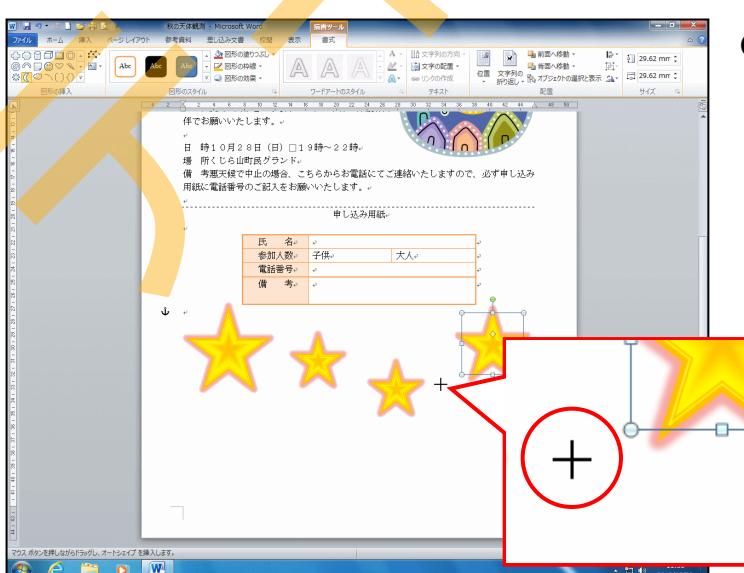


● 図形一覧の [最近使用した图形] に 〔月〕があれば、そちらをクリックしても大丈夫です。



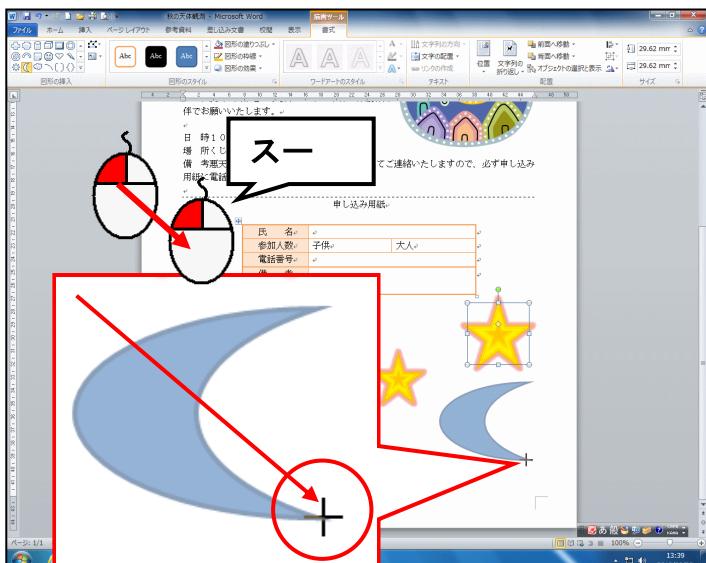
余裕があれば読んでね

● [挿入] タブの [図形] ボタンから 〔月〕をクリックしても大丈夫です。



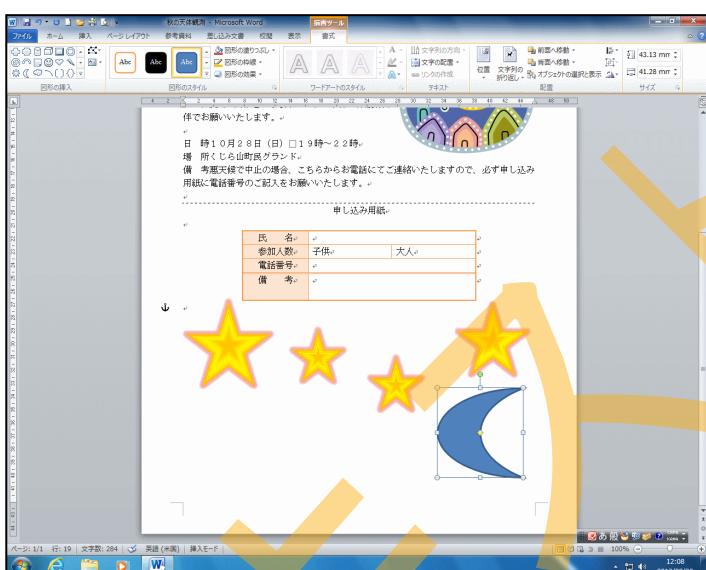
● 〔月〕をクリックし、マウスポインターを文書内に移動すると十の状態に変わります。

下図を参考にマウスのボタンを押したまま、右下に向かってドラッグします。



注意!

- クリックしてしまうと、既定の大きさの【月】が描かれてしまうので注意しましょう。

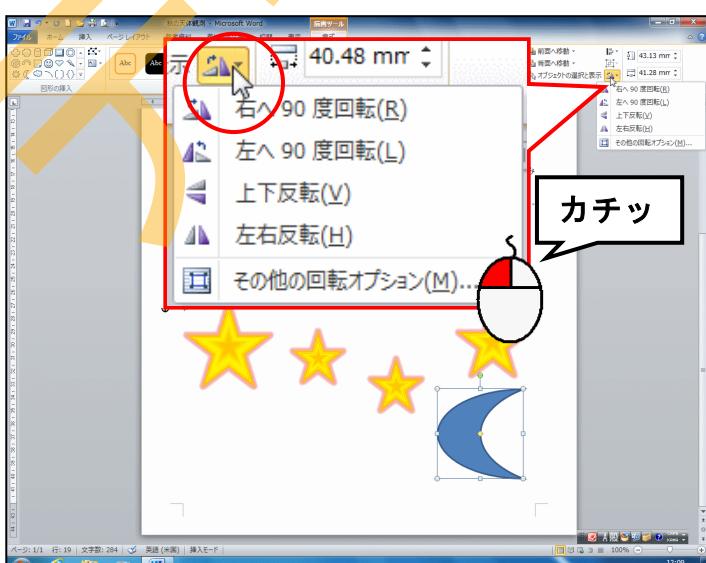


- マウスから指を離した時点で月が描かれます。

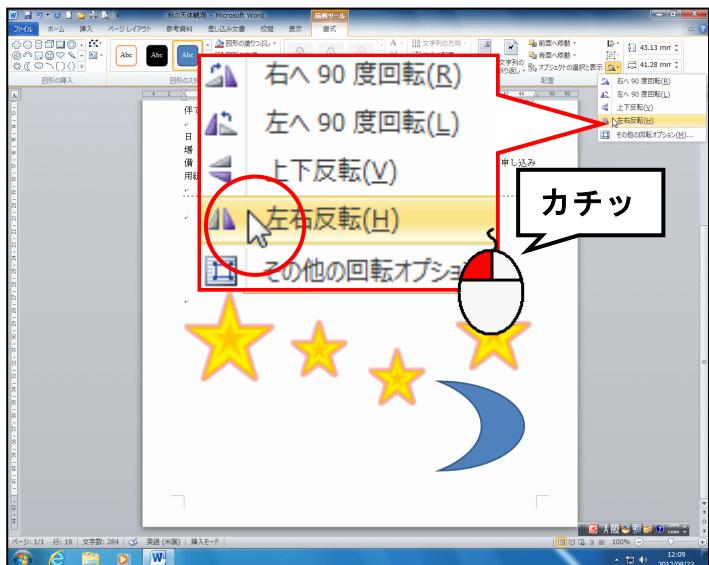
余裕があれば読んでね

- 図形を選択したときに、◆（変形ハンドル）が表示される場合があります。図形によって表示されるものとされないものがありますが、◆（変形ハンドル）が表示された図形では、◆をドラッグすると図形を変形することができます。

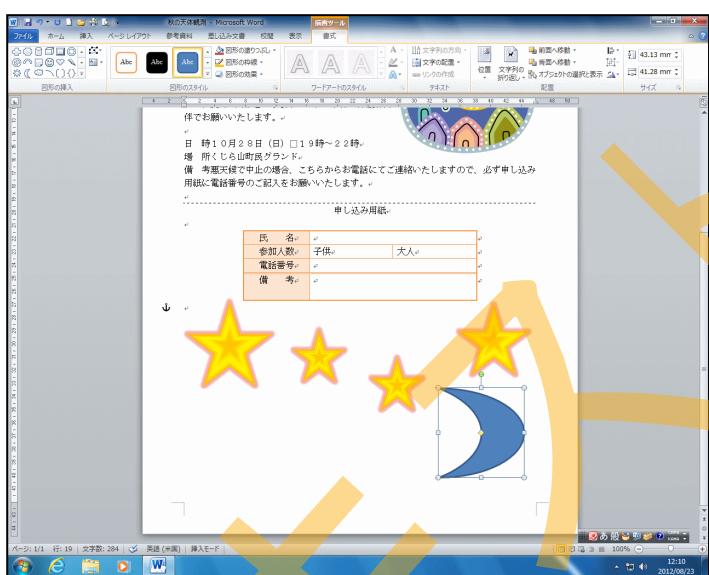
描いた「月」が選択された状態であること、描画ツールの【書式】タブが選択されていることを確認して、【配置】グループの [回転] ボタンにポイントし、そのままクリックします。



表示されたメニューから【左右反転(H)】にポイントし、そのままクリックします。

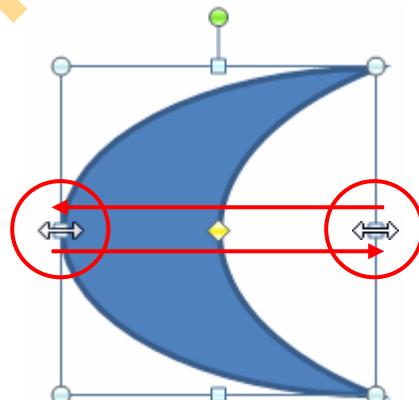


●左右反転すると、左右の向きが逆になります。上下逆向きにする場合は、【上下反転(V)】を選択します。



余裕があれば読んでね

●マウスを使っても左右を反転させることができます。  
下の位置にポイントして、マウスボイントが ⇄ の状態で左右にドラッグします。

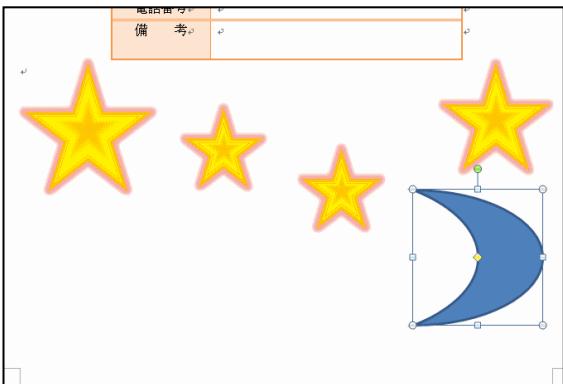


## ⑧ 図形の回転

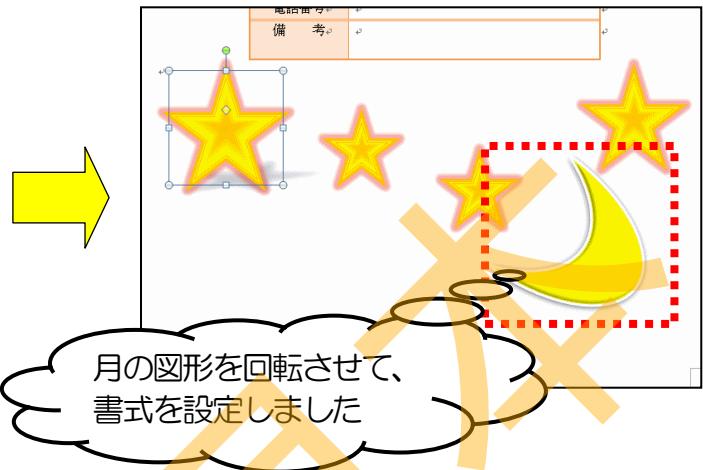
反転させた「月」を少し右に回転させてみましょう。

◆図形の回転方法をマスターしましょう。

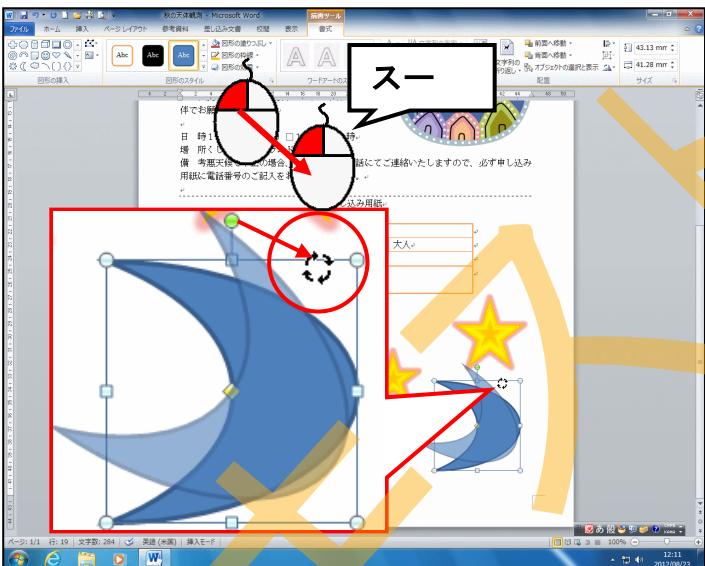
操作前



操作後

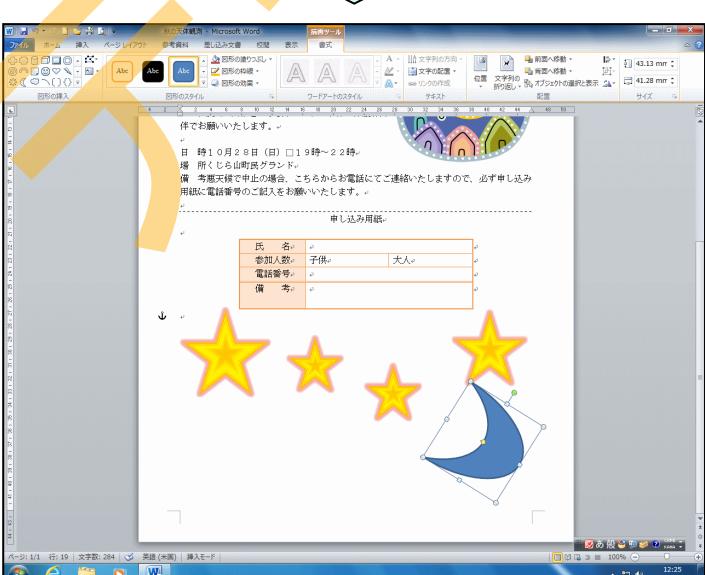


● (回転ハンドル) にポイントし、右下に向かって少しドラッグします。



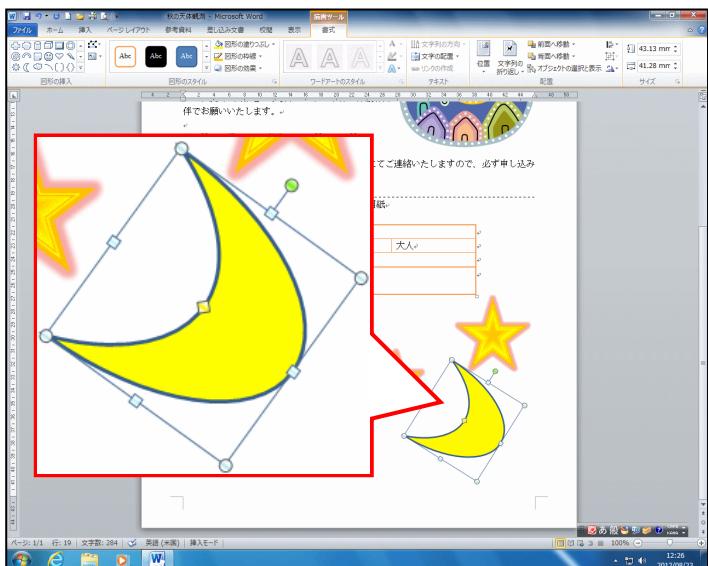
● ● (回転ハンドル) にポイントすると、マウスポインターが  に変わります。

● マウスの左ボタンを押した時点でマウスポインターが  に変わります。

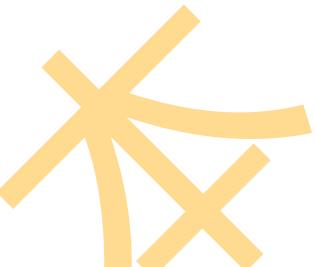


● マウスから指を離した時点で、図形がドラッグした方向に回転します。

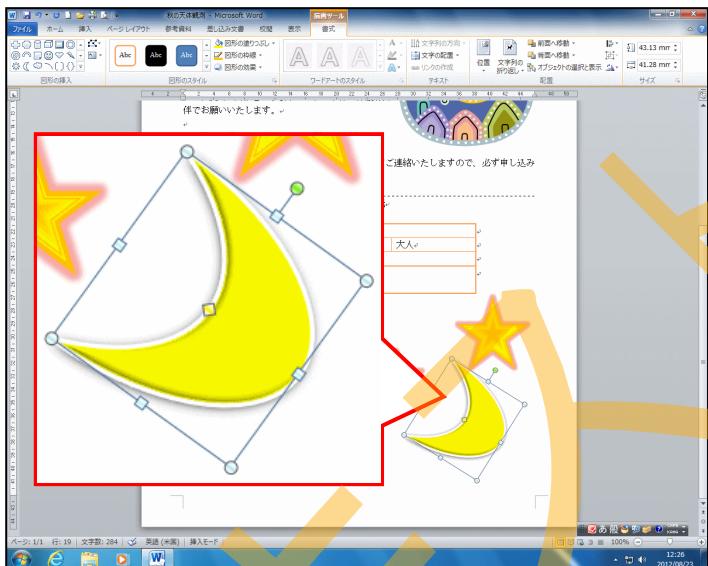
下図を参考に「月」を移動し、塗りつぶしの色を「黄」に設定しましょう。



●図形の塗りつぶし方法を忘れた方は、P25 ② 図形の塗りつぶしの色の設定、P199 ■図形を単色で塗りつぶすを参照してください。



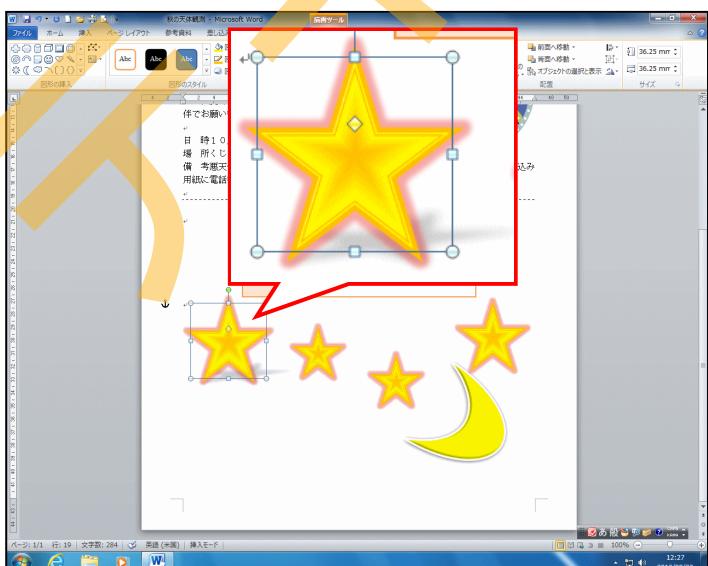
「月」に図形の効果の「標準スタイル(P)」—「標準スタイル1」を設定しましょう。



●図形の効果の設定方法を忘れた方は、P40 ④ 図形の効果の設定、P202 図形の効果の補足説明を参照してください。



一番左の「星」に図形の効果の「影(S)」—「透視投影（斜め右上）」を設定しましょう。



●図形の効果の設定方法を忘れた方は、P40 ④ 図形の効果の設定、P202 図形の効果の補足説明を参照してください。

図形の最前面・最背面 P203

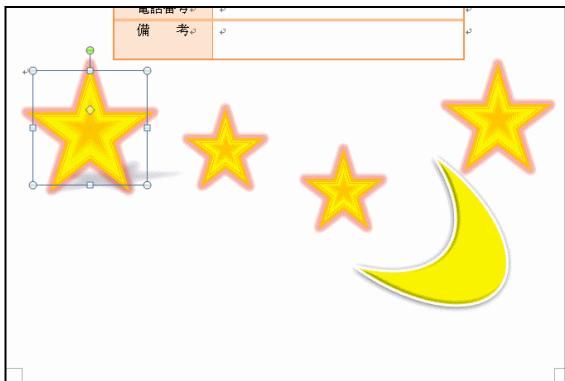
図形についての補足説明 P204

## ⑨ 複数の図形のグループ化

現在、画面上には4つの「星」と1つの「月」、合計5つ図形が存在します。このままでは、5つの図形をまとめて移動したり、サイズ変更したりできません。そこで、これら5つの図形を「グループ化」という作業を行い、1つの図形にまとめます。グループ化された図形は1つの図形とみなされて、一緒に移動したり、サイズ変更したりすることができます。

### ◆複数の図形をグループ化する方法をマスターしましょう。

操作前

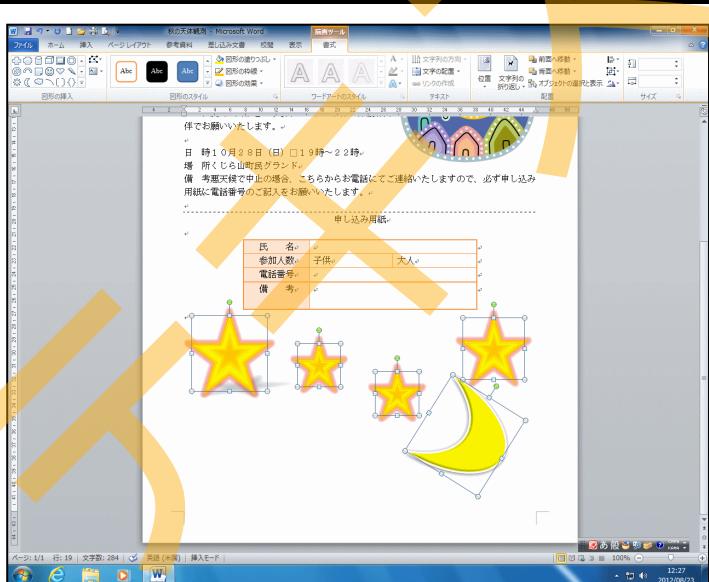


操作後



5つの図形を1つの図形として設定しました

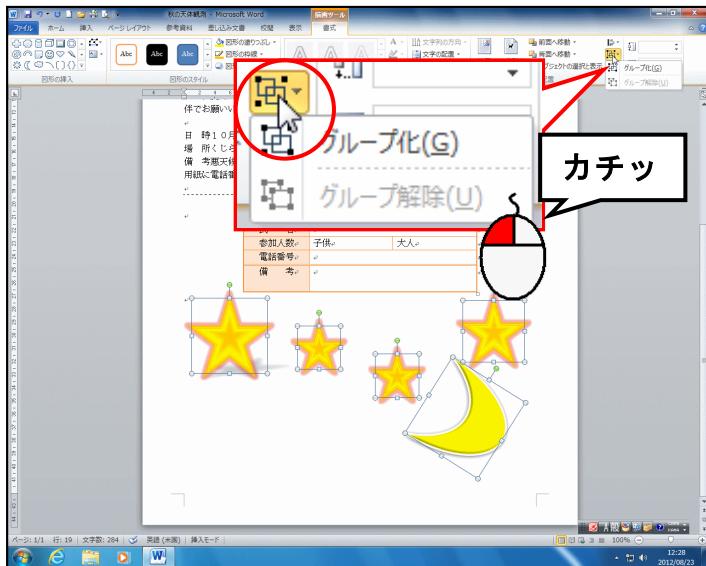
### 5つの図形を同時に選択します。



●複数の図形の選択方法を忘れた方は、P17を参照してください。

●5つの図形を同時に選択すると、5つの図形すべての周りに●や□(サイズ変更ハンドル)が表示されます。

[書式] タブの [配置] グループにある [図] [グループ化] ボタンにポイントし、そのままクリックします。

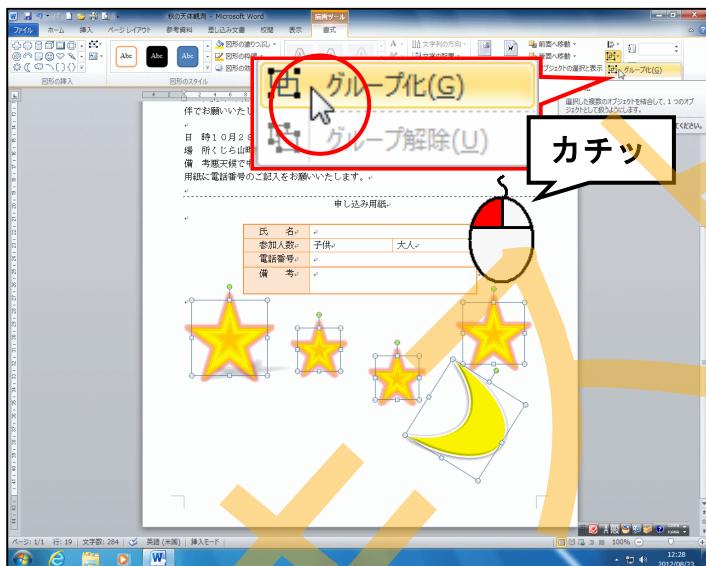


注意!

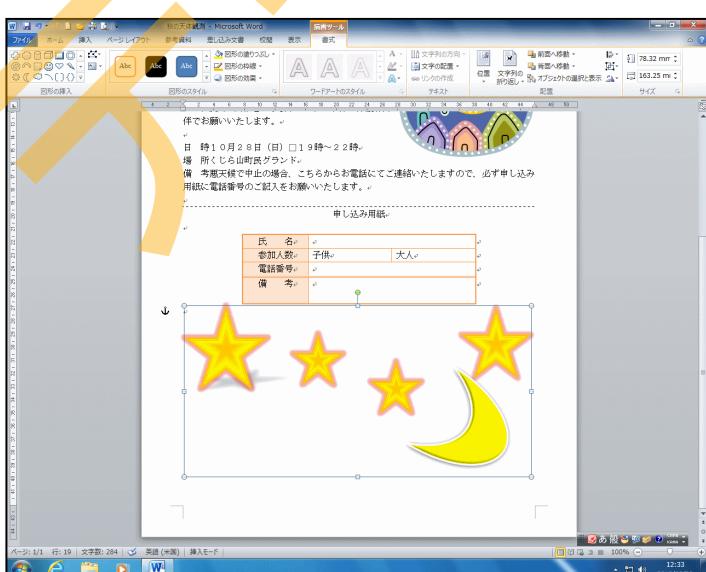
- 複数(2つ以上)の図形が選択されていない場合、[図] [グループ化] ボタンは、[図] のように淡色に表示され使用することができません。



表示されたメニューから [グループ化(G)] にポイントし、そのままクリックします。

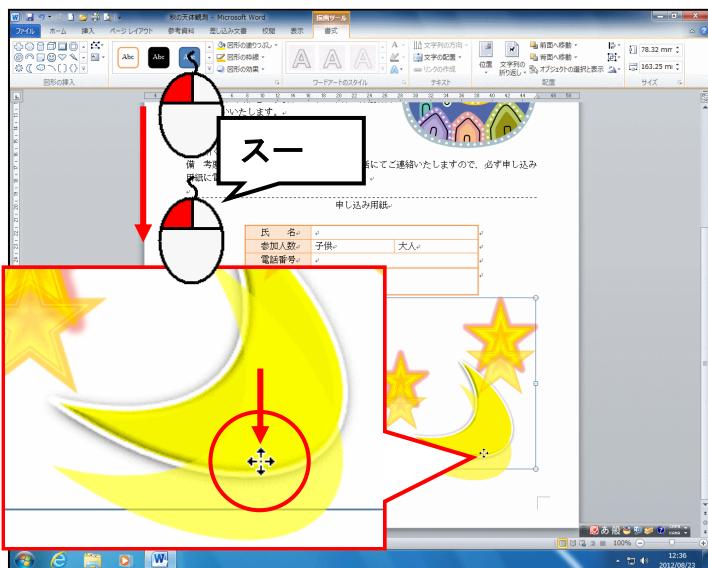


- [グループ化(G)] をクリックした時点で、5つの図形がグループ化されて1つになったため、多数あった ● や □ (サイズ変更ハンドル) が、8つに減りました。



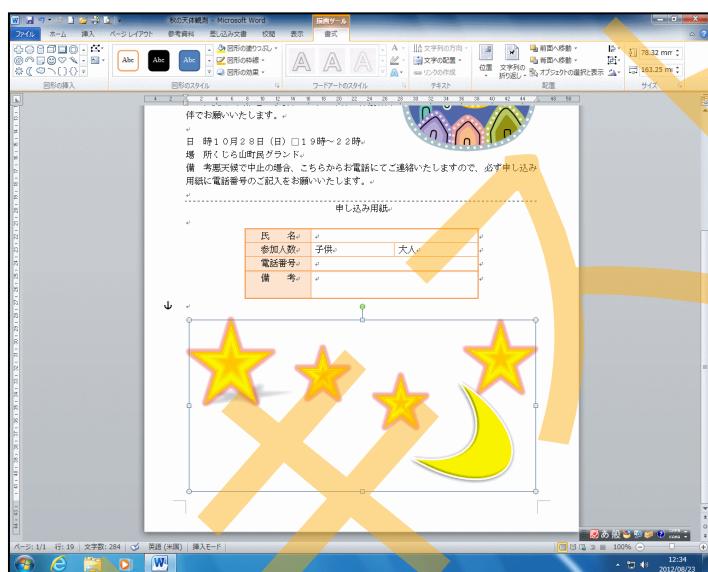
●グループ化されたことを確認するために、図形を少し下に移動してみましょう。

グループ化された図形の中にポイントし、マウスポインターが变成了なったところで、下にドラッグします。



注意!

●必ずマウスポインターが变成了なったことを確認して、操作してください。



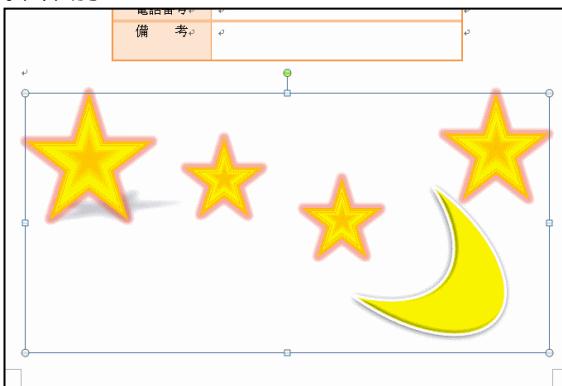
●グループ化されたため、1回のドラッグですべての図形が移動します。

## ⑩ クリップアート（イラスト）の挿入

ワード I の確認でクリップアート（夜空のイラスト）を挿入しましたが、ここでもう一度「天体望遠鏡」の絵を挿入し、挿入したクリップアートを左右反転してみましょう。

### ◆クリップアートの挿入方法をマスターしましょう。

操作前



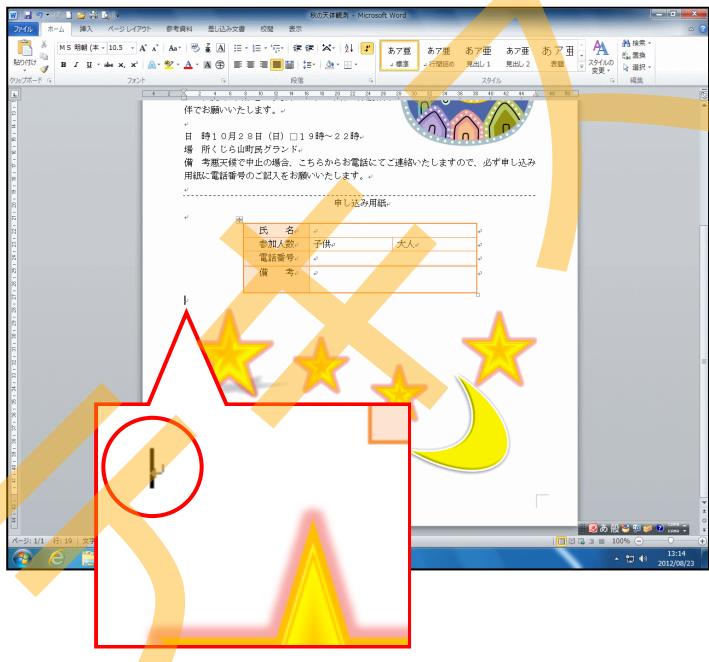
操作後



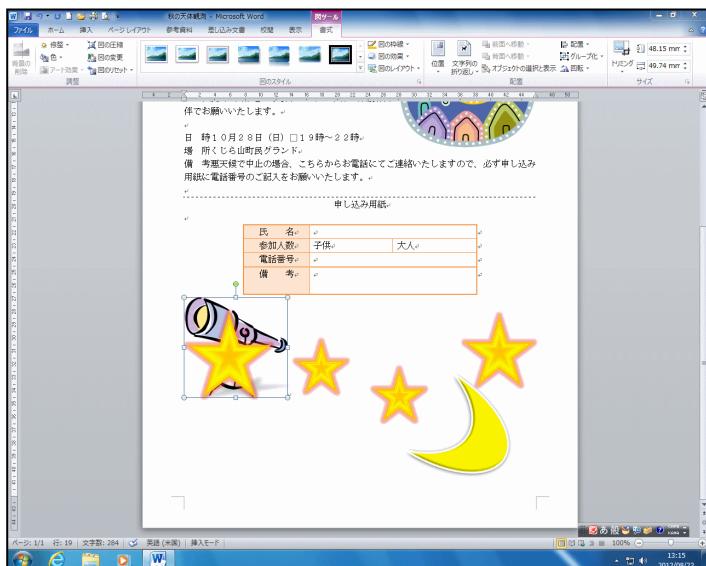
天体望遠鏡のクリップアート  
が挿入されました

カーソルを表の下の段落に移動します。

●カーソルがある位置にクリップアートを挿入します。



## 「天体望遠鏡」という名で検索したクリップアートを挿入しましょう。

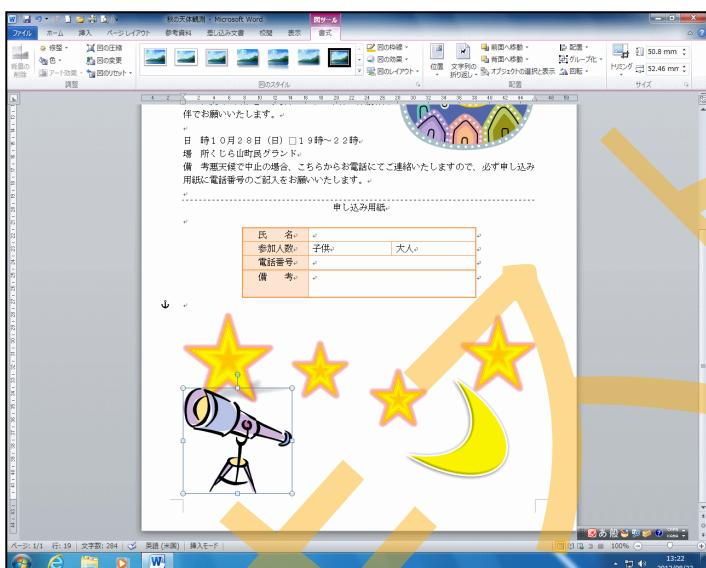


●クリップアートの挿入を忘れた方は、  
ワードIを参照してください。

●クリップアートの挿入後、[クリップアート]作業ウィンドウは閉じておきましょう。

●同じ画像がない場合は、お好きなクリップアートを挿入してください。

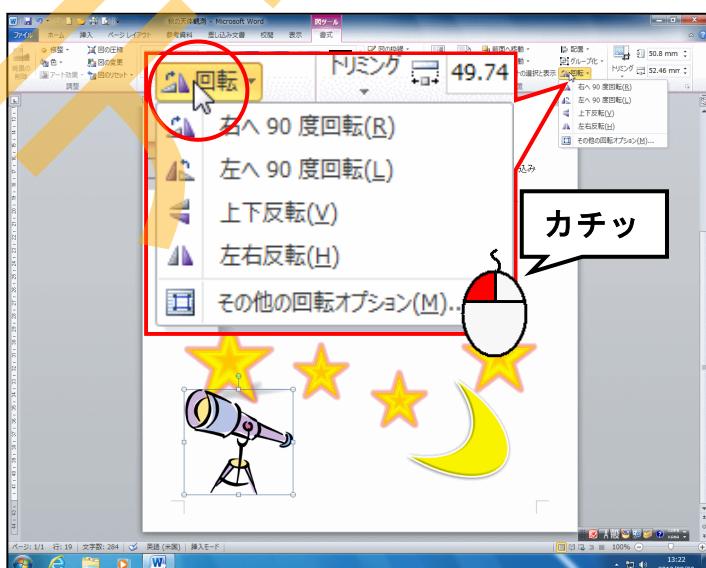
挿入したクリップアートの文字列の折り返しを「前面」に設定し、下のように大きさと位置を調整しましょう。



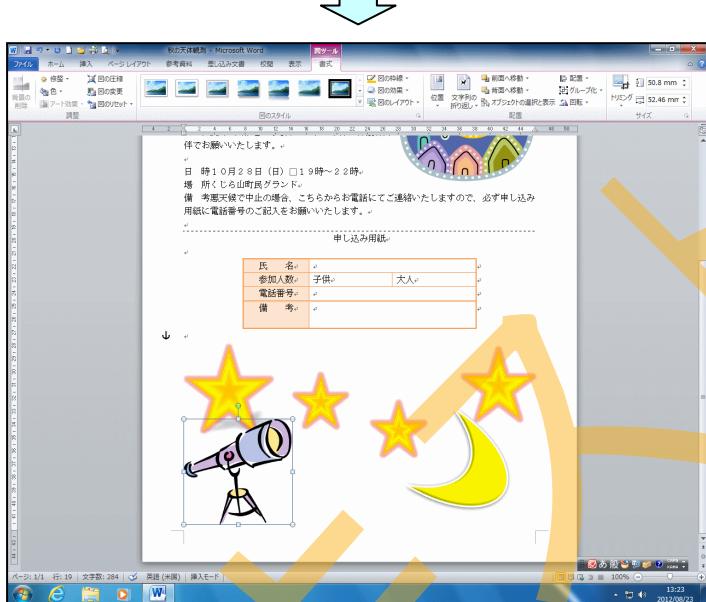
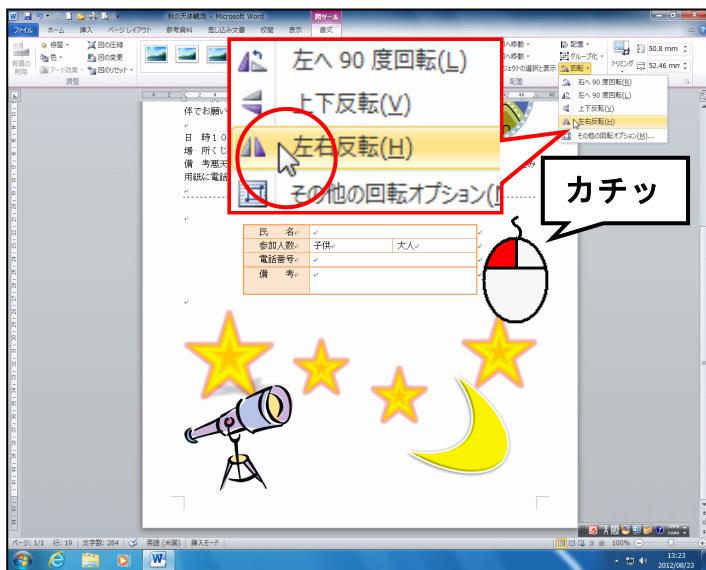
●挿入直後のクリップアートは、文字列の折り返しが「行内」に設定されています。

●クリップアートの文字列の折り返しや大きさや位置の変更を忘れた方は、ワードIを参照してください。

クリップアートを左右反転させるため、図ツールの[書式]タブにある[配置]グループの[回転]ボタンにポイントし、そのままクリックします。



表示されたメニューから [左右反転(H)] にポイントし、そのままクリックします。



## ⑪ テキストボックスの作成

テキストボックスとは、文字を入力するための四角い図形のことをいいます。テキストボックスのいいところは、本文と違って自分の好きな場所に簡単に文章を配置できるところです。

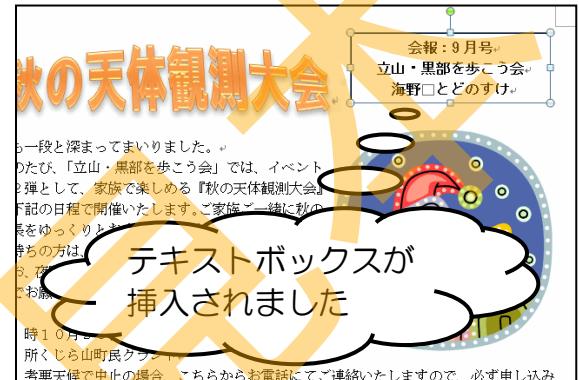
ワードアート（秋の天体観測大会）の右側にテキストボックスを作成して、そこに文字を入力してみましょう。

### ◆テキストボックスの作成方法をマスターしましょう。

操作前



操作後

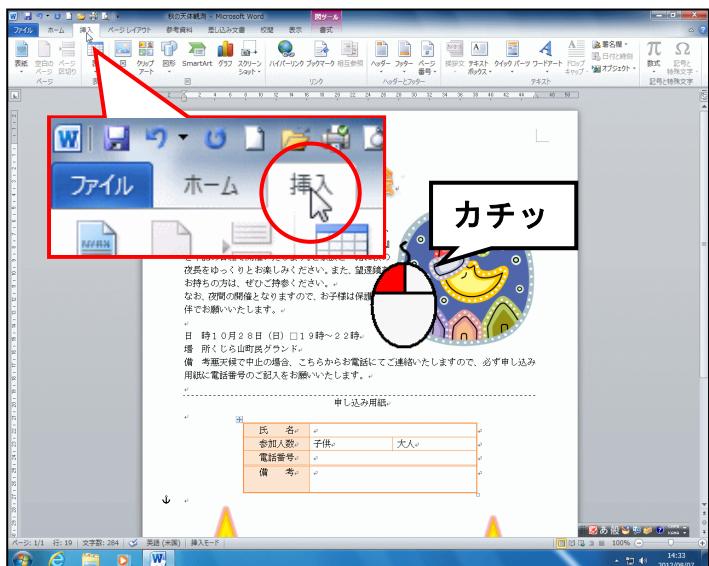


画面を文書の一番上が表示されるようにスクロールします。



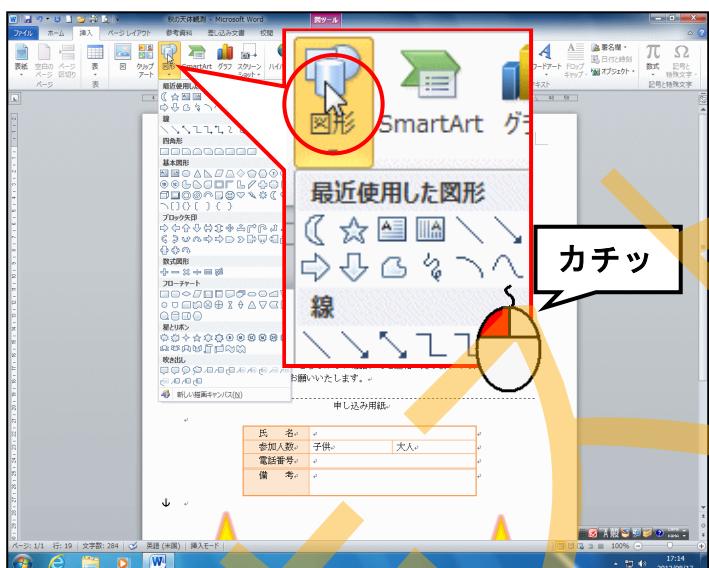
●画面をスクロールする方法を忘れた方は、P23を参照してください。

[挿入] タブにポイントし、そのままクリックします。



● [挿入] タブをクリックすると、グループ、ボタンの内容が変わります。

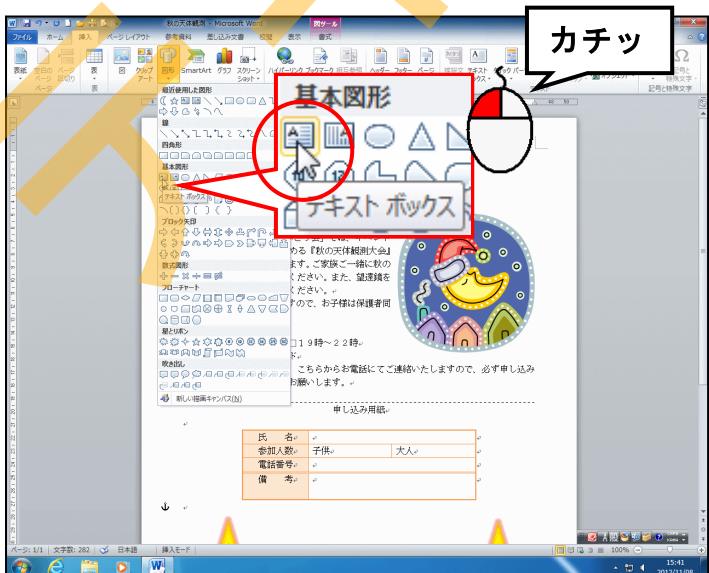
[図] グループ内の [図形] ボタンにポイントし、そのままクリックします。



● リボンが表示されていない方は、  
P227 リボンの最小化を元に戻すを  
参照してください。  
(下記のような状態の方)



表示された図形一覧の [基本图形] にある [テキストボックス] にポイントし、そのまま  
クリックします。

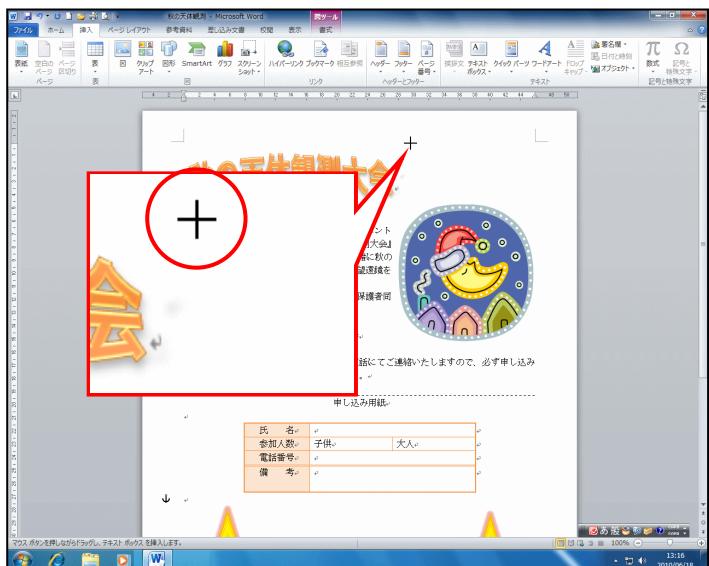


● 図形一覧の [最近使用した图形] に  
[テキストボックス] があれば、  
そちらをクリックしていただいて結構です。



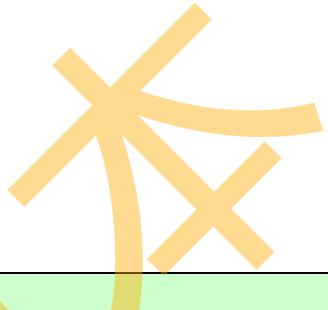
● 隣にある「縦書きテキストボックス」をクリックすると、縦書き用の  
テキストボックスが挿入されてしまうので、間違えないように注意し  
ましょう。

マウスポインターが+になっていることを確認して、ワードアートの右側にポイントします。

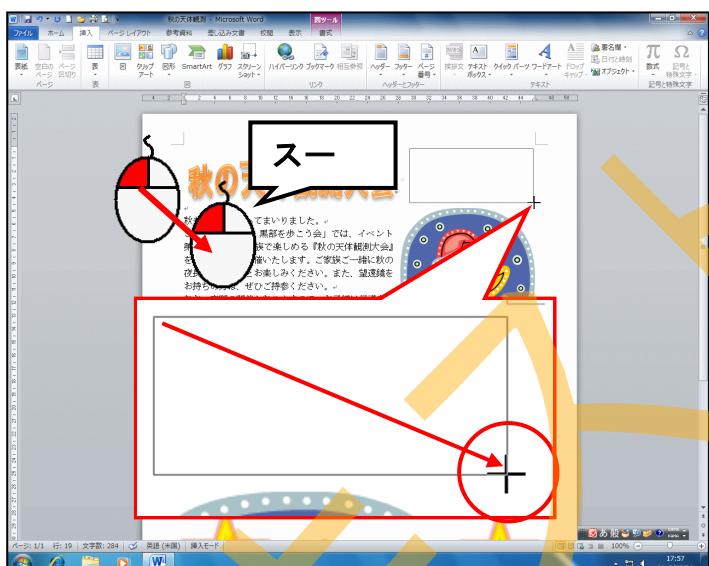


●マウスポインターが+の状態になっていない場合は、ドラッグしてもテキストボックスを描くことができません。

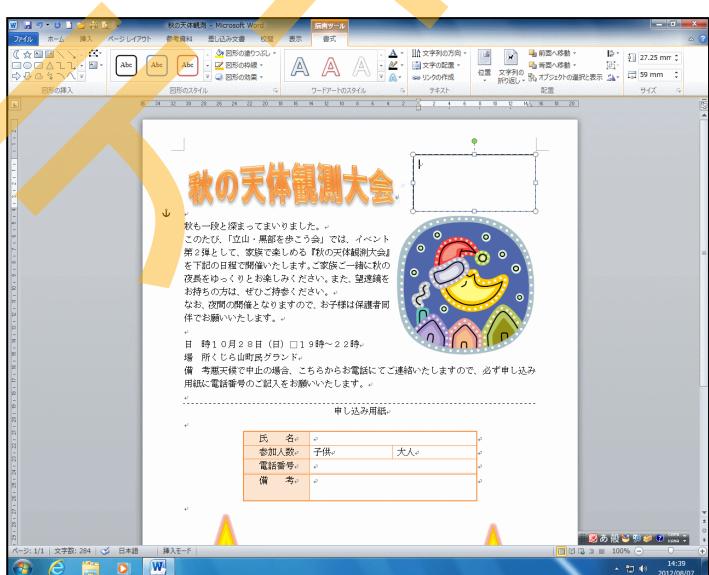
もう一度 P60 から操作しましょう。



マウスの左ボタンを押して、右下に向かってドラッグします。



●クリックしてしまうと既定の大きさに描かれてしまいます。

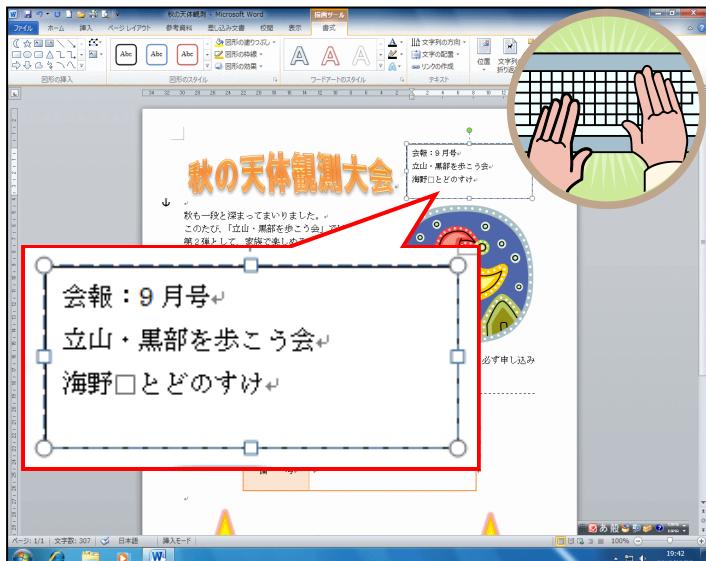


●マウスのボタンから指を離した時点で、テキストボックスが表示されます。

余裕があれば読んでね

●テキストボックスは、[挿入] タブの [テキスト] グループにある 「テキストボックス」ボタンをクリックし、表示されるメニューから [横書きテキストボックスの描画 (D)] をクリックしても描くことができます。

## テキストボックスの中にカーソルが表示されていることを確認して、文字を入力します。

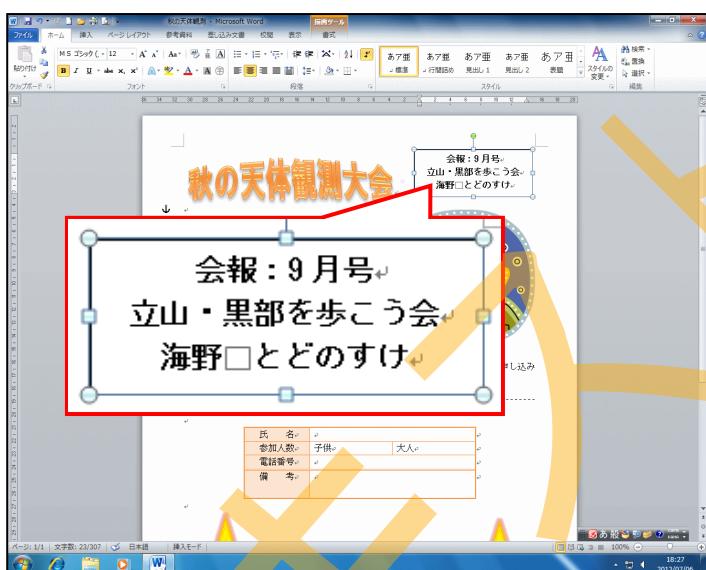


- 左の図を参照して文字を入力してください。

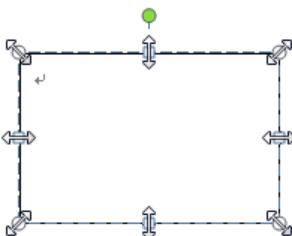


- テキストボックスの外でクリックしてしまうと、テキストボックス内のカーソルが消えてしまいます。テキストボックス内のカーソルが消えてしまった場合は、テキストボックス内をクリックすると、カーソルがテキストボックス内に表示されます。

## テキストボックス内の文字に「MS ゴシック」、「12pt」、「太字」を、またすべての段落に「中央揃え」を設定して、下のようにテキストボックスの大きさを調整しましょう。



- 入力した文字がすべて表示されない場合やテキストボックスが大きすぎる場合は、テキストボックスの大きさを変更します。テキストボックスのサイズを変更するには、テキストボックスを選択したときに表示される ● や □ (サイズ変更ハンドル) をドラッグします。

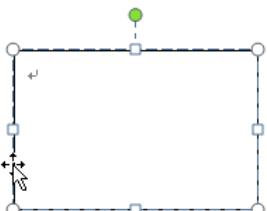


テキストボックスについての補足説明 P205

ご参考までに

### ● 描いたテキストボックスを移動する方法

描いたテキストボックスを移動したい場合は、テキストボックスの枠線にポイントし、マウスポインターが ↑↓ になったところでドラッグします。



### ● 描いたテキストボックスの削除方法

描いたテキストボックス内にカーソルが表示されている場合は、テキストボックスを削除することができません。削除したい場合は、テキストボックスの枠線にポイントし、マウスポインターが ↑↓ になったところでクリックします。(この操作でテキストボックス内のカーソルが消えます) 次に [Back Space] キーもしくは、[Delete] キーを押すと、テキストボックスが削除されます。

## ⑫ テキストボックスのスタイルの設定

ワードで表にスタイルを設定しましたが、図形やテキストボックスにもスタイルを設定することができます。ワードの中に組み込まれているスタイルを設定すると、「線の色や種類」、「塗りつぶしの色」などが一度に設定できます。テキストボックスにスタイルを設定するには、描画ツールの【書式】タブの【図形のスタイル】グループで行います。

### ■ 描画ツール【書式】タブ



◆テキストボックスのスタイルの設定方法をマスターしましょう。

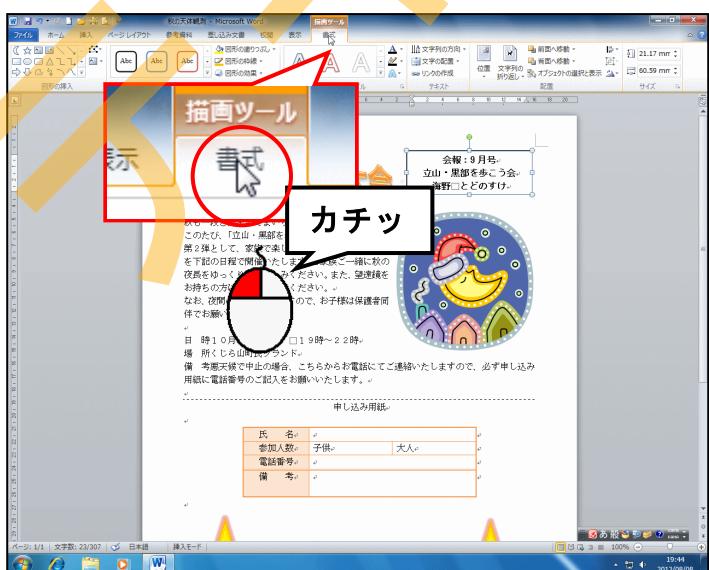
操作前



操作後



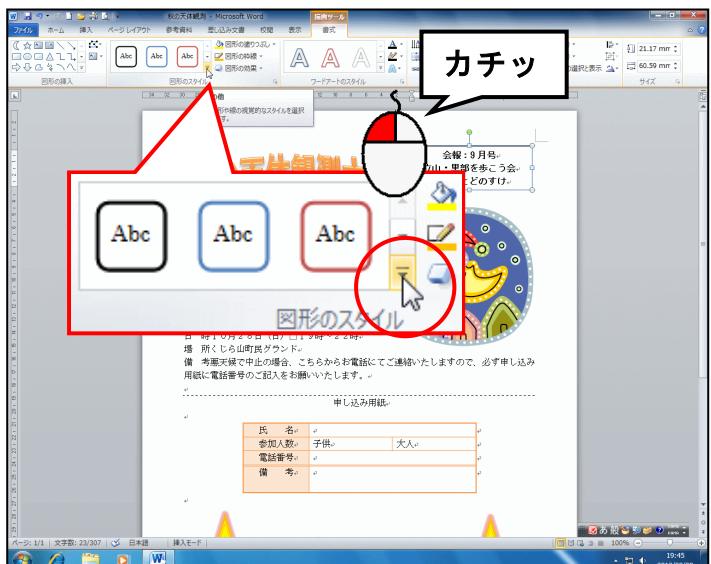
テキストボックスが選択されている状態で、描画ツールの【書式】タブにポイントし、そのままクリックします。



●テキストボックスが選択されいれば、 や  (サイズ変更ハンドル) が表示されます。

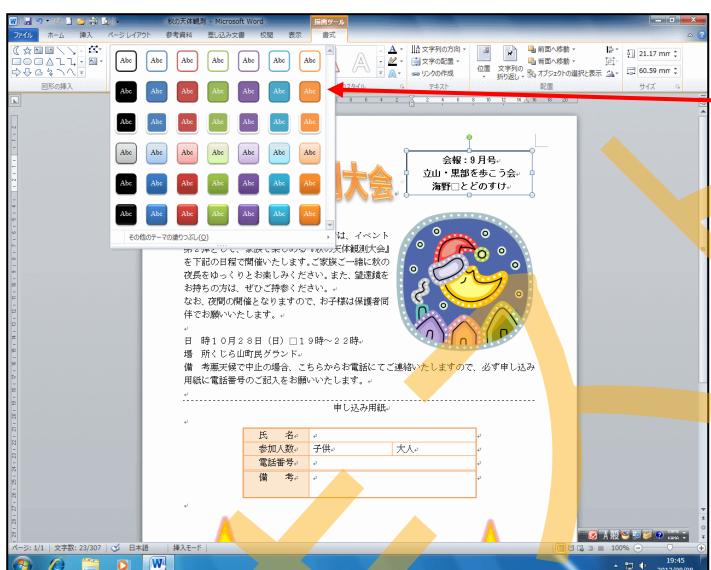
●すでに描画ツールの【書式】タブが表示されている場合は、この操作は必要ありません。

[図形のスタイル] グループ内の [その他] ボタンにポイントし、そのままクリックします。



- リボンが表示されていない方は、P227 リボンの最小化を元に戻すを参照してください。  
(下記のような状態の方)

ファイル ホーム挿入 ページレイアウト 参考資料 嵌込み文書 検閲 表示 ベ式



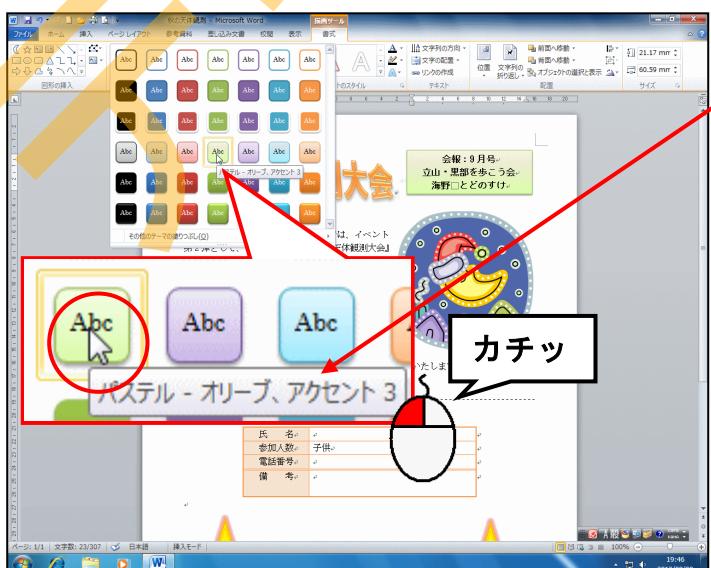
- [その他] ボタンをクリックすると、図形のスタイルの一覧が表示されます。

- 各スタイルの中に表示されている「Abc」の文字は、文字の色を表しています。

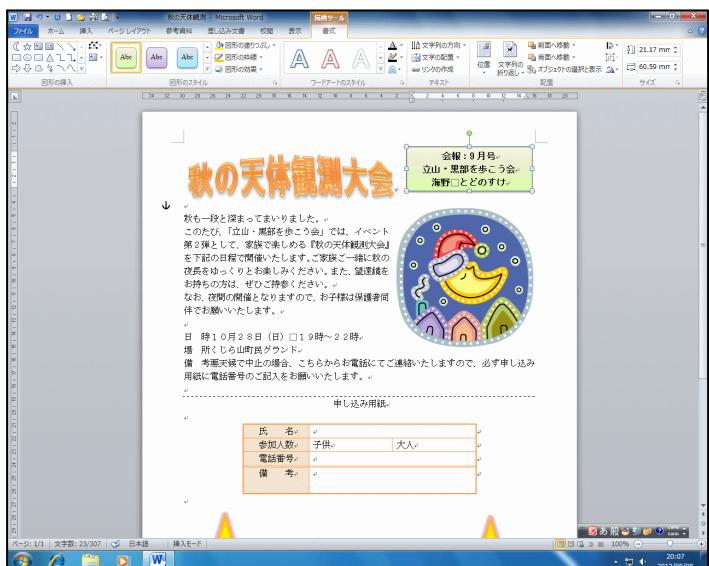
Abc テキストボックス内の文字は黒色になります

Abc テキストボックス内の文字は白色になります

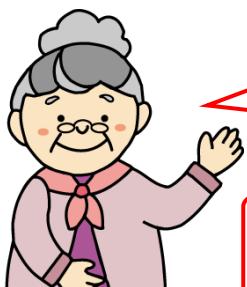
表示されたスタイルの一覧から「パステルーオリーブ、アクセント3」にポイントし、そのままクリックします。



- 目的のスタイルにポイントすると、スタイルの種類がポップヒントとして表示されます。



「秋の天体観測」を上書き保存し、ワードを終了しましょう。



三角形や四角形なんて、文書にどうしていれるのかと思ったけれど、こんなにいろいろできるなんてびっくり！



図形の種類もいっぱいあって、アイデアや組み合わせ次第で楽しいものが作れそうですね。



慣れてくると組み合わせを使って地図を作ったりもできます。いろいろな使い道があるので、ぜひ練習して慣れてていきましょう。

また、図形を駆使してワードで絵を描くこともできます。よかったらチャレンジしてみてください。

ワードで絵が描けるの？ ゼビやってみたいわ！  
このテキストが終わったら、教えてね、先生。



☆☆ここまでくれば、練習問題で理解度を試して下さい。☆☆

### 3. 段落の書式設定 2

## 行間がしつくりこない！？

ウメさん「先生、こういう時はどうしたらいいのかしら？？」

くじら先生「どういう時ですか？」

ウメさん「お礼状を作ったんだけど、そのままだと詰まりすぎる気がするし、1行ずつ間に行を入れると次のページにはみ出してしまうし…どうしたら一番いいと思いますか？」

くじら先生「そういう場合は、段落の設定で解決します！行と行の間隔の変更や、文字を書きはじめる位置などを自由に設定できます。」

ウメさん「そんな機能があるの！？ぜひ覚えたいわ！！」



ワードⅠでも簡単な段落の書式設定については説明しました。

ワードⅡでは、さらに新しく段落内の行間隔とインデントおよびタブについて説明いたします。

段落書式を設定する場合にも、まず設定対象の段落を選択してから操作を行う必要があります。



#### (1) 段落の選択方法

##### ① 1段落だけを選択する

1段落だけを選択するには、選択の対象となる段落内にカーソルを移動します。

「秋の天体観測」の文書の「秋も一段と深まってまいりました。」の1段落を選択してみましょう。

◆ 1段落だけを選択する方法をマスターしましょう。

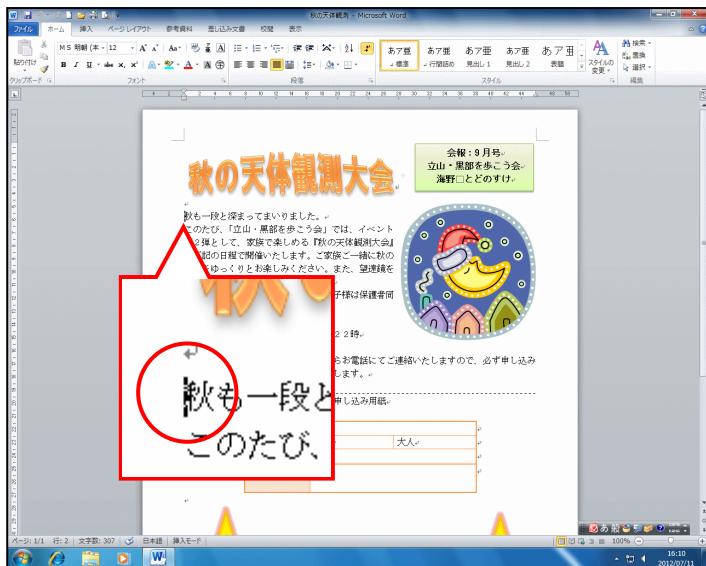
操作前

秋の天体観測  
秋も一段と深まってまいりました。  
このたび、「立山・黒部を歩こう会」では、  
第2弾として、家族で楽しめる『秋の天体観測』

操作後

秋の天体観測  
秋も一段と深まってまいりました。  
このたび、「立山・黒部を歩こう会」では、  
第2弾として、家族で楽しめる『秋の天体観測』

リムーバブルディスクに保存した「秋の天体観測」を開き、カーソルを「秋も一段と深まってまいりました。」のどこかに移動します。



- 2行目の文章内であれば、どこにカーソルがあっても、その段落を選択したことになります。

- 1つの段落を選択する場合は、段落内にカーソルがあるだけでいいので、範囲選択する必要はありません。



## ② 複数段落を選択する

複数の段落を選択するには、行単位で選択するか、段落をまたぐようにドラッグして、複数の段落が反転するようにします。「秋の天体観測」の文書の「秋も」～「お願いいいたします。」の3段落を選択してみましょう。

◆複数段落を選択する方法をマスターしましょう。

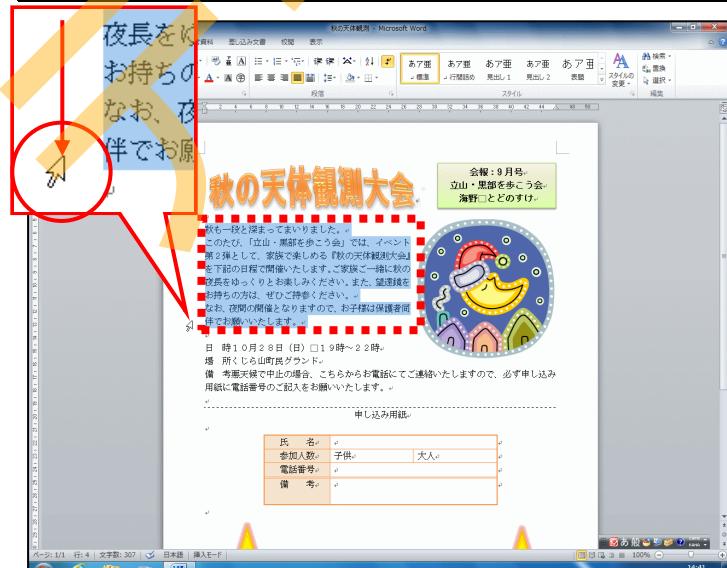
## 操作前



## 操作後



「秋も」～「お願ひいたします。」を行単位で選択します。

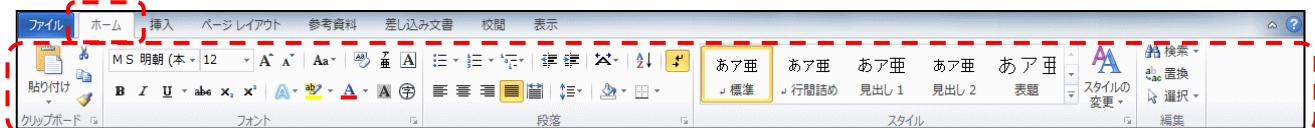


- 左余白にポイントし、マウスポインターが  になったところで、下に向かってドラッグします。

## (2) 行間隔の変更

行と行の間隔のことを「行間」といいます。行間の設定は【ホーム】タブの【段落】グループで行います。

### ■ 【ホーム】タブ



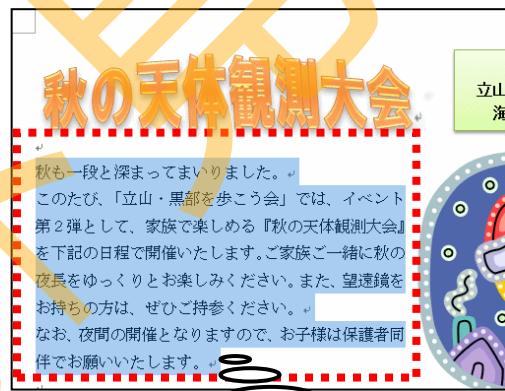
「秋の天体観測」の文書の「秋も」～「お願ひいたします。」の3段落に対して行間を「1.15」に変更してみましょう。

### ◆ 行間隔の変更方法をマスターしましょう。

操作前

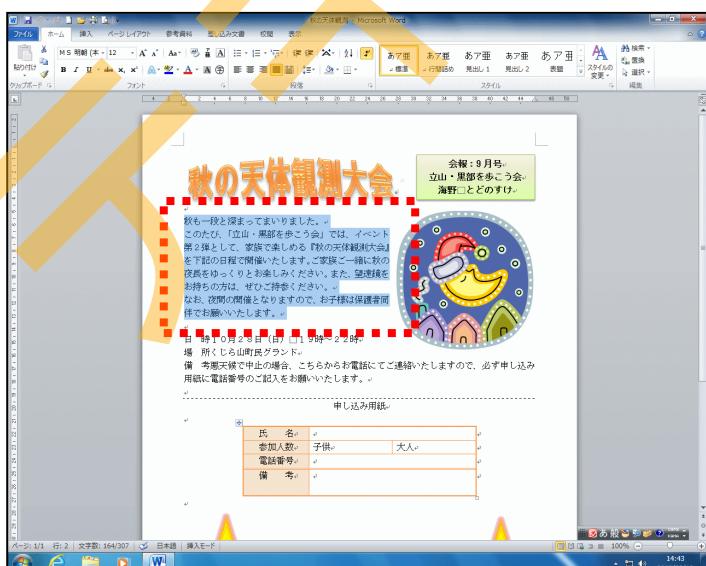


操作後

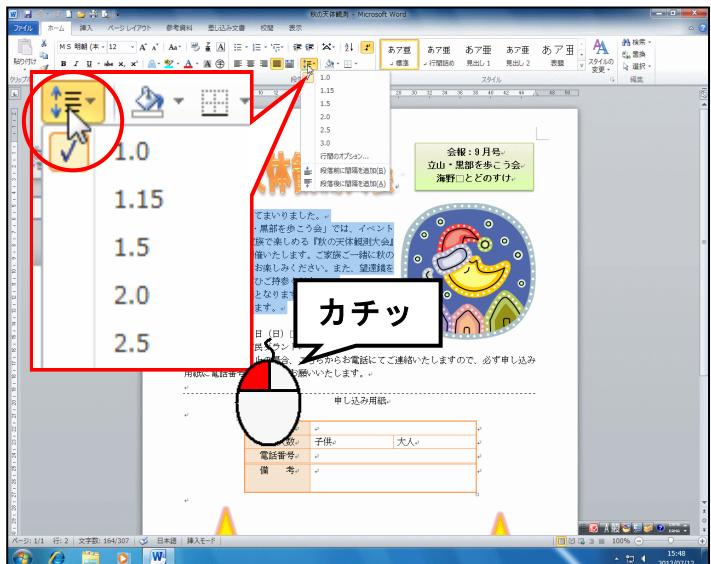


行間が広くなりました

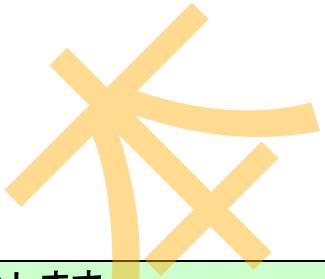
「秋も」～「お願ひいたします。」の3段落が選択されていることを確認します。



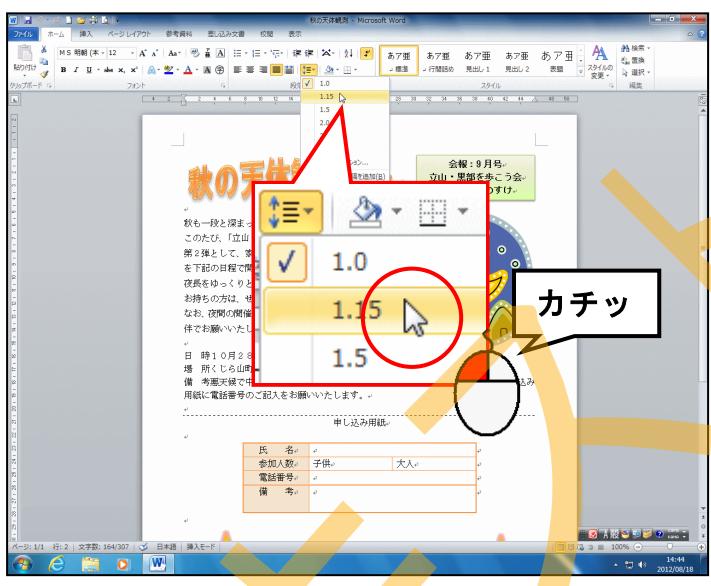
【段落】 グループにある [行間] ボタンにポイントし、そのままクリックします。



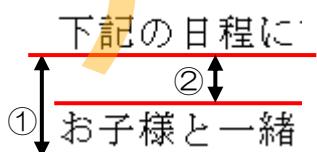
● [ホーム] タブが表示されていることを確認してください。表示されていない方は、[ホーム] タブをクリックして表示させてください。



表示されたメニューから「1.15」にポイントし、そのままクリックします。

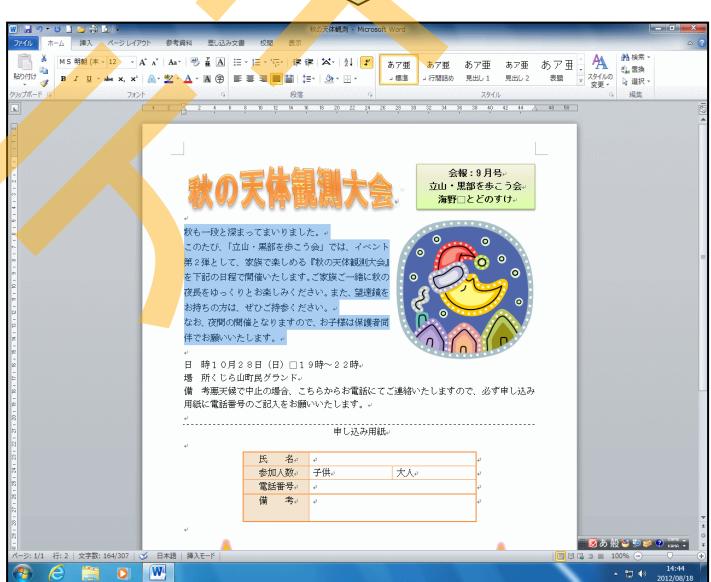


● 行間とは、下の図でいうと①の間隔をいいます。よく②のことを行間と思われている方がいらっしゃいますから注意してください。



文字の大きさが 12pt だとすると、行間を 12pt より小さくしてしまうと、文字が欠けてしまいます。実際の行間 1 といわれる間隔を調べるには、[ページレイアウト] タブの [ページ設定] グループの右下の角にある ボタンをクリックして、表示される [ページ設定] ダイアログボックスの [文字数と行数] タブの「行数」に示された [行送り] のポイント数を確認します。ここに示されたポイント数は、1 ページに入る行数を変更すると自動的に変わります。

● 「1.15」をクリックした時点で、選択した段落の行間が変わります。



行間についての補足説明 P206

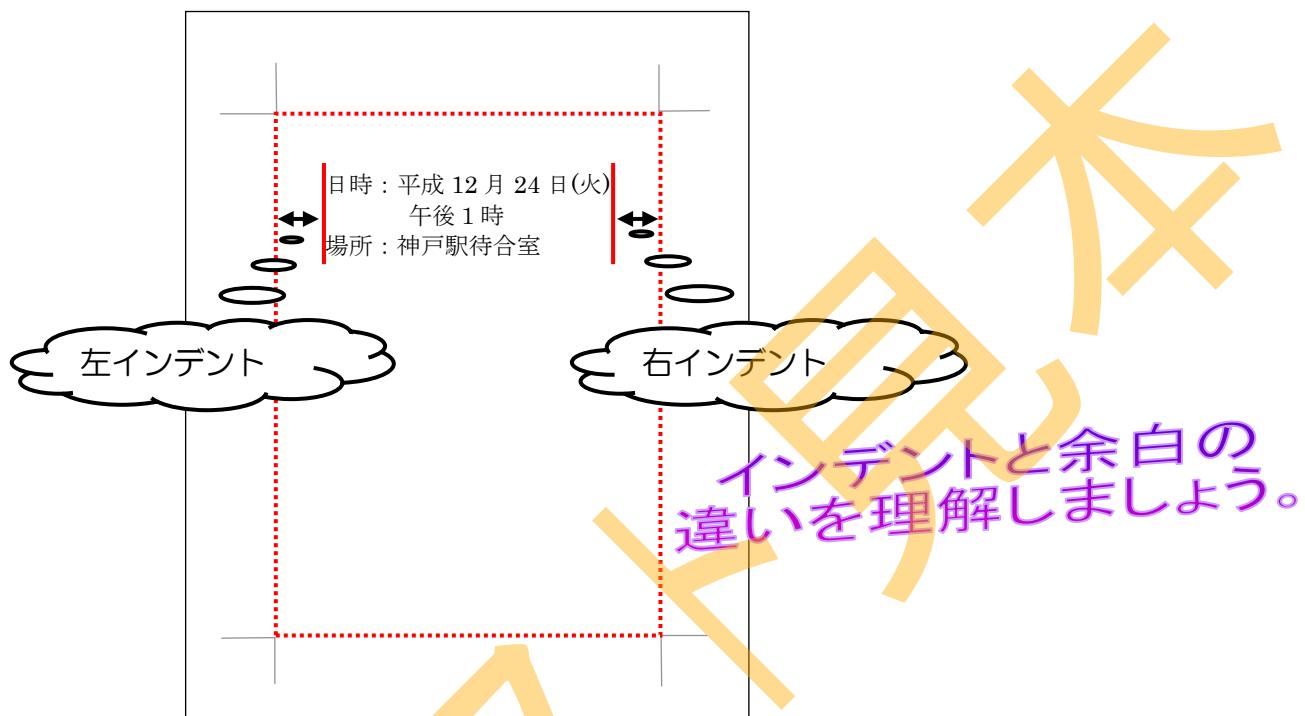
次の操作のために「秋の天体観測」を上書き保存し、ワードを終了しておきましょう。

### (3) インデントの設定

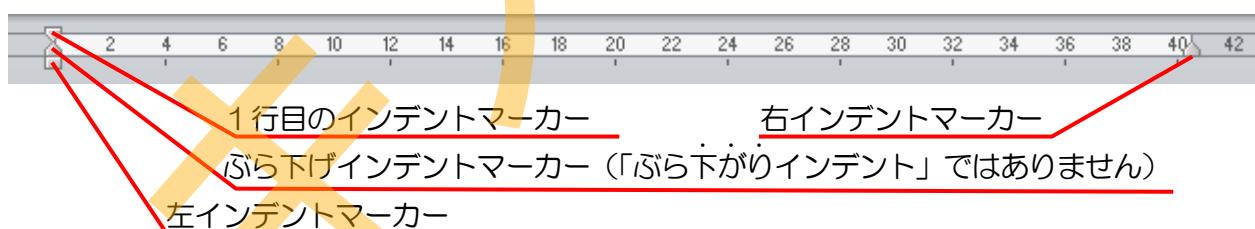
余白の設定は、[ページレイアウト] タブの [余白] ボタンから設定することはワードⅠで説明しました。

文書を作成してもすべての文字が左余白の部分から始まつたのでは、文書にメリハリがなく、読む方としても読みにくくて仕方ありません。ここでは「インデント」を設定して、文書を少しでも見やすくしてみましょう。

文書の左余白から行頭までの間隔、右余白から行末までの間隔を「インデント」といい、左余白から行頭までを「左インデント」、右余白から行末までを「右インデント」といいます。



#### ① ルーラーとインデントマーカー



項目	結果
1行目のインデントマーカー	段落の先頭行の左インデント位置を設定
ぶら下げインデントマーカー	段落の2行目以降の左インデント位置を設定
左インデントマーカー	段落全体の左インデント位置を設定
右インデントマーカー	段落全体の右インデント位置を設定

注意!

画面上にルーラーが表示されていない場合は、  
画面右のスクロールバーの上にある  
[ルーラー] ボタンをクリックします。



## ② インデントの設定例

文章の左側には、異なるインデントを3通り設定できます。

使用するインデントマーカーは以下のとおりです。

**左インデントマーカー (□) をドラッグ**

あああああああ  
あああああああ  
あああああああ  
あああああああ  
あああああ

**1行目のインデントマーカー (▽) をドラッグ**

あああああ  
あああああああ  
あああああああ  
あああああああ  
あああああ

**ぶら下げインデントマーカー (△) をドラッグ**

あああああああ  
あああああ  
ああああああ  
ああああああ  
あああああ

**結果**

- 1行で1段落の場合**  
行頭の文字がドラッグした方向に移動します。
- 複数行で1段落の場合**  
段落の左端の文字がすべてドラッグした方向に移動します。

- 1行で1段落の場合**  
行頭の文字がドラッグした方向に移動します。
- 複数行で1段落の場合**  
段落の1行目の左端の文字だけがドラッグした方向に移動します。(2行目以降の文字の左端位置は変わりません)

- 1行で1段落の場合**  
文字の始まる位置に変化はありません。
- 複数行で1段落の場合**  
段落の2行目以降の左端の文字だけがドラッグした方向に移動します。(1行目の文字の左端位置は変わりません)

右側には、1通りだけインデントを設定できます。

**右インデントマーカー (△) をドラッグ**

あああああああ  
あああああああ  
あああああああ  
あああああああ  
あああああああ

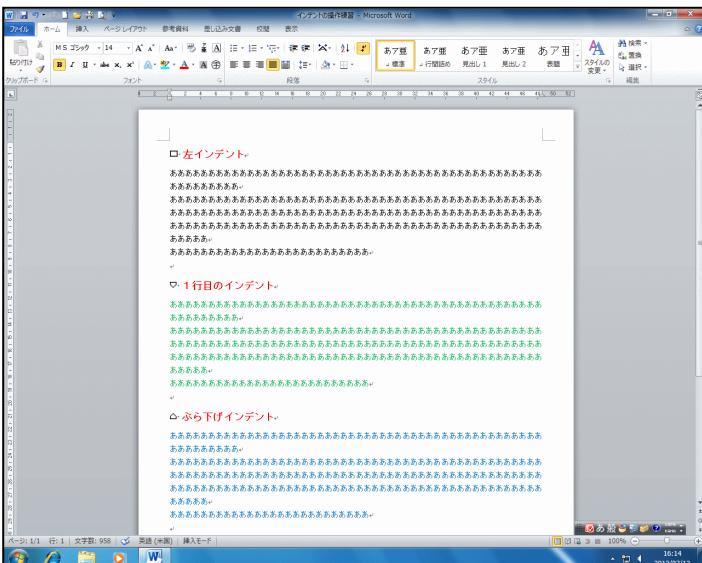
**結果**

- 1行で1段落の場合**  
文字の終わる位置よりも左にドラッグすると、その位置から文字が折り返されます。
- 複数行で1段落の場合**  
各行の終わり（行末）の位置がドラッグした方向に移動します。

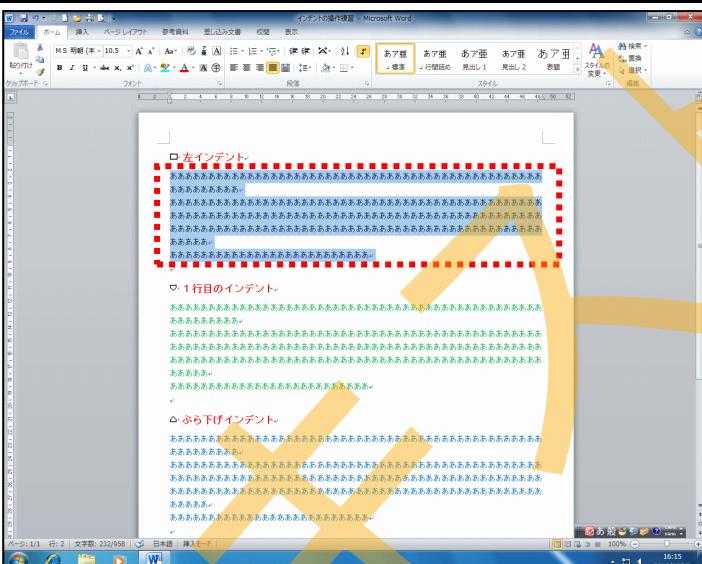
ここまでで、インデントの種類と設定例を説明しましたが、「秋の天体観測」の文書にインデントを設定する前に、「インデント練習」の文書で練習してみましょう。

## ●左インデント

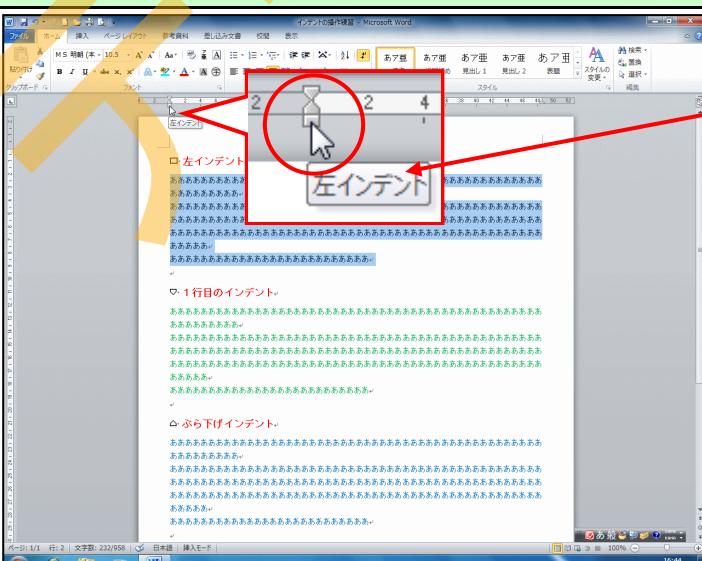
ワードを起動し、「ドキュメント」にある「インデント練習」を開いて、リムーバブルディスクに「インデントの操作練習」という名前を付けて保存しましょう。



「左インデント」の下にある黒色の「ああああ」を行単位で選択します。



■ 左インデントマークーにポイントします。

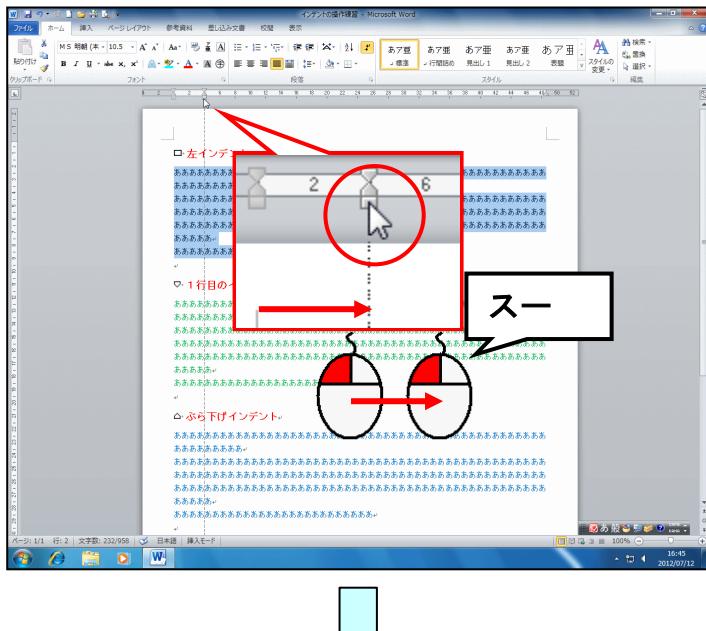


- 行単位の選択方法を忘れた方は、  
P67 ② 複数段落を選択するを参  
照してください。

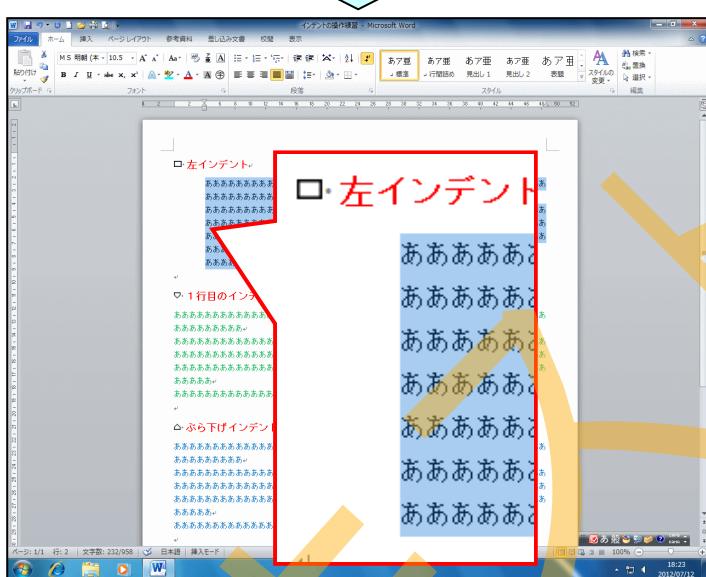
## ●左インデントを設定する文字列を選択します。

- □ 左インデントマーカーにポイントすると、左のようにポップヒントが表示されます。

## マウスの左ボタンを押したまま、右に4文字分ドラッグします。



●マウスの左ボタンを押したと同時に下に点線が表示されます。ドラッグしてずれる範囲は点線を見ながら判断します。



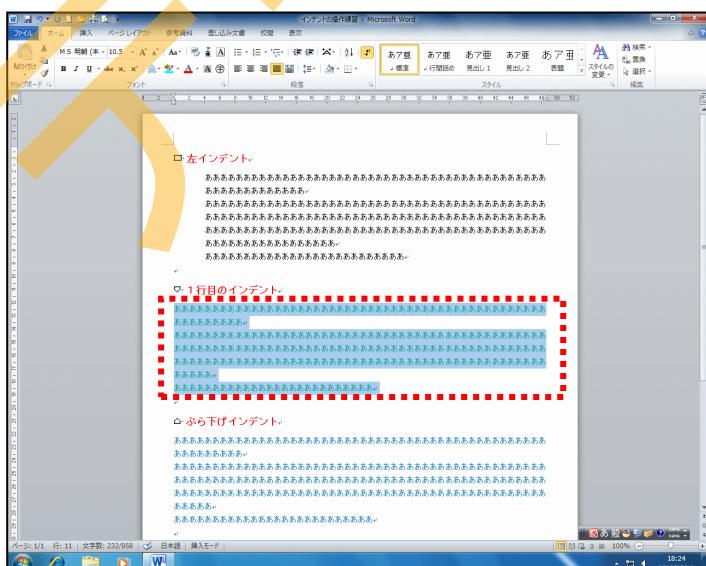
●マウスのボタンから指を離した時点で、選択されていた文字列が移動します。

左インデントは、段落の左端のすべての文字がドラッグした方向に移動します。



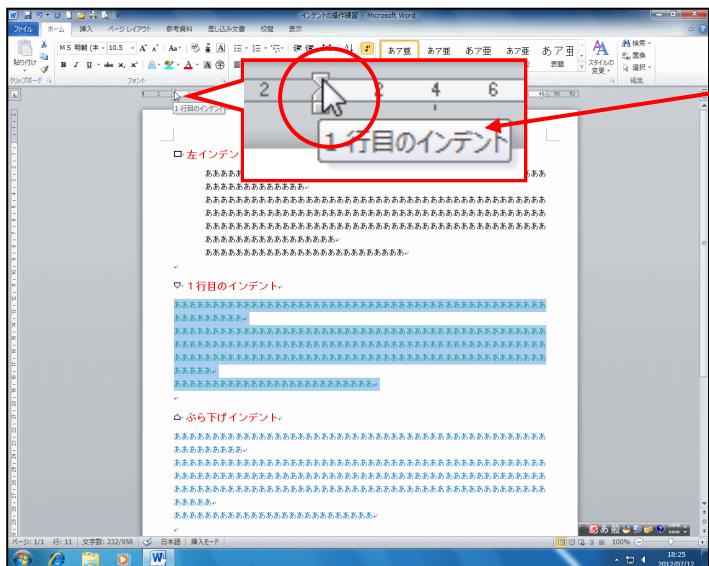
## ●1行目のインデント

「1行目のインデント」の下にある緑色の「ああああ」を行単位で選択します。

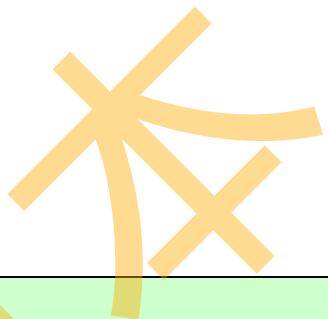


●1行目のインデントを設定する文字列を選択します。

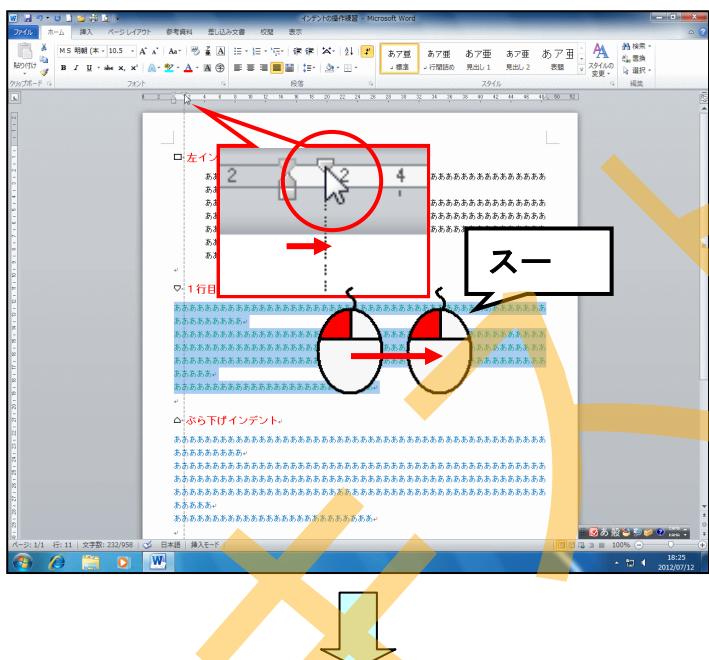
## ▼ 1行目のインデントマーカーにポイントします。



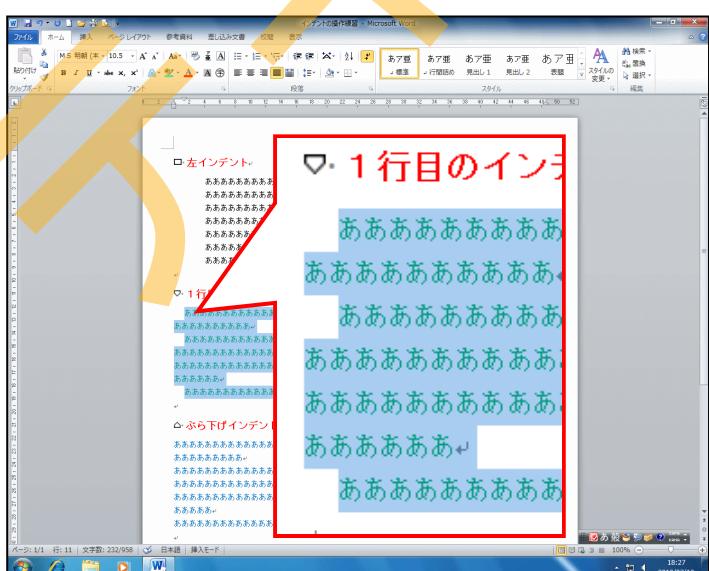
- ▼ 1行目のインデントマーカーにポイントすると、左のようにポップヒントが表示されます。



## マウスの左ボタンを押したまま、右に1文字分ドラッグします。



- マウスの左ボタンを押したと同時に下に点線が表示されます。ドラッグしてずれる範囲は点線を見ながら判断します。



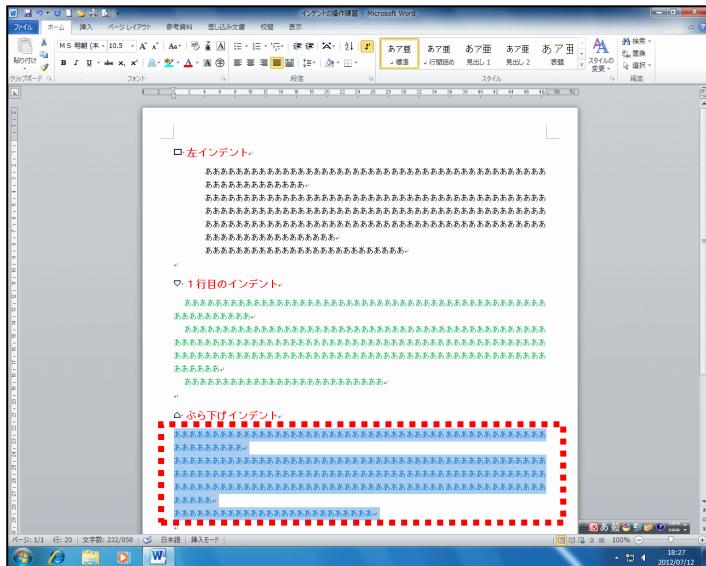
- マウスのボタンから指を離した時点で、選択されていた段落の1行目の左端の文字が移動します。

1行目のインデントは、段落の1行目の左端の文字がドラッグした方向に移動します。



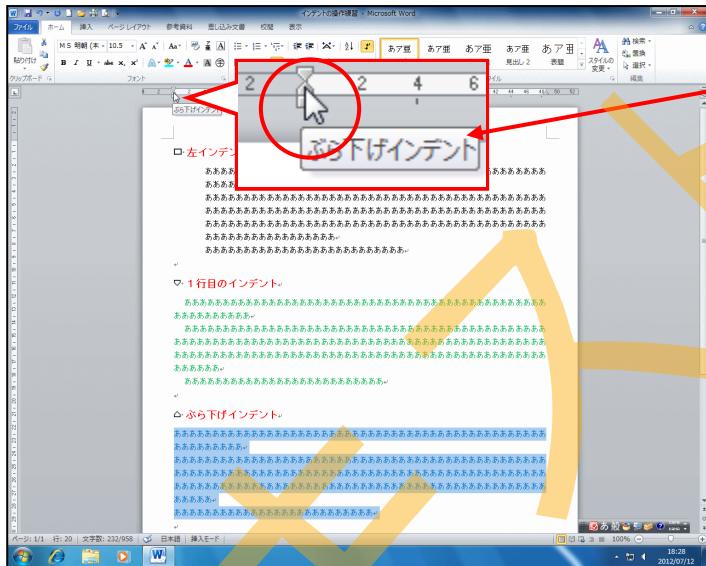
## ● ぶら下げインデント

「ぶら下げインデント」の下にある青色の「ああああ」を行単位で選択します。



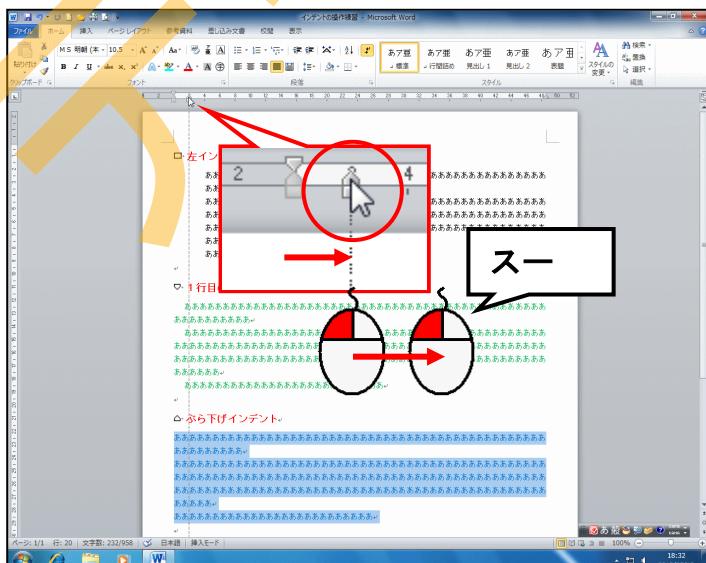
● ぶら下げインデントを設定する文字列を選択します。

△ ぶら下げインデントマーカーにポイントします。

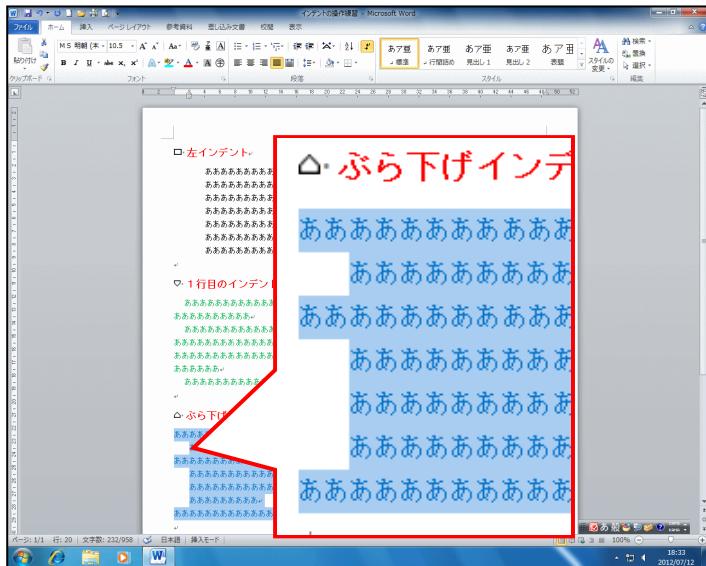


● △ ぶら下げインデントマーカーにポイントすると、左のようにポップヒントが表示されます。

マウスの左ボタンを押したまま、右に2文字分ドラッグします。

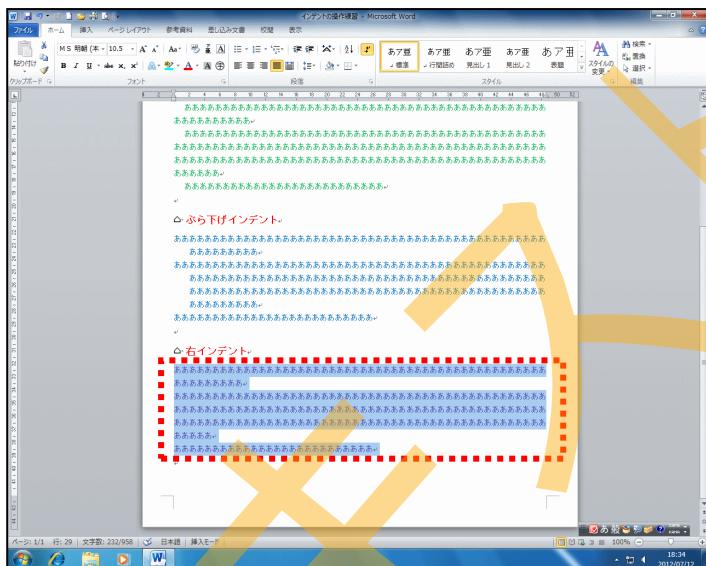


● マウスの左ボタンを押したと同時に下に点線が表示されます。ドラッグしてずれる範囲は点線を見ながら判断します。

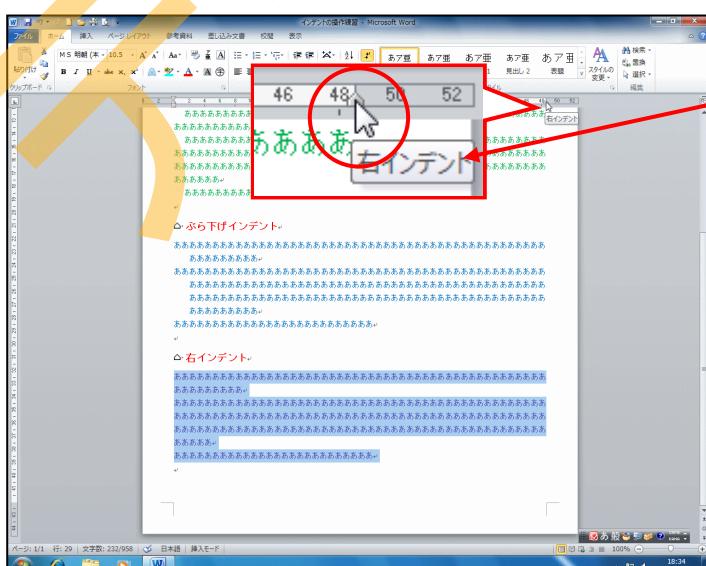


## ●右インデント

「右インデント」の下にある紫色の「ああああ」を行単位で選択します。

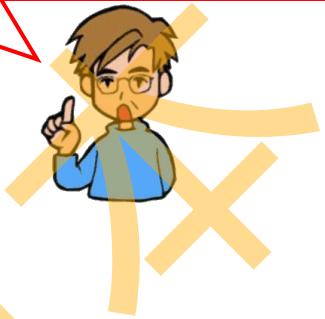


▲ 右インデントマーカーにポイントします。



- マウスのボタンから指を離した時点で、選択されていた段落の2行目以降の左端の文字が移動します。

ぶら下げインデントは、段落の2行目以降の左端の文字がドラッグした方向に移動します。



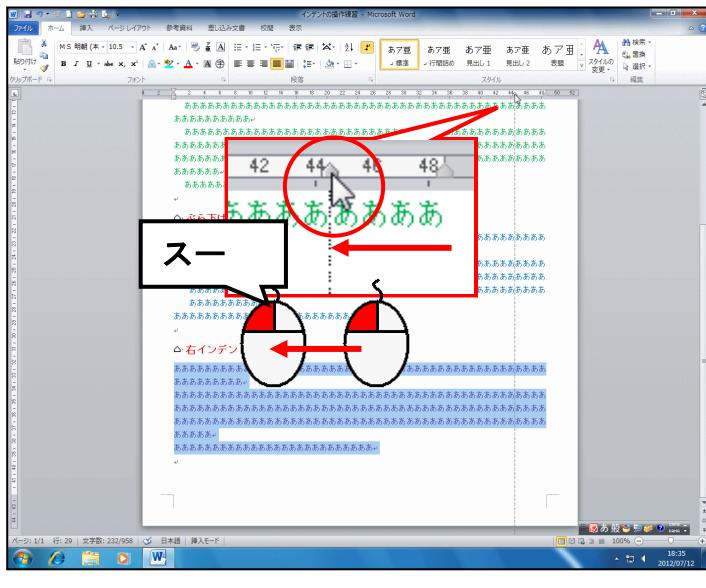
- 「右インデント」の下にある紫色の「ああああ」が画面上に表示されていない方は、画面をスクロールして表示させてください。  
画面をスクロールする方法を忘れた方は、P23 を参照してください。

- 右インデントを設定する文字列を選択します。

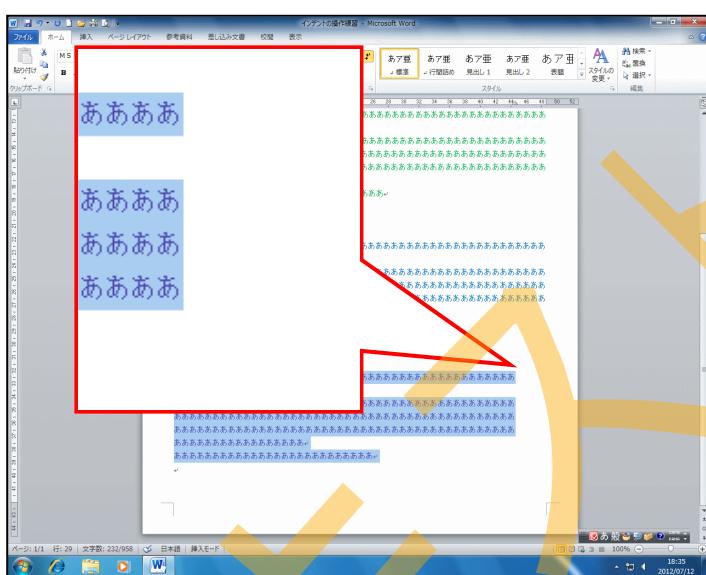
- 右インデントを設定する文字列を選択します。

- 右インデントマーカーにポイントすると、左のようにポップヒントが表示されます

マウスの左ボタンを押したまま、左に4文字分ドラッグします。



- マウスの左ボタンを押したと同時に下に点線が表示されます。ドラッグしてずれる範囲は点線を見ながら判断します。



- マウスのボタンから指を離した時点で、選択されていた文字列が移動します。

右インデントは、段落の右端のすべての文字がドラッグした方向に移動します。



次の操作のために「インデントの操作練習」を上書き保存し、ワードを終了しておきましょう。

### ③ インデントの設定

- 「秋の天体観測」の「秋も一段と」～「保護者同伴でお願いいたします。」に1行目のインデントを設定してみましょう。

◆ 1行目のインデントの設定方法をマスターしましょう。

操作前

秋も一段と深まってまいりました。このたび、「立山・黒部を歩こう会」では、イベント第2弾として、家族で楽しめる『秋の天体観測大会』を下記の日程で開催いたします。ご家族と一緒に秋の夜長をゆっくりとお楽しみください。また、望遠鏡をお持ちの方は、ぜひご持参ください。なお、夜間の開催となりますので、お子様は保護者同伴でお願いいたします。

日 時 10月28日(日) □ 19時～22時

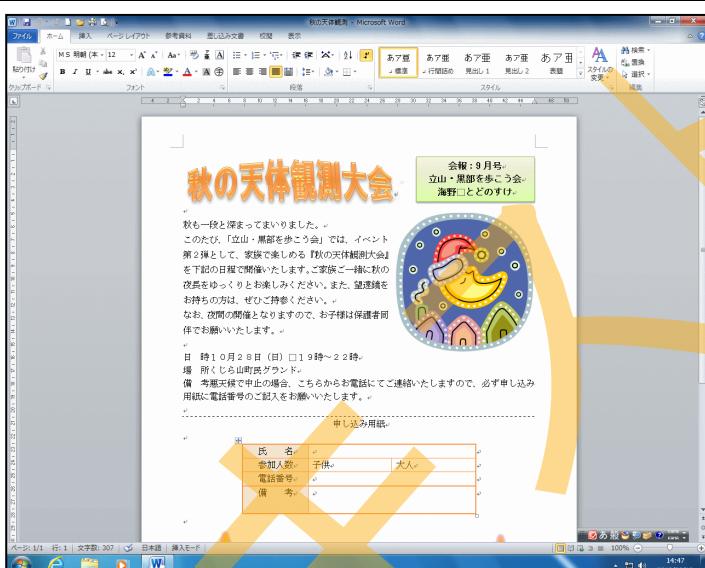


操作後

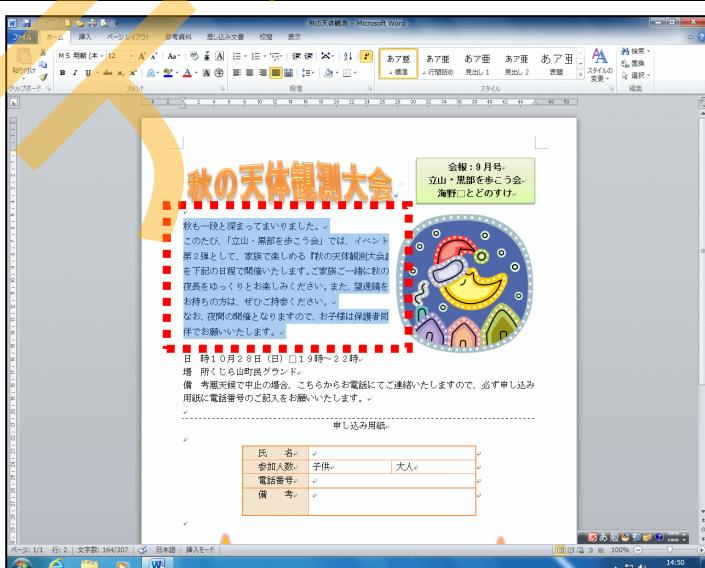
秋も一段と深まってまいりました。このたび、「立山・黒部を歩こう会」では、イベント第2弾として、家族で楽しめる『秋の天体観測大会』を下記の日程で開催いたします。ご家族と一緒に秋の夜長をゆっくりとお楽しみください。また、望遠鏡をお持ちの方は、ぜひご持参ください。なお、夜間の開催となりますので、お子様は保護者同伴でお願いいたします。

段落の1文字目が右にずれました

ワードを起動し、リムーバブルディスクに保存した「秋の天体観測」を開きましょう。



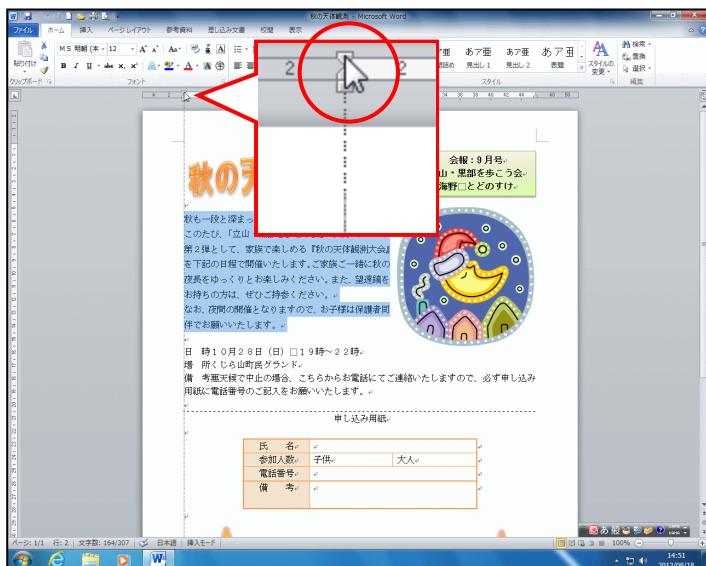
「秋も一段と」～「保護者同伴でお願いいたします。」までを選択します。



- 対象の段落を選択したことを、しっかり確認してから、次の操作に進みましょう。



## △ 1行目のインデントマーカーにポイントし、そのままマウスの左ボタンを押します。



**注意!**

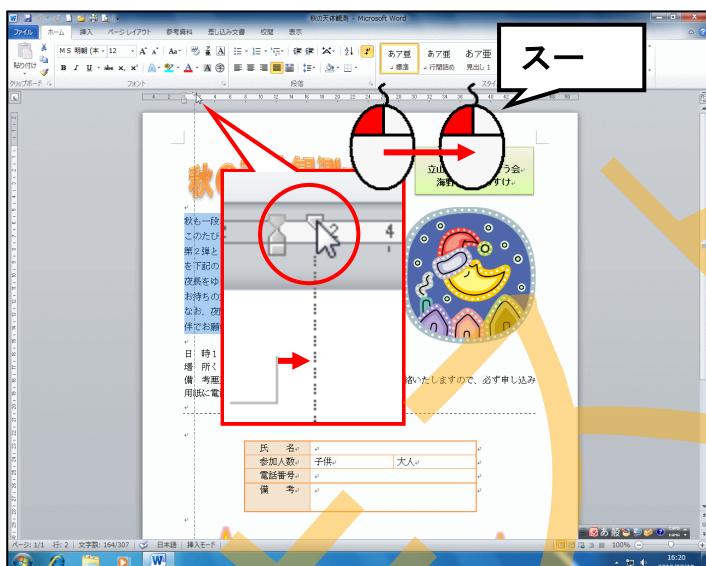
- ポップヒントで位置を間違えないように、よく確認して操作しましょう。



- マウスの左ボタンを押したと同時に下に点線が表示されます。ドラッグしてずれる範囲は点線を見ながら判断します。



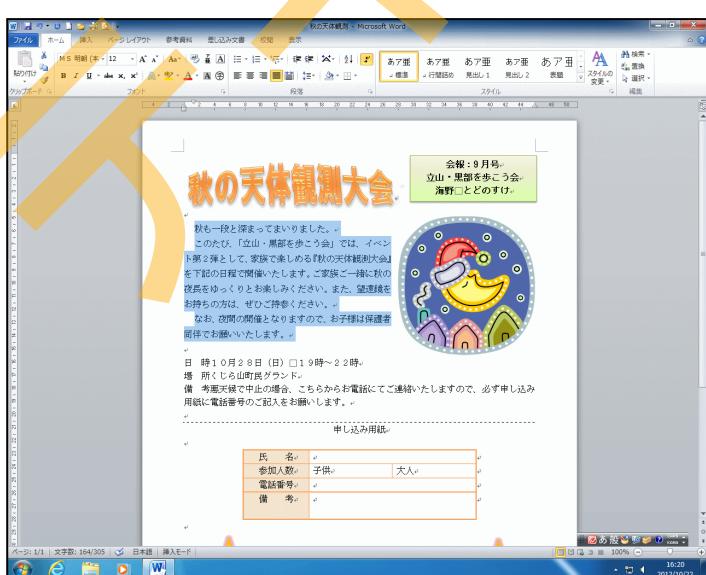
## マウスの左ボタンを押したまま、右に1文字分ドラッグします。



- 1行目のインデントマーカーをドラッグしても、ぶら下げインデントマーカーと左インデントマーカーは移動しません。これは、段落の1行目だけが移動することを示しています。

**余裕があれば読んでね**

- 微調整したい場合は、[Alt] キーを押した状態でドラッグします。



- マウスから指を離すと、点線が消えて1行目の文字が右にずれます。

**余裕があれば読んでね**

### 1文字分のインデント設定

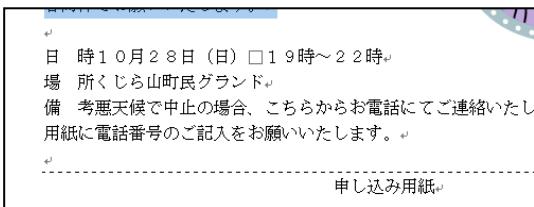
- 段落の先頭にカーソルを移動し、[Space] キーを押すと1文字分のインデントを段落の先頭行に設定することができます。

1段落内の2行目にカーソルを移動して同じ操作を行うと1文字分のぶら下げインデントを設定することができます。(1段落内の3行目以降で同じ操作を行ってもぶら下げインデントは設定できません)

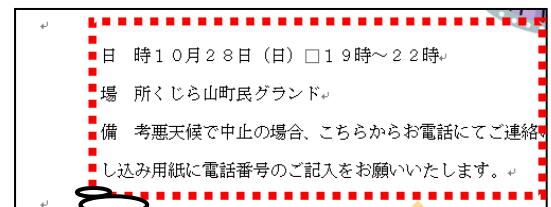
● 「日時」～「備考」の3段落に左インデントを設定してみましょう。

◆左インデントの設定方法をマスターしましょう。

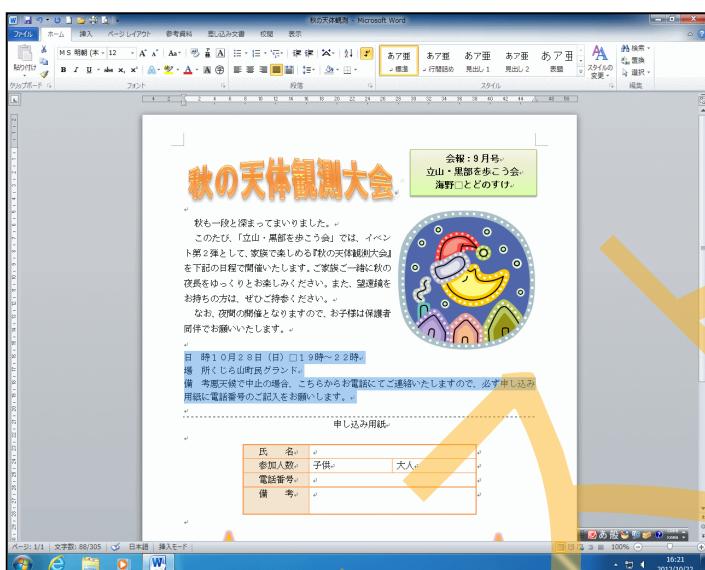
操作前



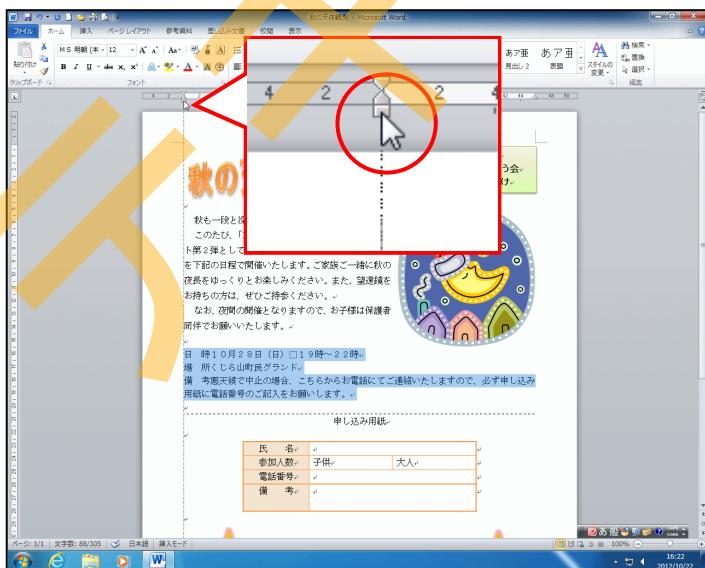
操作後



「日時」～「備考」の3段落を選択します。



■ 左インデントマークにポイントし、そのままマウスの左ボタンを押します。



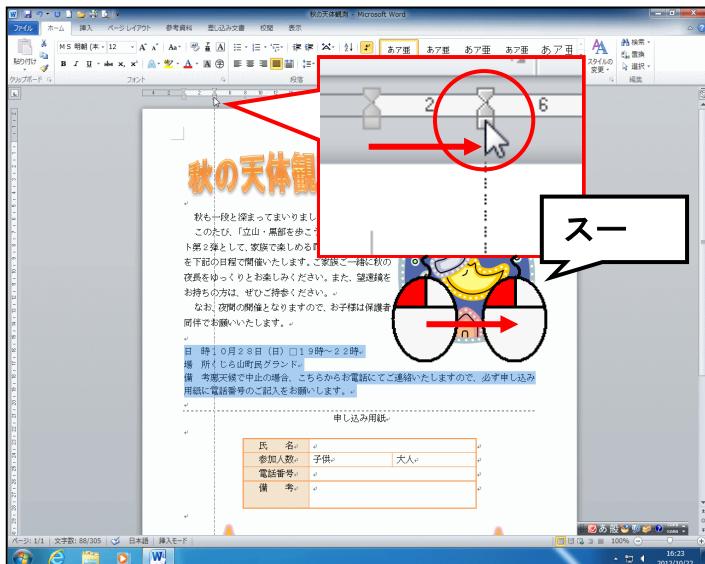
●マウスの左ボタンを押した時点で下に点線が表示されます。

注意!

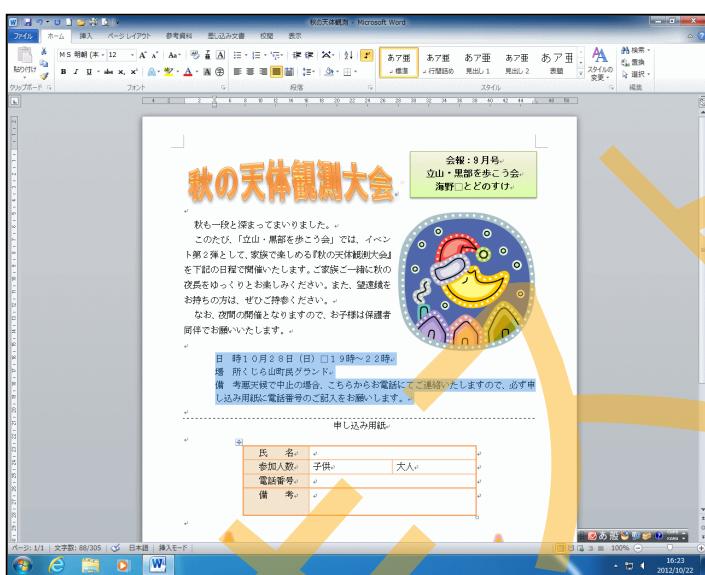
●ポップヒントで位置を間違えないように、よく確認して操作しましょう。



## そのまま右に約4文字分ドラッグします。



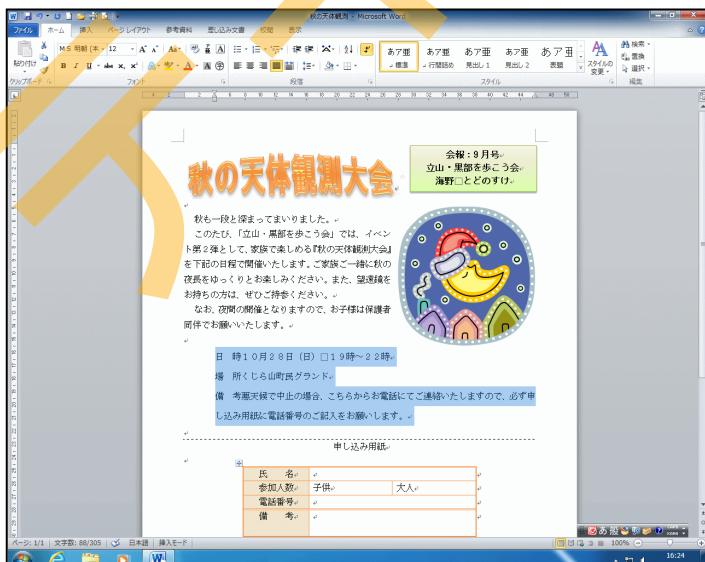
- 4文字分ドラッグするときは、適当で構いません。気になる方は、[Alt]キーを押した状態でドラッグすると、微調整することができます。



- マウスのボタンから指を離した時点で、ドラッグした方向に行頭（行の先頭）の文字が移動します。

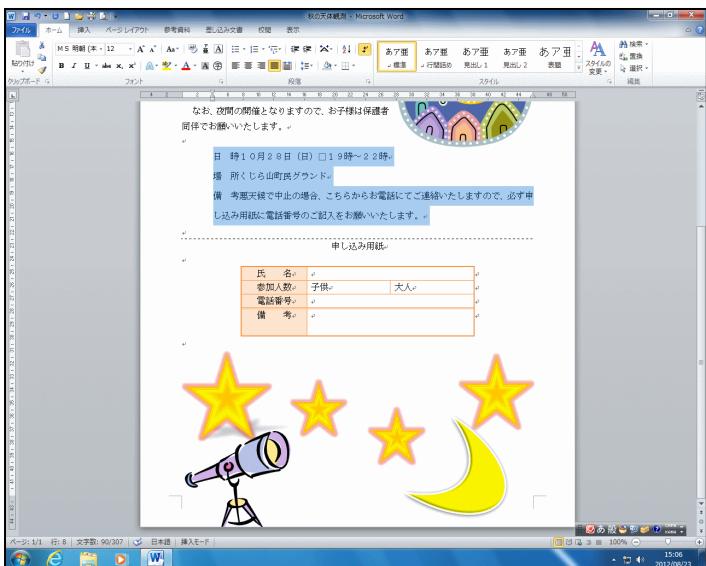
縦書き文書のインデント設定 P206

## 「日時」～「備考」の3段落の行間を「1.5」に設定しましょう。



- 行間の変更方法を忘れた方は、P68 (2) 行間隔の変更を参照してください。

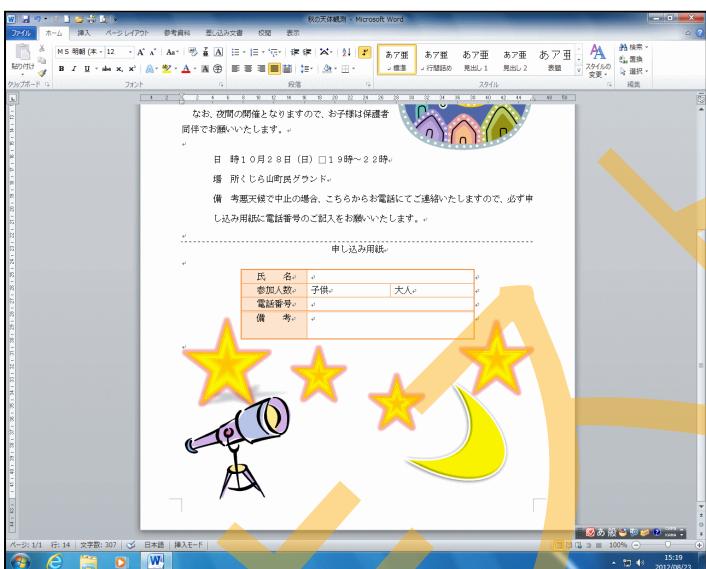
## 画面を文書の一番下が表示されるようにスクロールします。



●行間隔を広げたことにより、図形とクリップアートがページの外に出たので、図形を移動します。



## ページの外に出た图形とクリップアートをそれぞれ下のようすに移動します。



●図形とクリップアートがページの外に出ていない方は、この操作は不要です。

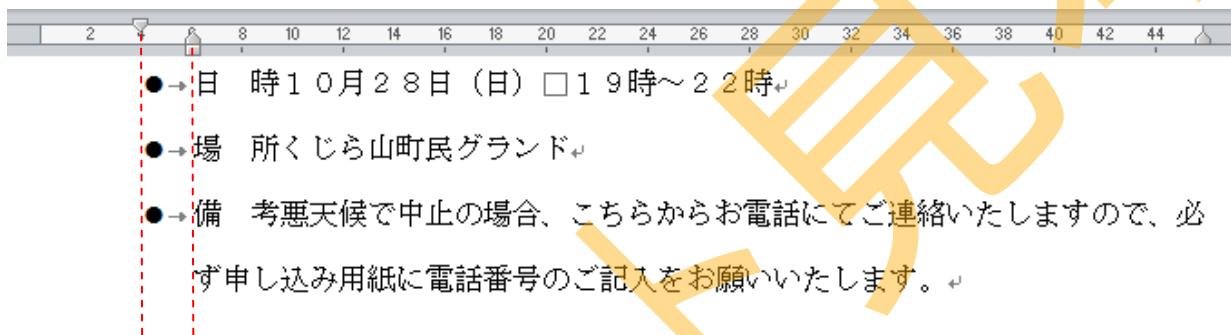


## (4) 箇条書き

ワードⅠでも箇条書き（段落番号）の設定は説明いたしましたが、ここでもう1度詳しく説明いたします。なぜ詳しく説明しないといけないのか？ それは、ワードで箇条書き（段落番号）の設定をしたことがある方は、気づいていらっしゃると思いますが、箇条書き（段落番号）の設定をするとタブ（下図参照。詳しくはP89（5）タブ設定で説明します）が自動的に挿入されるため、箇条書き（段落番号）した段落を左右に移動することが難しくなります。

具体的には、箇条書き（段落番号）の設定をすると、自動的に次の内容が設定されています。

- ぶら下げインデントマーカー（▲）が右に移動します。
- 段落の先頭（行頭）に記号（数字）（●）が入ります。
- 記号（数字）と文頭（段落の最初の文字）の間にタブ（→）が挿入されます。



※…「●」の後ろに表示された → をタブといいます。

### ① 箇条書きの設定

選択した段落に箇条書きの設定をしてみましょう。

#### ◆箇条書きの設定方法をマスターしましょう。

##### 操作前

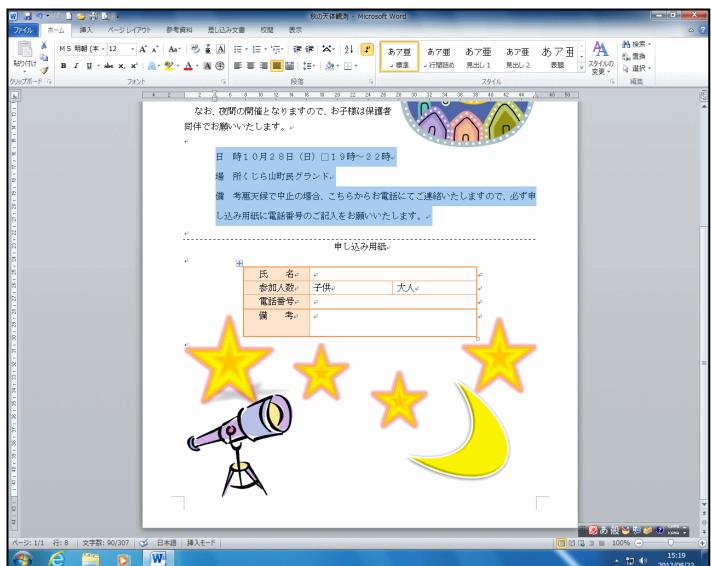
日 時 10月28日（日）□19時～22時  
場 所くじら山町民グランド  
備 考慮天候で中止の場合、こちらからお電話にてご連絡い  
し込み用紙に電話番号のご記入をお願いいたします。

##### 操作後

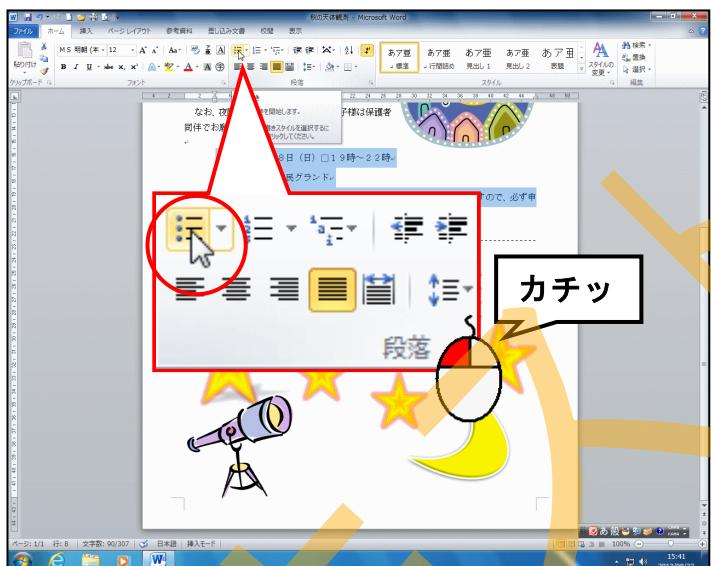
●→日 時 10月28日（日）□19時～22時  
●→場 所くじら山町民グランド  
●→備 考慮天候で中止の場合、こちらからお電話にてご連  
絡いたしますので、必ず申し込み用紙に電話番号のご記入をお願いいたします。

箇条書きが設定  
されました

## 「日時」～「備考」の3段落を選択します。



【段落】グループの [箇条書き] ボタンにポイントし、そのままクリックします。



● リボンが表示されていない方は、  
P227 リボンの最小化を元に戻すを  
参照してください。  
(下記のような状態の方)

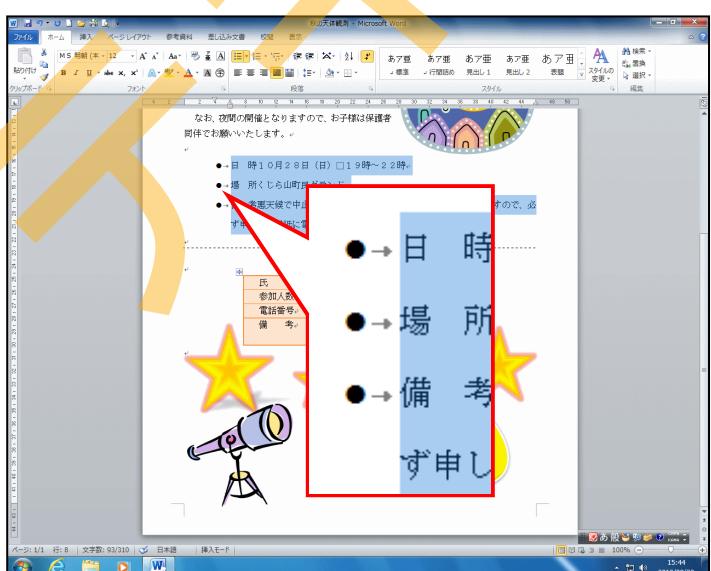


● [箇条書き] ボタンをクリック  
した時点で、行頭(段落の先頭)に  
記号(行頭文字)が表示されます。



● お使いのパソコンによって、左の図  
と同じように「●」が表示されると  
は限りません。

「●」が表示されていなくても次の  
ページからの操作で行頭文字を変  
更するので、そのまま次に進んでく  
ださい。



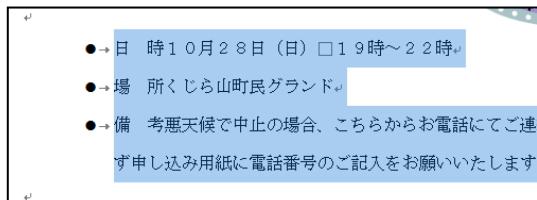
● 行頭文字(ここでは「●」)と「日時」  
の間に → が表示されていない方は、  
[ホーム] タブの [段落] グループ  
にある [編集記号の表示/非表示] ボタンをクリックします。

## ② 行頭文字の変更

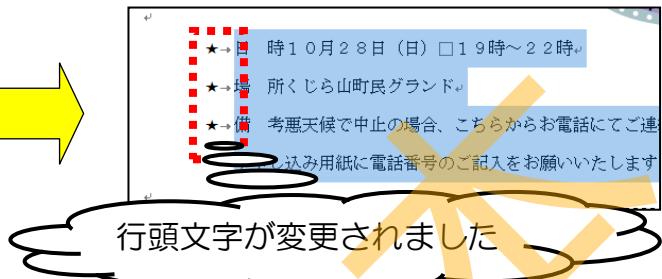
① 箇条書きの設定で表示された行頭文字（記号）を、「★」（星印）に変更してみましょう。

◆行頭文字を変更する方法をマスターしましょう。

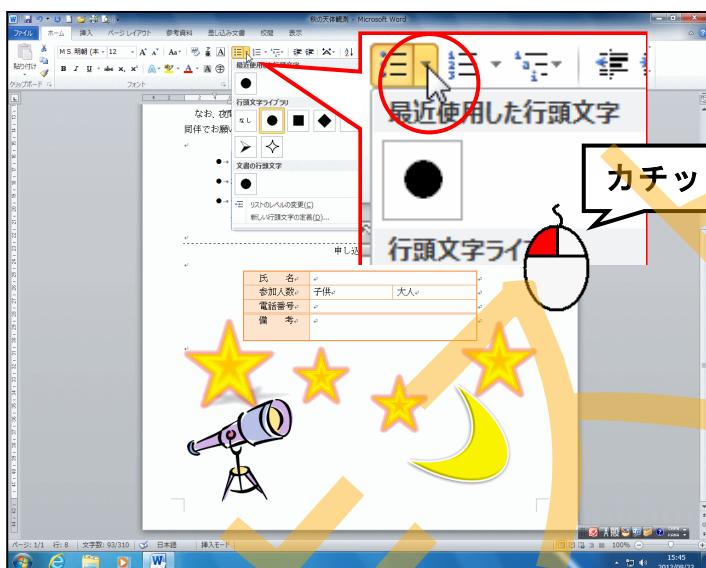
操作前



操作後

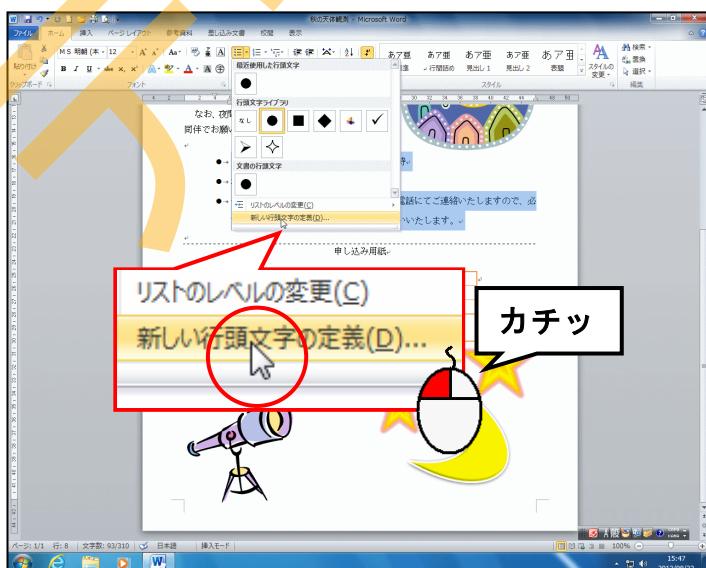


[段落] グループの [箇条書き] ボタンの右にある▼にポイントし、そのままクリックします。



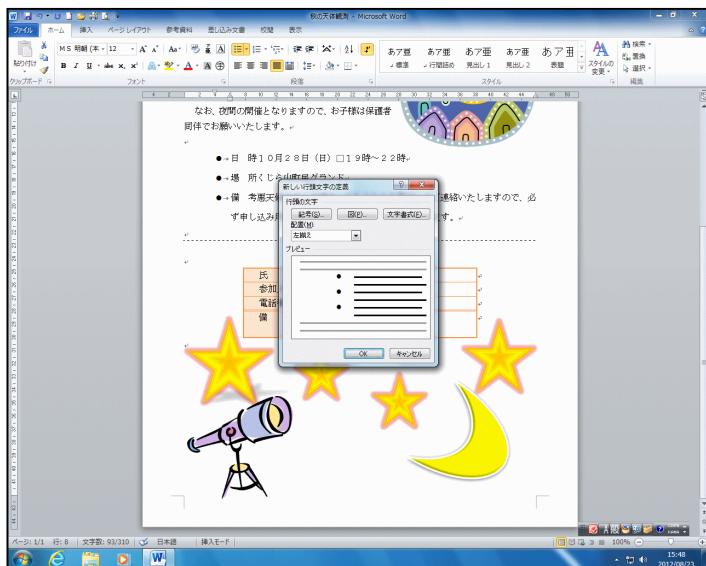
●選択を解除してしまった方はもう一度「日時」～「備考」の3段落を選択しておいてください。

表示されたメニューの中から「新しい行頭文字の定義(D)...」にポイントし、そのままクリックします。



●「最近使用した行頭文字」、「行頭文字ライブラリ」の中、「★」がある方は、そちらをクリックしていただいても構いません。

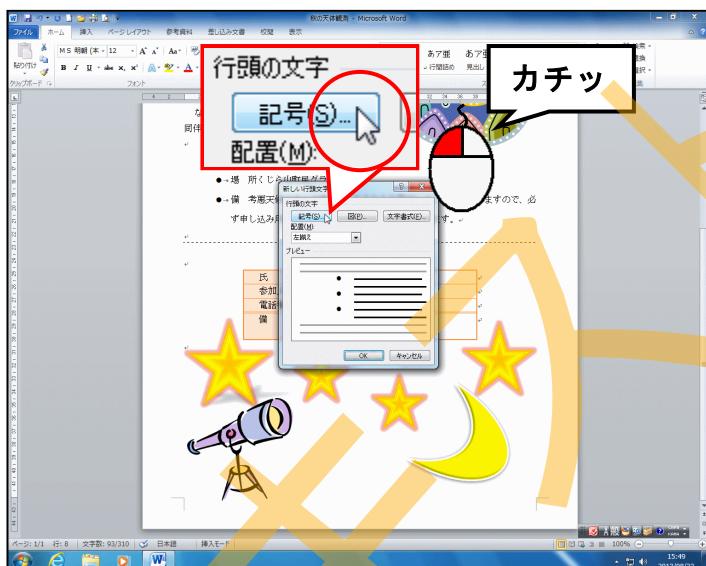




● 「新しい行頭文字の定義(D)…」をクリックすると、左のように【新しい行頭文字の定義】ダイアログボックスが表示されます。



【新しい行頭文字の定義】ダイアログボックスの【記号(S)…】ボタンにポイントし、そのままクリックします。

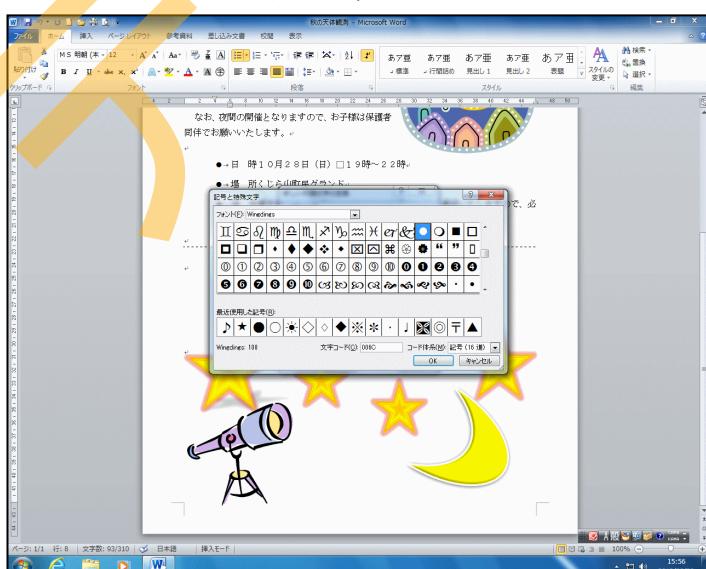


● 記号(特殊文字)を表示させたいときは【記号(S)…】ボタンを、図(画像)を表示させたいときは【図(P)…】ボタンをクリックします。

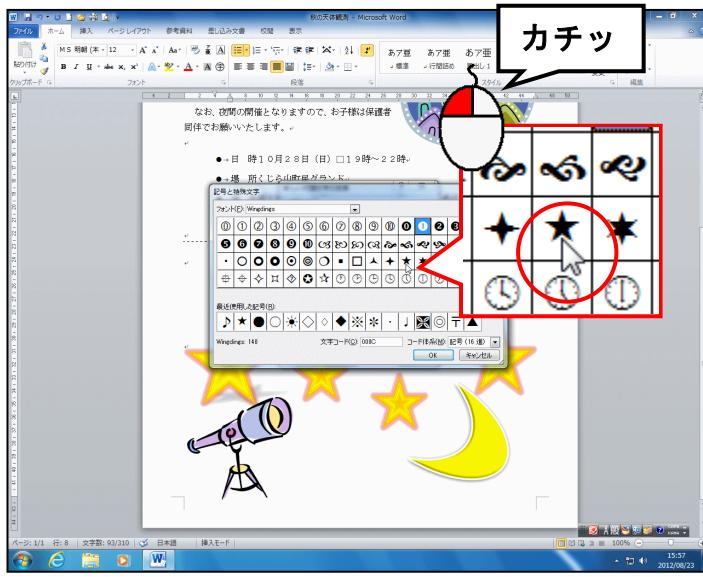
【新しい行頭文字の定義】  
ダイアログボックスの補足説明

P207

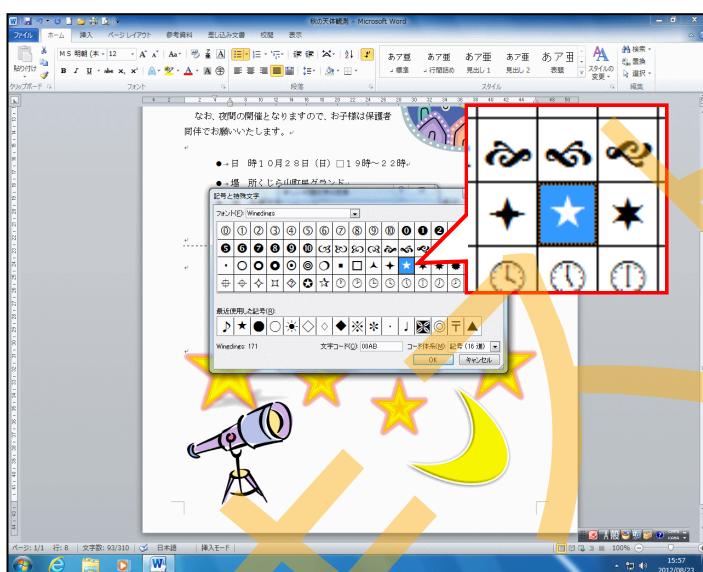
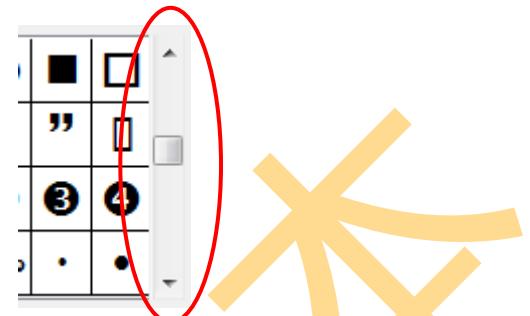
● 【記号(S)…】ボタンをクリックすると、左のようにいろいろな記号(特殊文字)の一覧が表示されます。



表示された【記号と特殊文字】ダイアログボックスで「★」にポイントし、そのままクリックします。



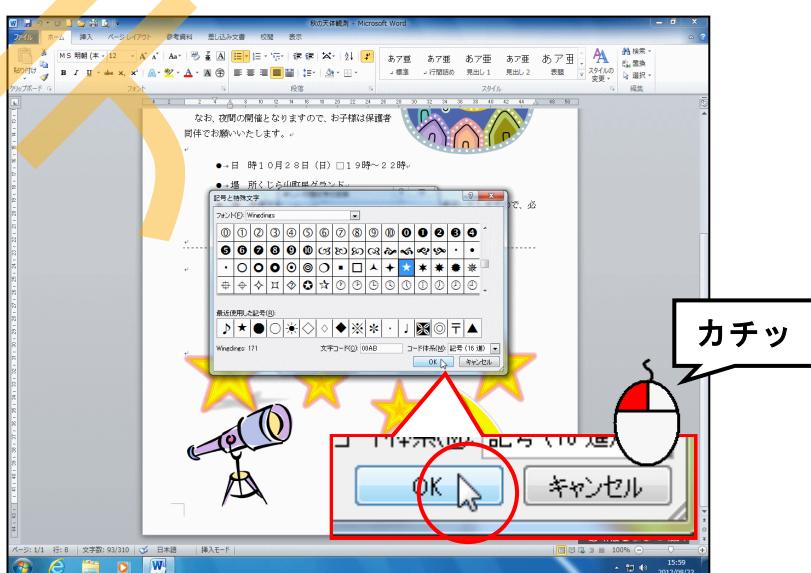
● 「★」が表示されていない場合は、ダイアログボックスの右端に表示されたスクロールバーを使ってスクロールします。



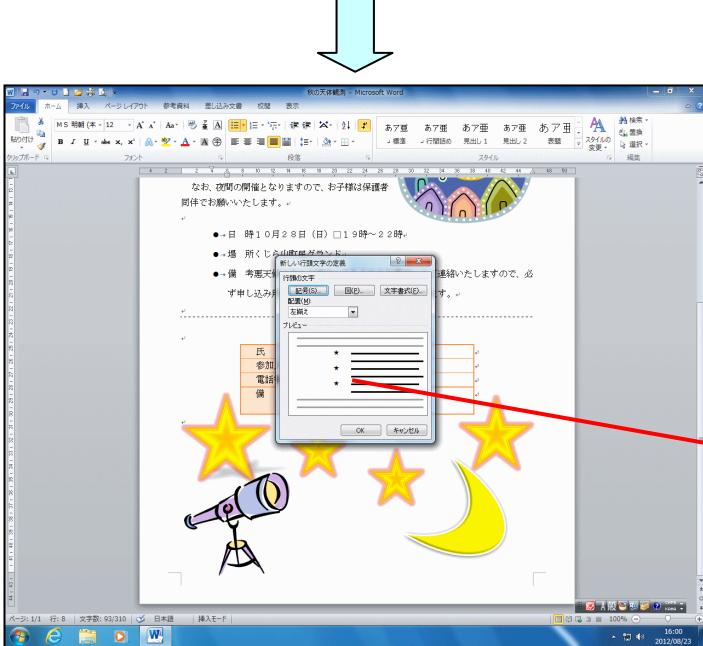
● 「★」をクリックすると、クリックした記号が青く反転します。

● 「★」が見つからない場合は、お好きな記号を選択してください。

【記号と特殊文字】ダイアログボックスの右下の【OK】ボタンにポイントし、そのままクリックします。



カチッ

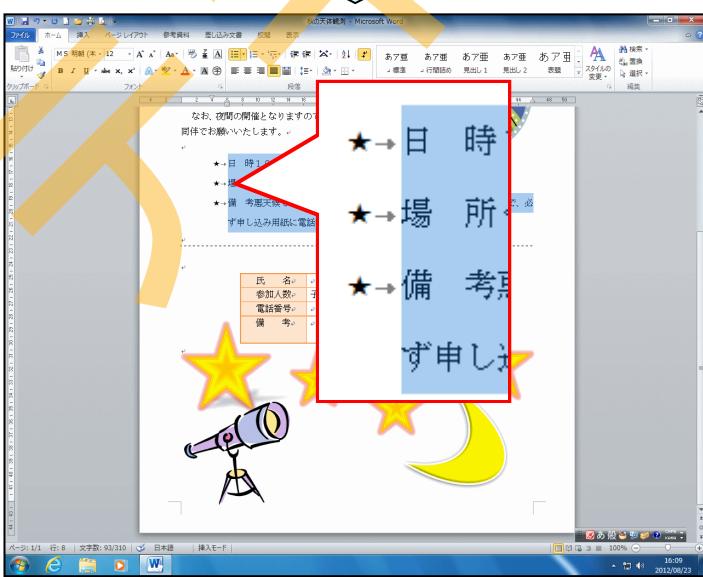
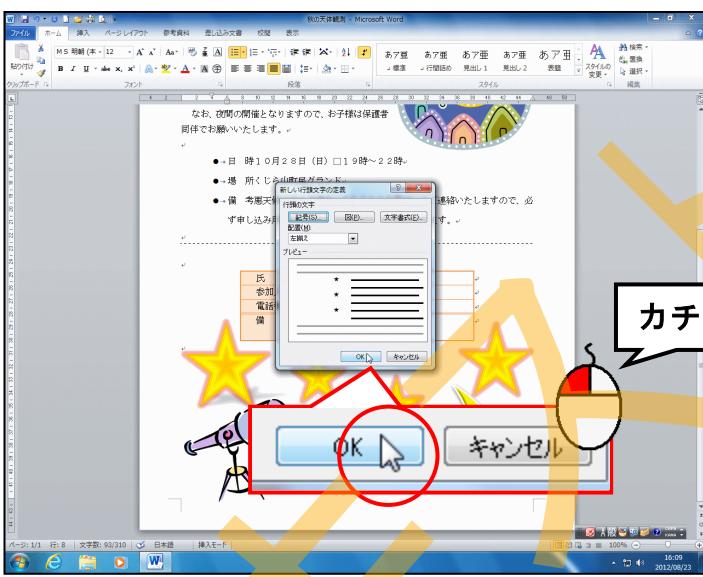


● [OK] ボタンをクリックすると、  
[記号と特殊文字] ダイアログボ  
ックスが消えます。

[新しい行頭文字の定義] ダイ  
アログボックスの「プレビュー」に  
選択した記号が表示されます。



[新しい行頭文字の定義] ダイアログボックスの [OK] ボタンにポイントし、そのまま  
クリックします。



● [OK] ボタンをクリックした時  
点で行頭文字が変わります。

次の操作のために「秋の天体観測」を上書き保存し、ワードを終了しておきましょう。

## （5）タブ設定

次のように、入力した文字の金額を右端で揃えたいときに空白（スペース）で右に移動すると、金額がずれてしまいます。こういう場合にタブを使うと、簡単に金額を揃えることができます。

スペースで空けた場合

■→パソコン本体□FMV□BIBLO□NB16B□□□□□￥200,000

4

### タブマーカーを使った場合

■→パソコン本体□FMV□BIBLO□NB16B → ¥200,000

■ Epson PM-920C ¥32,000

■→プリンタケーブル → ¥500

スペースの場合、  
どうしても、揃わ  
ない場合があり  
ます。



## ① タブマーカーの種類

タブマーカーには、次のように複数の種類があります。

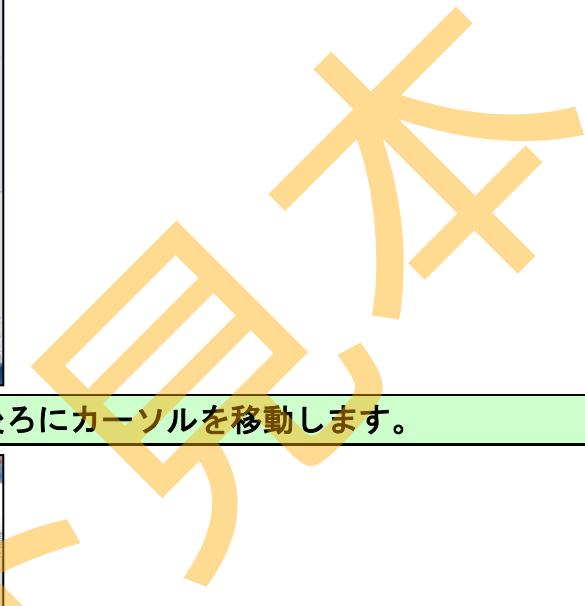
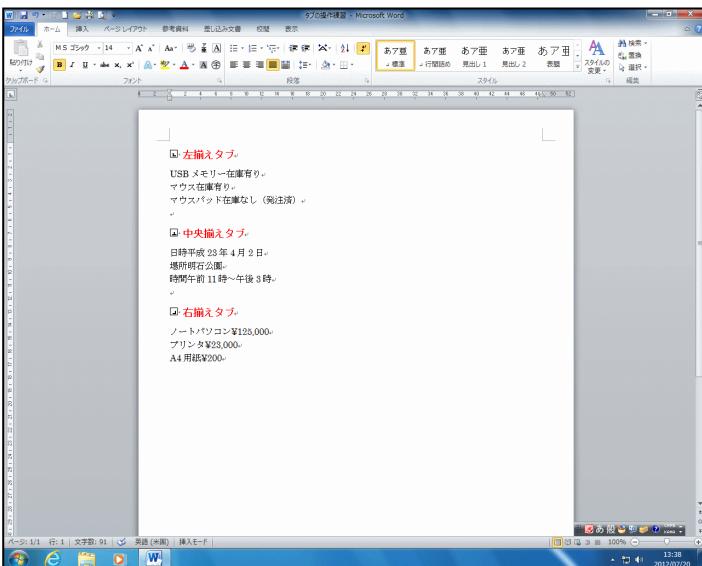
どのタブマーカーを使っても同じというわけではありませんので、自分がどのように表示したいかによって、使い分けなければなりません。

種類	名前	説明
左	左揃えタブ	文字列の左端を揃えるときに利用
中央	中央揃えタブ	文字列の中央を揃えるときに利用
右	右揃えタブ	文字列の右端を揃えるときに利用
上	小数点揃えタブ	小数点を揃えるときに利用
一	縦棒タブ	文字列の任意の位置に縦棒を入れたいときに利用
△	1行目のインデント	段落の1行目の開始位置を設定
四	ぶら下げインデント	段落の2行目以降のインデント位置を設定

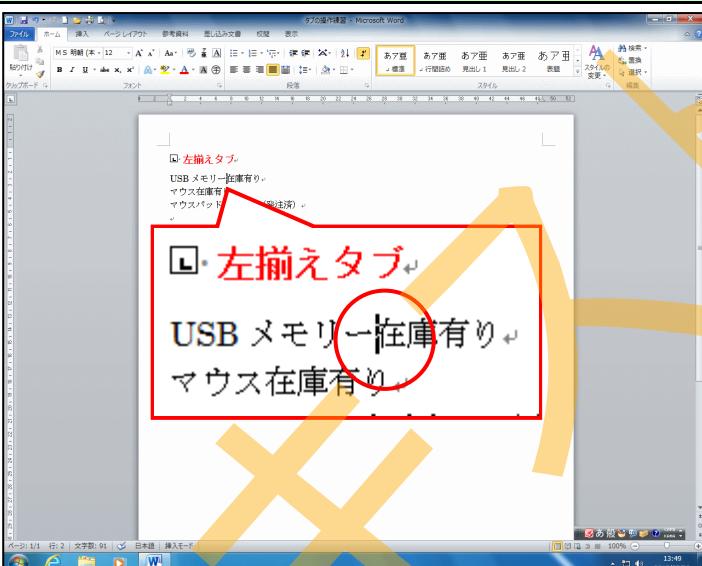
ここまでで、タブマーカーの種類を説明しましたが、インデントの時と同様に「秋の天体観測」の文書にタブを設定する前に、「タブ練習」の文書で練習してみましょう。

## ●左揃えタブ

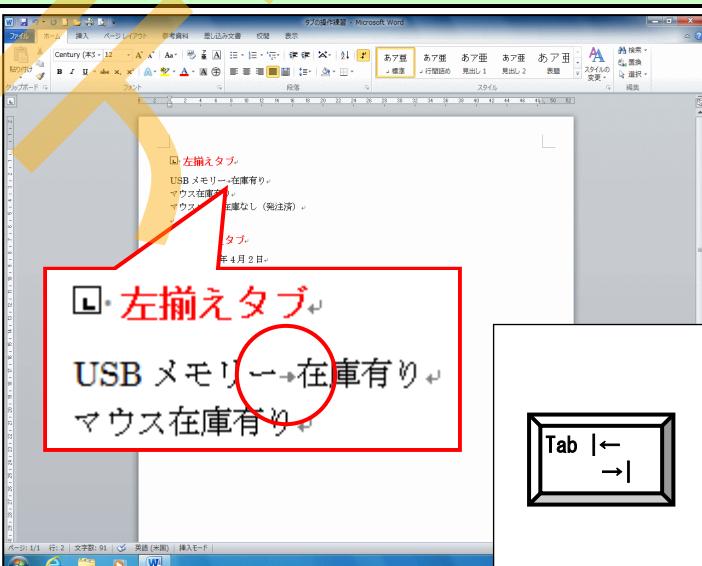
ワードを起動し、「ドキュメント」にある「タブ練習」を開いて、リムーバブルディスクに「タブの操作練習」という名前を付けて保存しましょう。



「左揃えタブ」の下にある「USB メモリー」の後ろにカーソルを移動します。



キーボードにある [Tab] キーを押します。

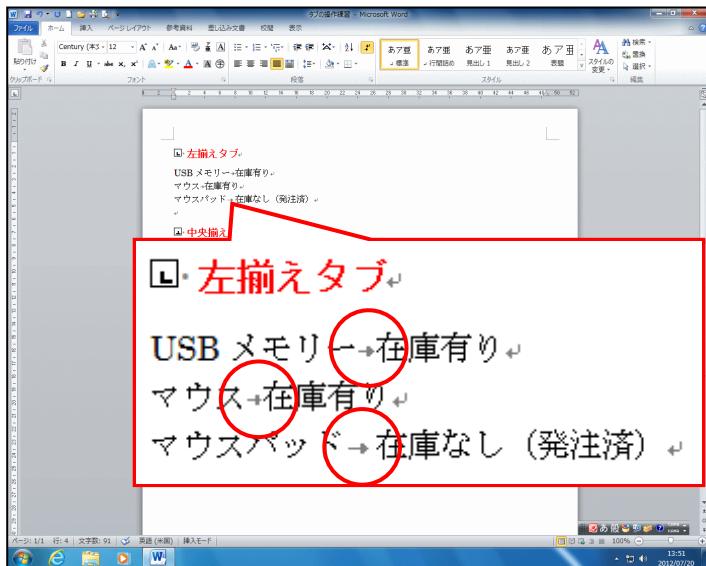


● [Tab] キーを押した時点で → が表示されます。これは「ここにタブが入りました」という記号です。



● [Tab] キーを押しても → が表示されない場合は、[ホーム] タブの [段落] グループにある → [編集記号の表示／非表示] ボタンをクリックします。

同様にして「マウス」、「マウスパッド」の後ろにタブを挿入します。

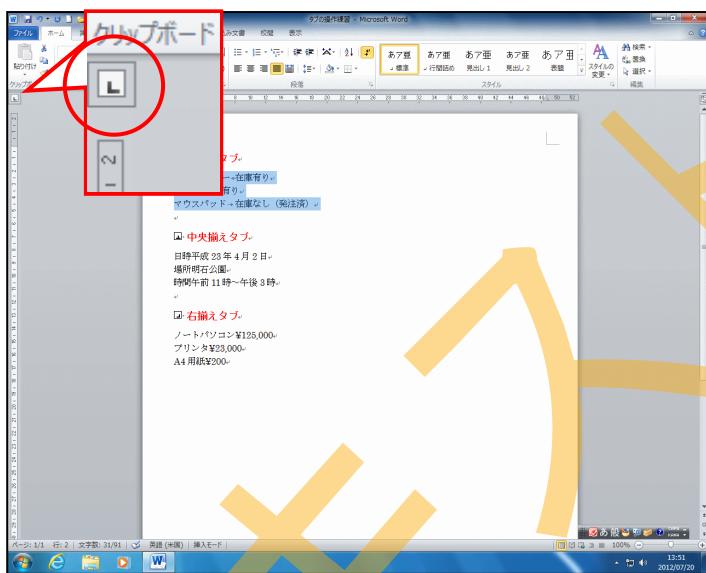


余裕があれば読んでね

- 表の中でタブを設定するには、[Ctrl] キーを押した状態で [Tab] キーを押します。[Tab] キーだけを押すとカーソルが表の中の次のセルに移動します。



「USB メモリー」、「マウス」、「マウスパッド」の3段落を選択し、ルーラーの一一番左端に [左揃えタブ] が表示されていることを確認します。(クリックする必要はありません。)



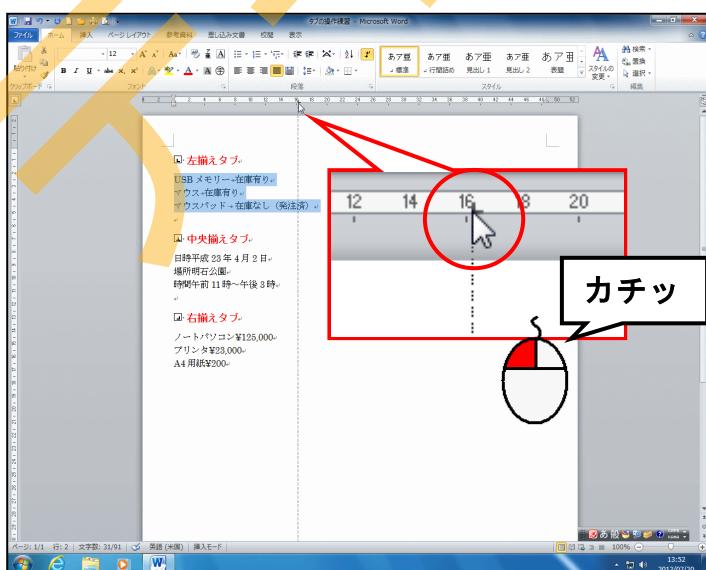
- このマーカーを変更するにはクリックします。クリックすると、P89 ① タブマーカーの種類で示したマーカーの順番に切り替わります。

注意!

- [左揃えタブ] が表示されていない方は、[左揃えタブ] に変わるまでクリックしてください。



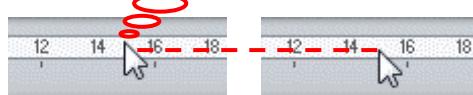
ルーラー上の約 16 字の位置にポイントし、そのままクリックします。

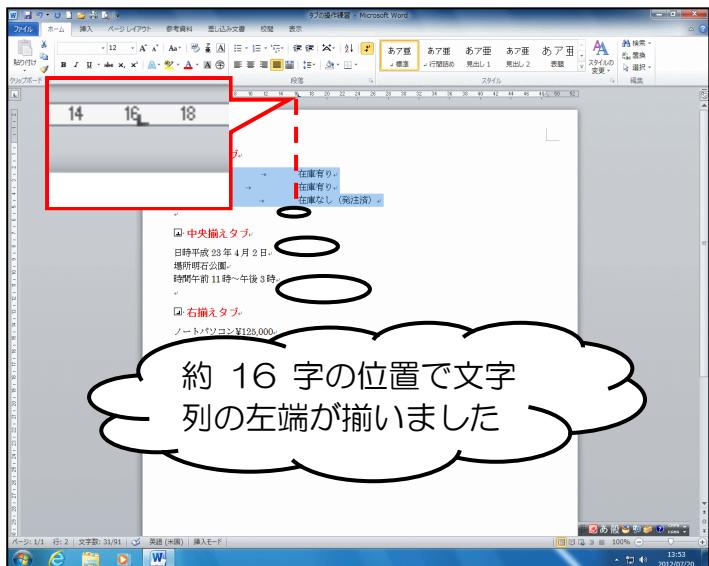


注意!

- ポイントする位置が上すぎると、クリックしても [左揃えタブ] マーカーが表示されません。

上すぎます





●下のようにクリックした位置にタブの後ろにある文字列の左端がすべて揃いました。

#### □ 左揃えタブ

USB メモリー → 在庫有り  
マウス → 在庫有り  
マウスパッド → 在庫なし (発注済)



●クリックしすぎてたくさん **□ (左揃えタブマーカー)** が表示されてしまうと、思った位置に文字が表示されません。

**□ (左揃えタブマーカー)** がたくさん表示されてしまった場合は、下の **タブマーカーの削除** を参考にして削除してください。



ご参考までに

#### ■タブマーカーの削除

タブの数とタブマーカーの数が合わないと、思った位置に文字が表示できません。よくクリックしすぎて、たくさんのタブマーカーを表示されている方がいらっしゃいます。その場合は、不要なタブマーカーを削除する必要があります。削除の方法は次のとおりです。

不要なタブマーカーにポイントして、そのままルーラーの外にタブマーカーをドラッグして、マウスのボタンから指を離します。



#### ■選択した段落のタブマーカーをすべて削除

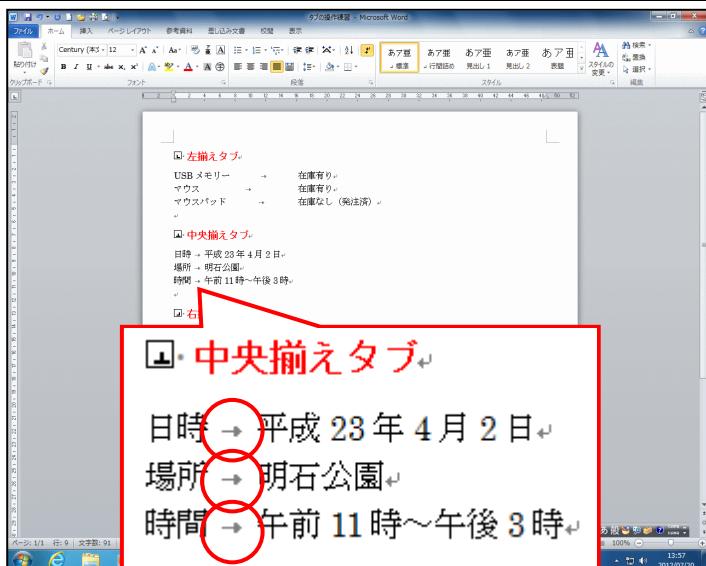
タブを設定した段落を選択して、[Ctrl] キーを押した状態で [Q] キーを押します。  
(ただし、この操作は、段落に対して設定した段落書式をすべて削除するため、箇条書きの設定まで削除されてしまいます)

段落書式と文字に対する文字書式まで削除したい場合は、[Ctrl] キーと [Shift] キーを押した状態で [N] キーを押します。

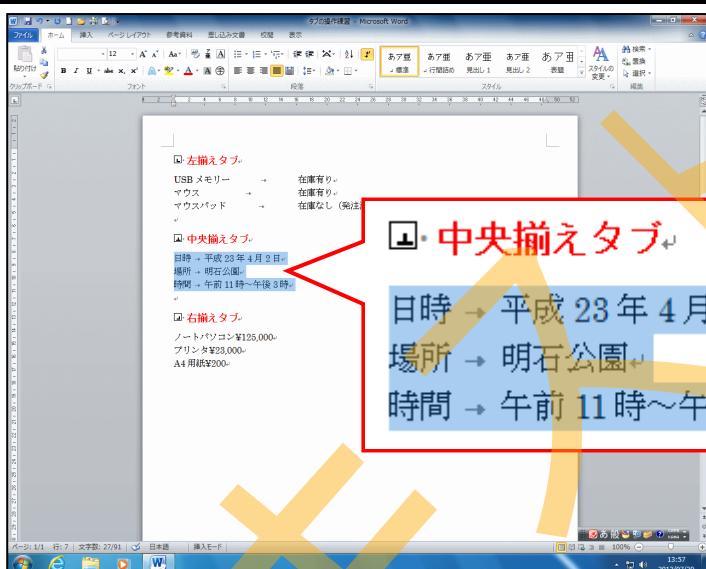


## ●中央揃えタブ

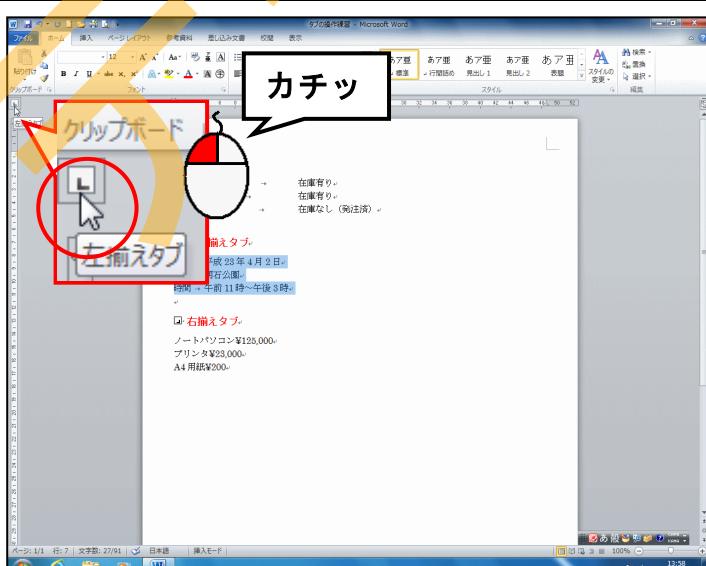
下のように「中央揃えタブ」の下にある「日時」、「場所」、「時間」の後に、それぞれタブを挿入します。



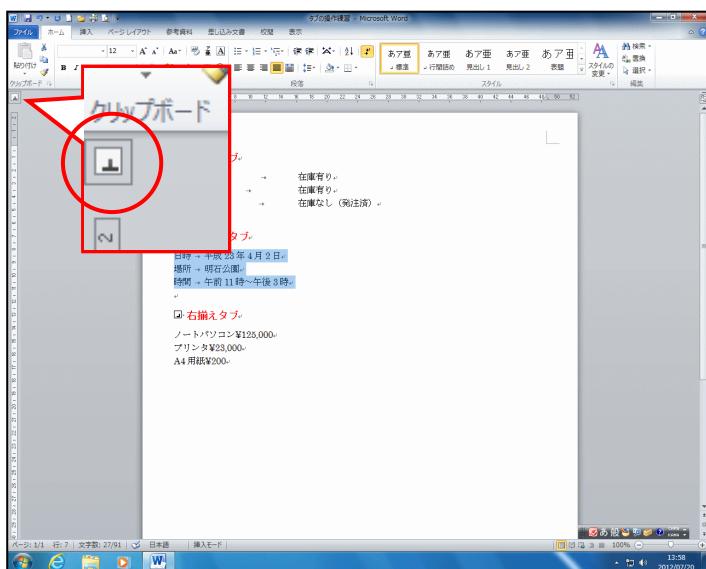
「日時」、「場所」、「時間」の3段落を選択します。



ルーラーの一番左端に [左揃えタブ] が表示されていることを確認し、そのまま [左揃えタブ] をクリックして [中央揃えタブ] を表示させます。



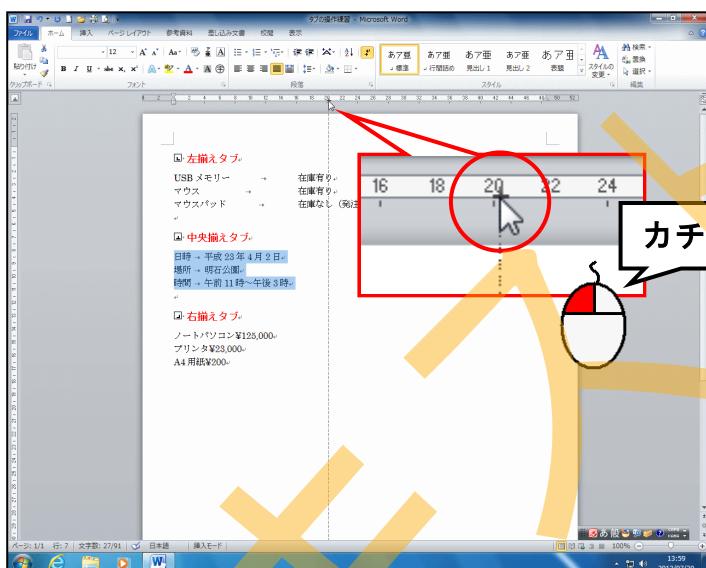
● [左揃えタブ] が表示されていない方は、 [中央揃えタブ] に変わるまで、何度かクリックしてください。クリックすると、P89① タブマーカーの種類で示したマーカーの順番に切り替わります。



● [左揃えタブ] をクリックすると、タブマーカーの種類が [中央揃えタブ] に変わります。

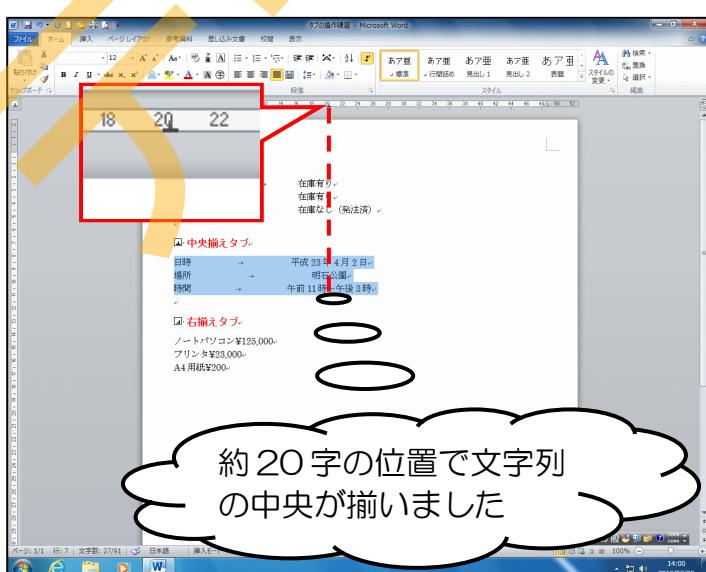


ルーラー上の約20字の位置にポイントし、そのままクリックします。



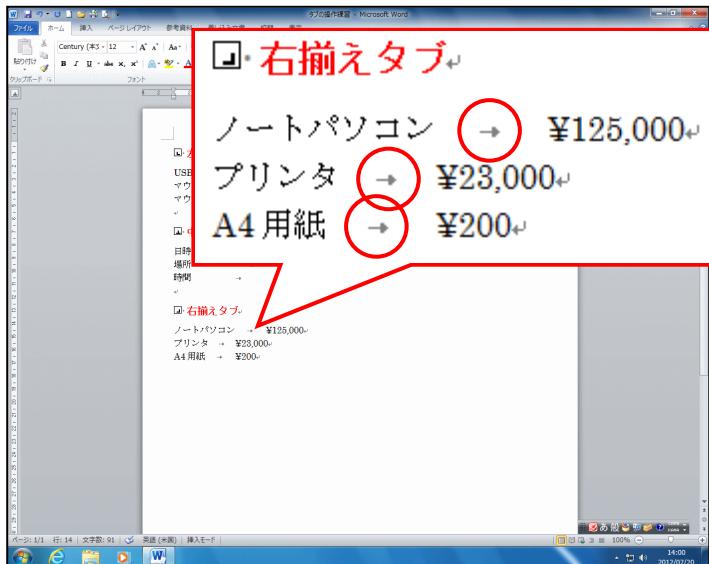
● 下のようにクリックした位置にタブの後ろにある文字列の中央がすべて揃いました。

中央揃えタブ	
日時	→ 平成 23 年 4 月 2 日
場所	→ 明石公園
時間	→ 午前 11 時～午後 3 時

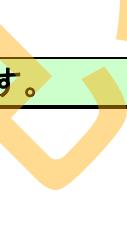
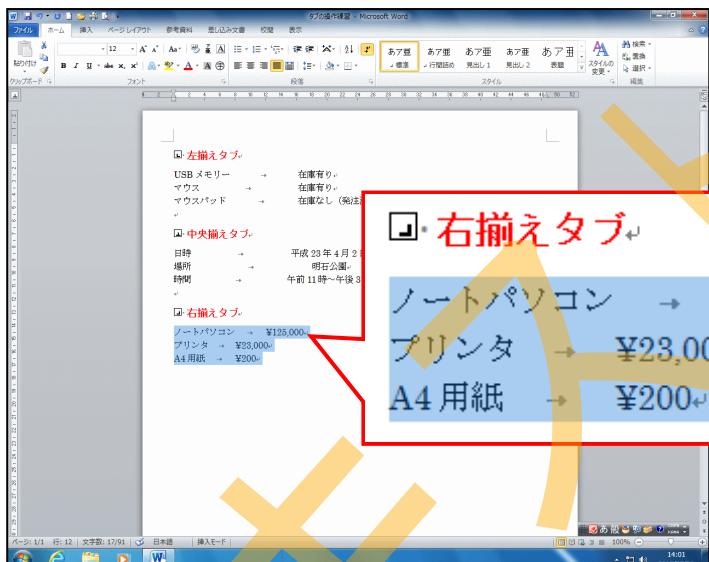


## ●右揃えタブ

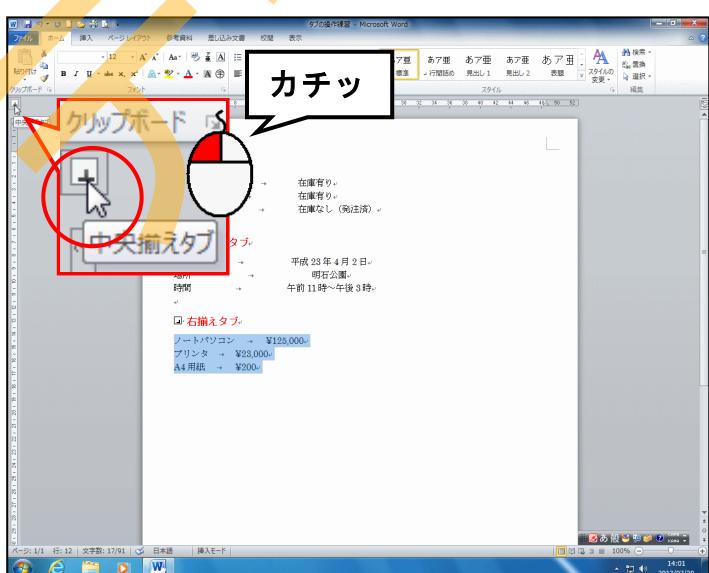
下のように「右揃えタブ」の下にある「ノートパソコン」、「プリンタ」、「A4 用紙」の後ろに、それぞれタブを挿入します。



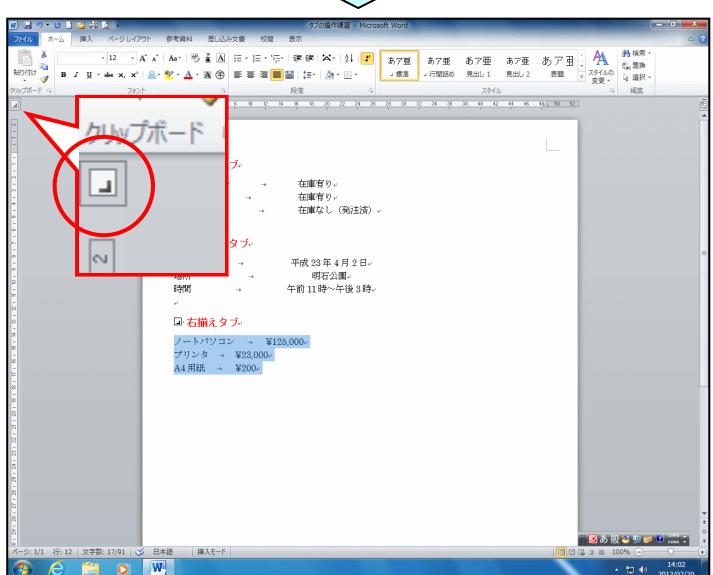
「ノートパソコン」、「プリンタ」、「A4 用紙」の3段落を選択します。



ルーラーの一番左端に [中央揃えタブ] が表示されていることを確認し、そのまま [中央揃えタブ] をクリックし、 [右揃えタブ] を表示させます。



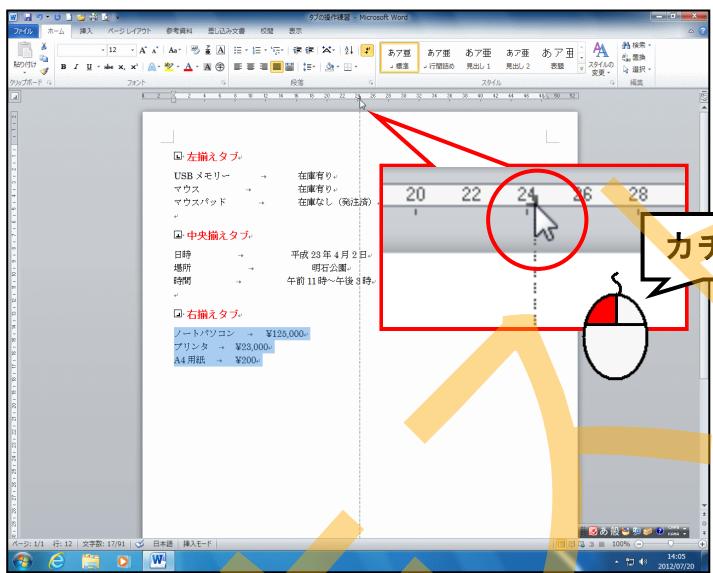
● [中央揃えタブ] が表示されていない方は、 [右揃えタブ] に変わるまで、何度かクリックしてください。クリックすると、P89① タブマーカーの種類で示したマーカーの順番に切り替わります。



●  [中央揃えタブ] をクリックすると、タブマーカーの種類が  [右揃えタブ] に変わります。



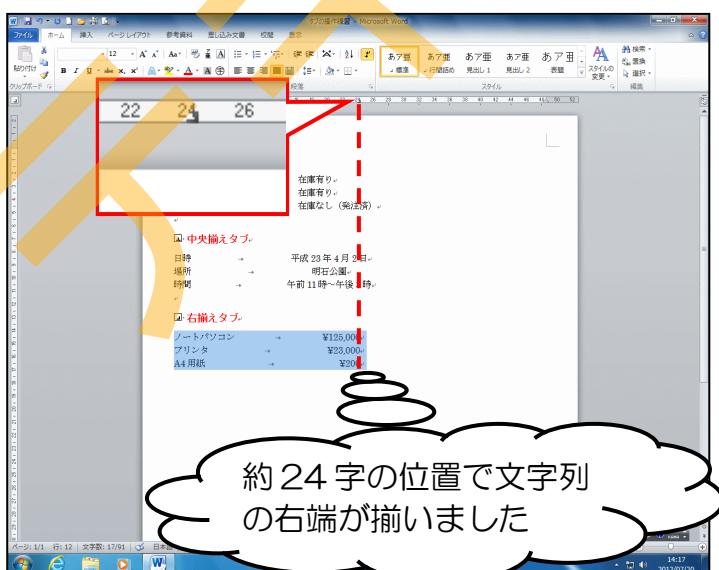
ルーラー上の約24字の位置にポイントし、そのままクリックします。



● 下のようにクリックした位置にタブの後ろにある文字列の右端がすべて揃いました。

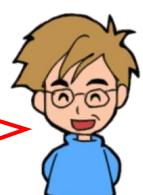
[右揃えタブ]

ノートパソコン	→	¥125,000
プリンタ	→	¥23,000
A4用紙	→	¥200



● 他のタブについて P208

補足説明「他のタブについて」は、練習問題にも出てきますので、チェックしておきましょう。



「タブの操作練習」を上書き保存し、ワードを終了しておきましょう。

## ② タブの設定

ここでは、「秋の天体観測」の「日時」、「場所」、「備考」の文字の後ろにタブを挿入して、文字と文字の間が開くようにタブを設定してみましょう。

### ●タブの挿入

◆タブの挿入方法をマスターしましょう。

操作前

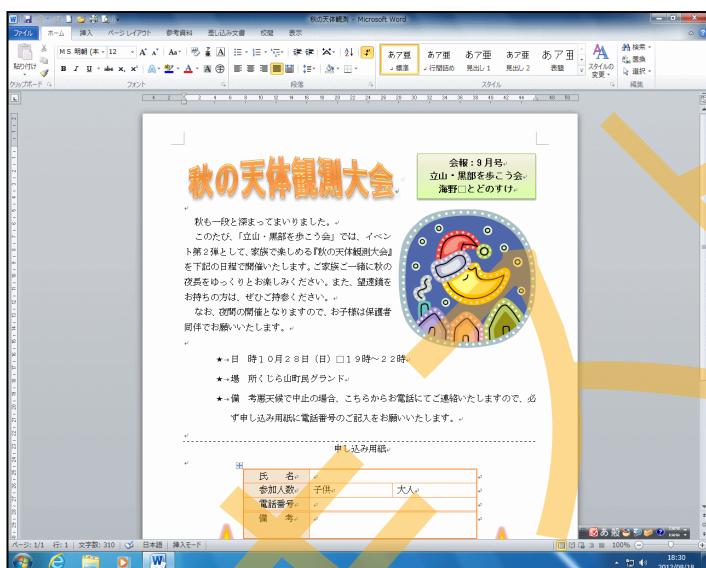
★→日 時 10月28日(日) □19時~22時  
★→場 所くじら山町民グランド  
★→備 考悪天候で中止の場合、こちらからお電話にてこ  
す申し込み用紙に電話番号のご記入をお願いいたします

操作後

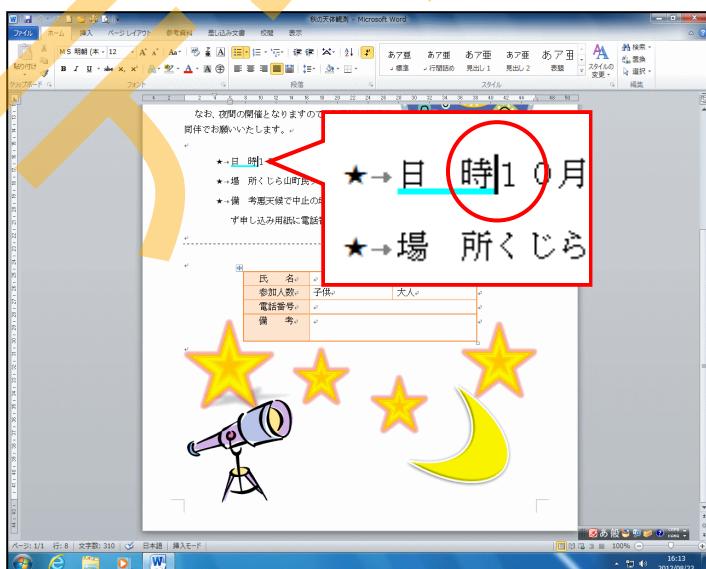
★→日 時 → 10月28日(日) □19時~22時  
★→場 所 → くじら山町民グランド  
★→備 考 → 悪天候で中止の場合、こちらからお電話にて  
必ず申し込み用紙に電話番号のご記入をお願いいたします

文字間にタブが  
挿入されました

ワードを起動し、リムーバブルディスクに保存した「秋の天体観測」を開きましょう。



「日時」の後ろにカーソルを移動します。

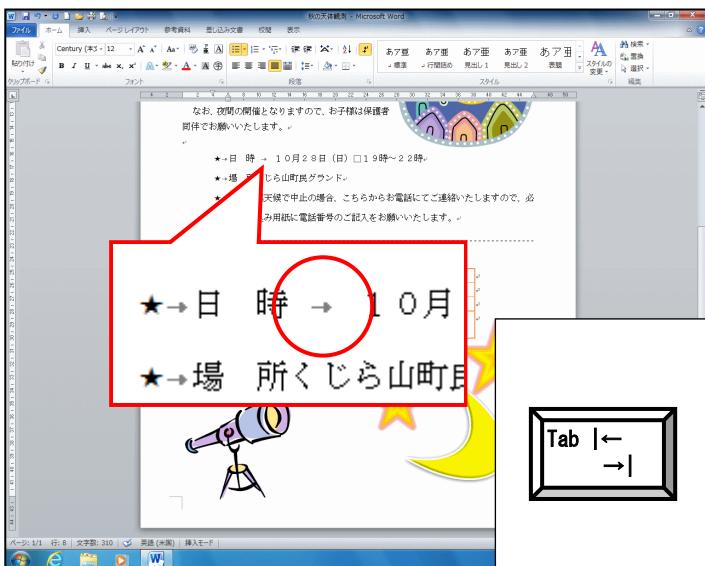


●画面は、見やするようにスクロール  
しておきましょう。

●均等割り付けした文字にカーソルを  
移動すると、均等割り付けした文字  
の下に「水色の下線」が表示されま  
すが、印刷には関係ないので気にし  
ないでください。これは、「この文字  
が均等割り付けされていますよ」と  
いう印です。



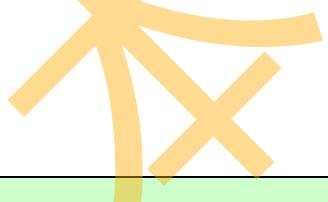
## キーボードにある [Tab] キーを押します。



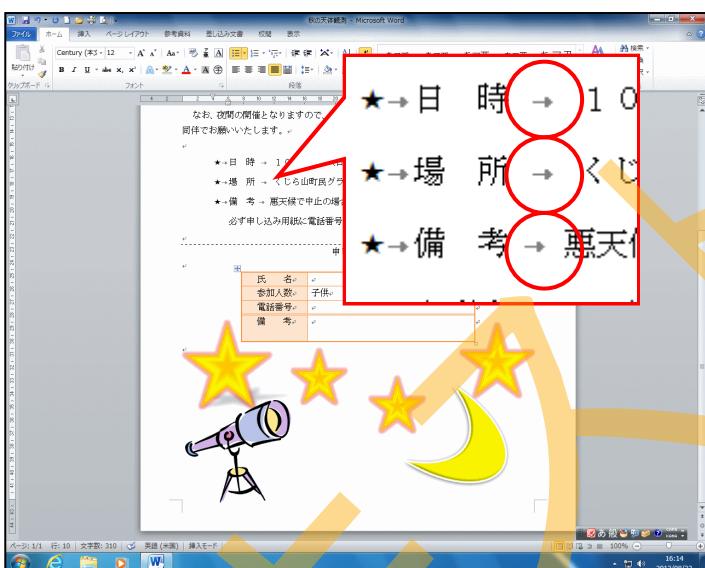
- [Tab] キーを押した時点で → が表示されます。これは「ここにタブが入りました」という記号です。



- [Tab] キーを押しても → が表示されない場合は、[ホーム] タブの [段落] グループにある → [編集記号の表示／非表示] ボタンをクリックします。



## 同様にして「場所」、「備考」の後にタブを挿入します。



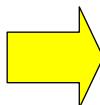
## ●タブマーカーの設定

自分の好きな位置に文字を揃えるには、タブマーカーを設定する必要があります。タブマーカーには、P89で説明したように7種類のマーカーがありますが、今回は文字の左を揃えたいので、「左揃えタブ」を設定します。タブマーカーを設定するときの注意点は、[Tab]キーを押して表示される「→」の数とタブマーカーの数を合わせるという点です。

### ◆タブマーカーの設定方法をマスターしましょう。

操作前

```
★→日 時 → 10月28日(日) □19時~22時
★→場 所 → くじら山町民グランド
★→備 考 → 悪天候で中止の場合、こちらからお電話に
必ず申し込み用紙に電話番号のご記入をお願いいたします。
```

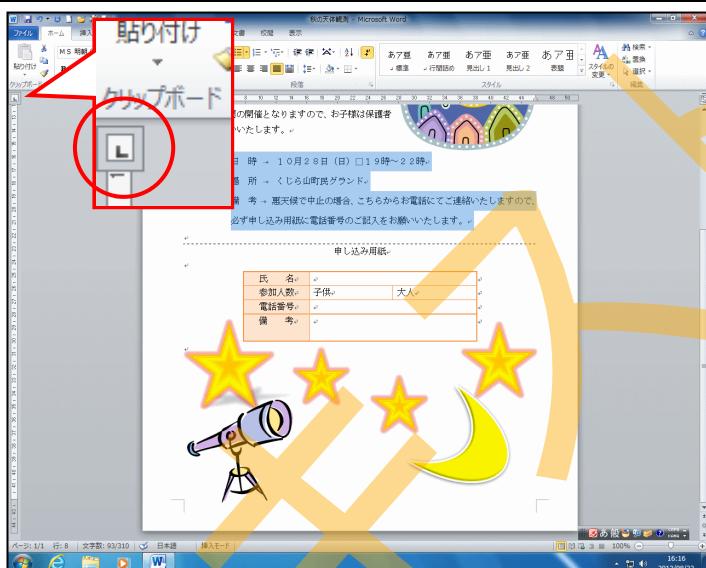


操作後

```
★→日 時 → 10月28日(日) □19時~22時
★→場 所 → くじら山町民グランド
★→備 考 → 悪天候で中止の場合、こちらからお電話に
必ず申し込み用紙に電話番号のご記入をお願いいたします。
```

タブの位置が  
変更されました

「日時」～「備考」までの3段落を選択し、ルーラーの一番左端に  [左揃えタブ] が表示されていることを確認します。



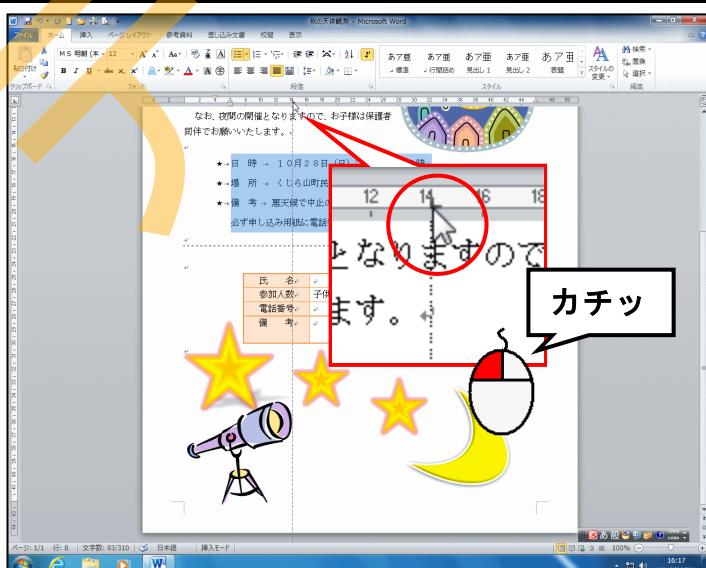
●このマーカーを変更するにはクリックします。クリックすると、P89 ① タブマーカーの種類で示したマーカーの順番に切り替わります。

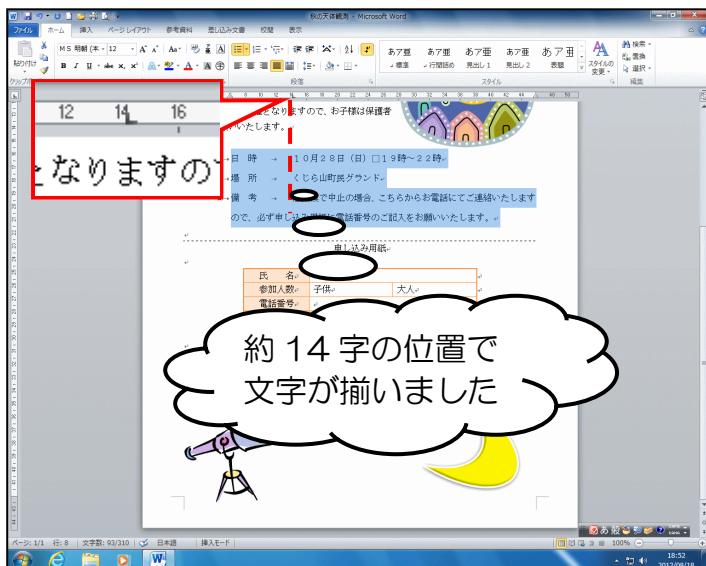


●  [左揃えタブ] が表示されていない方は、 [左揃えタブ] に変わるまでクリックしてください。

●複数段落を選択する方法を忘れた方は、P67 ② 複数段落を選択するを参照してください。

ルーラー上の約14字の位置にポイントし、そのままクリックします。





●左のようにクリックした位置に文字がすべて揃いました。



### ③ タブリーダーの設定

タブマーカーを設定して、自分の好きな位置に文字を揃えた場合、文字の左側に線を表示させることができます。この線のことを「タブリーダー」といいます。

② で設定したタブに対して「タブリーダー」を設定してみましょう。

タブリーダーの設定方法をマスターしましょう。

操作前

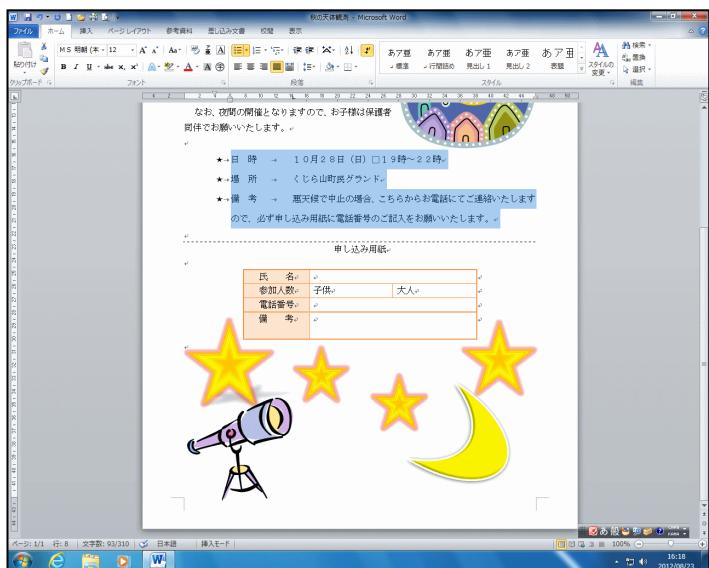
★→日 時 → 10月28日(日) □ 19時~22時  
★→場 所 → くじら山町民グランド  
★→備 考 → 悪天候で中止の場合、こちらからお電話番号のご記入をお願い  
るので、必ず申し込み用紙に電話番号のご記入をお願い

操作後

★→日 時 → 10月28日(日) □ 19時~22時  
★→場 所 → くじら山町民グランド  
★→備 考 → 悪天候で中止の場合、こちらからお電話番号のご記入をお願い  
ので、必ず申し込み用紙に電話番号のご記入をお願い

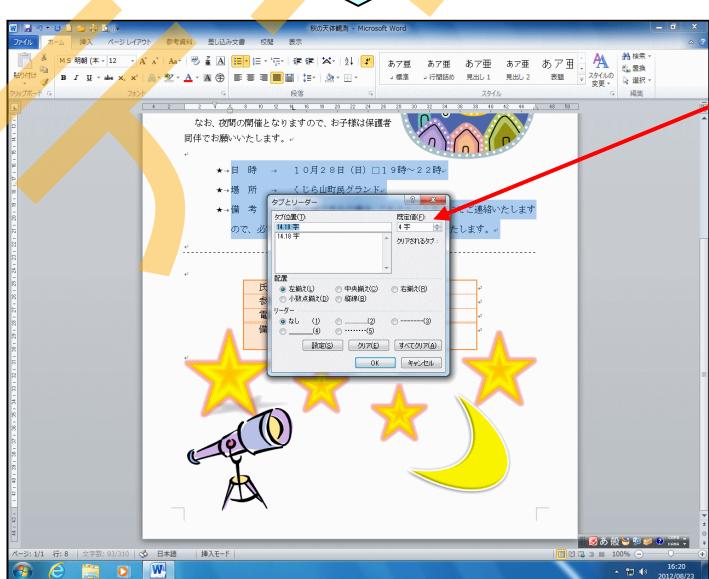
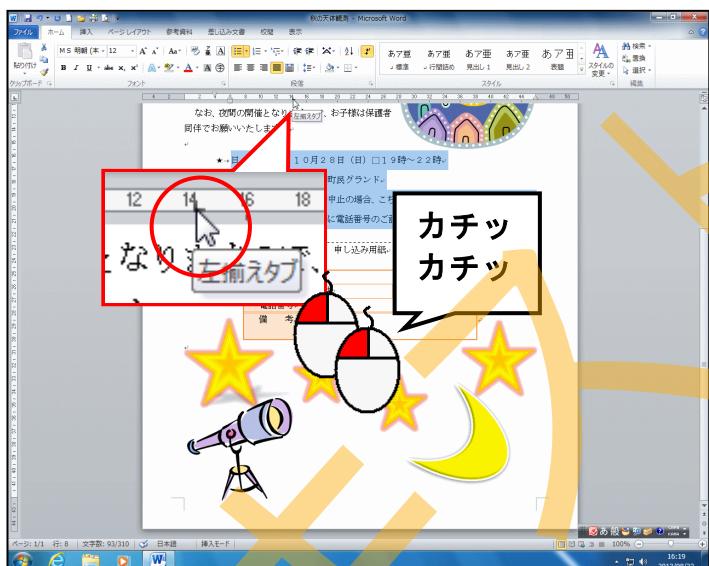
タブリーダーが  
設定されました

## 「日時」～「備考」までの3段落が選択されていることを確認します。



- 選択を解除してしまった方は、もう一度「日時」～「備考」の3段落を選択しておいてください。

ルーラー上にある先ほど設定した [左揃えタブ] マーカーにポイントし、そのままダブルクリックします。

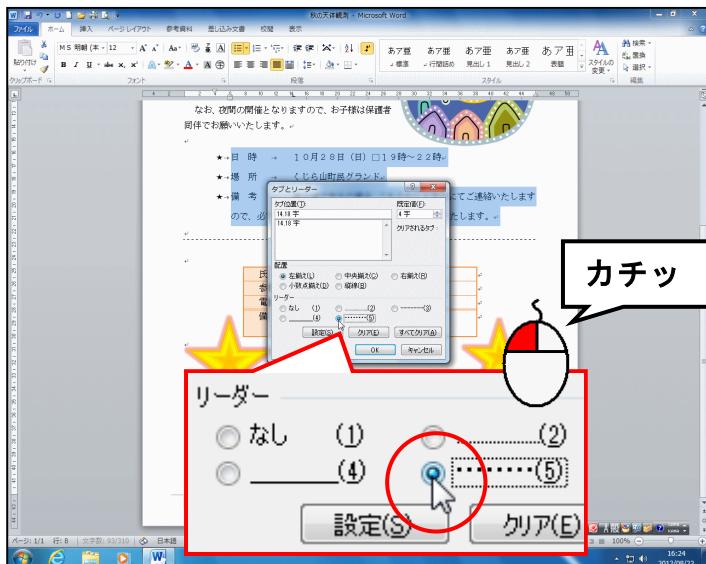


- [左揃えタブ] マーカーをダブルクリックすると、左のように [タブとリーダー] ダイアログボックスが表示されます。

余裕があれば読んでね

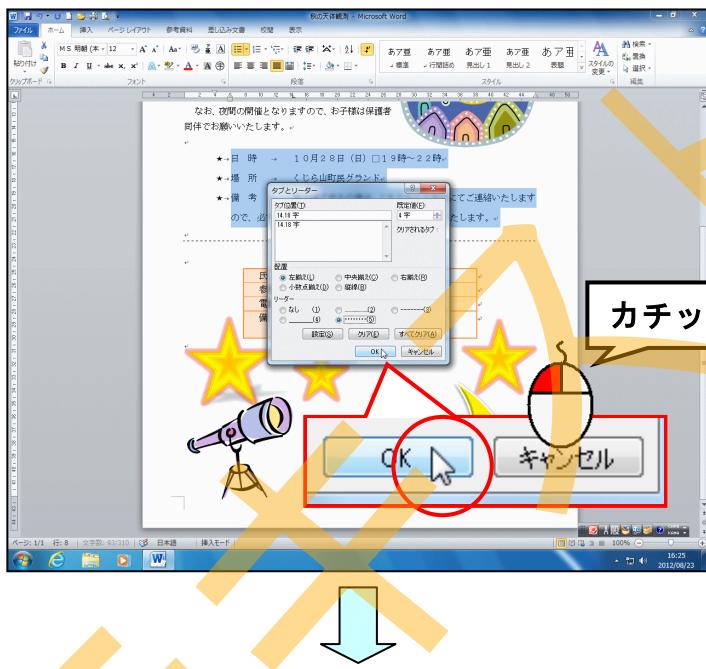
- [ホーム] タブの [段落] グループの右下の角にある  ボタンをクリックし、表示された [段落] ダイアログボックスの左下にある [タブ設定(T)...] ボタンをクリックしても [タブとリーダー] ダイアログボックスを表示することができます。

表示された「タブとリーダー」ダイアログボックスの「リーダー」で「(5)」にポイントし、そのままクリックします。

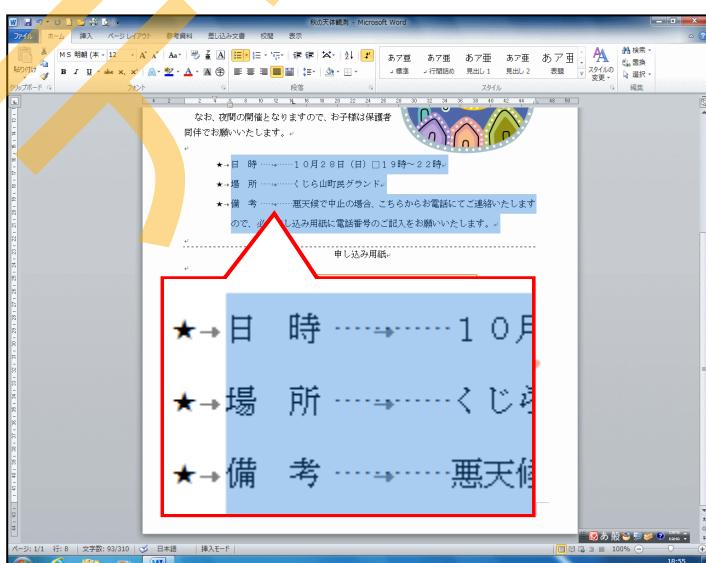


● 「(5)」をクリックした時点で、チェックボックスが  に変わります。

「タブとリーダー」ダイアログボックスの [OK] ボタンにポイントし、そのままクリックします。



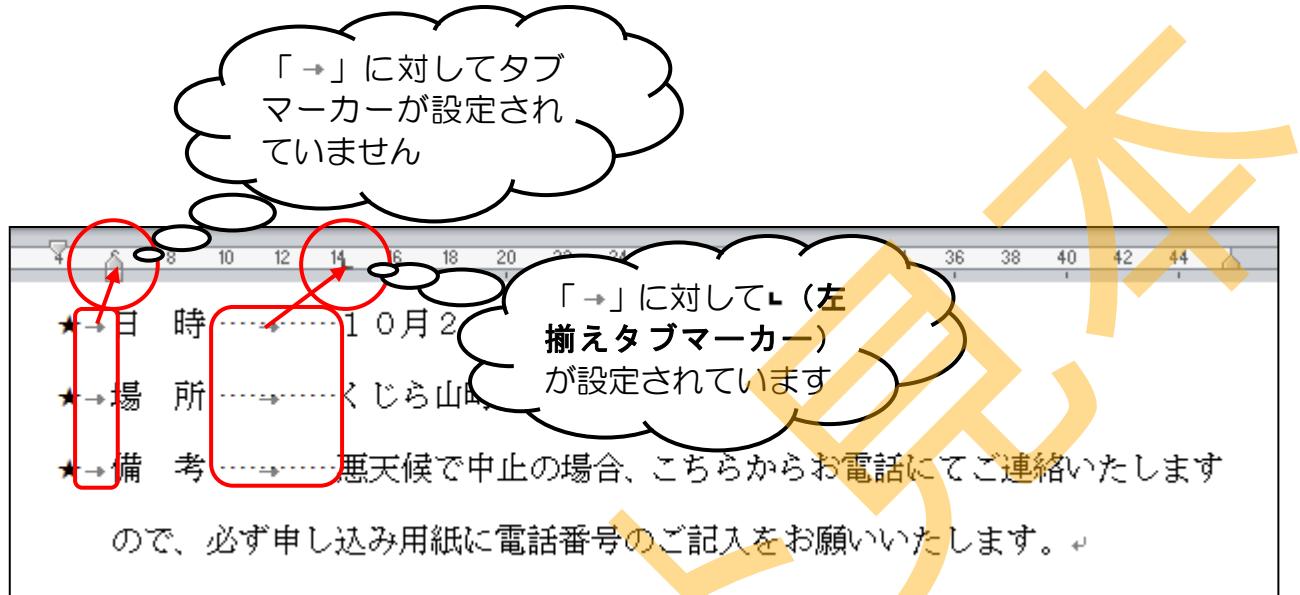
● [OK] ボタンをクリックした時点で、タブを設定した場所に点線が引かれます。



縦書き文書のタブ設定 P214

## (6) 箇条書きの位置を変更する

タブを設定するときに注意する点は、[Tab] キーを押して表示される「→」の数とタブマークの数を合わせるという点であることは P99 でも説明しましたが、「日時」～「備考」の3段落すべてを箇条書きに設定したため、行頭文字の後ろに「→」が表示されています。これにより、「日時」～「備考」の3段落には、それぞれ2つずつ「→」が表示されています。現在のままでは各段落、2つの「→」に対して1つのタブマークしか設定されていませんので、ここで箇条書きの位置を変更するのと同時に★（行頭文字）の後ろにある「→」に対してタブマークを設定してみましょう。

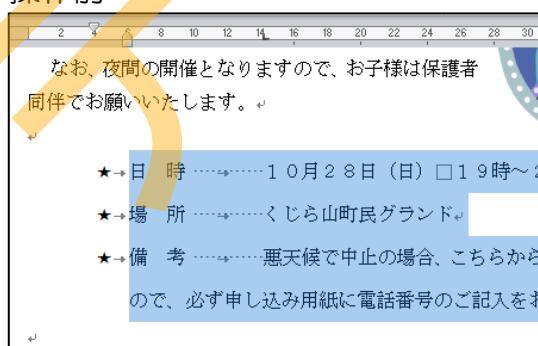


箇条書きを設定した段落の開始位置を左右に移動する場合は、移動したい段落を選択してぶら下げインデントマーク (△) と、1行目のインデントマーク (▽)、左揃えタブマーク (L) をドラッグします。

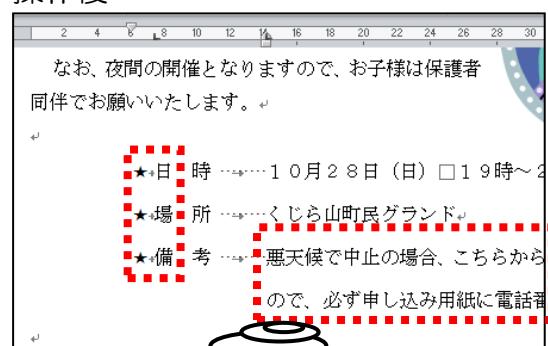
ただ、上でも説明しましたが、行頭文字の後ろに左揃えタブマーク (L) が設定されていませんので、「備考」の段落の2行目以降を、先ほど設定した左揃えタブの位置に移動すると「日時」「場所」「備考」の位置が移動してしまいます。そのため、まず、行頭文字の後ろに左揃えタブマーク (L) を設定します。その後「日時」～「備考」の箇条書きを設定した3段落を少し右に移動します。

### ◆箇条書きの位置の変更方法をマスターしましょう。

操作前

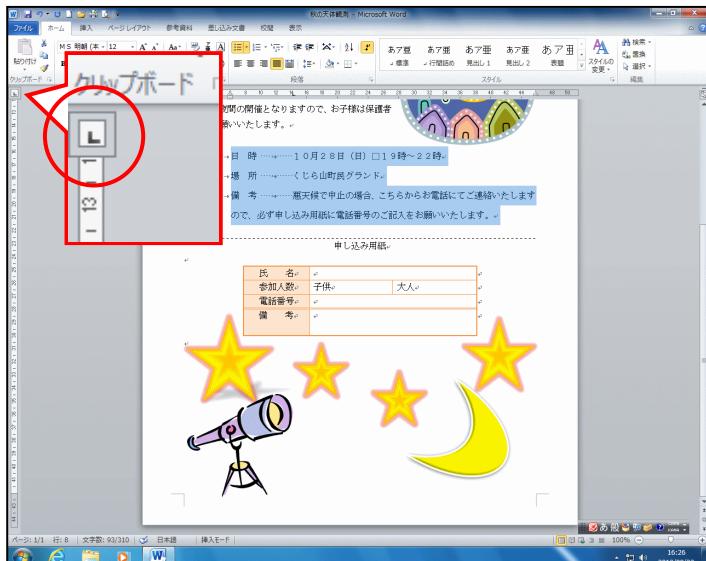


操作後



箇条書きの位置や2行目以降の文章の位置が変更されました

「日時」～「備考」までの3段落を選択し、ルーラーの一番左端に  [左揃えタブ] が表示されていることを確認します。

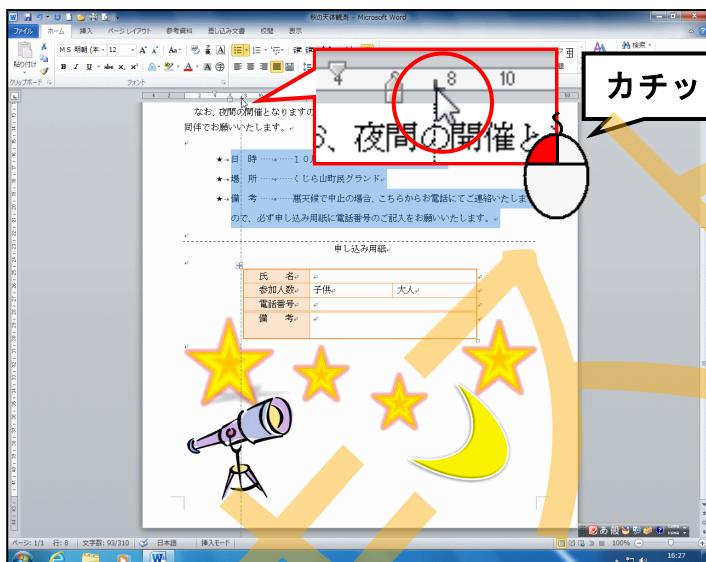


● 選択を解除してしまった方は、もう一度「日時」～「備考」の3段落を選択しておいてください。



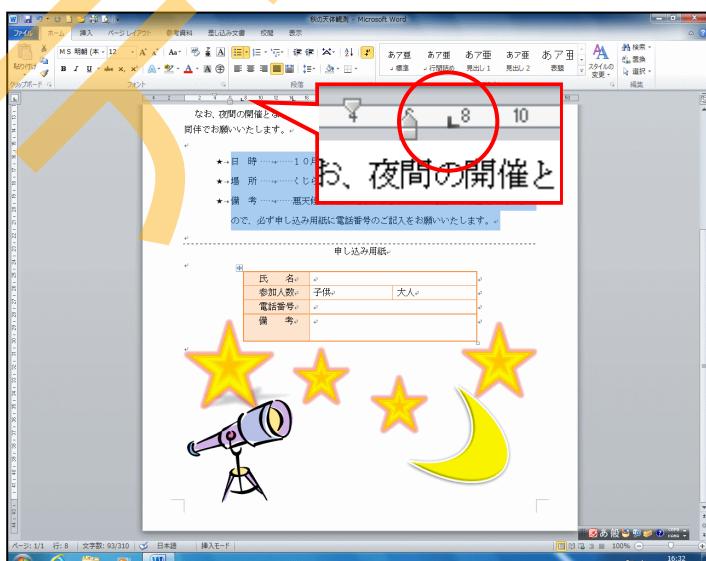
●  [左揃えタブ] が表示されていない方は、 [左揃えタブ] に変わるまでクリックしてください。

ルーラー上の約7字の位置にポイントし、そのままクリックします。

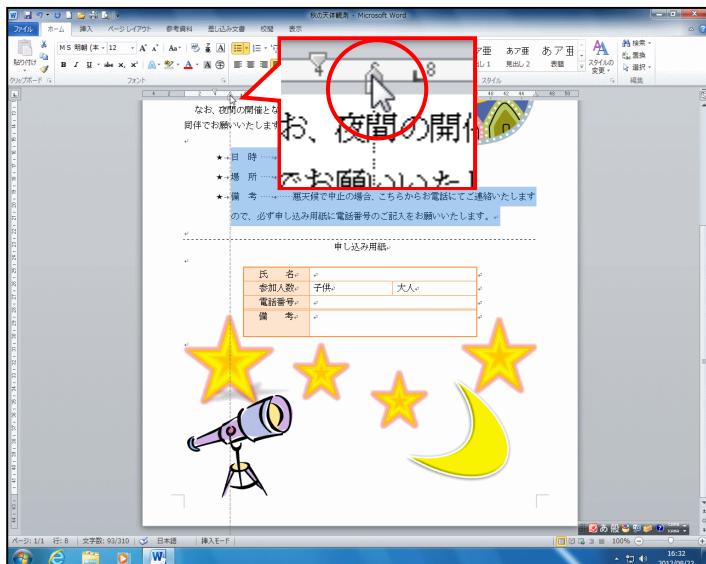


● クリックした時点で、ルーラー上に  [左揃えタブ] マーカーが表示されます。ただし、まだ行頭文字(★)の後ろの文字(日時、場所、備考)は移動しません。

行頭文字(★)の後ろの文字(日時、場所、備考)は、ルーラー上に  [左揃えタブ] マーカーを設定しただけでは移動しません。移動させるためには、1行目のインデントとぶら下げインデントの間に  [左揃えタブ] マーカーを設定する必要があります。



【ぶら下げインデント】マーカー (▲) にポイントし、そのままマウスの左ボタンを押します。

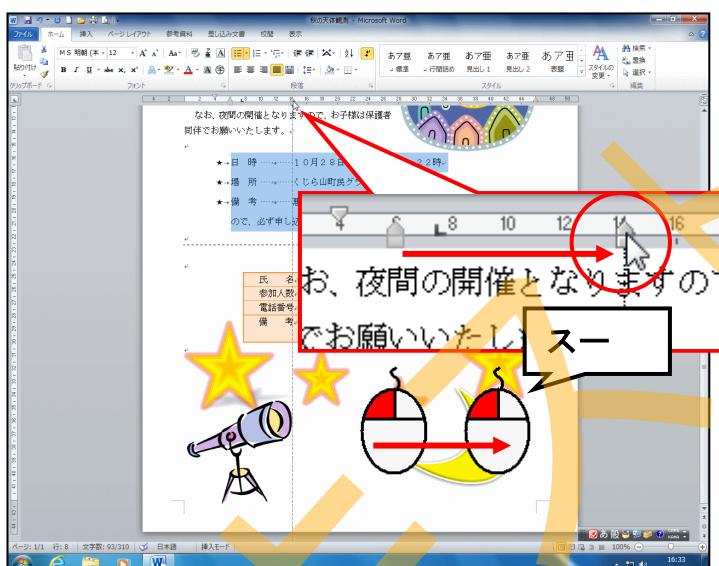


注意!

- [ぶら下げインデント] マーカー (▲) にポイントすると、下のようにポップヒントが表示されます。これが表示されてから、マウスの左ボタンを押すように注意しましょう。



そのままの状態で約14字の位置にある「[左揃えタブ]マーカー」の位置までドラッグします。



- ぶら下げインデントを移動することは、段落の2行目以降(左でいうと「ので、」～「お願いいいたします。」まで)の左インデントの位置を移動するということになります。

- ドラッグするときは、点線の位置を確認しながらドラッグしてください。

- マウスのボタンから指を離した時点で、文字の位置が右に移動します。

余裕があれば読んでね

- 微調整したい場合は、[Alt] キーを押した状態でドラッグします。

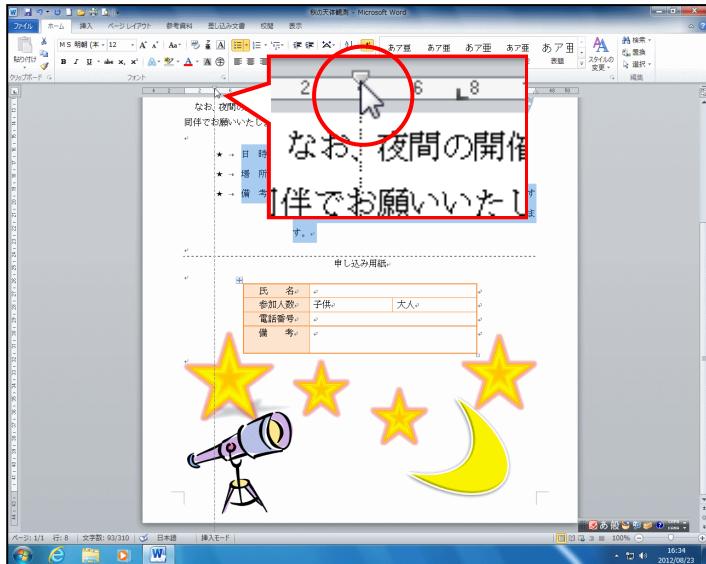
注意!

- ぶら下げインデントを移動したことにより、「備考」の段落の2行目以降が移動しました。さらに、各段落の行頭文字の後ろの文字が「[左揃えタブ] マーカーを設定した位置に移動しました。



このままでは、「★」の位置が文字から離れすぎていますから、「★」も同じように少し右に移動しましょう。

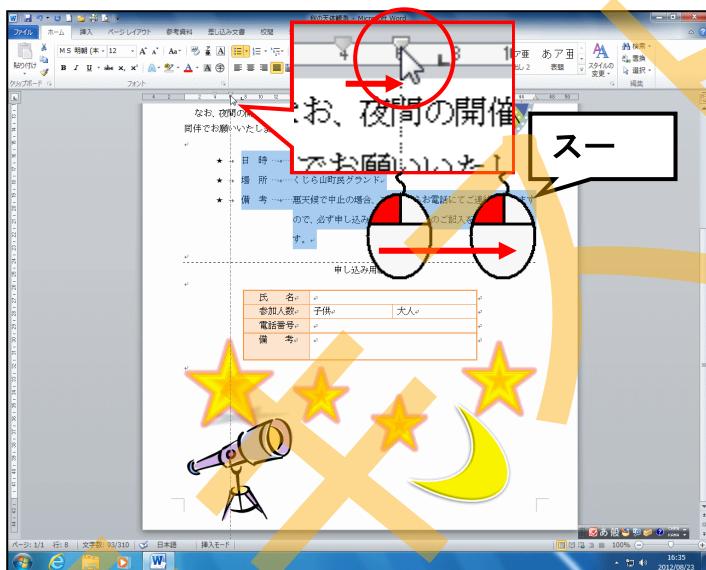
箇条書きした段落が選択されていることを確認して、 [1行目のインデント] マーカーにポイントし、そのままマウスの左ボタンを押します。



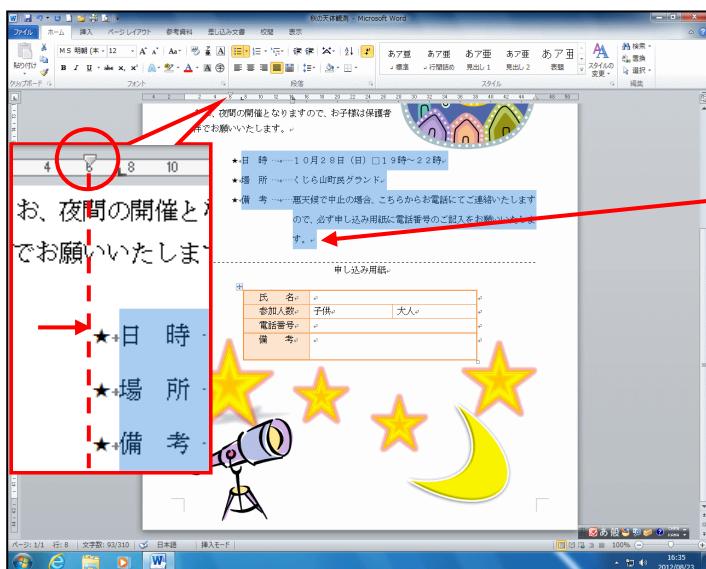
●マウスの左ボタンを押すと、下に点線が表示されます。

●1行目のインデントマーカーの点線は、 の位置が記号（行頭文字）の位置であることを示しています。

マウスの左ボタンを押したまま約6字の位置までドラッグします。



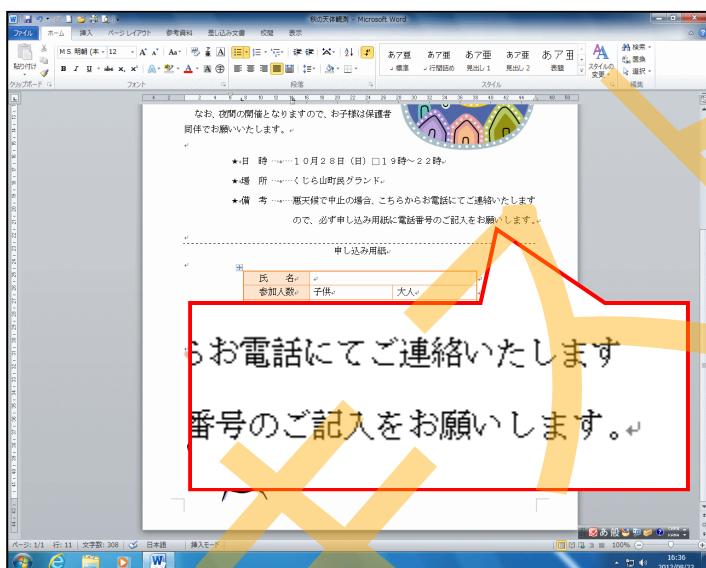
●ドラッグするときは、点線の位置を目安にドラッグすると、うまく移動することができます。



●マウスのボタンから、指を離すと「★」(行頭文字)の位置がドラッグした方向に移動します。

なんか1文字だけ、次の行に改行されてしまってみっともないわね。

「備考」の段落にある「～お願いいたします。」という文字を「お願いします。」に変更しましょう。



●改行されていない方は、この操作は不要です。

ワードで文書を編集している時に、改行してしまって不格好になることがあります。その場合、左のように文章を多少削っても意味の通じる場合は、編集して見栄えをよくするのも1つの方法ですよ♪



箇条書きについての補足説明 P215

その他の文章の編集方法 P216

「秋の天体観測」を上書き保存し、ワードを終了しましょう。

☆☆ここまでくれば、練習問題1で理解度を試してください。☆☆

### 2ページ目が2枚もある！？

ケンちゃん「先生～」

くじら先生「はい、どうしました？」



ケンちゃん「学級新聞を作っていて失敗しちゃったんだよ。」

くじら先生「大変でしたね。どんな失敗をしたのですか？」

ケンちゃん「学級新聞が数ページになったので、ページ番号を入れたんですが、印刷した後2ページって書いたものが2枚あることに気がついて…」

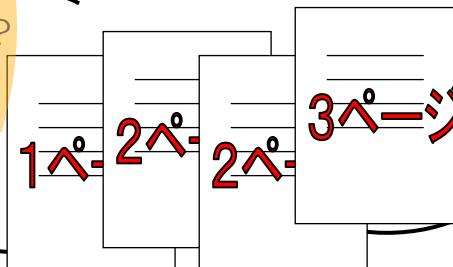
くじら先生「なるほど。ページ番号が違ってしまったのですね。ページ番号は、どうやって入力したのですか？」

ケンちゃん「どうやってって…1ページずつ入力したけど。」

くじら先生「ページ番号は、『挿入』という操作を行うだけでパソコンが自動的に番号をつけてくれます。ヘッダーやフッターというページ番号などを入力できるスペースもあるので、しっかり覚えて上手に利用しましょう。」



あれ？



ページ設定では触れませんでしたが、上余白と下余白に重なって「ヘッダー」と「フッター」という領域があり、好きな文字や図を配置することができます。

また、文書の背景に文字や図を「透かし」という形で配置することができます。ここでは、文字書式や段落書式に属さないページ全体に関する情報の設定を説明いたします。

ヘッダーに日付、フッターにページ番号を挿入してみましょう。

## (1) ヘッダーとフッター

ヘッダーとフッターとは、ページの上余白と下余白にある本文とは異なった領域を指し、ここに挿入した文字などは、すべてのページに印刷されます。通常、ヘッダーとフッターには、文書名、主題、作成者名、ページ番号、日付などを設定します。

英語で、ヘッダーは「ヘッド(頭)」、  
フッターは「フット(足)」からきています。



### ① ヘッダーとフッターの挿入

通常、ヘッダーとフッターという領域は編集画面に表示されません。したがって、ヘッダーとフッターを挿入する操作を行わない限り、そういう領域があることすら確認できません。

「秋の天体観測」という文書でヘッダーとフッターを表示し、ヘッダーとフッターという領域がどの部分をいうのか確認してみましょう。

ヘッダーとフッターという領域を画面上に表示するには、[挿入] タブを使います。

#### ■ [挿入] タブ



◆ヘッダーとフッターの表示方法をマスターしましょう。

操作前

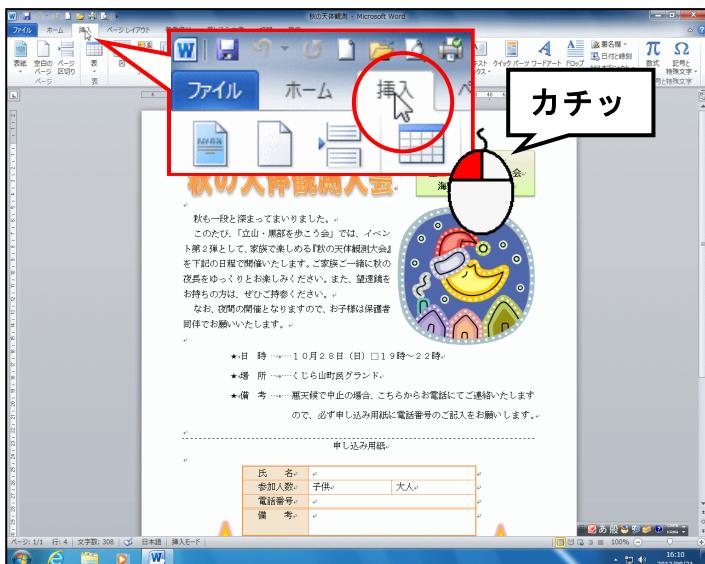


操作後



ヘッダーが  
表示されました

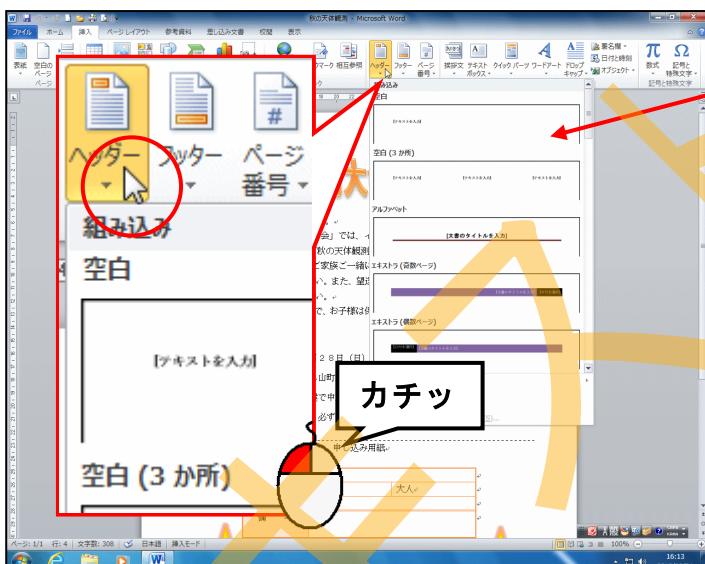
リムーバブルディスクに保存した「秋の天体観測」を開き、画面の左上にある【挿入】タブにポイントし、そのままクリックします。



● 【挿入】タブをクリックすると、グループ、ボタンの内容が変わります。



【ヘッダーとフッター】グループにある 【ヘッダー】ボタンにポイントし、そのままクリックします。

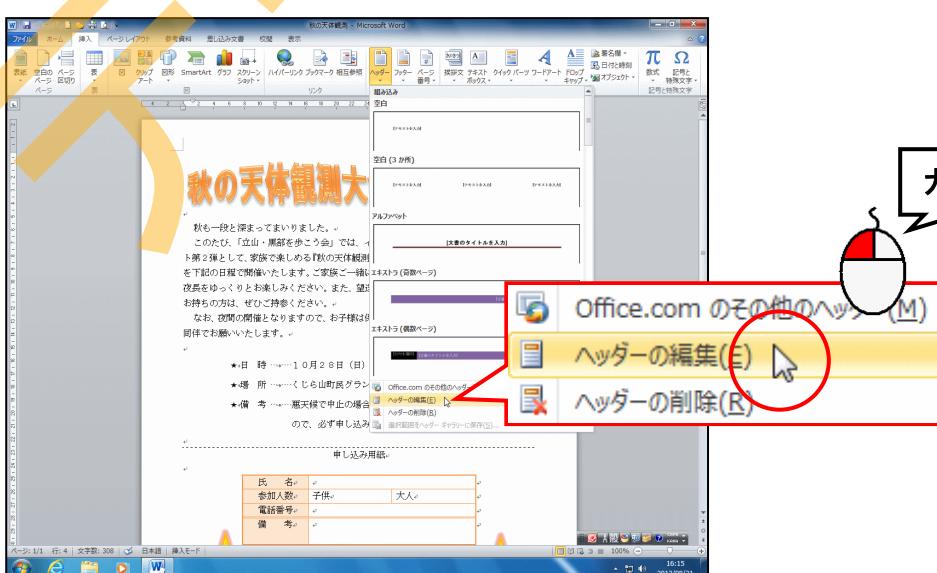


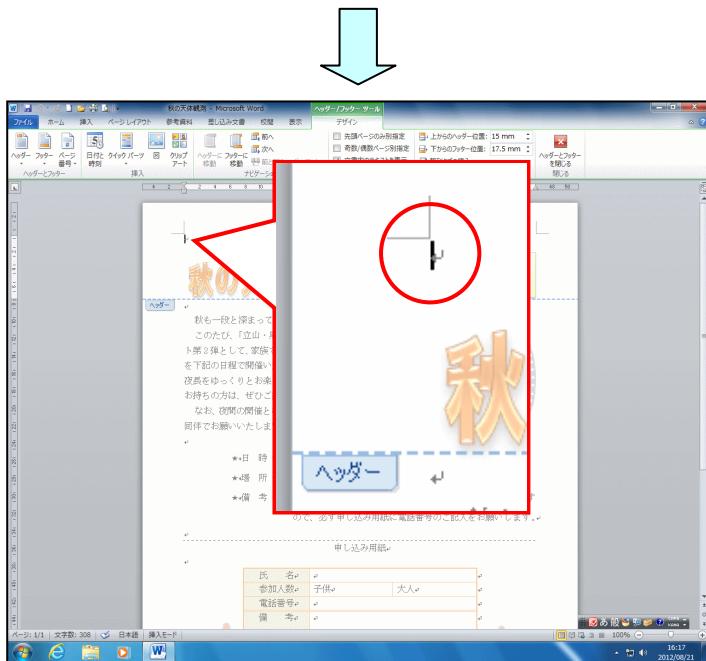
● 【ヘッダー】ボタンをクリックすると、左のようにメニューが表示されます。

● リボンが表示されていない方は、P227 リボンの最小化を元に戻すを参照してください。  
(下記のような状態の方)



表示されたメニューの中から【ヘッダーの編集(E)】にポイントし、そのままクリックします。





- [ヘッダーの編集(E)] をクリックすると、左のように上余白部分に「ヘッダー領域」が表示され、その中にカーソルが表示されます。



- 「ヘッダーとフッター」が表示された状態では、本文が薄いグレーに変わり編集できません。本文の編集を行うには、「ヘッダーとフッター」を閉じる必要があります。

## ② ヘッダー/フッターツールについて

ヘッダーとフッターの領域を表示すると「コンテキストツール」が表示されます。ヘッダーとフッターの場合、色々な設定は、次に示すヘッダー/フッターツールの【デザイン】タブを使って設定します。

表示される場所は、これまでの「コンテキストツール」と同様に【表示】タブの右側になります。

### ■ ヘッダー/フッターツール【デザイン】タブ



### ③ ヘッダーとフッターの切り替え

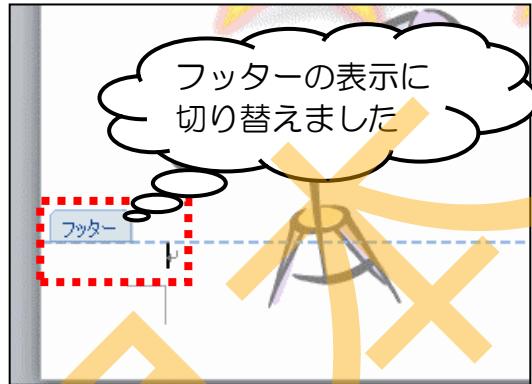
現在、ヘッダー部分が表示されて、カーソルがヘッダーにあると思います。同一ページのフッター部分にカーソルを移動して、ウィンドウをフッターに切り替えてみましょう。

◆ヘッダーとフッターの切り替え方法をマスターしましょう。

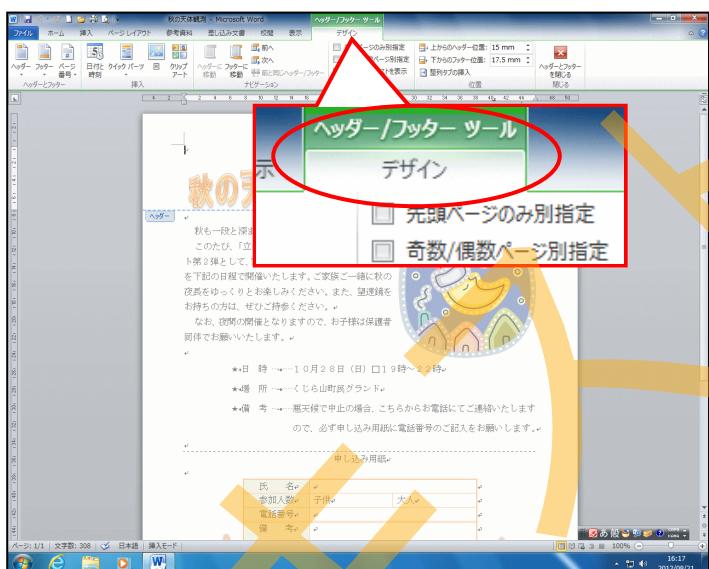
操作前



操作後

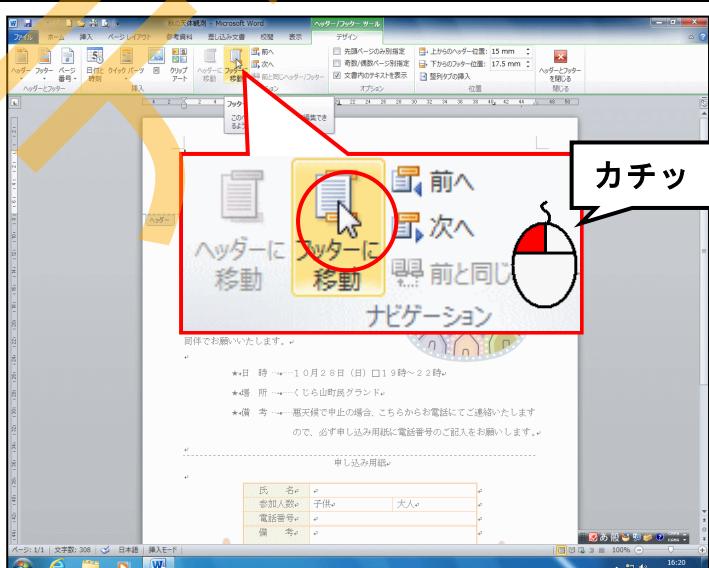


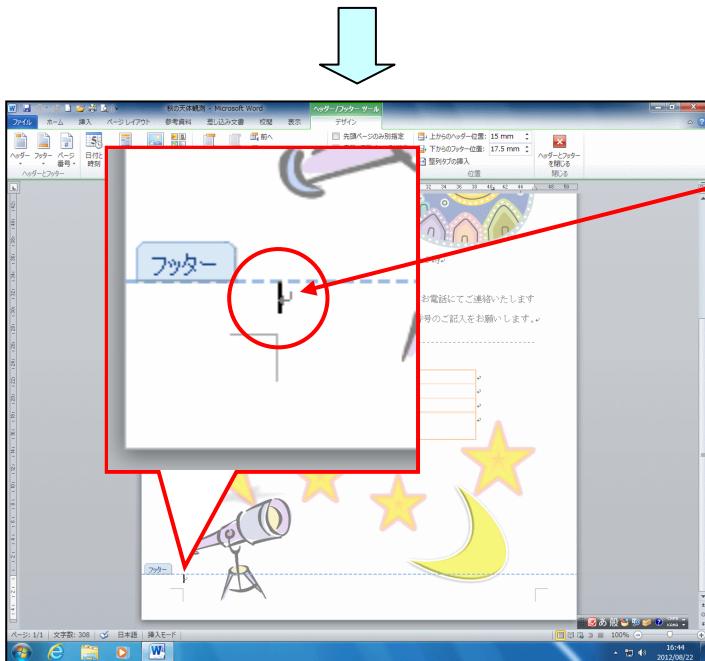
ヘッダー/フッターツールの【デザイン】タブが選択されていることを確認します。



●ヘッダーとフッターの領域が表示されるとヘッダー/フッターツールの【デザイン】タブが表示されます。

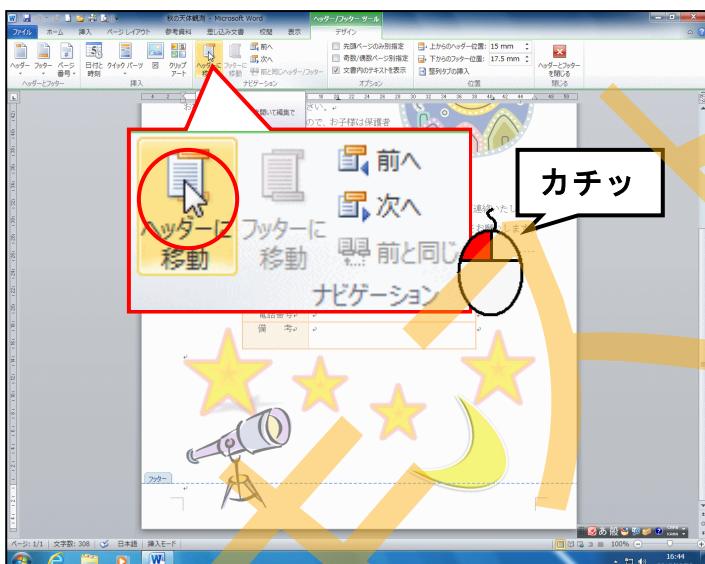
【ナビゲーション】グループにある 【フッターに移動】ボタンにポイントし、そのままクリックします。



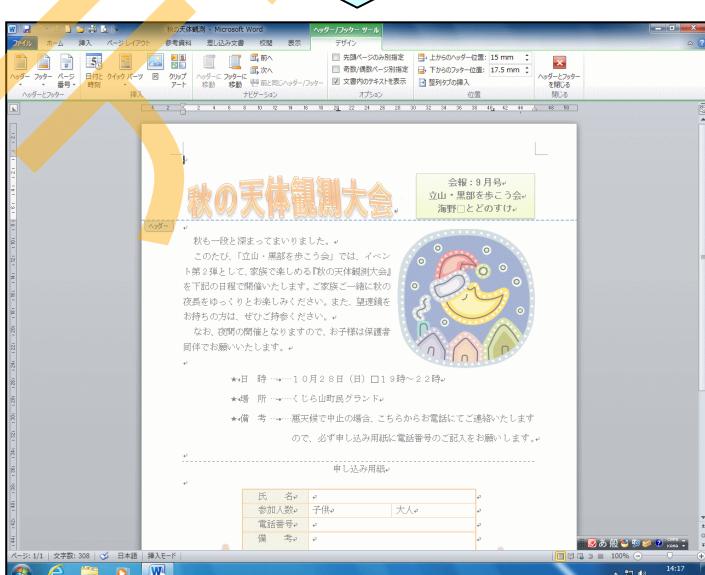


● [フッターに移動] ボタンをクリックすると、左のようにフッターが表示されて、カーソルがフッターに移動しました。

次の操作のために [デザイン] タブの [ナビゲーション] グループにある [ヘッダーに移動] ボタンにポイントし、そのままクリックします。



● [ヘッダーに移動] ボタンをクリックすると、左のようにページの先頭が表示されます。



## ④ ヘッダーとフッターの領域の調整

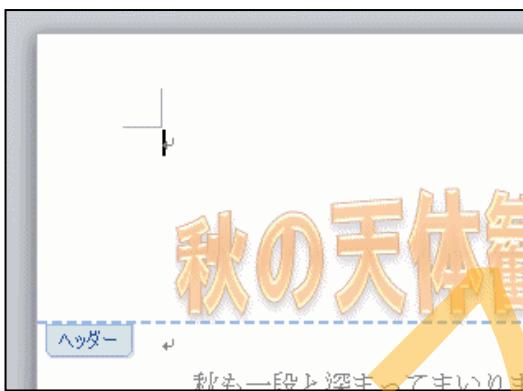
通常、ヘッダーの位置は、用紙の上端から「15mm」に、フッターの位置は、用紙の下端から「17.5mm」に設定されています。これは、下のように【デザイン】タブの【位置】グループで確認できます。



現在開いている「秋の天体観測」という文書は、ページ設定で上下の余白を「15mm」に設定しました。このままでは、ヘッダーとフッターの領域が本文内に入ってしまいます。ここでは、用紙の端からのヘッダーとフッターの位置を変更して調整しましょう。

### ◆ヘッダーとフッターの領域を変更する方法をマスターしましょう。

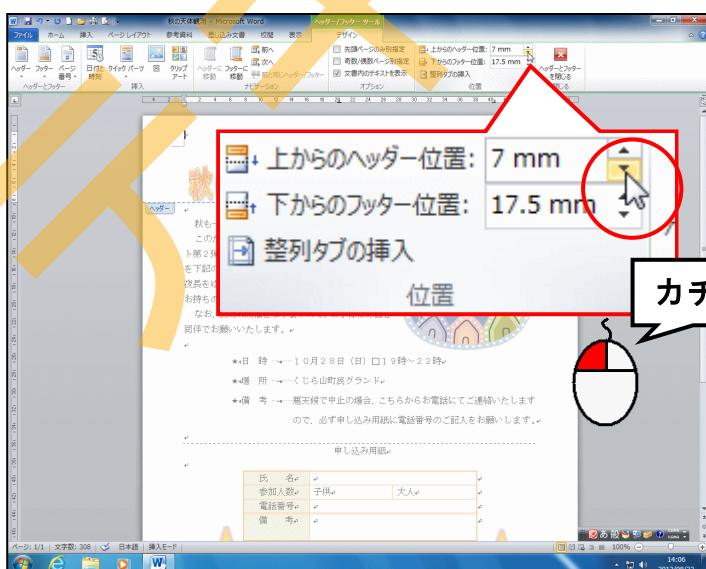
操作前



操作後

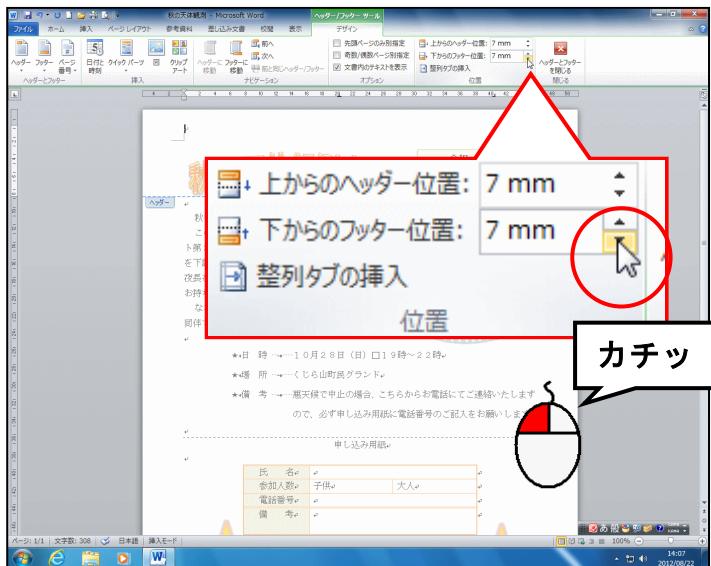


【位置】グループの [上からのヘッダー位置] ボックスの右にある▼にポイントし、「7mm」になるまでクリックします。

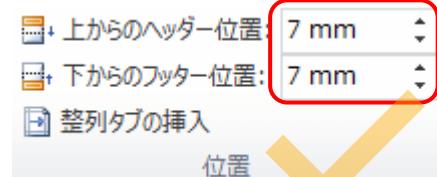


● [上からのヘッダー位置] ボックスの右にある▼をクリックしていくと、「1mm」ずつ小さくなります。

同様にして [下からのフッターポジション] ボックスの右にある▼にポイントし、「7mm」になるまでクリックします。



●下のように [上からのヘッダー位置] ボックス、[下からのフッターポジション] ボックスの両方が「7mm」になっていることを確認します。



## ⑤ ヘッダーに日付を挿入する

ヘッダー／フッターツールの [デザイン] タブを使って、ヘッダー領域に文書を開いたときに自動的に更新されるような「日付」を設定してみましょう。

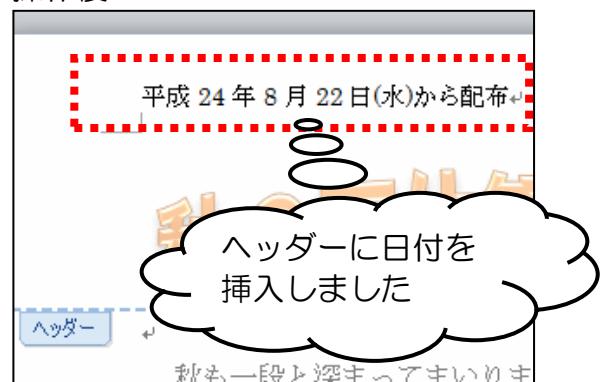
ここでいう「日付」とは、パソコン内の時計に設定されている日付をいい、設定されている時計が合っていなければ正しい日付は表示されません。

◆ヘッダーに日付を挿入する方法をマスターしましょう。

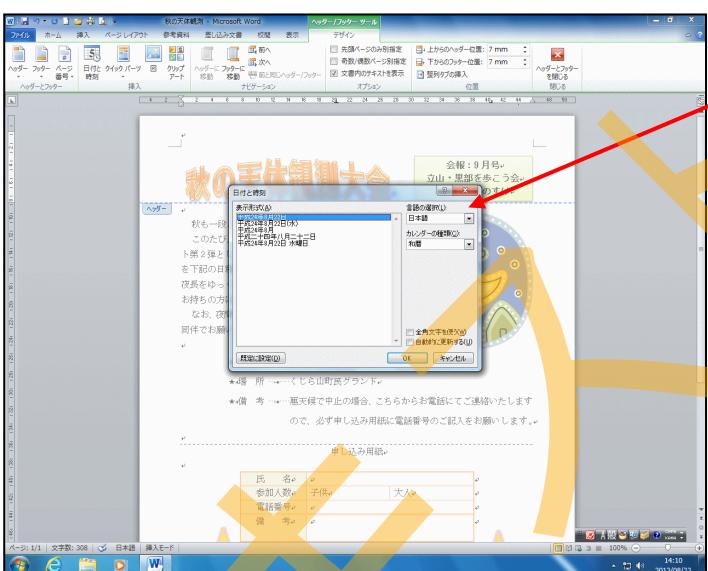
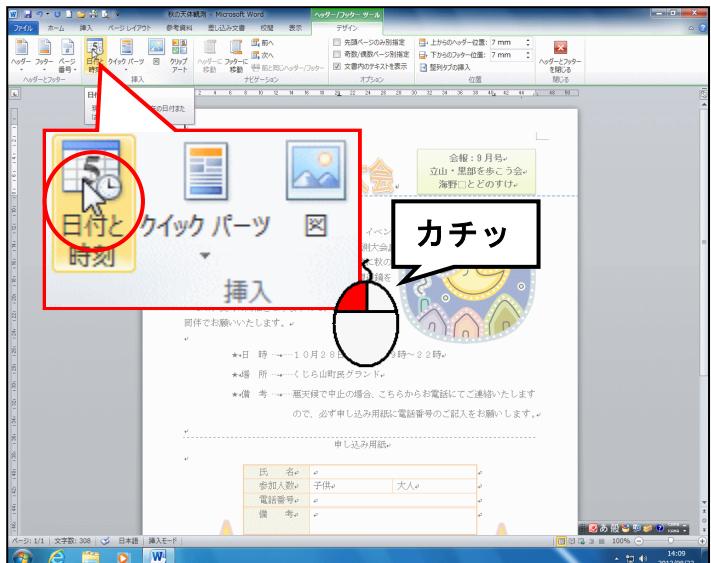
操作前



操作後



[デザイン] タブの [挿入] グループにある  [日付と時刻] ボタンにポイントし、そのままクリックします。



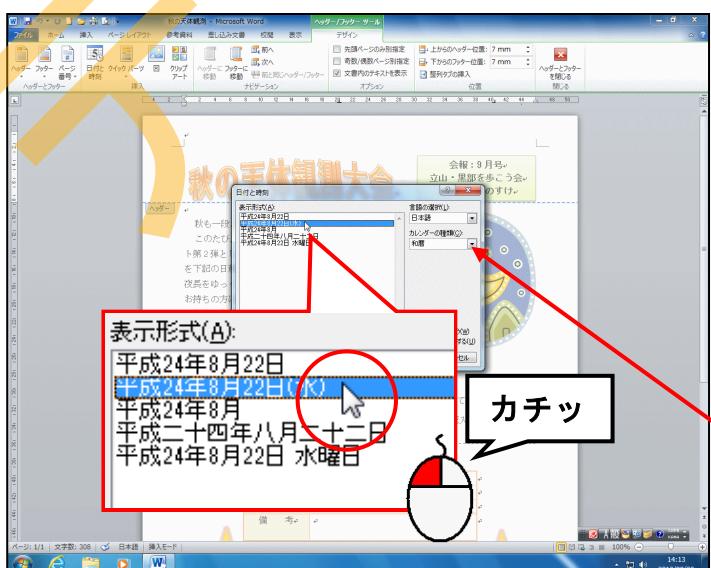
[日付と時刻] ボタンにポイントし、そのままクリックします。

-  [日付と時刻] ボタンをクリックすると、左のように [日付と時刻] ダイアログボックスが表示されます。

余裕があれば読んでね

- [日付と時刻] ダイアログボックスは、[挿入] タブの [テキスト] グループにある  [日付と時刻] ボタンをクリックしても表示することができます。ヘッダーではなく通常の文書内に日付を挿入する場合は、こちらを使います。

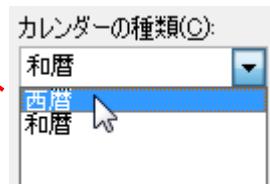
[日付と時刻] ダイアログボックスの [表示形式(A)] ボックスの上から2番目の書式にポイントし、そのままクリックします。



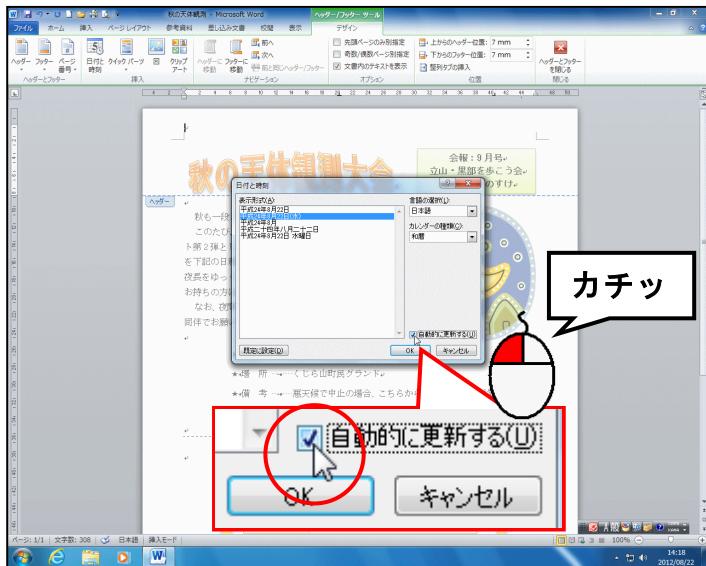
- 和暦で日付の最後に曜日を付けるため、上から2番目を選んでいます。

余裕があれば読んでね

- 日付を西暦で表示したい場合は、右側に表示された [カレンダーの種類(C)] ボックスの▼をクリックして「西暦」を選択します。



右下に表示された【自動的に更新する(U)】チェックボックスにポイントし、そのままクリックします。



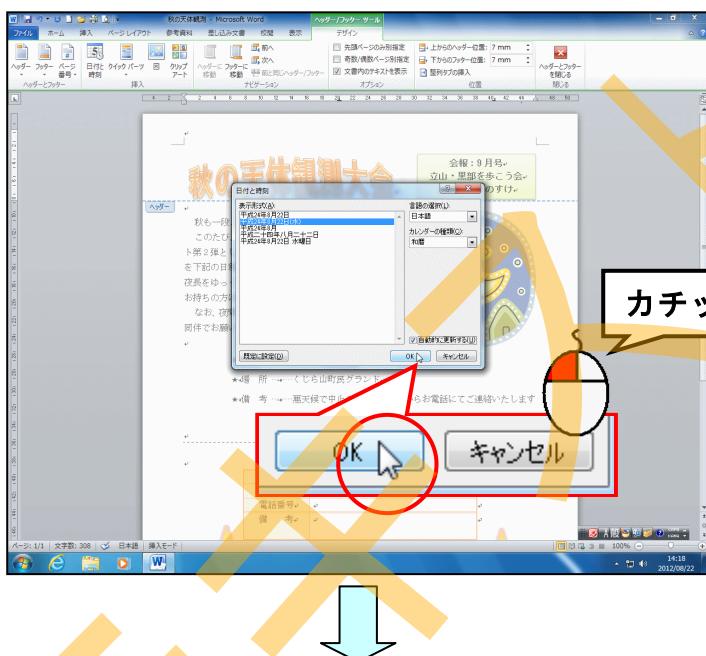
- チェックボックスをクリックすると、チェックボックスに  が表示されます。

注意!

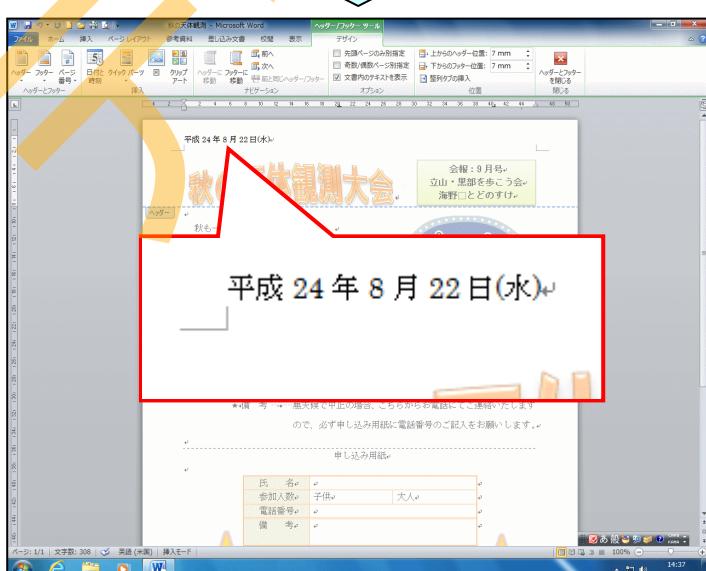
- すでにチェックボックスに  が表示されている場合は、この操作は不要です。

- 【自動的に更新する(U)】チェックボックスにチェックを入れると、同じ文書を次の日に開くと、日付が次の日に更新されて表示されます。

【日付と時刻】ダイアログボックスの右下に表示された【OK】ボタンにポイントし、そのままクリックします。

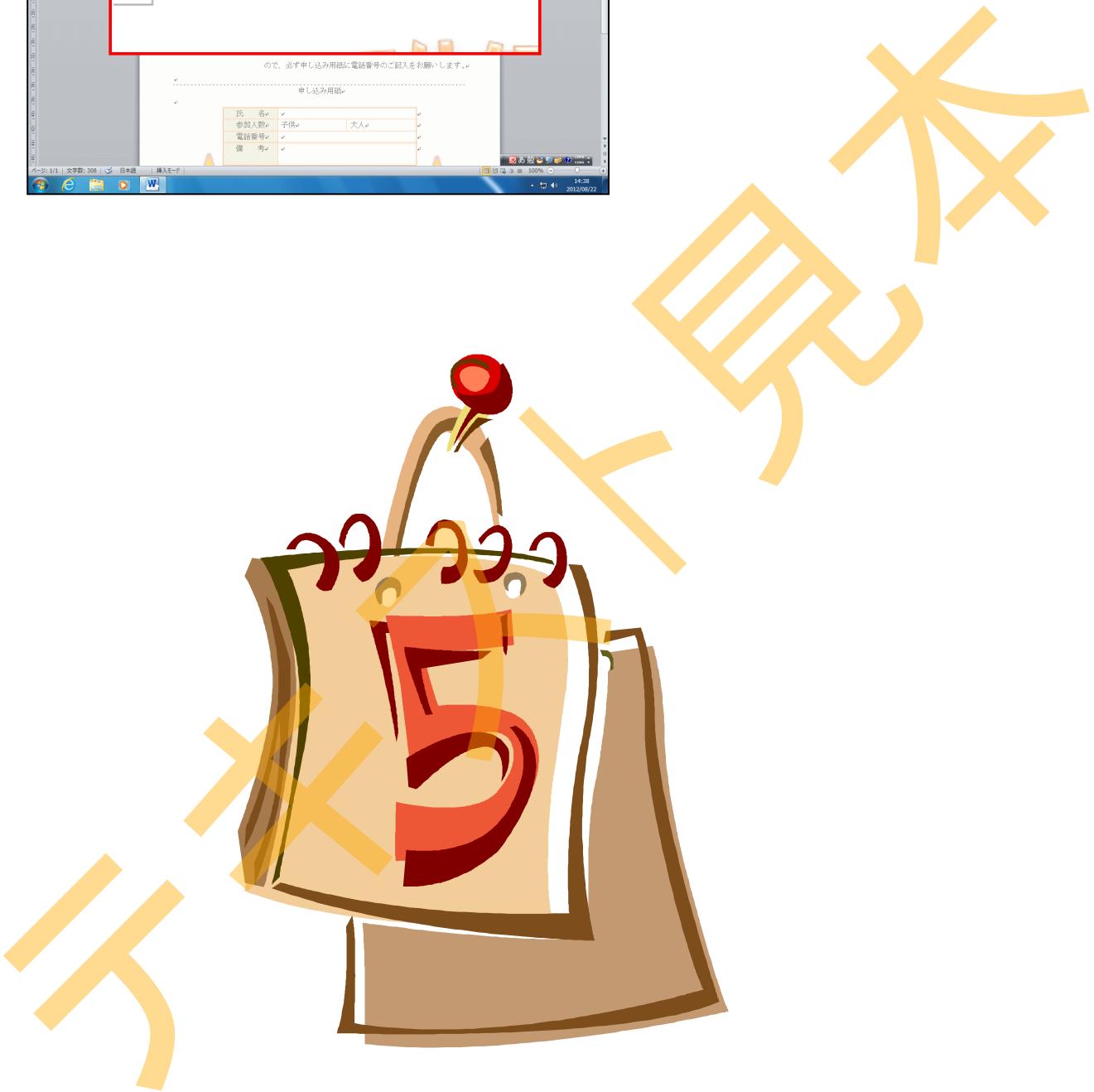
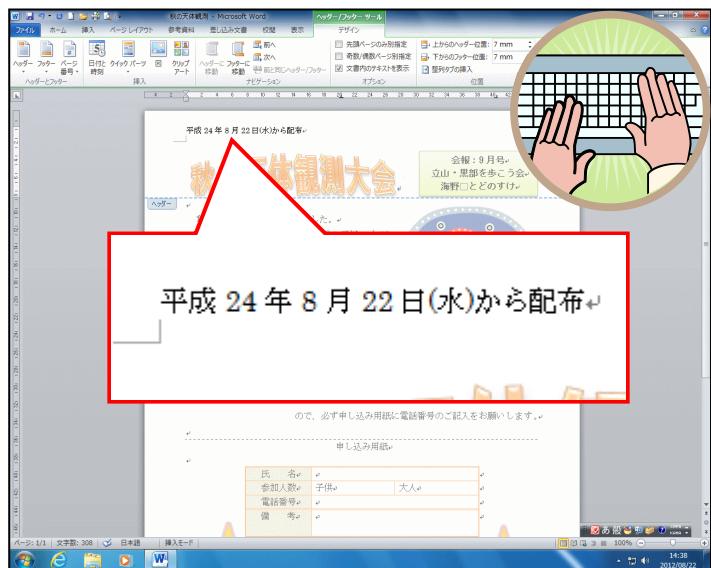


- 【OK】ボタンをクリックした時点で、【表示形式(A)】で選択した形式でパソコンの日付(システム日付)を表示します。



- パソコン内の時計に設定されている日付が表示されるため、みなさんは、左と違う日付が表示されているはずです。

表示された日付に続けて「から配布」と入力します。

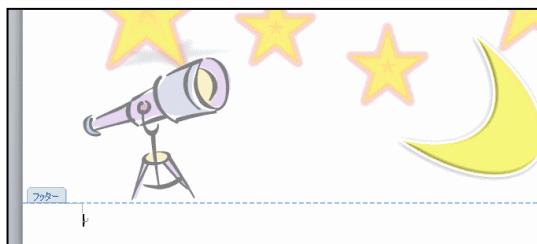


## ⑥ フッターにページ番号を挿入する

ヘッダー／フッターツールの【デザイン】タブを使って、フッター領域の中央にページ番号を設定してみましょう。

◆フッターにページ番号を挿入する方法をマスターしましょう。

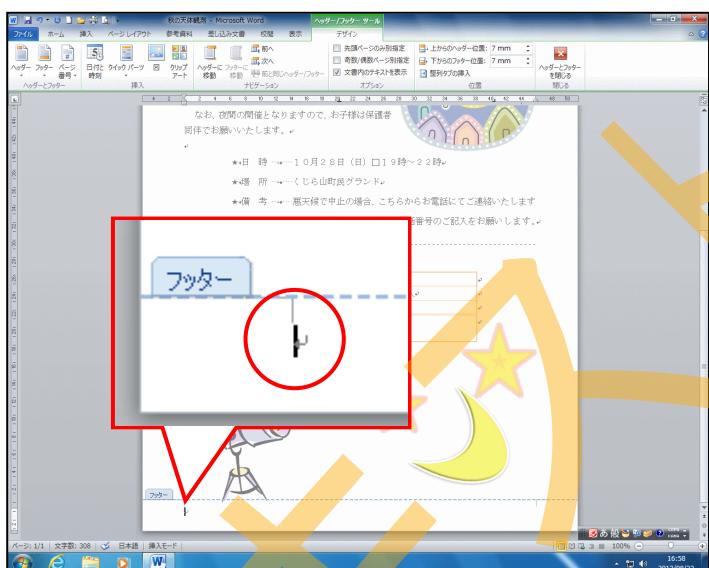
操作前



操作後

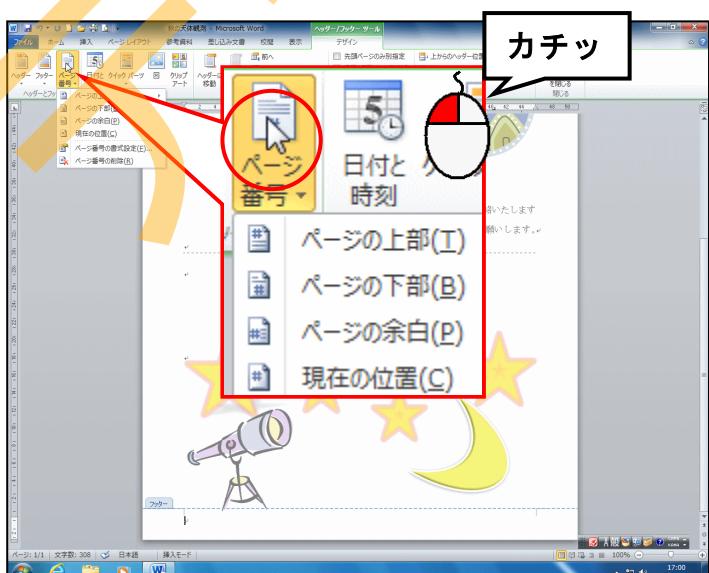


ヘッダーとフッターを切り替えて、フッターにカーソルを表示します。

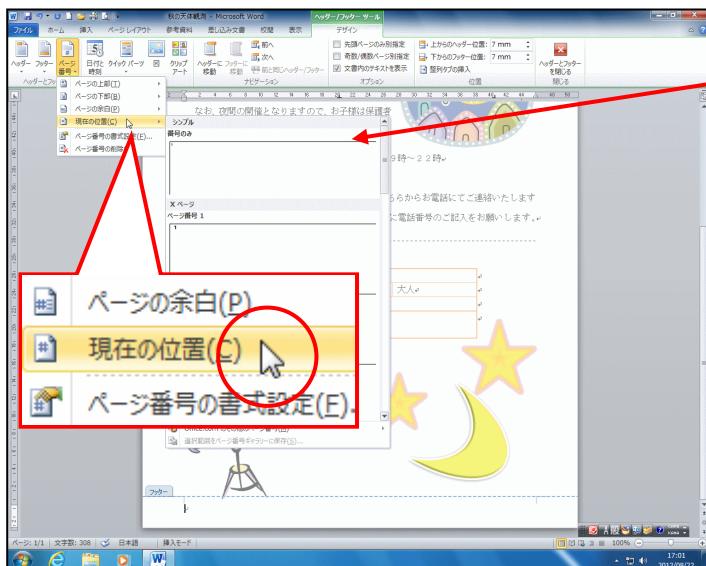


●フッターへの切り替え方法を忘れた方は、P112 ③ ヘッダーとフッターの切り替えを参照してください。

[ヘッダーとフッター] グループの [ページ番号の挿入] ボタンにポイントし、そのままクリックします。



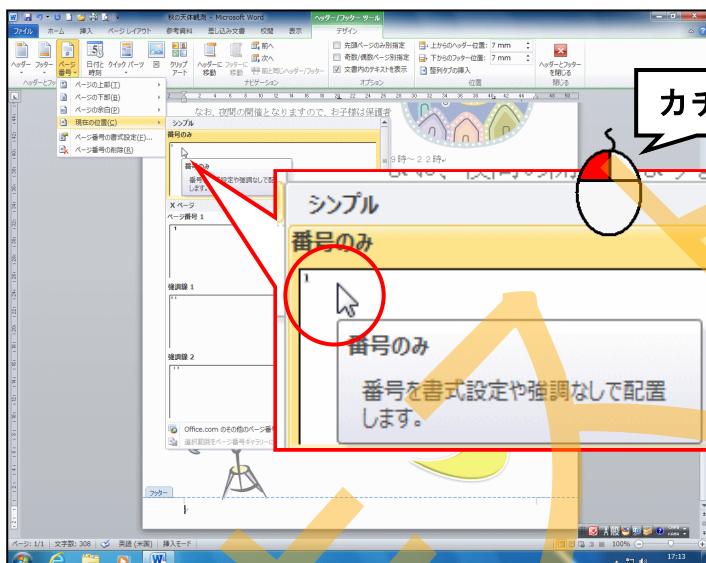
表示されたメニューの中から【現在の位置(C)】にポイントします。



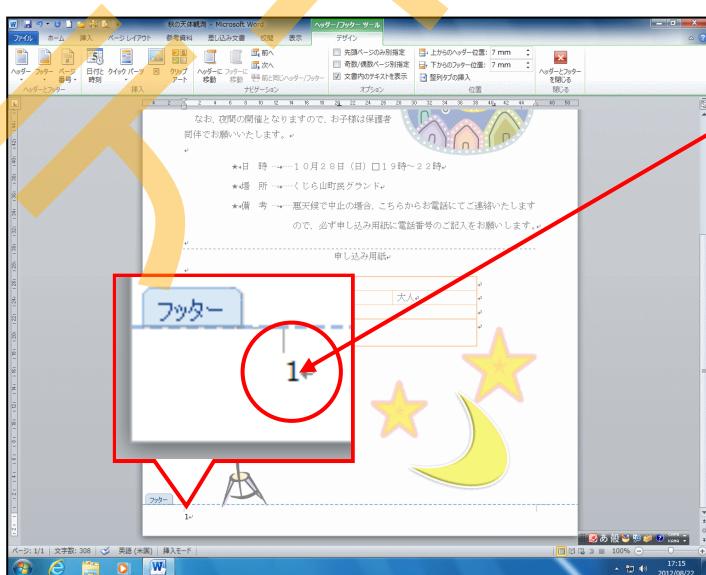
●【現在の位置(C)】にポイントすると、右側にサブメニューが表示されます。



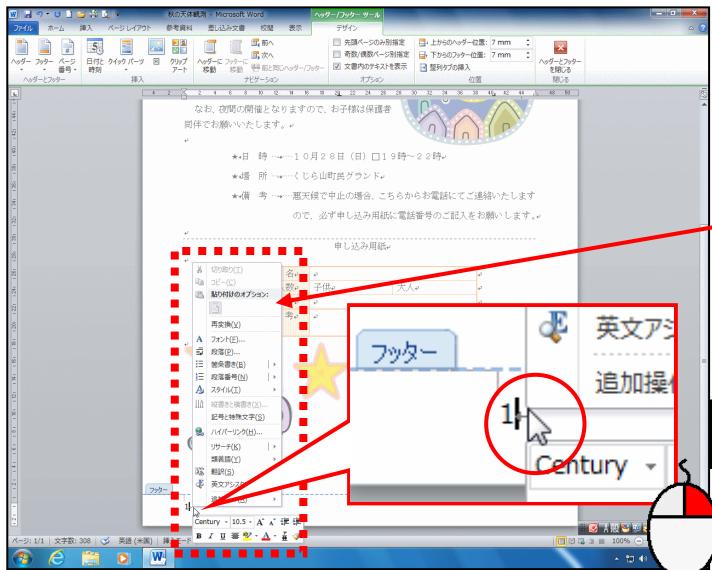
右側に表示されたサブメニューから「番号のみ」にポイントし、そのままクリックします。



●「番号のみ」をクリックすると、フッター領域の左側にページ番号が表示されます。

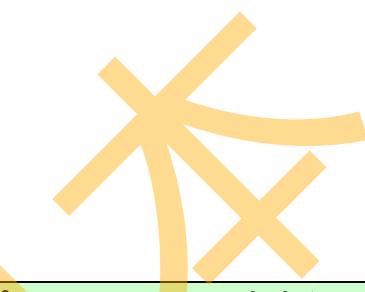


## フッター領域内で右クリックします。

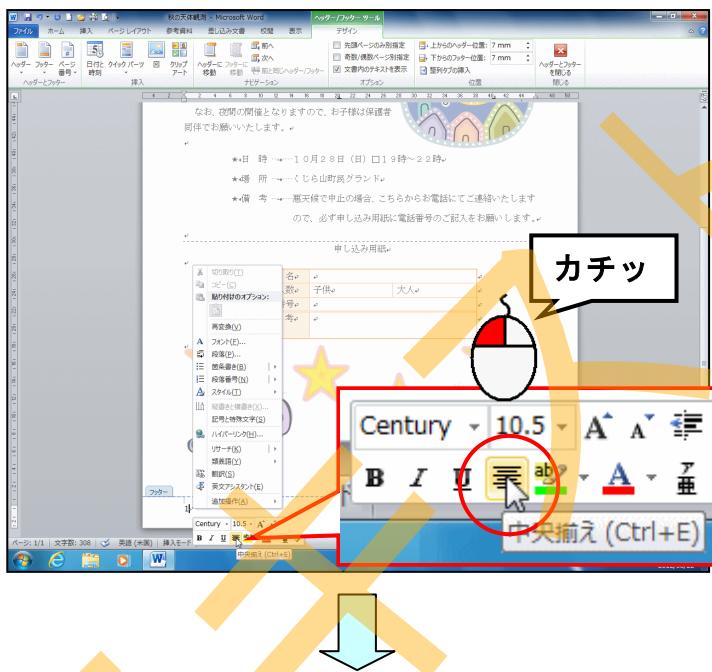


● ページ番号を中央に配置するため  
に、ミニツールバーを表示します。

● 右クリックすると、左のようにショ  
ートカットメニューとミニツール  
バーが表示され、マウスポインター  
の形が  の形になります。



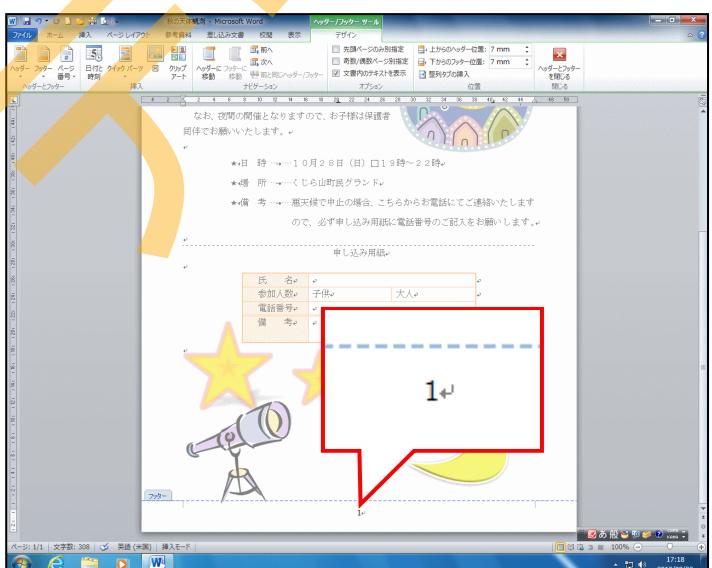
## 表示されたミニツールバーの中から [中央揃え] ボタンにポイントし、そのままクリ ックします。



● ミニツールバーの  [中央揃え]  
ボタンをクリックすると、表示され  
たページ番号が中央に配置されます。

● 中央揃えを設定後、ミニツールバーの  
外にマウスポインターを動かすと、ミ  
ニツールバーが非表示になります。

● [ホーム] タブの  [中央揃え]  
ボタンをクリックしても設定でき  
ます。

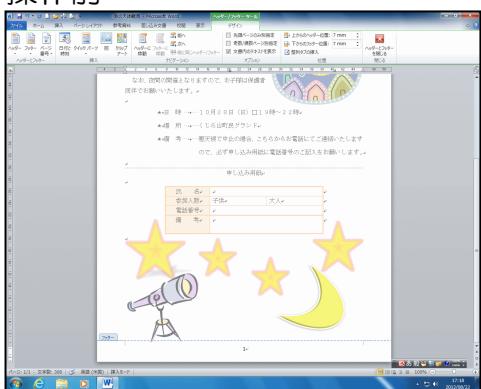


## ⑦ ヘッダーとフッターを閉じる

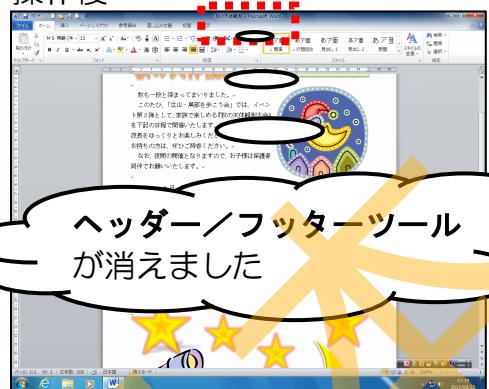
ヘッダーとフッターの設定が終了したところで、ヘッダーとフッターを閉じてみましょう。

◆ヘッダー／フッターフィールドを閉じる方法をマスターしましょう。

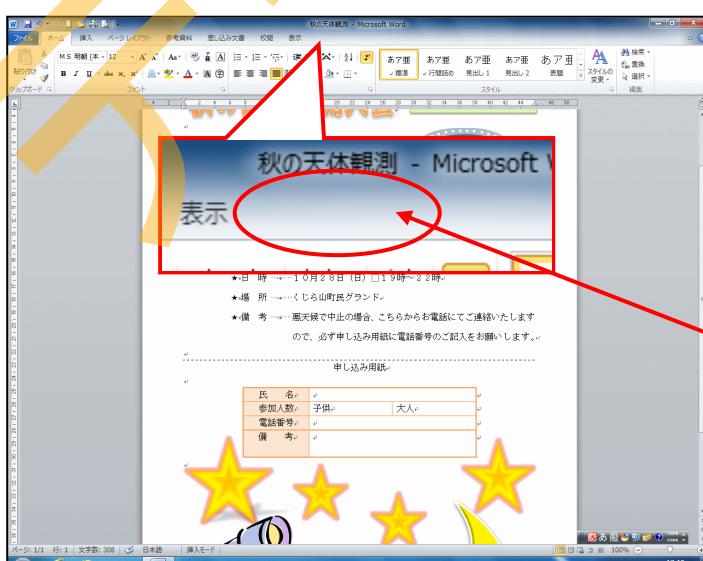
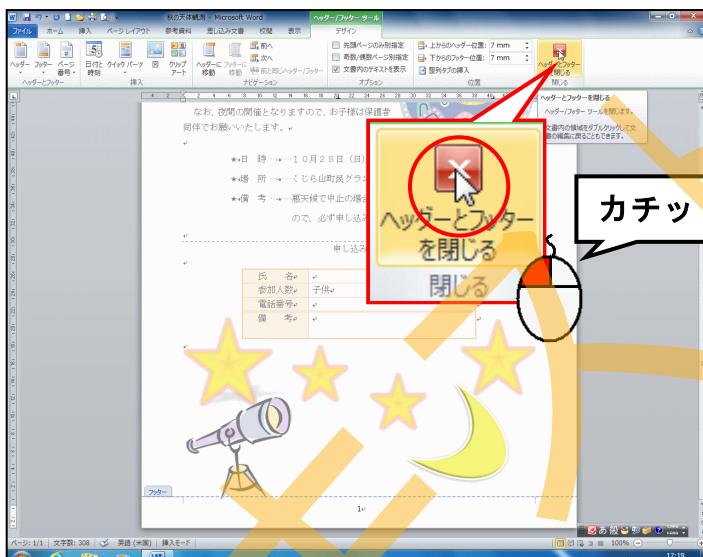
操作前



操作後



[閉じる] グループにある [ヘッダーとフッターを閉じる] ボタンにポイントし、そのままクリックします。



●ヘッダーとフッターを閉じると、本文の文字が黒に変わり編集可能な状態に戻ります。また、ヘッダーとフッター部分に入力された文字の色が薄いグレーに変わります。

●ヘッダーとフッターを閉じると、[表示] タブの右側に表示されていたヘッダー／フッターツールの [デザイン] タブが消えます。

## (2) 透かしの設定

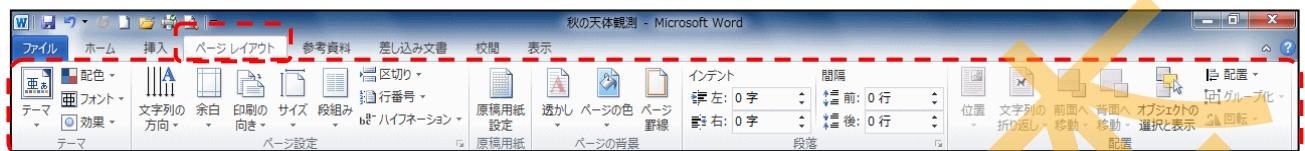
文書の本文の背景に文字や図を配置することができます。

このように本文の背景に挿入する文字や絵のことを「透かし」といいます。

「秋の天体観測」の文書の背景に「回覧」という文字の「透かし」を設定してみましょう。

「透かし」を設定するには、[ページ レイアウト] タブを使います。

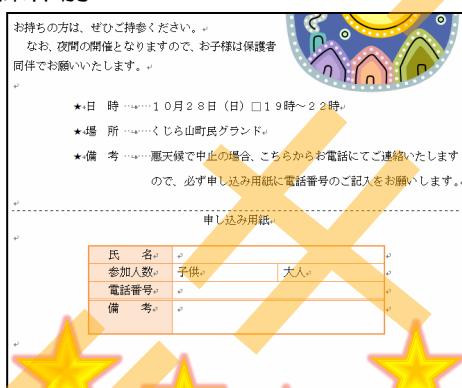
### ■ [ページ レイアウト] タブ



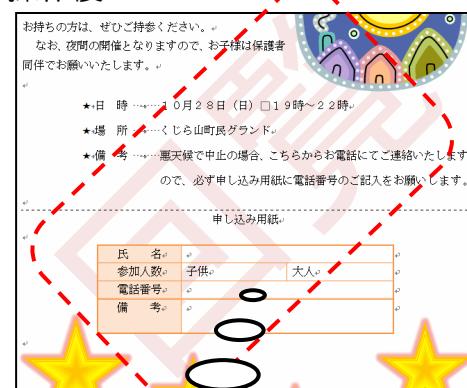
「透かし」って便利な機能があるんですね。  
ワードアートで作るより簡単そう♪

### ◆文書内に透かしを設定する方法をマスターしましょう。

#### 操作前

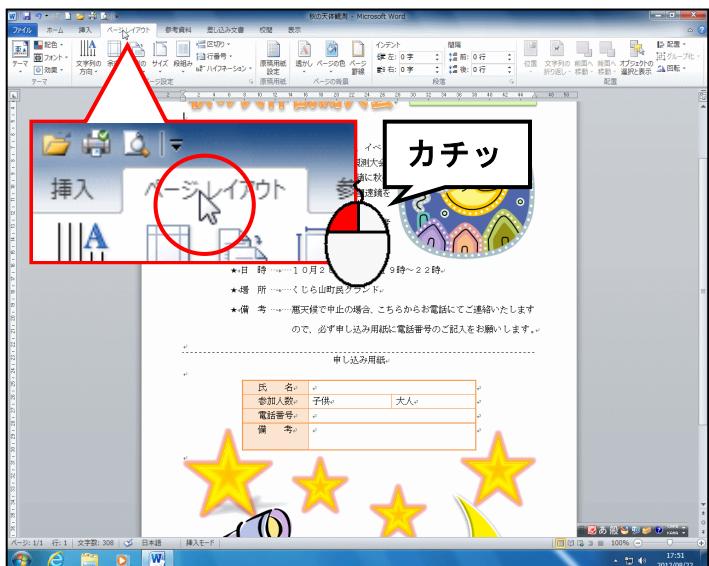


#### 操作後



透かしの文字が  
挿入されました

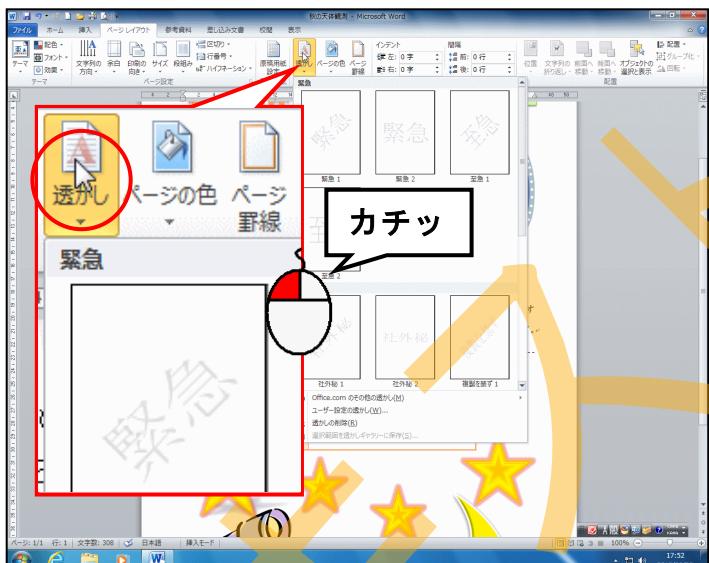
画面の左上にある [ページ レイアウト] タブにポイントし、そのままクリックします。



● [ページ レイアウト] タブをクリックすると、グループ、ボタンの内容が変わります。



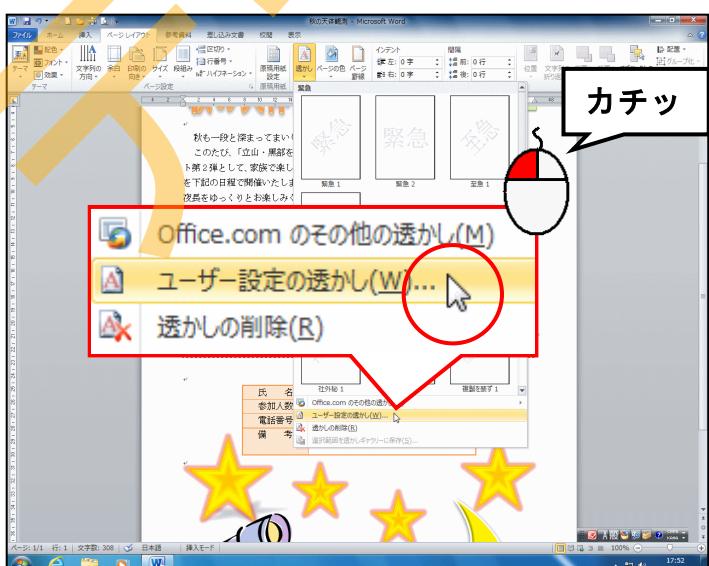
[ページの背景] グループにある [透かし] ボタンにポイントし、そのままクリックします。

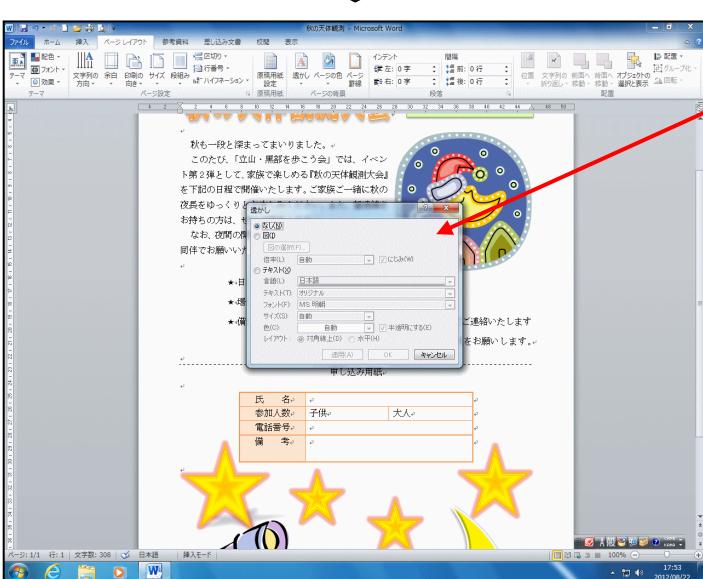


● リボンが表示されていない方は、P227 リボンの最小化を元に戻すを参照してください。  
(下記のような状態の方)



表示されたメニューの中から [ユーザー設定の透かし(W)...] にポイントし、そのままクリックします。

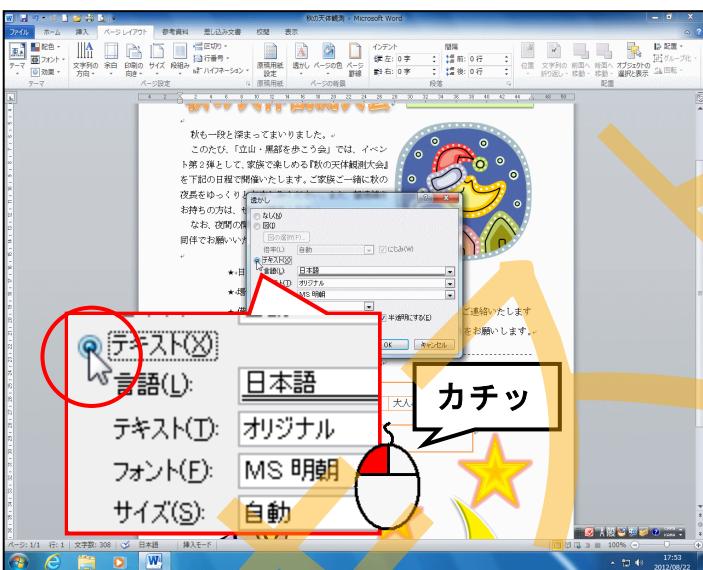




● [ユーザー設定の透かし(W)...] をクリックすると、左のように [透かし] ダイアログボックスが表示されますが、「なし」に設定されているため、すべてがグレー表示されています。

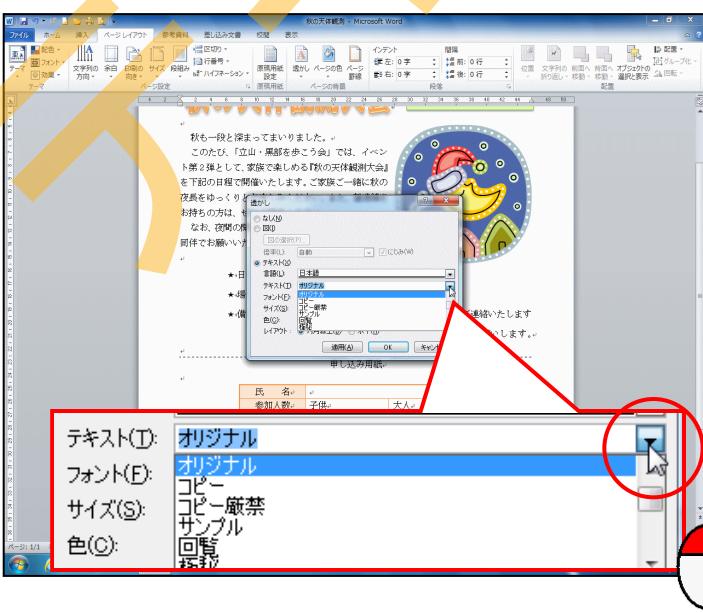


[透かし] ダイアログボックスの [テキスト(X)] にポイントし、そのままクリックします。



● [テキスト(X)] をクリックした時点で、[言語(L):]、[テキスト(T):]、[フォント(F):]、[サイズ(S):]、[色(C):]、[レイアウト:]などの選択が可能となります。

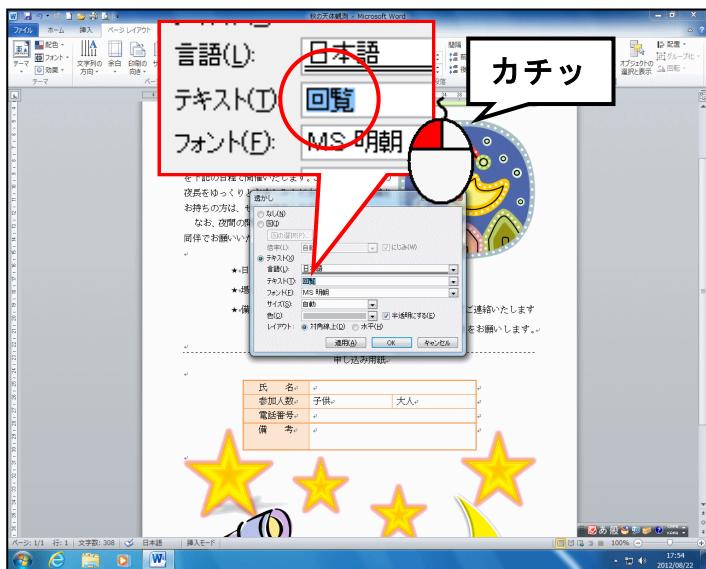
[テキスト(T):] ボックスの右にある ▾ にポイントし、そのままクリックします。



● [テキスト(T):] ボックスの中をクリックしてもリストは表示されないため、必ず ▾ をクリックしてください。

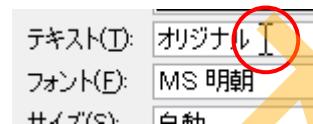
● ▾ をクリックすると、テキストの一覧が表示されて、選択できるようになります。

## 表示された一覧から「回覧」にポイントし、そのままクリックします。

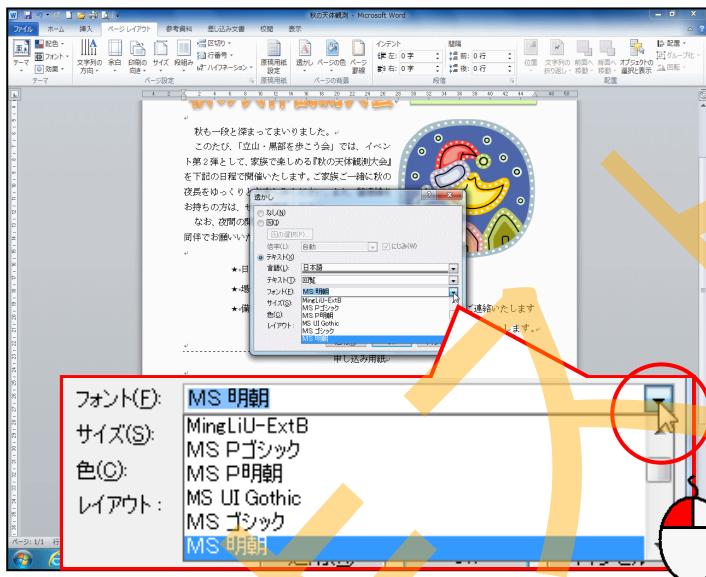


余裕があれば読んでね

- 表示された一覧に該当の文字がない場合は、[テキスト (T) : ] ボックス内をクリックして、任意の文字を入力することができます。  
マウスポインターが I の状態でクリックすると、カーソルが表示されます。

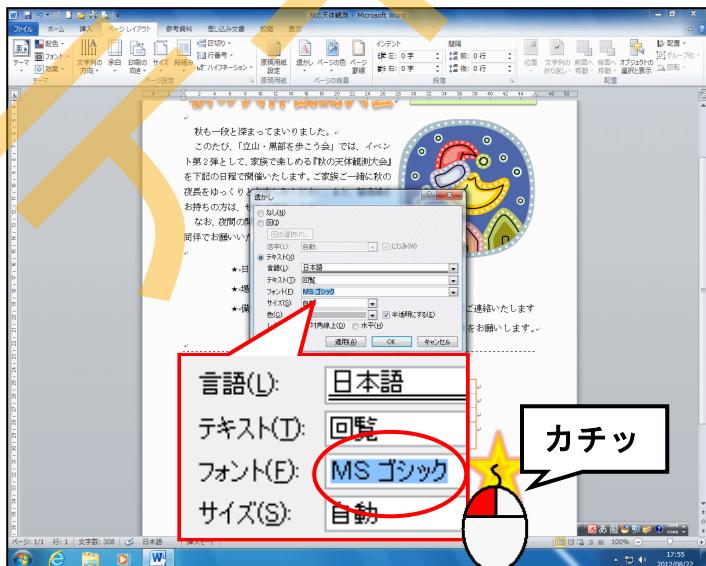


## [フォント (F) : ] ボックスの □ にポイントし、そのままクリックします。

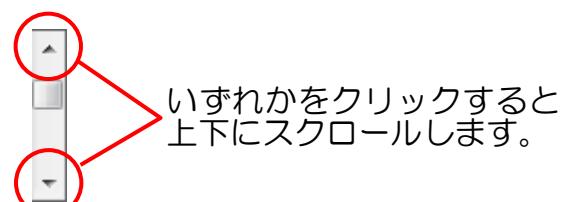


- □ をクリックすると、フォントの一覧が表示されます。

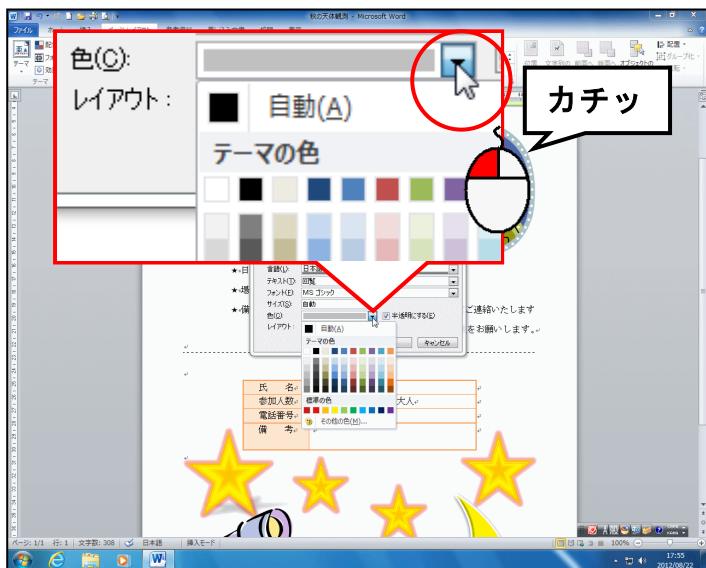
## 表示された書体の中から「MS ゴシック」にポイントし、そのままクリックします。



- □ をクリックしても目的のフォントが表示されない場合は、右端にある次のようなスクロールバーでスクロールします。



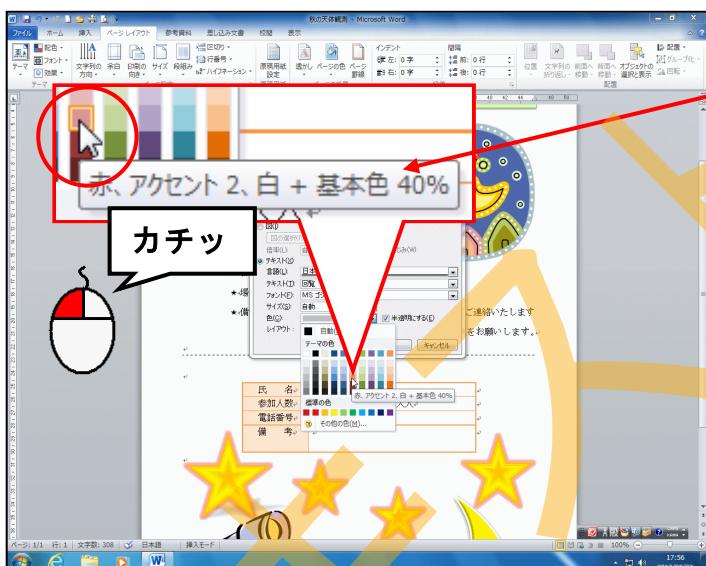
[色(C):] ボックスの □ にポイントし、そのままクリックします。



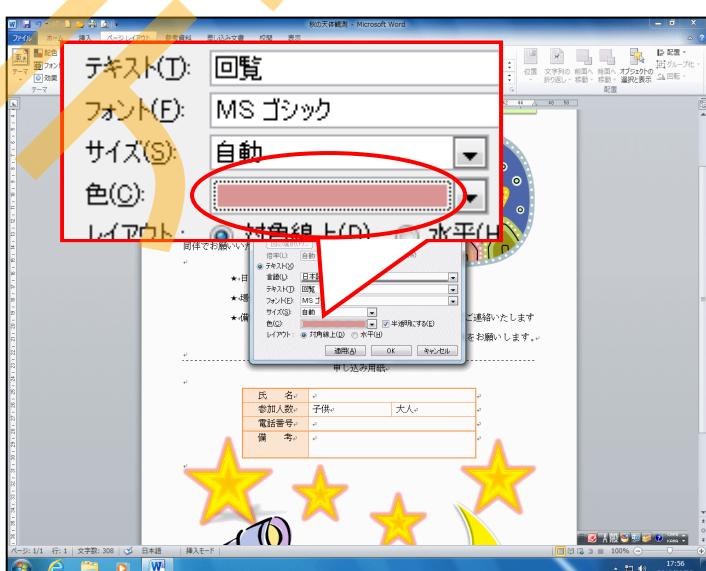
● □ をクリックすると、色の一覧が表示されます。



表示された色の一覧から「赤、アクセント 2、白+基本色 40%」にポイントし、そのままクリックします。

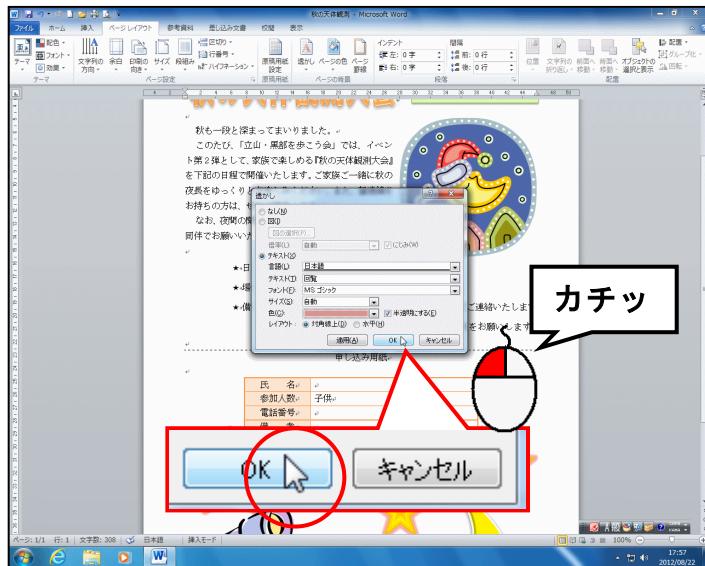


● 目的の色にポイントすると、何色かがポップヒントとして表示されます。

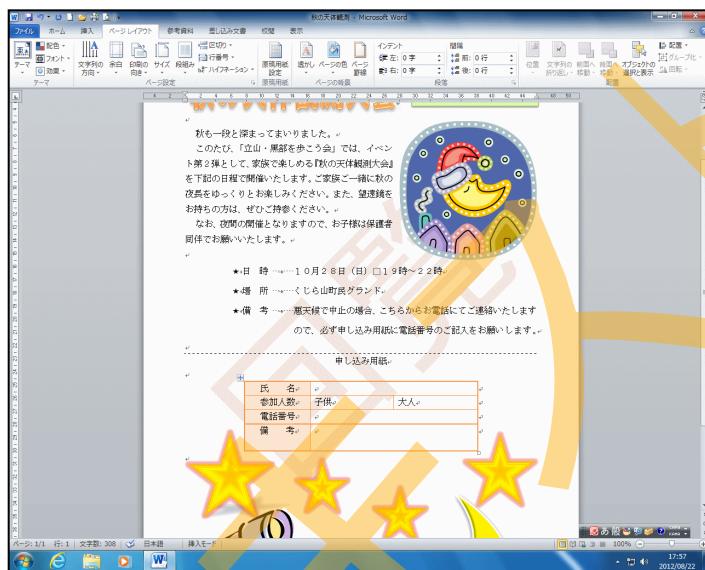
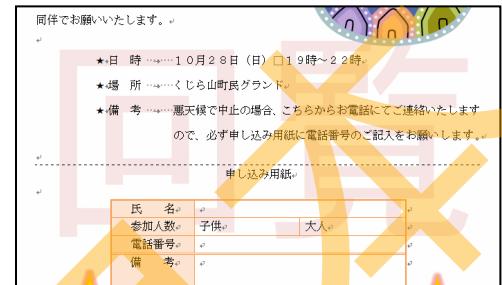
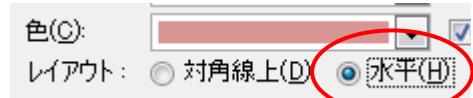


● 色の一覧から色をクリックすると、[色(C):] ボックスが選択した色に変わります。

【透かし】ダイアログボックスの右下にある【OK】ボタンにポイントし、そのままクリックします。



●「回覧」という文字を水平に配置したい場合は、【レイアウト:】で【水平(H)】をクリックします。



●【OK】ボタンをクリックすると、文書の本文の背景に「回覧」という文字が表示されます。

透かしについての補足説明

P217

余裕があれば読んでね

文書に設定した「透かし」の正体は、「ワードアート」です。

透かしを設定せずにワードアートでも同じように設定できますが、複数ページの文書に挿入する場合は、すべてのページに挿入しなければいけません。透かしで設定すると一度の操作ですべてのページに挿入することができます。

### (3) 書式のコピー・貼り付け

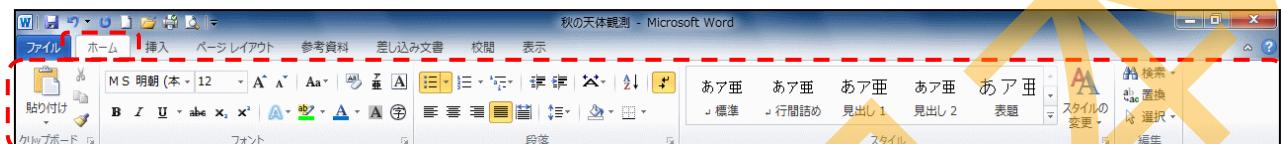
文字や段落に設定した書式は、コピーすることができます。

書式のコピーを行うと、入力した文字は変更されず、その文字や段落に設定された書式のみがコピーされるため同じ設定の場合、最初から設定するより便利です。

「秋の天体観測」の箇条書きした文字の一部に「太字」と文字の色を「青」に設定して、書式のコピー・貼り付けを行ってみましょう。

「書式のコピー・貼り付け」を行うには、[ホーム] タブを使います。

## ■ [ホーム] タブ



◆書式のコピー・貼り付け方法をマスターしましょう。

### 操作前

- ★日 時 …… 10月28日（日）□
- ★場 所 …… くじら山町民グランド
- ★備 考 …… 悪天候で中止の場合、  
ので、必ず申し込み用

## 操作後

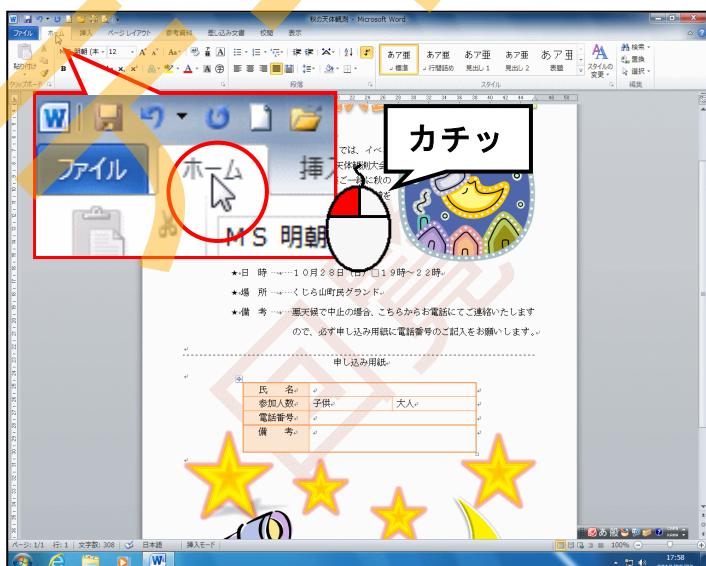
★日 時 → 10月28日（日）□

★場 所 → くじら山町民グランド

★備 考 → 悪天候で中止の場合、  
ので、必ず申し込み用

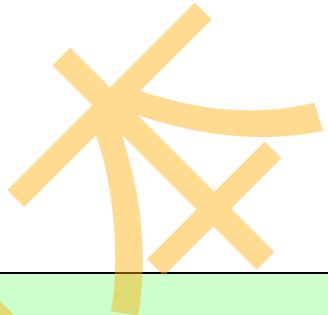
書式のコピーを利用して文字を  
太字の青色に設定しました

画面の左上にある「ホーム」タブにポイントし、そのままクリックします。

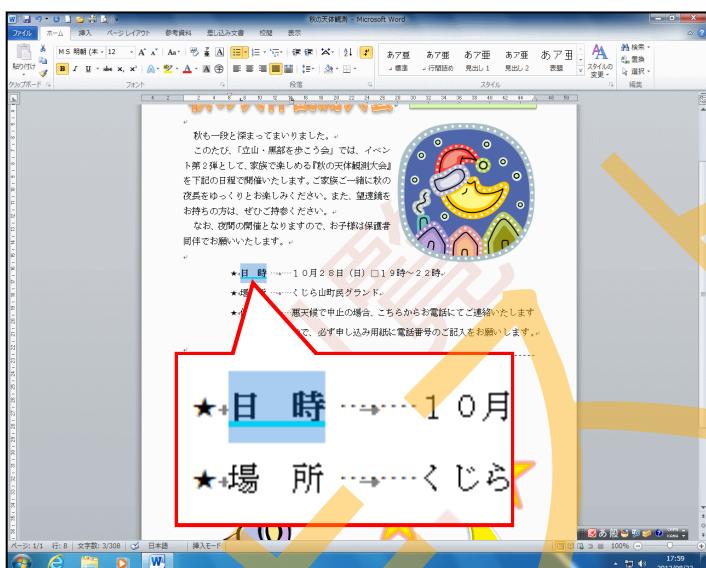


- [ホーム] タブをクリックすると、グループ、ボタンの内容が変わります。

## 箇条書きした段落の中から「日時」という文字を選択します。



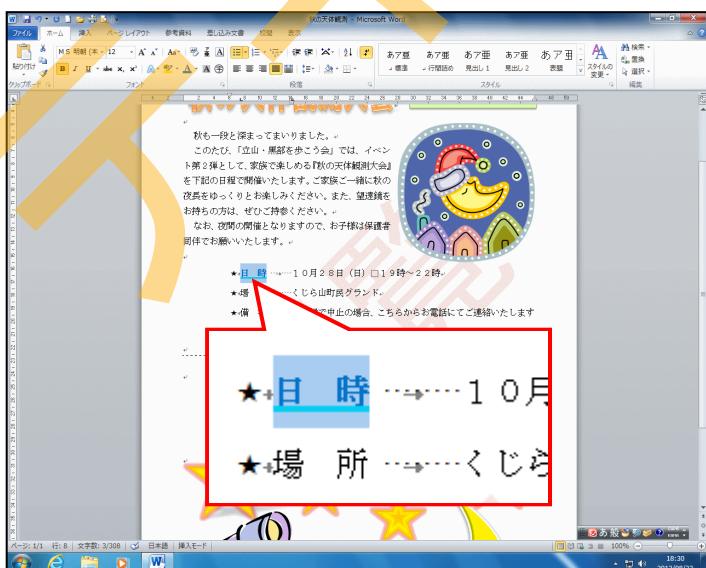
## 選択した文字に対して「太字」を設定します。



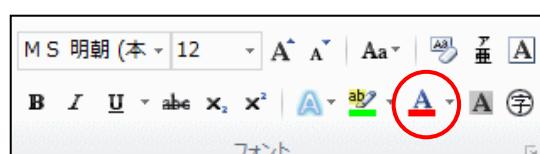
●太字に設定するには、[フォント]グループにある **B** [太字] ボタンをクリックします。



## 選択した文字の色を「青」に変更します。



●文字の色を変更するには、[フォント]グループにある **A** [フォントの色] ボタンの右の▼をクリックし、表示された一覧から変更します。



「日時」を選択したままの状態で [クリップボード] グループの [書式のコピー／貼り付け] ボタンにポイントし、そのままダブルクリックします。



余裕があれば読んでね

●書式のコピーを1回だけ行う場合は、[書式のコピー／貼り付け]ボタンをクリックします。  
書式のコピーを2回以上続けて行う場合は、[書式のコピー／貼り付け]ボタンをダブルクリックします。

「日時」の下にある「場所」の先頭にポイントします。

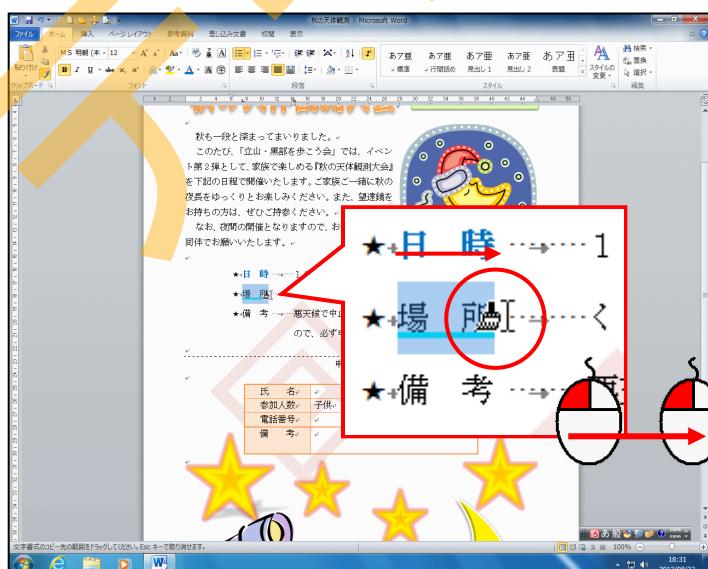


注意!

●「場所」にポイントする時に、マウスポインターが の状態になっているか確認してください。



そのまま「場所」をドラッグします。



スー

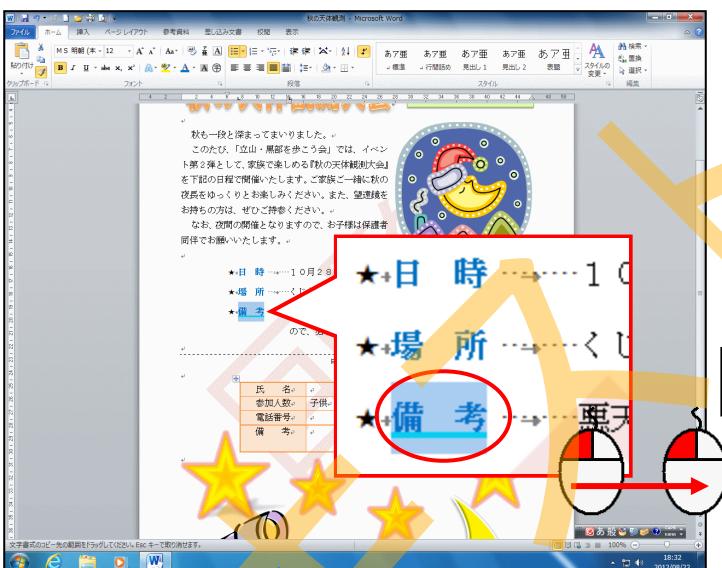


- ドラッグした文字が「日時」と同じ書式（太字、青字）に変わります。ドラッグした後も、マウスポインターの形は のままで。



- [書式のコピー／貼り付け] ボタンをダブルクリックせずに、クリックした状態でドラッグするとマウスポインターは に戻ります。この場合は、書式のコピーは1回しかできません。

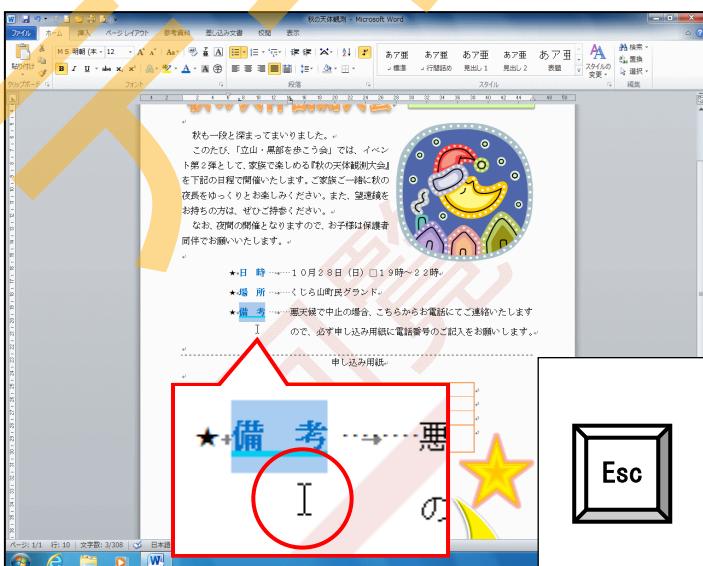
同様にして「備考」もドラッグします。



- ドラッグした時点で、「備考」という文字が太字、青字に変わります。

スー

キーボードの左上にある [Esc] キーを押します。



- [Esc] キーを押すという操作は、「これで書式のコピーが終りました」とパソコンに教えてあげるための操作です。これでマウスポインターが の状態に戻ります。

- [Esc] キーを押す代わりに、 [書式のコピー／貼り付け] ボタンをクリックしても、マウスポインターを に戻すことができます。

## (4) 図の書式設定

挿入した図を選択した状態で図ツールの【書式】タブの【調整】グループを利用すると、コントラスト、明るさ、色の変更などの書式を変更することができます。

### ■ 図ツール【書式】タブ



「秋の天体観測」の文書に挿入した夜空のイラストに対して、ウォッシュアウトを設定してみましょう。

ウォッシュアウトとは、クリップアートや写真などの図を文書に挿入した場合に、見た目の印象をソフトにするために、図の色を半透明にすることをいいます。

### ◆クリップアートにウォッシュアウトを設定する方法をマスターしましょう。

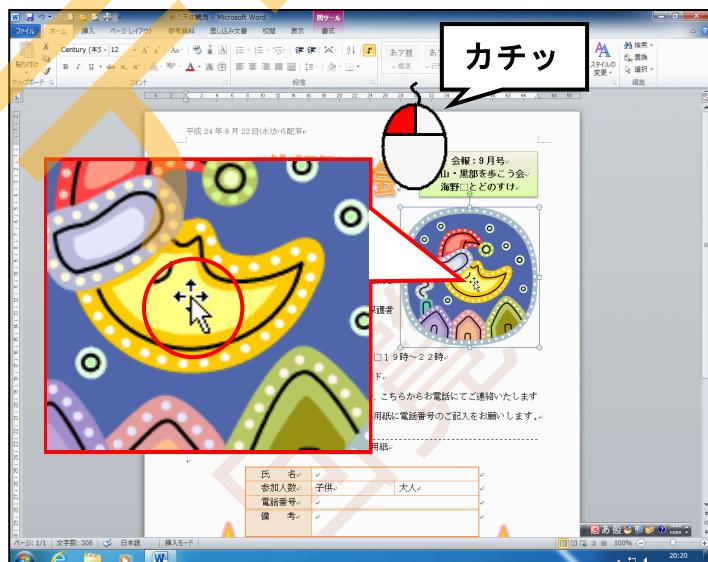
操作前



操作後



月のイラストにポイントし、マウスポインターが の状態でそのままクリックします。



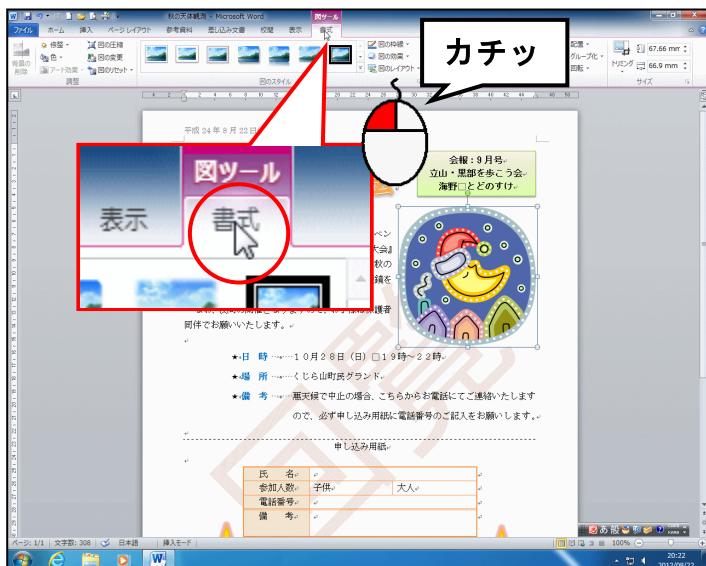
●イラストをクリックすると、イラストの周りに や (サイズ変更ハンドル) が表示されます。

**注意!**

●イラストをクリックすると、[表示] タブの右に図ツールの【書式】タブが表示されます。

図ツールの【書式】タブはイラストを選択したときだけ表示されるので、選択を解除すると図ツールの【書式】タブは消えます。

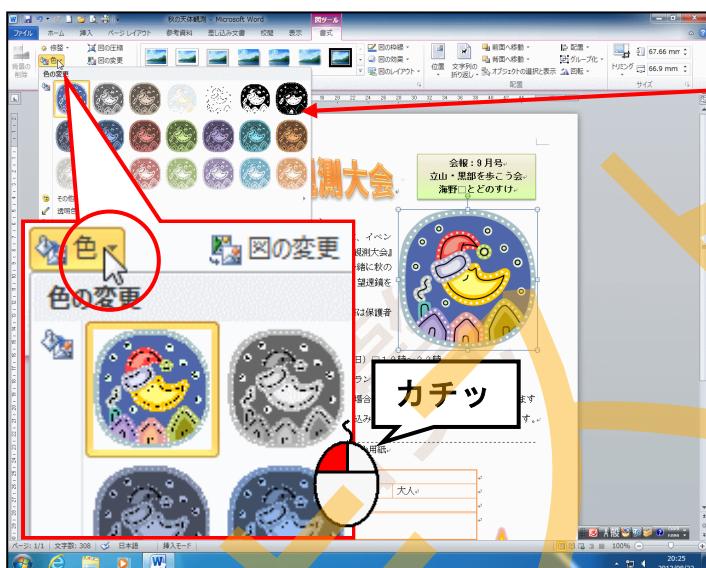
図ツールの【書式】タブにポイントし、そのままクリックします。



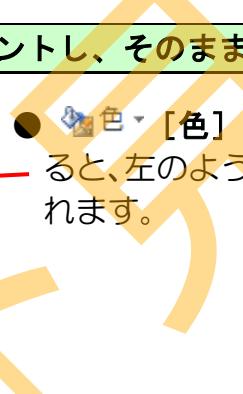
● [書式] タブをクリックすると、グループ、ボタンの内容が変わります。



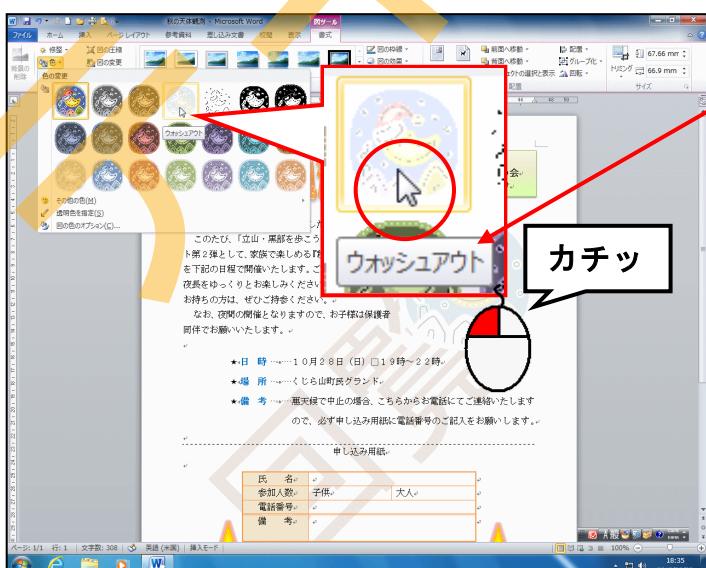
[調整] グループ内の [色] ボタンにポイントし、そのままクリックします。



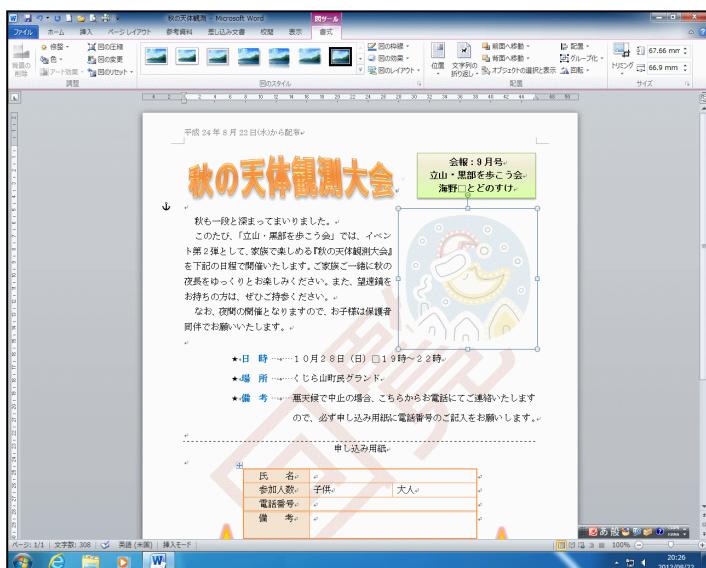
● [色] ボタンをクリックすると、左のように色の一覧が表示されます。



表示された色の一覧の中から「ウォッシュアウト」にポイントし、そのままクリックします。



● 目的の色にポイントすると、何色かがポップヒントとして表示されます。



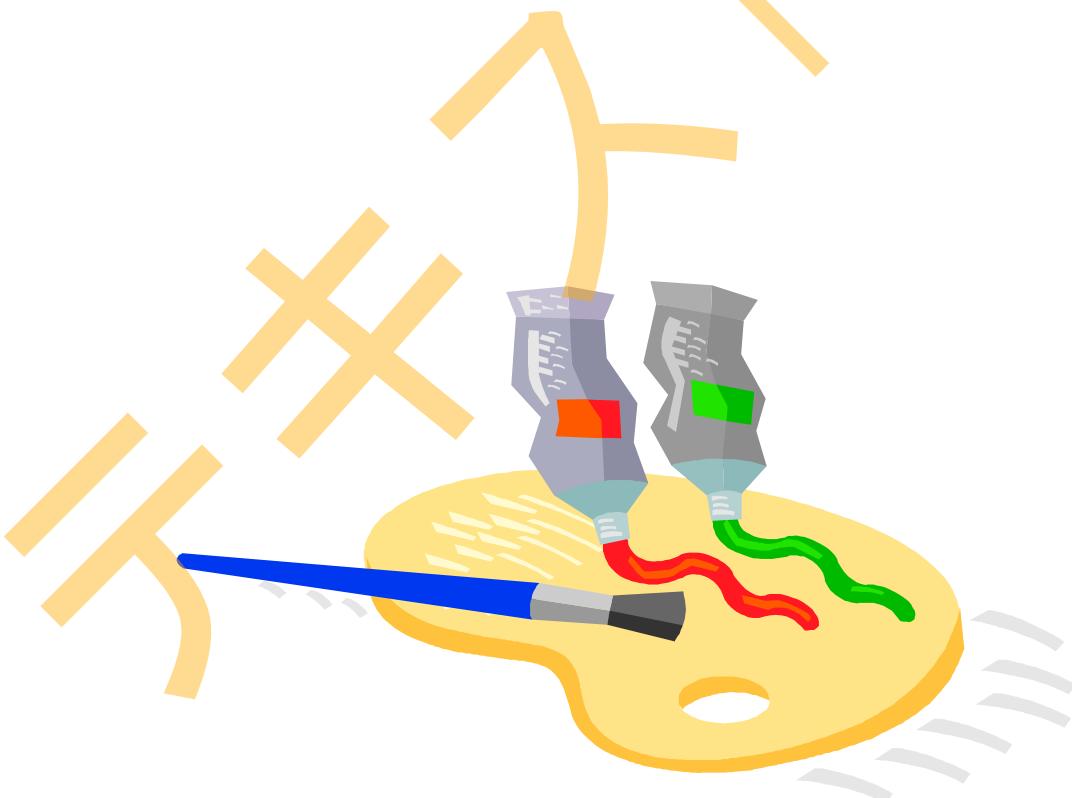
[明るさ]と[コントラスト] P218

本

用

「秋の天体観測」を上書き保存し、ワードを終了しましょう。

☆☆ここまでくれば、練習問題8で理解度を試してください。☆☆





## (1) 復習問題

### ① ページ設定

新しい文書を開き、下のようなページ設定をしましょう。

●用紙サイズ： A4用紙

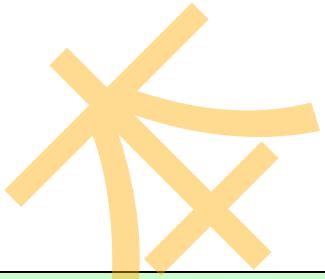
●文字方向： 横書き

●印刷の向き： 縦

●余白

上：15mm 下：15mm

左：10mm 右：10mm



### ② 文字入力

先ほどページ設定した文書に次の設定で下のように文字を入力しましょう。

●フォント： MS明朝

●フォントサイズ： 10.5pt

白銀の冬から大地が芽吹く春へ、新緑と真っ青な空がまぶしい夏から山全体が燃えるような真紅の秋まで、神々が宿るという神祕の立山は、どの季節に行っても想像をはるかに超える景色で、訪れる人を魅了します。+  
今回の会報は、立山と黒部を十分味わって頂きたいので、立山・黒部の魅力をじっくり紹介する特別版です。+

### ③ 段落罫線を引く

最終行の下に3行追加し、追加した2行目の段落の上に「上罫線」の段落罫線を引いてください。罫線の太さは「1.5pt」とします。

白銀の冬から大地が芽吹く春へ、新緑と真っ青な空がまぶしい夏から山全体が燃えるような真紅の秋まで、神々が宿るという神祕の立山は、どの季節に行っても想像をはるかに超える景色で、訪れる人を魅了します。+  
今回の会報は、立山と黒部を十分味わって頂きたいので、立山・黒部の魅力をじっくり紹介する特別版です。+

---

ここまでできたら、リムーバブルディスクに「会報特別号」という名前で保存しましょう。

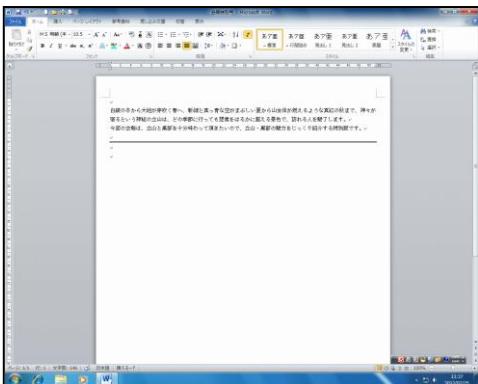
## (2) 画像の挿入

### ① 写真の画像を挿入する

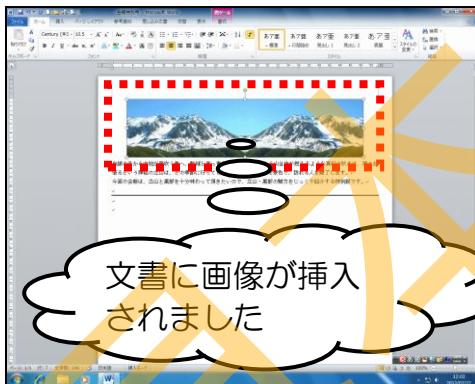
ここでは、今まで習ったクリップアートのかわりにドキュメントにある写真の画像を挿入してみましょう。

◆写真の画像（図）を挿入する方法をマスターしましょう。

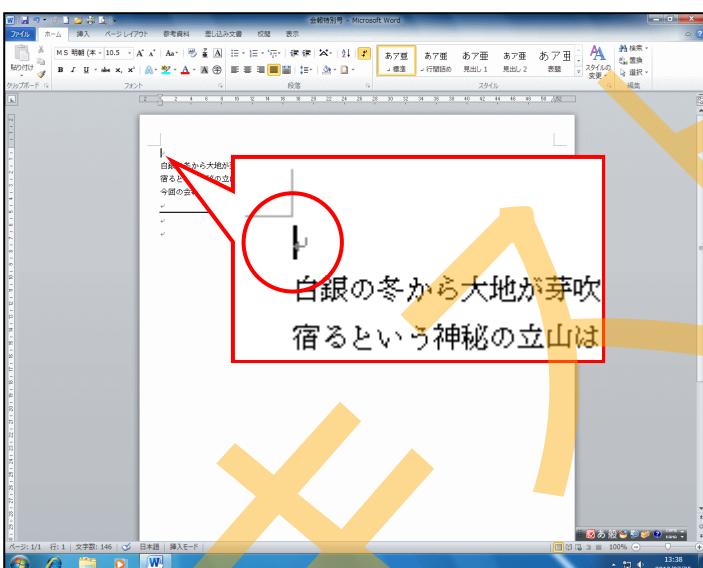
操作前



操作後

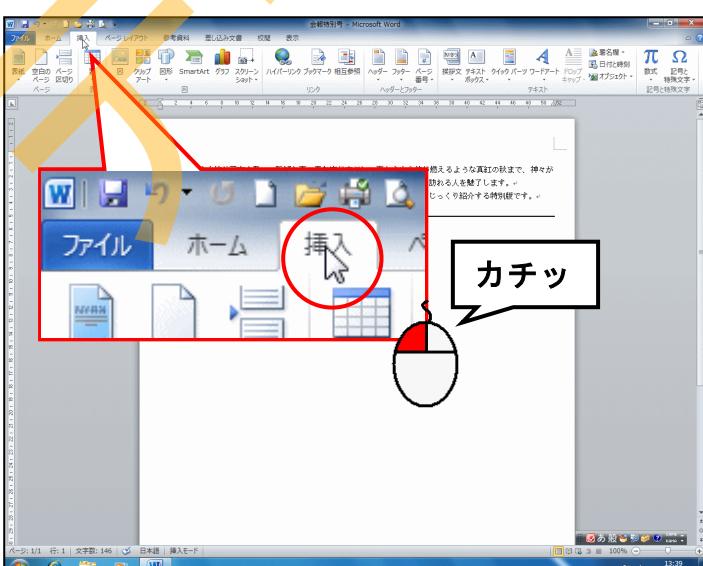


文書の先頭行にカーソルを移動します。



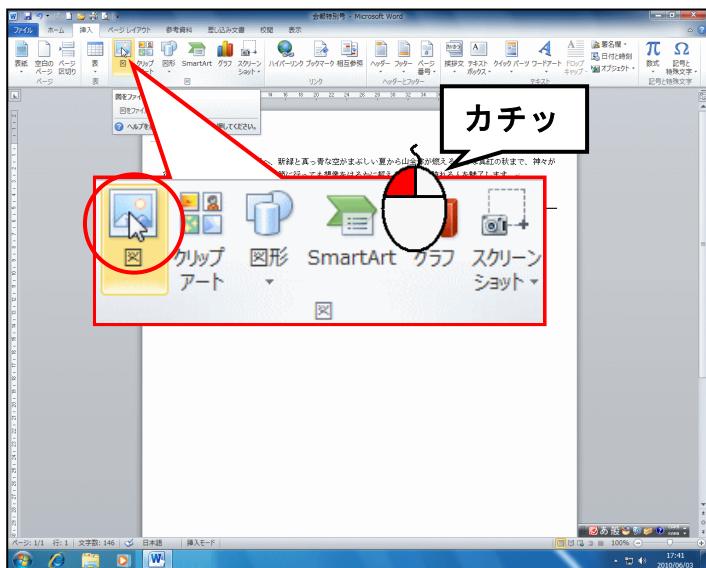
●これから写真を挿入する場所を指定します。

[挿入] タブにポイントし、そのままクリックします。



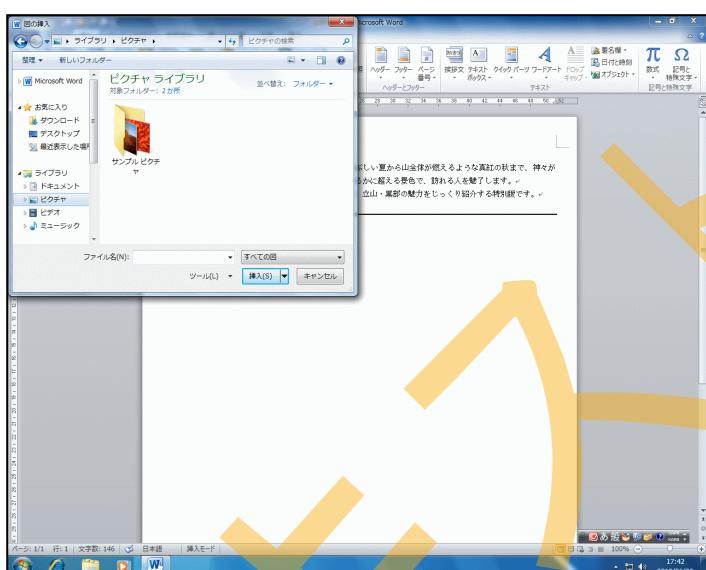
● [挿入] タブをクリックすると、グループ、ボタンの内容が変わります。

[図] グループ内の [図] [図] ボタンにポイントし、そのままクリックします。

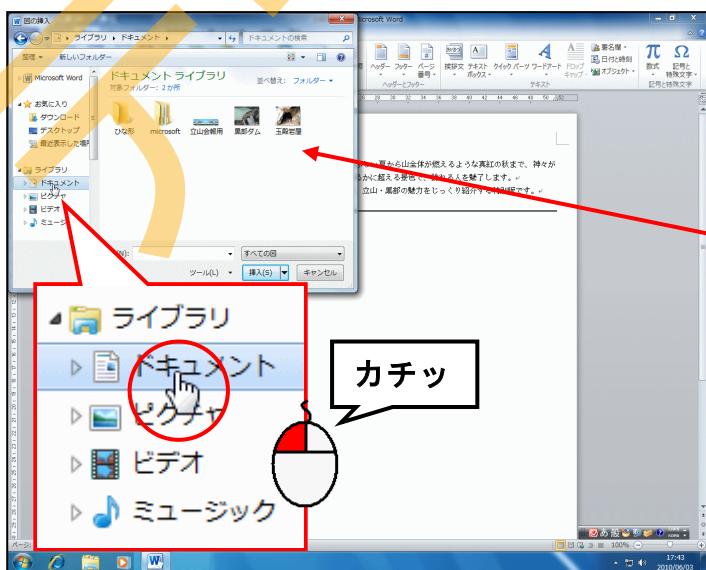


●リボンが表示されていない方は、  
P227 リボンの最小化を元に戻すを  
参照してください。  
(下記のような状態の方)

【図】ボタンをクリックすると、  
左のように挿入する写真のある場所  
を指定するための【図の挿入】ダイ  
アログボックスが表示されます。



[図の挿入] ダイアログボックスの左側の一覧から「ドキュメント」にポイントし、そのままクリックします。

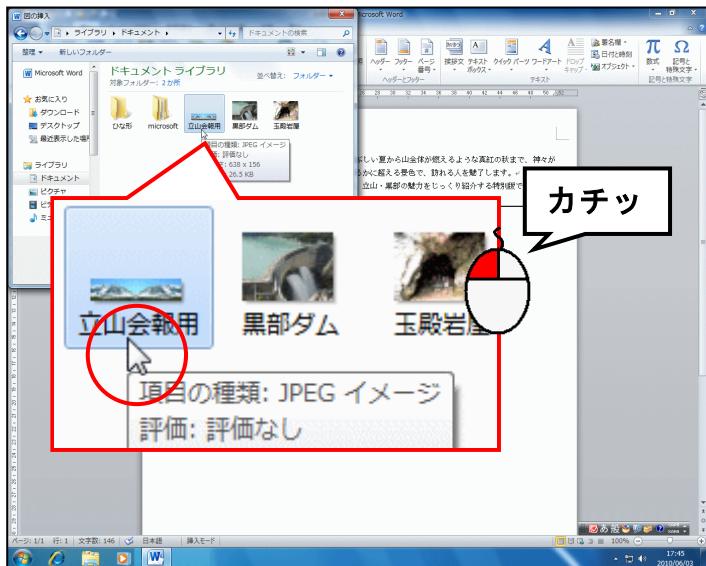


●目的の写真が保存されている場所  
(ここでは「ドキュメント」)を指定  
します。

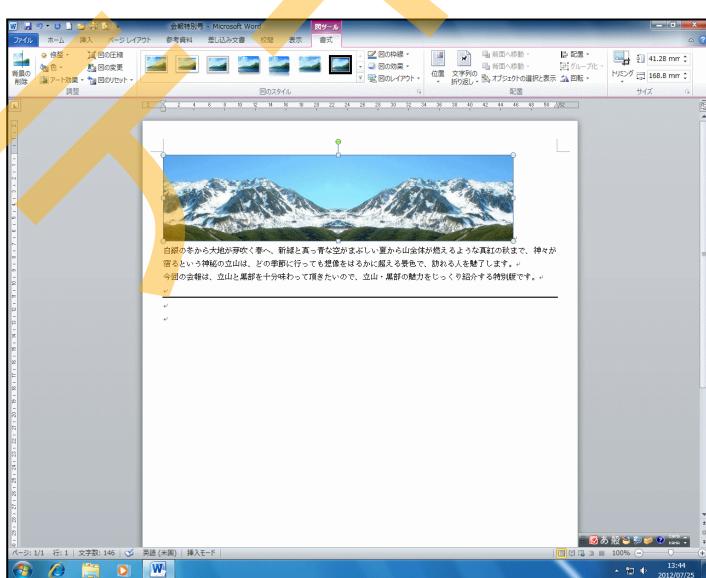
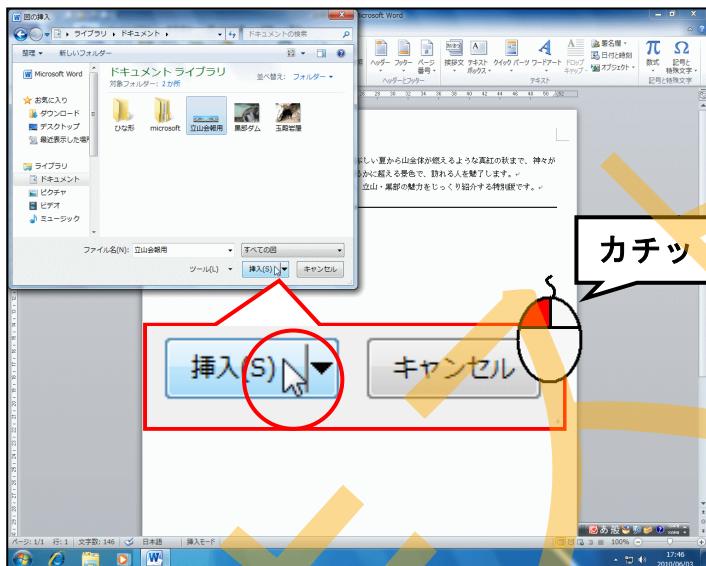
●「ドキュメント」をクリックすると  
左のようにドキュメント内の一覧が  
表示されます。

●お使いのパソコンによって、[図の  
挿入] ダイアログボックス内のフ  
ァイルやフォルダの表示方法が左  
の図と違う場合があります。

表示された一覧の中から「立山会報用」にポイントし、そのままクリックします。



右下に表示された [挿入(S)] ボタンにポイントし、そのままクリックします。



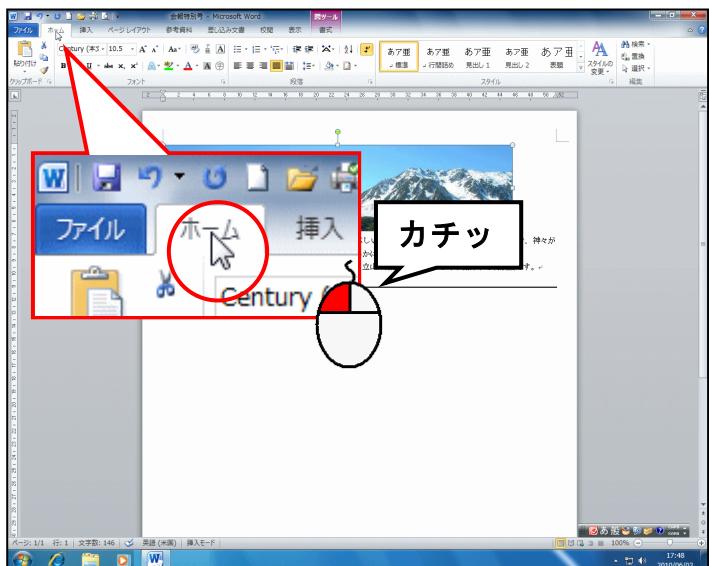
● [挿入(S)] ボタンをクリックすると、左のように文書に写真の画像が挿入されます。

● 写真の画像は、クリップアートと同じように文字列の折り返しなどの設定をすることができます。

画像の挿入についての補足説明

P219

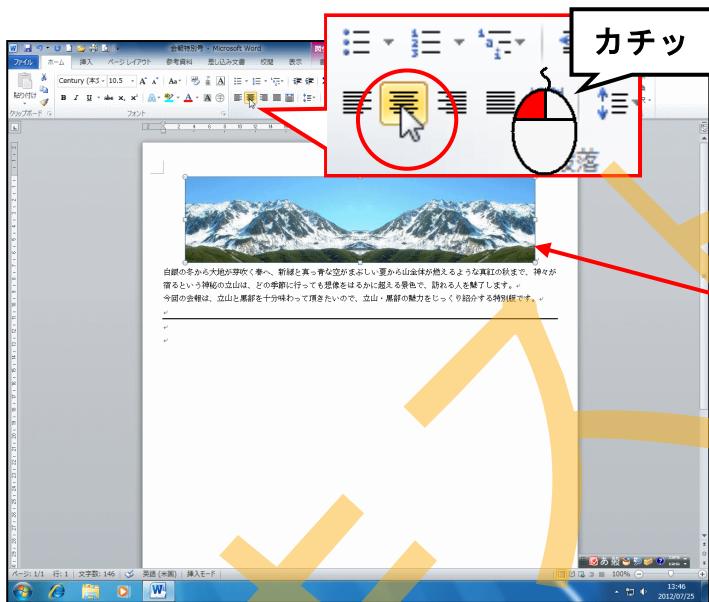
## [ホーム] タブにポイントし、そのままクリックします。



- [ホーム] タブをクリックすると、グループ、ボタンの内容が変わります。



## [段落] グループ内の [中央揃え] ボタンにポイントし、そのままクリックします。



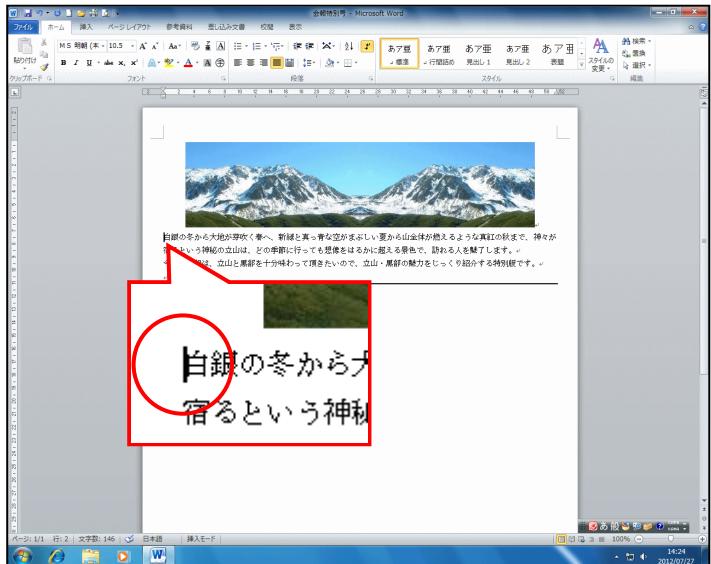
- 写真の画像は、入力されたままの状態では、文字列の折り返しは「行内」になっており、文字と同じ扱いになります。
- [中央揃え] ボタンをクリックすると、左のように写真の画像が文書の中央に配置されます。

- リボンが表示されていない方は、P227 リボンの最小化を元に戻すを参照してください。  
(下記のような状態の方)



## ② ワードアートの挿入

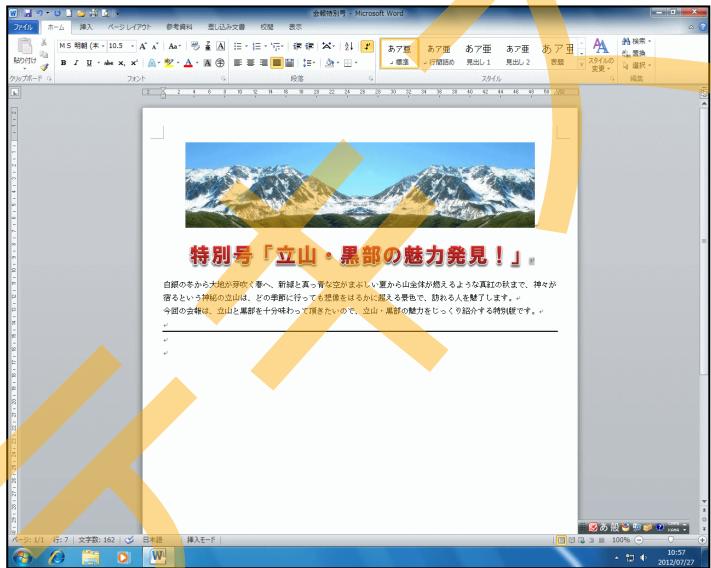
挿入した写真のすぐ下の行の「白銀の冬から」の先頭にカーソルを移動します。



- これからワードアートを挿入する場所を指定します。

次の条件で、下のようにワードアートを挿入します。

- ワードアートのスタイル：塗りつぶし-赤、アクセント2、面取り（つや消し）
- ワードアートの内容：特別号「立山・黒部の魅力発見！」
- 文字列の折り返し：上下
- ワードアートの配置：左右中央揃え（上下の位置は下の図を参考にしてください）
- フォント：HG 創英角ゴシック UB
- フォントサイズ：28pt



### (3) 段組みの設定

通常、文書は1段のレイアウトで作成しますが、新聞のように複数の段組みをして文書を作成することもできます。

「会報特別号」の文書の下に3段組みのレイアウトを設定して、文字を入力してみましょう。

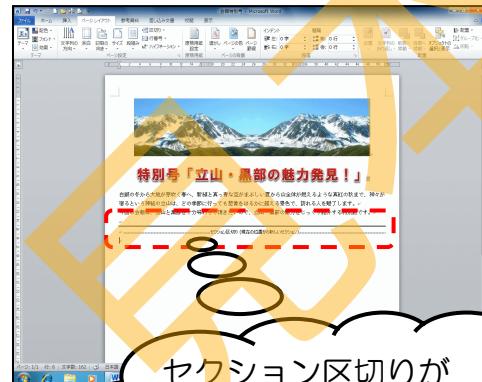
#### ① 段組みの設定

◆段組みの設定方法をマスターしましょう。

操作前

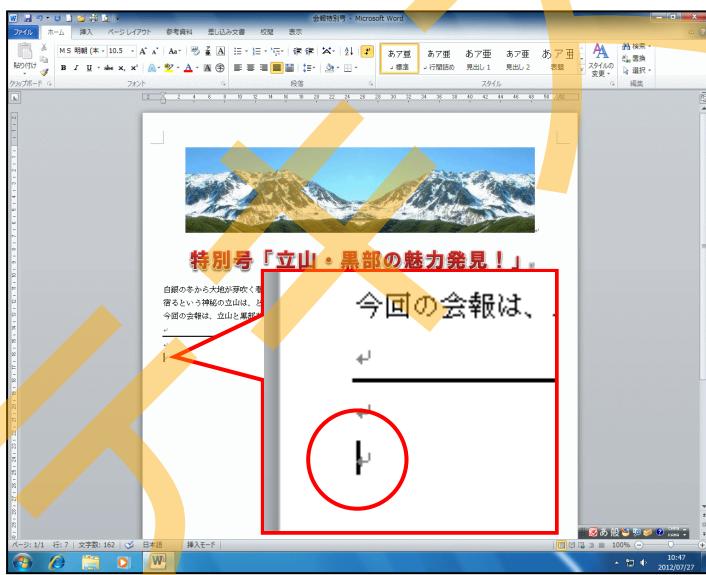


操作後



セクション区切りが  
挿入され、段組みが  
設定されました

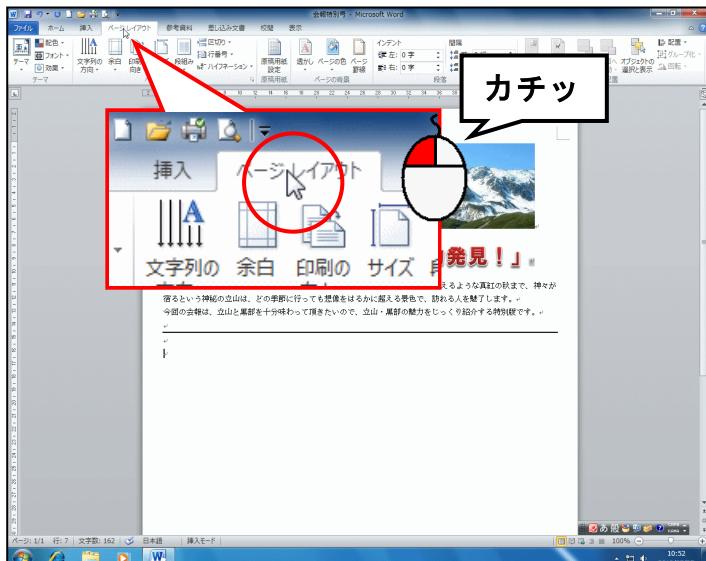
最終行にカーソルを移動します。



●この操作は、ここから段組みを設定しますということをパソコンに教えるためのものです。

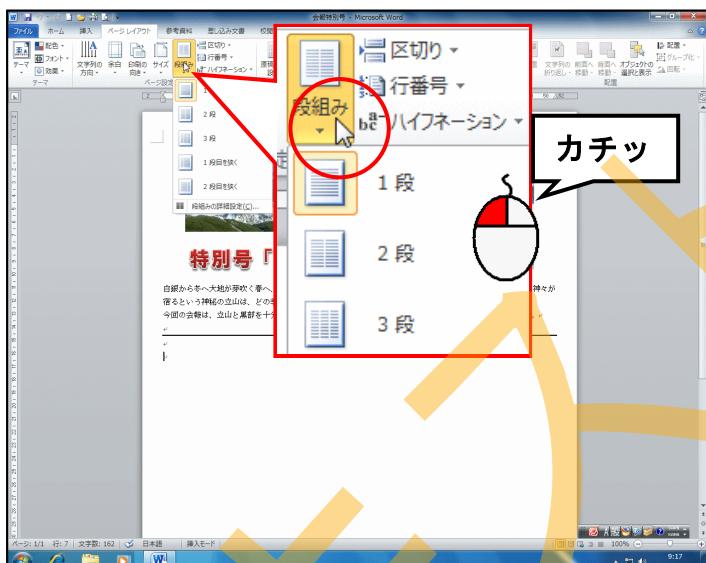


[ページ レイアウト] タブにポイントし、そのままクリックします。



- [ページ レイアウト] タブをクリックすると、グループ、ボタンの内容が変わります。

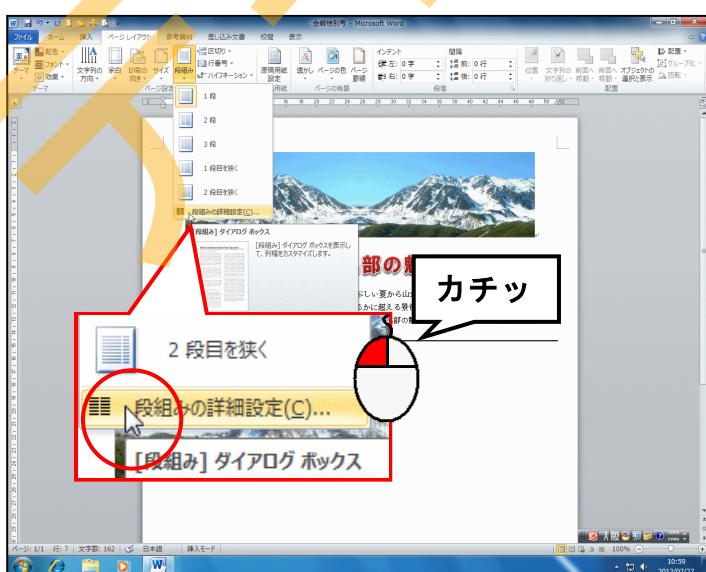
[ページ設定] グループ内の [段組み] ボタンにポイントし、そのままクリックします。



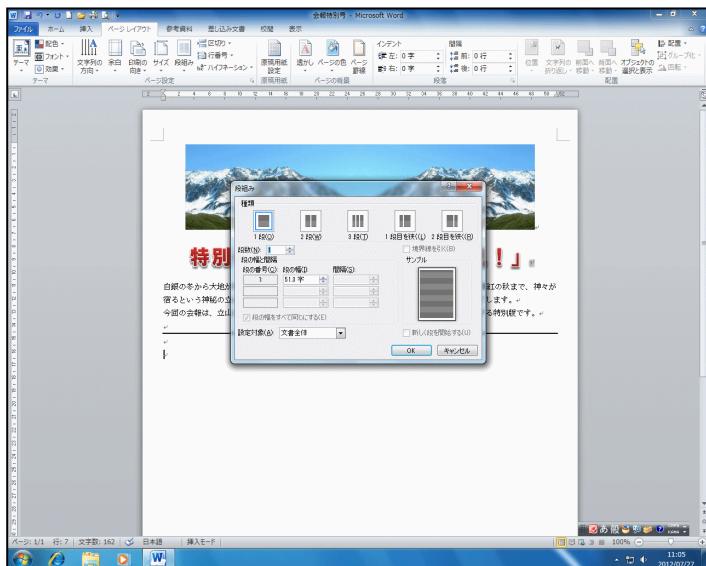
- リボンが表示されていない方は、  
P227 リボンの最小化を元に戻すを  
参照してください。  
(下記のような状態の方)



表示されたメニューから [段組みの詳細設定(C)...] にポイントし、そのままクリックします。



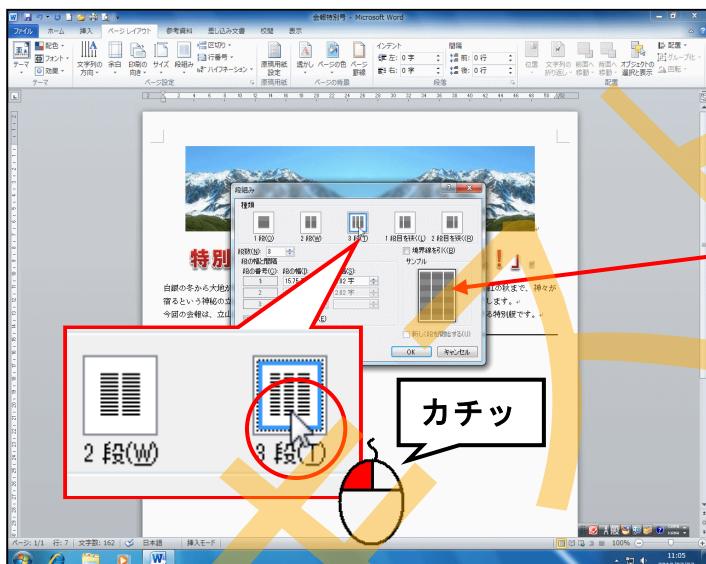
- 境界線など細かな設定も行うため、  
今回は [段組み] ダイアログボックス  
を利用します。



● [段組みの詳細設定(C)...] をクリックすると、[段組み] ダイアログボックスが表示されます。



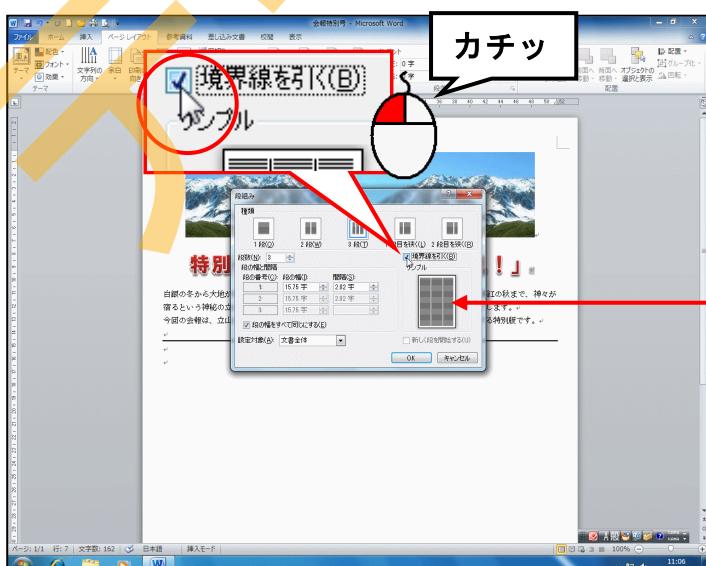
[段組み] ダイアログボックスの「種類」から [3段(T)] にポイントし、そのままクリックします。



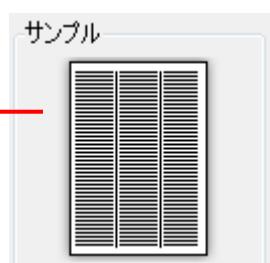
● [3段(T)] をクリックすると、周りに青い線が表示され、サンプルが下のように変更されます。



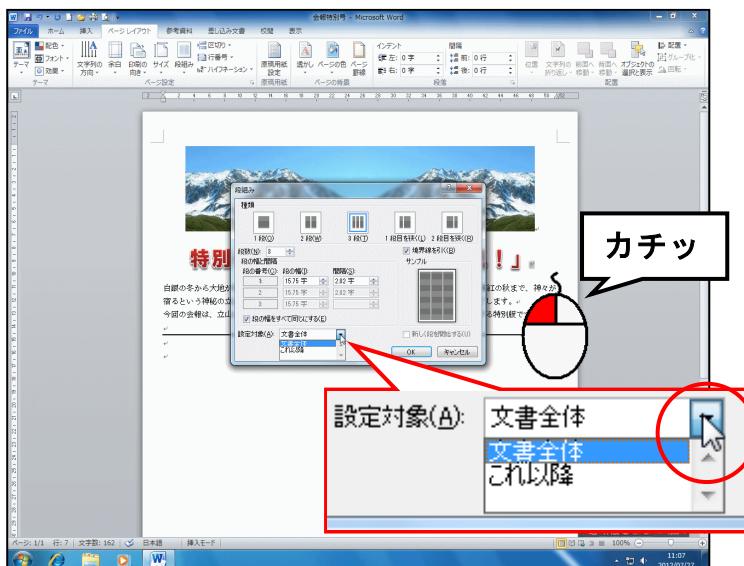
[境界線を引く(B)] にポイントし、そのままクリックします。



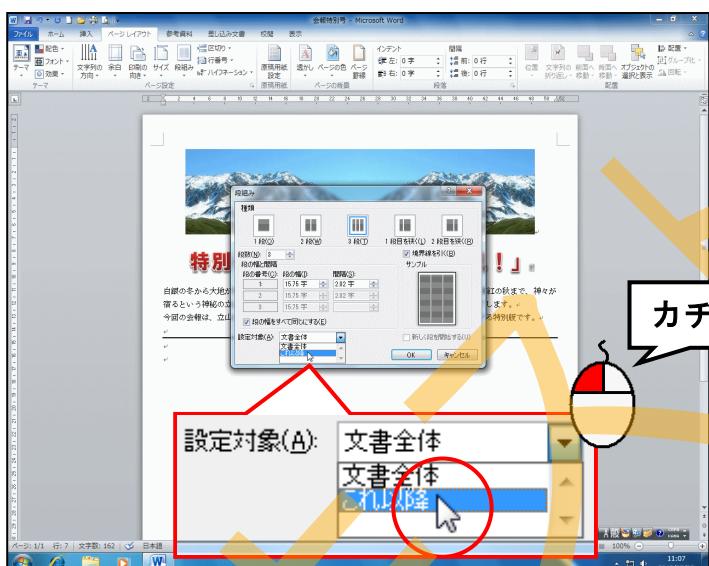
● [境界線を引く(B)] をクリックすると、チェックボックスに  が表示され、サンプルが下のように線が入った状態に変更されます。



【設定対象(A)】ボックスの右にある ▾ にポイントし、そのままクリックします。



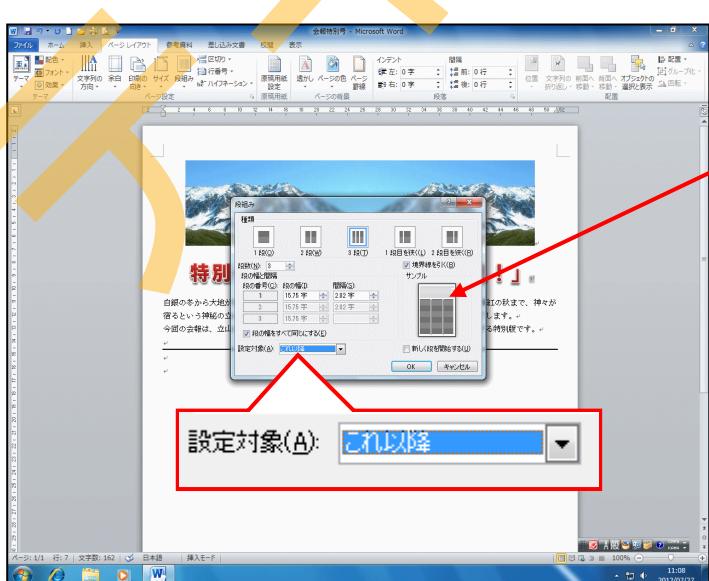
表示された一覧から「これ以降」にポイントし、そのままクリックします。



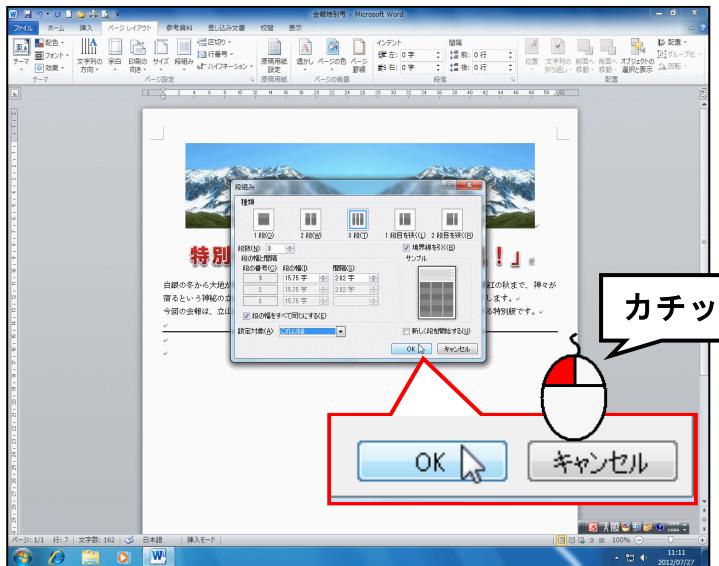
● [これ以降] をクリックすると、サンプルが下のように変更されます。



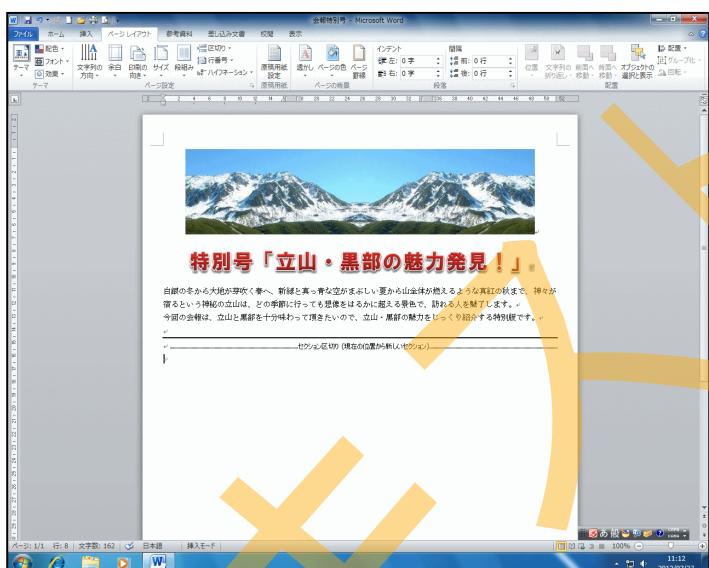
● [これ以降] を指定しておかないと、文書全体が3段に変更されてしまうので注意しましょう。



【段組み】ダイアログボックスの右下にある【OK】ボタンにポイントし、そのままクリックします。



カチッ



- 【OK】ボタンをクリックすると、下のように「セクション区切り」という線が表示されます。

セクション区切り (現在の位置から新しいセクション)

- この時点では、境界線は表示されません。2段目に移った時に境界線が表示されます。

注意!

- 「セクション区切り」が表示されていない場合は、【ホーム】タブの【段落】グループにある [編集記号の表示／非表示] ボタンをクリックしてください。

段組みの解除方法

P220

セクション区切りの種類

P221

### ■セクション

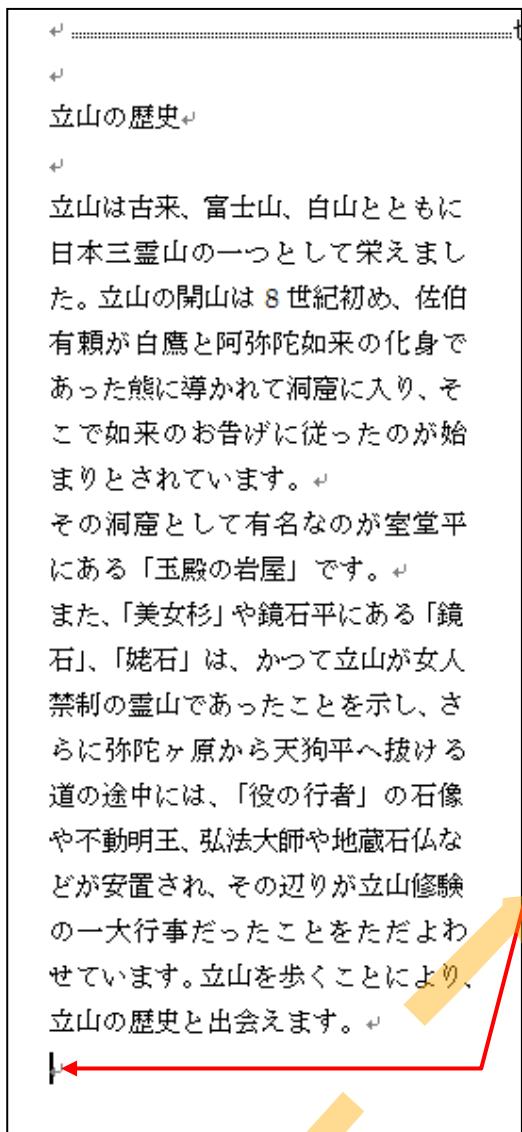
セクションとは「ひとまとまり」の文書のことです。

「セクション区切り」を行うことで、文書を区切り、1ページ目をA4用紙の縦書き、2ページ目をB5用紙の横書きというように、セクションごとに異なる書式を設定できます。このような設定は、ワードIIIで詳しく説明しています。



## ② 文字の入力

段組み設定した1段目に下のように文字を入力しましょう



●段組みを設定した場所に文字を入力していくと、段の右端で自動的に文字を折り返します。

●最後の行の下に必ず1行の空白行を入れておいてください。これをしておかないと次の「段区切りの設定」をした場合に、最終行が下のように均等割り付けされてしまいます。

せています。立山を歩くことにより、立山の歴史と出会えます。

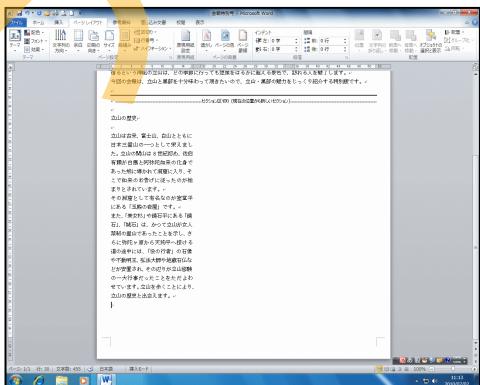


## ③ 段区切りの設定

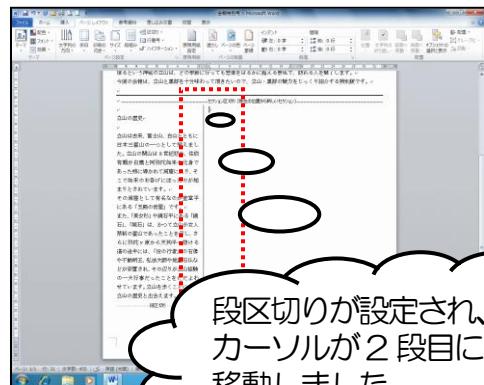
1段目の文字が入力できたところで、2段目にカーソルを移動するため、「段区切り」を設定しましょう。

◆段区切りの設定方法をマスターしましょう。

操作前

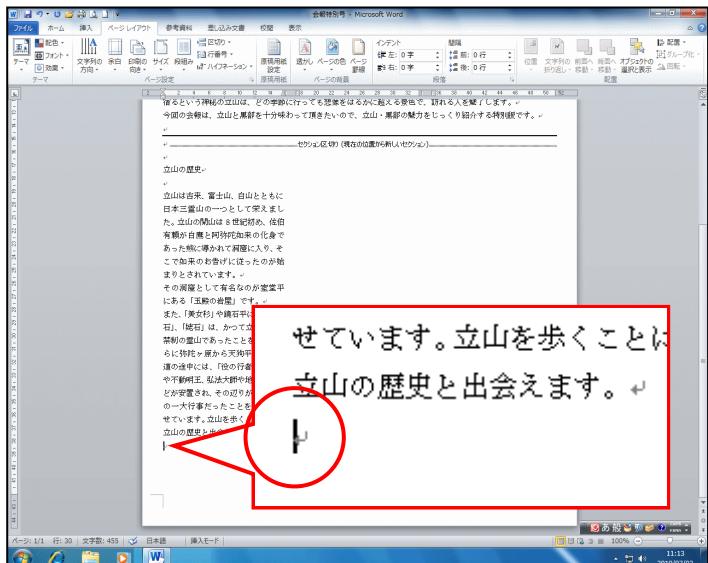


操作後



段区切りが設定され、カーソルが2段目に移動しました

カーソルが下の位置にあることを確認します。



● 「段区切り」とは、段をここで終了して、次の段に移るための区切りのことです。

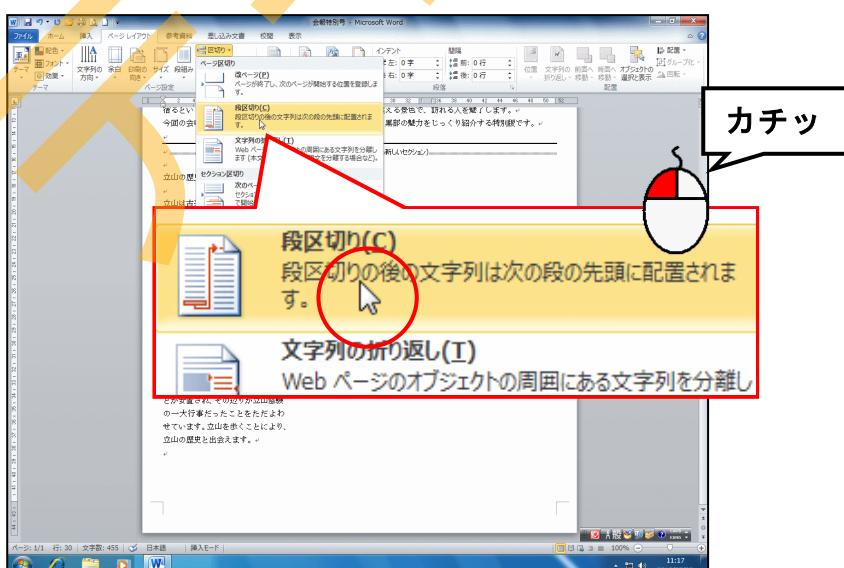


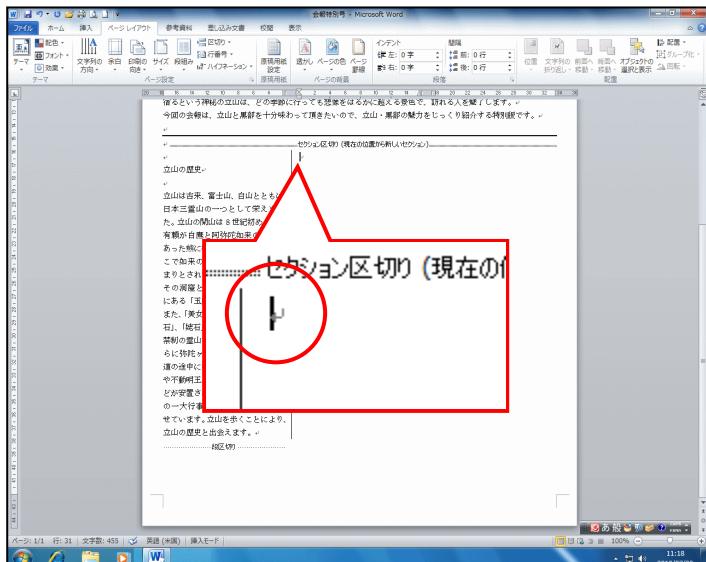
[ページ設定] グループ内の [区切り] ボタンにポイントし、そのままクリックします。



● [ページレイアウト] タブが表示されていない方は、先に [ページレイアウト] タブをクリックして表示しておきましょう。

表示されたメニューから [段区切り(C)] にポイントし、そのままクリックします。





- [段区切り(C)] をクリックした時点で「段区切り」の点線が表示されて、2段目にカーソルが移動します。

.....段区切り.....



- 「段区切り」が表示されていない場合は、[ホーム] タブの [段落] グループにある [編集記号の表示/非表示] ボタンをクリックして、選択してください。

段組みを設定した2段目に下のように文字を入力しましょう。

立山の歴史

立山は古来、富士山、白山とともに日本三霊山の一つとして栄えました。立山の開山は8世紀初め、佐伯有頼が白鷹と阿弥陀如来の化身であった熊に導かれて洞窟に入り、そこで如来のお告げに従ったのが始まりとされています。その洞窟として有名なのが室堂平にある「玉殿の岩屋」です。また、「美女杉」や鏡石平にある「鏡石」、「姥石」は、かつて立山が女人禁制の霊山であったことを示し、さらに弥陀ヶ原から天狗平へ抜ける道の途中には、「役の行者」の石像や不動明王、弘法大師や地蔵石仏などが安置され、その辺りが立山修験の一大行事だったことをただよわせています。立山を歩くことにより、立山の歴史と出会えます。

.....段区切り.....

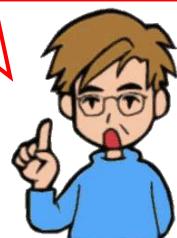
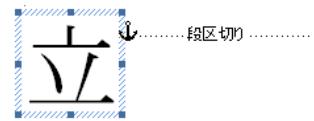
立山黒部アルペンルート

3,000m級の峰々が連なる日本の屋根北アルプスをつらぬき、北陸富山と信濃大町を結ぶ、延々90kmに及ぶ山岳観光ルートです。

- 春の立山は雪の大谷が見どころ。高さ20m近くにもなる雪の壁の間を散策することができます。
- 夏は涼しく、心地よい風に吹かれながらの登山は最高です。運が良いと雷鳥の親子と出会えるかも？
- 秋は紅葉の季節。立山の紅葉は、標高差があるために9月中旬から11月上旬と長い間、色鮮やかな紅葉を見ることができます。
- 冬の新雪が岩肌や樹林の枝の先々まで全てを柔らかく包み、立山を再び静寂の世界へと導きます。

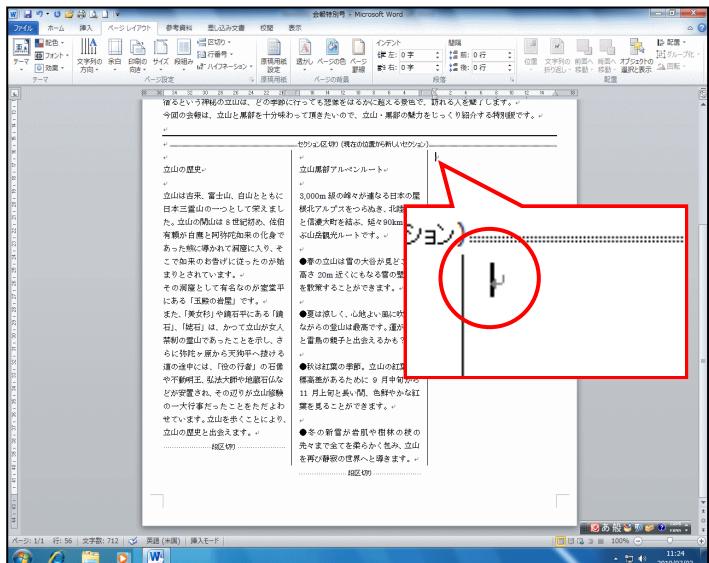
.....段区切り.....

1段目と同じように、2段目の先頭にも空白行を1行入れてから、文字を入力してください。空白行を入れないとこの後に学習する「ドロップキャップ」の設定で、下のように文字が前の段に移動してしまいます。

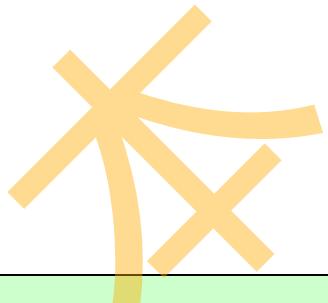


「●」は、「まる」と入力して変換しましょう。箇条書きではありません。

## 2段目の文字を入力したところで、[段区切り] を設定します。



●段区切りの設定の仕方を忘れた方は、P148 ③ 段区切りの設定を参照してください。



## 段組みを設定した3段目に下のように文字を入力しましょう。

セクション区切り (現在の位置から新しいセクション)

立山黒部アルペンルート

3,000m 級の峰々が連なる日本の屋根北アルプスをつらぬき、北陸富山と信濃大町を結ぶ、延々 90km に及ぶ山岳観光ルートです。

●春の立山は雪の大谷が見どころ。高さ 20m 近くにもなる雪の壁の間を散策することができます。

●夏は涼しく、心地よい風に吹かれながらの登山は最高です。運が良いと雷鳥の親子と出会えるかも？

●秋は紅葉の季節。立山の紅葉は、標高差があるために 9 月中旬から 11 月上旬と長い間、色鮮やかな紅葉を見ることができます。

●冬の新雪が岩肌や樹林の枝の先々まで全てを柔らかく包み、立山を再び静寂の世界へと導きます。

黒部ダムを知る

黒部の谷といえば、昔は登山者以外入山しない秘境でした。しかし今は誰もが容易に観光することが可能になり、現在では幅広い年齢層の観光客が毎年 100 万人以上黒部ダムを訪れています。

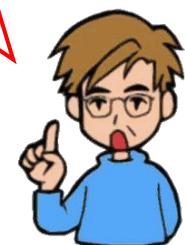
その建設は世紀の大事業として語り継がれ、中でも破碎帯との格闘は石原裕次郎主演の映画「黒部の太陽」に描かれたことでも有名です。

大迫力の放水や、巨大建造物としての存在感以外にも、黒部ダムには興味深い歴史がいっぱいです。

立山・黒部ツアーは来年の 6 月出発予定

段区切り

2段目と同じように、3段目の先頭にも空白行を1行入れてから、文字を入力してください。空白行を入れないとこの後に学習する「ドロップキャップ」の設定で、下のように文字が前の段に移動してしまいます。



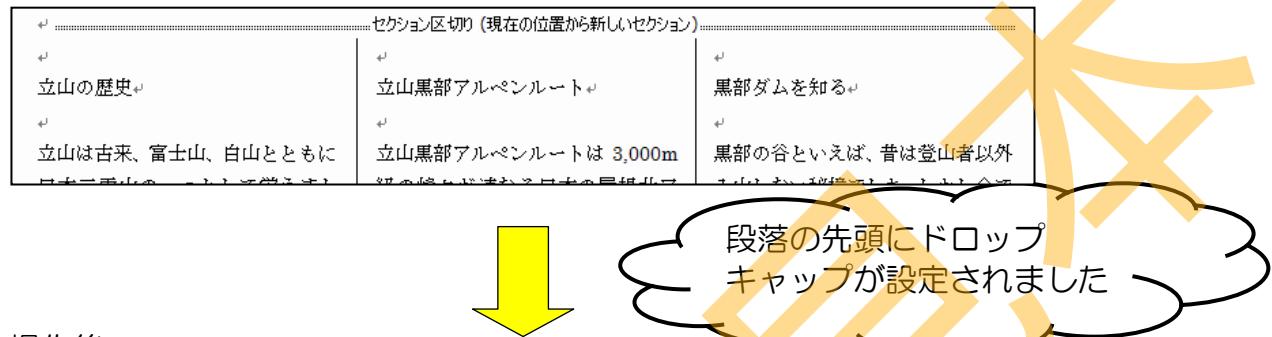
## (4) ドロップキャップ

### ① ドロップキャップを設定する

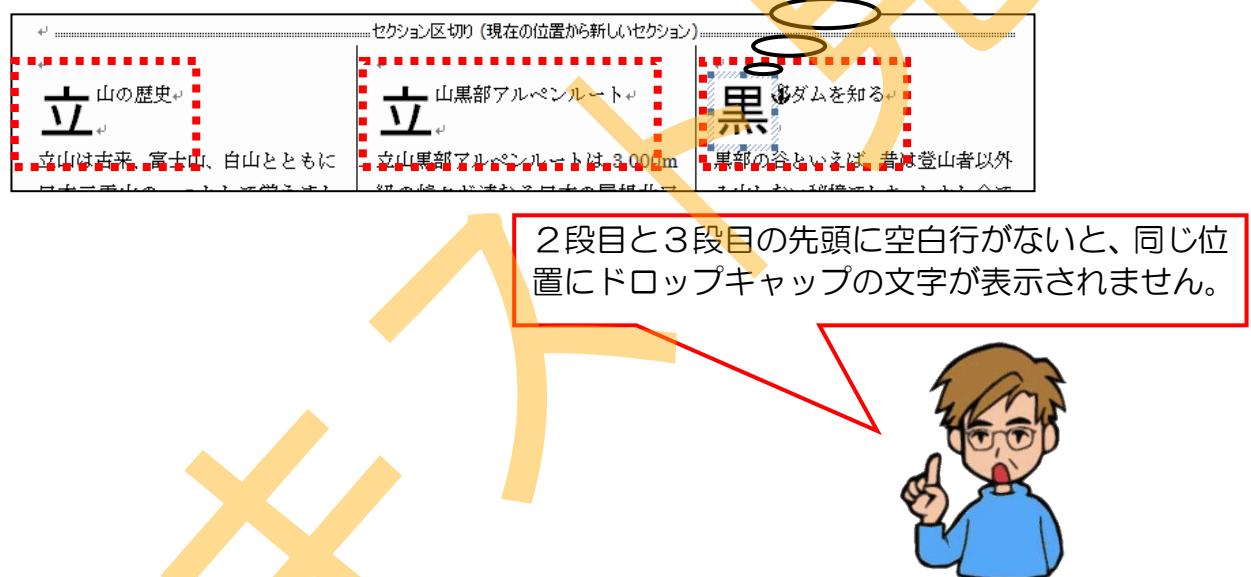
ドロップキャップとは、新聞や雑誌などの印刷物でよく見かける、段落の先頭の文字を大きく目立たせるデザインのことをいいます。ここでは、段組みを設定した各段の先頭の文字に、ドロップキャップを設定しましょう。

#### ◆ドロップキャップの設定方法をマスターしましょう。

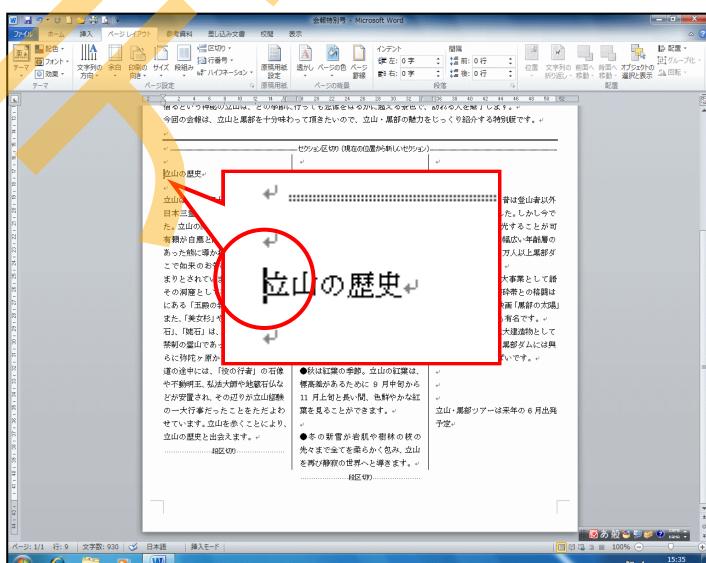
操作前



操作後

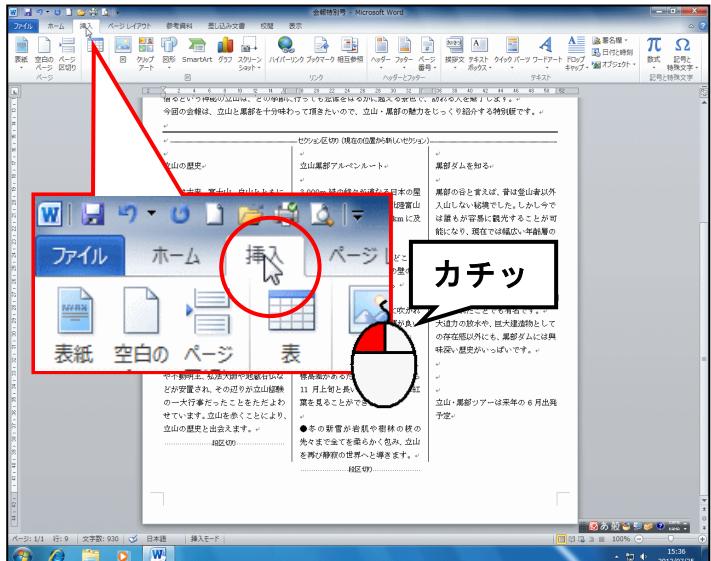


1段目の「立山の歴史」の段落にカーソルを移動します。



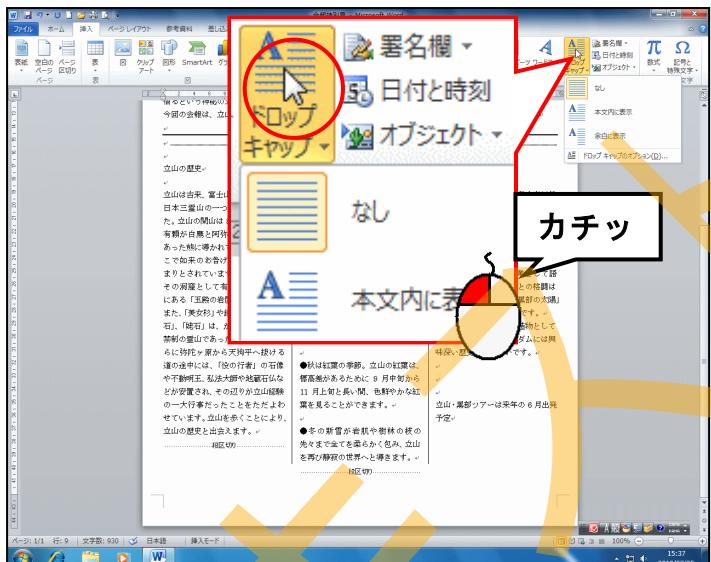
● ドロップキャップを設定する段落内であれば、どこにカーソルがあっても構いません。

## [挿入] タブにポイントし、そのままクリックします。



● [挿入] タブをクリックすると、グループ、ボタンの内容が変わります。

## [テキスト] グループ内の [ドロップキャップ] ボタンにポイントし、そのままクリックします。

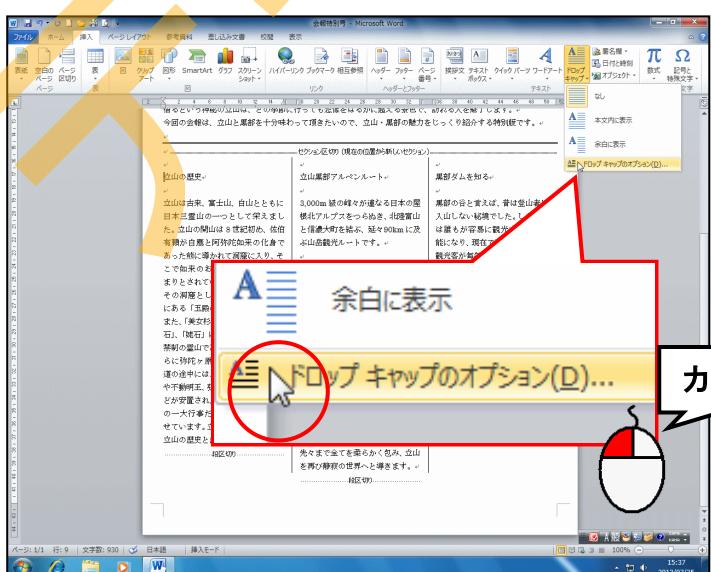


注意!

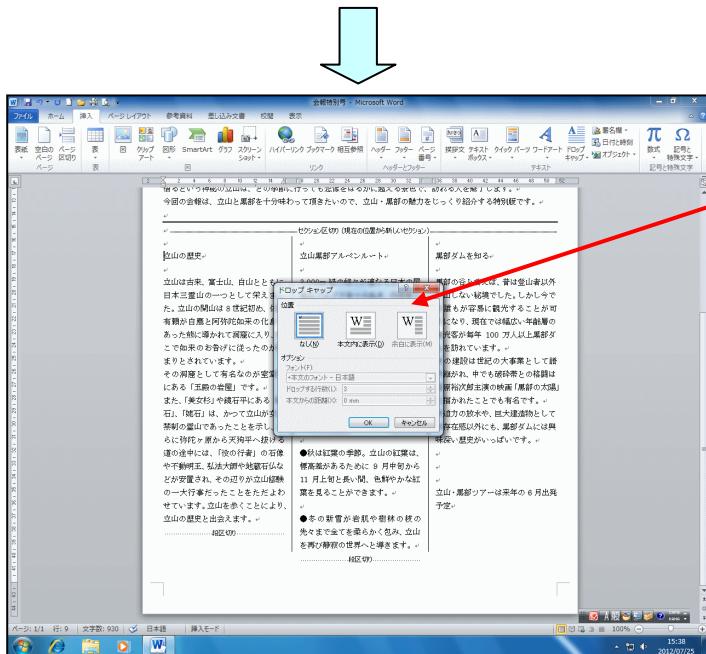
● カーソルが文字の入力されていない段落にあると、[ドロップキャップ] ボタンが淡色表示（選択できない状態）され、利用することができません。



## 表示されたメニューから [ドロップキャップのオプション(D)...] にポイントし、そのままクリックします。

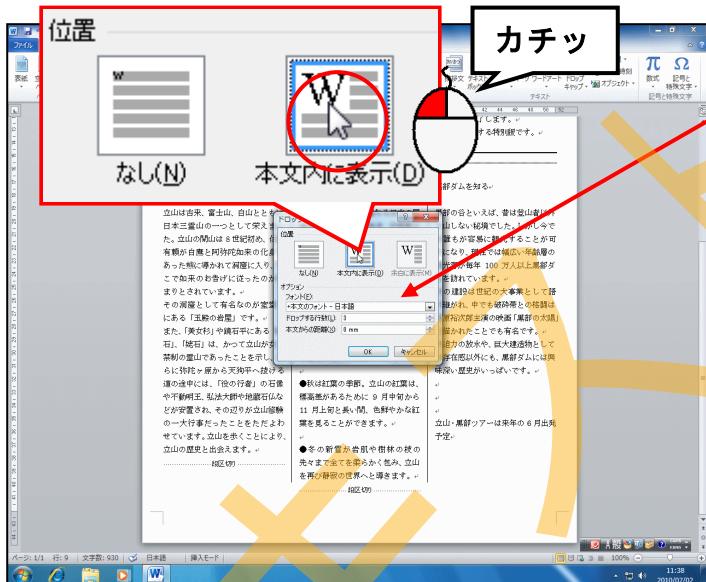


● 今回は、ドロップキャップの大きさや、フォントを変更するので、[ドロップキャップのオプション(D)...] をクリックし、[ドロップキャップ] ダイアログボックスを表示させます。



● [ドロップキャップのオプション (D) ...] をクリックすると、[ドロップキャップ] ダイアログボックスが表示されます。

[ドロップキャップ] ダイアログボックスの「位置」から [本文内に表示 (D)] にポイントし、そのままクリックします。

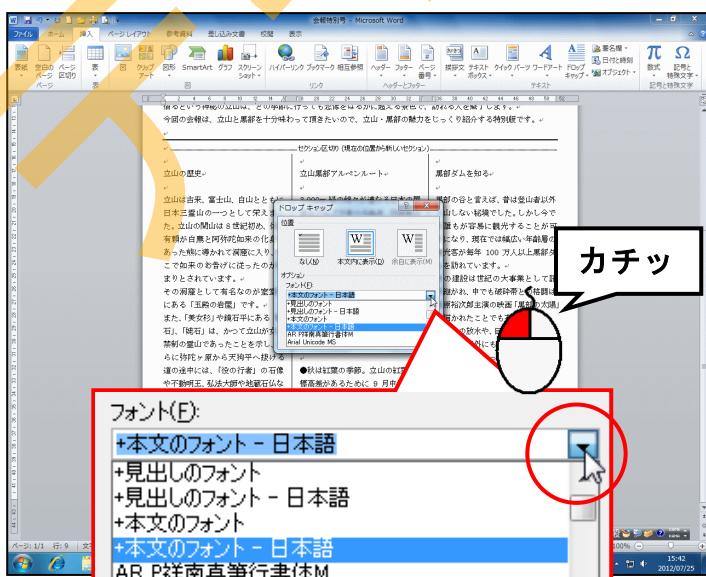


● [本文内に表示 (D)] を選択すると、左のようにオプションが選択可能な状態になります。

### ■ 選択不可能な状態



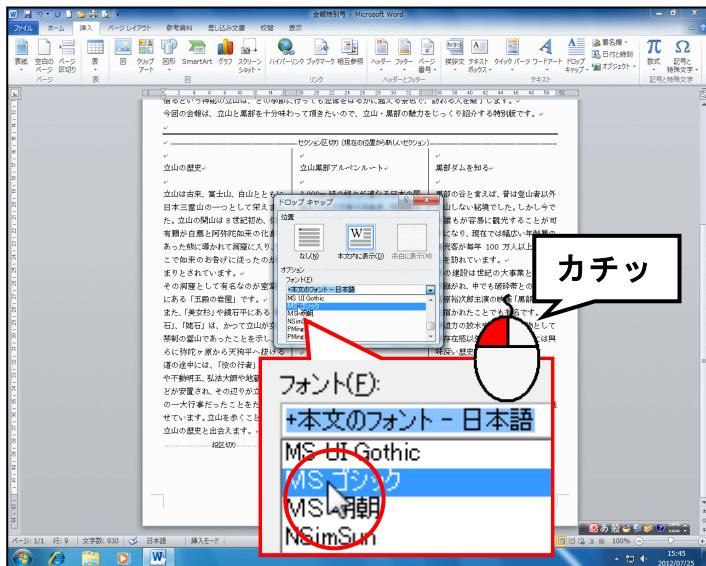
オプションの [フォント (F)] ボックスの ▾ にポイントし、そのままクリックします。



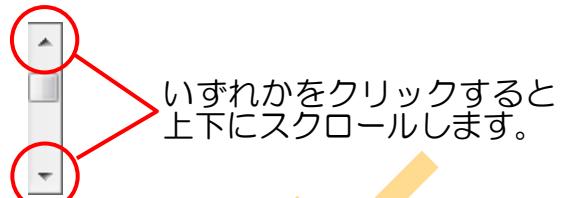
● [フォント (F)] ボックスの ▾ をクリックすると、フォントの一覧が表示されます。

● [フォント (F)] ボックス内でマウスカーソルが I の状態でクリックしても、フォントの一覧は表示されません。

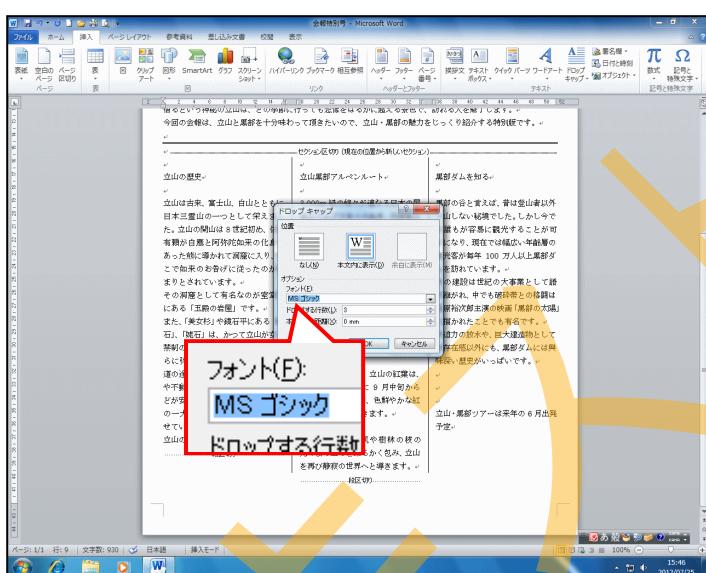
## 表示された一覧から [MS ゴシック] にポイントし、そのままクリックします。



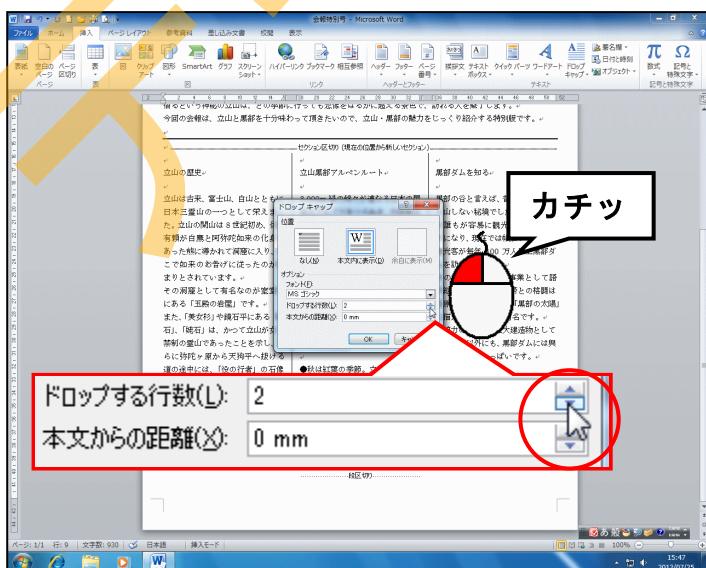
●  をクリックしても目的のフォントが表示されない場合は、右端にある次のようなスクロールバーでスクロールします。



いずれかをクリックすると上下にスクロールします。



## ドロップキャップする行数を2行に設定するために、オプションの [ドロップする行数(L)] ボックスの右にある にポイントし、そのままクリックします。

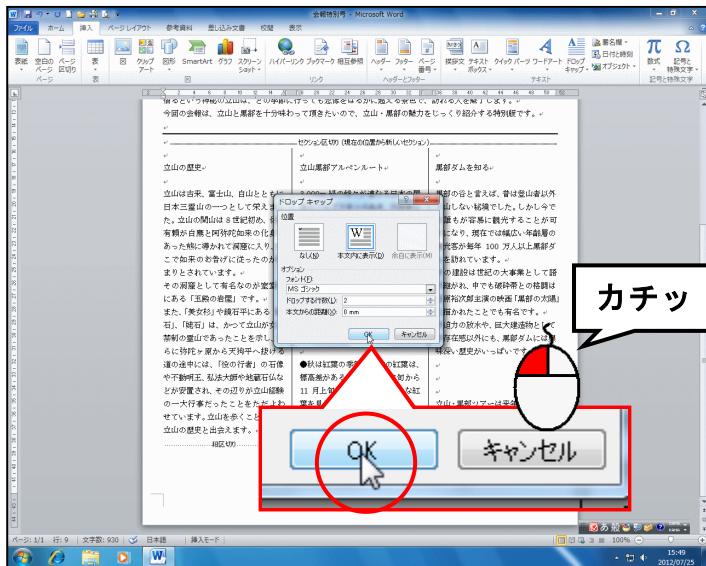


●ここで指定する行数によって、文字の大きさが決まります。

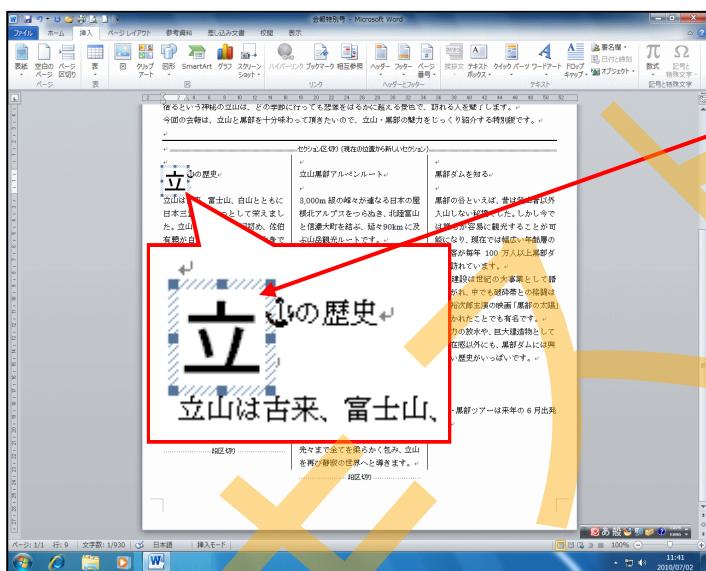


●間違って、 をクリックすると行数が増えます。

[ドロップキャップ] ダイアログボックスの下にある [OK] ボタンにポイントし、そのままクリックします。

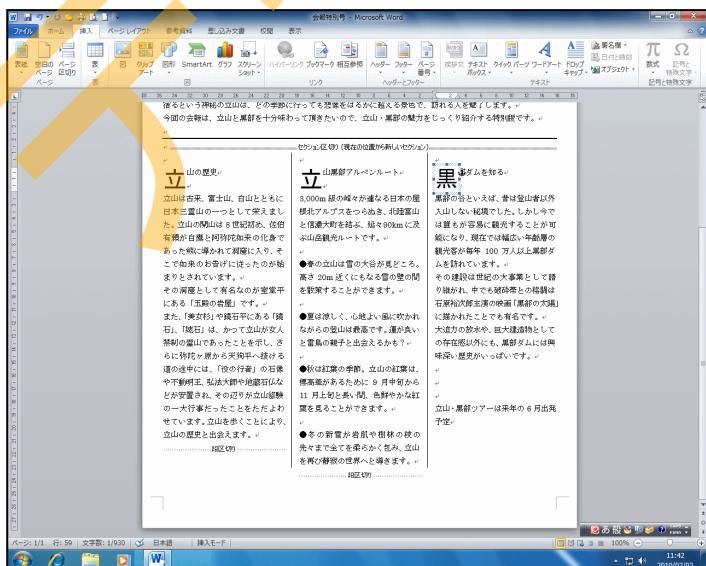


カチッ



● [OK] ボタンをクリックすると、カーソルがあった段落の先頭の文字が大きくなりました。

同様に2段目と3段目のタイトルにもドロップキャップを設定しましょう。



余裕があれば読んでね

●同じ操作を繰り返す場合は、カーソルを移動した後、[F4] キーを押します。

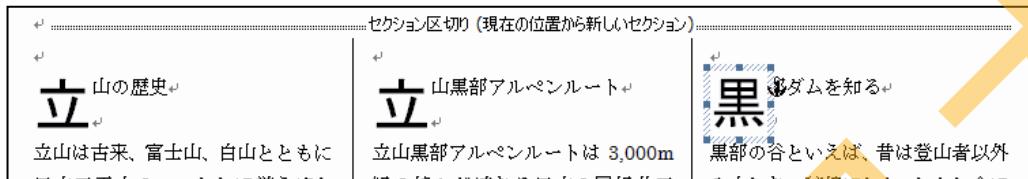
## ② ドロップキャップのサイズ変更

作成したドロップキャップの文字が大きすぎたり、小さすぎたりした場合に、文字の大きさを変更することもできます。また、作成したドロップキャップの文字の位置を変更することもできます。

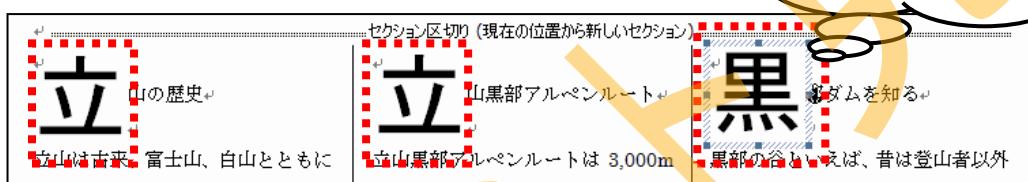
ここでは、文字の大きさを3行分に変更してみましょう。

### ◆ドロップキャップのサイズの変更方法をマスターしましょう。

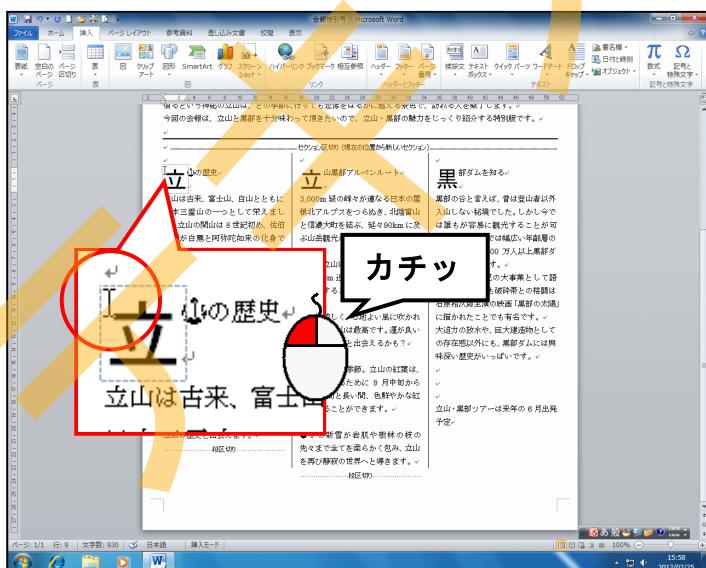
操作前



操作後



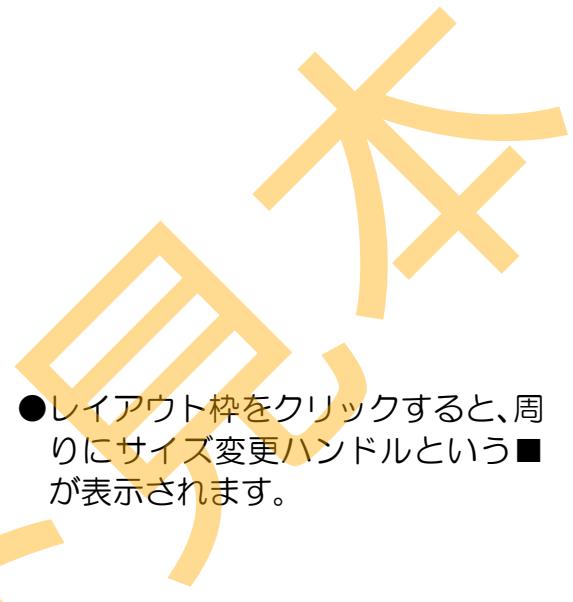
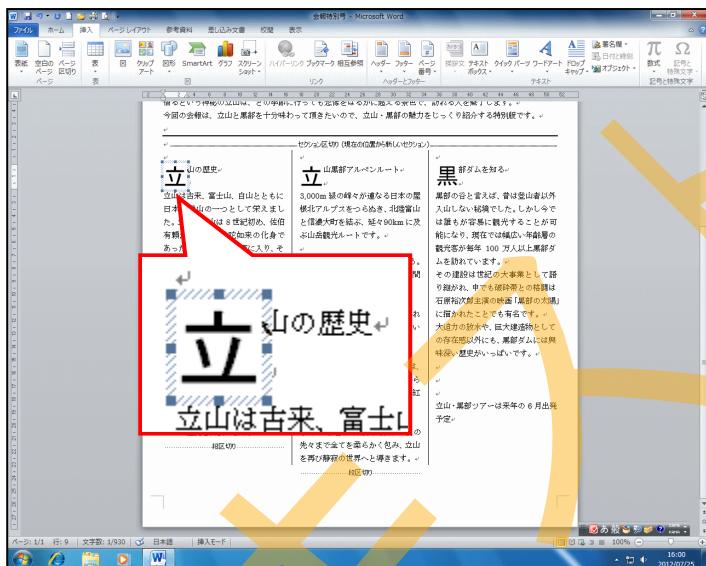
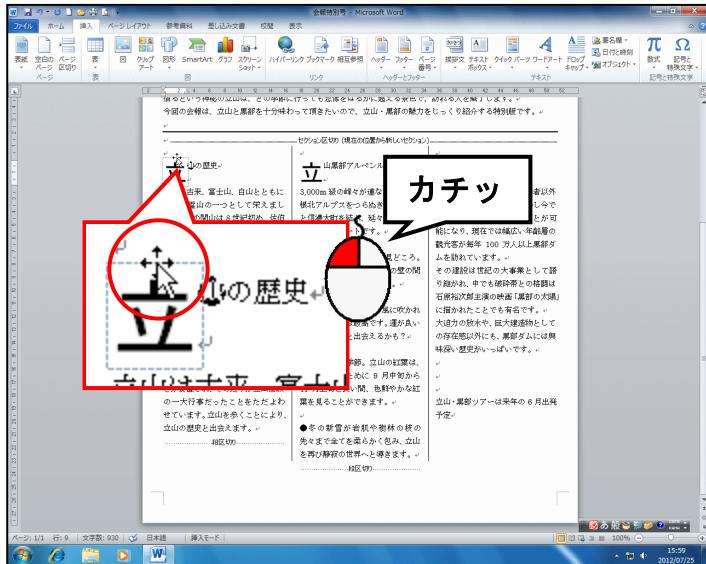
1段目の「立山の歴史」の「立」の文字にポイントし、そのままクリックします。



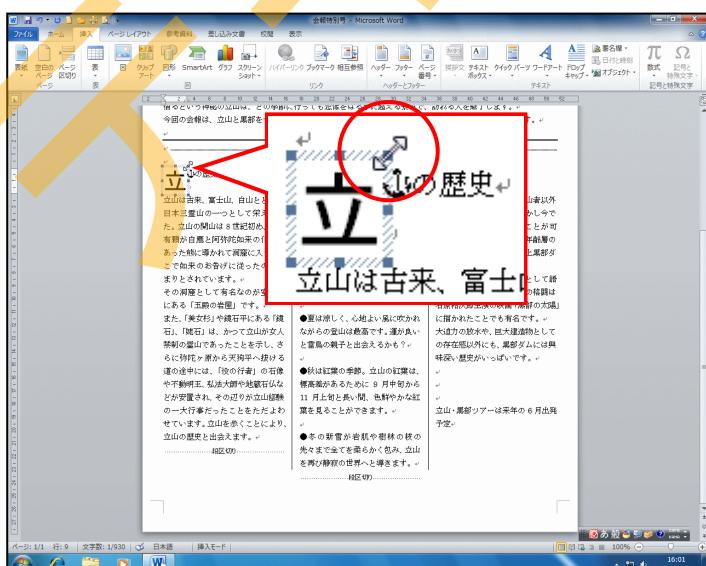
●「立」の文字にカーソルを合わせるとマウスポインターが「」の状態になるので、そのままクリックします。

●「立」をクリックして、表示される枠を「レイアウト枠」といいます。

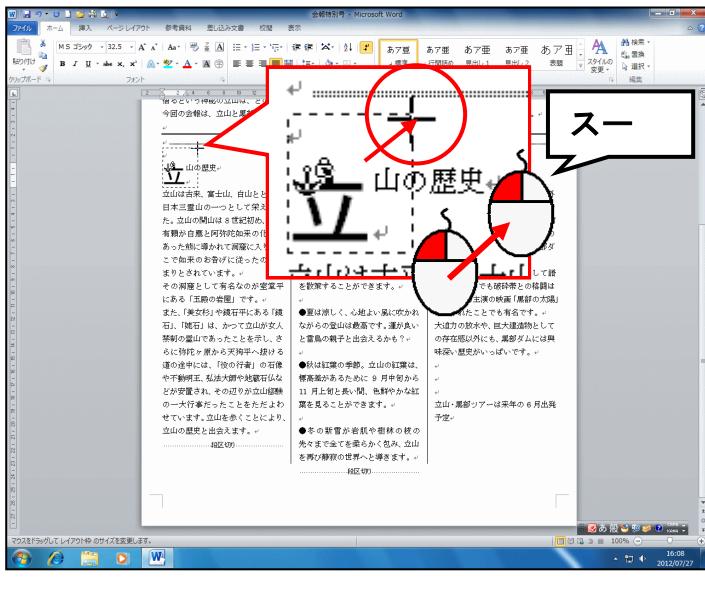
表示されたレイアウト枠にポイントし、マウスポインターが  の状態でクリックします。



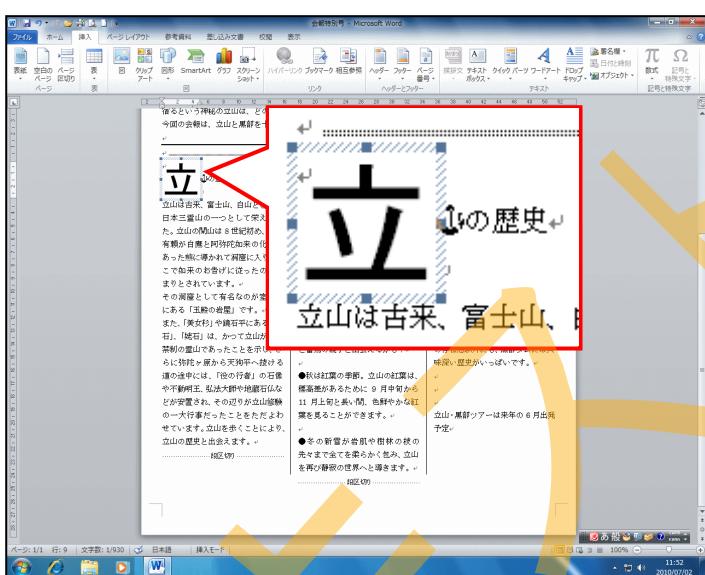
右上の■（サイズ変更ハンドル）にポイントします。



## マウスポインターが の状態で右上に向かってドラッグします。

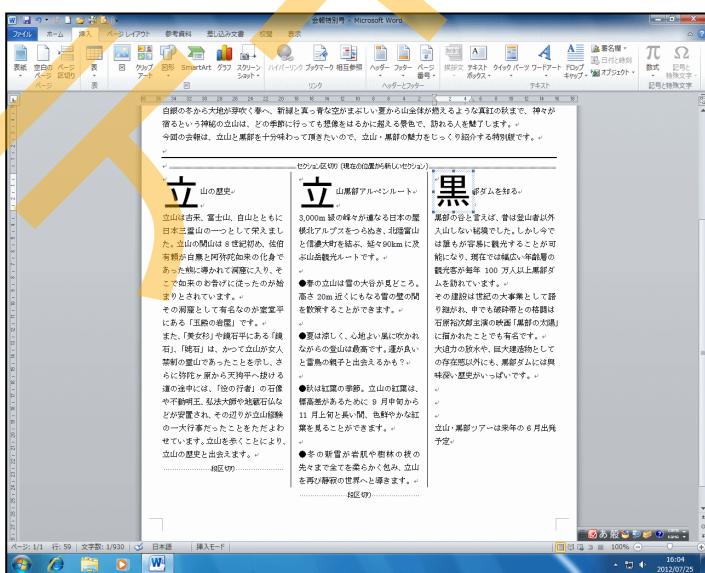


● ドラッグ中のマウスポインターは、十の状態になっています。  
ドラッグ中に表示される点線の四角を見ながらドラッグしてください。



● マウスから指を離した時点で、文字の大きさが変更されます。

## 同様に2段目と3段目のドロップキャップのサイズも変更しましょう。



## (5) 画像の挿入

以下の文書を参考に、ドキュメント内の画像を挿入して文字列の折り返しを変更しましょう。

- 1段目のファイル名「玉殿岩屋」、文字列の折り返し「四角」
- 3段目のファイル名「黒部ダム」、文字列の折り返し「行内」

セクション区切り (現在の位置から新しいセクション)

<p><b>立</b> 山の歴史</p> <p>立山は古来、富士山、白山とともに日本三靈山の一つとして栄えました。</p> <p>立山の開山は8世紀初め、佐伯有頼が白鷹と阿弥陀如来の化身であった熊に導かれて洞窟に入り、そこで如来のお告げに従ったのが始まりとされています。</p> <p>その洞窟として有名なのが室堂平にある「玉殿の岩屋」です。</p> <p>また、「美女杉」や鏡石平にある「鏡石」、「姥石」は、かつて立山が女人禁制の靈山であったことを示し、さらに弥陀ヶ原から天狗平へ抜ける道の途中には、「役の行者」の石像や不動明王、弘法大師や地蔵石仏などが安置され、その辺りが立山修験の一大行事だったことをただよわせています。立山を歩くことにより、立山の歴史と出会えます。</p> <p>.....段区切り.....</p>	<p><b>立</b> 山黒部アルペンルート</p> <p>3,000m級の峰々が連なる日本の屋根北アルプスをつらぬき、北陸富山と信濃大町を結ぶ、延々90kmに及ぶ山岳観光ルートです。</p> <p>●春の立山は雪の大谷が見どころ。高さ20m近くにもなる雪の壁の間を散策することができます。</p> <p>●夏は涼しく、心地よい風に吹かれながらの登山は最高です。運が良いと雷鳥の親子と出会えるかも?</p> <p>●秋は紅葉の季節。立山の紅葉は、標高差があるために9月中旬から11月上旬と長い間、色鮮やかな紅葉を見ることができます。</p> <p>●冬の新雪が岩肌や樹林の枝の先々まで全てを柔らかく包み、立山を再び静寂の世界へと導きます。</p> <p>.....段区切り.....</p>	<p><b>黒</b> 部ダムを知る</p> <p>黒部の谷といえば、昔は登山者以外入山しない秘境でした。しかし今では誰もが容易に観光する事が可能になり、現在では幅広い年齢層の観光客が毎年100万人以上黒部ダムを訪れています。</p> <p>その建設は世紀の大事業として語り継がれ、中でも破碎帯との格闘は石原裕次郎主演の映画「黒部の太陽」に描かれたことでも有名です。大迫力の放水や、巨大建造物としての存在感以外にも、黒部ダムには興味深い歴史がいっぱいです。</p> <p></p> <p>立山・黒部ツアーは来年の6月出発予定</p>
--	---	---

- 画像の挿入方法を忘れた方は、P138 ① 写真の画像を挿入するを参照しましょう。

## (6) 割注を設定する

3段目の「立山・黒部ツアーは来年の6月出発予定」の文字に「割注」を設定しましょう。

### ■ 割注とは

割注とは、下のように入力した文字を2行に分けて小さな文字で表示する機能です。

(割注をするとこんなイメージ)  
(一頁で表示されます。)

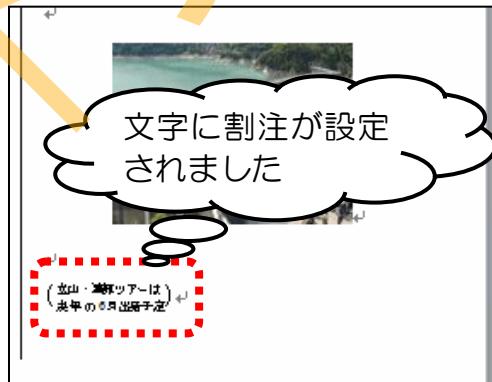
### ① 割注の設定

◆ 割注の設定方法をマスターしましょう。

操作前

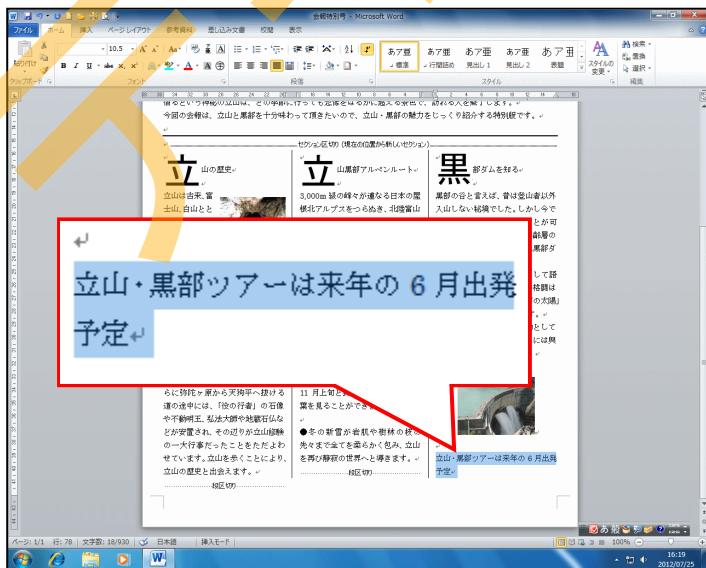


操作後

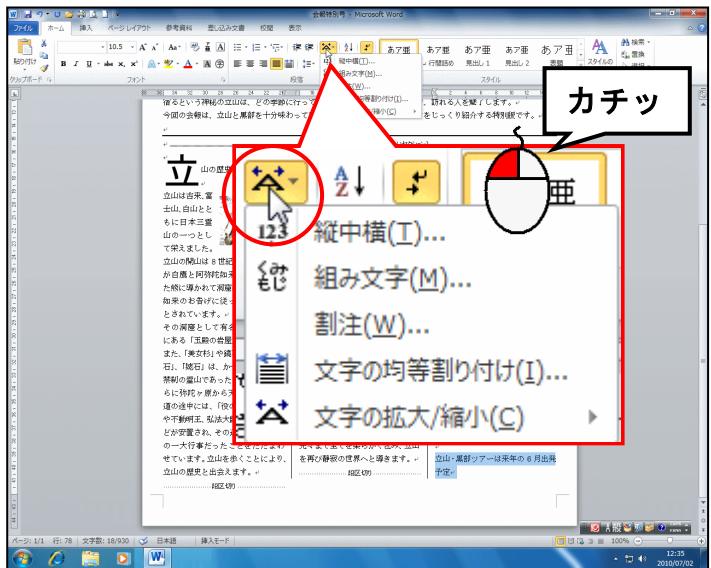


「立山・黒部ツアーは来年の6月出発予定」を選択します。

● 割注に設定したい文字を選択します。



[段落] グループ内の  [拡張書式] ボタンにポイントし、そのままクリックします。



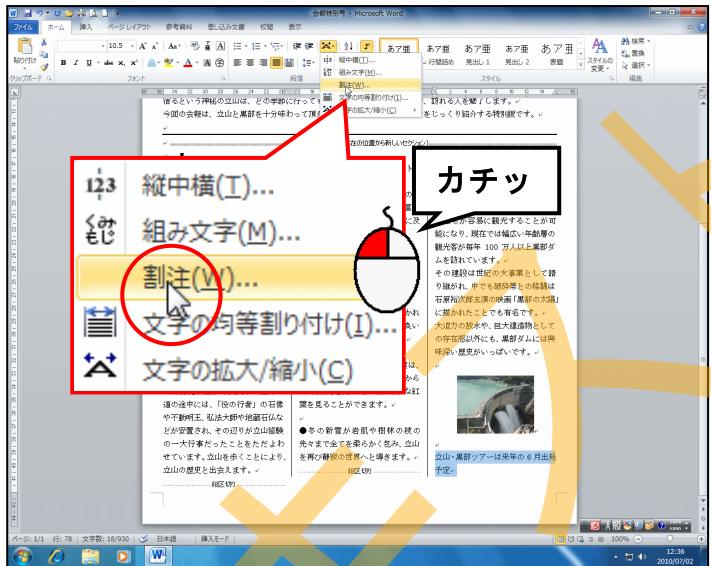
## 注意!

- [ホーム] タブが表示されていない方は、先に [ホーム] タブをクリックして表示しておきましょう。

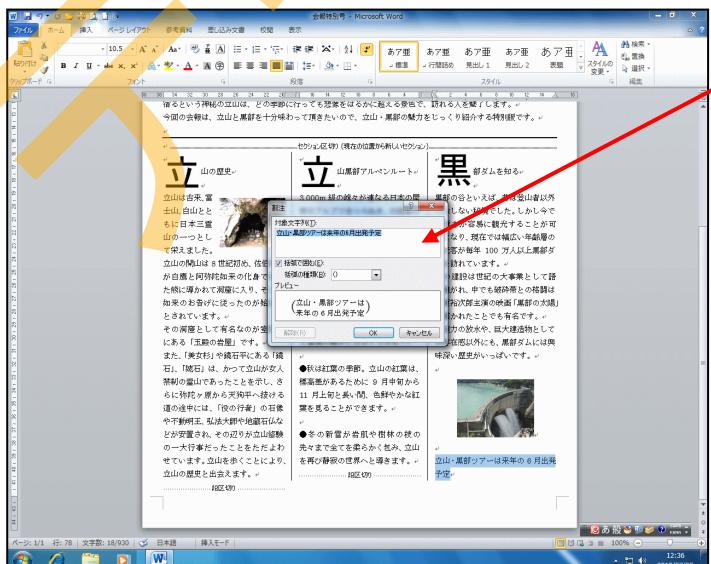
- リボンが表示されていない方は、P227 リボンの最小化を元に戻すを参照してください。  
(下記のような状態の方)



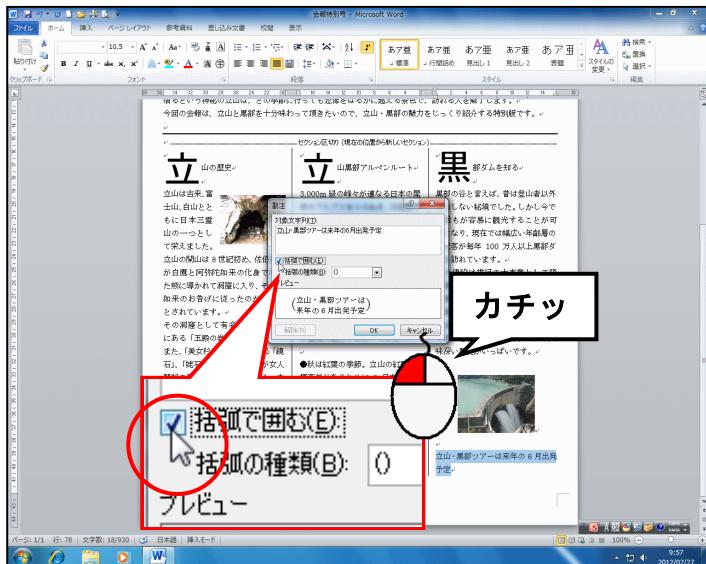
表示された一覧から [割注(W)...] にポイントし、そのままクリックします。



- [割注(W)...] をクリックすると、左のように [割注] ダイアログボックスが表示されます。



【割注】ダイアログボックスの【括弧で囲む(E)】チェックボックスにポイントし、そのままクリックします。



●すでに【括弧で囲む(E)】チェックボックスにチェックが入っている方は、この操作は不要です。

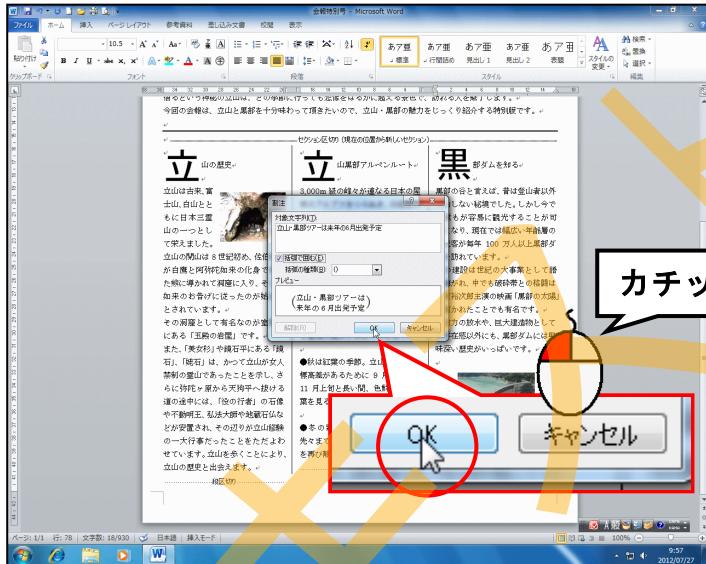
【括弧で囲む(E)】チェックボックスをクリックすると、 が表示されます。

余裕があれば読んでね

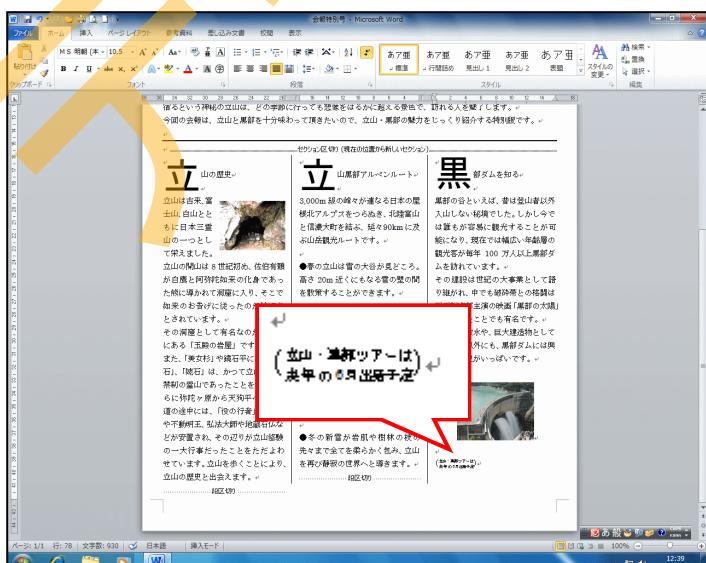
●【括弧で囲む(E)】チェックボックスの下の【括弧の種類(B)】ボックスの右のをクリックすると、括弧の種類を選択できます。



【割注】ダイアログボックスの【OK】ボタンにポイントし、そのままクリックします。



●【OK】ボタンをクリックすると、左のように文字が小さくなって、2行で表示されます。

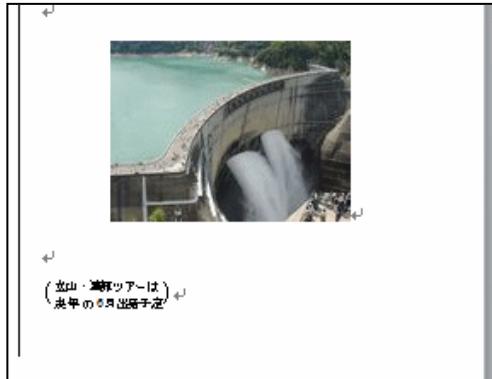


## ② 文字の大きさを調整と配置

割注に設定した文字が小さすぎて読めないので、文字を大きくしてみましょう。また、文字の大きさの変更の後に中央揃えに設定しましょう。

◆割注の文字の大きさと配置の設定方法をマスターしましょう。

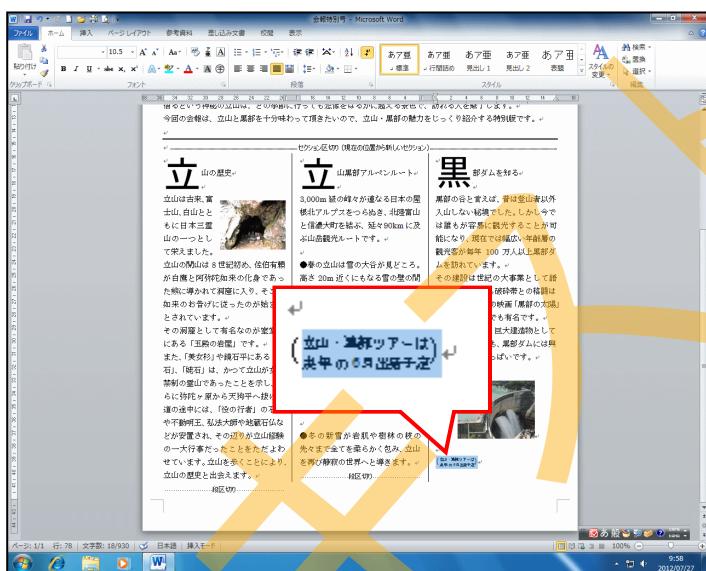
操作前



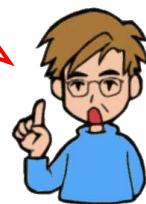
操作後



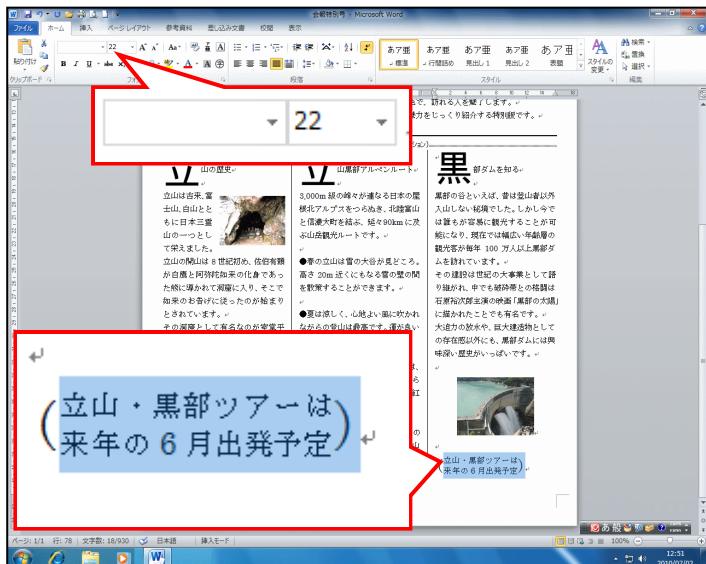
割注に設定した「立山・黒部ツアーは来年の6月出発予定」を選択します。



●割注に設定した最初の「(」は選択されません



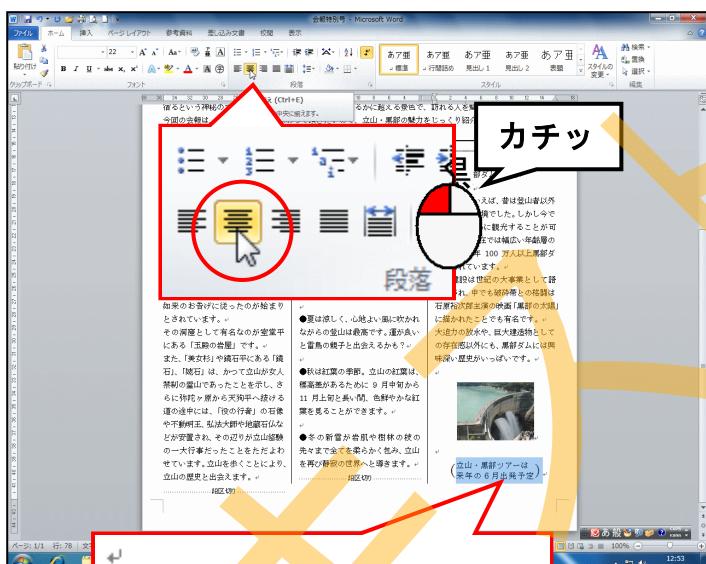
## [フォント] グループ内の 10.5 [フォントサイズ] ボックスを「22」に設定しましょう。



注意!

- [ホーム] タブが表示されていない方は、先に [ホーム] タブをクリックして表示しておきましょう。

「立山・黒部ツアーは来年の6月出発予定」が選択されていることを確認して、[段落] グループ内の [中央揃え] ボタンにポイントし、そのままクリックします。



拡張書式についての補足説明

P221

「会報特別号」を上書き保存して、ワードを終了しておきましょう。

☆☆ここまでくれば、練習問題9で理解度を試してください。☆☆

## 6. 連絡網の作成

ここでは、「立山・黒部を歩こう会」の連絡網を作成してみましょう。

これをマスターすれば、自治会などの連絡網も同様に作成できるようになります。



### 完成例を見る限り、難しそう！

ウメさん「下の完成例を見る限り難しそうで、わたしにできるか不安だわ。」

ケンチャン「ウメさん、大丈夫だよ。先生が付いているんだから、丁寧に教えてもらえるよ。ねっ、先生！」

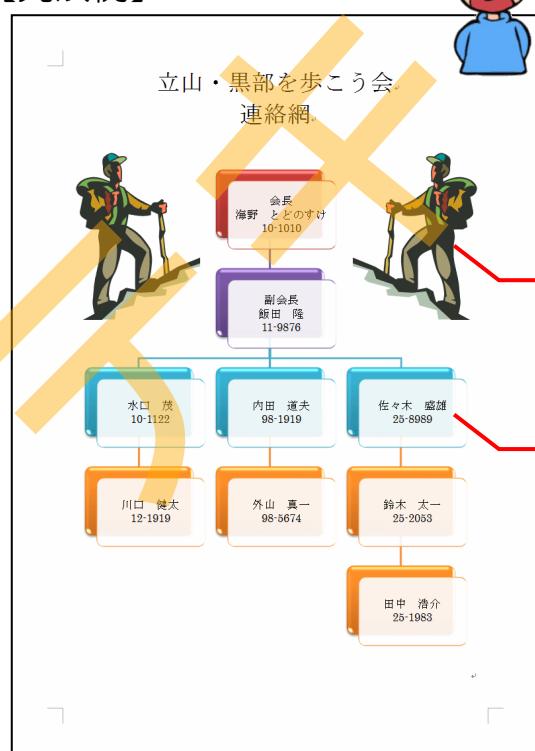
くじら先生「そうですよ、ウメさん。完成例を見ただけでは難しそうに見えるかもしれません、SmartArtグラフィックという機能を使えば、簡単に作成することができます。」

ウメさん「ならいいんだけど、見た目は難しそうじゃない？いろいろとカラフルな色が入っているし、複雑な線もあるし、どう見てもわたしにできそうにないわ。」

くじら先生「大丈夫ですよ。わたしを信じて、このテキストに沿って進めてください。そうすれば、こんなに簡単に作成できるってことが理解できますから・・・わからないことがあれば、その都度質問してくださいね。」



【完成例】



ここでは確認だけです！  
まだ操作しないで！！

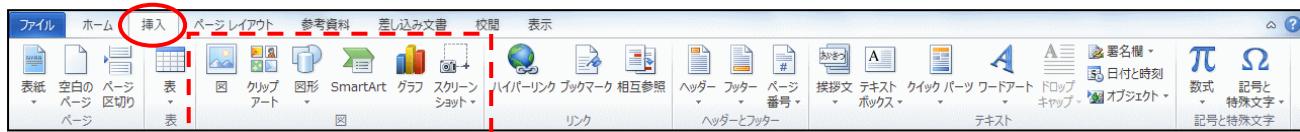
クリップアートの挿入、文字列の折り返し

スマートアート  
SmartArtグラフィック

※操作内容についての詳しいページ番号は、P231 のテキストの手引きで確認できます。

連絡網を作成するには、「SmartArtグラフィック」を使えば、簡単に作成することができます。  
SmartArtグラフィックを挿入するには、[挿入] タブの [図] グループで行います。

## ■ [挿入] タブ

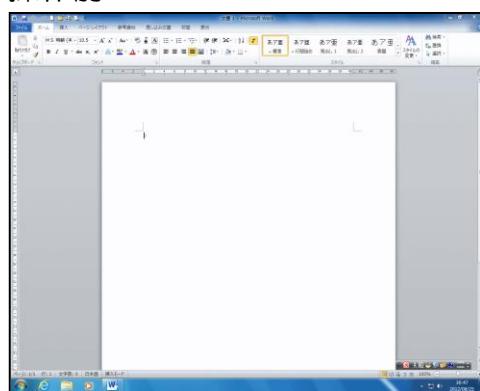


### (1) SmartArtグラフィックの挿入

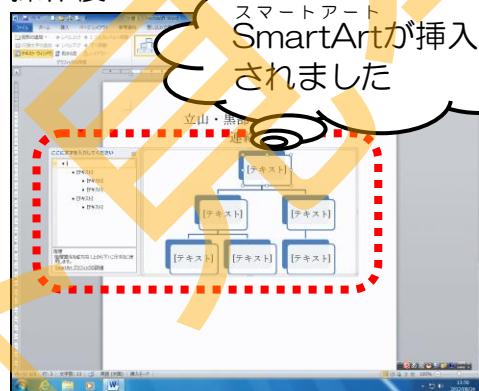
SmartArtグラフィックの「階層」を挿入してみましょう。

◆SmartArtグラフィックの挿入方法をマスターしましょう。

操作前



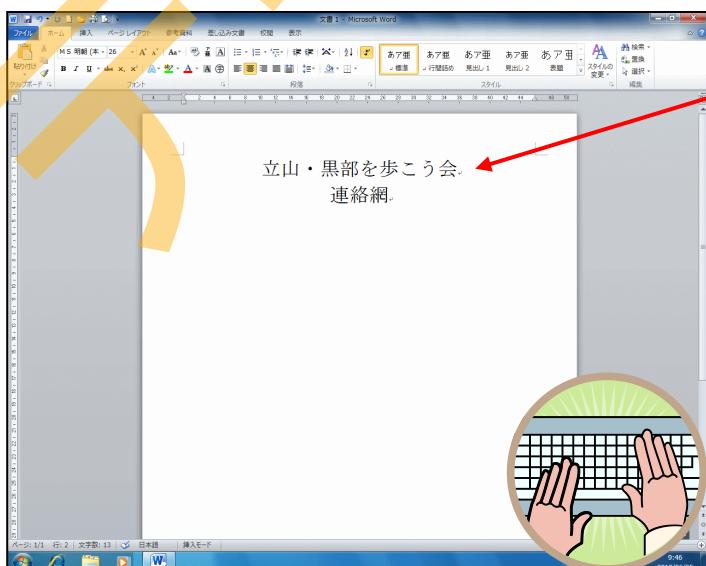
操作後



新しい文書を開き、下のようなページ設定をしましょう。

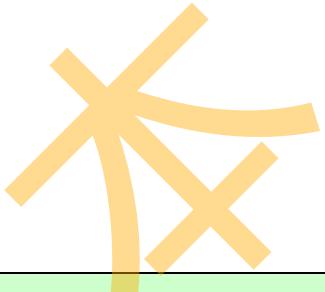
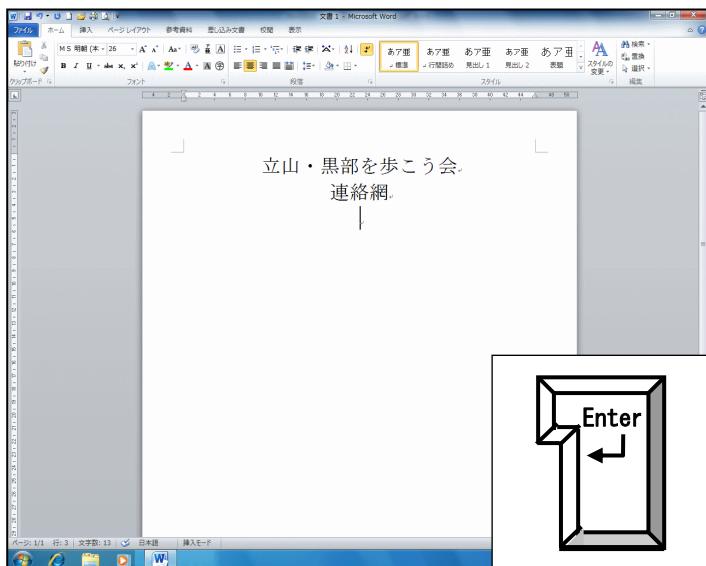
- 用紙サイズ： A4用紙
- 文字方向： 横書き
- 印刷の向き： 縦
- 余白： 上下左右 20mm

「立山・黒部を歩こう会連絡網」を入力して、フォントサイズ「26」、中央揃えに設定します。

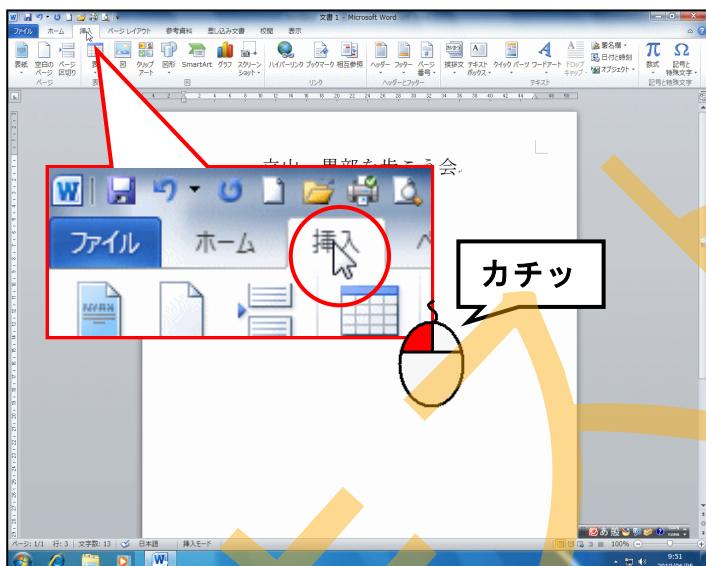


- 「立山・黒部を歩こう会」と「連絡網」の間は、[Enter] キーを押して改行してください。

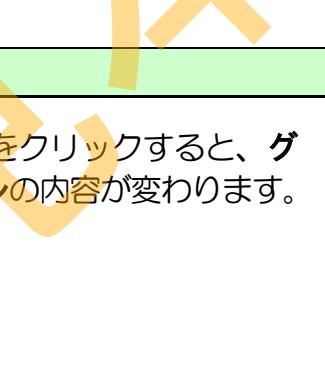
「連絡網」の後にカーソルを移動し、[Enter] キーを押して改行します。



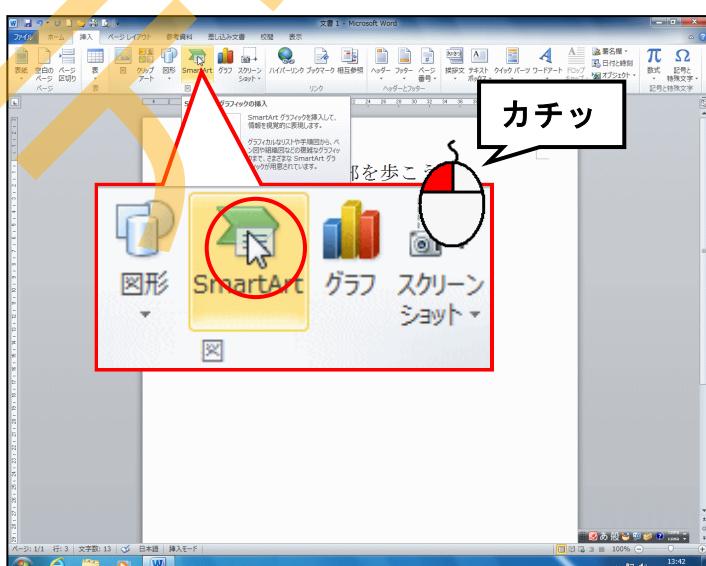
[挿入] タブにポイントし、そのままクリックします。



● [挿入] タブをクリックすると、グループ、ボタンの内容が変わります。



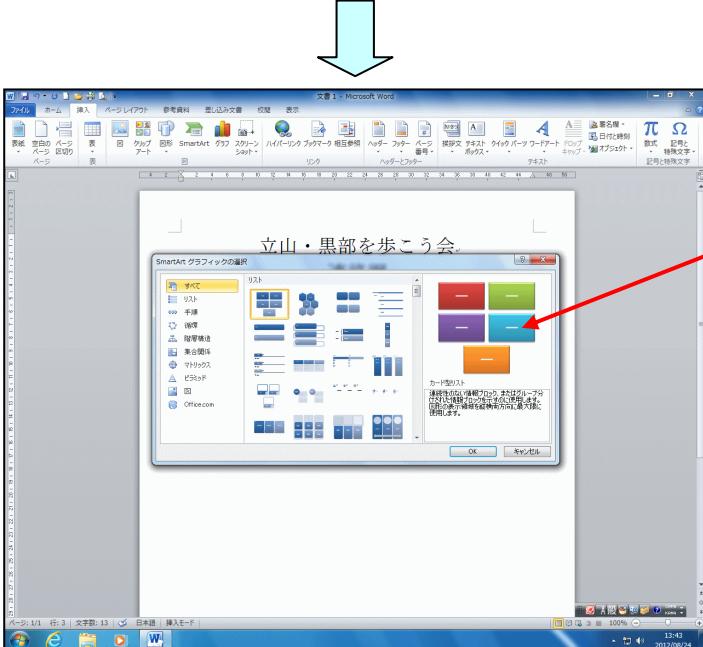
[図] グループ内の [SmartArt グラフィックの挿入] ボタンにポイントし、そのままクリックします。



● リボンが表示されていない方は、P227 リボンの最小化を元に戻すを参照してください。  
(下記のような状態の方)

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 参考資料 差し込み文書 校閲 表示

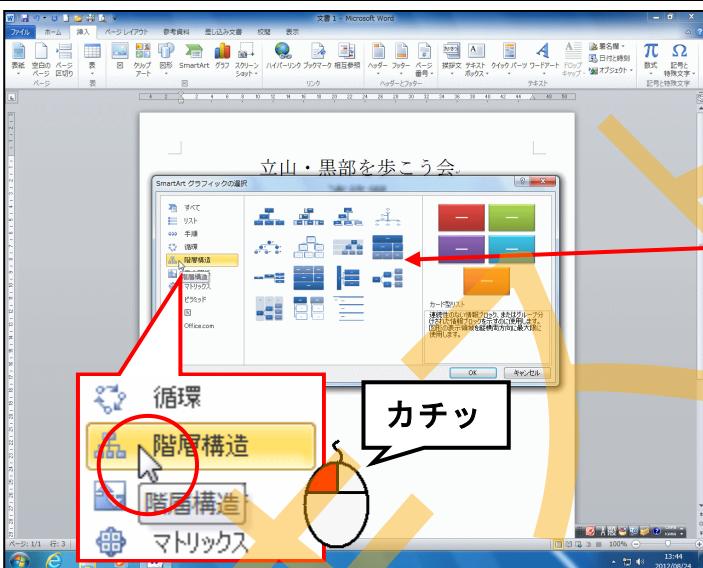




● **[SmartArtグラフィックの挿入]**  
**ボタンをクリックすると、左のように**  
**スマートアート**  
**[SmartArtグラフィックの選択] ダ**  
**イアログボックスが表示されます。**

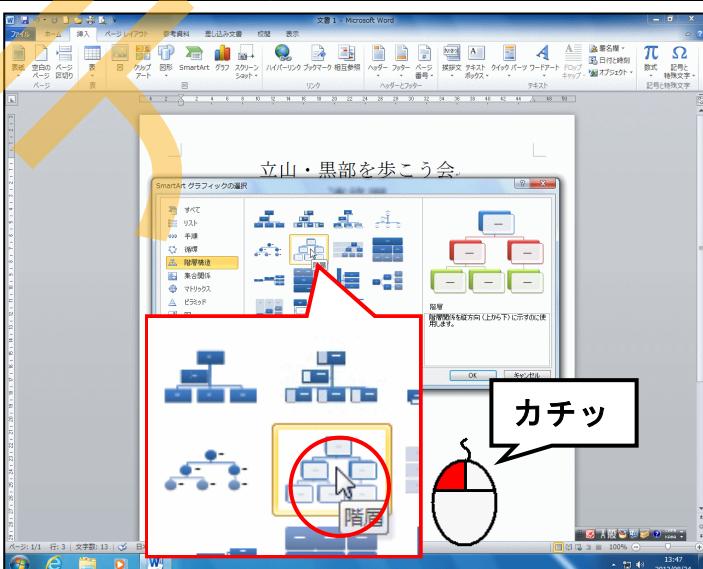


スマートアート  
**[SmartArtグラフィックの選択] ダイアログボックスの左にある [階層構造] にポイントし、  
そのままクリックします。**

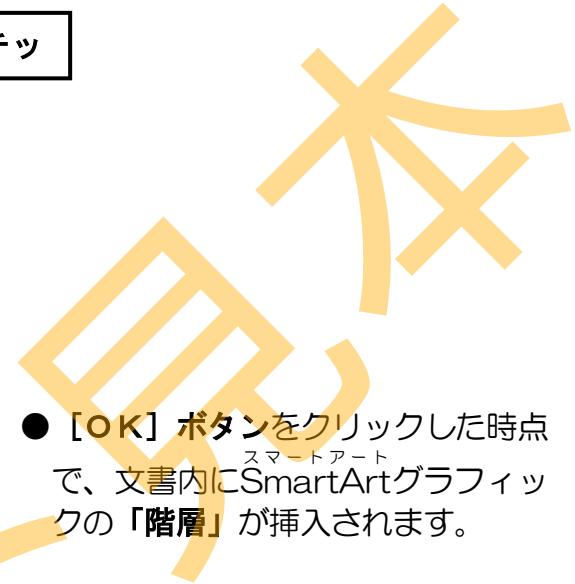
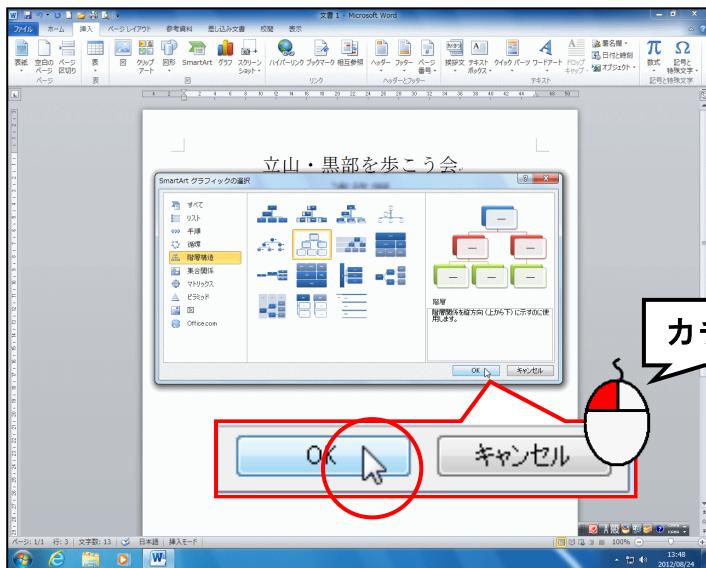


● **[階層構造] をクリックすると、**  
**スマートアート**  
**[SmartArtグラフィックの選択]**  
**ダイアログボックスの中央に表示**  
**されていたSmartArtグラフィック**  
**のリストが「階層構造」に関する**  
**図表だけになります。**

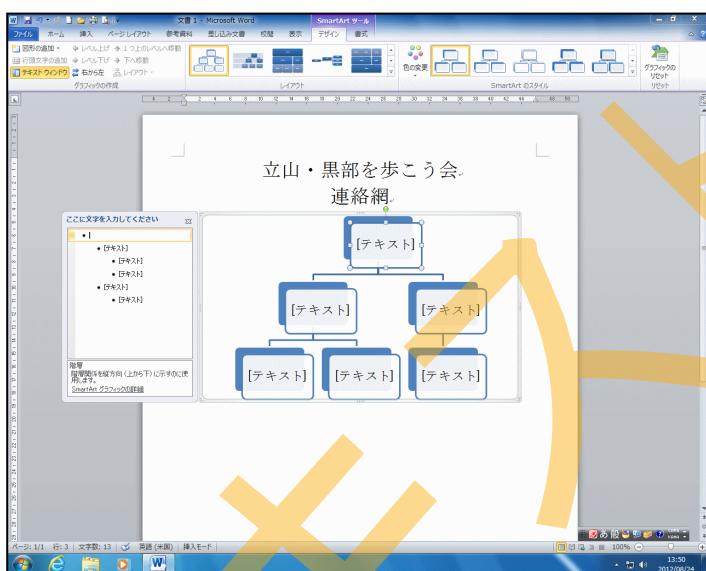
スマートアート  
**[SmartArtグラフィックの選択] ダイアログボックス中央に表示されているグラフィック  
のリストから「階層」にポイントし、そのままクリックします。**



スマートアート  
[SmartArtグラフィックの選択] ダイアログボックス右下にある [OK] ボタンにポイントし、そのままクリックします。

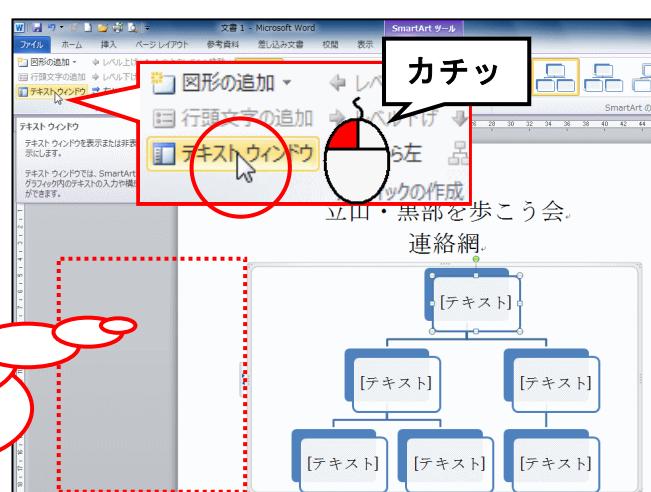


● [OK] ボタンをクリックした時点  
で、文書内にSmartArtグラフィックの「階層」が挿入されます。



スマートアート  
右図のような形でSmartArtグラフィックが挿入された方は、[デザイン] タブの [グラフィックの作成] グループにある テキストウィンドウ [テキストウィンドウ] ボタンをクリックしておきましょう。

ここに何も表示されていない方は、[テキストウィンドウ] ボタンをクリックしておきましょう



ここまでできたら、リムーバブルディスクに「連絡網」という名前で保存しましょう。

## (2) 階層の形状の変更

画面に挿入された階層は完成例と異なります。

ここでは、完成例の形に階層の形状を変更してみましょう。



### 図形や線を消したり増やしたり、やっぱり大変そう！

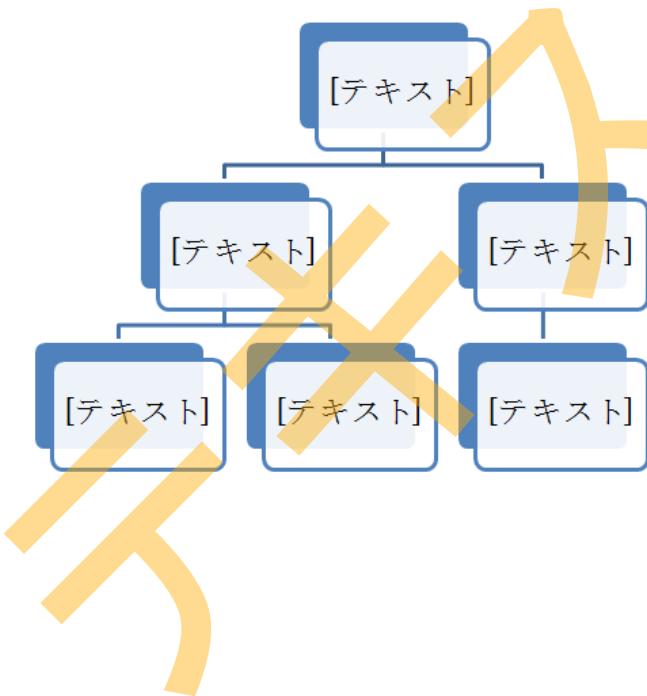
ウメさん「下のように変更するためには、図形を増やしたり、消したり、いろいろと操作が大変そうなんだけど、先生、できるかしら？」

ケンちゃん「僕も不安になってきたよ！先生の言うことを信じてやってきてきたけど、下の複雑な図を見るとすごく難しそう・・・」

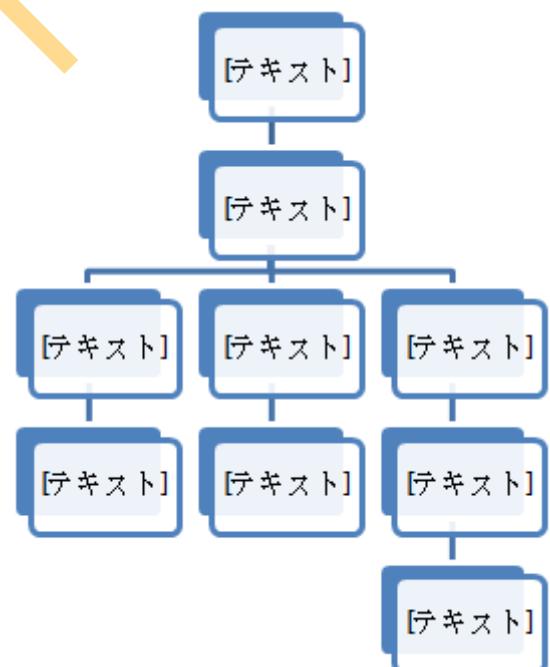
くじら先生「ウメさんもケンちゃんも大丈夫ですよ！複雑な図形も簡単に変更できるということをきっと理解してもらえると思います。それが今度追加された機能なのですから。」



現在の形状



完成例の形状



## ① 図形の追加

スマートアート  
SmartArtグラフィックもクリップアートや表などと同じように、選択すると「コンテキストツール」が表示されます。SmartArtグラフィックの場合に表示されるSmartArtツールは、[表示]タブの右側に2種類のタブが表示されます。塗りつぶしの色や線の色を一度に設定できるスタイルや図形を追加したりする[デザイン]タブ、塗りつぶしの色や線の色をより詳細に設定できる[書式]タブが表示されます。

### ■ SmartArtツール [デザイン] タブ



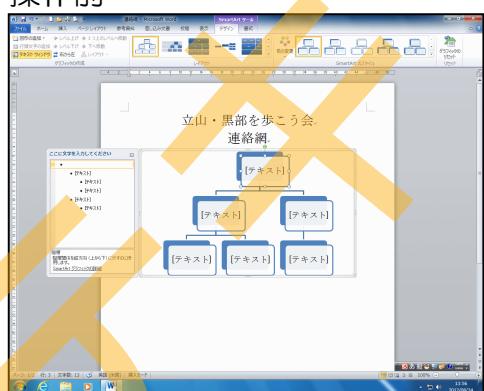
### ■ SmartArtツール [書式] タブ



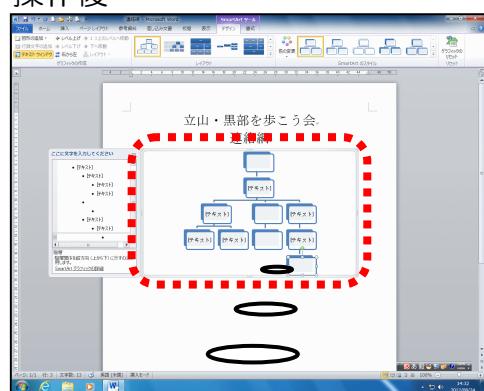
ここでは、SmartArtツール [デザイン] タブを使って図形を追加してみましょう。図形を追加する場合は、選択した図形の「上」、「下」、「前」、「後」のいずれかを指定して追加します。

### ◆ 階層に図形を追加する方法をマスターしましょう。

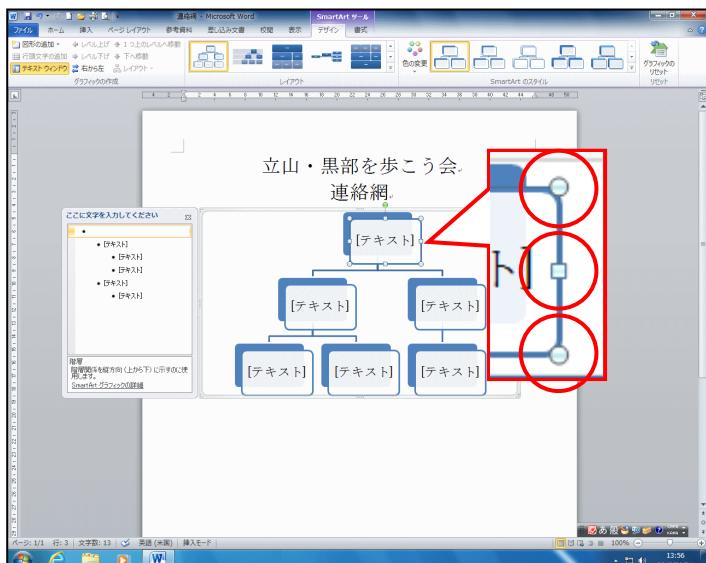
#### 操作前



#### 操作後



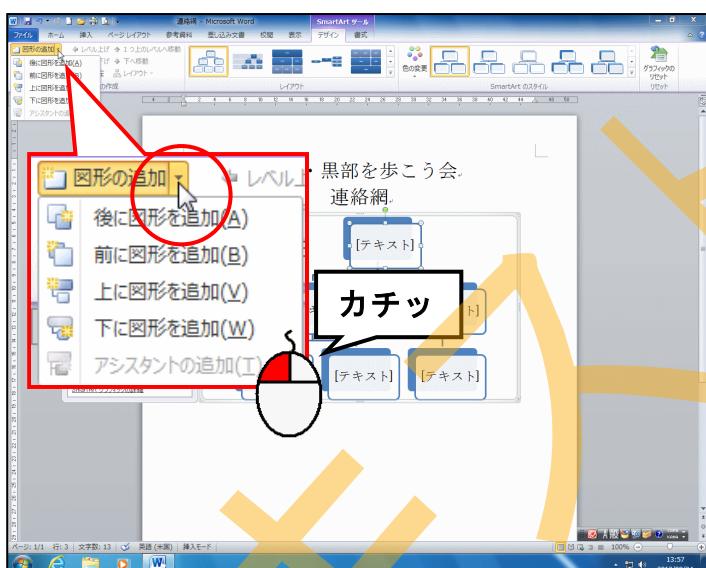
## 一番上の图形が選択されていることを確認します。



● 一番上の图形の周りに ● や □ が表示されていれば、選択されています。表示されていなければ、一番上の图形にポイントしマウス pointer が ↓ になったところでクリックして選択しておきましょう。



[グラフィックの作成] グループにある 図形の追加 ▾ [図形の追加] ボタンの右にある▼にポイントし、そのままクリックします。

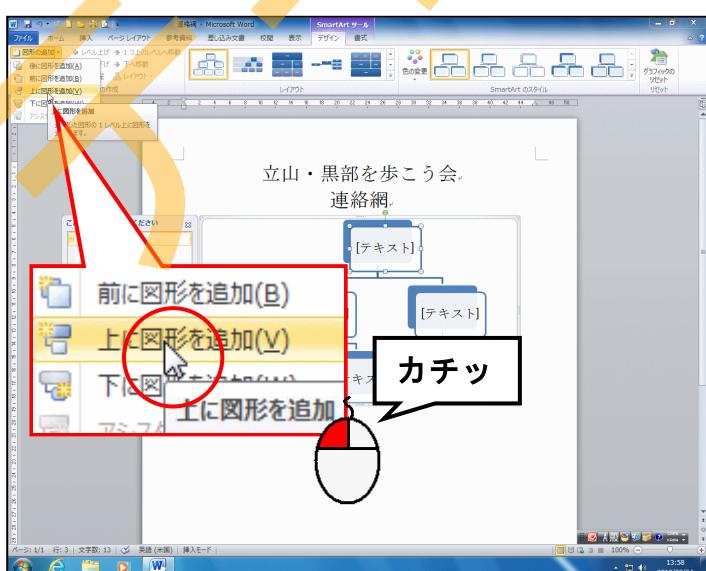


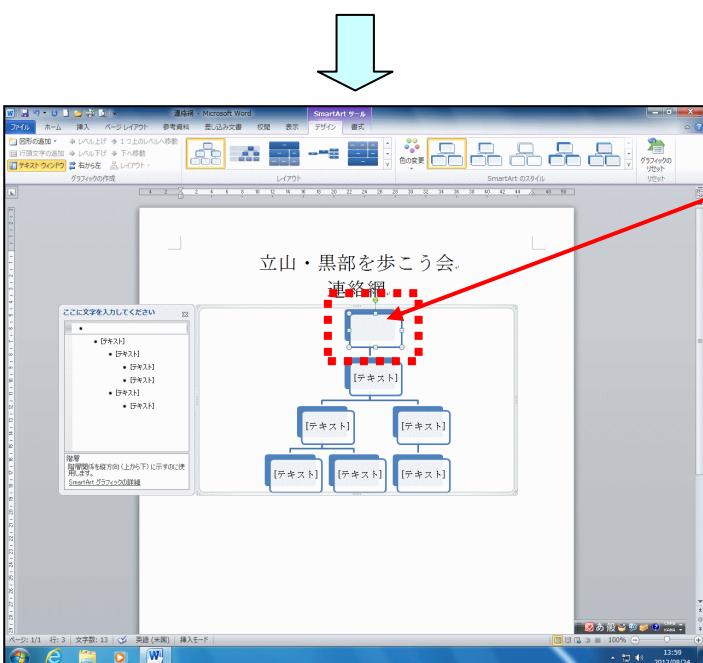
注意!

● 図形の追加 ▾ の右にある▼をクリックしましょう。  
間違って 図形の追加 をクリックしてしまうと、思った位置に図形は追加されません。



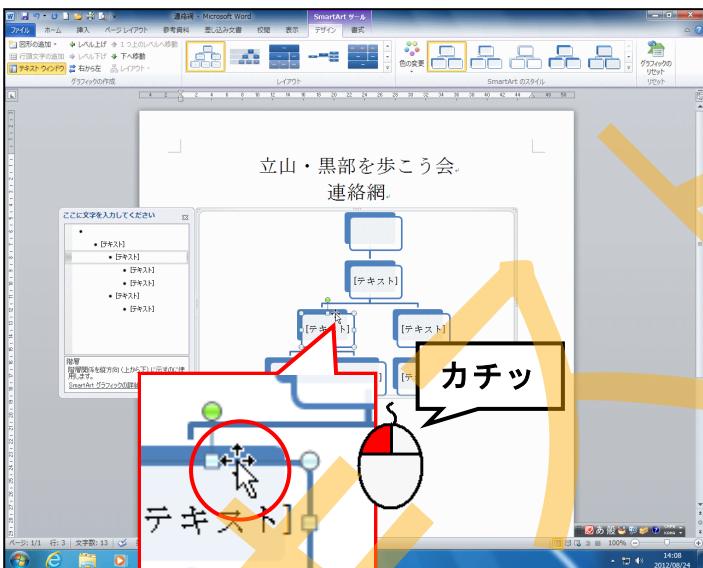
表示されたメニューから [上に图形を追加(V)] にポイントし、そのままクリックします。





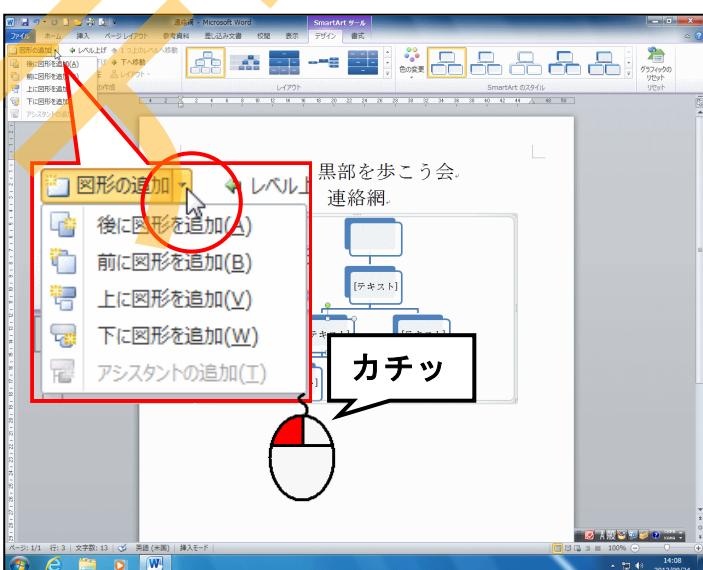
● [上に図形を追加(V)] をクリックすると、左のように選択した図形の上に図形が1つ追加されました。

上から3つ目の左側の図形にポイントし、そのままクリックします。



● 上から3つ目の図形の右側に図形を追加します。

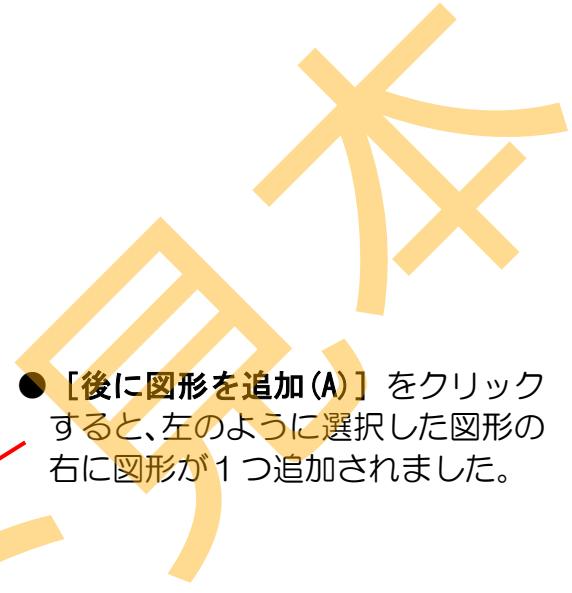
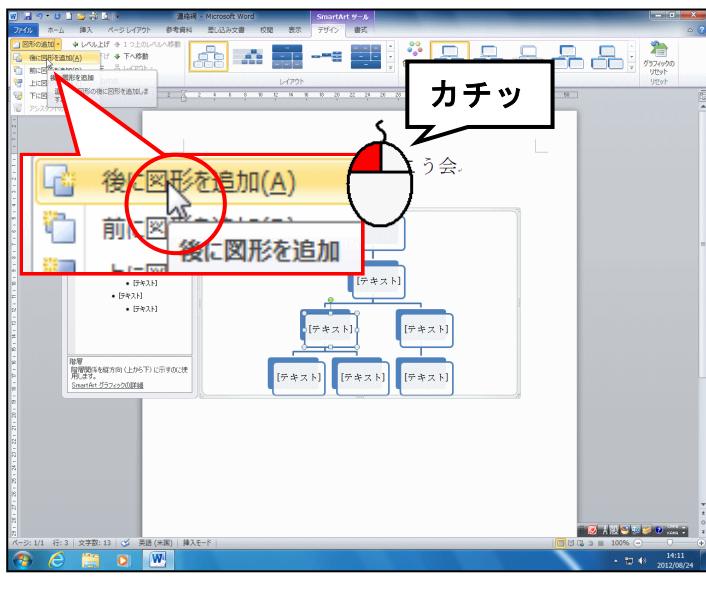
[グラフィックの作成] グループにある [図形の追加] ▾ [図形の追加] ボタンの右にある▼にポイントし、そのままクリックします。



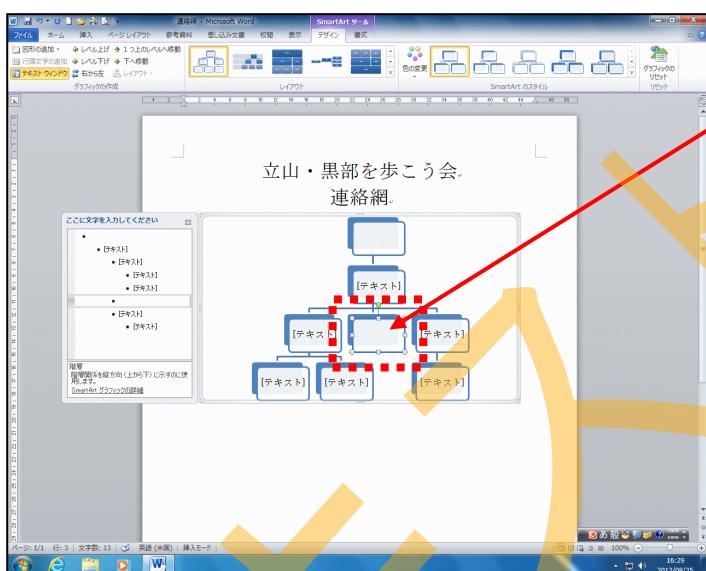
● [図形の追加] ▾ の右にある▼をクリックしましょう。  
間違って [図形の追加] をクリックしてしまうと、思った位置に図形は追加されません。



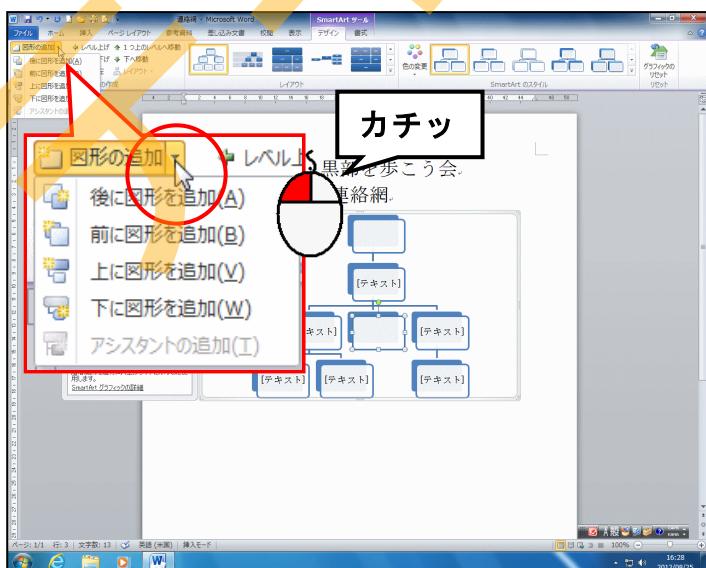
表示されたメニューから【後に图形を追加(A)】にポイントし、そのままクリックします。



● 【後に图形を追加(A)】をクリックすると、左のように選択した图形の右に图形が1つ追加されました。



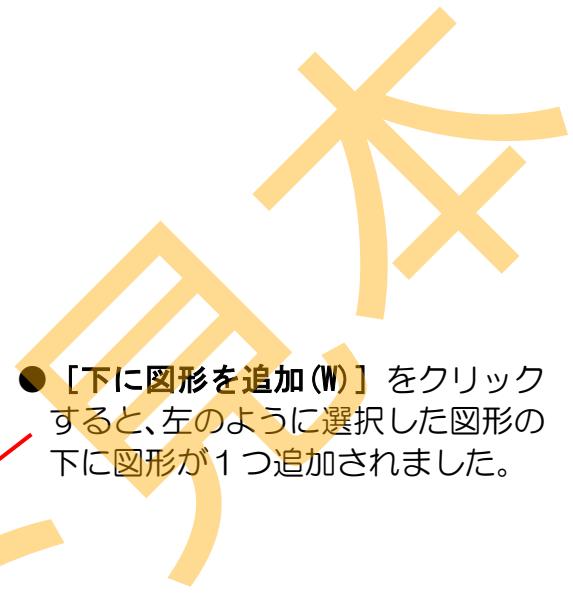
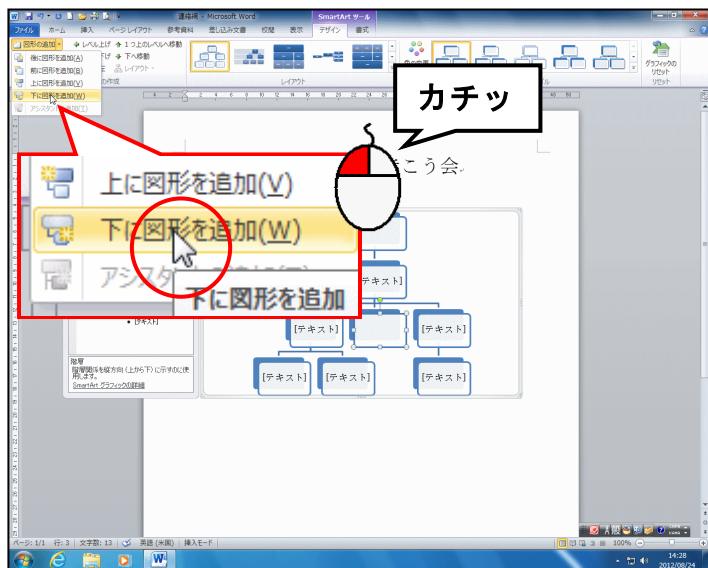
追加された图形が選択された状態で、[グラフィックの作成] グループにある [图形の追加] ボタンの右にある▼にポイントし、そのままクリックします。



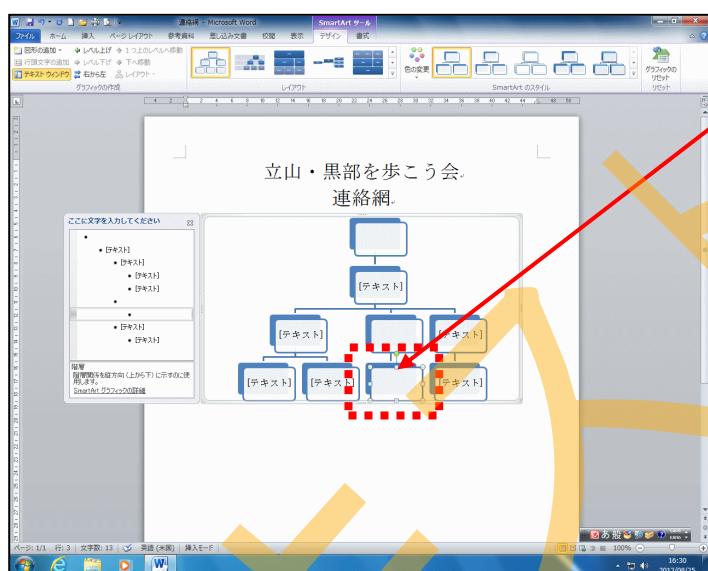
● [图形の追加] の右にある▼をクリックしましょう。  
間違って [图形の追加] をクリックしてしまうと、思った位置に图形は追加されません。



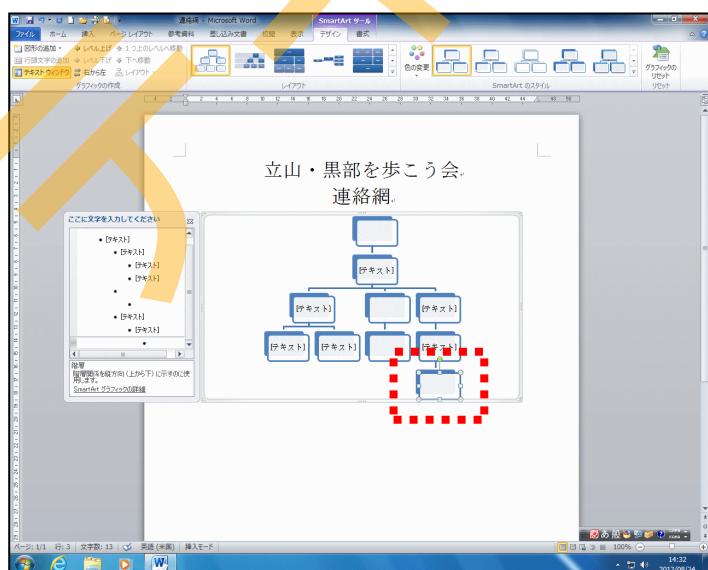
表示されたメニューから【下に図形を追加(W)】にポイントし、そのままクリックします。



●【下に図形を追加(W)】をクリックすると、左のように選択した図形の下に図形が1つ追加されました。



同様にして、右端の一番下の図形の下に図形を追加します。

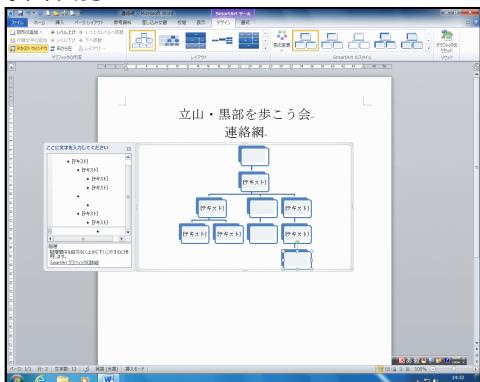


## ② 図形の削除

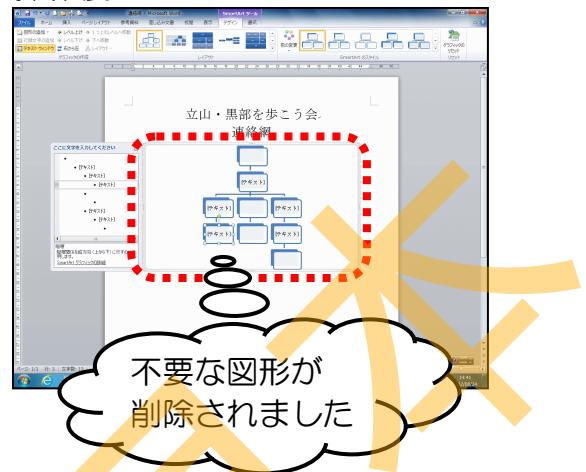
不要な四角形の図形を削除してみましょう。

◆不要な図形を削除する方法をマスターしましょう。

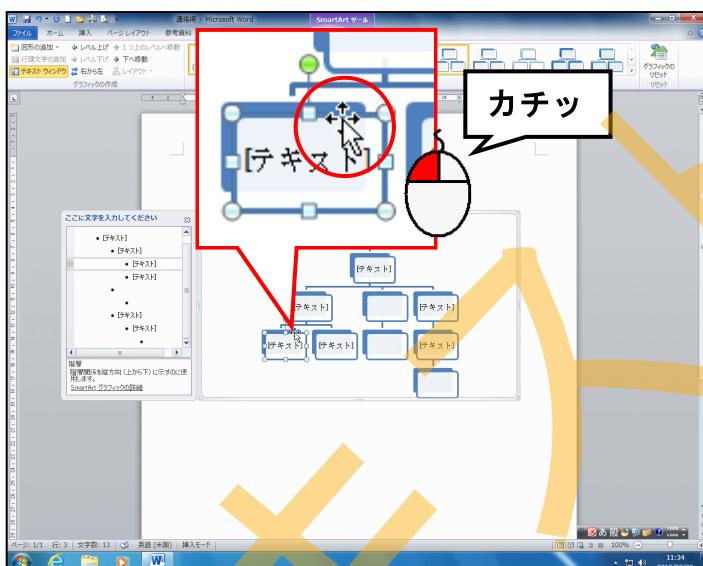
操作前



操作後



左の一番下にある図形にポイントし、そのままクリックします。



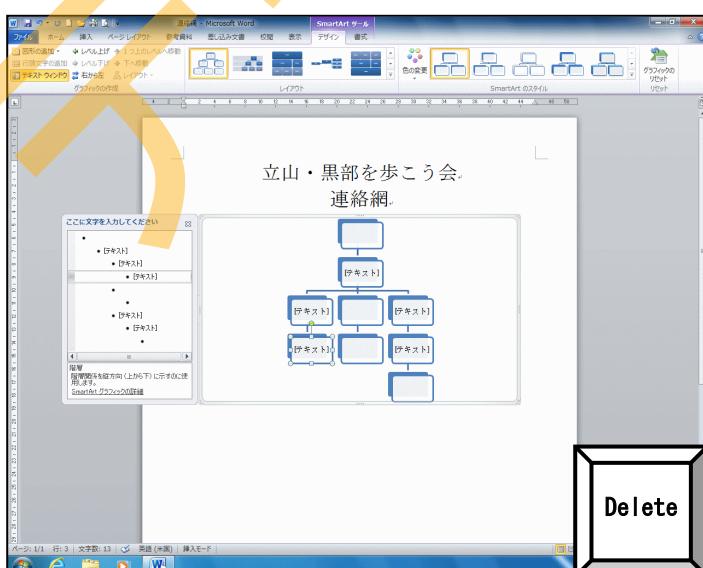
●左の一番下にある図形を削除する  
ために選択します。

注意!

●マウスポインターが の形にな  
っていることを確認してから、クリ  
ックしてください。 の状態でク  
リックすると、図形の中にカーソル  
が表示されてしまいます。



[Delete] キーを押します。



● [Delete] キーを押すと選択して  
いた図形が削除されます。

### (3) 挿入した図形に文字を入力

图形に文字を入れると言ったって、すでに「テキスト」という文字が入っているよ？



ケンちゃん「先生。图形の中に文字を入れると言っても、すでに「テキスト」という文字が入っているものもあるよ？」

くじら先生「ケンちゃんの言うとおり、すでに「テキスト」という文字が入っている图形もあります。しかし、これは仮の文字なので、新しく文字を入力すると消えますから、安心してください。」

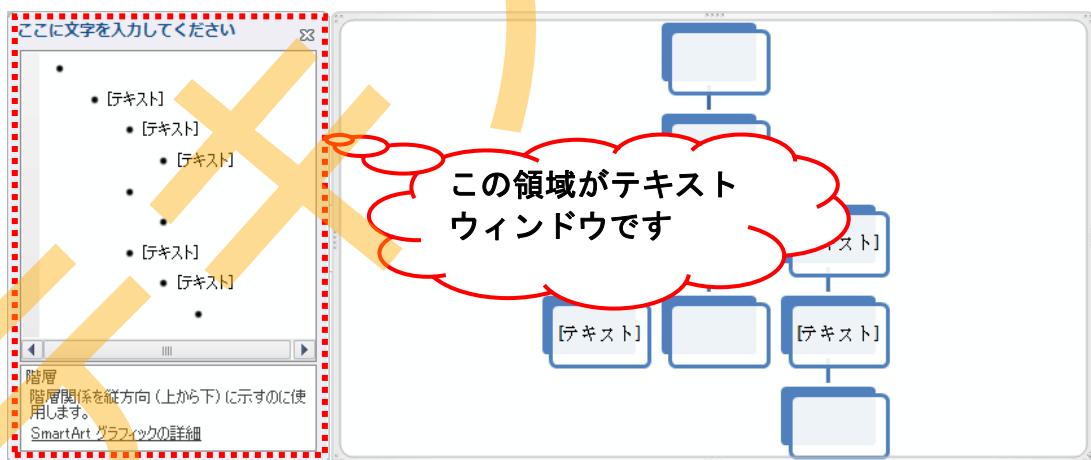
ウメさん「なるほど。  
でも、图形を増やしたことで、すごく小さな图形になったわねえ。  
これじゃ、全部の文字が图形の中に入るか心配だわ。」

くじら先生「ウメさん。それも心配いりませんよ。文字を入力していて、入りきらなくなったら、勝手に文字のサイズを小さくしてくれますから。」

挿入した图形に文字を入力します。SmartArtを使って图形を挿入した場合、[テキストウィンドウ]を使えば、簡単に文字を入力することができます。

#### ■ テキストウィンドウ

テキストウィンドウとは、SmartArtを使って图形を挿入した際に表示される文字を入力するための領域です。テキストウィンドウに文字を入力すると、選択されている图形にその文字が反映されます。



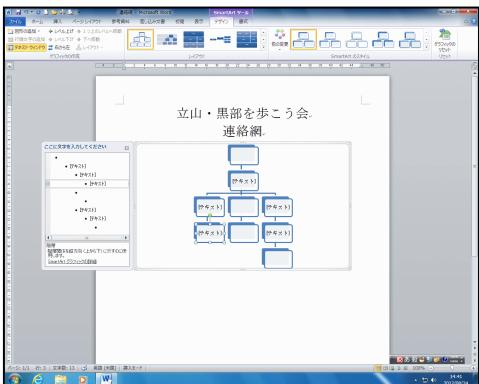
注意!

[テキストウィンドウ] が画面上に表示されていない場合は、[デザイン] タブの [テキスト ウィンドウ] [テキストウィンドウ] ボタンをクリックして表示します。

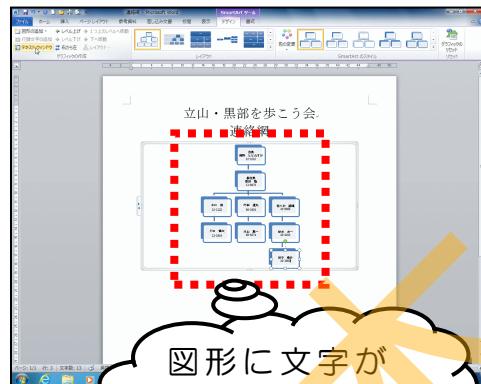


◆ [テキストウィンドウ] を使って図形に文字を入力する方法をマスターしましょう。

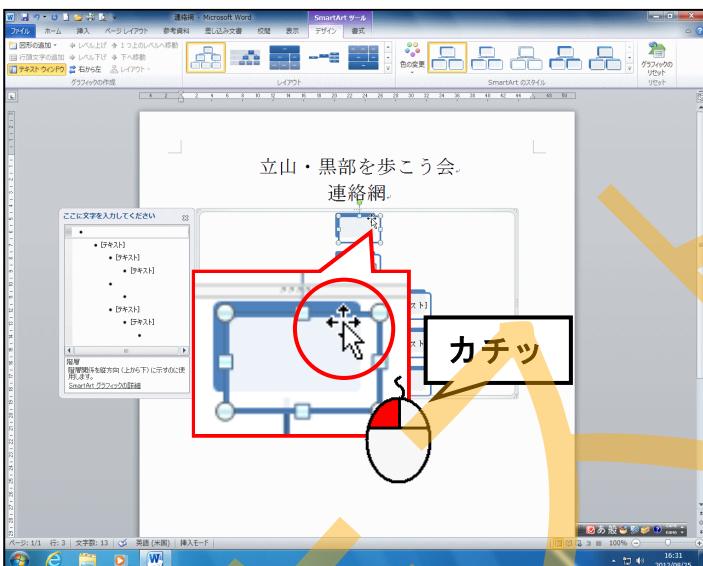
操作前



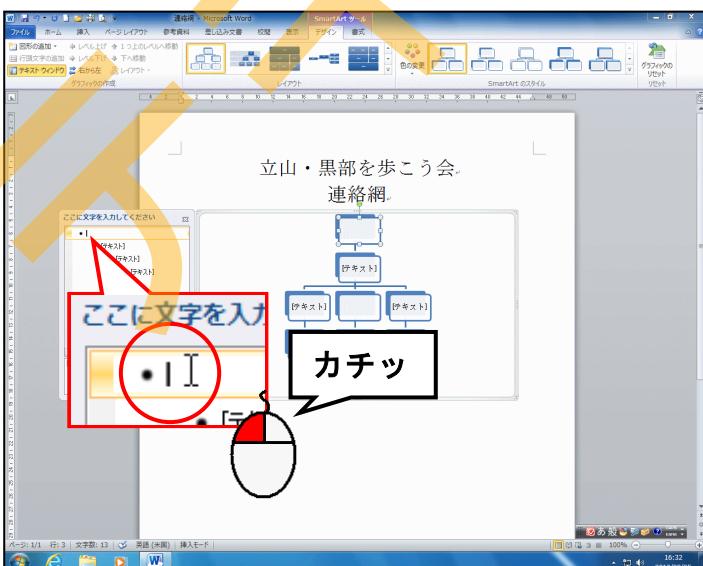
操作後



一番上の図形にポイントし、そのままクリックします。

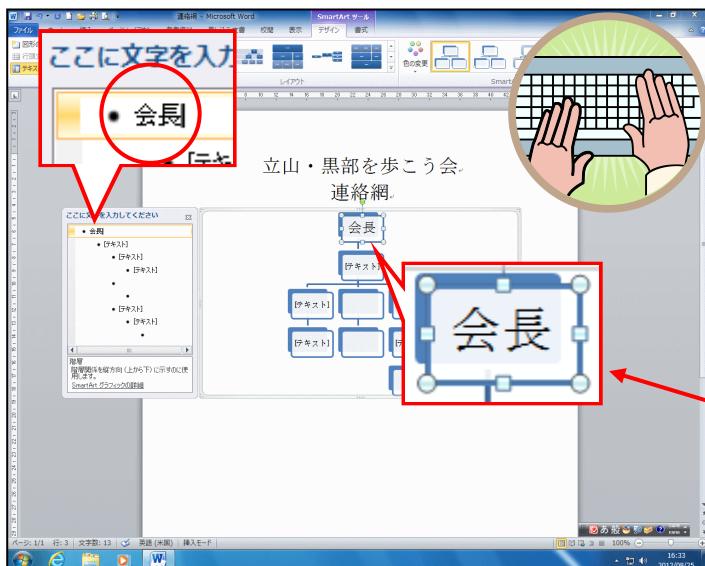


[テキストウィンドウ] の一番上の「・」の右にポイントし、そのままクリックします。



● [テキストウィンドウ] 内をクリックすると、カーソルが表示されます。

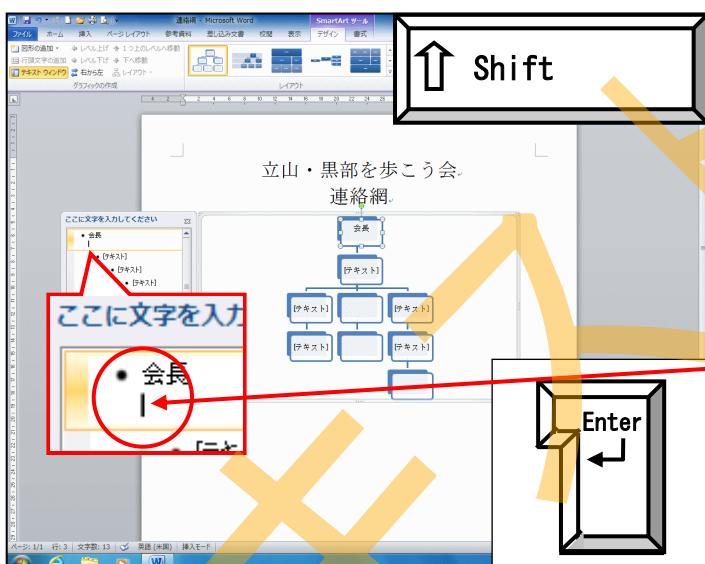
## 「会長」と入力し、入力した文字を確定します。



- [Enter] キーを押しすぎると、1 件目の入力情報が確定てしまい、図形が増えてしまいます。  
図形が増えてしまった場合は、[クリックアクセス] ツールバーにある 「元に戻す」 ボタンをクリックしましょう。

- [テキストウィンドウ] に入力した情報は、選択されている図形（図形の周りに や が表示されている図形）に反映されます。

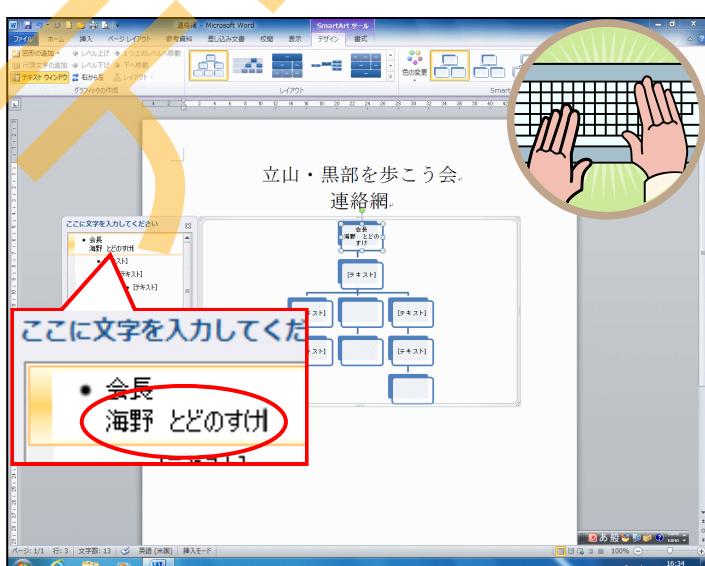
## 入力した「会長」の最後にカーソルが表示されていることを確認して、[Shift] キーを押した状態で [Enter] キーを押します。



- 必ず [Shift] キーを押した状態で [Enter] キーを押してください。  
[Enter] キーだけを押すと図形が増えてしまいます。  
図形が増えてしまった場合は、[クリックアクセス] ツールバーにある 「元に戻す」 ボタンをクリックし、もう一度操作しましょう。

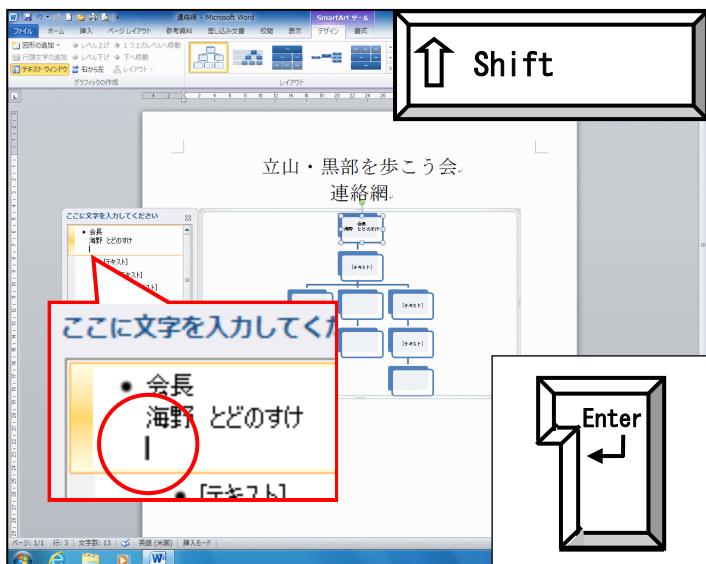
- [Shift] キーを押した状態で [Enter] キーを押すと 1 件目の入力情報内で改行されます。

## 「海野 とどのすけ」と入力し、入力した文字を確定します。



- [Enter] キーを押しすぎると、1 件目の入力情報が確定てしまい、図形が増えてしまいます。  
図形が増えてしまった場合は、[クリックアクセス] ツールバーにある 「元に戻す」 ボタンをクリックしましょう。

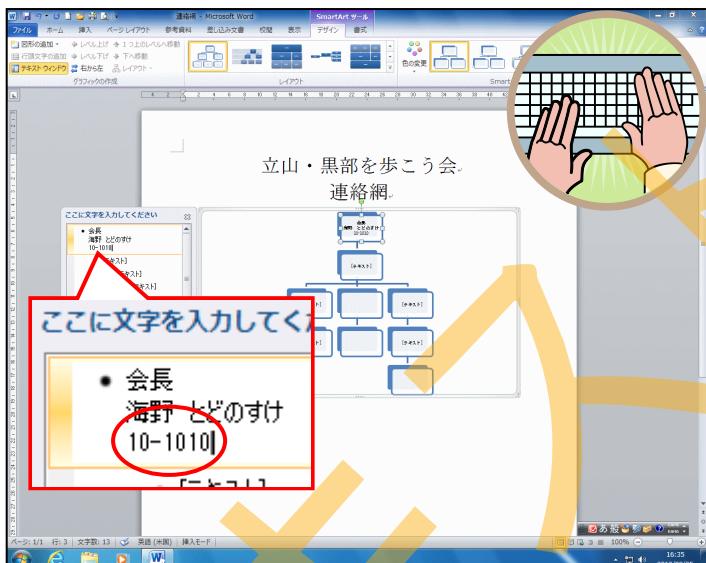
入力した「海野 とどのすけ」の最後にカーソルが表示されていることを確認して、[Shift] キーを押した状態で [Enter] キーを押します。



注意!

- 必ず [Shift] キーを押した状態で [Enter] キーを押してください。 [Enter] キーだけを押すと図形が増えてしまいます。 図形が増えてしまった場合は、[クリックアクセス] ツールバーにある 「元に戻す」 ボタンをクリックし、もう一度操作しましょう。

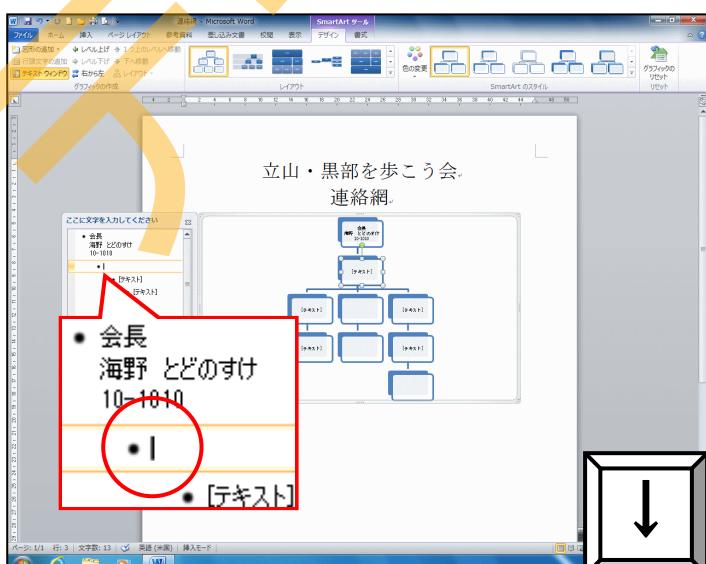
「10-1010」と入力し、入力した文字を確定します。



注意!

- [Enter] キーを押しすぎると、1 件目の入力情報が確定てしまい、図形が増えてしまいます。 図形が増えてしまった場合は、[クリックアクセス] ツールバーにある 「元に戻す」 ボタンをクリックしましょう。

入力した「10-1010」の最後にカーソルが表示されていることを確認して、[↓] キーを押します。



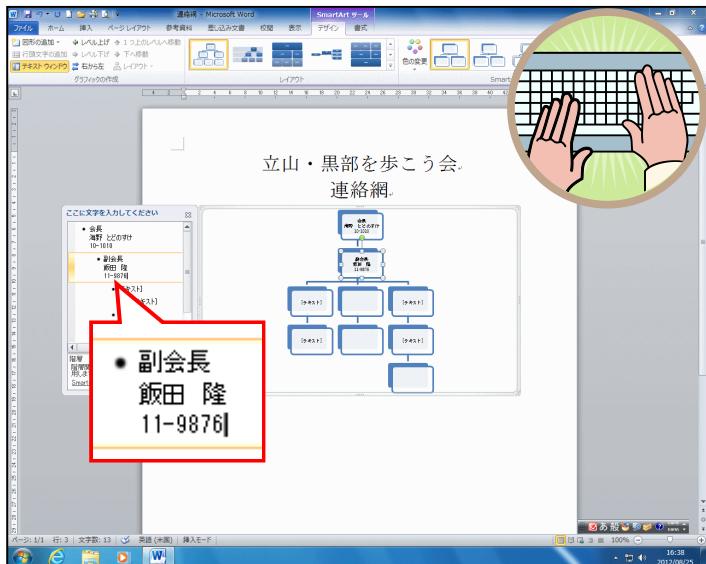
- [↓] キーを押すと、1 件目の入力情報が確定し、2 件目にカーソルが移動します。

注意!

- 間違えて [Enter] キーを押すと、図形が横に追加されてしまいます。 追加されてしまった場合は、[クリックアクセス] ツールバーにある 「元に戻す」 ボタンをクリックし、もう一度操作しましょう。

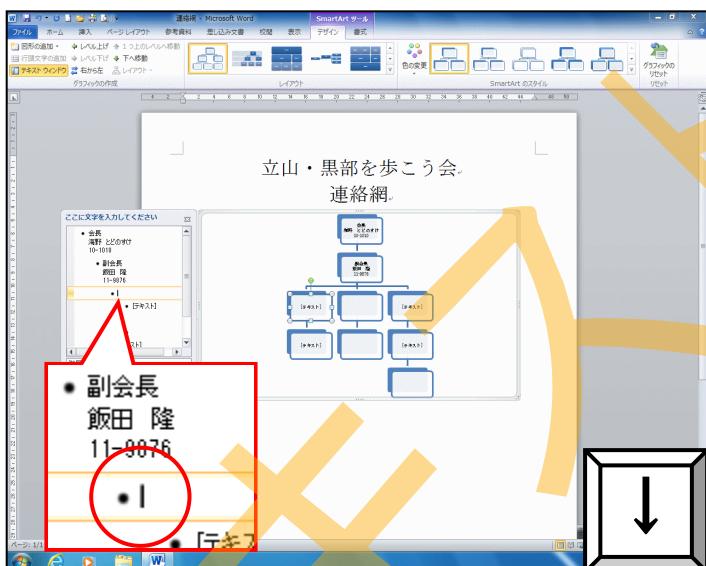
- また [テキストウィンドウ] の2 件目にカーソルが移動すると同時に 2 つ目の図形が選択されます。

[テキストウィンドウ] の2件目にカーソルが表示されていることを確認して「副会長」、「飯田 隆」、「11-9876」をそれぞれ改行しながら入力します。



- 改行の方法を忘れた方は、P180 を参照してください。

入力した「11-9876」の最後にカーソルが表示されていることを確認して、[↓] キーを押します。



- [↓] キーを押すと、2件目の入力情報が確定し、3件目にカーソルが移動します。



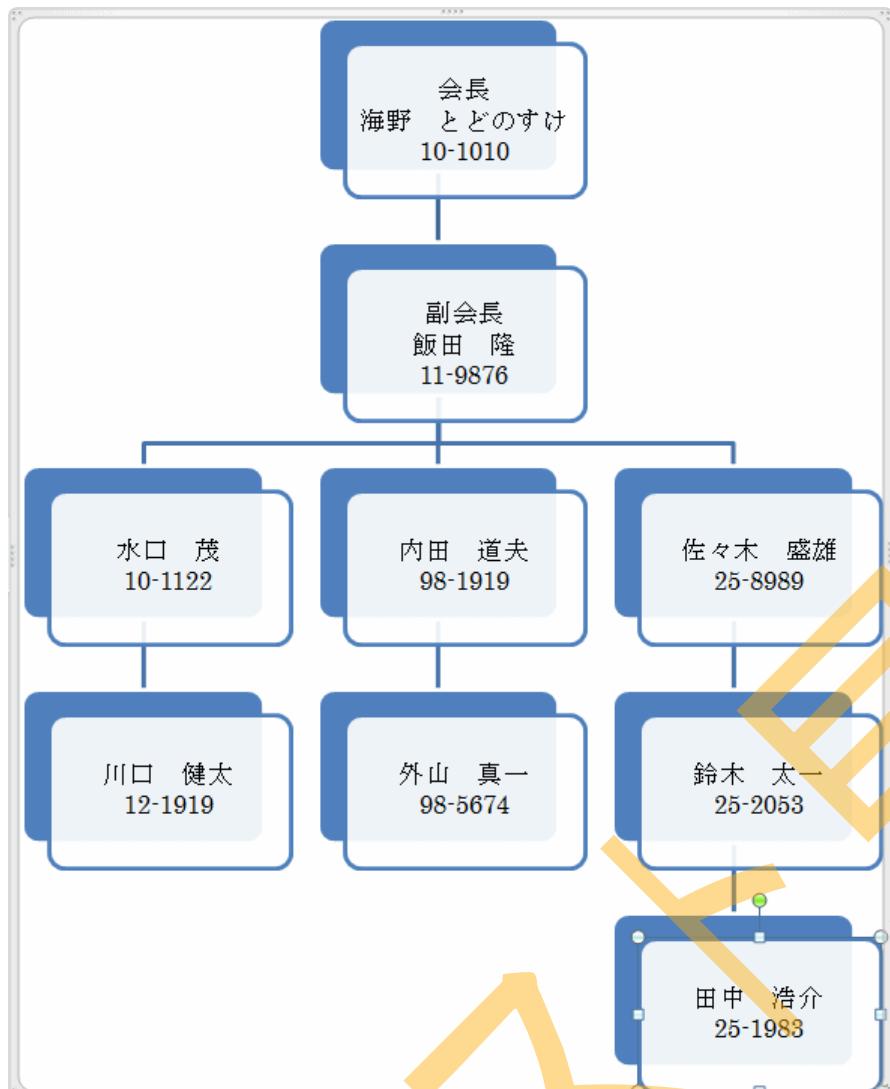
- 間違えて [Enter] キーを押すと、図形が横に追加されてしまうので注意しましょう。追加されてしまった場合は、[クイックアクセス] ツールバーにある「元に戻す」ボタンをクリックし、もう一度操作しましょう。

- また [テキストウィンドウ] の3件目にカーソルが移動すると同時に3つ目の図形が選択されます。

スマートアート  
SmartArtに文字を直接入力する

P222

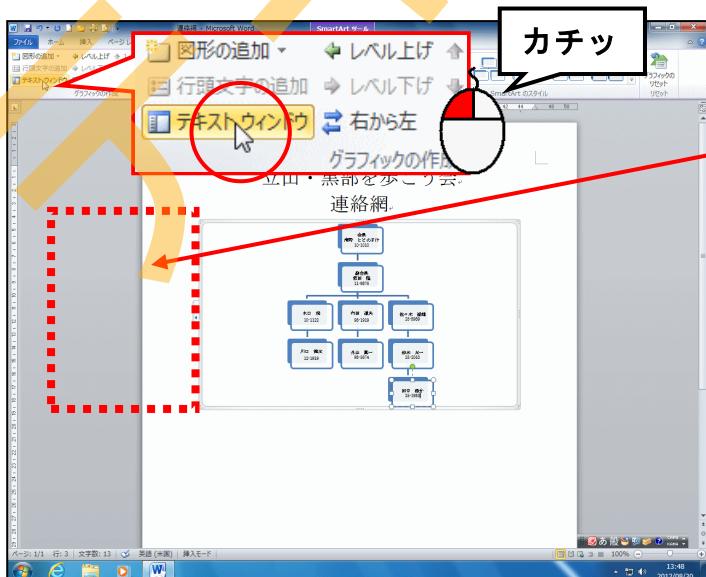
これまでの要領で次のようにすべての図形に文字を入力します。



入力するときに、どの図形が選択されているか  
よく確認をしてから入力するようにしましょう。



すべての入力が完了したら、[デザイン] タブの [グラフィックの作成] グループにある  
[テキスト ウィンドウ] ボタンにポイントし、そのままクリックします。



● [テキスト ウィンドウ] ボタンをクリックすると、[テキスト ウィンドウ] が画面から消えます。

#### (4) スマートアート

スマートアート  
SmartArtのサイズを縦に少し大きくしてみましょう。



## 1つ1つ图形の大きさを変更するなんて大変そうだね！

ケンちゃん「先生。たくさん图形があるので、全部大きさを変えるのは大変だね！」

ウメさん「そうよね。それに大きさを変えるのはいいけど、1つ1つの大きさがマチマチになったら、見た目もよくないわ！」

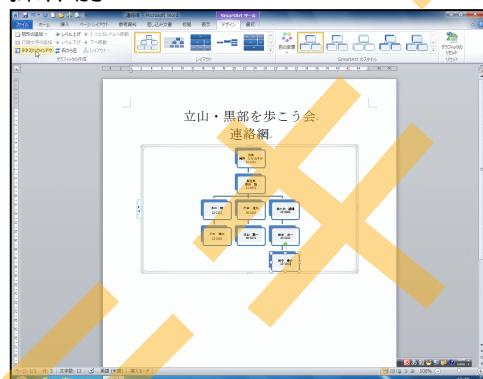
くじら先生「大丈夫ですよ。すべての图形を1回の操作で大きくしたり、小さくしたりすることができます。だから、大きさが違ったりせずにすべて同じ大きさになります。」

ウメさん「それなら、安心ね。ケンちゃんの言うように、1つ1つ変えないといけないのなら大変なものね。」

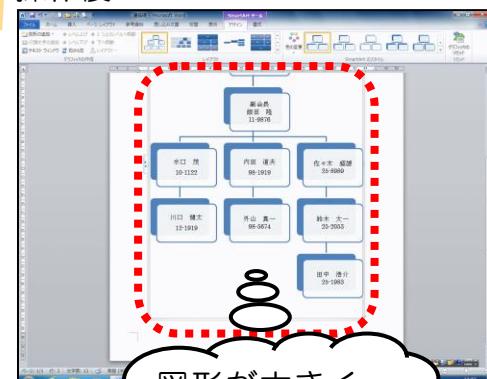


◆SmartArtのサイズを変更する方法をマスターしましょう。

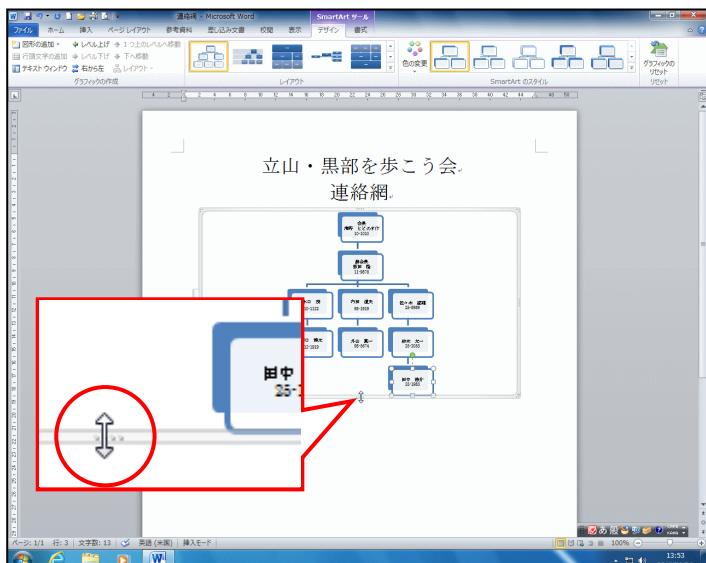
操作前



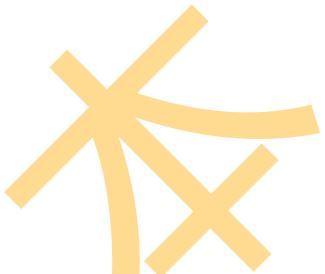
操作後



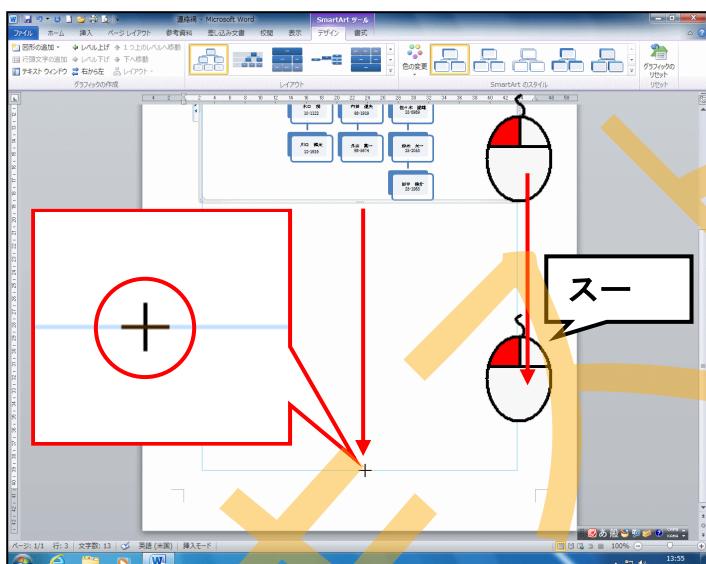
図形の下にある [-----] にポイントします。



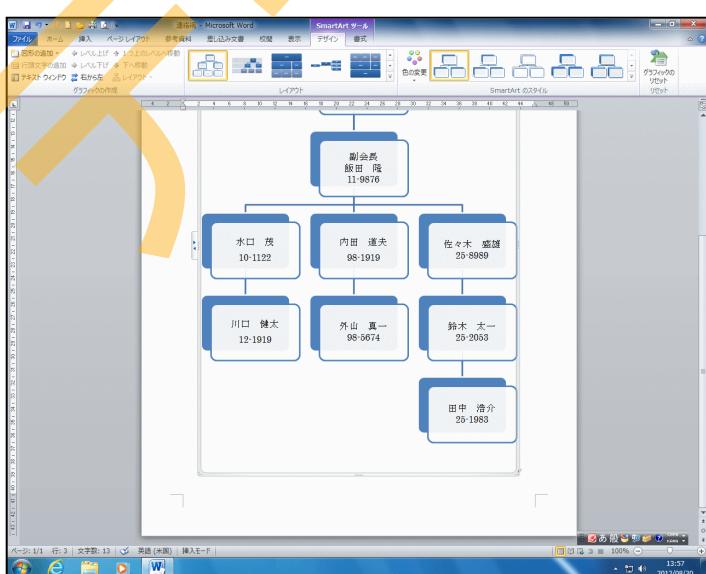
- [-----] にポイントすると、マウスポインターの形が ↓ になります。



マウスポインターの形が ↓ になっていることを確認して、下図を参考に下余白より少し上の位置までドラッグします。



- ドラッグ中、マウスポインターの形は + になっています。



- マウスから指を離した時点で、SmartArtのサイズが大きくなります。それに比例して入力した文字のサイズも大きくなります。

サイズ変更前



サイズ変更後



## (5) スマートアート



スマートアート  
SmartArtの色を変更してみましょう。

図形も大きくなつて文字も見やすくなつたけど、色が一色つていうのがねえ…

ウメさん「文字がすごく小さくて見にくかったのが、図形を大きくして見やすくなつたけど、何か物足りないわね。色が一色だからかね？」

ケンちゃん「そうだね。  
でも、ウメさん。これだけの図形の色を変えるとなると大変だよ？」

ウメさん「大丈夫よ。先生がいい方法を教えてくれるから。ねっ、先生！！」

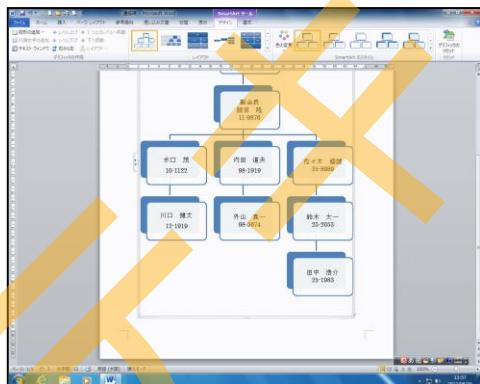
くじら先生「はい、ありますよ、いい方法が。  
簡単な操作ですべての図形の色を変えることができます。」

ウメさん「やっぱりあった！！  
じゃ、早速やってみよう！！」



◆SmartArtの色を変更する方法をマスターしましょう。

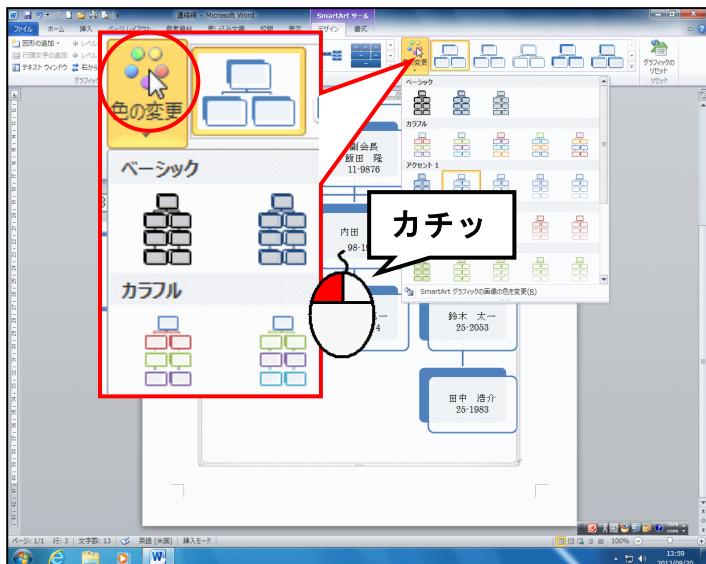
操作前



操作後



スマートアート  
[SmartArtのスタイル] グループにある [色の変更] ボタンにポイントし、そのままクリックします。



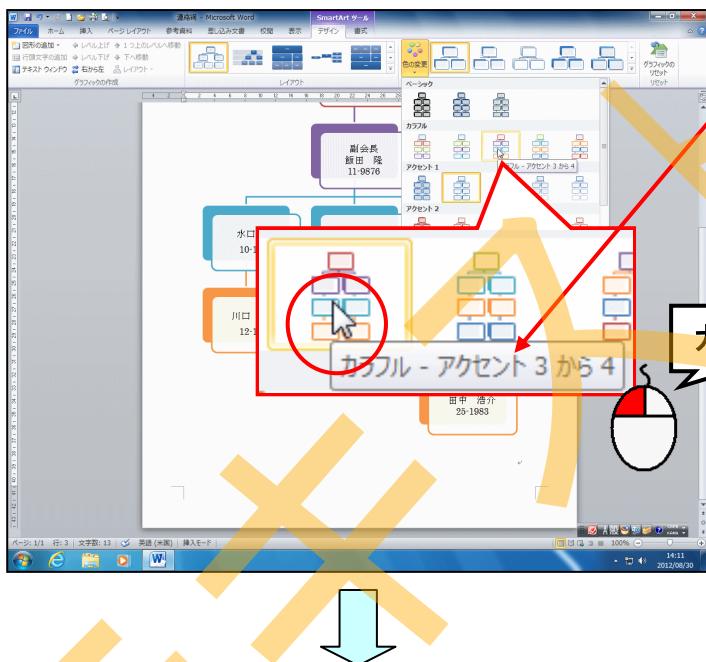
● [デザイン] タブが表示されていない方は、図形を選択し [デザイン] タブをクリックして表示しておきましょう。

● リボンが表示されていない方は、P227 リボンの最小化を元に戻すを参照してください。  
(下記のような状態の方)

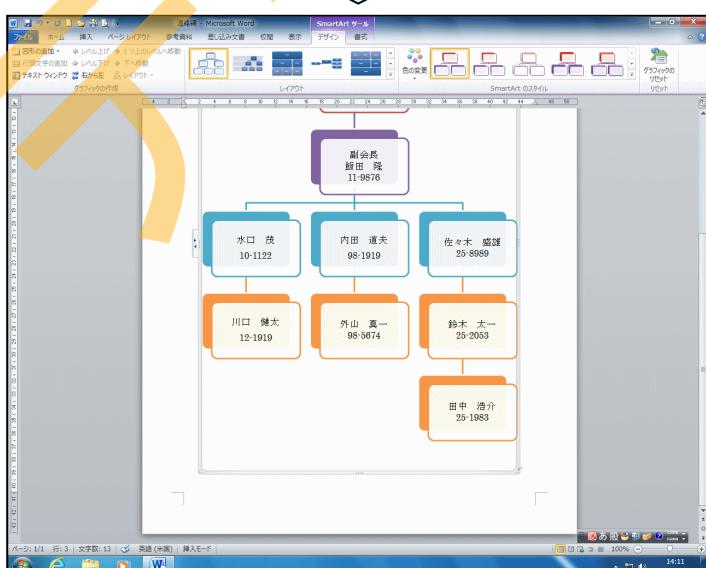
ファイル ホーム挿入 ページレイアウト 参考資料 嵌込み文書 校閲 表示 デザイン 画式



表示された色の一覧から「カラフルーアクセント3から4」にポイントし、そのままクリックします。



● 目的の色にポイントすると、何色かがポップヒントとして表示されます。



## (6) スマートアート

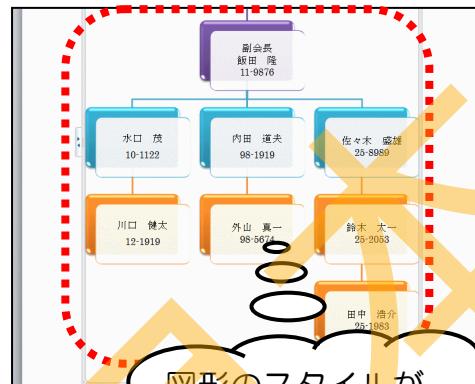
SmartArtのスタイルを変更してみましょう。

◆SmartArtのスタイルを変更する方法をマスターしましょう。

操作前



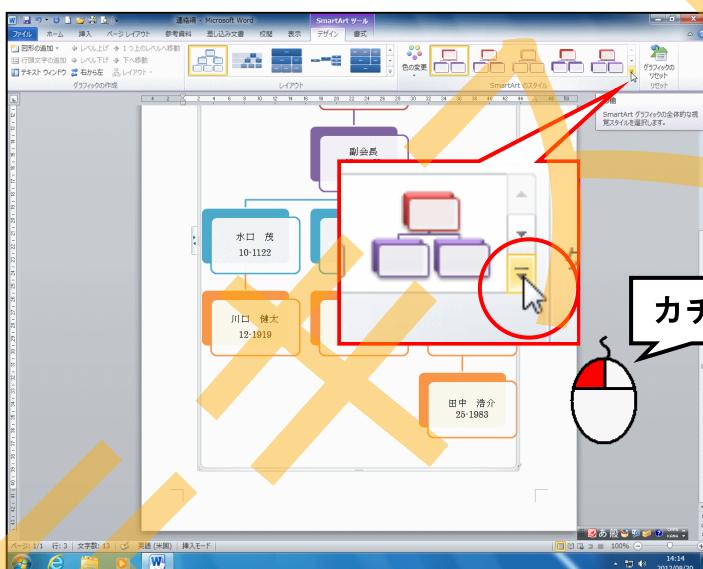
操作後

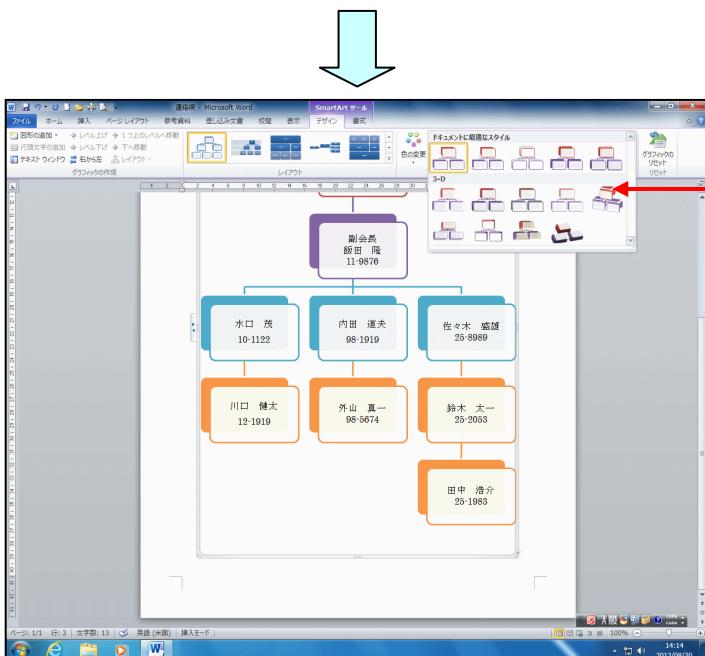


[SmartArtのスタイル] グループにある [その他] ボタンにポイントし、そのままクリックします。

注意!

● [デザイン] タブが表示されていない方は、図形を選択し [デザイン] タブをクリックして表示しておきましょう。

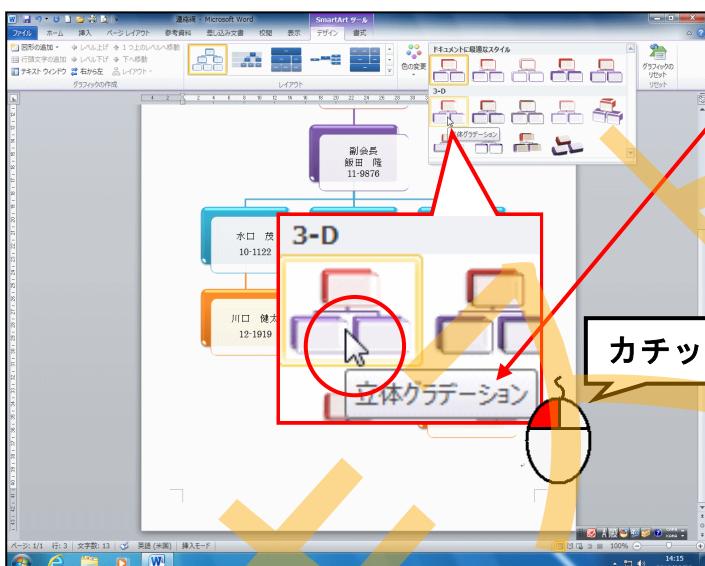




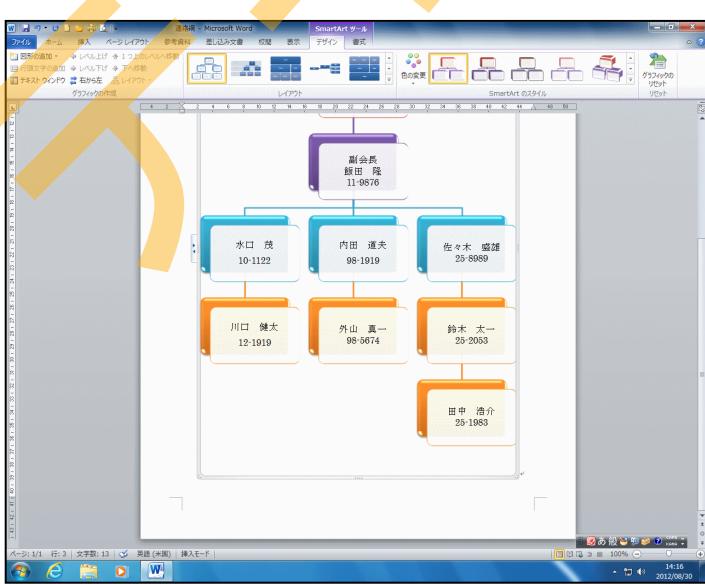
● [その他] ボタンをクリックすると、スマートアートのスタイルの一覧が表示されます。



表示された色の一覧から「立体グラデーション」にポイントし、そのままクリックします。



● 目的のスタイルにポイントすると、どのスタイルかがポップヒントとして表示されます。

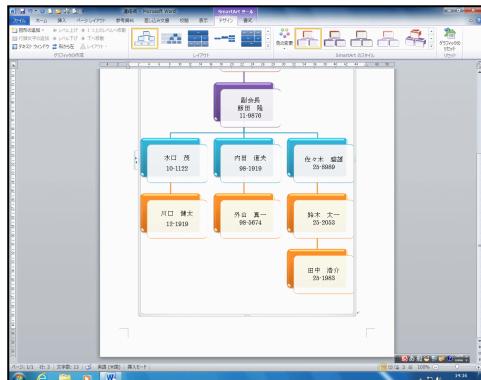


## (7) クリップアートの挿入

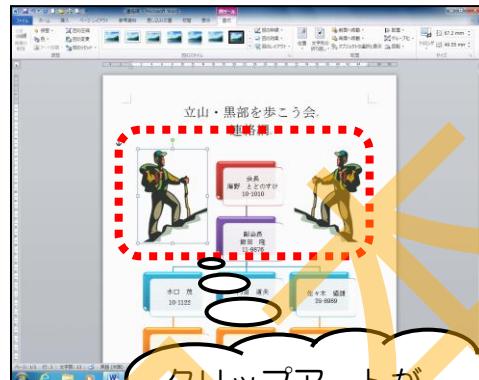
連絡網にクリップアートを挿入して完成させましょう。

◆クリップアートの挿入方法をマスターしましょう。

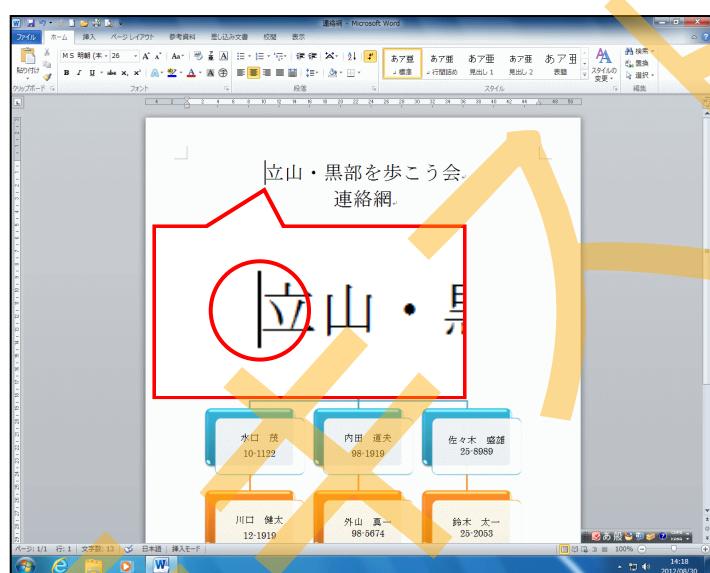
操作前



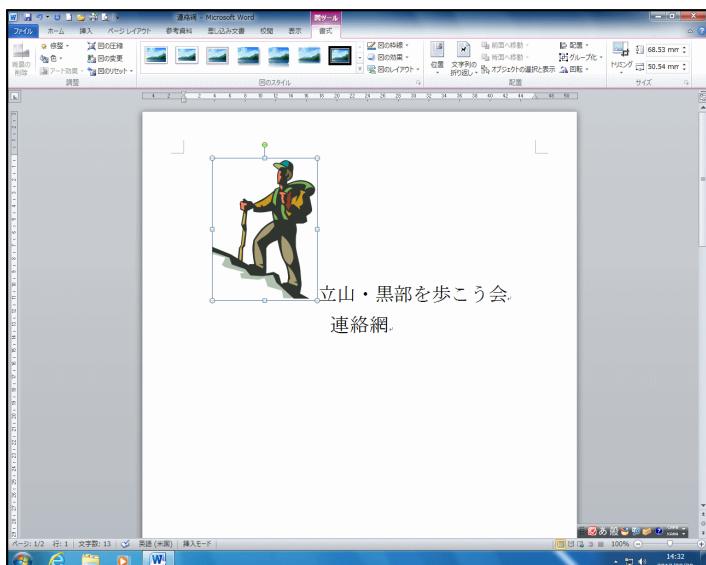
操作後



画面をスクロールし、1行目の「立山・黒部を歩こう会」の先頭にカーソルを移動します。



下のように、「山登り」という名で検索したクリップアートを挿入しましょう。

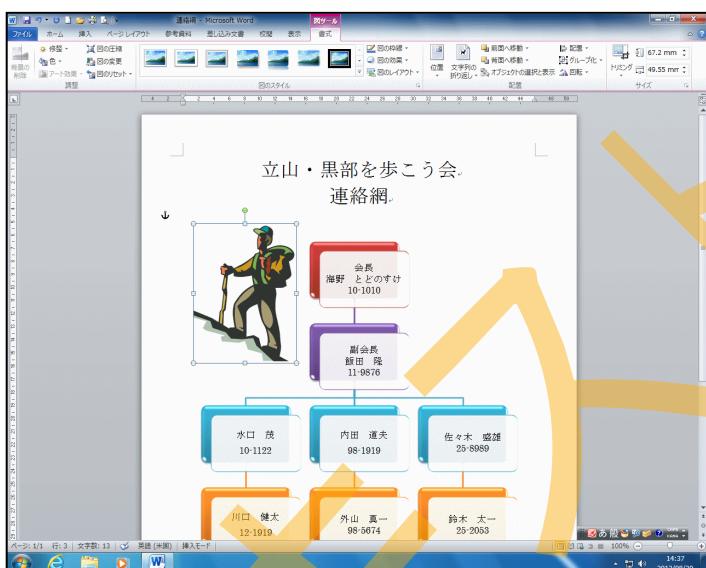


●クリップアートの挿入方法を忘れた方は、P56 ⑩ クリップアート（イラスト）の挿入を参照してください。

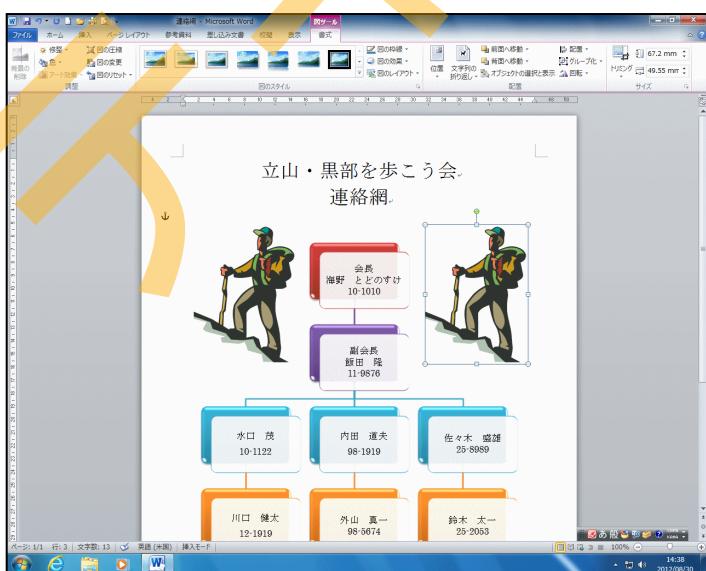
●クリップアートの挿入後、[クリップアート] 作業ウィンドウは閉じておきましょう。



挿入したクリップアートの文字列の折り返しを「前面」に設定し、下のように大きさと位置を調整しましょう。

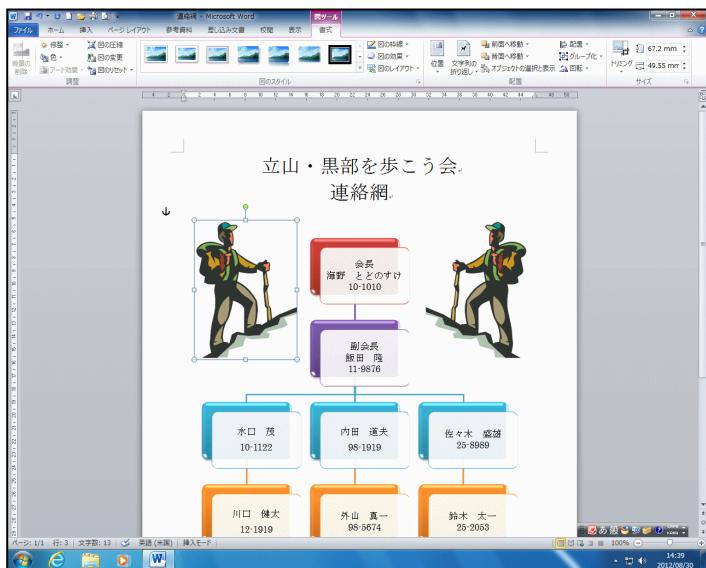


下のように、挿入したクリップアートを右にコピーしましょう。



●コピーの方法を忘れた方は、P42 ⑤ 図形のコピーと移動を参照してください。

下のように、左側のクリップアートを「左右反転」に設定しましょう。



●左右反転の設定方法を忘れた方は、  
P47 ⑦ 図形の左右反転を参照し  
てください。



「連絡網」を上書き保存して、ワードを終了しておきましょう。



ワードの文書の中に図形やクリップアートを入れたりして、カッコいい連絡網などが作成できるようになったね。図形の組み合わせによっては、地図も描けるってわかったし、ワードを使える幅が広がったね。

ところで先生。エクセルでグラフを作れるっていうのを聞いたことがあるんだけど、ワードでも作れるの？

もちろん作れますよ！ワードの次のテキストでは、長い文書の編集や、旅行記や資料作りを通して、便利なグラフなどの図表にもチャレンジしましょう！



私は、パソコンで絵を描いてみたいわね。  
あと、写真とかもしてみたいな。



はい。では、ウメさんは絵を描いたり、  
アルバムを作ったりしてみましょう！



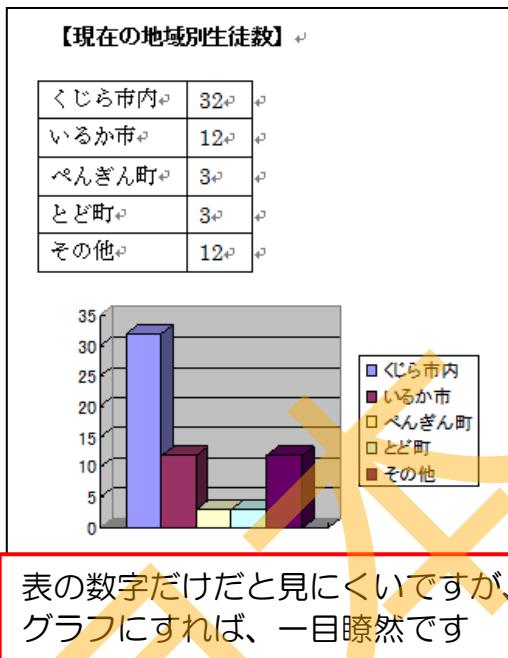
## ●次の「ワードⅢ」でできること

# いろいろなクジラ

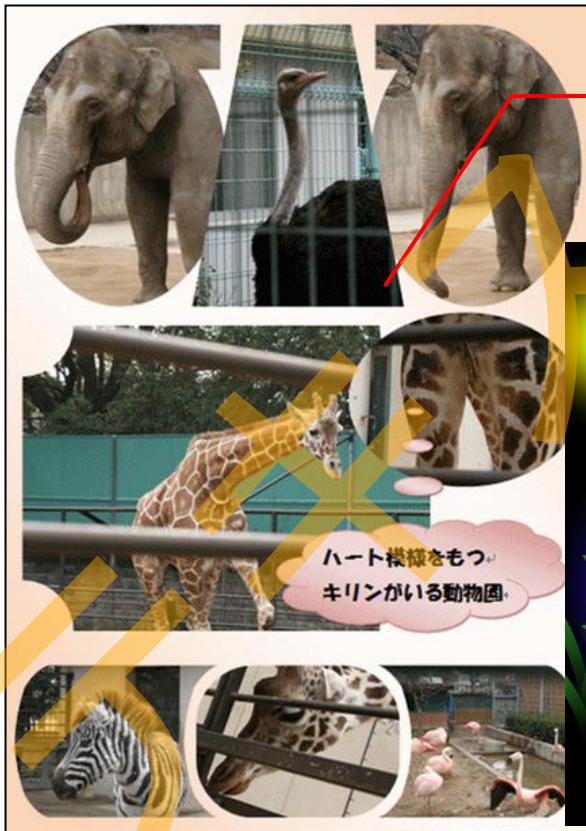
目 次

はじめに	1
クジラの種類	2
ナガスクジラ類	2
シロナガスクジラ□Blue□Whale	2
イワシクジラ□Sei□Whale	3
ミンククジラ□Minke□Whale	3
ザトウクジラ□Humpback□Whale	4
ハクジラ類	4
マッコウクジラ□sperm□Whale	4
セミクジラ類	5
ホッキョククジラ□bowhead	5
クジラの行動	5
スパイホッピング	5
ブリーチング	5
テー	5

複数ページにわたる文書を作成した場合、目次を作ると見やすいです



## ●その他のワードテキストでできること



これまでの思い出をいろいろな形で  
アルバムに残すことができます



ワードの基本図形を組み合わせればこんな  
きれいな絵を描くことができます

☆☆ここまでくれば、練習問題10で理解度を試して下さい。☆☆  
次のワードテキストもお楽しみに！

ここからは、ワードの事をより詳しく知っていただ  
くための、ワードⅡの内容についての補足説明です。  
練習問題の中でも使われていますので、ぜひ活用し  
てください。



## ●ショートカットキー以外の操作方法、補足説明

ここでは、テキストの本編とは違ったやり方の操作方法を説明します。

主にショートカットキーの説明になります。ショートカットキーとは、画面上のメニューからマウスで選択して実行する命令などを、キーボードを使ってパソコンの操作を簡単に使うための機能です。

テキスト内の操作	ショートカットキーほか
行間隔の変更	<ul style="list-style-type: none"><li>● [Ctrl] キー + [1] キー (1行分)</li><li>● [Ctrl] キー + [2] キー (2行分)</li><li>● [Ctrl] キー + [5] キー (1.5行分)</li></ul> <p>※テンキーの数字では変更できません。</p>
書式のコピー	<ul style="list-style-type: none"><li>● [Ctrl] キー + [Shift] キー + [C] キー</li></ul>
書式の貼り付け	<ul style="list-style-type: none"><li>● [Ctrl] キー + [Shift] キー + [V] キー</li></ul>



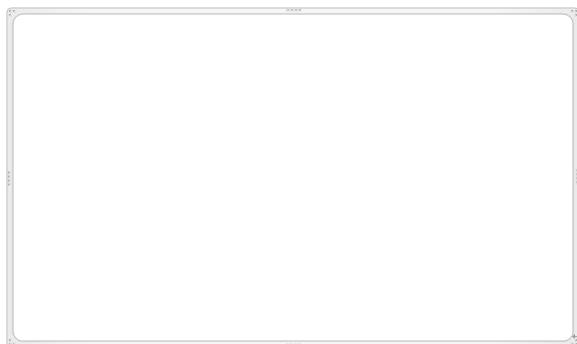
## ●P11 描画キャンバスについての補足説明

### ■描画キャンバスとは

「描画キャンバス」とは、複数の図形を描く場合に図形の位置を調整したり、大きさを調整したりする場合に便利な機能です。複数の図形を描く場合の枠組みだと思っていただければ結構です。

常に「描画キャンバス」を表示するように設定していると、[挿入] タブの [図] グループにある [図形] ボタンをクリックし、描く図形を選択すると、「描画キャンバス」が自動的に表示されて、その中に複数の図形を描くと、それが1つの図形として扱うことができます。

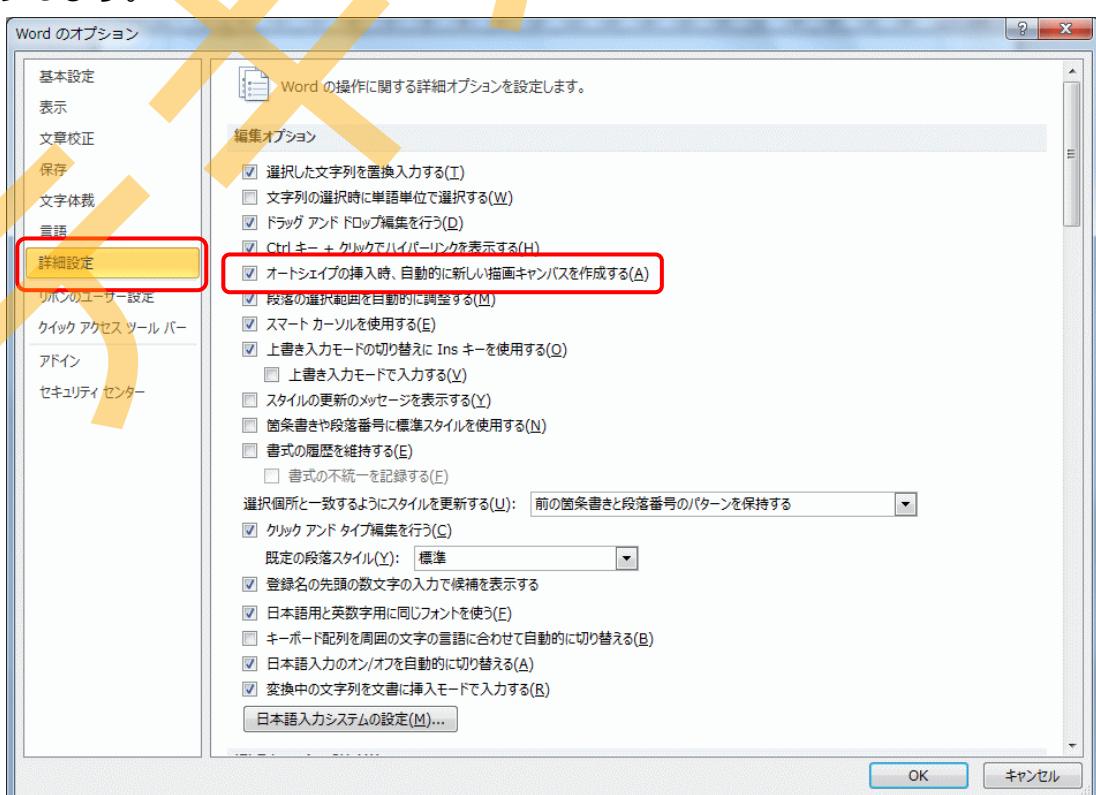
例えば、複数の図形を組み合わせて地図などを作成する場合、地図全体をまとめて移動したり、サイズ変更したりすることができます。



### ■描画キャンバスを表示する

描画キャンバスを表示するには、[挿入] タブの [図] グループにある [図形] ボタンをクリックし、表示される図形一覧の一番下にある [新しい描画キャンバス (N)] をクリックすると描画キャンバスが表示されます。

また、描く図形を選択したときに、常に「描画キャンバス」を表示するには、[ファイル] タブをクリックし、表示されるメニューから [オプション] ボタンをクリックします。[Word のオプション] ダイアログボックスが表示されるので、画面左の「詳細設定」をクリックして、「編集オプション」で「オートシェイプの挿入時、自動的に新しい描画キャンバスを作成する(A)」にチェックを入れ、[OK] ボタンをクリックします。



## ●P15 図形の種類

テキスト内では、「円」、「四角形」、「三角形」を描きましたが、図形には、それ以外にもさまざまな図形が用意されています。

### ◆線

線



### ◆四角形

四角形



### ◆基本図形

基本図形



### ◆ブロック矢印

ブロック矢印



### ◆数式図形

数式图形



### ◆フローチャート

フローチャート



### ◆星とリボン

星とリボン



### ◆吹き出し

吹き出し



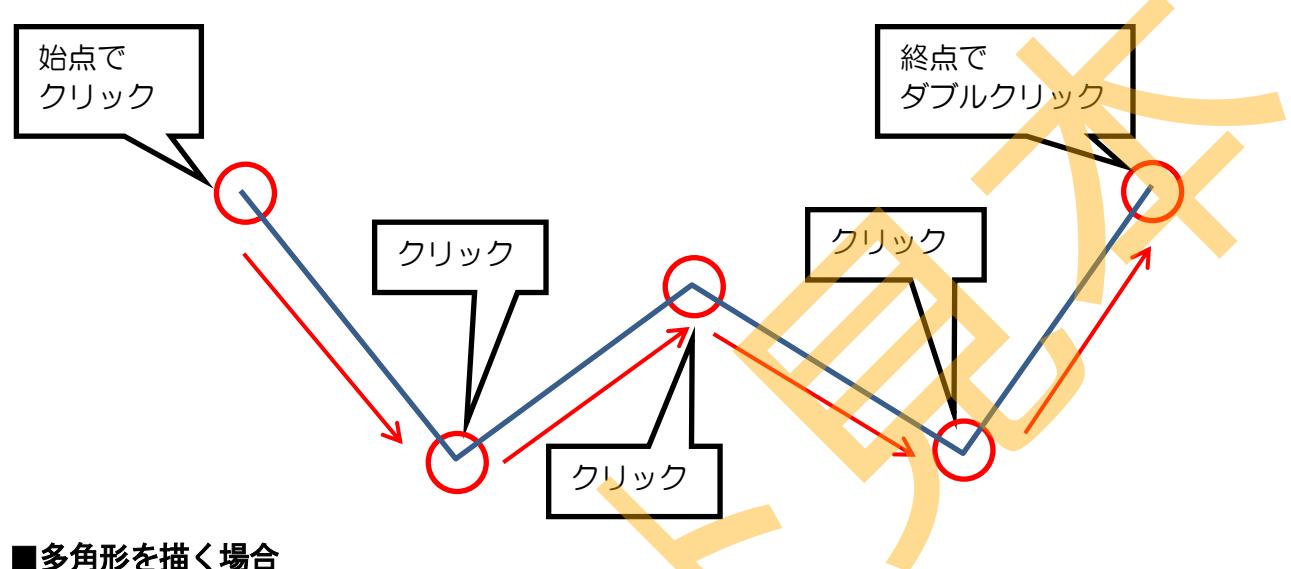
## ●P15 フリーフォームの描き方

「フリーフォーム」を使うと図形の一覧にはない連続した線分や、多角形を自由に描くことができます。

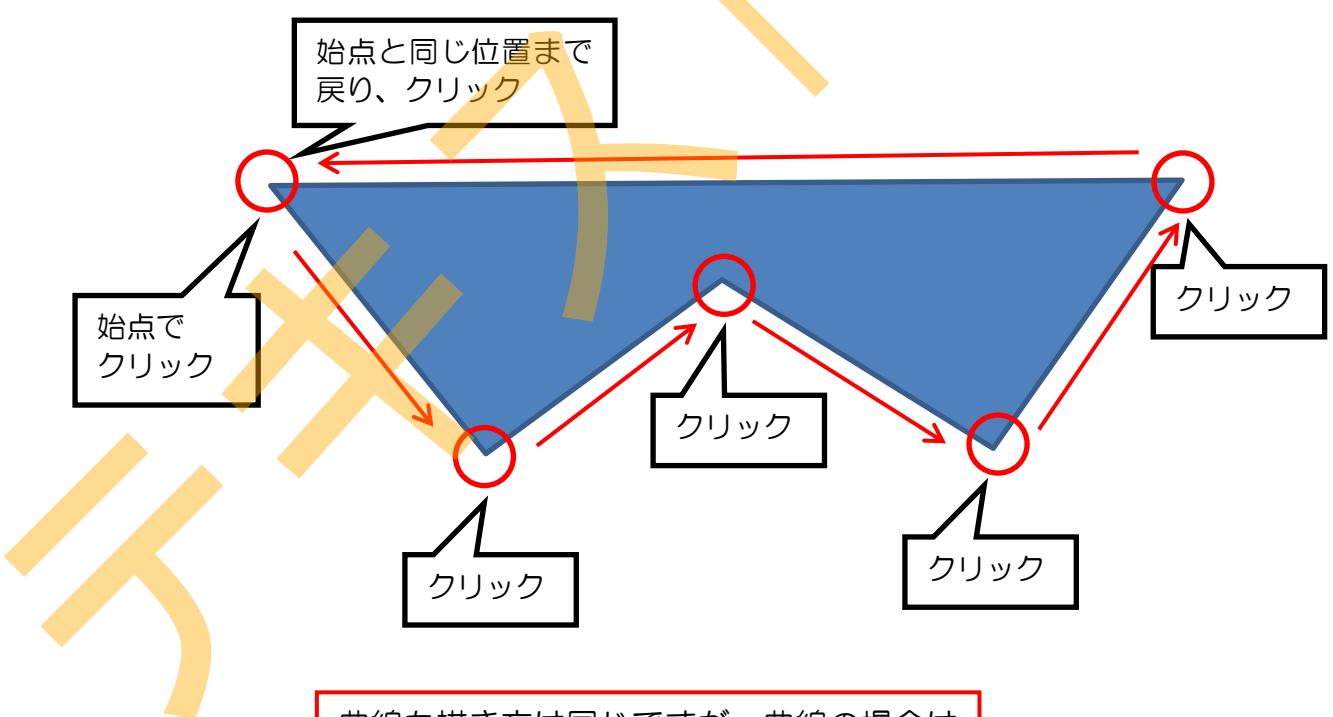
テキスト内で使用した図形はすべて斜めにドラッグすると描くことができましたが、「フリーフォーム」の場合は、ドラッグしてしまうと直線が引けなくなるので注意しましょう。

基本的には始点や折り曲げたい点でクリック、最後に始点以外の場所でダブルクリックするか、もう一度始点でクリックという方法で描くことができます。

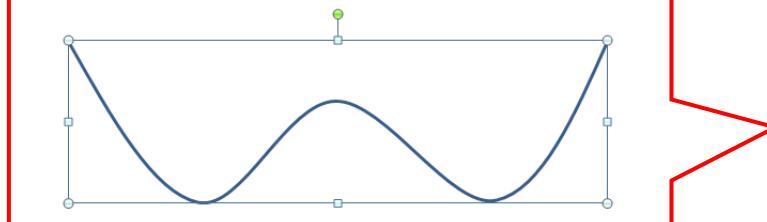
### ■連続した線分を描く場合



### ■多角形を描く場合



曲線も書き方は同じですが、曲線の場合は頂点から頂点までが曲線で結ばれます。



## ●P28 グラデーションの種類と方向について

テキスト内では、グラデーションの種類を「パス」に設定しましたが、それ以外にも「線形」、「放射」、「四角」と合計4つの種類があります。

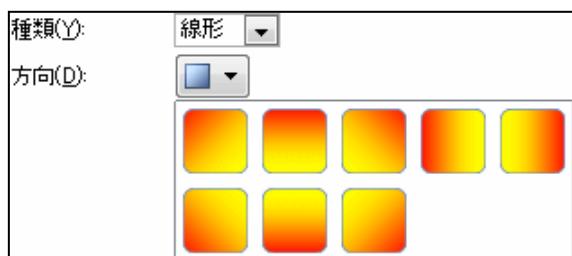
「パス」は中央から、「線形」は縦や横、斜めから、「放射」は放射線状に、「四角」は角から、それぞれ色が分岐されます。

また、選択する種類によってグラデーションの方向も選択できます。ただし、「パス」に関しては、グラデーションの方向は選択できません。

下の図は、グラデーションの種類と方向の例です。

(グラデーションの色は、赤と黄に設定しています)

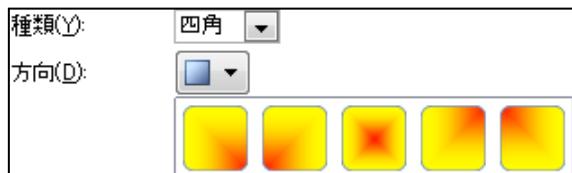
「線形」



「放射」



「四角」



「パス」(パスは方向を選択できません)



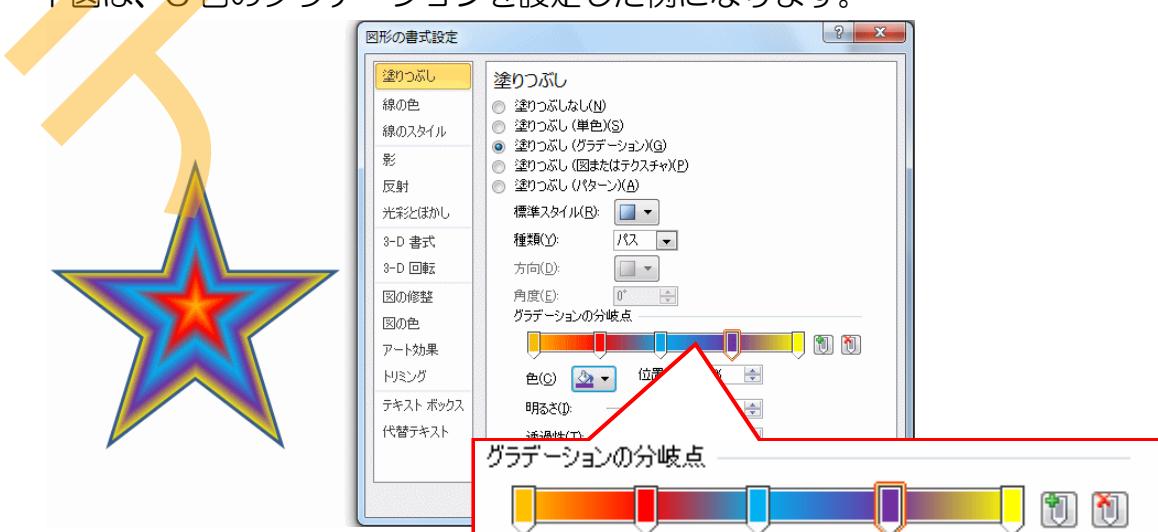
## ●P32 グラデーションの分岐点の補足説明

新機能

グラデーションの分岐点の数は、「グラデーションに何色を使用するか」を意味しています。ワード2007までは、2色のグラデーションしか使えませんでしたが、ワード2010からそれ以上の色のグラデーションが可能になりました。

分岐点を追加するには、【グラデーションの分岐点】の右にある [グラデーションの分岐点を追加します] ボタンをクリックするか、直接【グラデーションの分岐点】の下にあるバーをクリックしても追加することができます。

下図は、5色のグラデーションを設定した例になります。

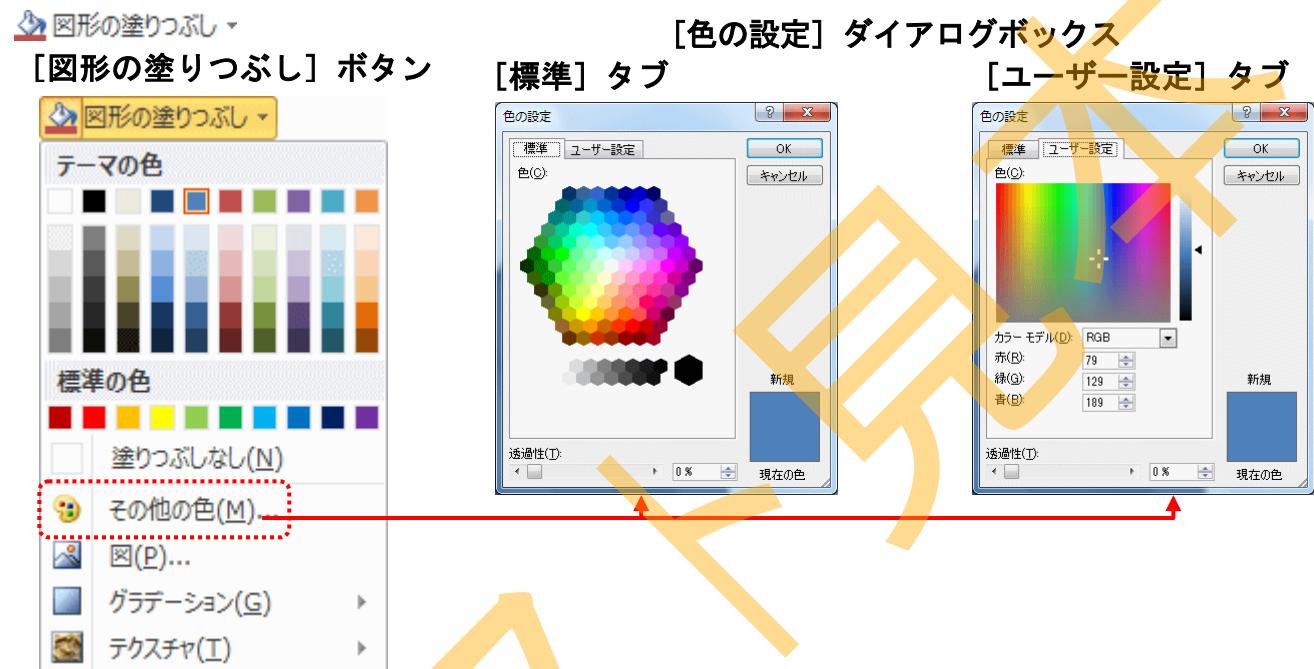


## ●P33 図形の塗りつぶしの補足説明

### ■図形を単色で塗りつぶす

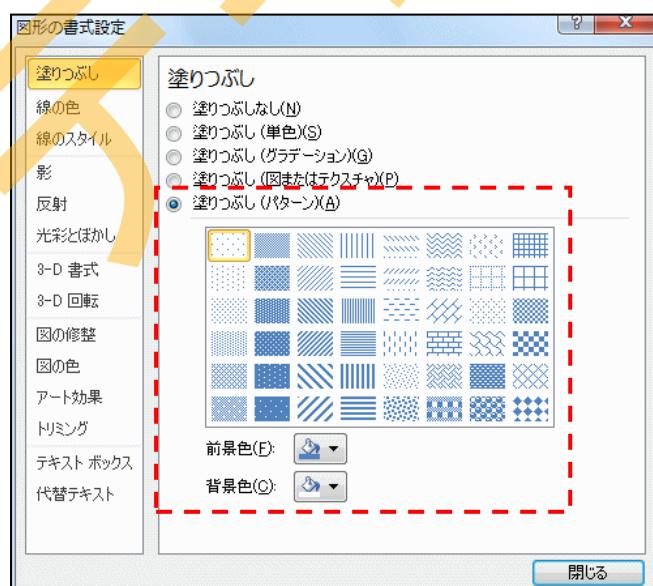
テキスト本編では、図形にグラデーションを設定しましたが、図形を単色に塗りつぶしたい場合は、[書式] タブの [図形のスタイル] グループにある 図形の塗りつぶし - [図形の塗りつぶし] ボタンをクリックして、表示される [テーマの色]、[標準の色] から塗りつぶしたい色を選択します。

また、[テーマの色]、[標準の色] に塗りつぶしたい色がない場合は、[その他の色 (M) ...] をクリックし、表示される [色の設定] ダイアログボックスの [ユーザー設定] タブか [標準] タブから塗りつぶしたい色を選択します。



### ■図形にパターンを設定する

パターンとは、「模様」や「柄」のことで、図形にもこれを設定することができます。図形にパターンを設定するには、[書式] タブの [図形のスタイル] グループにある 図形の塗りつぶし - [図形の塗りつぶし] ボタンをクリックして、[グラデーション (G)] にポイントし、表示されたサブメニューから [その他のグラデーション (M) ...] をクリックします。[図形の書式設定] ダイアログボックスが表示されるので「塗りつぶし」で「塗りつぶし (パターン) (A)」をクリックし、表示されたパターンの種類から選択します。

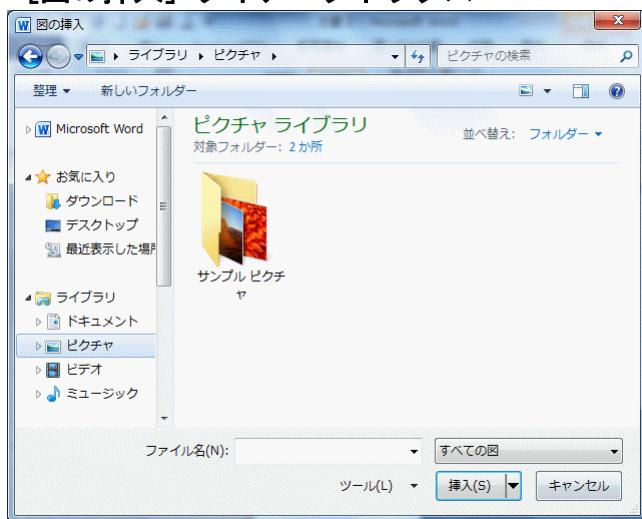


次ページに続く

## ■図形に画像を挿入する

図形の中に写真などの画像を挿入したい場合は、[書式] タブの [図形のスタイル] グループにある [図形の塗りつぶし] ボタンをクリックして、表示される [図(P)...] をクリックします。表示された [図の挿入] ダイアログボックスで挿入したい写真などの画像を選択し、[挿入(S)] ボタンをクリックします。

[図の挿入] ダイアログボックス



## ■テクスチャ

テクスチャとは、物の材質や手触りなど、表面の質感のことです。図形をこのテクスチャで塗りつぶしたい場合は、[書式] タブの [図形のスタイル] グループにある [図形の塗りつぶし] ボタンをクリックして、表示される [テクスチャ(T)] にポイントすると、設定できるテクスチャの種類が表示されるので、クリックして選択します。



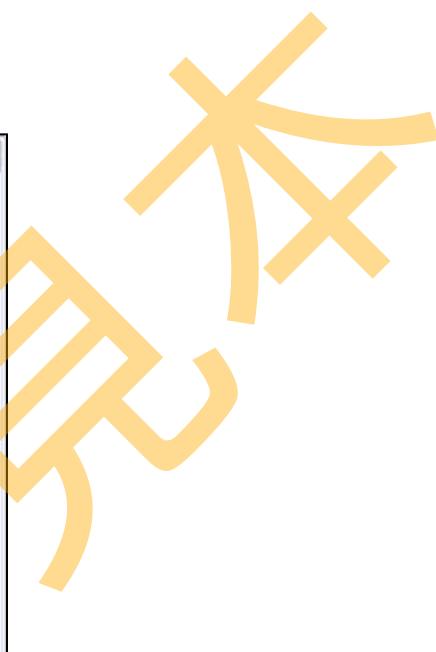
↗ 次ページに続く

## ■図形にスタイルを設定する

ワードⅠでクリップアートにスタイルを設定しましたが、図形も同じようにスタイルを設定することができます。図形にスタイルを設定するには、図形を選択して、[書式] タブの [図形のスタイル] グループにある [その他] ボタンをクリックして、表示されるスタイルの一覧から設定したいスタイルを選択します。



⇨ [その他] ボタン



各スタイルの中に表示されている「Abc」の文字は、図形に文字を追加した時の文字の色を表しています。

図形に文字を追加する方法は、P204 ■図形に文字を追加するを参照してください。

Abc ··· 図形に追加した文字は**黒色**になります

Abc ··· 図形に追加した文字は**白色**になります



## ●P41 図形の効果の補足説明

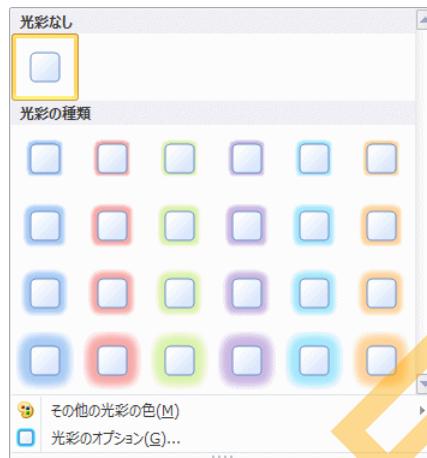
テキスト本編では、「光彩」と「標準スタイル」、「影」の効果を設定しましたが、これ以外にも「反射」、「ぼかし」、「面取り」、「3-D 回転」が設定できます。それぞれ設定できる効果の種類の詳細は、次のようにになります。

また、それぞれの効果の一番下に「オプション」があり、これをクリックすると、より詳細に効果を設定できます。（例えば影の色を変更したりすることができます）

### ◆標準スタイル



### ◆光彩



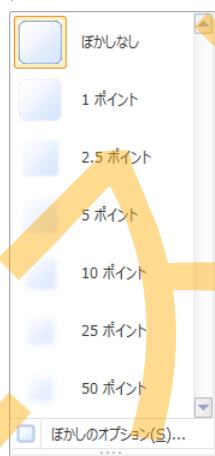
### ◆3-D 回転



### ◆影



### ◆ぼかし



### ◆面取り



### ◆反射

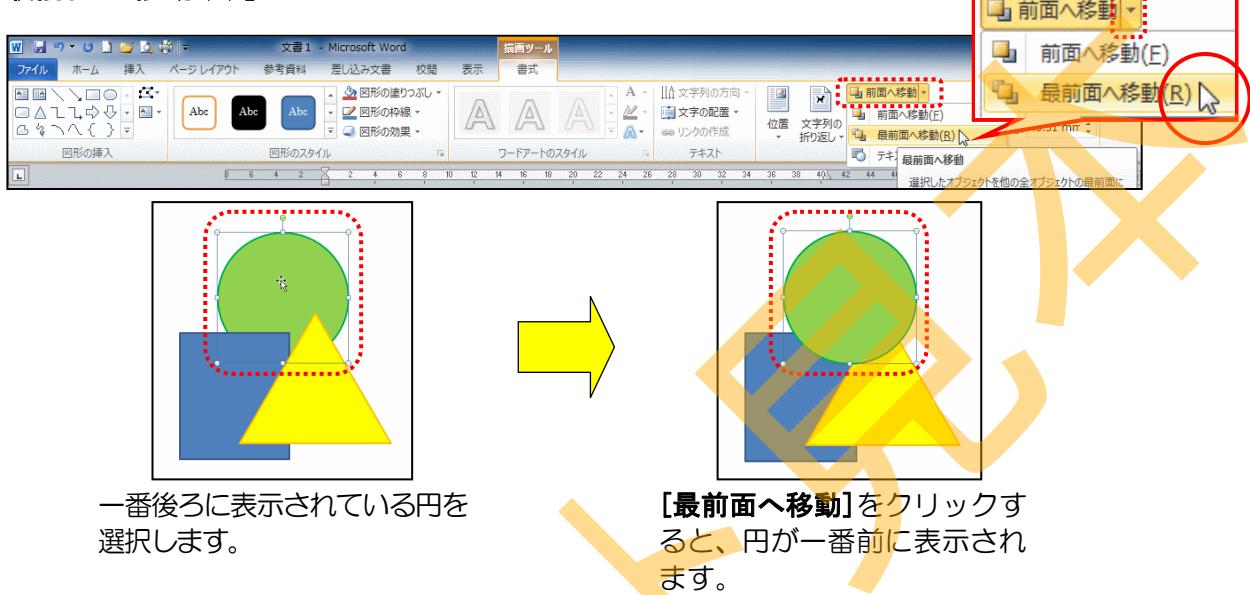


## ●P52 図形の最前面・最背面

複数の図形を描いていると図形どうしが重なることがあります、基本的に最初に描いた図形は一番後ろに表示され、後から描いた図形ほど前に表示されるようになっています。このような図形の重なり方は、図形を描いた後でも簡単に変えることができます。

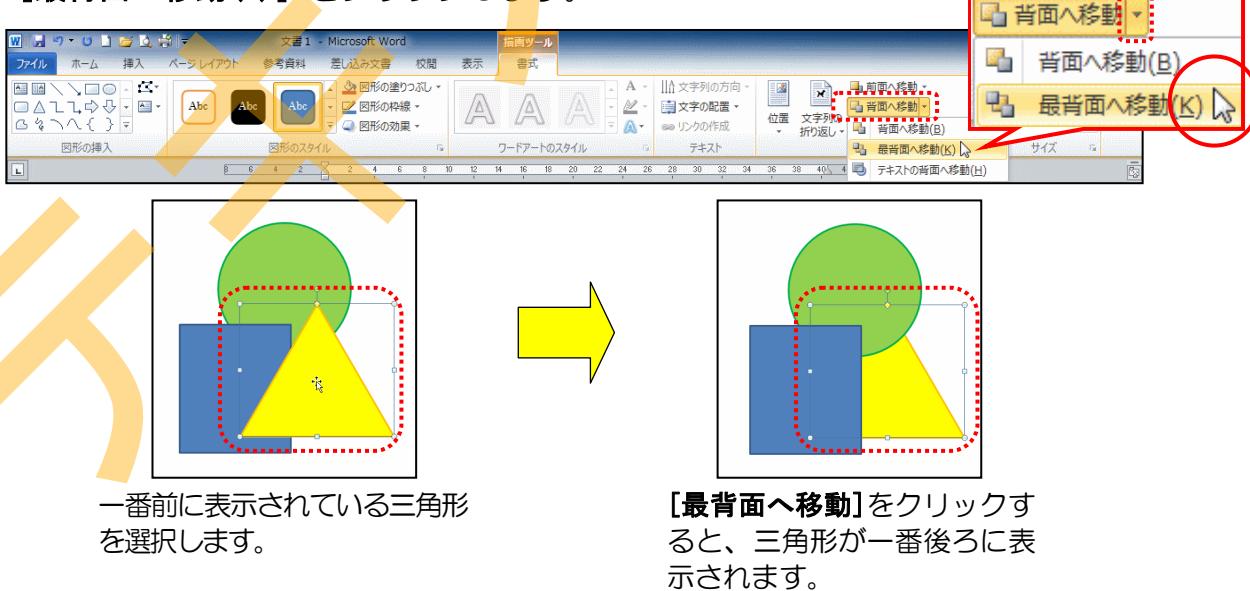
### ■選択した図形を最前面へ移動させる

一番前に表示させたい図形を選択し、[描画] ツールの [書式] タブにある [配置] グループ内の [前面へ移動] ボタンの右の▼をクリックし、表示された一覧から [最前面へ移動(R)] をクリックします。

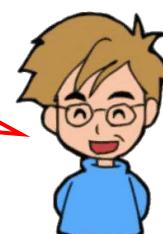


### ■選択した図形を最背面へ移動させる

一番後ろに表示させたい図形を選択し、[描画] ツールの [書式] タブにある [配置] グループ内の [背面へ移動] ボタンの右の▼をクリックし、表示された一覧から [最背面へ移動(K)] をクリックします。



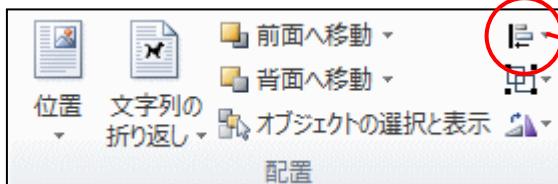
図形だけでなく、クリップアートやワードアートも同じように操作して、最前面や最背面に配置することができます。



## ●P52 図形についての補足説明

### ■複数の図形を配置・整列する

複数の図形がばらばらに配置されている場合に、[書式] タブの [配置] グループにある [配置] ボタンを使えば、簡単に整列したり、間隔を揃えたりすることができます。複数の図形を整列したり、間隔を揃えたりするには、同時に選択して [書式] タブの [配置] グループにある [配置] ボタンをクリックして設定します。



※「描画キャンバス」の中に配置されている図形に対しては、 [配置] ボタンを使うことはできません。

### ■図形に文字を追加する

新機能

便利になりました)^(^)



ワード 2010 からは、文字を追加したい図形が選択された状態で文字を入力すれば、図形に文字を追加できるようになりました。追加された文字は、図形の上下左右中央に配置されるようになっています。

また、ワード 2007 までは、文字が入力された図形を回転しても図形だけ回転して文字は回転されませんでしたが、2010 から図形と一緒に文字も回転するようになりました。  
(ただし、図形を回転させたものをワード 2007 以前のもので開くと文字の回転は解除されます)

また、追加した文字を縦書きに設定するには、[書式] タブの [テキスト] グループにある [文字列の方向] ボタンをクリックし、表示された一覧から [縦書き] をクリックします。



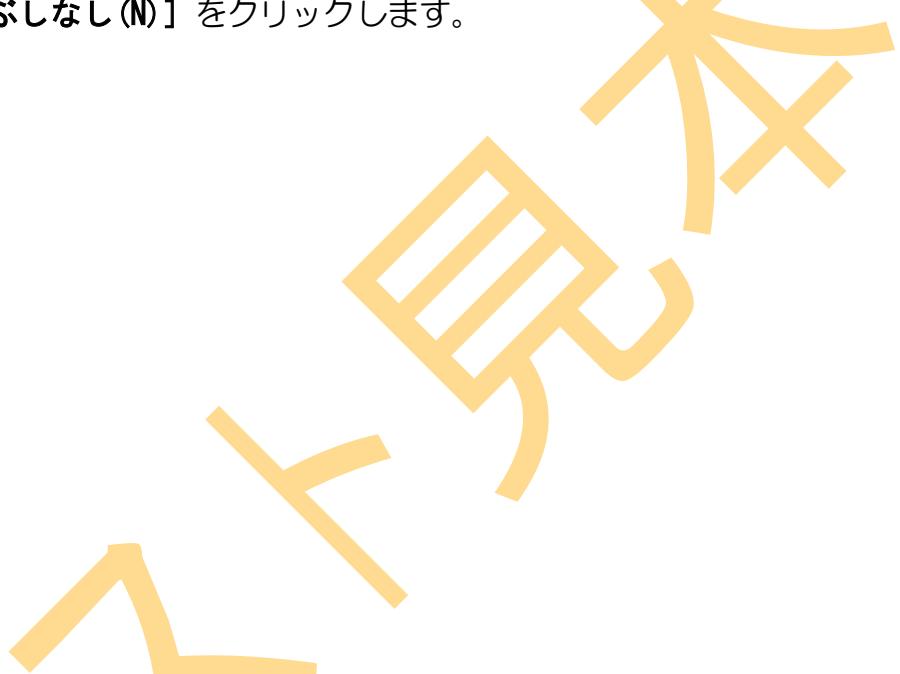
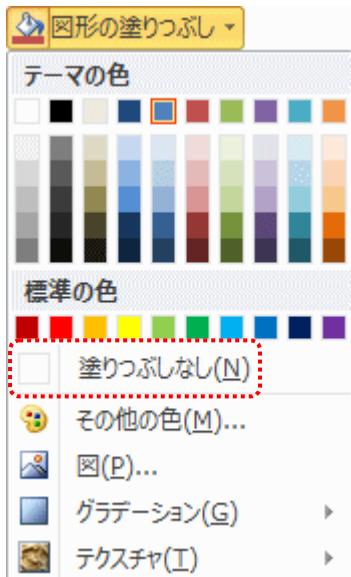
## ●P62 テキストボックスについての補足説明

テキストボックスは、描いた直後は通常、塗りつぶしの色が「白」に線の色が「黒」になっています。このため、右のようなイラストや写真の中に文字を追加したい場合、テキストボックスを使用すると、塗りつぶしの色と線の色が残ったままになります。これを解決するには、次の2つを操作します。



### ■テキストボックスの塗りつぶしの色をなしに設定する

テキストボックスを塗りつぶしなしに設定するには、[書式] タブの [図形のスタイル] グループにある [図形の塗りつぶし] [図形の塗りつぶし] ボタンをクリックして、表示されるメニューから [塗りつぶしなし(N)] をクリックします。



### ■テキストボックスの線の色をなしに設定する

テキストボックスの線の色をなしに設定するには、[書式] タブの [図形のスタイル] グループにある [図形の枠線] [図形の枠線] ボタンをクリックして、表示されるメニューから [線なし(N)] をクリックします。



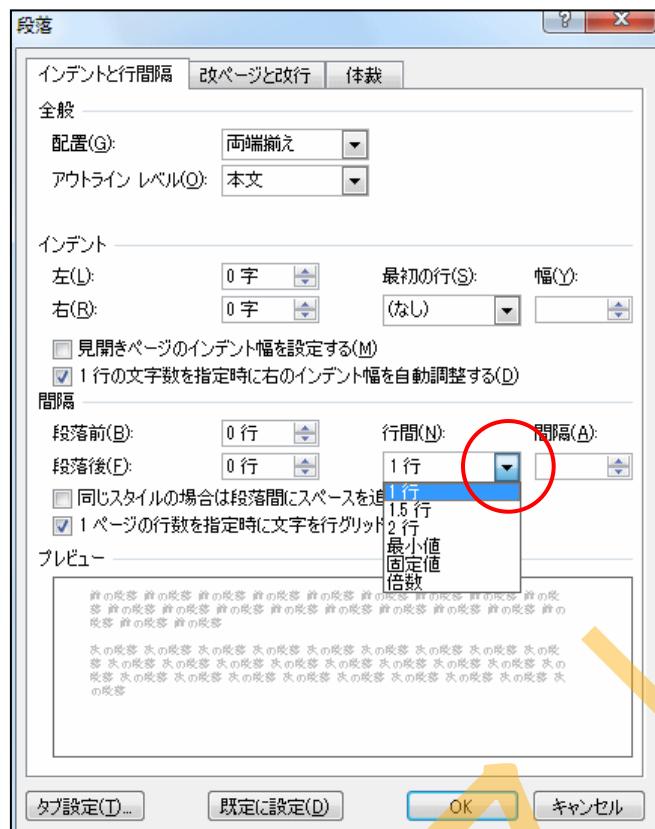
「塗りつぶしなし」、「線なし」を設定すると、下のようにイラストの中に文字だけが追加されたようになります。



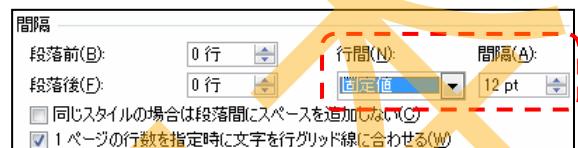
## ●P69 行間についての補足説明

本編では倍率で指定しましたが、もっと細かく設定する方法を説明します。

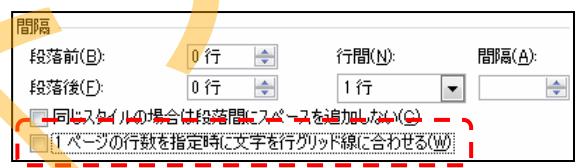
[ホーム] タブの [段落] グループにある [行間] ボタンをクリックし、表示されるメニューから [行間のオプション...] をクリックすると、次のような [段落] ダイアログボックスが表示されます。



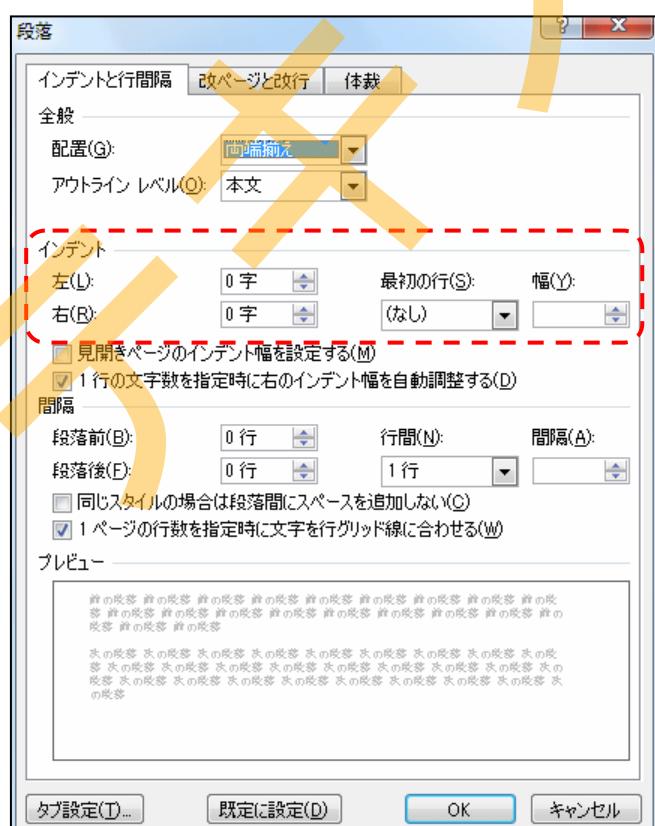
[行間(N)] ボックスの▼をクリックすると、左のようなメニューが表示されるので、[固定値] を選択し、右の [間隔(A)] ボックスでポイント単位で行間を設定することができます。



固定値で行間を設定する方法以外に、  
[1ページの行数を指定時に文字を行グリッド線に合わせる(W)] のチェックボックスをオフにしても行間を狭めることができます。



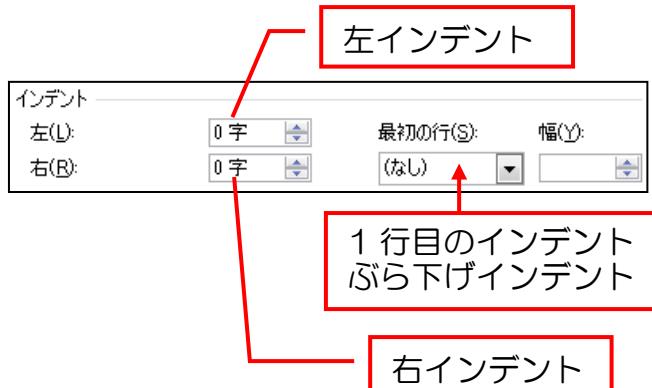
## ●P81 縦書き文書のインデント設定



「秋の天体観測」のように横書きの場合は、ルーラーを使ってインデントを設定できますが、文書が縦書きの場合は、左のように [段落] ダイアログボックスの「インデント」から設定します。



●縦書きの場合、左インデントが上余白から行頭までの間隔を表し、右インデントが下余白から行末までの間隔を表しています。



## ●P86 [新しい行頭文字の定義] ダイアログボックスの補足説明

テキスト内では、[記号(S)...] ボタンをクリックして記号の一覧を表示しましたが、[図(P)...] ボタンをクリックすると、図（画像）の一覧が表示されます。また、[文字書式(F)...] ボタンをクリックすると、[フォント] ダイアログボックスが表示され、行頭文字の書式を設定することができます。

### [新しい行頭文字の定義] ダイアログボックス



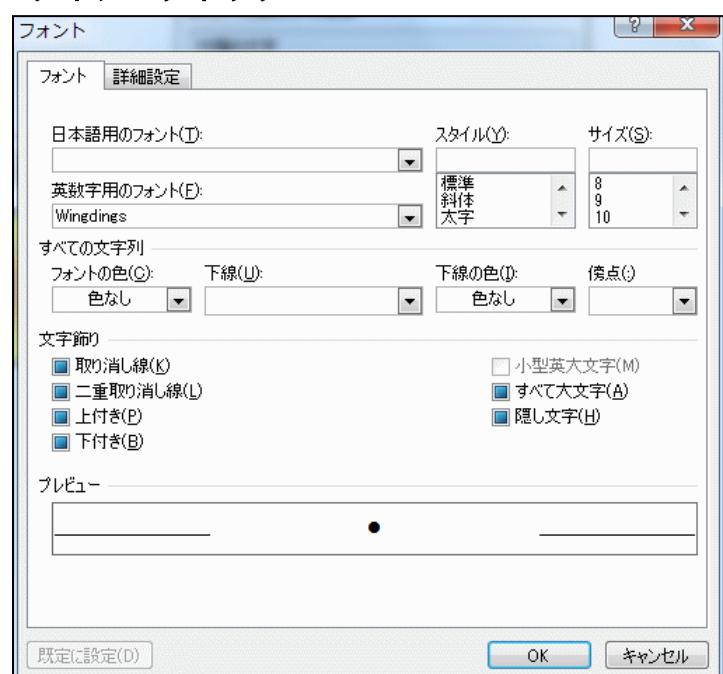
### [記号と特殊文字] ダイアログボックス



### [行頭絵文字] ダイアログボックス



### [フォント] ダイアログボックス



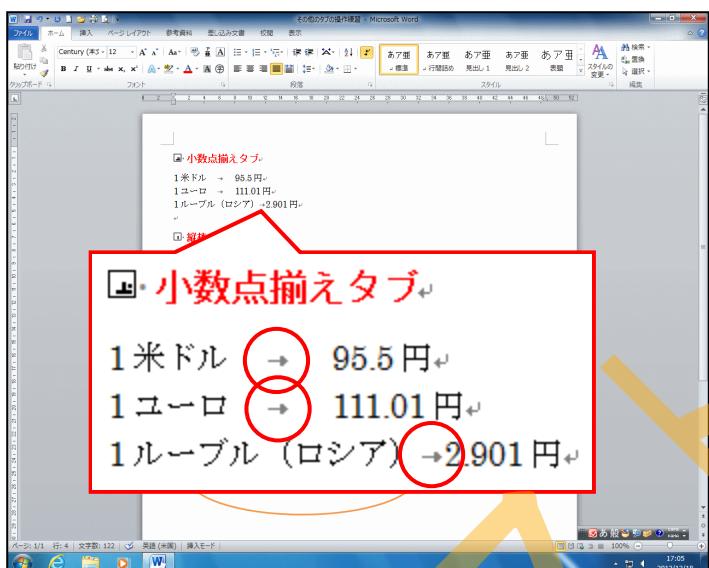
## ●P96 その他のタブについて

本編では、「左揃えタブ」、「中央揃えタブ」、「右揃えタブ」について説明しましたが、それ以外にも「小数点揃えタブ」、「縦棒タブ」があります。  
また、表内、図形の中にタブを設定する方法も説明します。

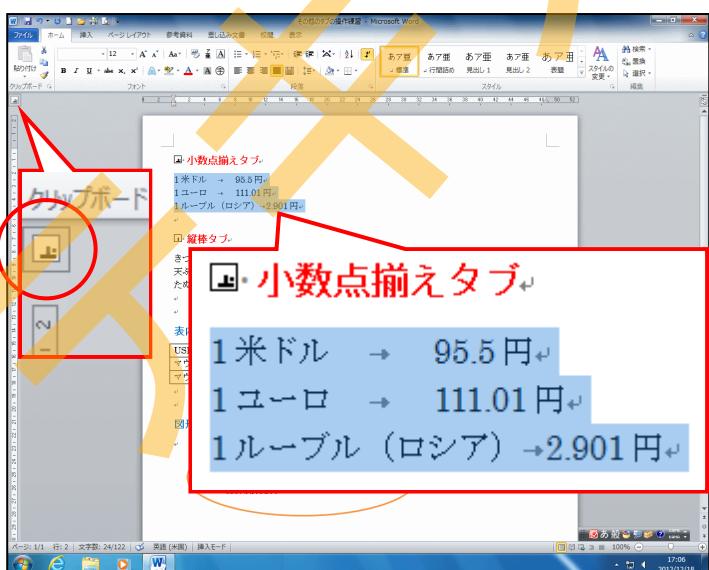
次からの操作のために、「ドキュメント」から「**その他のタブ練習**」を開いておきましょう。

### ■小数点揃えタブ

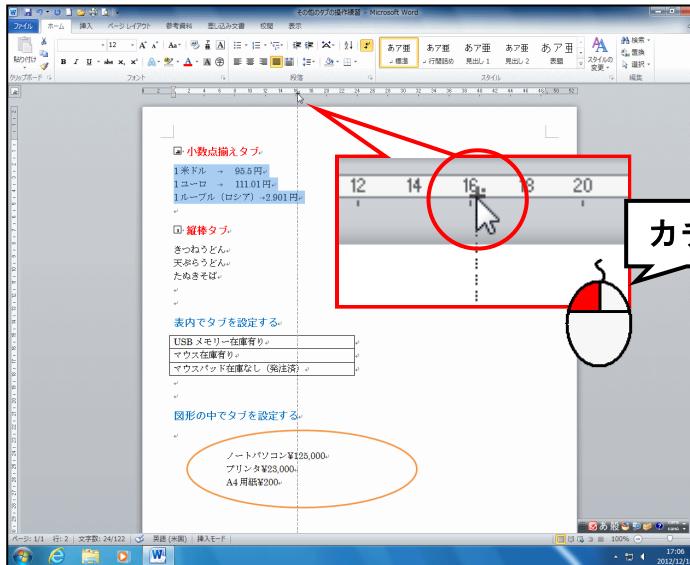
「**その他のタブ練習**」を開きリムーバブルディスクに「**その他のタブの操作練習**」という名前を付けて保存しておきましょう。そして、下のように「**小数点揃えタブ**」の下にある「1米ドル」、「1ユーロ」、「1ルーブル（ロシア）」の後ろに、それぞれタブを挿入します。



「1米ドル」、「1ユーロ」、「1ルーブル（ロシア）」の3段落を選択し、ルーラーの左端のタブの種類を [小数点揃えタブ] に切り替えます。

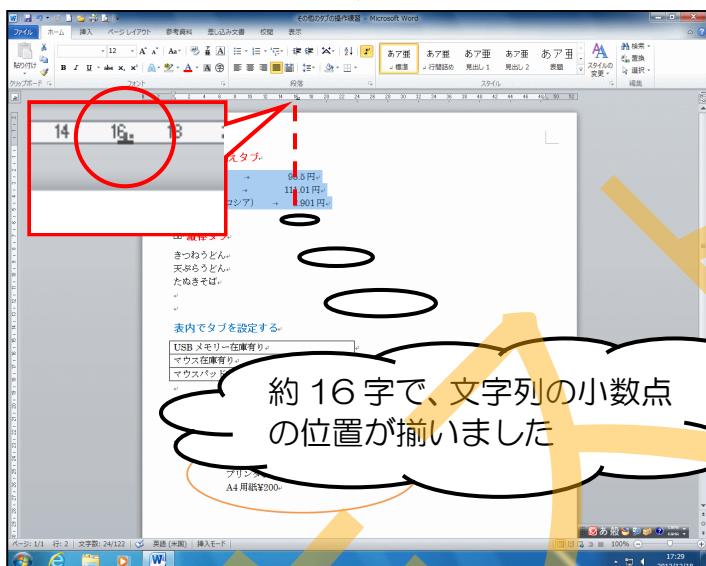


ルーラー上の約16字の位置にポイントし、そのままクリックします。



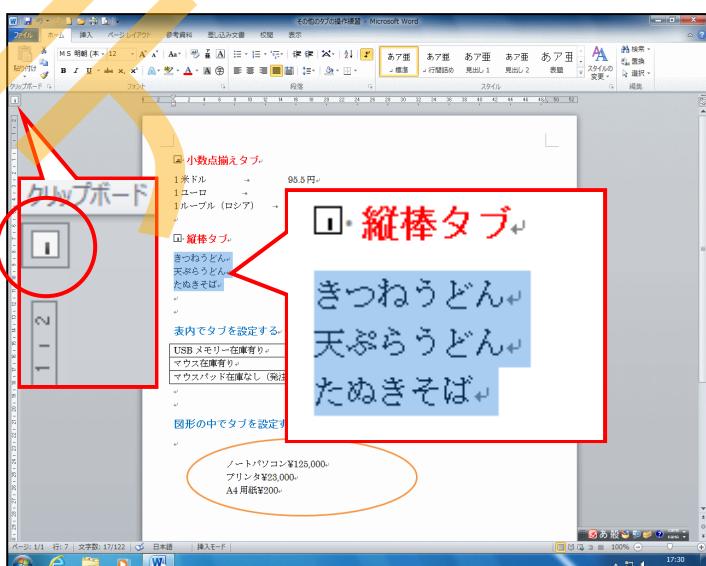
●下のようにクリックした位置にタブの後ろにある文字列の小数点がすべて揃いました。

小数点揃えタブ
1米ドル → 95.5円
1ユーロ → 111.01円
1ルーブル (ロシア) → 2901円



## ■縦棒タブ

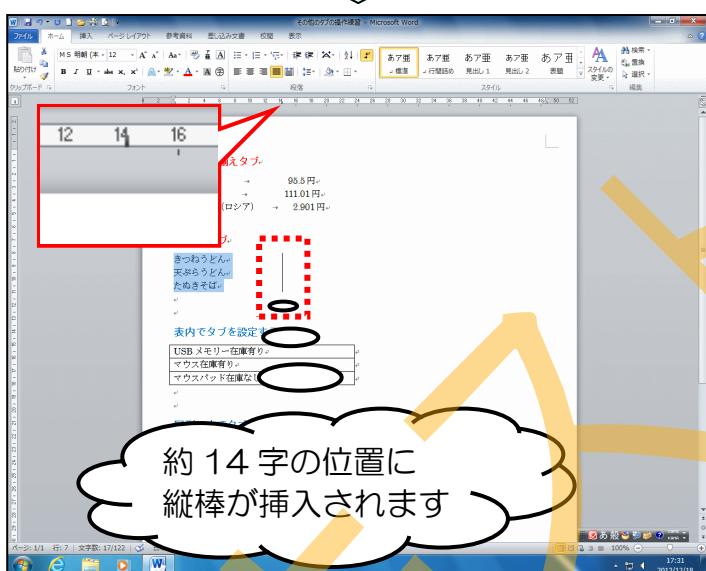
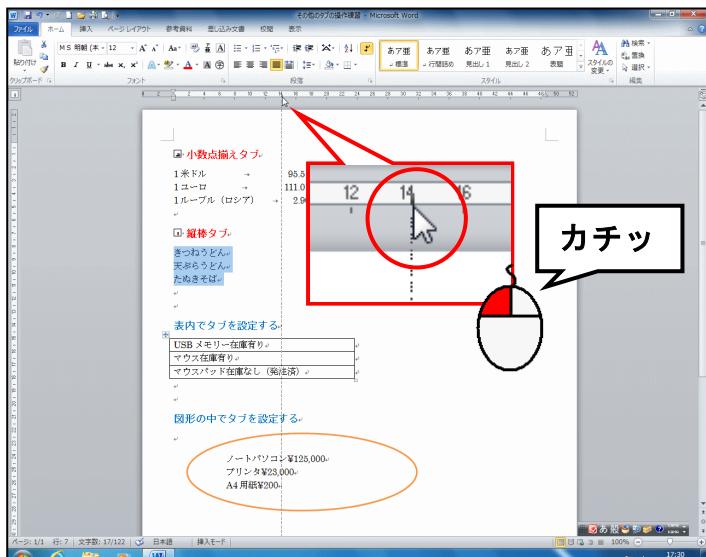
「きつねうどん」、「天ぷらうどん」、「たぬきそば」の3段落を選択し、ルーラーの左端のタブの種類を  [縦棒タブ] に切り替えます。



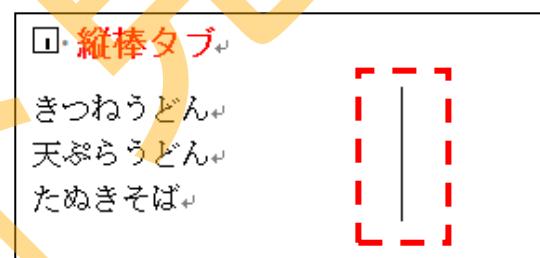
注意!

●縦棒タブの場合は、キーボードの [Tab] キーを押して、タブを挿入する必要があります。

ルーラー上の約14字の位置にポイントし、そのままクリックします。

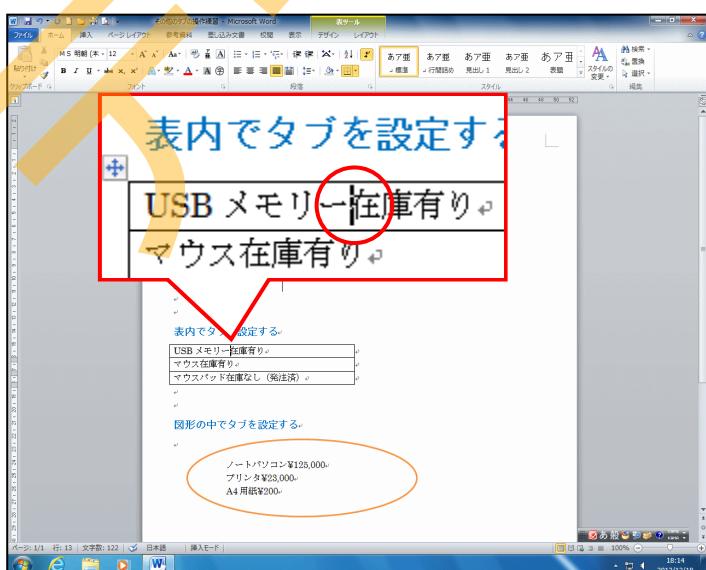


●下のようにクリックした位置に縦棒が挿入されます。

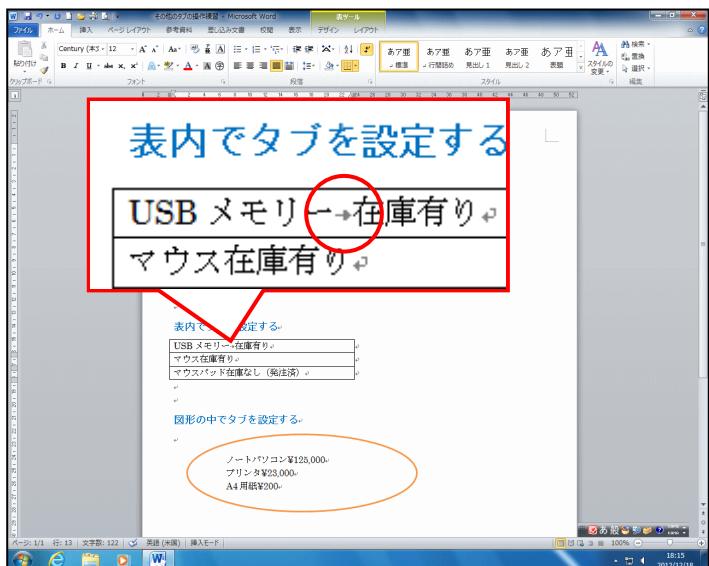


## ■表内でタブを設定する

「USBメモリー」の後ろにカーソルを移動します。



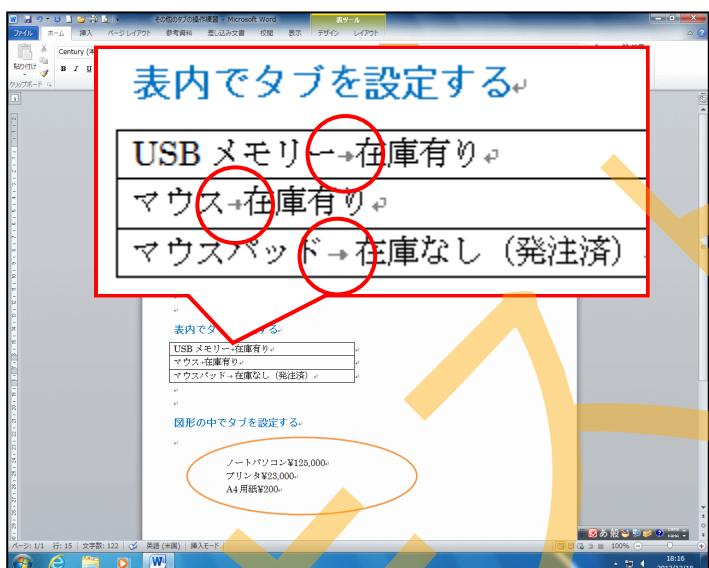
[Ctrl] キーを押した状態で [Tab] キーを押します。



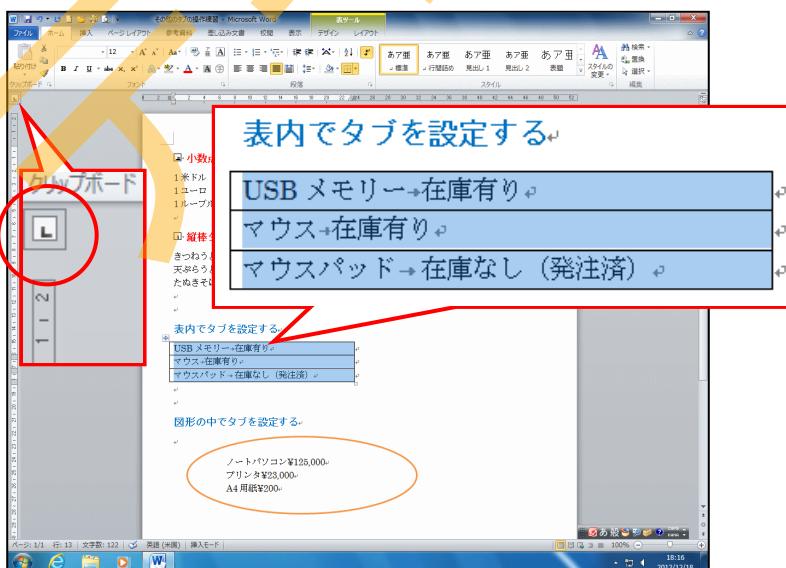
## 注意!

- 表の中でタブを設定するには、  
[Ctrl] キーを押した状態で [Tab]  
キーを押します。[Tab] キーだけを  
押すとカーソルが表の中の次のセ  
ルに移動します。

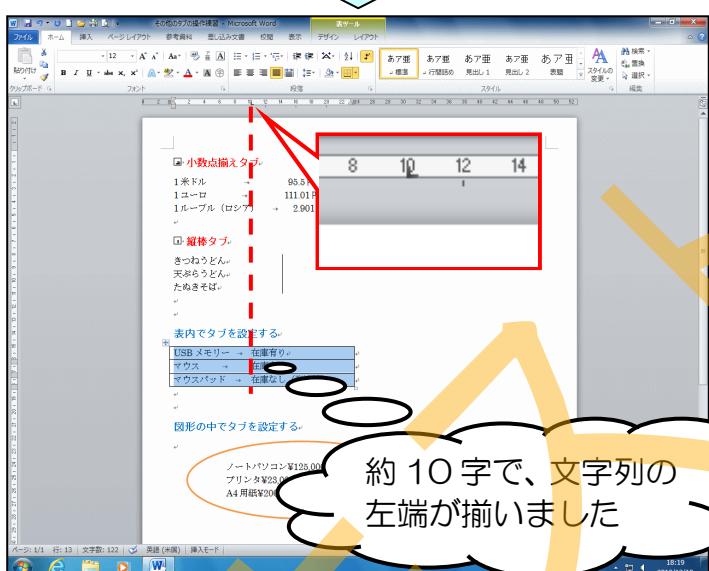
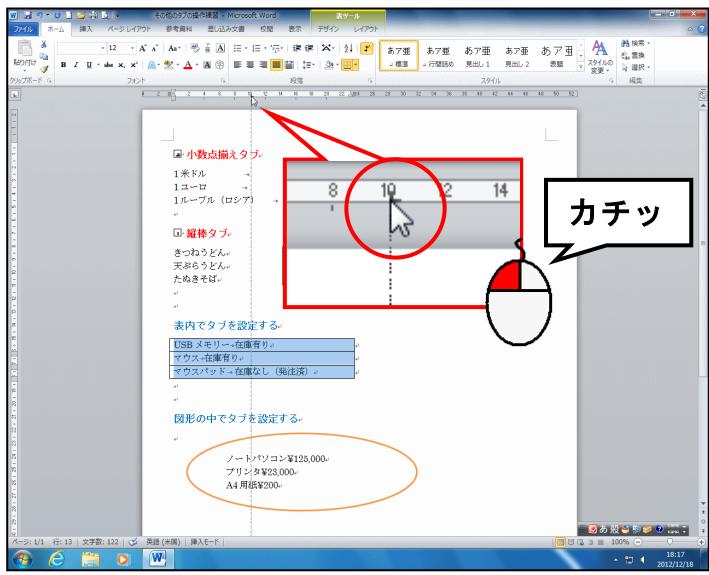
同様にして「マウス」、「マウスパッド」の後にタブを挿入します。



「USB メモリー」、「マウス」、「マウスパッド」の3段落を選択し、ルーラーの左端のタブの種類を [左揃えタブ] に切り替えます。



ルーラー上の約10字の位置にポイントし、そのままクリックします。



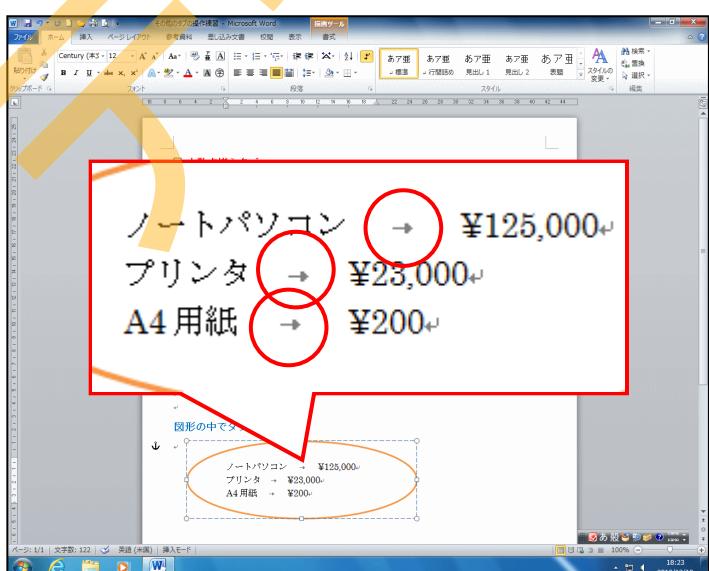
●下のようにクリックした位置にタブの後ろにある表内の文字列の左端がすべて揃いました。



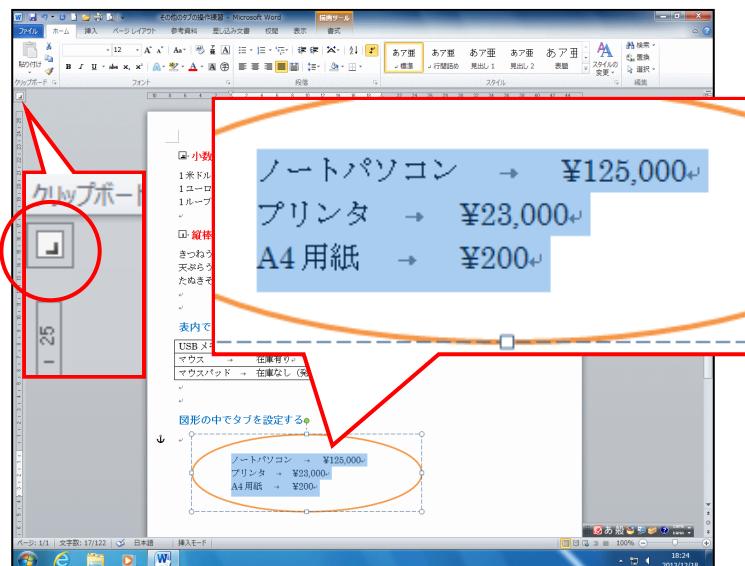
約10字で、文字列の左端が揃いました

## ■図形の中でタブを設定する

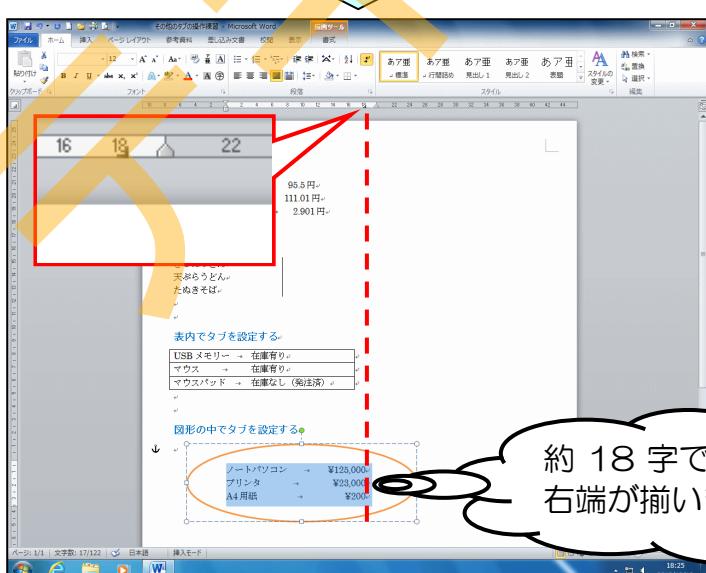
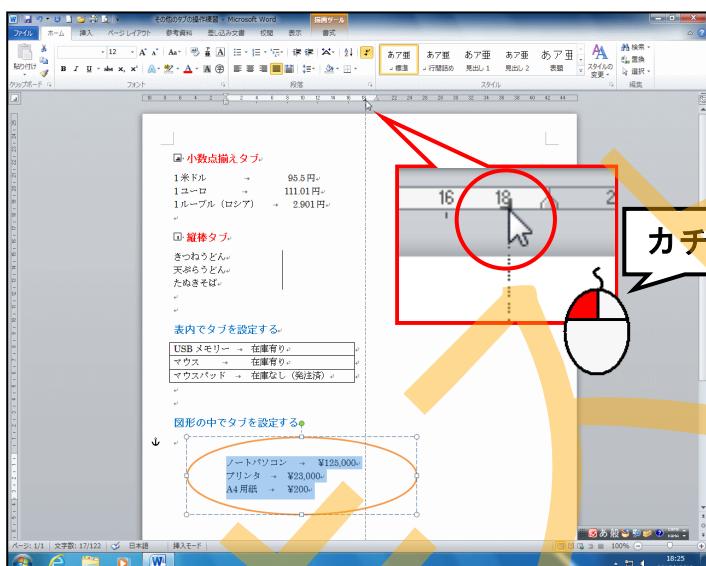
「ノートパソコン」、「プリンタ」、「A4用紙」の後ろに、それぞれタブを挿入します。



「ノートパソコン」、「プリンタ」、「A4 用紙」の3段落を選択し、ルーラーの左端のタブの種類を [右揃えタブ] に切り替えます。

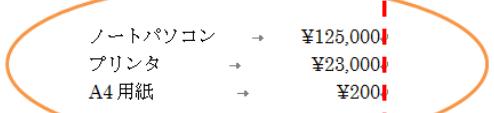


ルーラー上の約 18 字の位置にポイントし、そのままクリックします。



●下のようにクリックした位置にタブの後ろにある図形の中の文字列の右端がすべて揃いました。

図形の中でタブを設定する



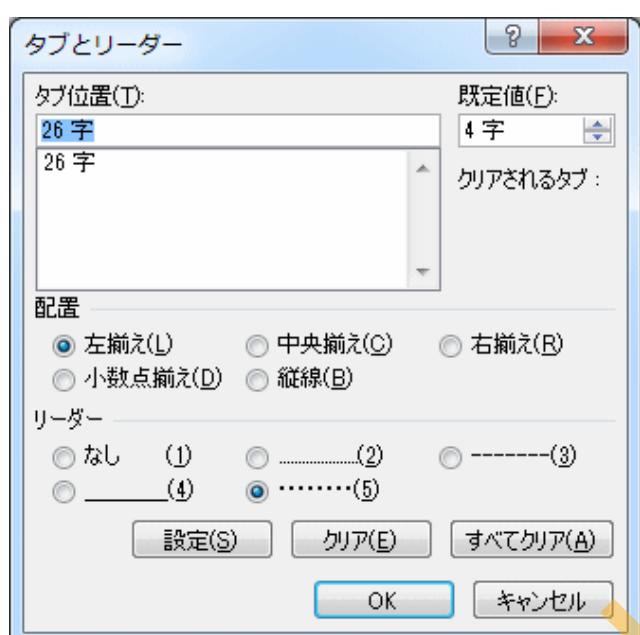
約 18 字で、文字列の右端が揃いました

「その他のタブの操作練習」を上書き保存しておきましょう。

## ●P102 縦書き文書のタブ設定

縦書きの文書の場合、横書きの時と違ってルーラー上ではタブ設定ができません。タブを設定するには、まず【ホーム】タブの【段落】グループの右下にある  マークをクリックし、【段落】ダイアログボックスを表示させます。

そして、【段落】ダイアログボックスの左下にある【タブ設定(T)...】ボタンをクリックし、【タブとリーダー】ダイアログボックスを表示させます。



【タブ位置(T)】ボックスに、任意の文字数を入力します。文字数は、10.5ptの文字を基準として、上から何文字の位置で揃えるのかを指定してください。

【配置】でタブの種類を選択します。縦書きの場合、左揃えは上揃え、右揃えは下揃えと置換えてください。

【リーダー】で任意のリーダーを選択します。

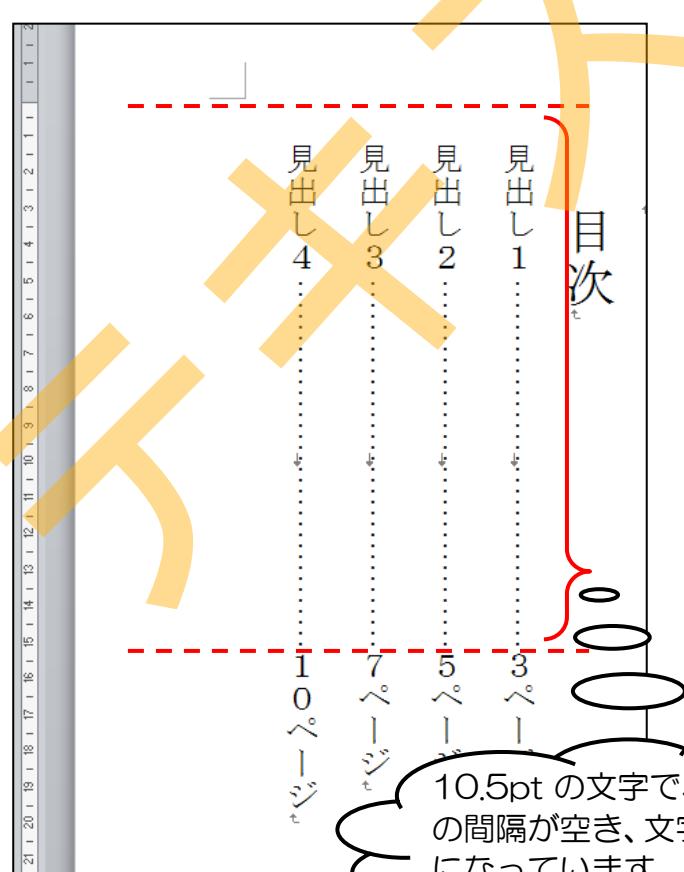
設定したいタブがいくつかある場合は【設定(S)】ボタンをクリックし、同じ手順で次のタブを設定していきます。

【OK】ボタンを押すとすべてのタブが確定されます。

タブを削除する場合は、【クリア(E)】ボタン、もしくは【すべてクリア(A)】ボタンをクリックしてください。

注意!

●垂直タブに表示されている数値は、タブ位置を設定する際の目安にはなりません。

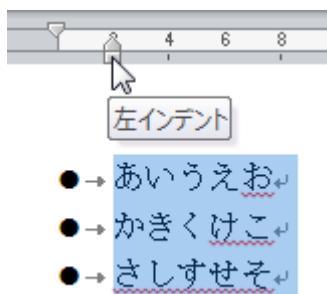


10.5pt の文字で、26 文字分の間隔が空き、文字列が上揃えになっています



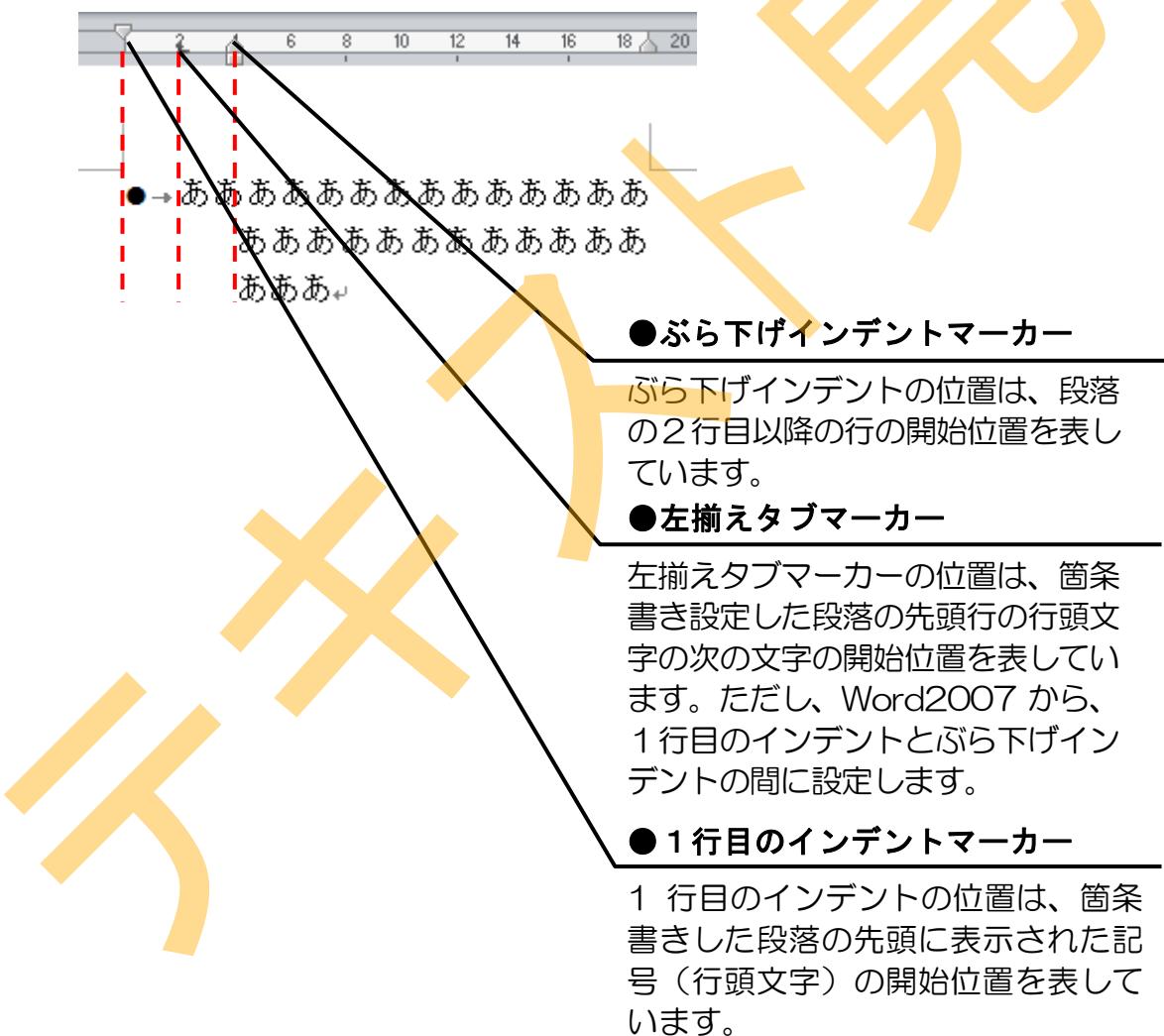
## ■箇条書きを設定した段落がすべて1行の場合の移動方法

箇条書きを設定した段落がすべて 1 行の場合、『左揃えタブマーカー』を設定する必要はありません。『左インデントマーカー』のみを左右に移動するだけで箇条書きを設定した段落全体が移動します。



## ■箇条書きが2行にまたがる場合の注意事項

箇条書きを設定した場合、どのマーカーがどの文字と連動しているのかをよく理解する必要があります。



→ 次ページに続く

## ■箇条書きの移動（箇条書きが2行にまたがる場合）

箇条書きを左右に移動する場合は、**左揃えタブマーカー**と**ぶら下げインデント**、1行目のインデントの移動する順番に注意する必要があります。次のような順番で移動すると簡単に移動することができます。

### ●箇条書きを「右」に移動

- ①左揃えタブマーカーを右に移動
- ②ぶら下げインデントを右に移動
- ③1行目のインデントを右に移動

### ●箇条書きを「左」に移動

- ①1行目のインデントを左に移動
- ②左揃えタブマーカーを左に移動
- ③ぶら下げインデントを左に移動

## ■ぶら下げインデントの移動

次のように**左揃えタブマーカー**と**ぶら下げインデントマーカー**が重なった場合には、ポイントする位置によって、**左揃えタブマーカー**が移動するか、**ぶら下げインデントマーカー**が移動するか変わってきます。ポイントする位置をよく理解しておかないと、ぶら下げインデントマーカーを移動するために、**左揃えタブマーカー**を移動してからぶら下げインデントマーカーをドラッグするように無駄な操作をしないといけません。

### ●左揃えタブマーカーを移動したい場合



### ●ぶら下げインデントマーカーを移動したい場合



ポイントすると、通常「**左揃えタブ**」が表示されます。ぶら下げインデントを移動するためには、マウスポインターの先がぶら下げインデントマーカーの一番上にくるようにポイントします。ポップヒントをよく見て操作しましょう。

## ●P107 他の文章の編集方法

本文では、改行された2文字を削除して調整しましたが、下のように文字間の幅を狭くして文章の幅を調整する方法もあります。

### 操作前

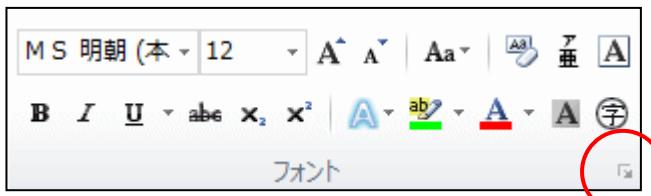
★日 時 ……10月26日（日）□19時～22時  
★場 所 ……くじら山町民グランド  
★備 考 ……悪天候で中止の場合、こちらからお電話にてご連絡いたしますので、必ず申し込み用紙に電話番号のご記入をお願いいたします。

### 操作後

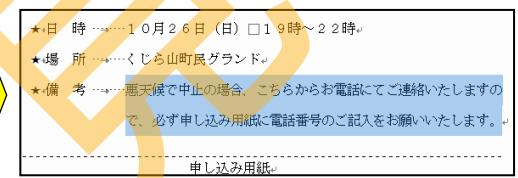
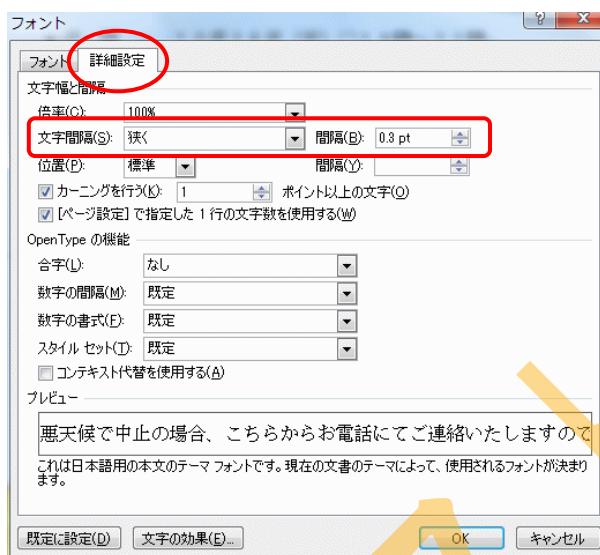
★日 時 ……10月26日（日）□19時～22時  
★場 所 ……くじら山町民グランド  
★備 考 ……悪天候で中止の場合、こちらからお電話にてご連絡いたしますので、必ず申し込み用紙に電話番号のご記入をお願いいたします。

↗ 次ページに続く

- ① 文字間隔を調整する文章を範囲選択します。  
(ここでは、「悪天候」～「お願いたします。」まで)
- ② [フォント] グループの右下の □ マークをクリックして、[フォント] ダイアログボックスを表示します。



- ③ [フォント] ダイアログボックスの [詳細設定] タブを選択し、[文字間隔(S)] ボックスで「狭く」を選択し、[間隔(B)] の右にある □ ボタンをクリックして、間隔を調整して、[OK] ボタンをクリックします。

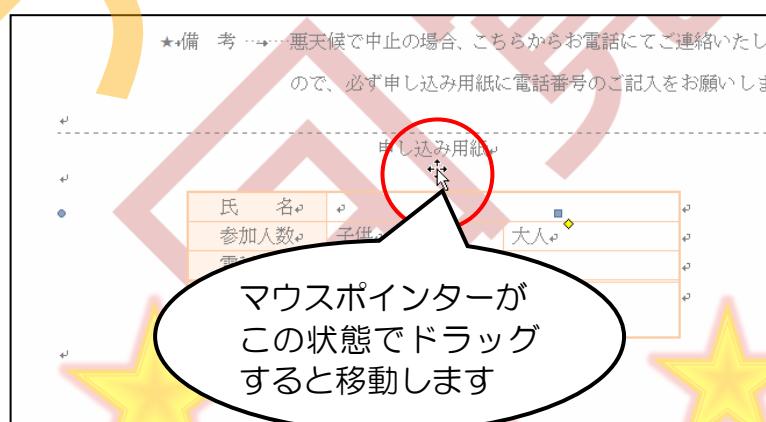


## ●P128 透かしについての補足説明

### ■透かしの移動

文書に設定した透かしの正体は「ワードアート」です。透かしとして設定されたワードアートは、ヘッダーとフッターを表示した状態で挿入されています。したがって、文書に設定した透かしを移動するには、「ヘッダーとフッター」を表示する必要があります。

[挿入] タブの [ヘッダーとフッター] グループにある [ヘッダー] ボタンをクリックし、表示されるリストから [ヘッダーの編集(E)] をクリックすると、ヘッダーとフッターが表示されます。その状態で挿入した透かしにポイントすると、マウスポインターが の状態になり、ドラッグすると移動することができます。



次ページに続く

## ■透かしに影を設定する

透かしに影を付けるには、ヘッダーとフッターを表示した状態で透かしを選択します。  
[表示] タブの右に表示される [ワードアート] ツールの [書式] タブをクリックし、  
[影効果] グループで設定します。

## ■透かしの線の色、太さ、種類などを変更する

透かしに設定した文字の線の色、太さ、種類などを変更するには、ヘッダーとフッターを表示した状態で透かしを選択します。[表示] タブの右に表示される [ワードアート] ツールの [書式] タブをクリックし、[ワードアートのスタイル] グループの 文字の輪郭▼ [文字の輪郭] ボタンの▼をクリックして線の色、太さ、種類などを選択します。



### ●P135 [明るさ] と [コントラスト]

新機能

ワード 2010 から、明るさの調整とコントラストの調整が [書式] タブの [調整] グループにある 修整▼ [修整] ボタンで一度に変更できるようになりました。



## ■インターネットの画像の挿入方法

文書内にインターネット上の好みの画像を挿入する場合、以下のように操作します。  
インターネット上で、好みの画像を右クリックし、表示されるショートカットメニューの【コピー】をクリックします。文書内の画像を挿入したい場所にカーソルを移動し、【ホーム】タブの【クリップボード】グループにある【貼り付け】ボタンをクリックします。



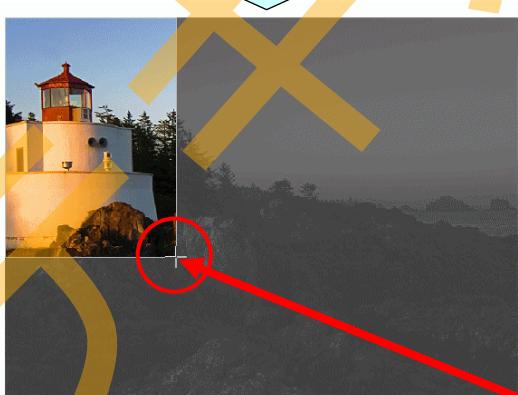
※インターネット上にある画像の中には、著作権に保護されているものもありますので、著作権の侵害にならないように、十分考慮して正しく画像を利用しましょう。

## ■図のトリミング方法

文書内に挿入したクリップアートやイラスト、写真などは、トリミング（画像の不要な部分を切り取る編集方法）することができます。  
挿入した図を選択して、図ツールの【書式】タブの【サイズ】グループから 【トリミング】ボタンをクリックします。



【トリミング】ボタンをクリックすると、図の周りに「—」「—」「|」「—」のハンドルが表示されます。



図の周りのハンドルにマウスポインターを合わせ、切り取りたい部分をドラッグします。  
ドラッグ中は、マウスポインターが十の形になります。

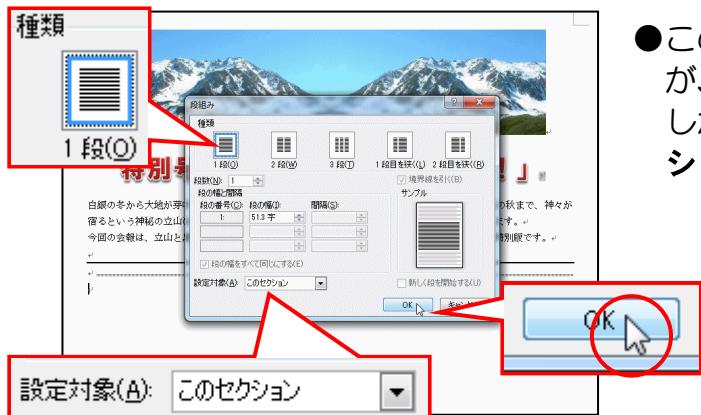


マウスから手を離し、図以外の部分でクリックするとトリミング完了です。

## ●P147 段組みの解除方法

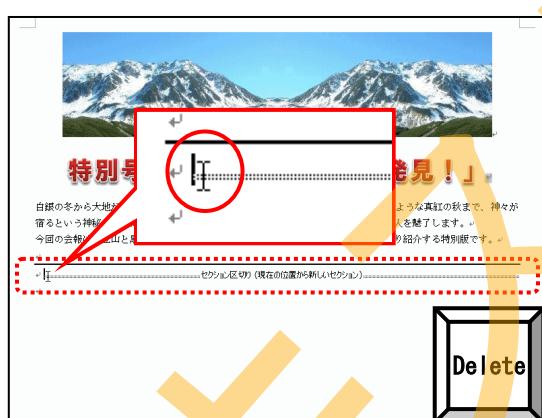
段組みが設定されている範囲内にカーソルを移動し、[ページレイアウト] タブの [ページ設定] グループにある [段組み] ボタンをクリックし、表示されたメニューから [段組みの詳細設定(C)...] をクリックします。

表示された [段組み] ダイアログボックスの「種類」から [1段(0)] を選択し、[設定対象(A):] ボックスに「このセクション」と表示されていることを確認し、[OK] ボタンをクリックします。



●この操作で、3段組みに設定している部分が、もとの1段組みの状態に戻ります。しかし1段組みに戻しただけで、まだセクション区切りは残ったままの状態です

セクション区切りの前にカーソルを移動して、[Delete] キーを押します。



●これでセクション区切りを削除できました。3段組みを設定する前と同じ状態に戻っています。

## ●P147 セクション区切りの種類

挿入することができるセクション区切りには、次のようなものがあります。

### ●次のページから開始

カーソルのある位置にセクション区切りが挿入されて、次のページから新しいセクションが開始されます。

### ●現在の位置から開始

カーソルのある位置にセクション区切りが挿入されて、同じページの次の行から新しいセクションが開始されます。

### ●偶数ページから開始

カーソルのある位置にセクション区切りが挿入されて、次の偶数ページから新しいセクションが開始されます。

### ●奇数ページから開始

カーソルのある位置にセクション区切りが挿入されて、次の奇数ページから新しいセクションが開始されます。

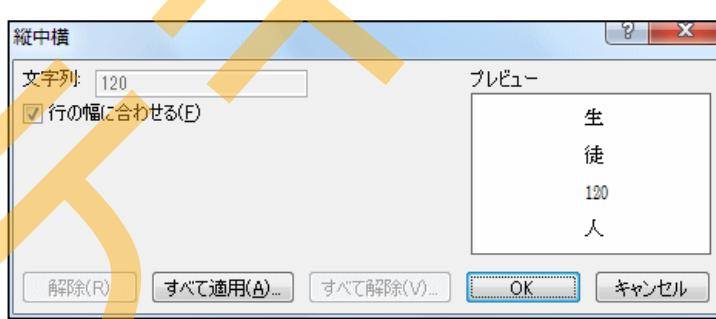
## ●P165 拡張書式についての補足説明

[ホーム] タブの [拡張書式] ボタンには、ワード1で説明した「文字の拡大／縮小」、「文字の均等割り付け」、また今回説明した「割注」のほかに「縦中横」と「組み文字」があります。

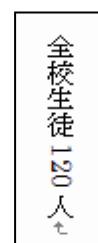
### ■縦中横

「縦中横」という機能を使うと、縦書きにした文章の一部を横書きにできます。

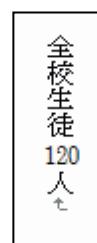
縦書きの文書で数字（半角）を入力したとき、下のような設定前の状態になります。このようなときに、横書きにしたい文字を選択し、 [拡張書式] ボタン - [縦中横 (T)...] をクリックして表示される [縦中横] ダイアログボックスで設定します。



「縦中横」設定前



「縦中横」設定後



→ 次ページに続く

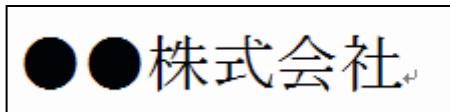
## ■組み文字

「組み文字」という機能を使うと、「割注」と同じように簡単に文字列を2列2行に表示することができます。

組み文字にしたい文字列を選択し、 [拡張書式] ボタン [組み文字(M)...] をクリックして表示される [組み文字] ダイアログボックスで設定します。



「組み文字」設定前



「組み文字」設定後

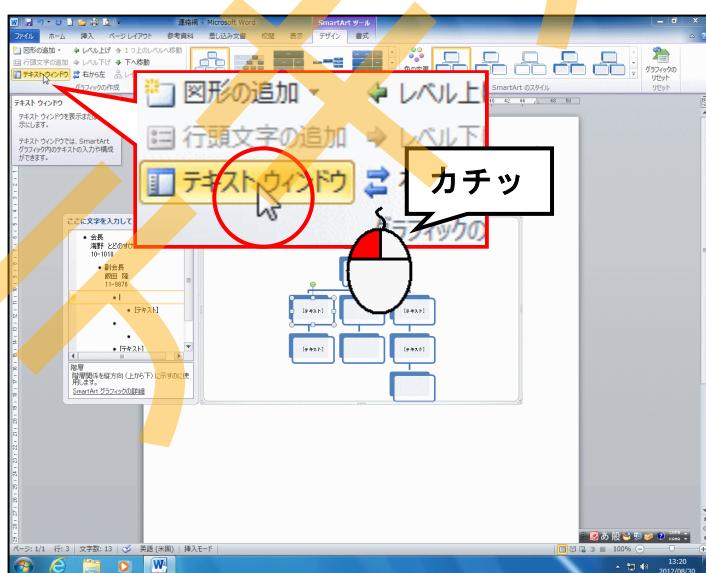


※組み文字に設定できる最大の文字数は6文字です。7文字以上を上下2段に組んで表示するには、割注として設定します。

## ●P182 SmartArtに文字を直接入力する

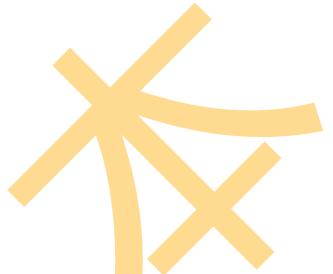
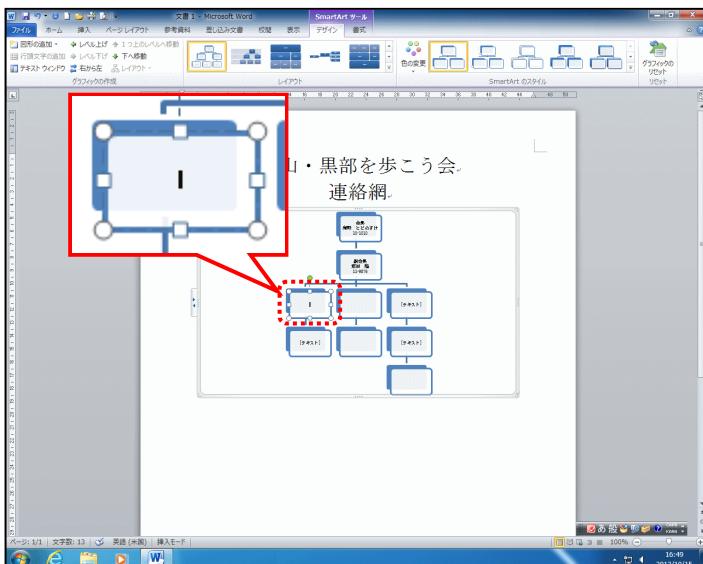
本編ではSmartArtに文字を入力する際に、[テキストウィンドウ] を使いましたが、今回はSmartArtの図形に直接文字入力する方法について説明します。

[テキストウィンドウ] ボタンをクリックします。

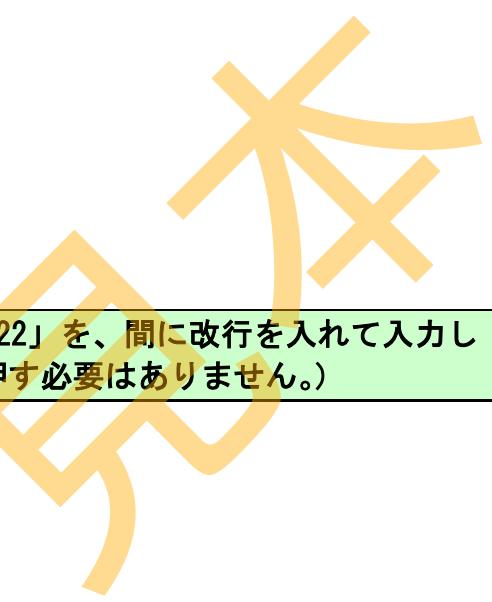
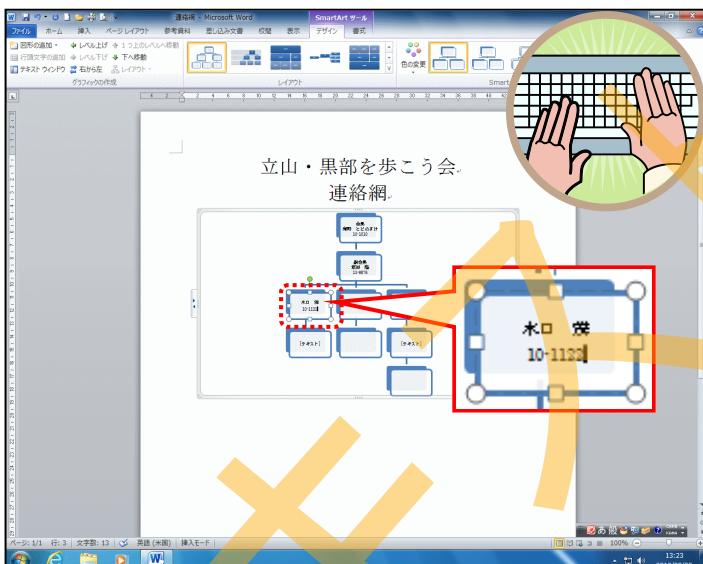


●  [テキスト ウィンドウ] [テキスト ウィンドウ] ボタンをクリックすると、[テキスト ウィンドウ] が画面から消えます。

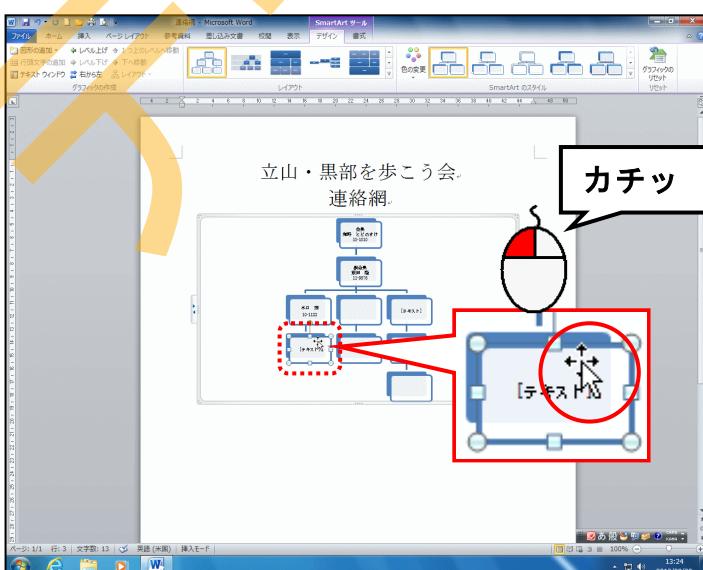
左上の図形にカーソルが表示されていることを確認しましょう。表示されていない場合は、左上の図形をクリックしておきましょう。



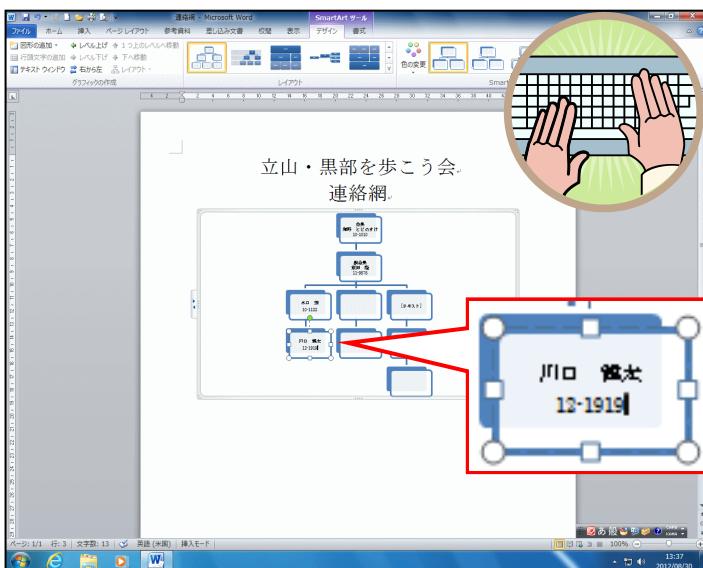
そのままの状態で下の図のように、「水口 茂」「10-1122」を、間に改行を入れて入力します。(改行は [Enter] キーのみで、[Shift] キーを押す必要はありません。)



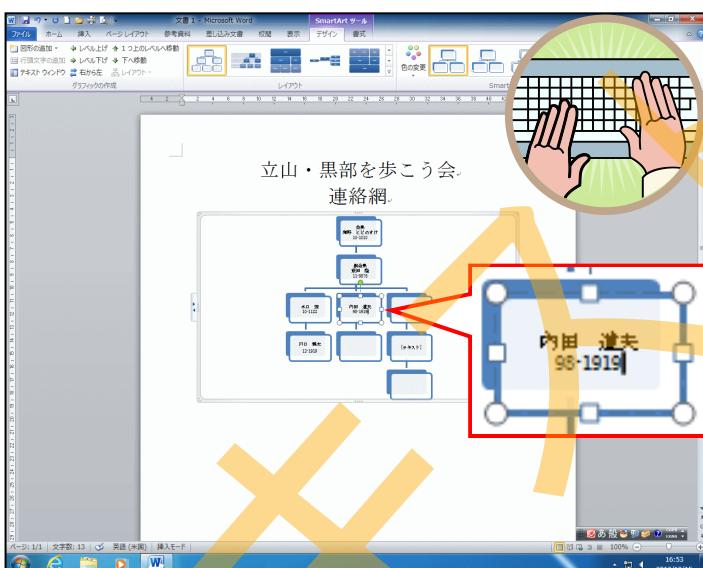
すぐ下の図形をクリックします。



「川口 健太」、「12-1919」をそれぞれ改行しながら入力します。



次に上から 3 つ目の中央の図形を選択し、「内田 道夫」、「98-1919」を改行しながら入力しましょう。



残りの図形にも、同じ方法で文字を入力することができます。

このように、図形を選択しそのまま文字を入力することもできます。

[テキストウィンドウ] を使って文字を入力する場合と違い、矢印キーを使って文字入力したい図形を選択することはできませんが、改行するときに [Shift] キーを押す必要がなくなります。

どちらでも操作しやすい方法を選択して文字入力をしてください。



## ● クイックアクセスツールバーにボタンを追加・削除する

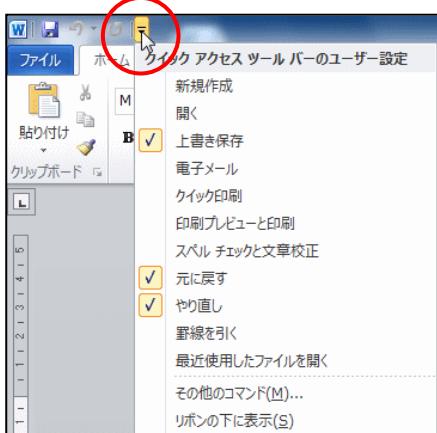
本テキストでは、前提条件として【クイックアクセス】ツールバーは 「新規作成」、 「開く」、 「クイック印刷」、 「印刷プレビューと印刷」という非常によく使う4つのボタンが追加された状態でした。

ただし、一番最初にワード2010を開いた場合、初期状態として 「上書き保存」、 「元に戻す」、 「やり直し」の3つしか表示されません。ここでは、【クイックアクセス】ツールバーにそのほかのボタンの追加方法と削除方法について説明します。

### ■ 【クイックアクセス】ツールバーにボタンを追加する

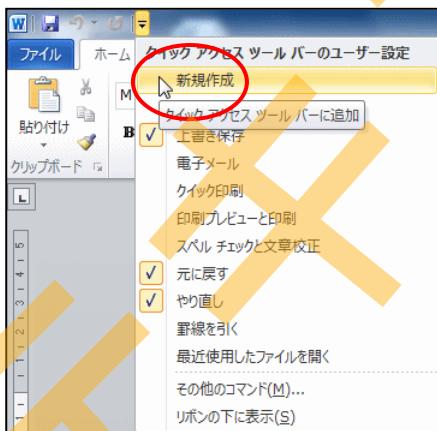
ここでは、【クイックアクセス】ツールバーに 「新規作成」ボタンを追加してみましょう。

【クイックアクセス】ツールバーの右側にある 「クイックアクセスツールバーのユーザー設定」ボタンにポイントし、そのままクリックします。

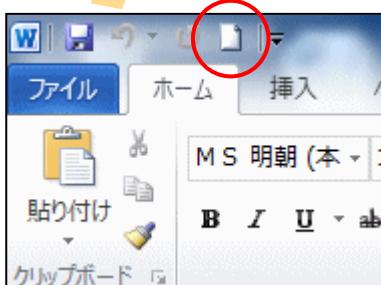


「クイックアクセスツールバーのユーザー設定」ボタンをクリックすると、【クイックアクセス】ツールバーに追加できるボタンの一覧が表示されます。現在表示されているボタンには名前の左側に が表示されます。

「新規作成」にポイントし、そのままクリックします。



【クイックアクセス】ツールバーに 「新規作成」ボタンが追加されました。

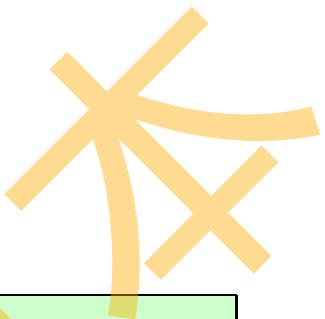
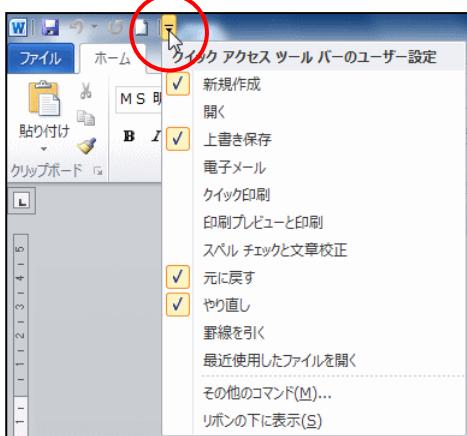


「新規作成」をクリックすると、左のように【クイックアクセス】ツールバー内に 「新規作成」ボタンが追加されます。

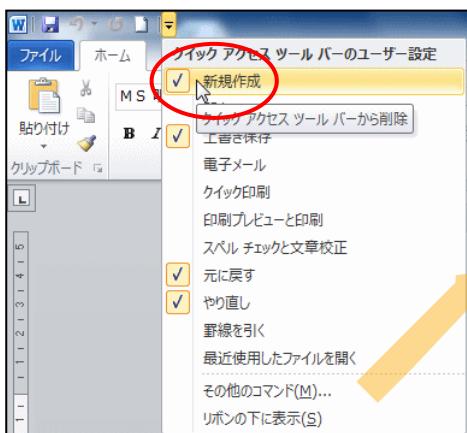
## ■ [クイックアクセス] ツールバーのボタンを削除する

先ほど追加した「新規作成」ボタンを削除してみましょう。

[クイックアクセス] ツールバーの右側にある [クイックアクセスツールバーのユーザー設定] ボタンにポイントし、そのままクリックします。

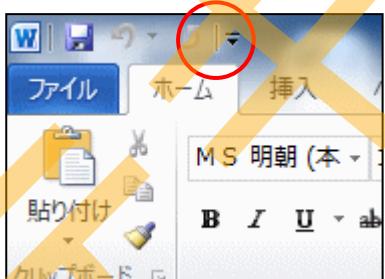


「新規作成」にポイントし、そのままクリックします。



「新規作成」ボタンが [クイックアクセス] ツールバーに表示されているため「新規作成」の左側には  が表示されています。

[クイックアクセス] ツールバーから「新規作成」ボタンが削除されました。



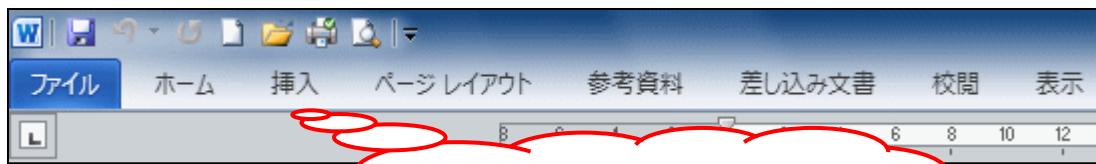
「新規作成」をクリックすると、左のように [クイックアクセス] ツールバー内の「新規作成」ボタンが削除されます。

他の[クイックアクセス]ツールバーのボタンも同様の操作で追加と削除することができます。

## ●リボンの最小化を元に戻す

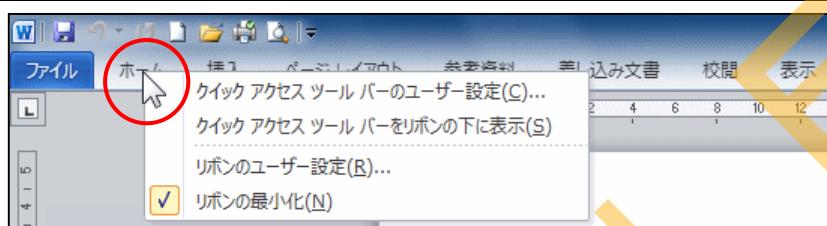
ワードでいろいろと操作をしているうちに、下のようにリボンが最小化される場合があります。リボンが最小化されてしまうと、ボタンも押せなくなってしまうため、文字の書式設定やページ設定など様々な設定を行うときに大変不便です。

### ■最小化されたリボン

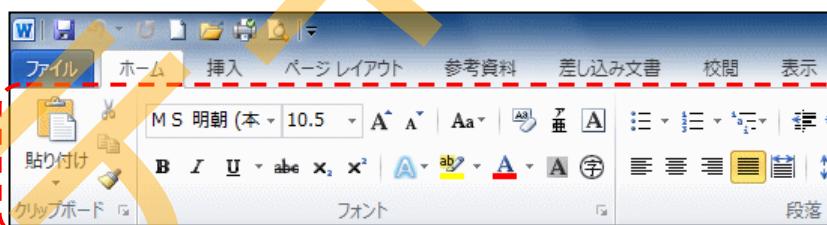
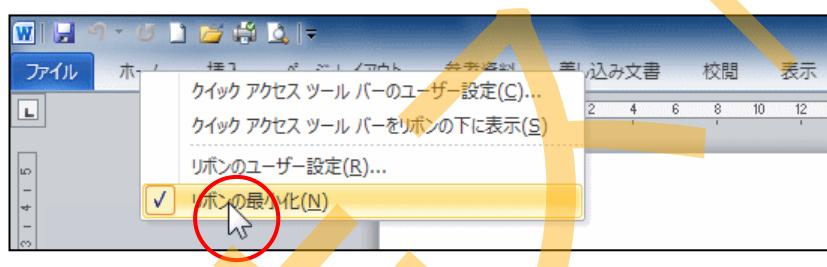


最小化されたリボンを元に戻すには、以下のように操作します。

タブにポイントし、そのまま右クリックします。



表示された一覧から [リボンの最小化(N)] をクリックします。



[リボンの最小化(N)] をクリックすると、左のようにリボンが復元され、ボタンが表示されます。

余裕があれば読んでね

下記のようにタブにポイントし、ダブルクリックする方法でも、リボンは表示されます。



## ●テキストの手引き

練習問題や実際にワードを使っていて、テキストで覚えたあの機能は何ページに書いてあったっけ？と迷われた時のためにテキスト内の成果物と機能についての該当ページを記載しています。

赤色で表記しているページ数は本編の内容、青色のページ数は補足説明の内容となります。

### ●「秋の天体観測」2章終了時

会報：9月号  
立山・黒部を歩こう会  
海野□とどのすけ□

テキストボックスの作成 P59～  
テキストボックスのスタイルの設定 P63～  
テキストボックスについての補足説明 P205～

夜長をゆっくりとお楽しみください。また、望遠鏡をお持ちの方は、ぜひご持参ください。  
なお、夜間の開催となりますので、お子様は保護者同伴でお願いいたします。

日 時 10月28日（日）□19時～22時  
場 所くじら山町民グランド  
備 考悪天候で中止の場合、  
用紙に電話番号のご記入をお願いします。

氏 名□  
参加人数□  
電話番号□  
備 考□

図形の挿入 P22～  
図形の塗りつぶしの色の設定 P25～  
図形の枠線の設定 P34～  
図形の効果の設定 P40～

グラデーションの種類と方向について P198  
グラデーションの分岐点の補足説明 P198  
図形の塗りつぶしの補足説明 P199～  
図形の効果の補足説明 P202

図形のコピーと移動 P42～  
図形の拡大／縮小 P45～

図形の左右反転 P47～  
図形の回転 P51～

図形の最前面・最背面 P203  
図形についての補足説明 P204

クリップアートの挿入 P56～

●基本図形を描く P8～  
●図形の選択と解除 P16～  
●図形の削除 P21～

●描画キャンバスについての補足説明 P195  
●図形の種類 P196  
●フリーフォームの書き方 P197～

## ● 「秋の天体観測」完成版

ヘッダーに日付を挿入する P115~

平成 24 年 8 月 22 日(水)から配布

図の書式設定(ウォッシュアウト) P133~

[明るさ] と [コントラスト] P218

会報・9月号  
立山・黒部を歩こう会  
海野□とどのすけ

秋も一段と深ま  
このたび、「立

ト第2弾として、第  
を下記の日程で開

行間隔の変更 P68~  
インデントの設定 P70~

行間についての補足説明 P206

縦書き文書のインデント設定 P206

透かしの設定 P123~

透かしについての補足説明 P217~

書式のコピー・貼り付け P129~

★日 時 …… 10月28日(日) □19時

★場 所 …… くじら山町民グランド

★備 考 …… 悪天候で中止の場合、こちらからお電話にてご連絡いたします

ので、必ず申し込み用紙に電話番号のご記入をお願いします。

タブ設定 P89~  
タブリーダーの設定 P100~

その他のタブについて P208~  
縦書き文書のタブ設定 P214

その他の文章の編集方法 P216~

箇条書きの設定 P83~

行頭文字の変更 P85~

[新しい行頭文字の定義]  
ダイアログボックスの補足説明 P207

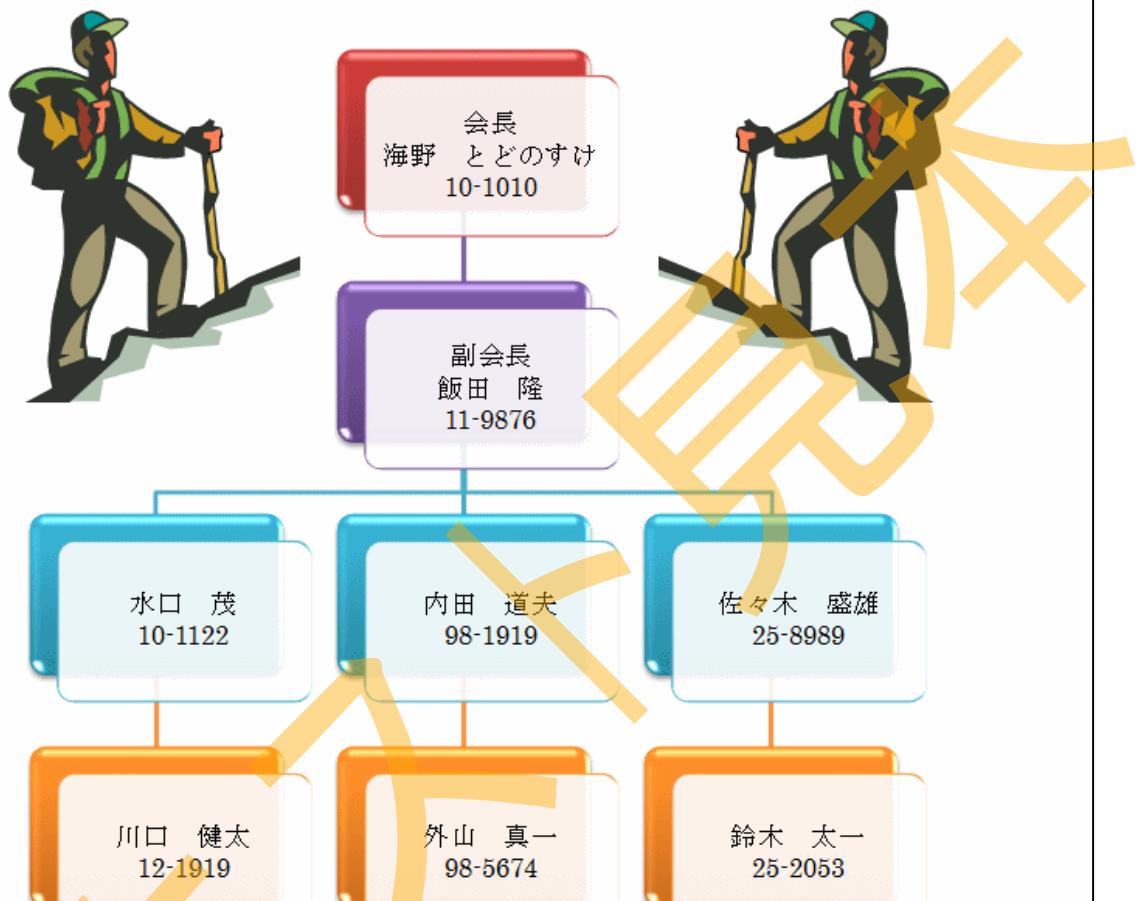
箇条書きについての補足説明 P215~

氏 名
参加人数
電話番号
備 考

フッターにページ番号を挿入する P119~



## 立山・黒部を歩こう会 連絡網



スマートアート  
SmartArtの挿入 P167～

図形の追加 P172～

図形の削除 P177～

図形に文字を入力する P178～

スマートアート  
SmartArtのサイズ変更 P184～

スマートアート  
SmartArtの色の変更 P186～

スマートアート  
SmartArtのスタイルの変更 P188～

スマートアート  
SmartArtに文字を直接入力する P222～

# ●索引

## あ行

明るさとコントラスト . . . . . 218  
[新しい行頭文字の定義] ダイアログボックスの補足説明 . . . . . 207  
1段落だけの選択 . . . . . 66  
インターネットの画像の挿入方法 . . . . . 219  
インデントの設定（1行目のインデント） . . . . . 71,73  
インデントの設定（左インデント） . . . . . 71,72  
インデントの設定（ぶら下げインデント） . . . . . 71,75  
インデントの設定（右インデント） . . . . . 71,76

## か行

箇条書きについての補足説明 . . . . . 215  
箇条書きの位置を変更する . . . . . 103  
箇条書きの行頭文字の変更 . . . . . 85  
箇条書きの設定 . . . . . 83  
行間隔の変更 . . . . . 68  
行間についての補足説明 . . . . . 206  
クリックアクセスツールバー . . . . . 225  
組み文字 . . . . . 222  
グラデーションの種類と方向について . . . . . 198  
グラデーションの分歧点の補足説明 . . . . . 198  
クリップアートの挿入 . . . . . 56,190

## さ行

写真的画像を挿入する . . . . . 138  
書式のコピー・貼り付け . . . . . 129  
透かしに影を設定 . . . . . 218  
透かしの移動 . . . . . 217  
透かしの設定 . . . . . 123  
透かしの線の色、太さ、種類などを変更 . . . . . 218  
図形（複数）のグループ化 . . . . . 53  
図形（複数）の配置・整列 . . . . . 204  
図形に画像を挿入する . . . . . 200  
図形にスタイルを設定 . . . . . 201  
図形にパターンを設定する . . . . . 199  
図形に文字を追加する . . . . . 204  
図形の回転 . . . . . 51  
図形の拡大/縮小 . . . . . 45  
図形の効果の設定 . . . . . 40  
図形の効果の補足説明 . . . . . 202  
図形のコピーと移動 . . . . . 42  
図形の最前面・最背面 . . . . . 203  
図形の削除 . . . . . 21  
図形の左右反転 . . . . . 47  
図形の種類 . . . . . 196  
図形の選択 . . . . . 16  
図形の選択を解除 . . . . . 19  
図形の挿入 . . . . . 22  
図形の中でタブを設定する . . . . . 212  
図形の塗りつぶし（グラデーション） . . . . . 25  
図形の複数選択 . . . . . 17

図形の枠線の色の設定 . . . . . 34  
図形の枠線のスタイルの設定 . . . . . 36  
図形の枠線の設定 . . . . . 34  
図形の枠線の太さの設定 . . . . . 35  
図形を描く . . . . . 8  
図形を単色で塗りつぶす . . . . . 199  
図の書式設定（ウォッシュアウト） . . . . . 133  
図のトリミング方法 . . . . . 219  
SmartArt 階層の形状の変更 . . . . . 171  
SmartArt グラフィックの挿入 . . . . . 167  
SmartArt に文字を直接入力する . . . . . 222  
SmartArt の色の変更 . . . . . 186  
SmartArt のサイズ変更 . . . . . 184  
SmartArt のスタイルの変更 . . . . . 188  
SmartArt の図形に文字を入力する . . . . . 178  
SmartArt の図形の削除 . . . . . 177  
SmartArt の図形の追加 . . . . . 172  
セクション区切りの種類 . . . . . 221

## た行

縦書き文書のインデント設定 . . . . . 206  
縦書き文書のタブ設定 . . . . . 214  
縦中横 . . . . . 221  
タブの挿入 . . . . . 97  
タブマーカーの削除 . . . . . 92  
タブマーカーの種類 . . . . . 89  
タブマーカーの設定（小数点揃えタブ） . . . . . 208  
タブマーカーの設定（縦棒タブ） . . . . . 209  
タブマーカーの設定（中央揃えタブ） . . . . . 93  
タブマーカーの設定（左揃えタブ） . . . . . 90,99  
タブマーカーの設定（右揃えタブ） . . . . . 95  
タブリーダーの設定 . . . . . 100  
段区切りの設定 . . . . . 148  
段組みの解除方法 . . . . . 220  
段組みの設定 . . . . . 143  
段落の選択方法 . . . . . 66  
テキストウィンドウ . . . . . 170,178  
テキストボックスの作成 . . . . . 59  
テキストボックスのスタイルの設定 . . . . . 63  
テキストボックスについての補足説明 . . . . . 205  
テクスチャ . . . . . 200  
ドロップキャップのサイズ変更 . . . . . 157  
ドロップキャップを設定する . . . . . 152

## は行

描画キャンバス . . . . . 195  
表内でタブを設定する . . . . . 210  
複数段落を選択 . . . . . 67  
フッターにページ番号を挿入する . . . . . 119  
フリーフォームの描き方 . . . . . 197  
ヘッダーとフッターツールについて . . . . . 111  
ヘッダーとフッターの切り替え . . . . . 112

ヘッダーとフッターの挿入	109
ヘッダーとフッターの領域の調整	114
ヘッダーとフッターを閉じる	122
ヘッダーに日付を挿入する	115

## ま行

文字間隔を狭くする	216
-----------	-----

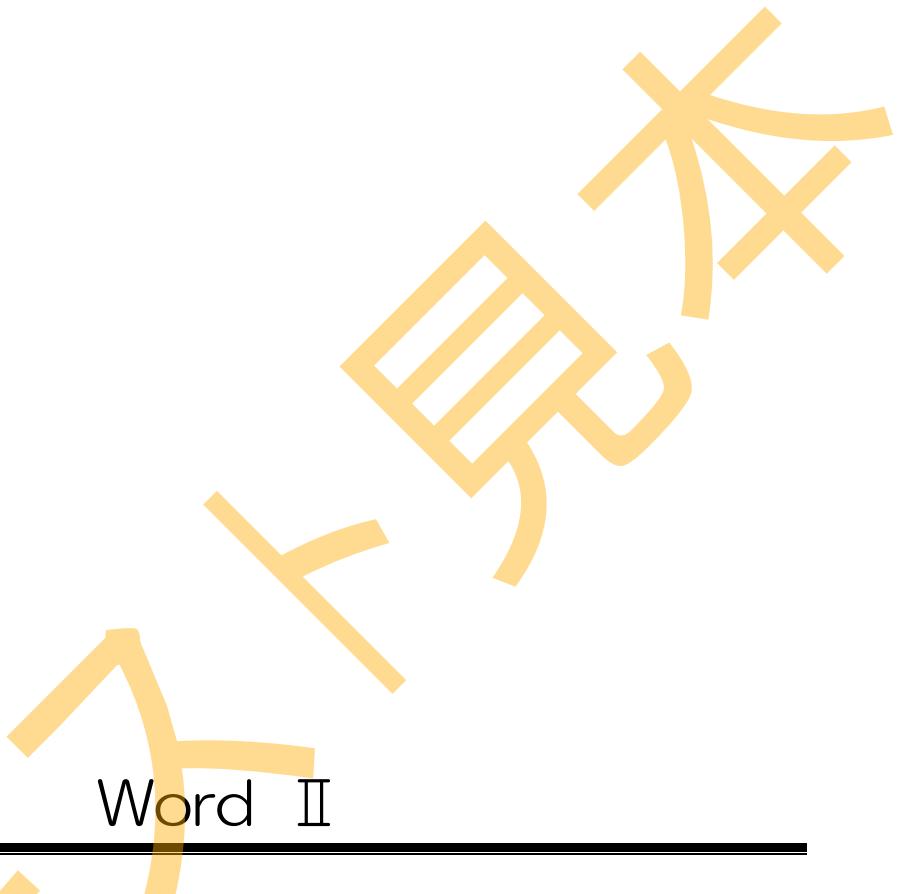
## ら行

リボンの最小化を元に戻す	227
ルーラーとインデントマーカー	70

## わ行

割注を設定する	161
---------	-----





2010年7月10日  
2013年1月31日  
2015年1月31日

初版  
第1刷発行  
第2版  
第1刷発行  
第3版  
第1刷発行

本書の無断複写複製(コピー)は、特定の場合を除き、著作者の権利侵害になります。

連絡先

- Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標および登録商標です。
- テキストに記載されている内容、仕様は予告なしに変更されることがあります。
- 本文中では、®やTMなどのマークは省略しています。